

令和5年度
栄区区民意識調査

結果報告書
(詳細版)

令和6年1月

横浜市栄区役所



【目次】

調査の概要.....	1
回答者の属性.....	3
集計分析結果.....	8
1 生活の満足度について.....	9
2 定住意向について.....	21
3 生活意識について.....	33
4 道路・交通について.....	69
5 健康・福祉について.....	87
6 子育てについて.....	115
7 防災について.....	131
8 地域のつながりについて.....	145
9 友好交流都市について.....	155
10 読書について.....	159
11 広報について.....	161
12 マイナンバーカードについて.....	174
13 環境行動について.....	188
資料編.....	193
資料1 地区ごとの主な回答結果.....	194
資料2 調査票.....	209

調査の概要

■ 調査目的

栄区民のみなさんが暮らしの中で感じる満足や不安、生活スタイル、地域のつながりなどの意識を把握し、今後の区政を進める基礎資料として活用する。

■ 調査概要

【調査対象】

栄区内に居住する 18 歳以上の市民 6,000 人

【抽出方法】

住民基本台帳からの無作為抽出

【調査方法】

郵送配布、郵送回収またはインターネット回答（横浜市電子申請・届出システム）

【調査期間】

令和 5 年 11 月 1 日～11 月 20 日

【回収数】

3,000 票（回収率 50.0%、うち有効回答票 2,995 票）

【集計結果の見方】

図（グラフ）の中で使用されている「n=〇〇」は、その設問に対する回答者数をあらわす。

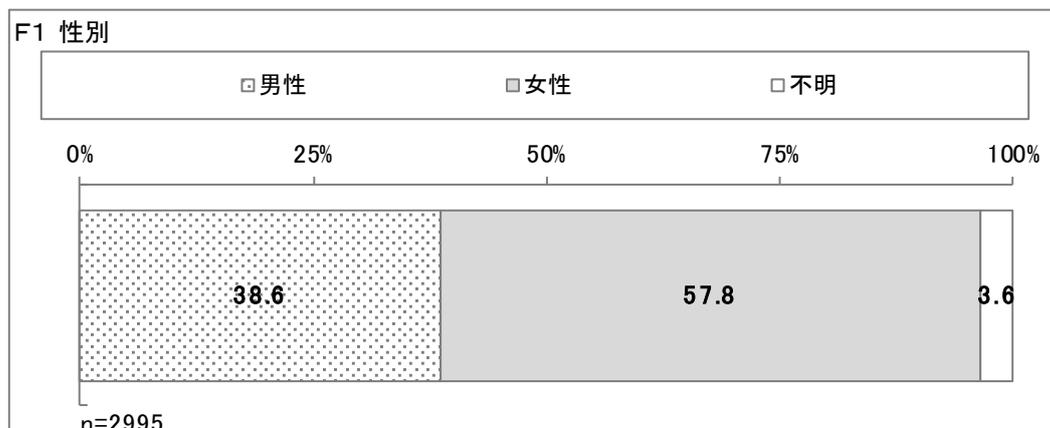
回答の比率（すべて百分率（%）で表示）は、その設問の回答者数を基数（件数）として算出している。したがって、複数回答の設問の場合、すべての比率を合計すると 100%を超える場合がある。また、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出しているため、合計が 100%にならない場合がある。

項目をまとめてひとつのカテゴリーにする場合（例えば問 1 など）、各回答項目の回答者数の合計を基数として%を算出している。各回答項目は小数点第 2 位以下を四捨五入しているため、回答項目の%の合計と一致しない場合がある。

回答者の属性

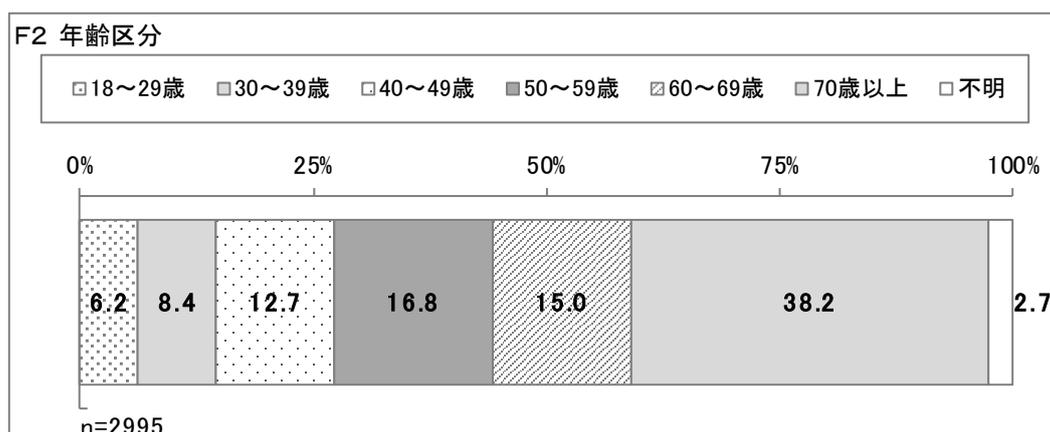
■ 性別

- ・「女性」が57.8%で「男性」（38.6%）より19.2ポイント多い。



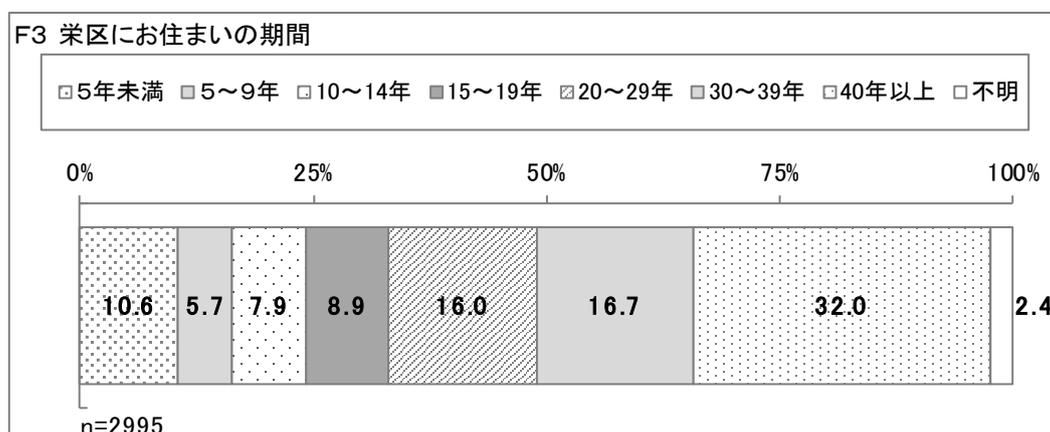
■ 年齢

- ・「70歳以上」（38.2%）が最も多く、「50～59歳」（16.8%）が続く。



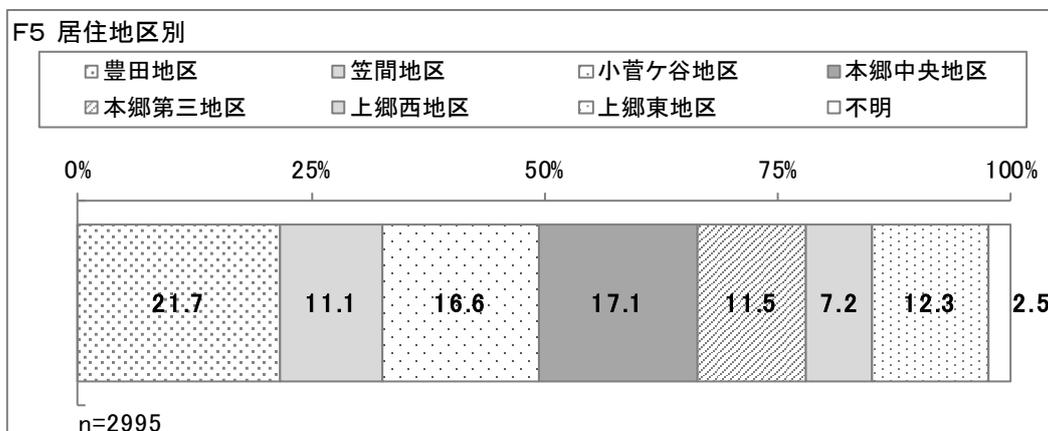
■ 居住期間

- ・「40年以上」（32.0%）が最も多く、「30～39年」（16.7%）、「20～29年」（16.0%）が続く。



■ 居住地区

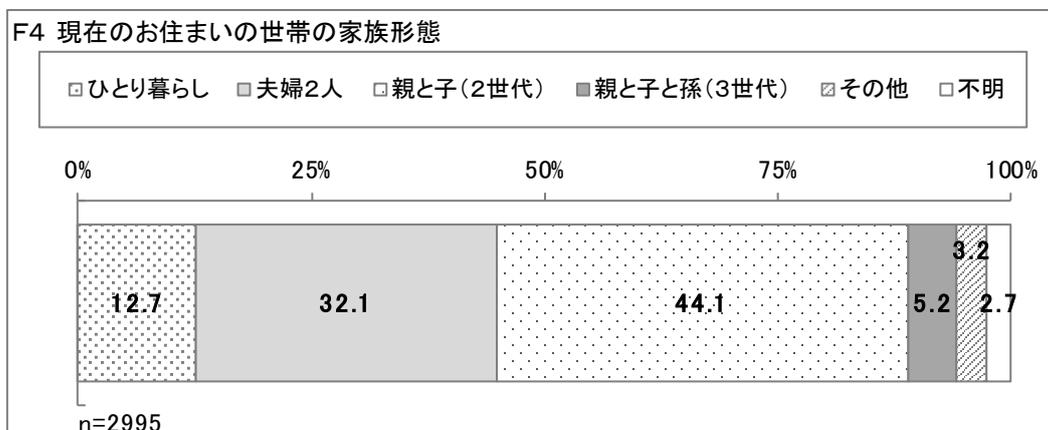
- ・「豊田地区」(21.7%)が最も多く、「本郷中央地区」(17.1%)、「小菅ヶ谷地区」(16.6%)が続く。



豊田地区： 飯島町、金井町、田谷町、長尾台町、長沼町、本郷台一丁目～五丁目
 笠間地区： 笠間一丁目～五丁目
 小菅ヶ谷地区： 小菅ヶ谷町、小菅ヶ谷一丁目～四丁目、小山台一丁目～二丁目
 本郷中央地区： 桂台北、桂台中、桂台西一丁目～二丁目、桂台東、桂台南一丁目～二丁目、桂町、公田町
 本郷第三地区： 鍛冶ヶ谷町、鍛冶ヶ谷一丁目～二丁目、中野町、柏陽、元大橋一丁目～二丁目、若竹町
 上郷西地区： 犬山町、尾月、上之町、亀井町
 上郷東地区： 上郷町、庄戸一丁目～五丁目、長倉町、野七里一丁目～二丁目、東上郷町
 ※町界で区分しているため、連合町内会のエリアとは一部異なっている部分があります。

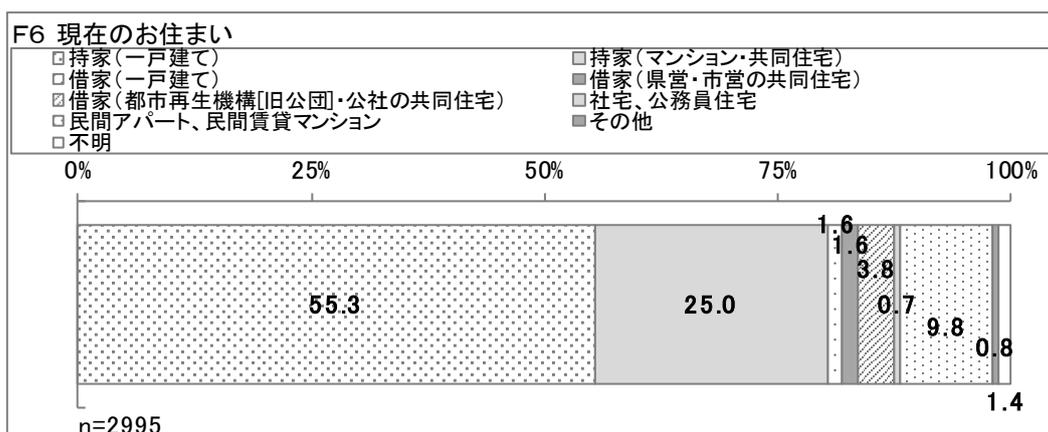
■ 家族形態

- ・「親と子（2世代）」（44.1%）が最も多く、続く「夫婦2人」（32.1%）を12ポイント上回る。



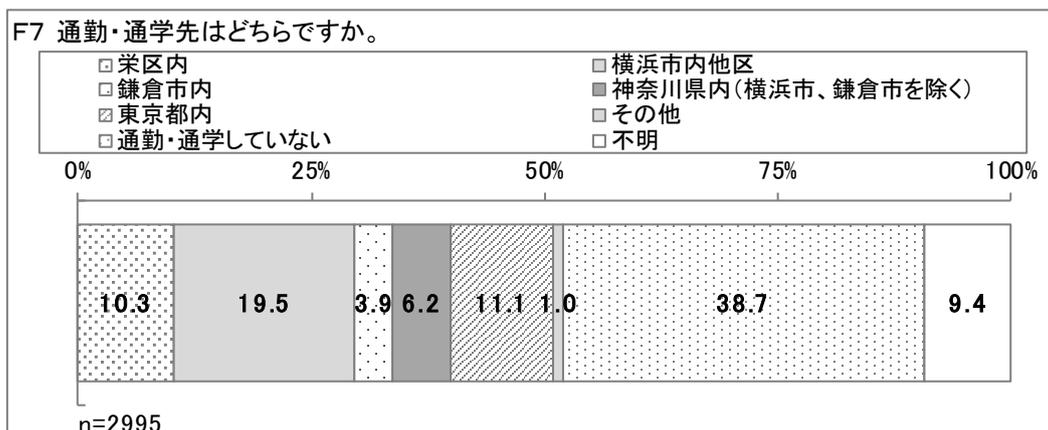
■ 住居形態

- ・「持家（一戸建て）」（55.3%）が最も多く、続く「持家（マンション）」（25.0%）と合わせると約8割が『持家』である。



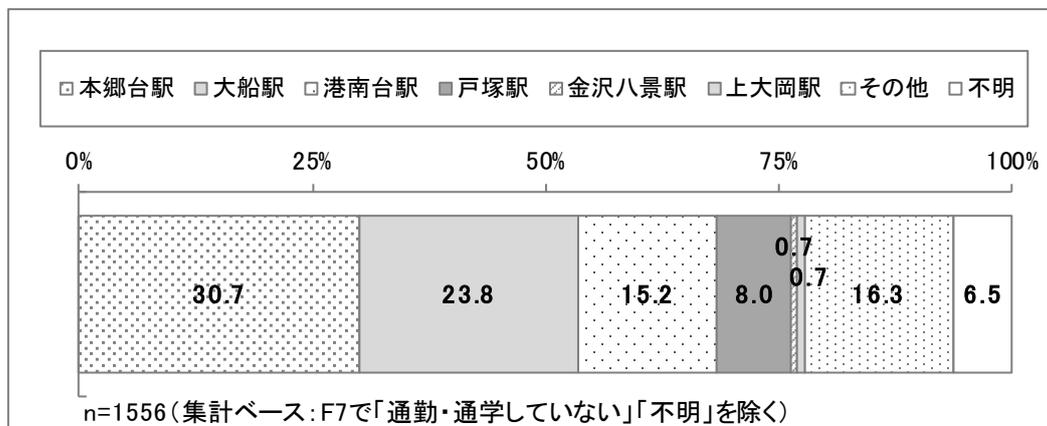
■ 主な通勤・通学先

- ・「通勤・通学していない」（38.7%）が最も多く、「横浜市内他区」（19.5%）が続く。「栄区内」は10.3%である。



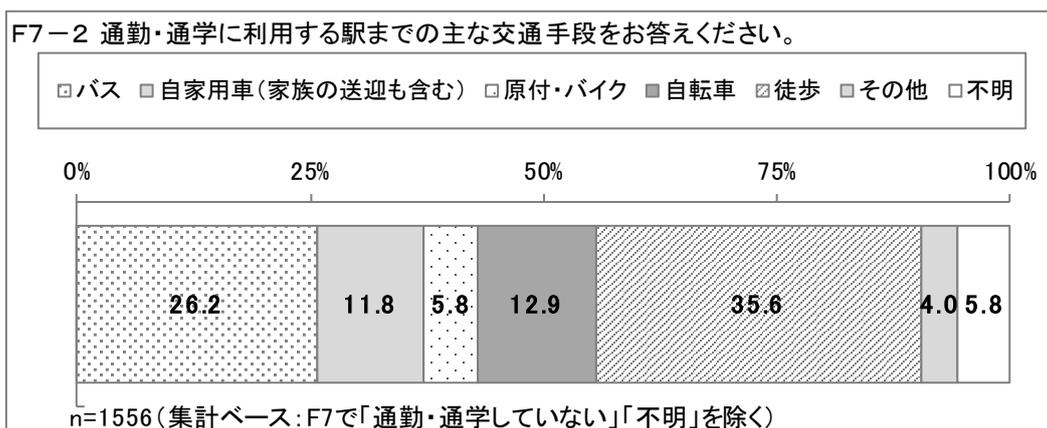
■ 通勤・通学に利用する駅

- ・「本郷台駅」(30.7%)が最も多く、「大船駅」(23.8%)が続く。



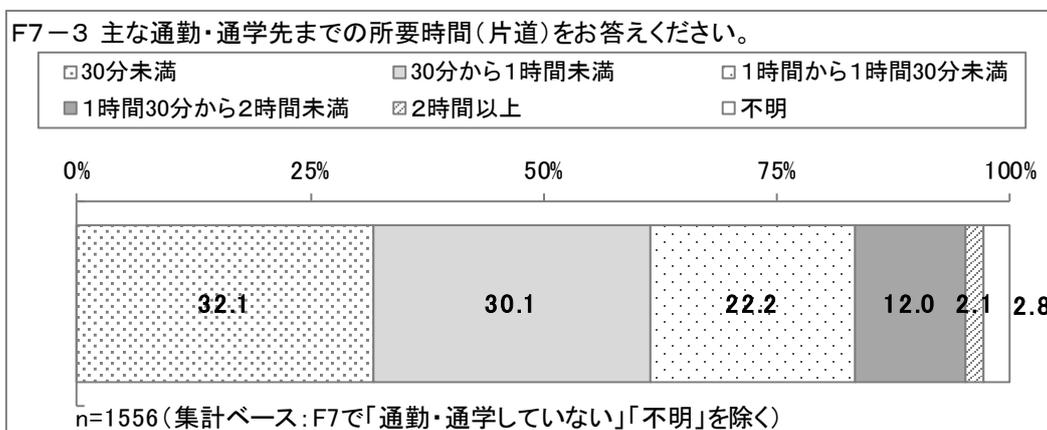
■ 駅までの交通手段

- ・「徒歩」(35.6%)が最も多く、「バス」(26.2%)、「自転車」(12.9%)が続く。



■ 通勤・通学の所要時間

- ・「30分未満」(32.1%)が最も多く、続く「30分から1時間未満」(30.1%)と合わせると6割を超える。



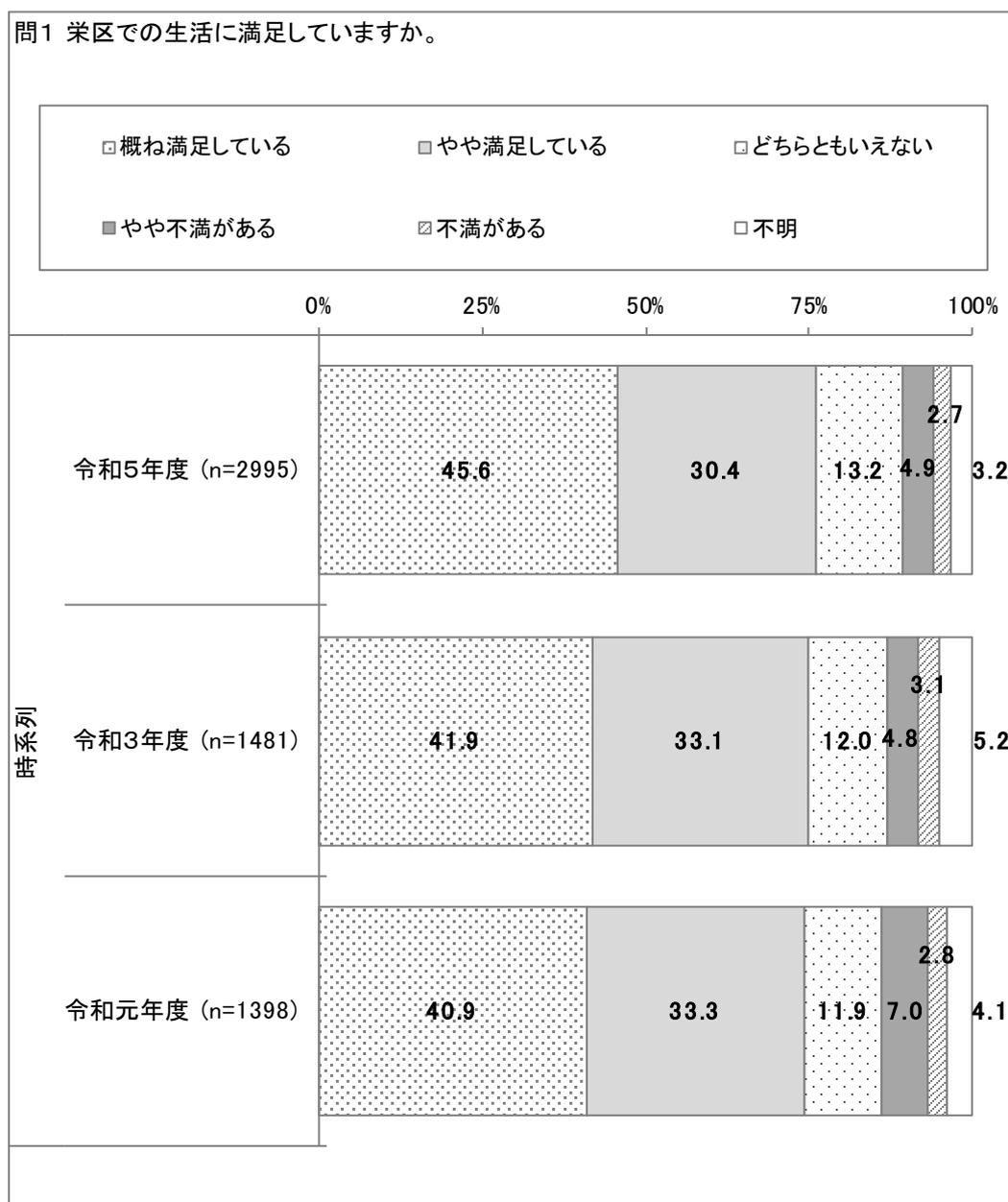
集計分析結果

1 生活の満足度について

(1) 栄区での生活満足度（問1）

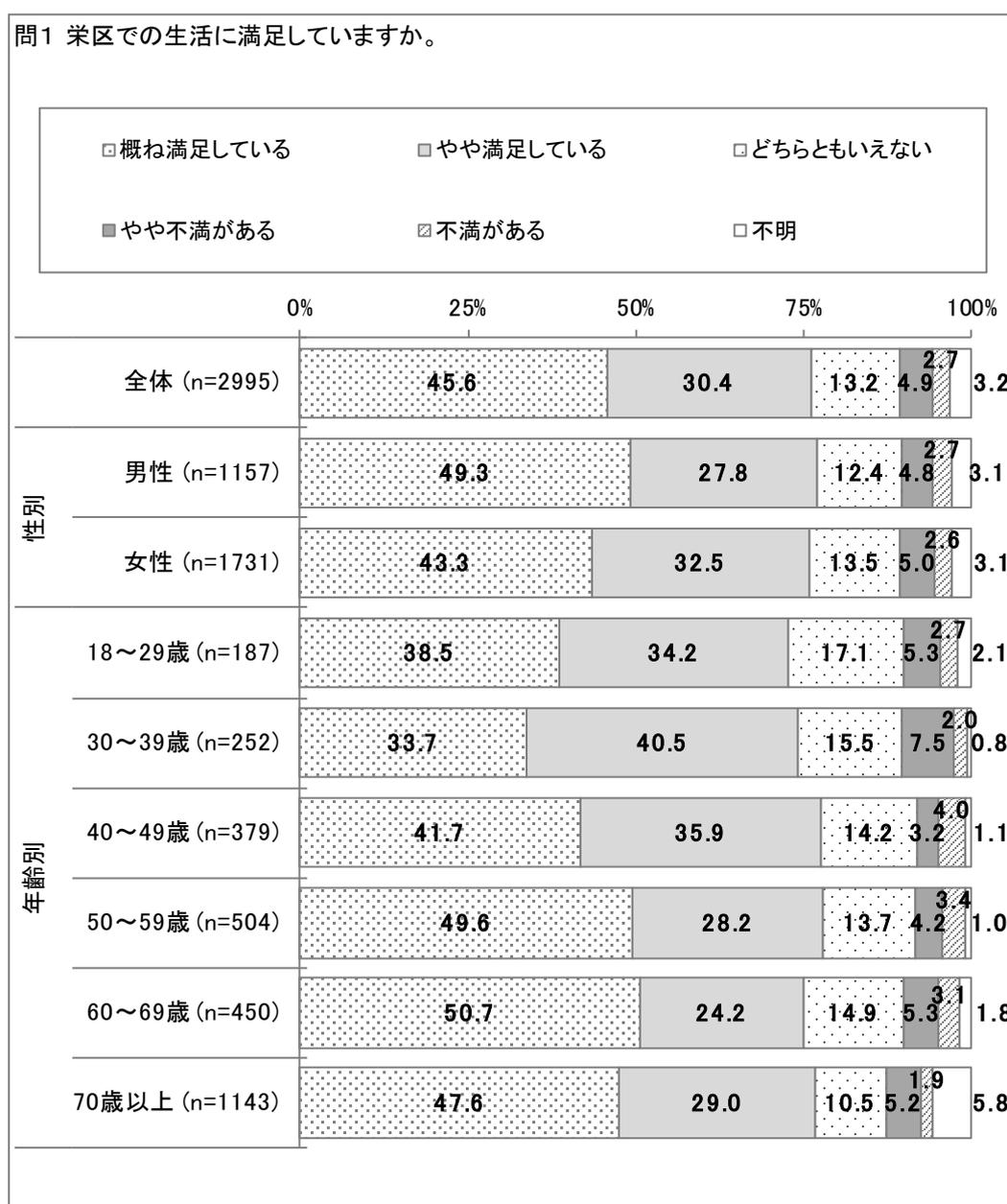
ア 栄区での生活満足度：全体・時系列

- ・「概ね満足している」（45.6%）と「やや満足している」（30.4%）を合わせると（以下『満足』）76.0%が『満足』していると回答している。
- ・一方で「やや不満がある」、「不満がある」の合計（以下『不満』）の割合は7.6%である。
- ・時系列の変化をみると『満足』の割合に微増傾向が見られる。



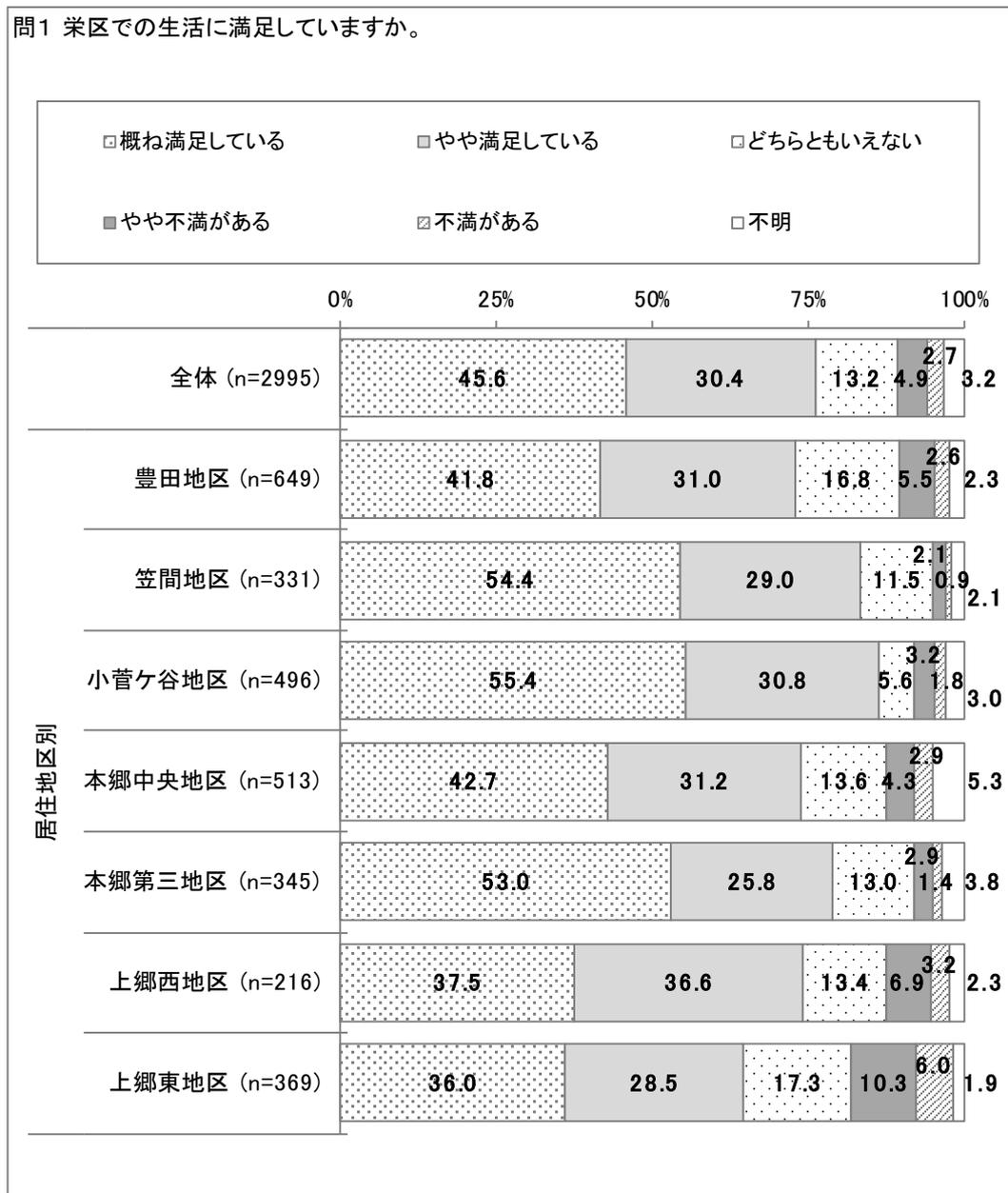
イ 栄区での生活満足度：性別・年齢別

- ・性別では『満足』の割合はほぼ差が見られないが、「概ね満足している」の割合は男性が女性を6ポイント上回っている。
- ・年齢別ではどの年代も『満足』の割合には大きな差は見られないが、「概ね満足している」の割合は「60～69歳」（50.7%）が最も多い。
- ・一方、『不満』は「30～39歳」（9.5%）が最も多い。



ウ 栄区での生活満足度：居住地区別

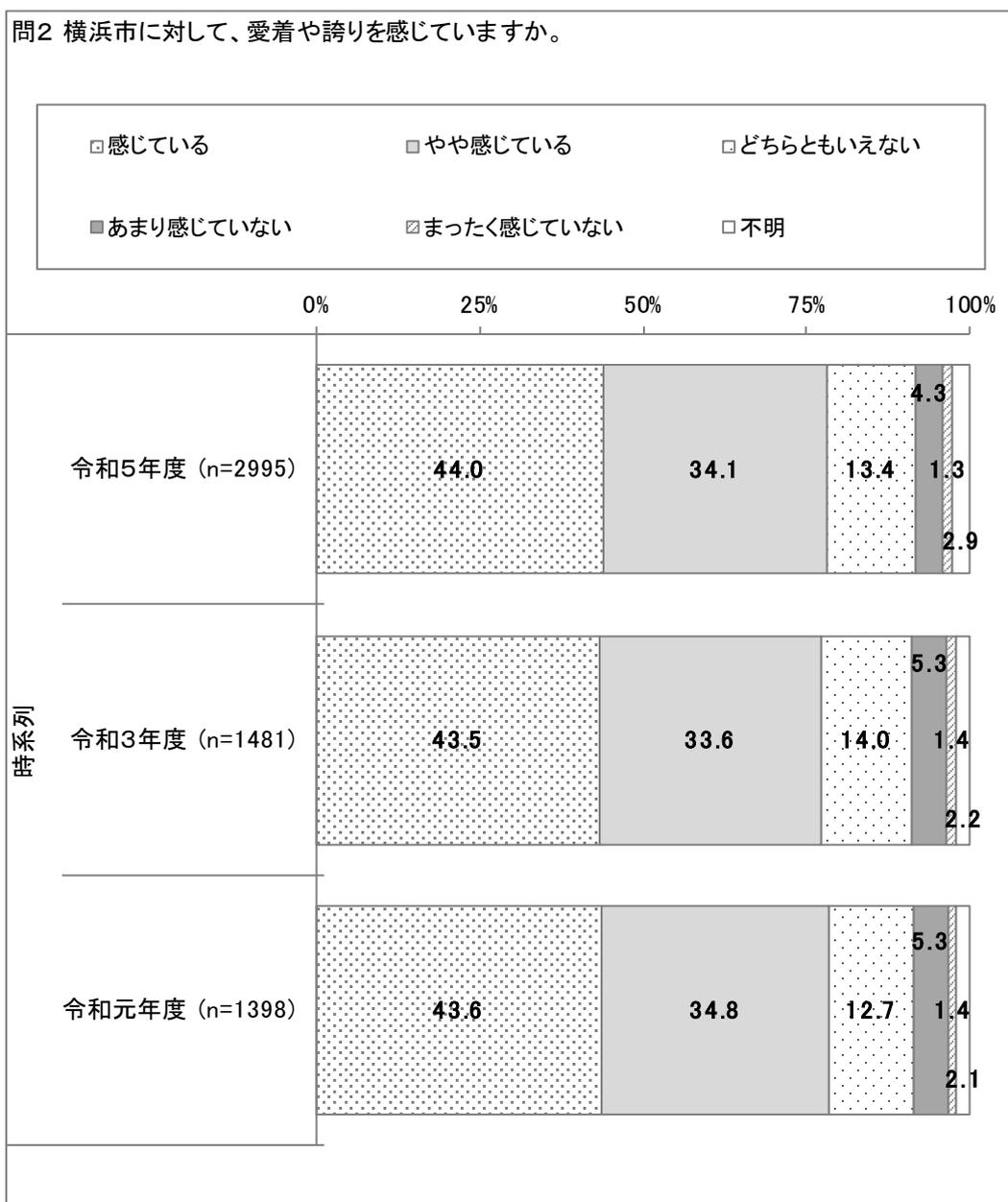
- ・『満足』が最も多いのは小菅ヶ谷地区（86.2%）で、笠間地区（83.4%）が続く。
- ・一方『不満』が最も多いのは上郷東地区（16.3%）で、全体より9.7ポイント多い。



(2) 横浜市への愛着や誇り（問2-1）

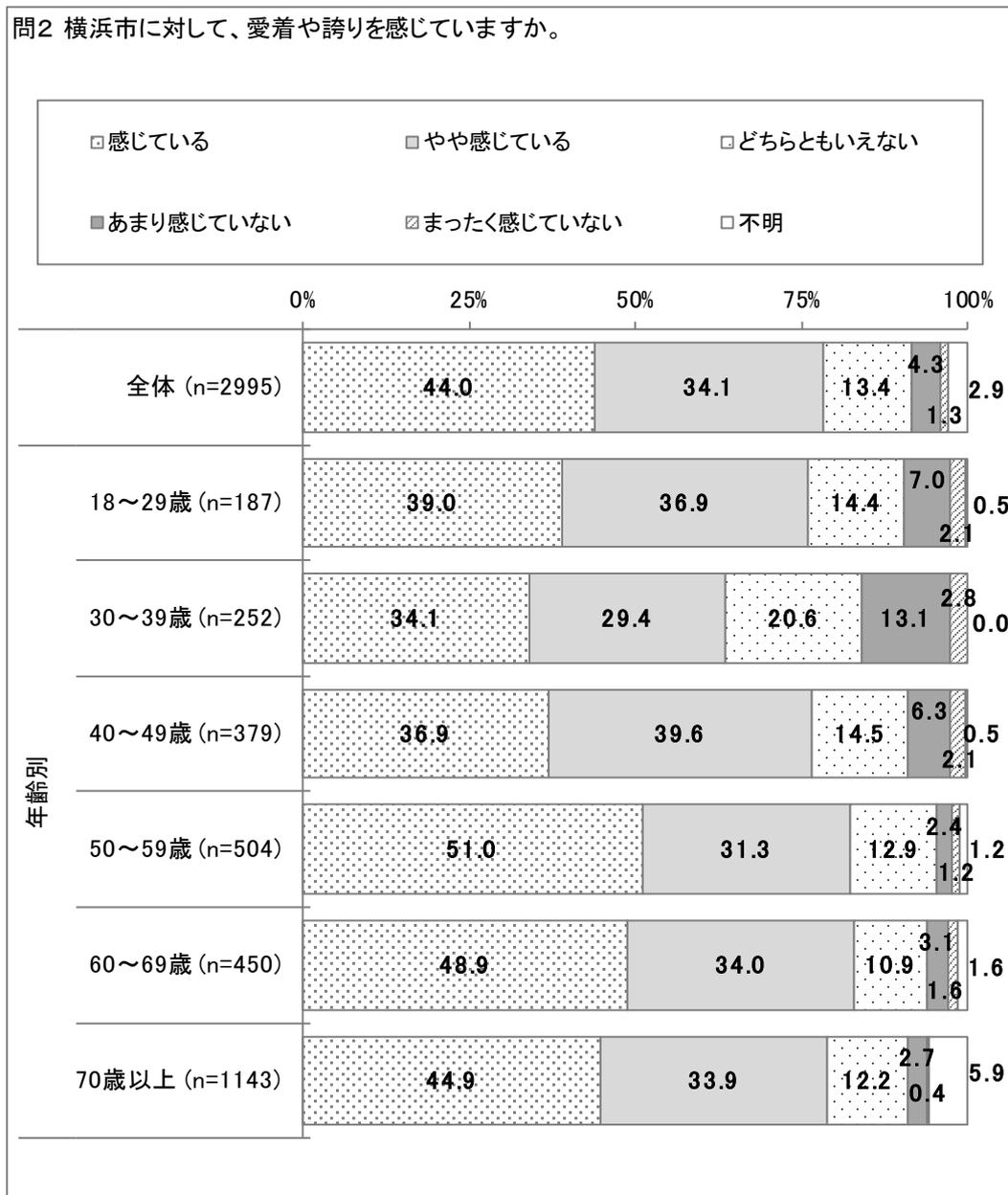
ア 横浜市への愛着や誇り：全体・時系列

- ・「感じている」（44.0%）と「やや感じている」（34.1%）を合わせると（以下『感じている』）78.1%が『感じている』と回答している。
- ・一方で「あまり感じていない」、「まったく感じていない」の合計（以下『感じていない』）の割合は5.6%である。
- ・時系列の変化をみると『感じている』の割合は約8割で推移しており、全体の傾向に大きな変化は見られない。



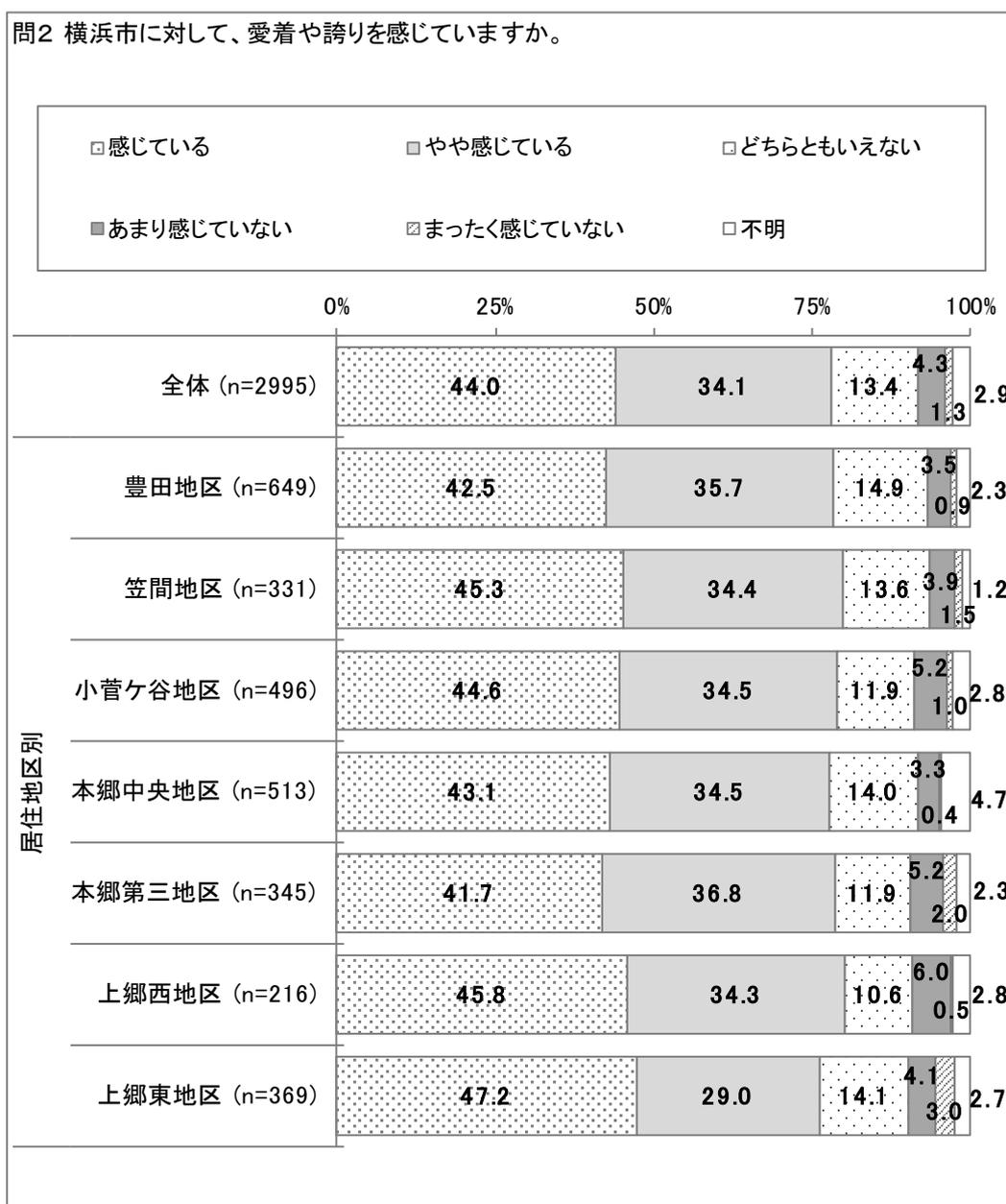
イ 横浜市への愛着や誇り：年齢別

- ・年齢別では「50～59歳」と「60～69歳」で『感じている』との回答が多く8割を超えている。
- ・「30～39歳」では『感じている』（63.5%）との回答が他の年齢と比べ少なく7割を下回っている。



ウ 横浜市への愛着や誇り：居住地区別

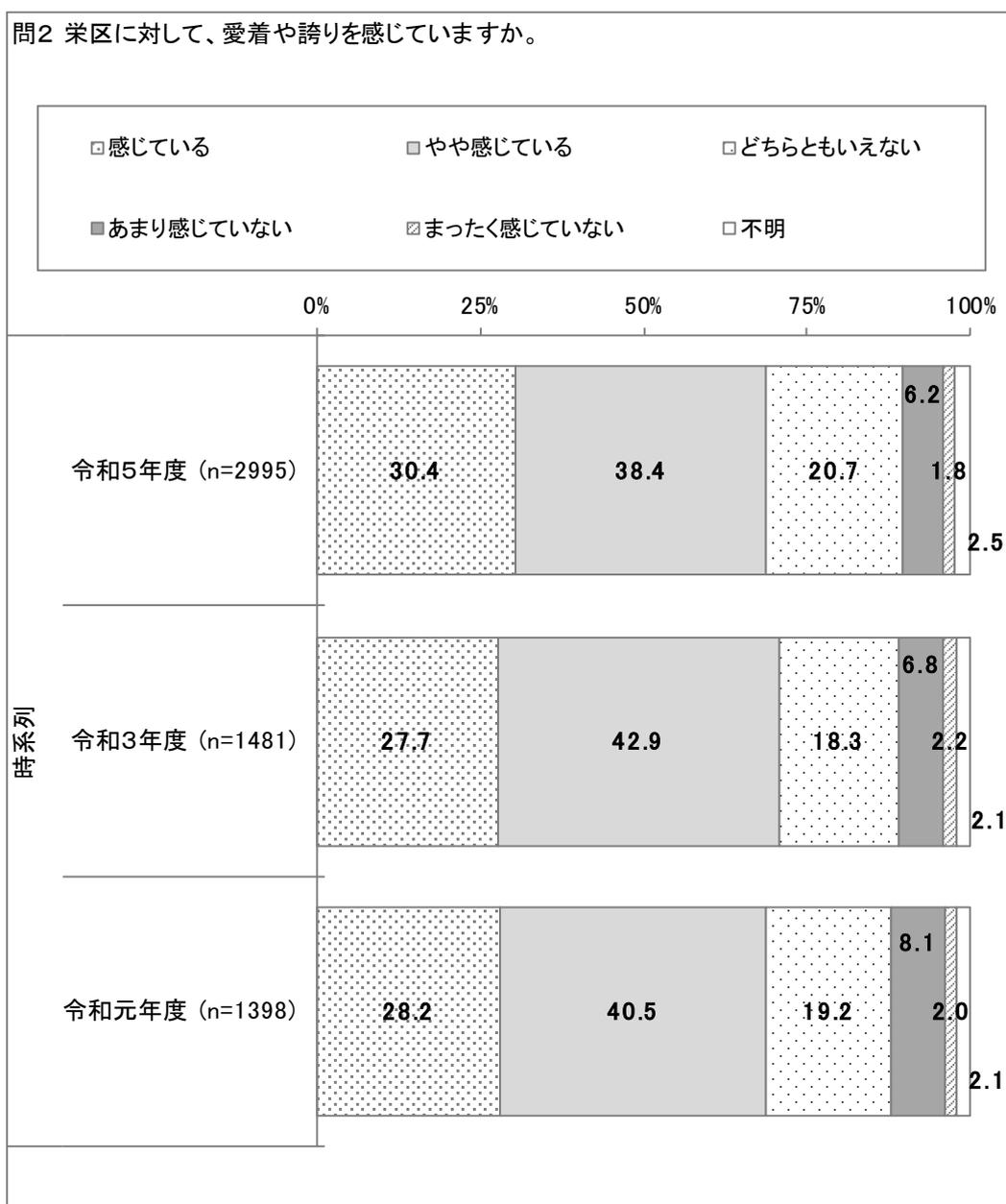
- ・居住地区別ではどの地区も『感じている』が約8割で大きな差は見られない。



(3) 栄区への愛着や誇り（問2-2）

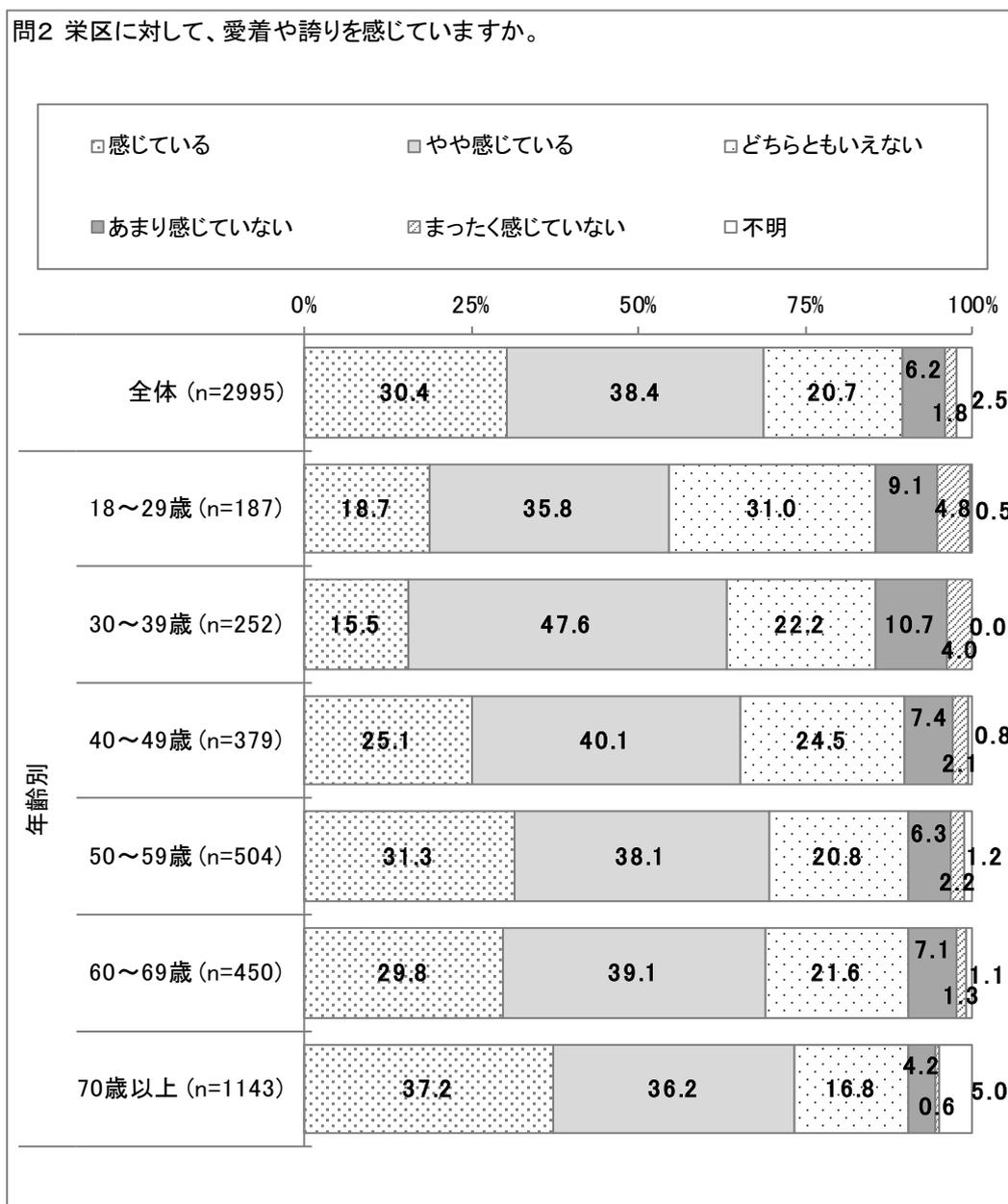
ア 栄区への愛着や誇り：全体・時系列

- ・「感じている」（30.4%）と「やや感じている」（38.4%）を合わせると（以下『感じている』）68.8%が『感じている』と回答している。
- ・一方で「あまり感じていない」、「まったく感じていない」の合計（以下『感じていない』）の割合は8.0%である。
- ・時系列の変化をみると『感じている』の割合は約7割で大きな変化は見られない。



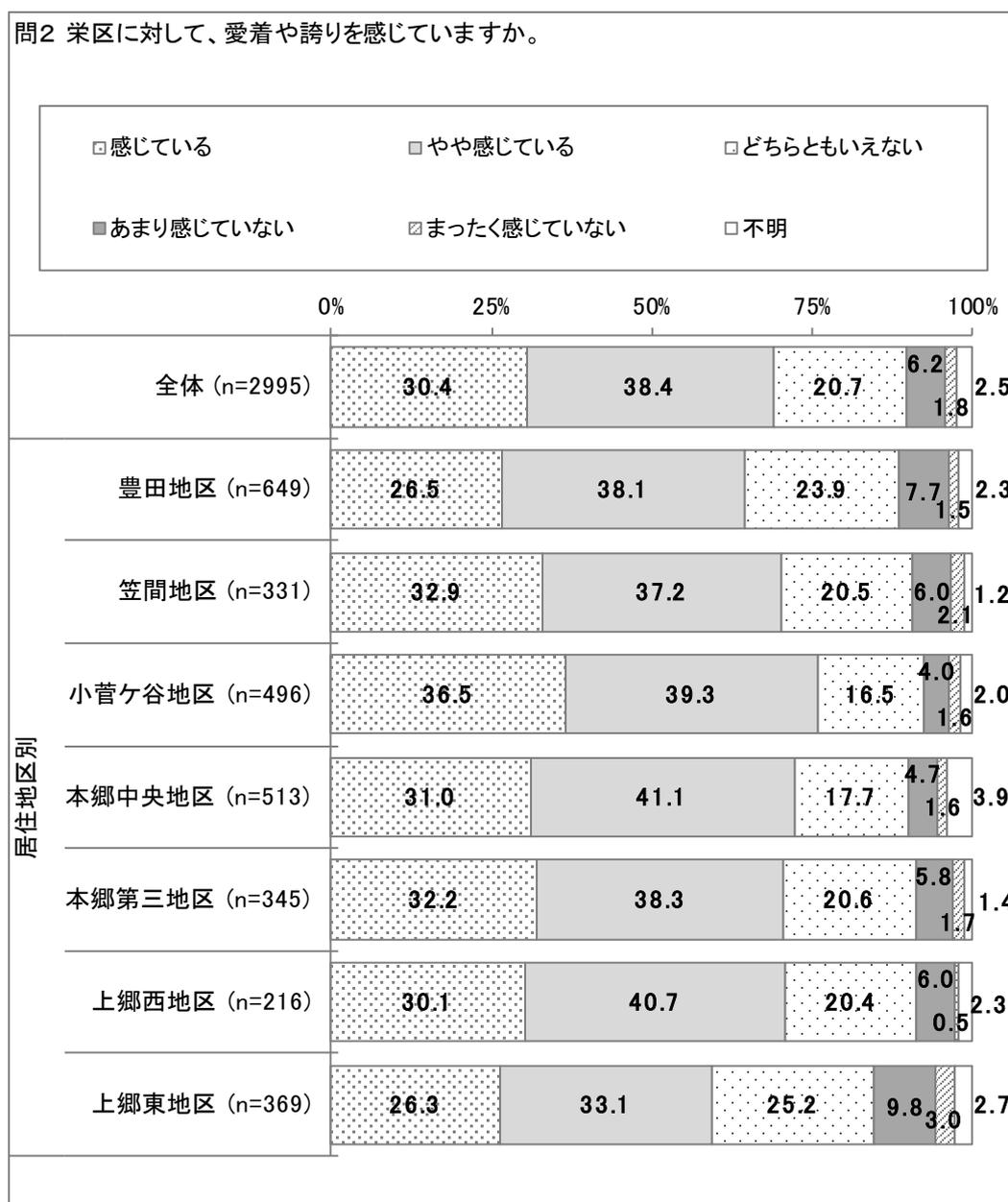
イ 栄区への愛着や誇り：年齢別

- ・年齢別では、年代が上がるにつれ『感じている』との回答が多くなる傾向が見られ、「18～29歳」では54.5%、「70歳以上」では73.4%とその差は18.9ポイントである。
- ・一方で『感じていない』が最も多い年代は、「30～39歳」である。



ウ 栄区への愛着や誇り：居住地区別

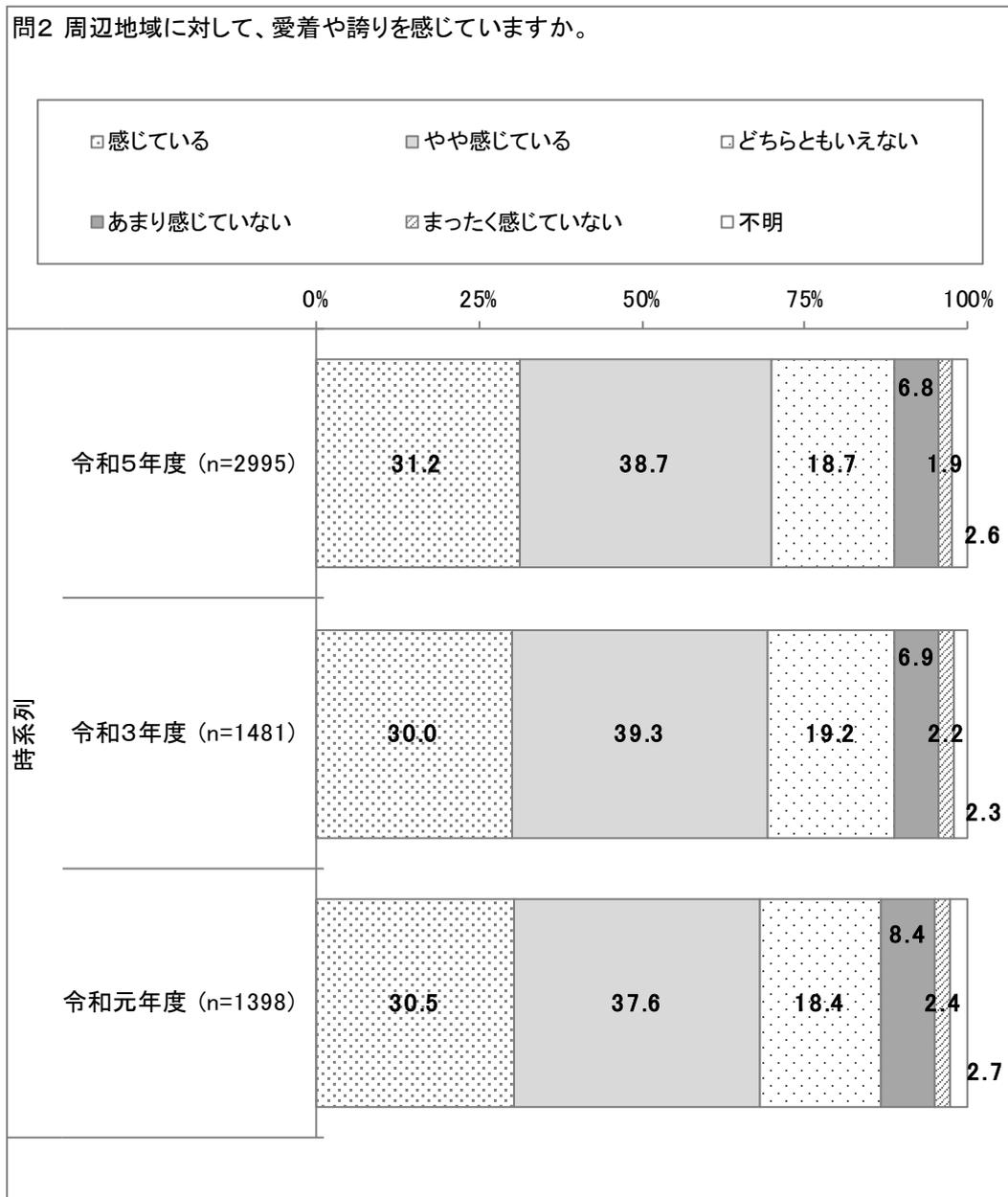
- ・居住地区別では、『感じている』が最も多いのは小菅ヶ谷地区（75.8%）で、本郷中央地区（72.1%）、上郷西地区（70.8%）の順に続く。



(4) 周辺地域への愛着や誇り（問2－3）

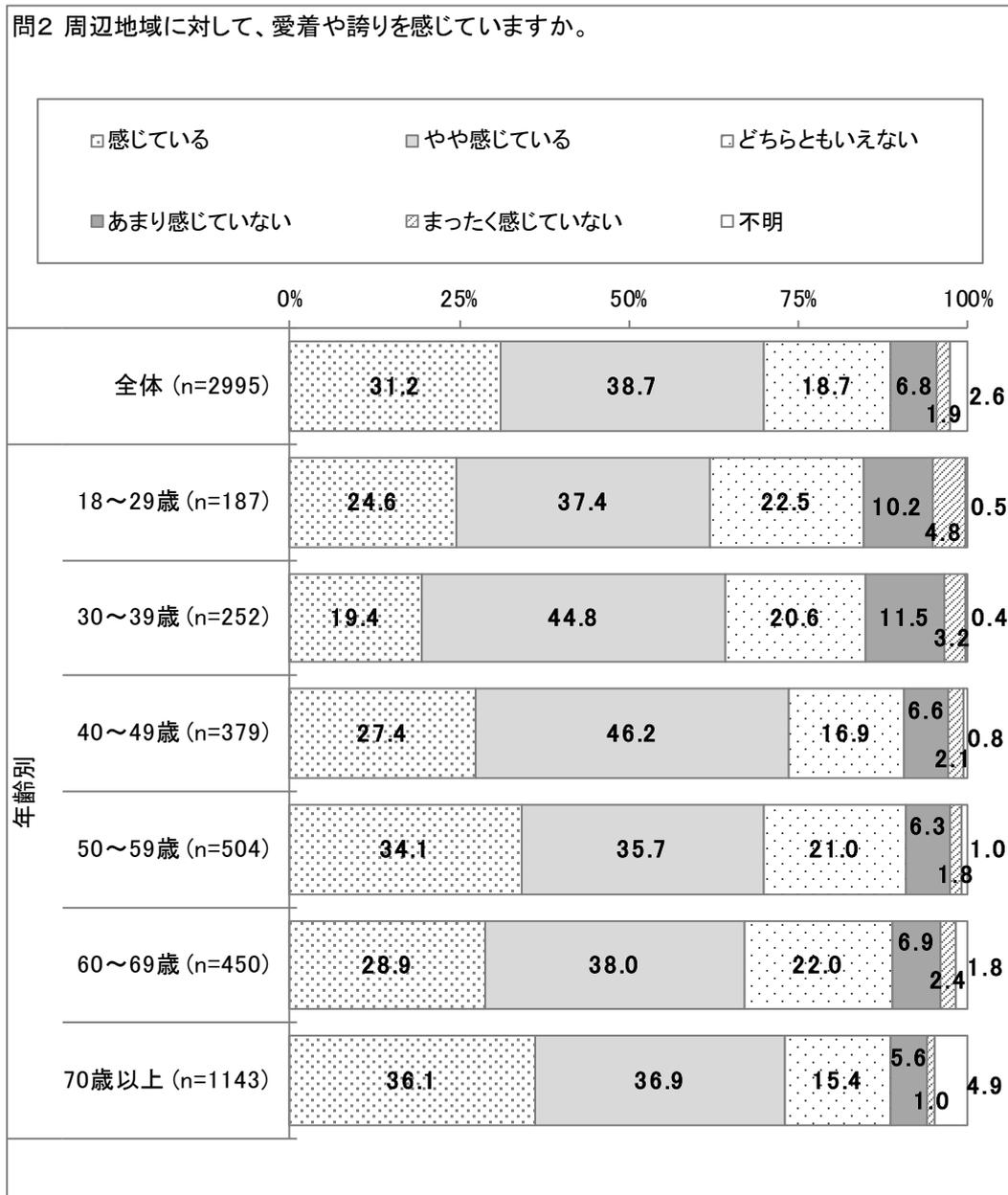
ア 周辺地域への愛着や誇り：全体・時系列

- ・「感じている」（31.2%）と「やや感じている」（38.7%）を合わせると（以下『感じている』）69.9%が『感じている』と回答している。
- ・一方で「あまり感じていない」、「まったく感じていない」の合計（以下『感じていない』）の割合は8.8%である。
- ・時系列の変化をみると『感じている』の割合は約7割で推移しており、全体の傾向に大きな変化は見られない。



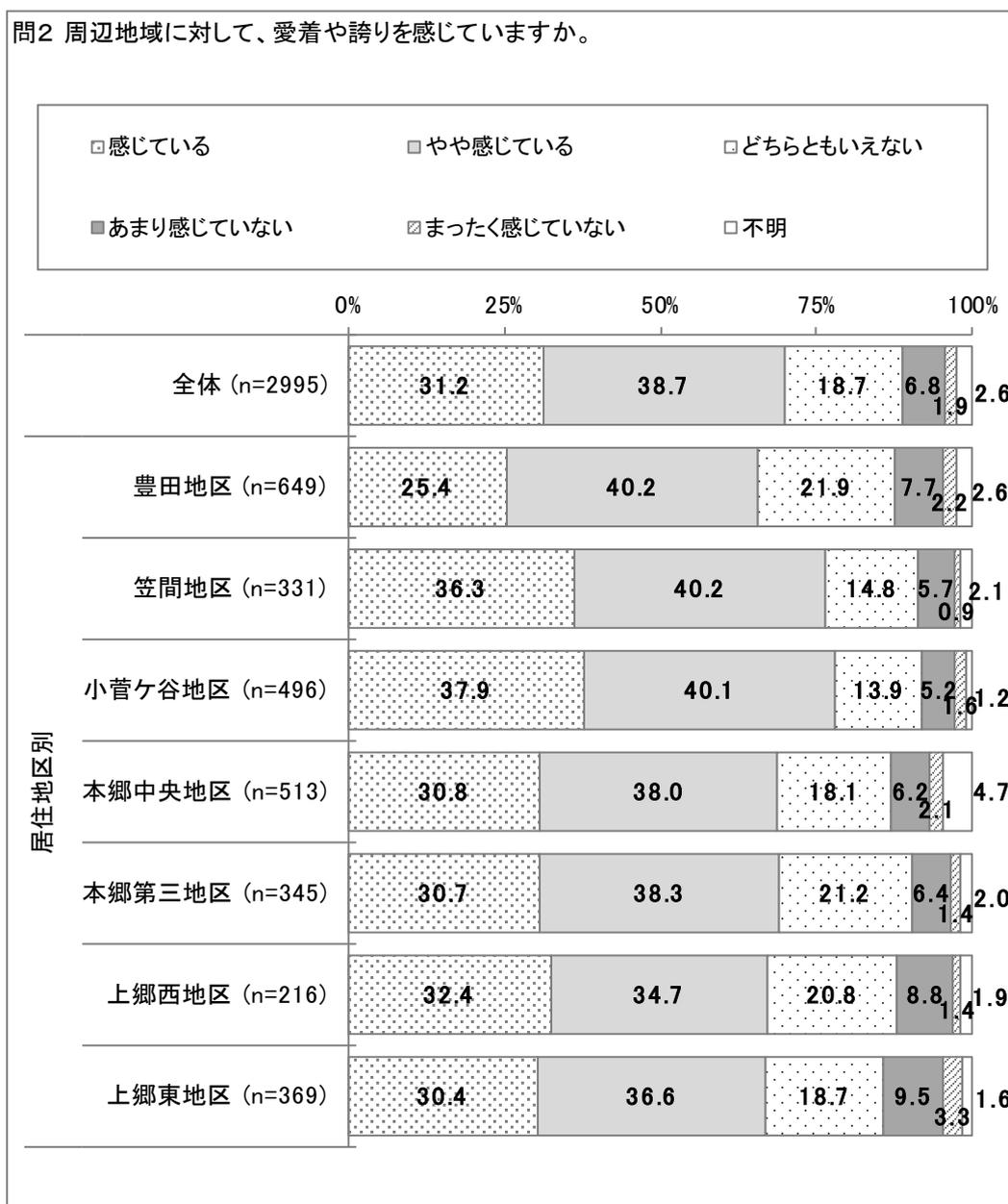
イ 周辺地域への愛着や誇り：年齢別

- ・年齢別では「40～49歳」（73.6%）と「70歳以上」（73.1%）で『感じている』との回答が多く、7割を超えている。
- ・「18～29歳」（62.0%）と「30～39歳」（64.3%）では『感じている』との回答が他の年齢と比べ少ない。



ウ 周辺地域への愛着や誇り：居住地区別

- ・居住地区別では、小菅ヶ谷地区（78.0%）と笠間地区（76.4%）で『感じている』との回答が多く、7割を超えている。

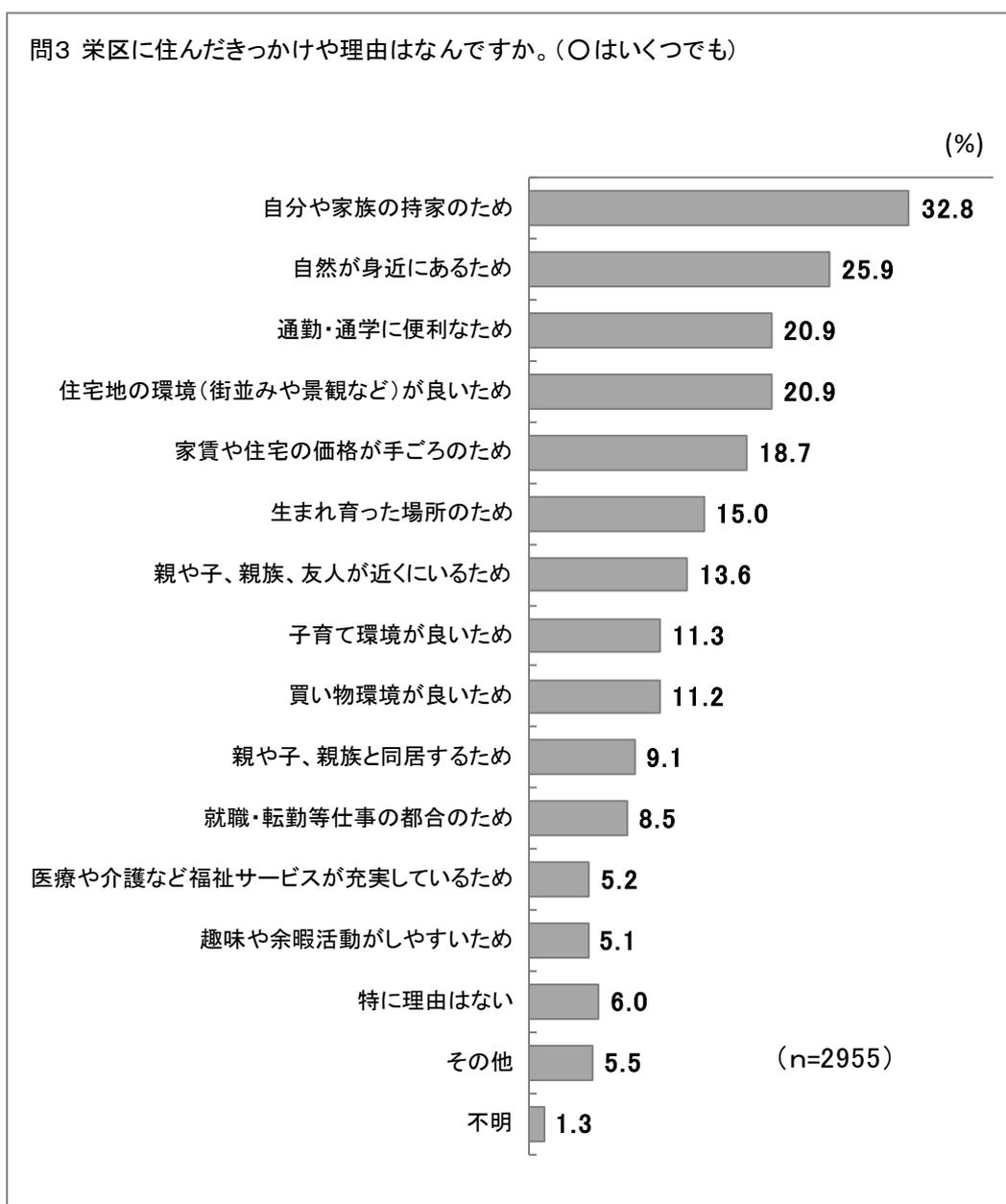


2 定住意向について

(1) 栄区に住んだきっかけや理由（問3）

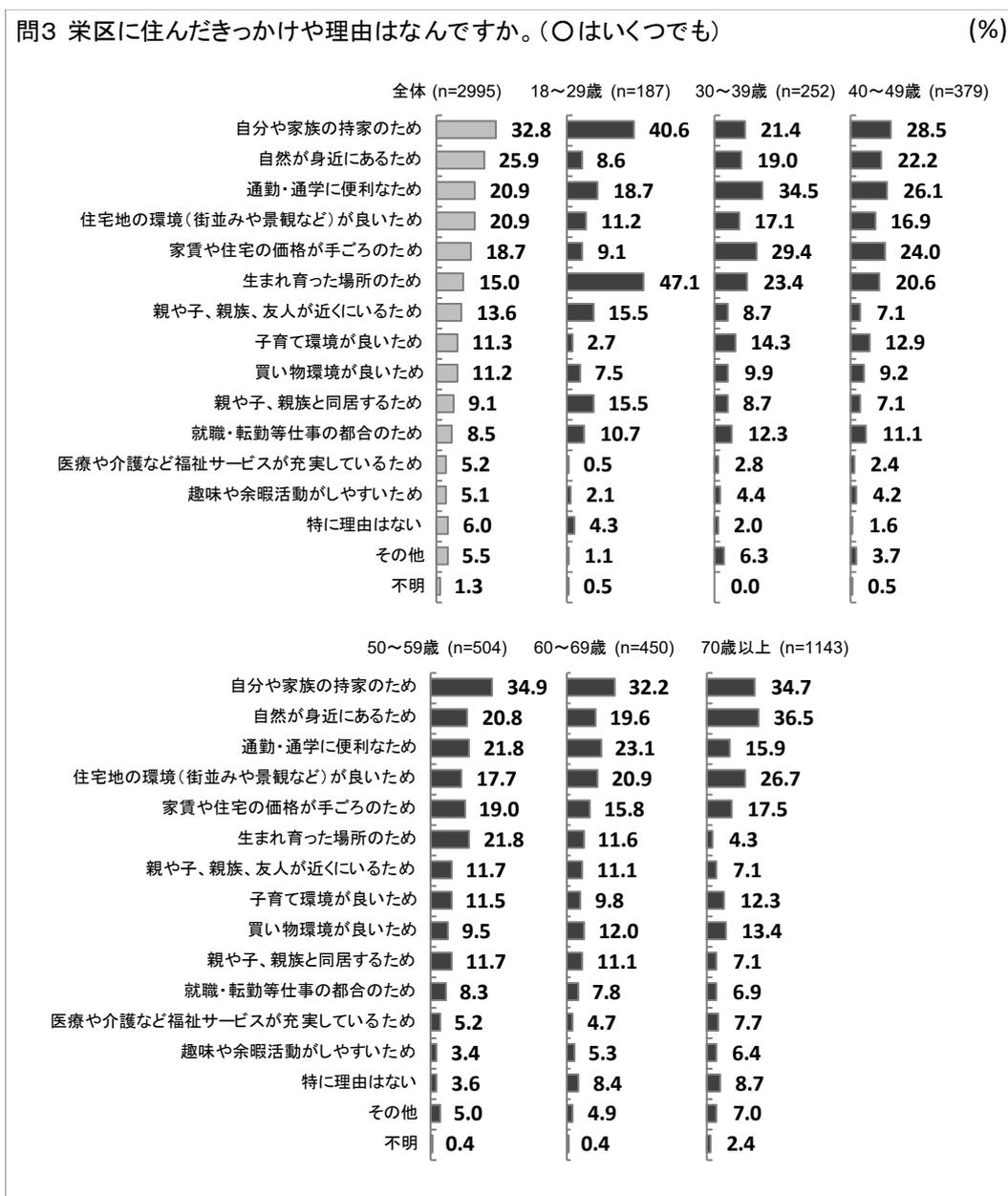
ア 栄区に住んだきっかけや理由：全体

- ・「自分や家族の持家のため」（32.8%）が最も多く、「自然が身近にあるため」（25.9%）、「通勤・通学に便利のため」、「住宅地の環境（街並みや景観など）が良いため」がそれぞれ20.9%で上位にあげられている。



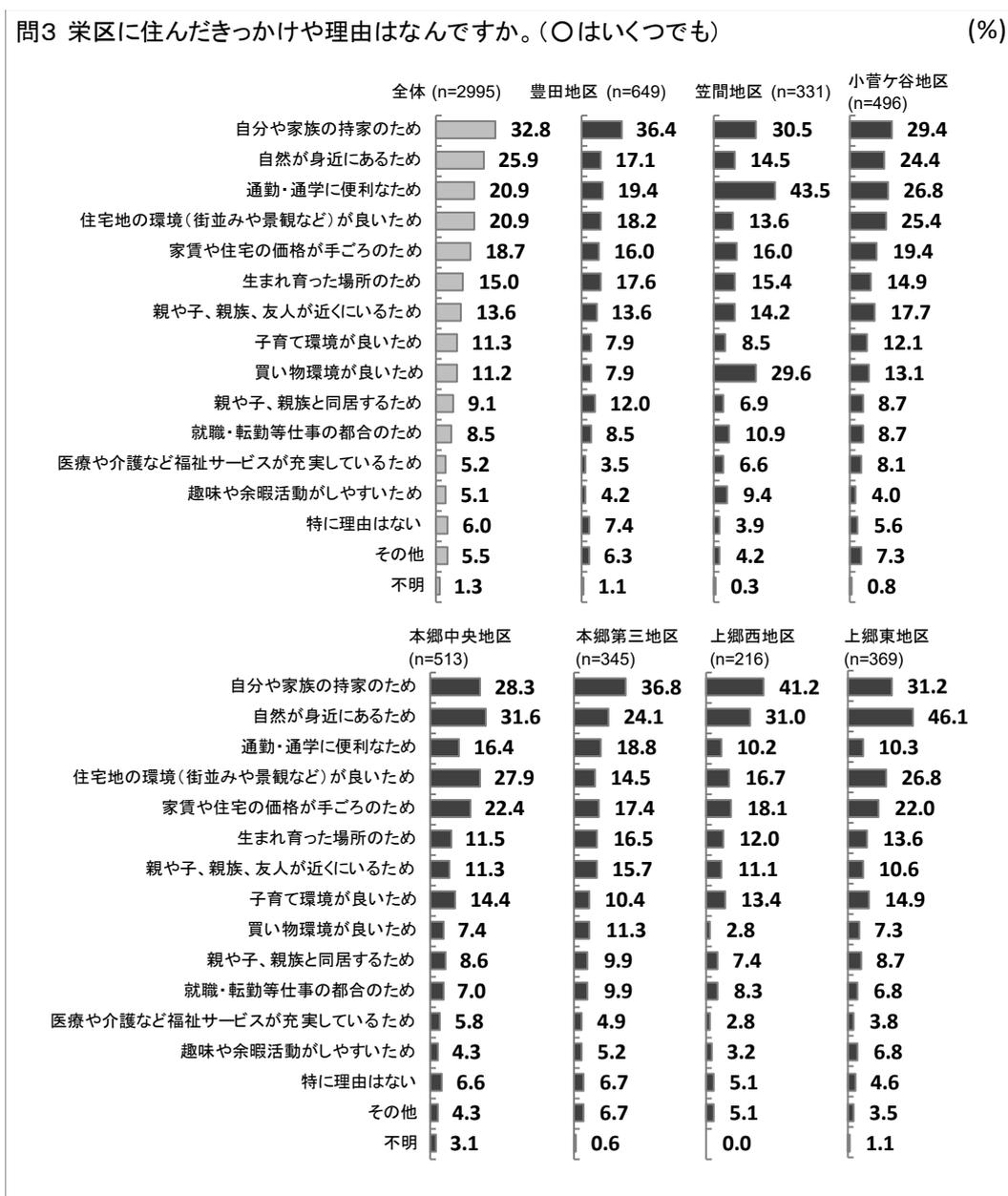
イ 栄区に住んだきっかけや理由：年齢別

- ・年齢別では「18～29歳」で「生まれ育った場所のため」（47.1%）が最も多く、全体に比べ30ポイント以上多くなっている。
- ・「30～39歳」では「通勤・通学に便利のため」（34.5%）が最も多く、「家賃や住宅の価格が手ごろのため」（29.4%）が続く。
- ・「40～49歳」では「自分や家族の持家のため」（28.5%）が最も多く、「通勤・通学に便利のため」（26.1%）、「家賃や住宅の価格が手ごろのため」（24.0%）の順に続く。
- ・「50～59歳」と「60～69歳」では「自分や家族の持家のため」が最も多く、「70歳以上」では「自然が身近にあるため」（36.5%）が最も多い回答である。



ウ 栄区に住んだきっかけや理由：居住地区別

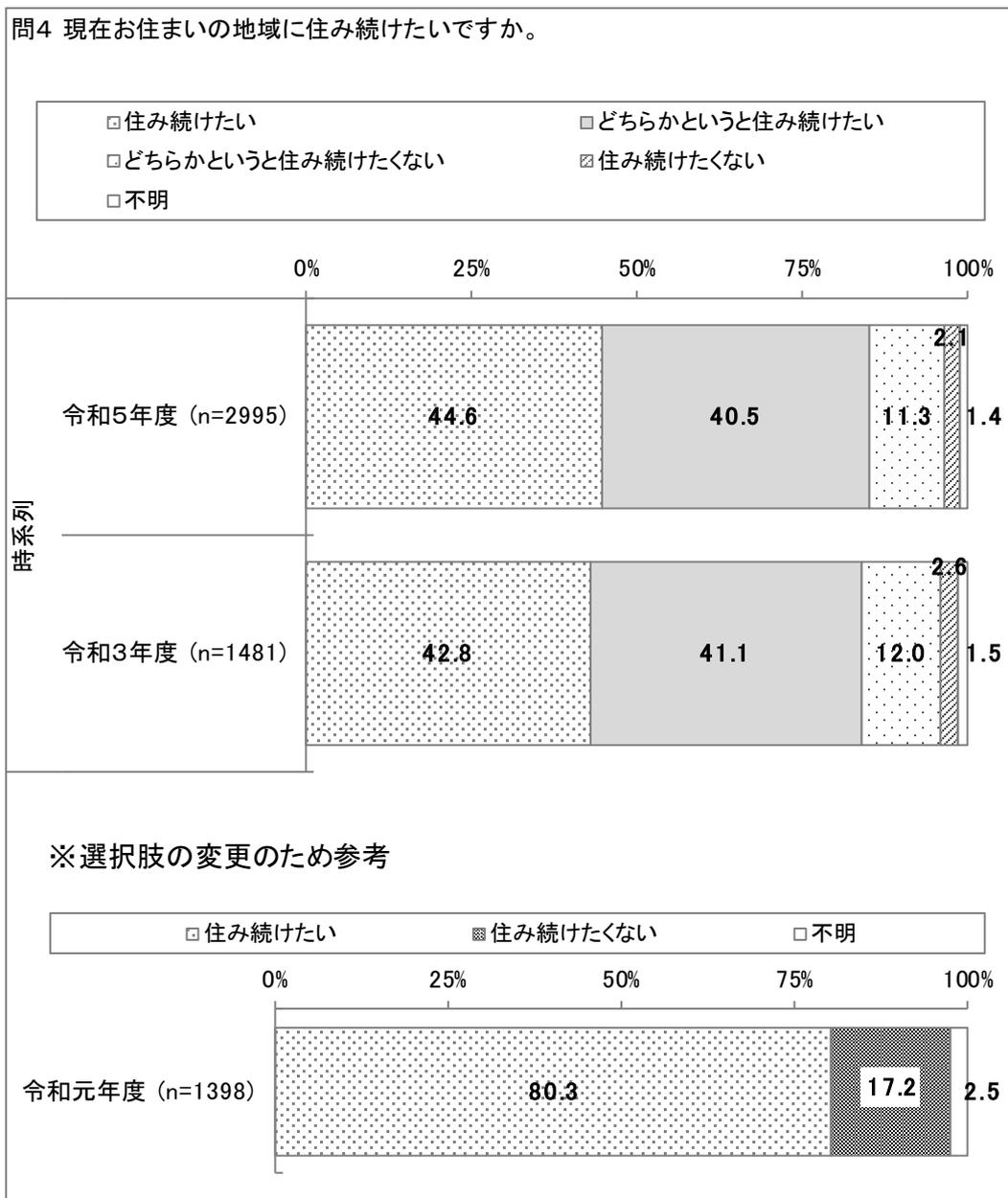
- ・居住地区別では豊田地区、小菅ヶ谷地区、本郷第三地区、上郷西地区で「自分や家族の持家のため」が最も多い。
- ・笠間地区では「通勤・通学に便利のため」が最も多い。
- ・本郷中央地区、上郷東地区では「自然が身近にあるため」が最も多い回答である。



(2) 定住意向（問4）

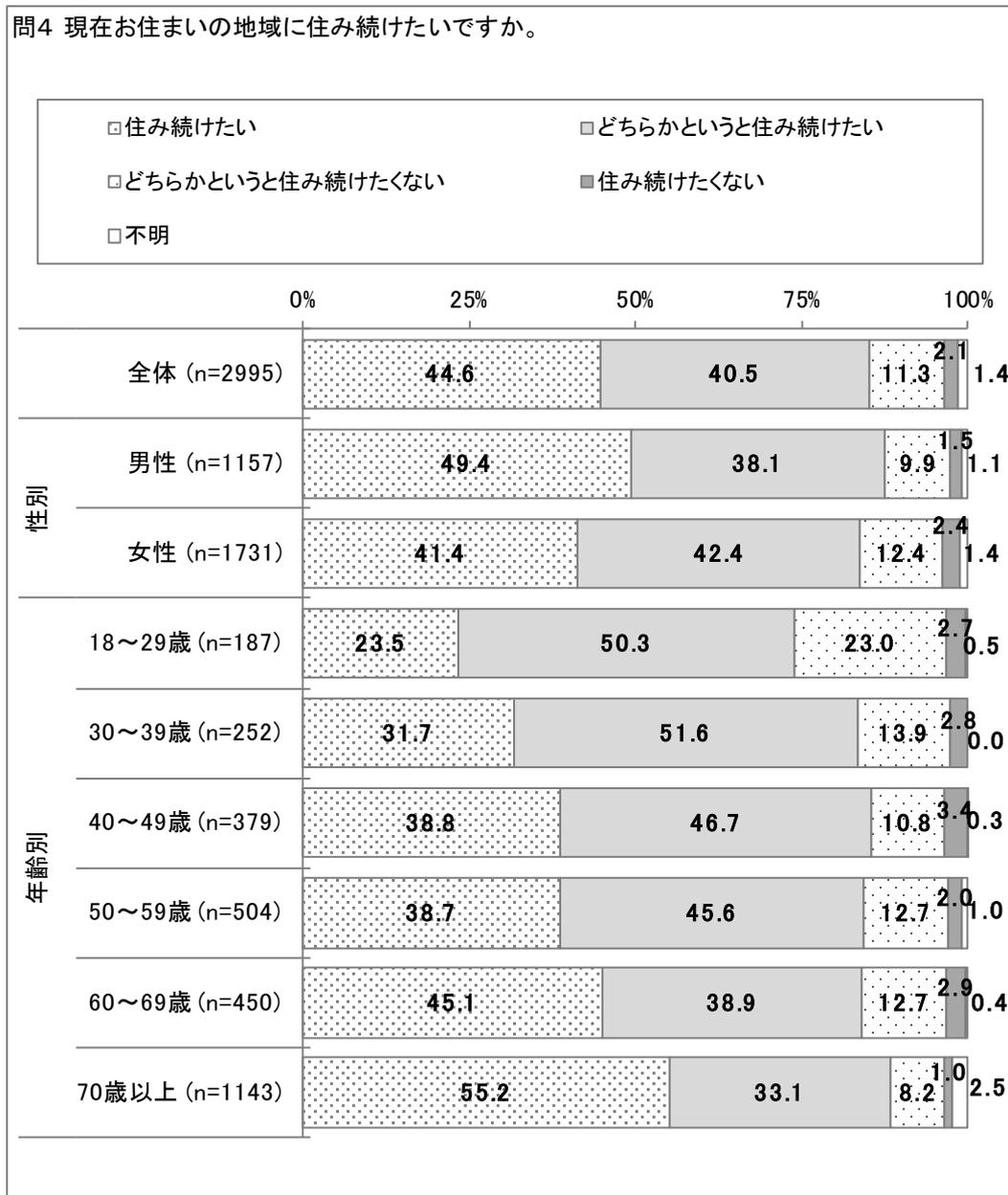
ア 定住意向：全体・時系列

- ・「住み続けたい」と「どちらかというに住み続けたい」を合わせた現在の居住地に『住み続けたい』の割合は85.2%である。
- ・時系列では、「住み続けたい」と「どちらかというに住み続けたい」が8割強と、大きな変化は見られない。



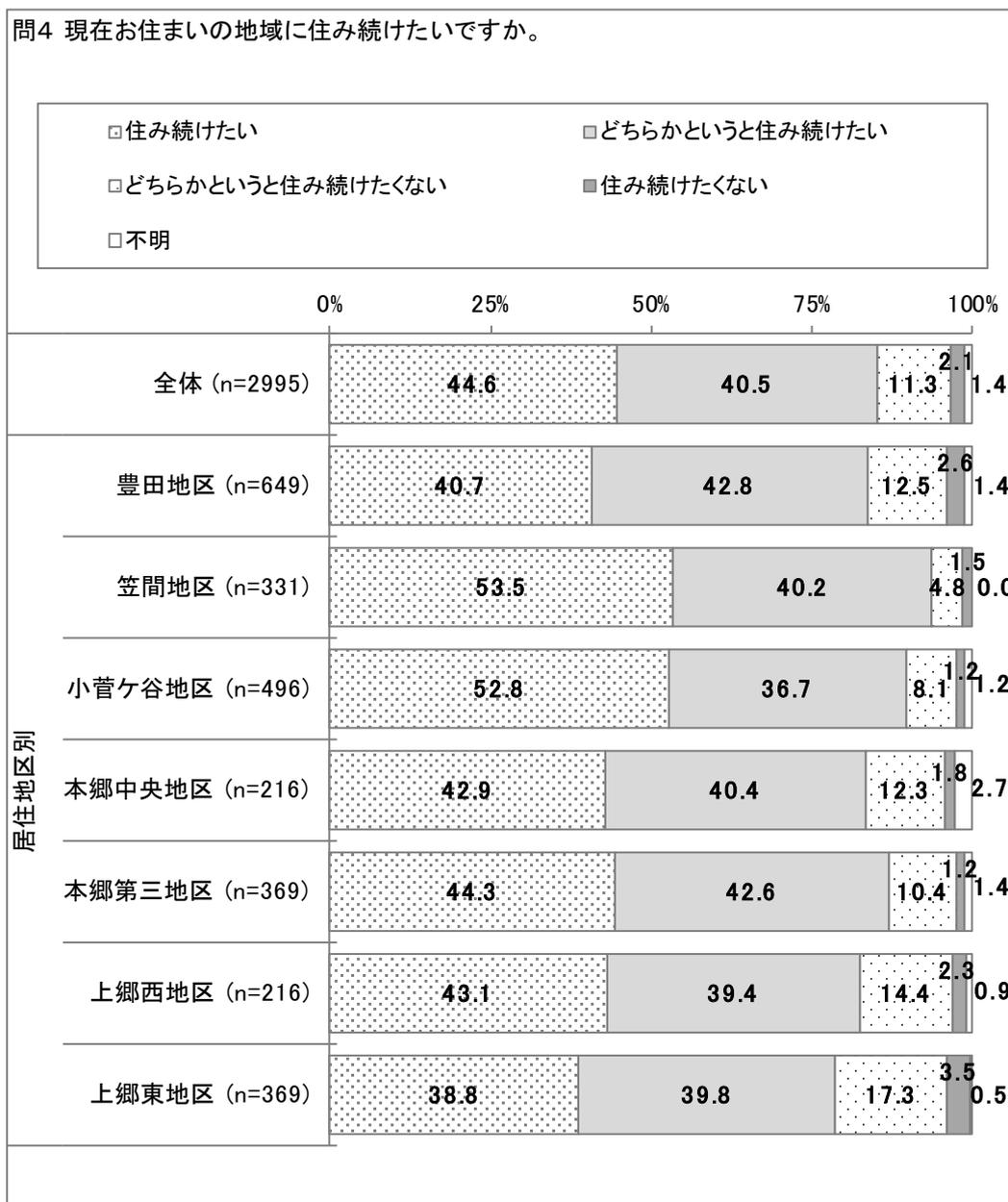
イ 定住意向：性別・年齢別

- ・性別の違いをみると、『住みたい』の割合は男性（87.5%）が女性（83.8%）を上回っている。
- ・年齢別では、年代が上がるにつれ『住みたい』との回答が多くなる傾向が見られ、「18～29歳」では73.8%、「70歳以上」では88.3%とその差は14.5ポイントである。



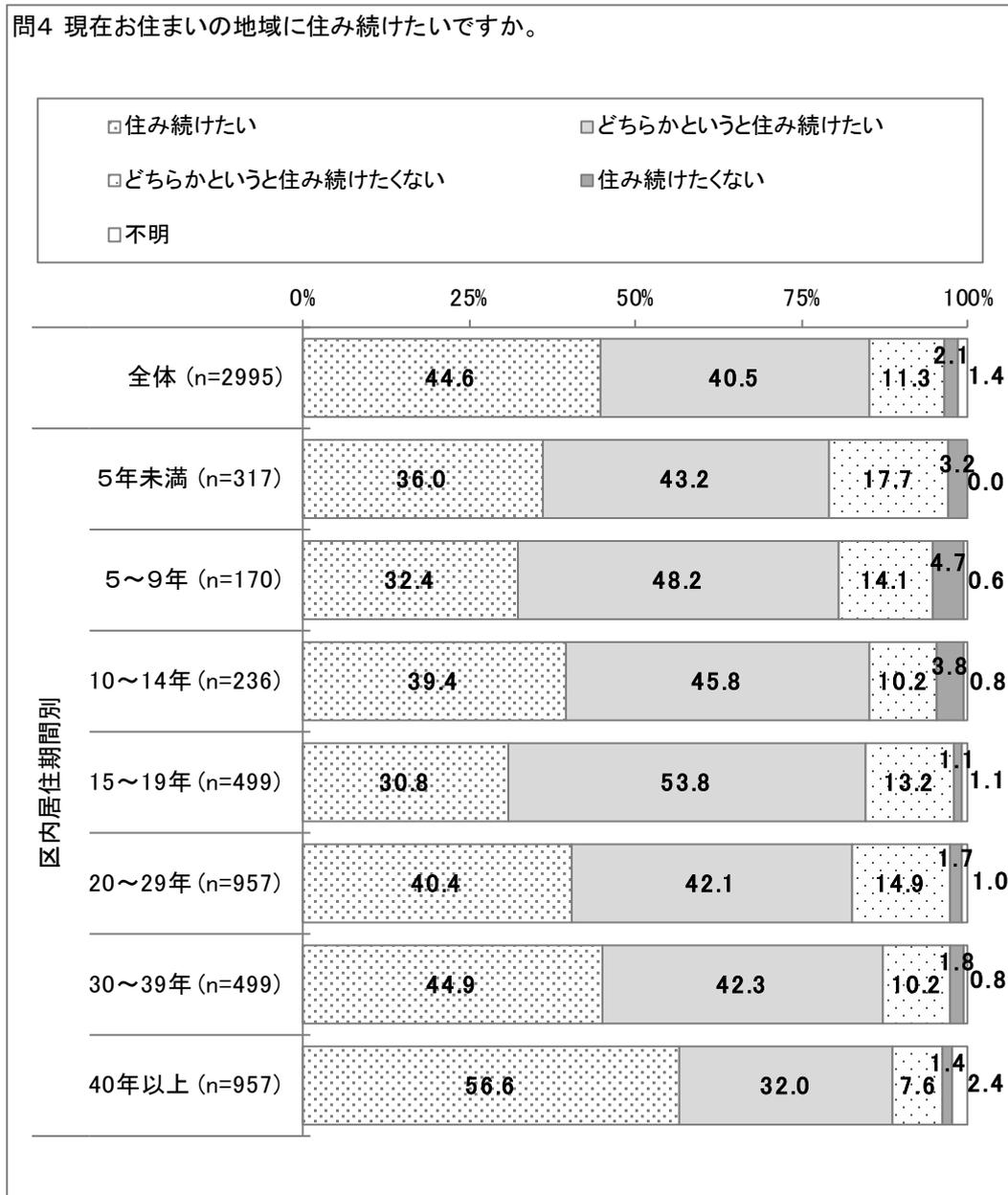
ウ 定住意向：居住地区別

- ・居住地区別では、笠間地区で『住み続けたい』との回答が93.7%と最も多くなっており、小菅ヶ谷地区（89.5%）、本郷第三地区（87.0%）の順に続く。



ウ 定住意向：区内居住期間別

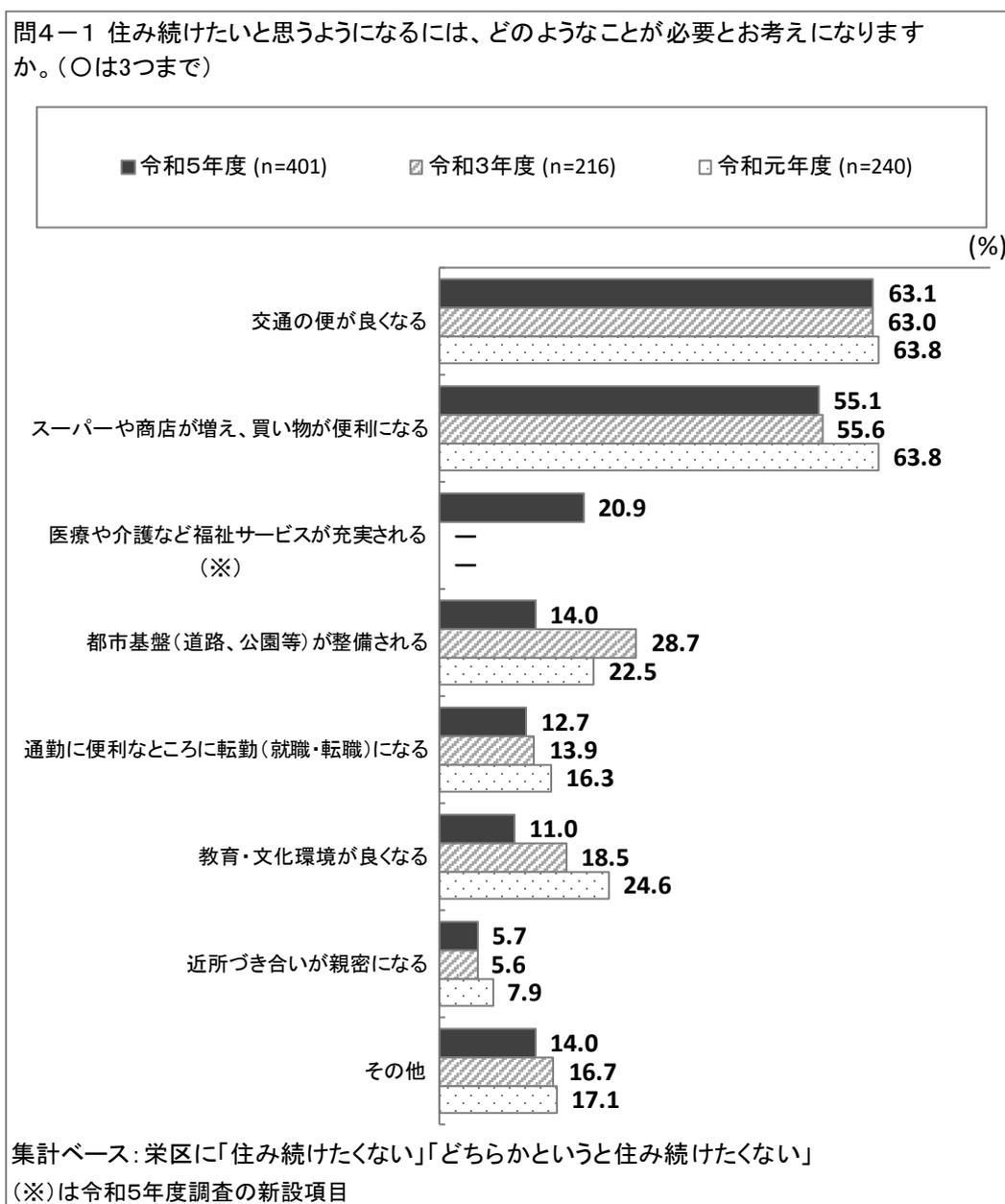
- 区内居住期間別では、居住期間が長くなるほど『住み続けたい』との回答が多くなる傾向が見られ、最も多い「40年以上」（88.6%）は最も少ない「5年未満」（79.2%）を9.4ポイント上回っている。



(3) 住みたいと思うようになるのに必要なこと（問4-1）

ア 住みたいと思うようになるのに必要なこと：全体・時系列

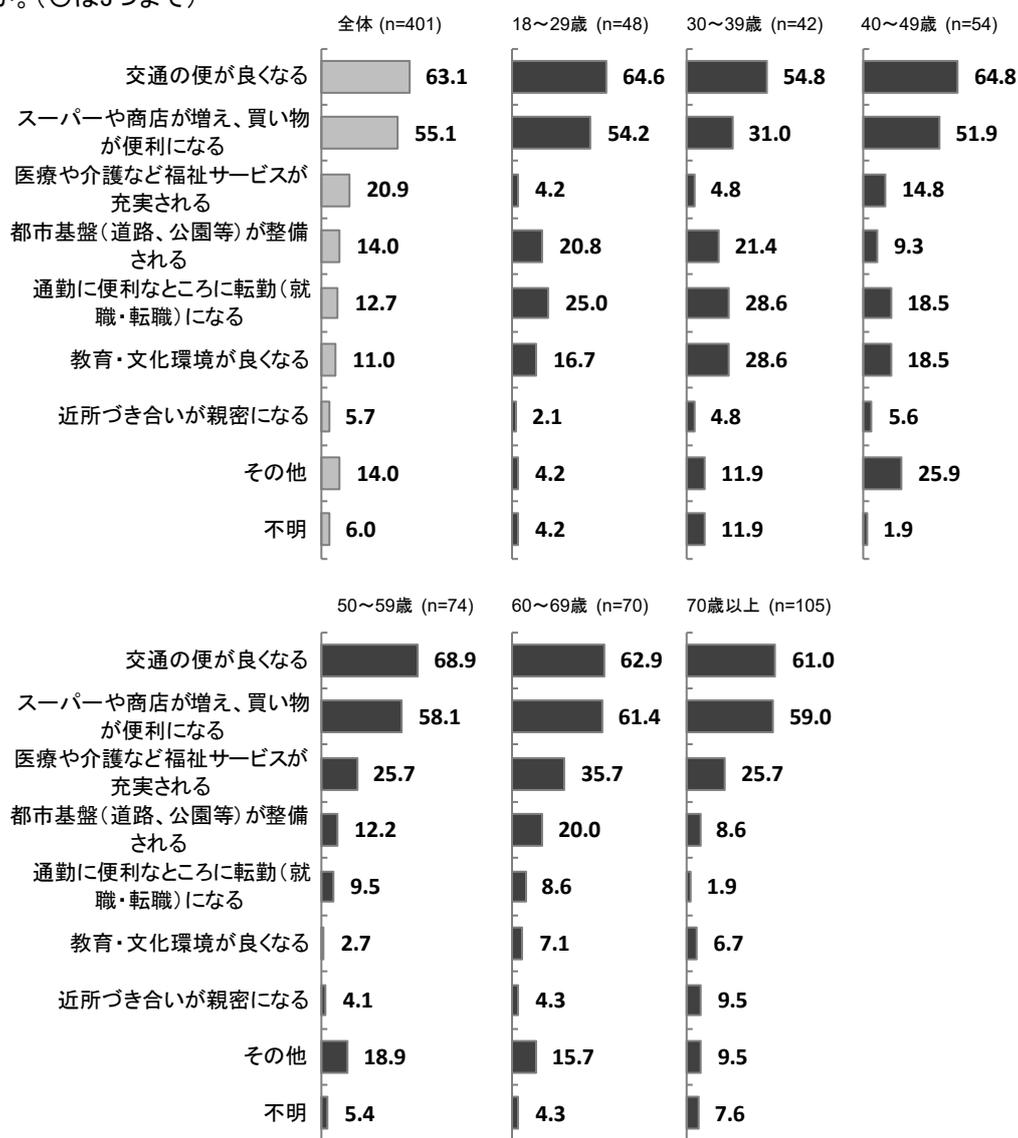
- ・「交通の便が良くなる」（63.1%）、「スーパーや商店が増え、買い物が便利になる」（55.1%）が5割を超え、他の項目を大きく上回る。
- ・時系列では、選択肢が新設されているため単純比較が難しいが、「交通の便が良くなる」と「近所づき合いが親密になる」以外の項目は前回調査より少ない回答となっている。



イ 住み続けたいと思うようになるのに必要なこと：年齢別

- ・いずれの年代も「交通の便が良くなる」が最も多い回答で、なかでも「50～59歳」（68.9%）は全体より5.8ポイント多い。
- ・「スーパーや商店が増え、買い物が便利になる」はいずれの年代も2番目に多い回答となっている。特に「60～69歳」（61.4%）では6割を超え全体より6.3ポイント多い。

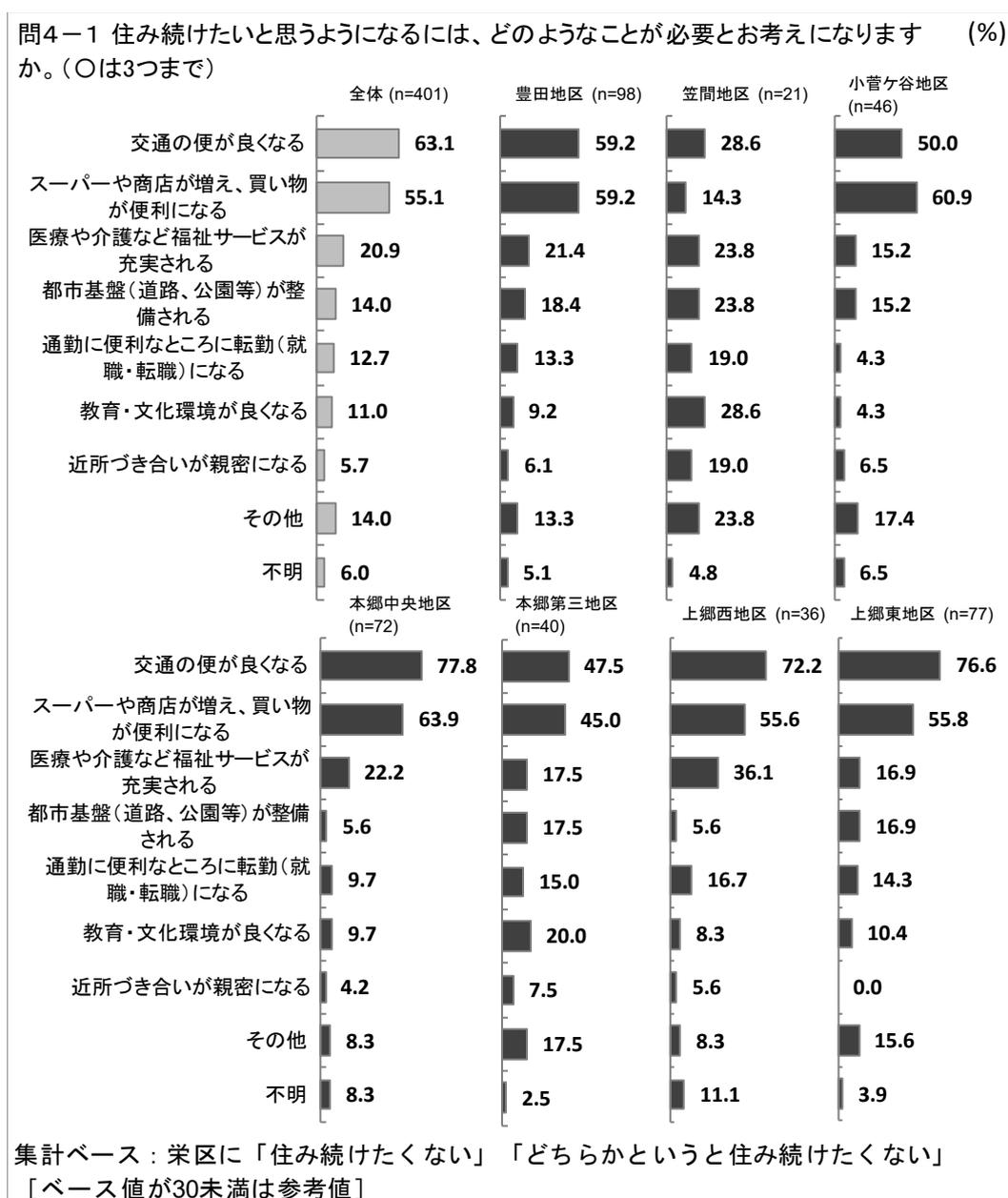
問4-1 住み続けたいと思うようになるには、どのようなことが必要とお考えになりますか。(○は3つまで) (%)



集計ベース：栄区に「住み続けたくない」「どちらかというに住み続けたくない」

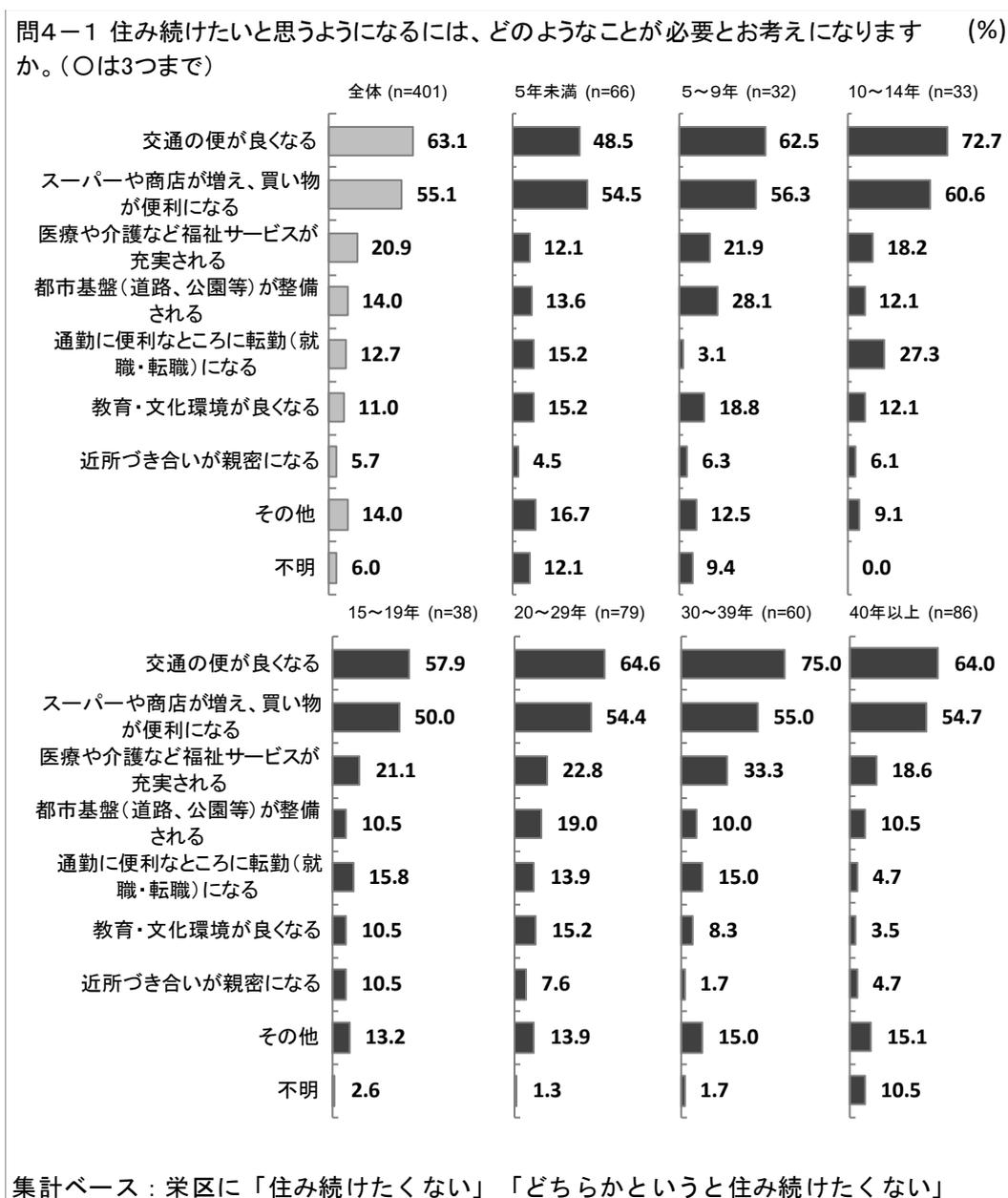
ウ 住み続けたいと思うようになるのに必要なこと：居住地区別

- ・本郷中央地区、本郷第三地区、上郷西地区、上郷東地区では「交通の便が良くなる」が最も多く、「スーパーや商店が増え、買い物便利になる」が続く。
- ・豊田地区では「交通の便が良くなる」と「スーパーや商店が増え、買い物便利になる」がそれぞれ 59.2% で最も多い。
- ・小菅ヶ谷地区では「スーパーや商店が増え、買い物便利になる」(60.9%) が最も多く、「交通の便が良くなる」(50.0%) が続く。



エ 住み続けたいと思うようになるのに必要なこと：区内居住期間別

- ・区内居住期間が5年以上ではいずれも「交通の便が良くなる」が最も多く、「スーパーや商店が増え、買い物が便利になる」が続く。
- ・「5年未満」では「スーパーや商店が増え、買い物が便利になる」(54.5%)が最も多く、「交通の便が良くなる」(48.5%)が続く。



オ 住み続けたいと思うようになるのに必要なこと：「その他」の内容

- ・「環境改善」と「道路・交通改善」が各 11 件で最も多く、「安全・安心強化」、「行政サービス改善」が 5 件と続く。
- ・「行政サービス改善」の具体的な内容は、税金の使い方や公共施設、公共サービスの向上などが記されている。

問4-1 現在お住まいの地域に住み続けたいと思うようになるには、どのようなことが必要とお考えになりますか。

「7. その他」の内容 (件)

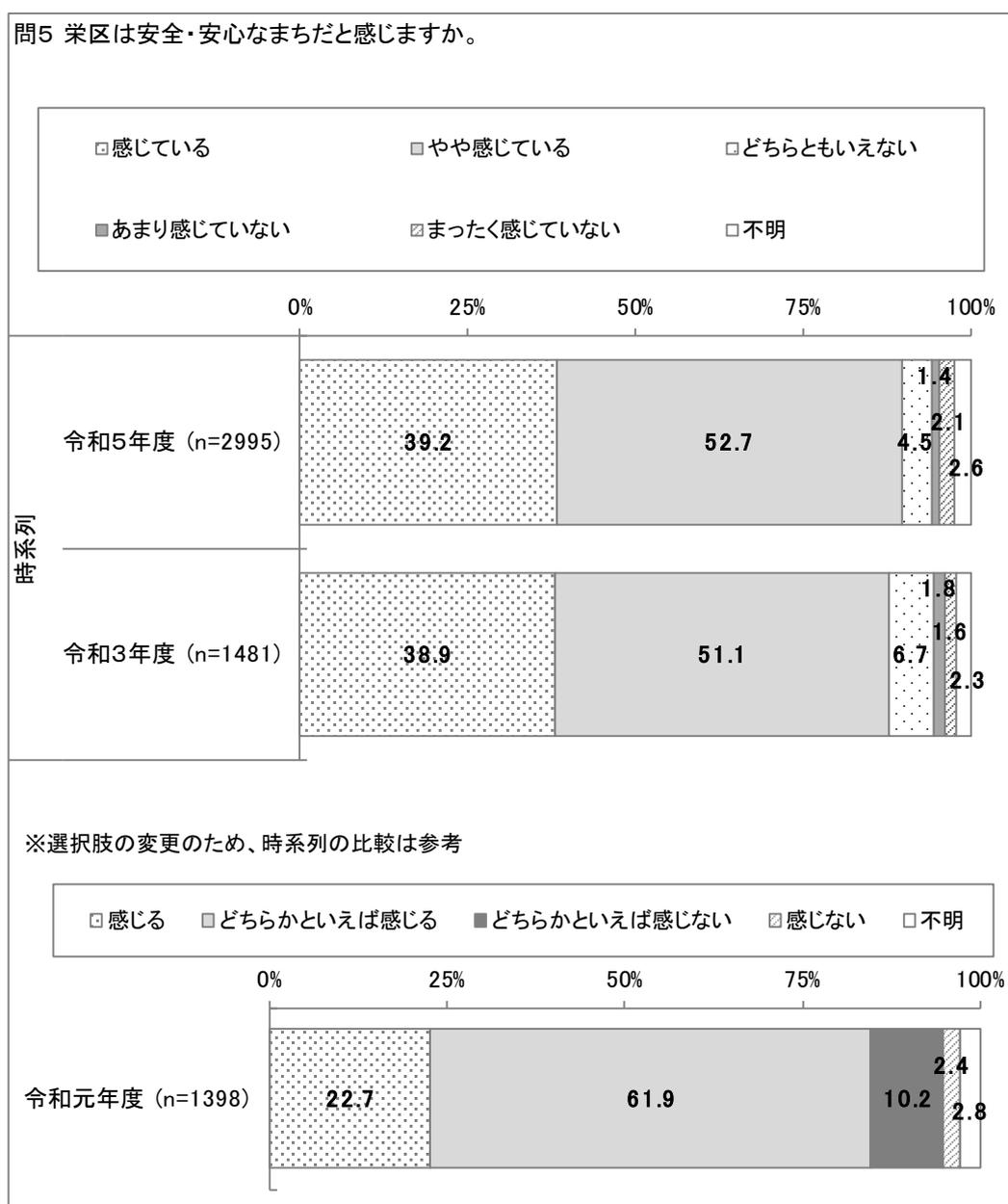
環境改善	11	行政サービス改善	5
住民のマナー向上	4	転居の予定	3
自然環境の保全・整備	2	商業施設等の充実・サービス向上	2
騒音・日当たりの改善	1	その他	11
その他環境	4		
道路・交通改善	11		
交通利便性の向上	8		
坂が多い	2		
安全性の確保	1		
安全・安心強化	5		
災害対策強化	4		
防犯の強化	1		

3 生活意識について

(1) 安全なまちだと感じるか（問5）

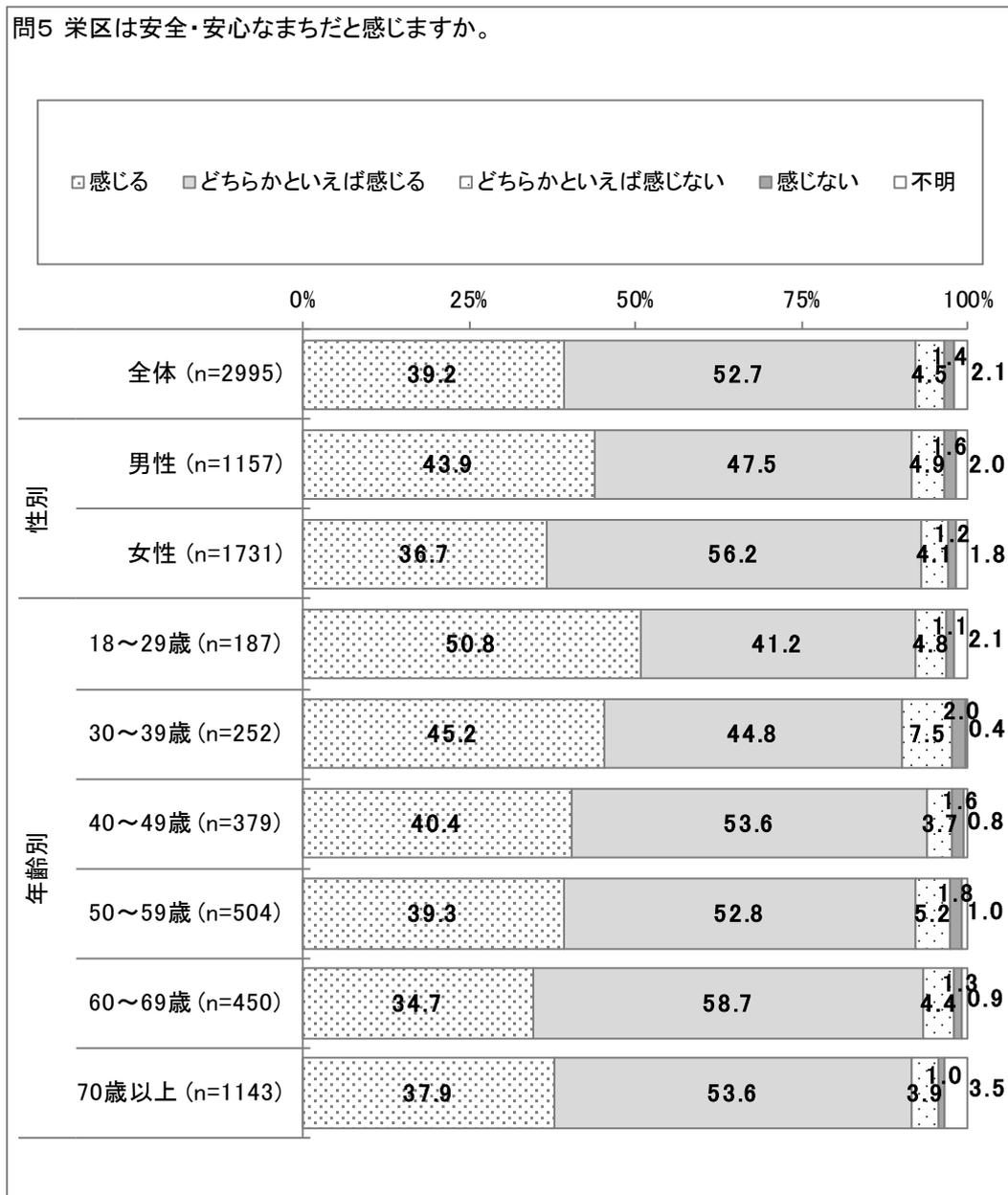
ア 安全なまちだと感じるか：全体・時系列

- ・「感じている」（39.2%）と「やや感じている」（52.7%）を合わせると（以下『感じている』）92.0%が『感じている』と回答している。
- ・時系列にみると大きな変化は見られず、『感じている』の割合は約9割となっている。



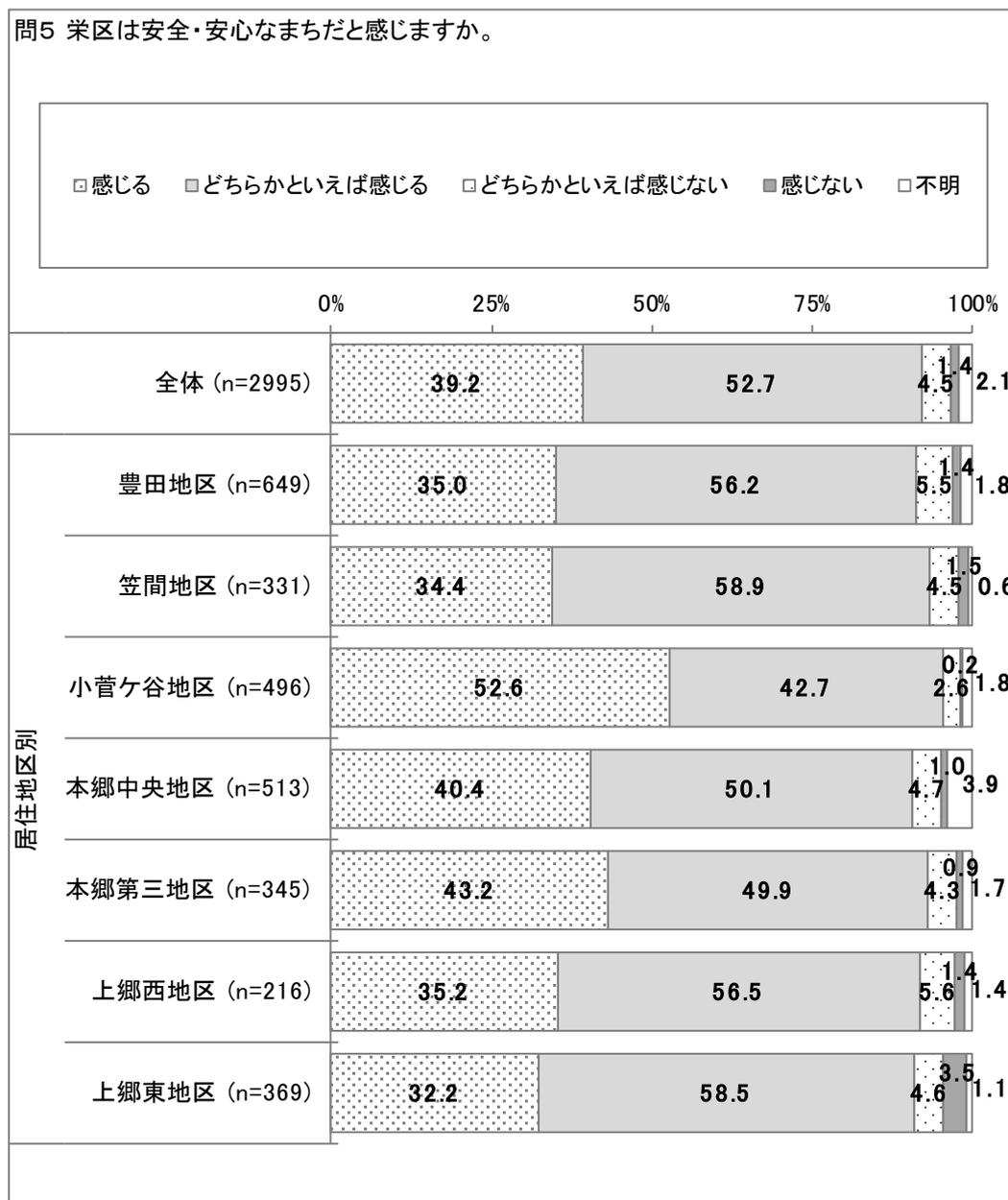
イ 安全なまちだと感じるか：性別・年齢別

- ・性別では『感じている』には差が見られないが、「感じる」は男性（43.9%）が女性（36.7%）より7.2ポイント多い。
- ・年齢別では、いずれも『感じている』との回答が約9割となっている。年代が上がるにつれ「どちらかといえば感じる」の割合が多くなる傾向が見られ、40代以上で50%を超えている。



ウ 安全なまちだと感じるか：居住地区別

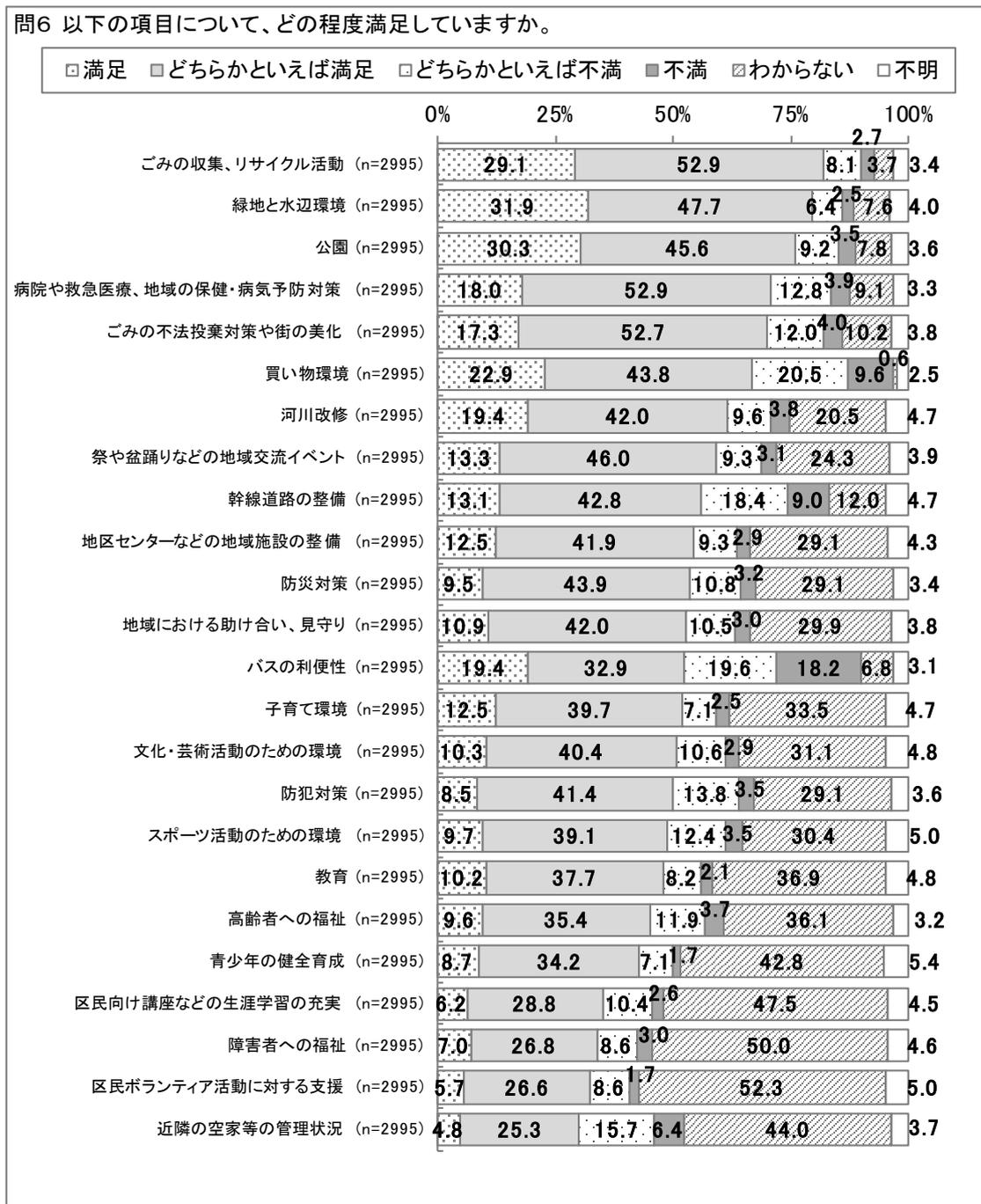
- ・居住地区別ではどの地区も『感じている』が約9割となっている。
「感じる」が最も多いのは小菅ヶ谷地区（52.6%）で、本郷第三区（43.2%）、本郷中央地区（40.4%）の順に続く。



(2) 生活環境への満足度（問6）

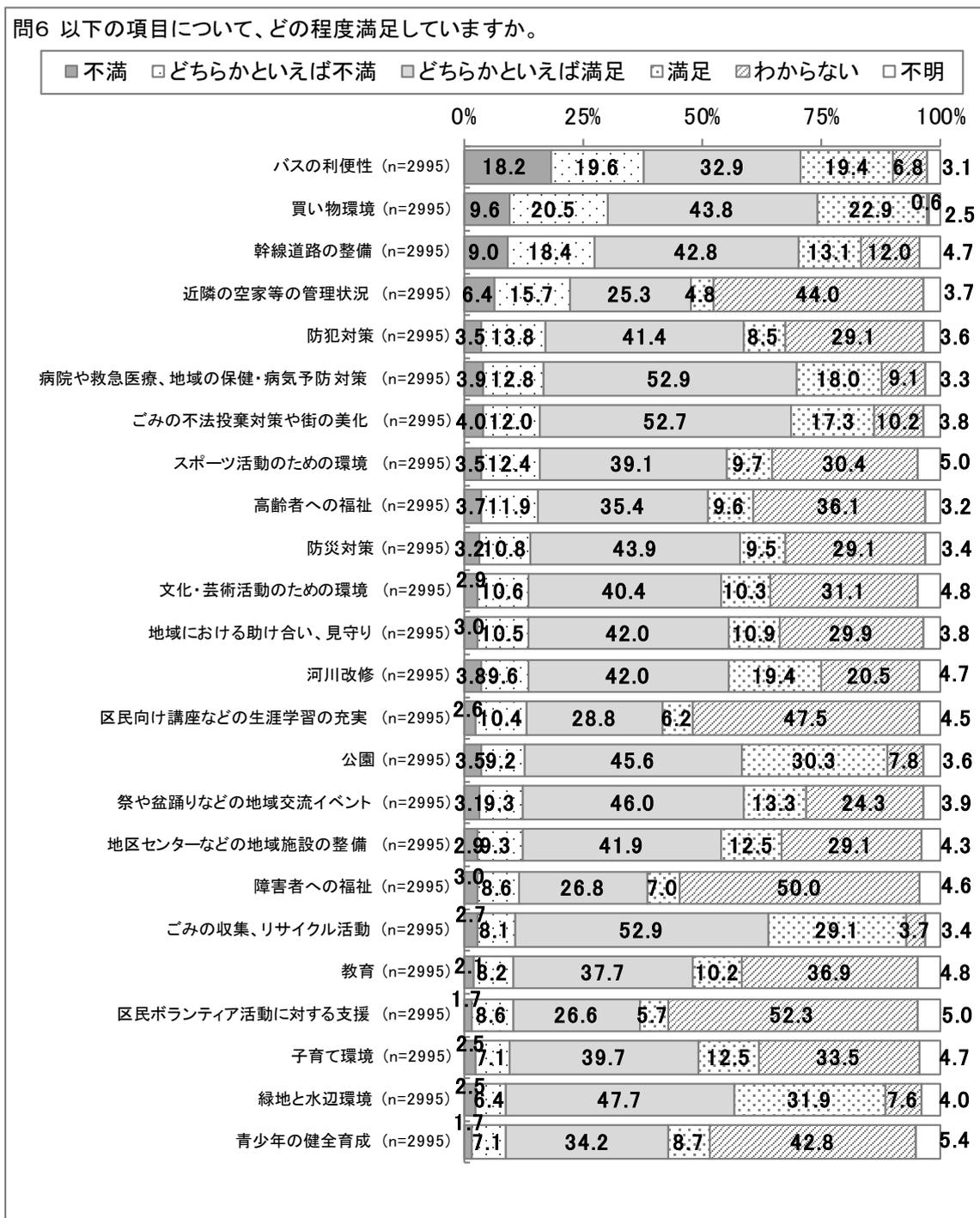
ア 生活環境への満足度：満足度の高い項目

- ・満足度の高い（「満足」と「どちらかといえば満足」の合計、以下『満足』）項目としては、「ごみの収集、リサイクル活動」（82.0%）が最も多く、「緑地と水辺環境」（79.6%）、「公園」（75.9%）の順に続く。



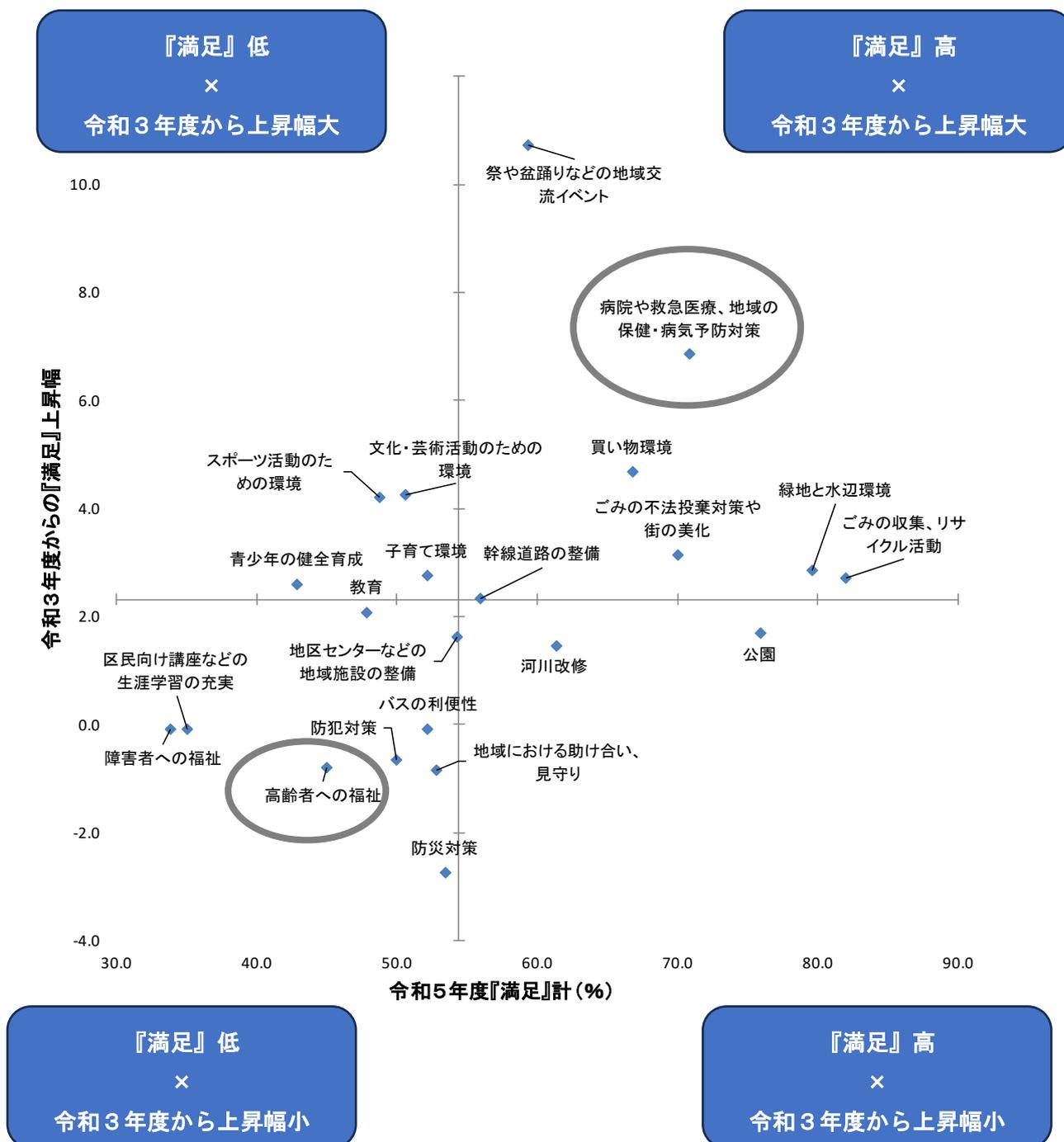
イ 生活環境への満足度：満足度の低い項目

- ・満足度の低い（「不満」と「どちらかといえば不満」の合計、以下『不満』）項目としては、「バスの利便性」（37.8%）が最も多く、「買い物環境」（30.1%）、「幹線道路の整備」（27.4%）の順に続く。



ウ 生活環境への満足度：時系列

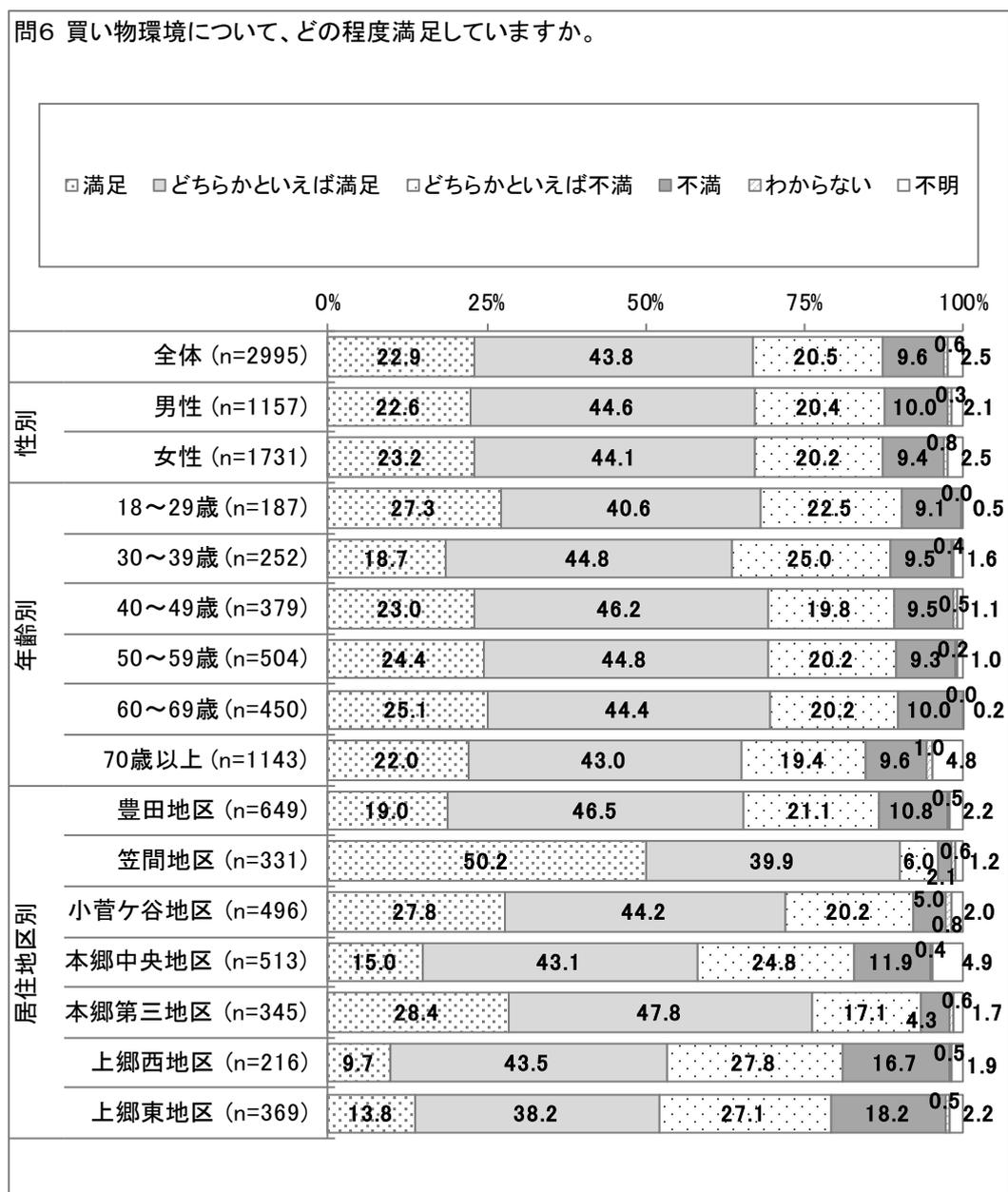
- ・『満足』が高く、前回調査から上昇幅の大きな項目としては「病院や救急医療、地域の保健・病気の予防対策」があげられる。
- ・一方、『満足』が低く、前回調査から上昇幅が小さい項目としては、「高齢者への福祉」があげられる。



※縦軸、横軸はそれぞれ『満足』計(%)、令和3年度からの『満足』上昇幅の単純平均を示す。

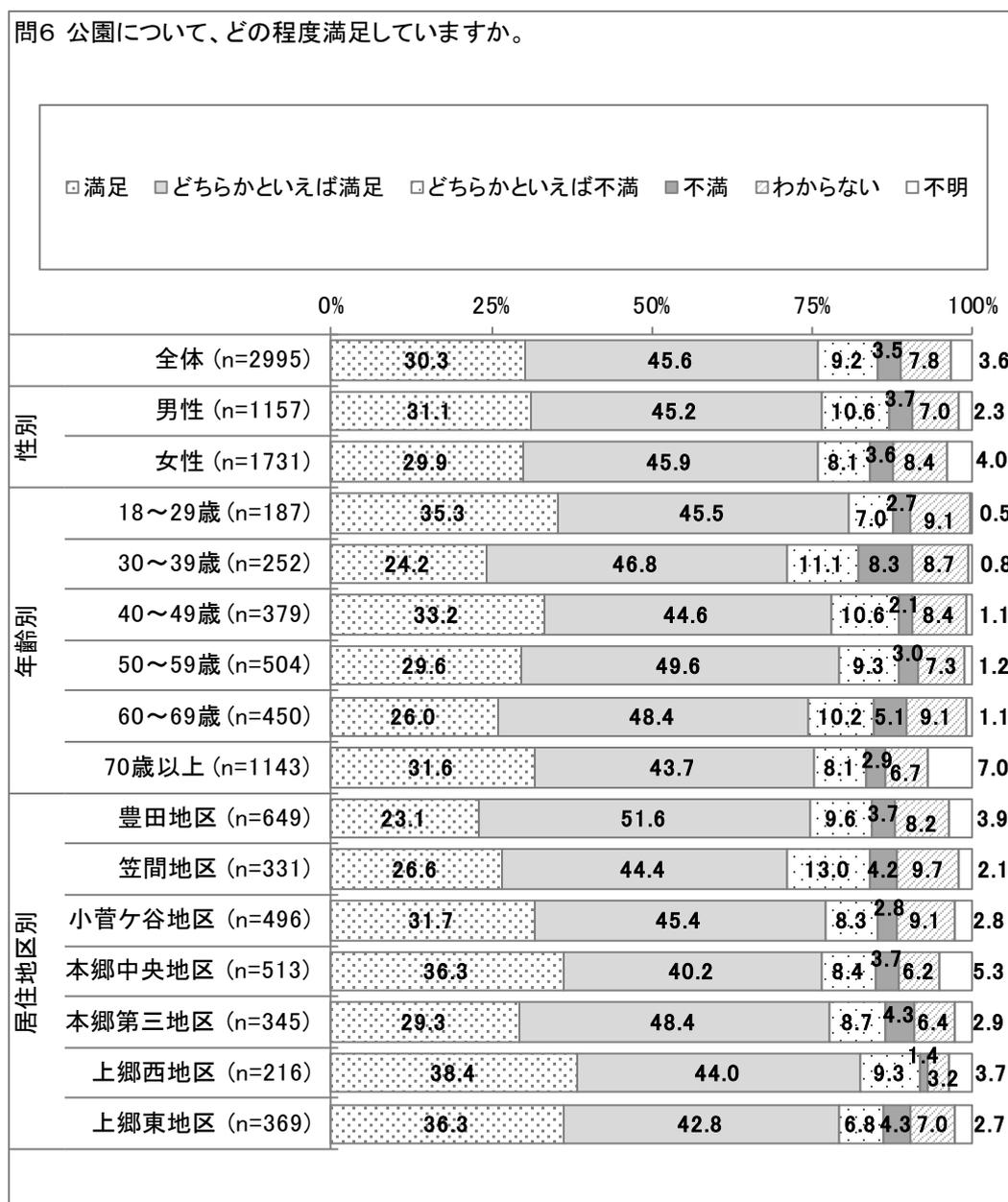
エ 買い物環境についての満足度：全体・性別・年齢別・居住地区別

- ・全体の『満足』は66.8%である。
- ・全体に対して『満足』が10ポイント以上多いのは、「笠間地区」である。
- ・全体に対して『満足』が10ポイント以上少ないのは、「上郷西地区」、「上郷東地区」である。



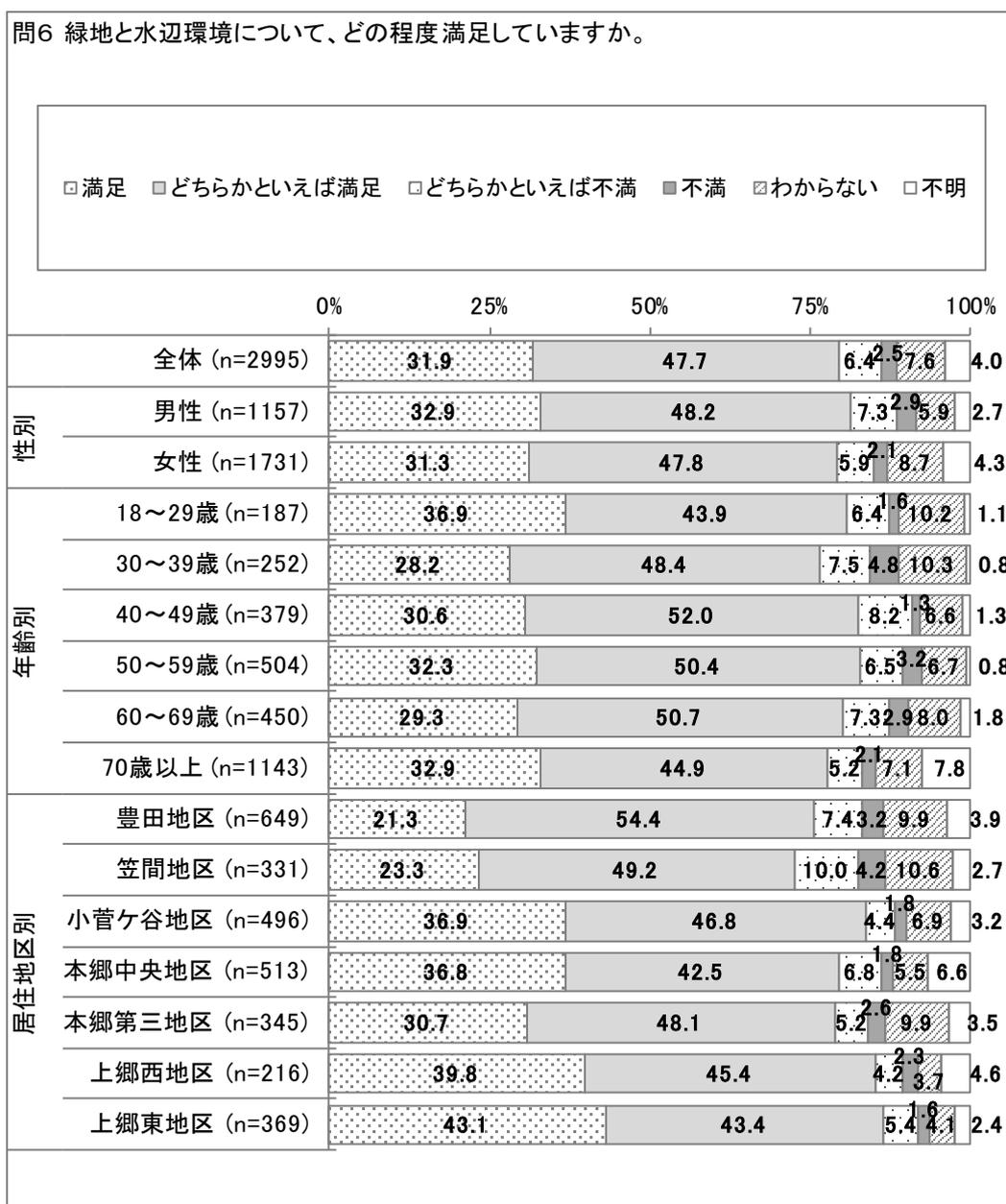
オ 公園についての満足度：全体・性別・年齢別・居住地区別

- ・全体の『満足』は75.9%である。
- ・全体に対して『満足』が5ポイント以上多いのは、「上郷西地区」である。



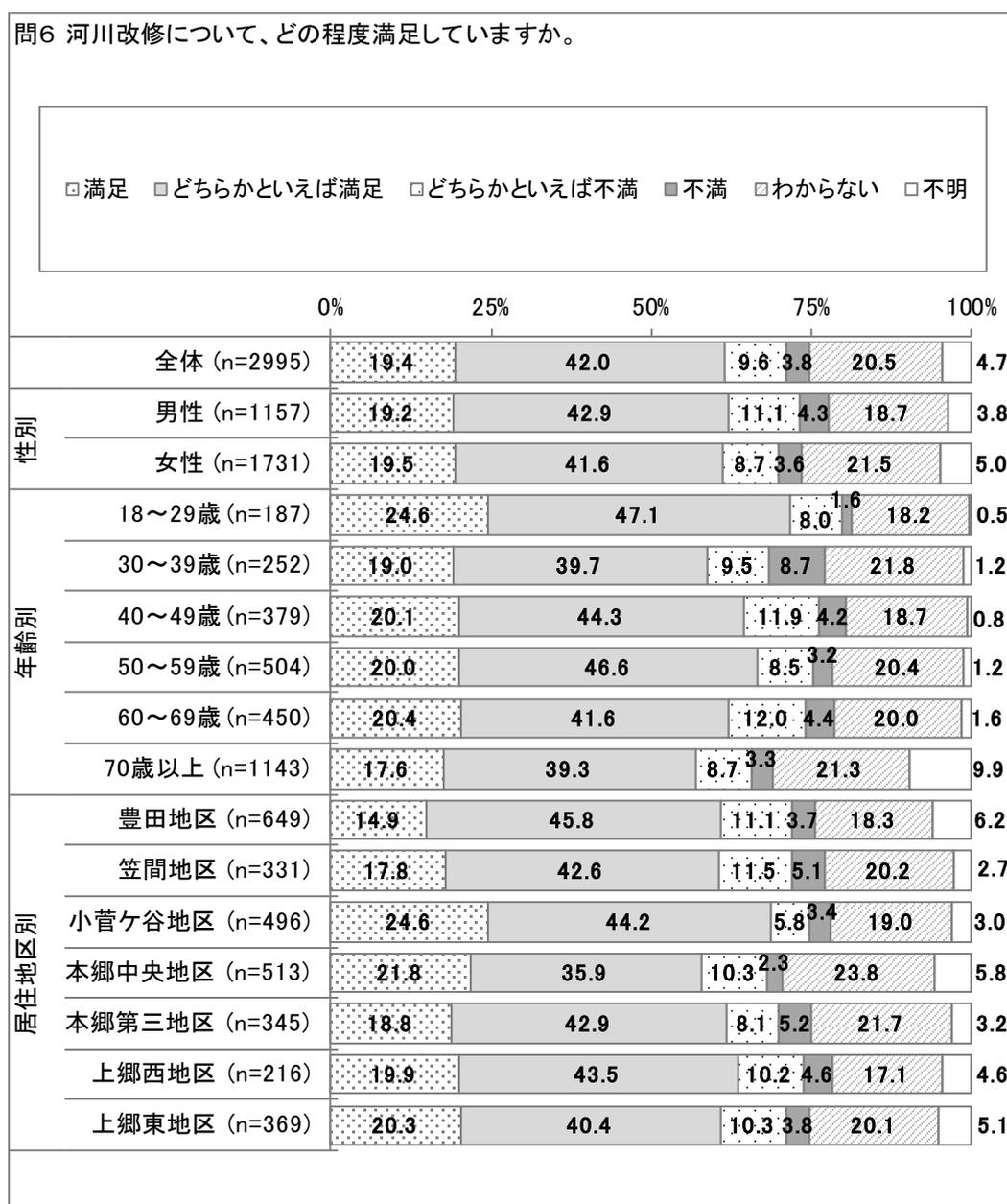
カ 緑地と水辺環境についての満足度：全体・性別・年齢別・居住地区別

- ・全体の『満足』は79.6%である。
- ・全体に対して『満足』が5ポイント以上多いのは、「上郷西地区」と「上郷東地区」である。
- ・全体に対して『満足』が5ポイント以上少ないのは、「笠間地区」である。



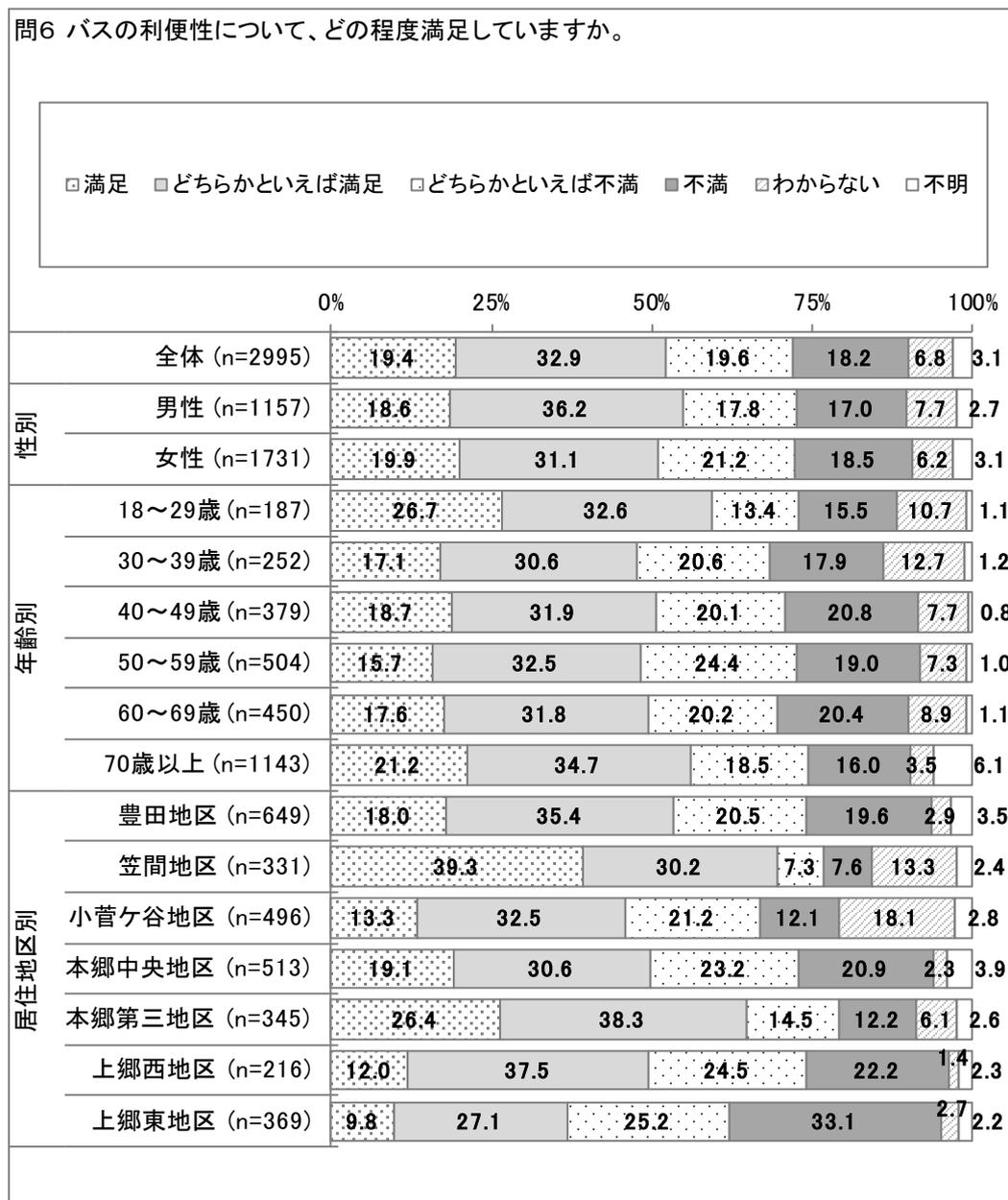
キ 河川改修についての満足度：全体・性別・年齢別・居住地区別

- ・全体に対して『満足』が10ポイント以上多いのは、「18～29歳」である。
- ・全体に対して『満足』が5ポイント以上多いのは、「50～59歳」、「小菅ヶ谷地区」である。



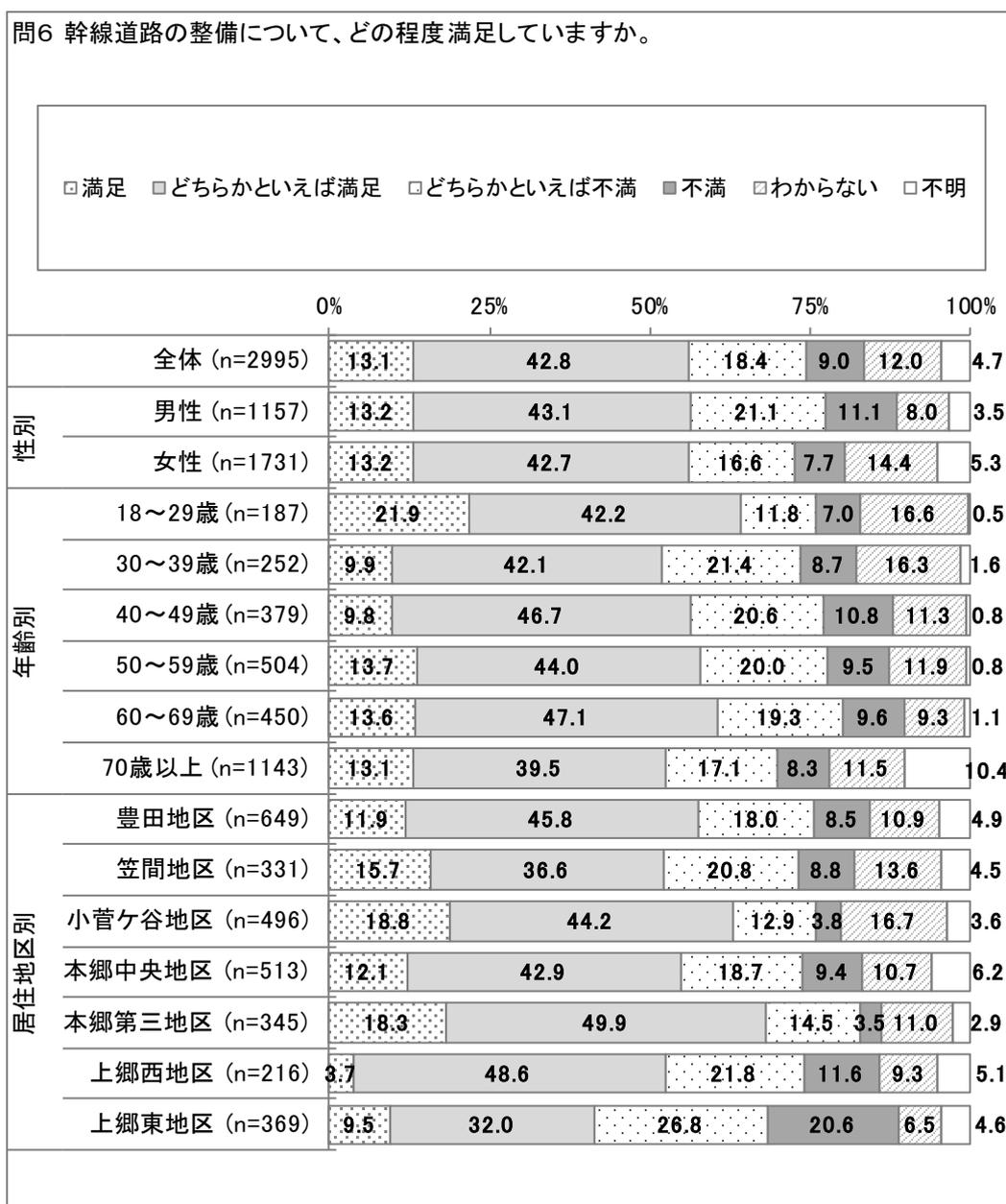
ク バスの利便性についての満足度：全体・性別・年齢別・居住地区別

- ・全体の『満足』は52.2%である。
- ・全体に対して『満足』が10ポイント以上多いのは、「笠間地区」と「本郷第三地区」である。
- ・全体に対して『満足』が10ポイント以上少ないのは、「上郷東地区」である。



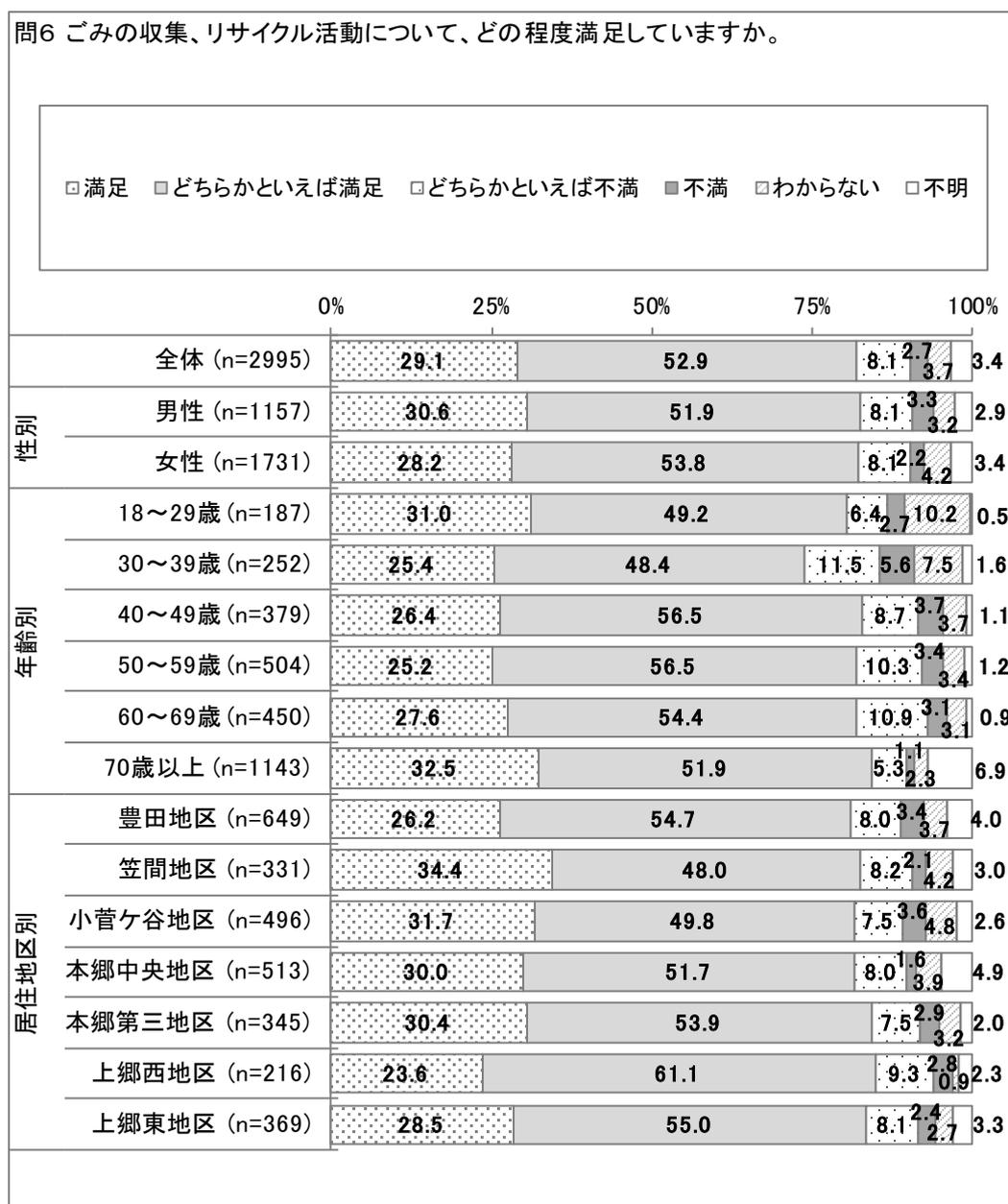
ケ 幹線道路の整備についての満足度：全体・性別・年齢別・居住地区別

- ・全体の『満足』は55.9%である。
- ・全体に対して『満足』が10ポイント以上多いのは、「本郷第三地区」である。
- ・全体に対して『満足』が10ポイント以上少ないのは、「上郷東地区」である。



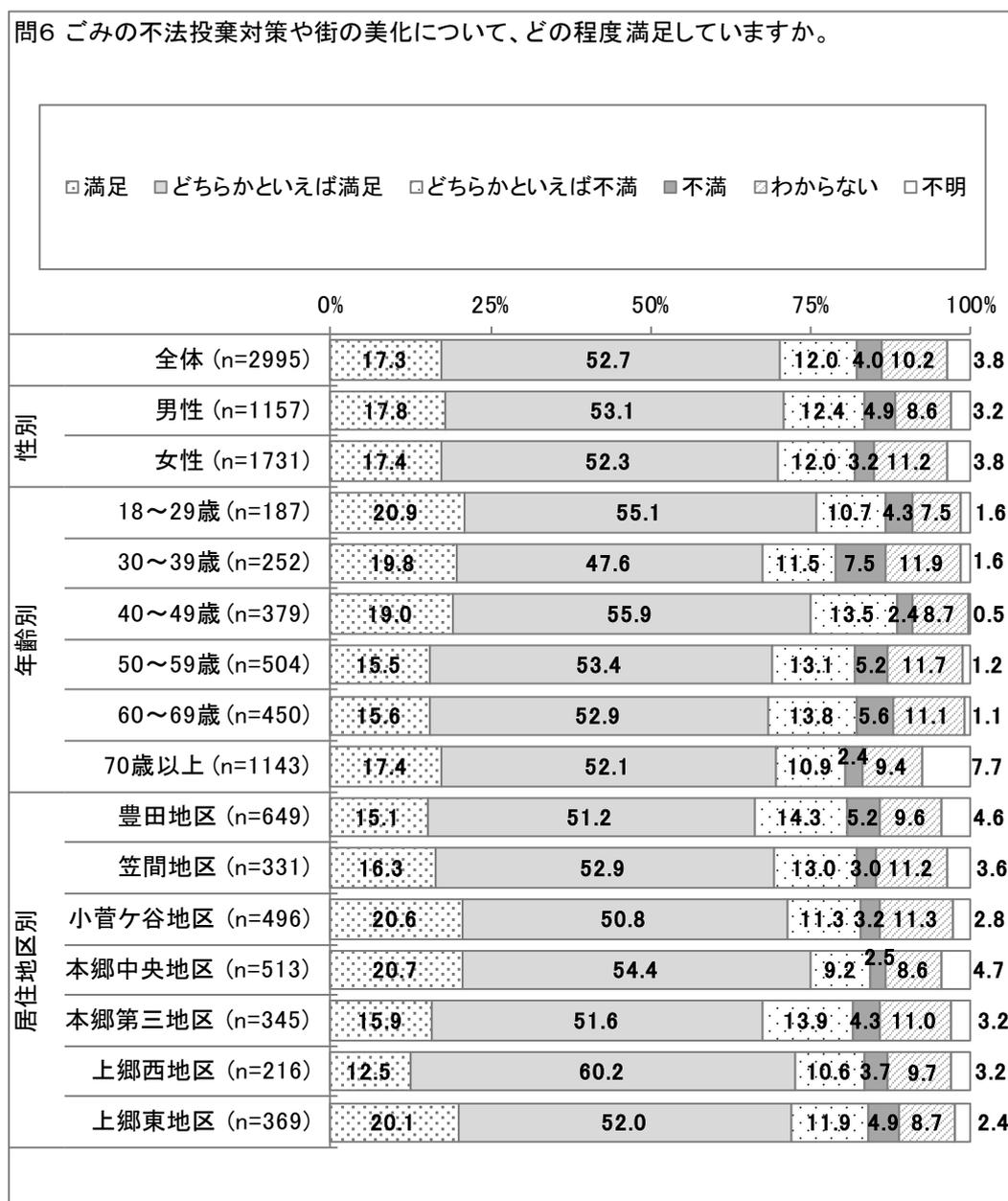
コ ごみの収集、リサイクル活動についての満足度：全体・性別・年齢別・居住地区別

- ・全体の『満足』は82.0%である。
- ・全体に対して『満足』が5ポイント以上少ないのは、「30～39歳」である。
- ・どの居住地区も『満足』が8割を超え、全体と大きな差は見られない。



サ ごみの不法投棄対策や街の美化についての満足度：全体・性別・年齢別・居住地区別

- ・全体の『満足』は70.1%である。
- ・全体に対して『満足』が5ポイント以上多いのは、「18～29歳」、「本郷中央地区」である。



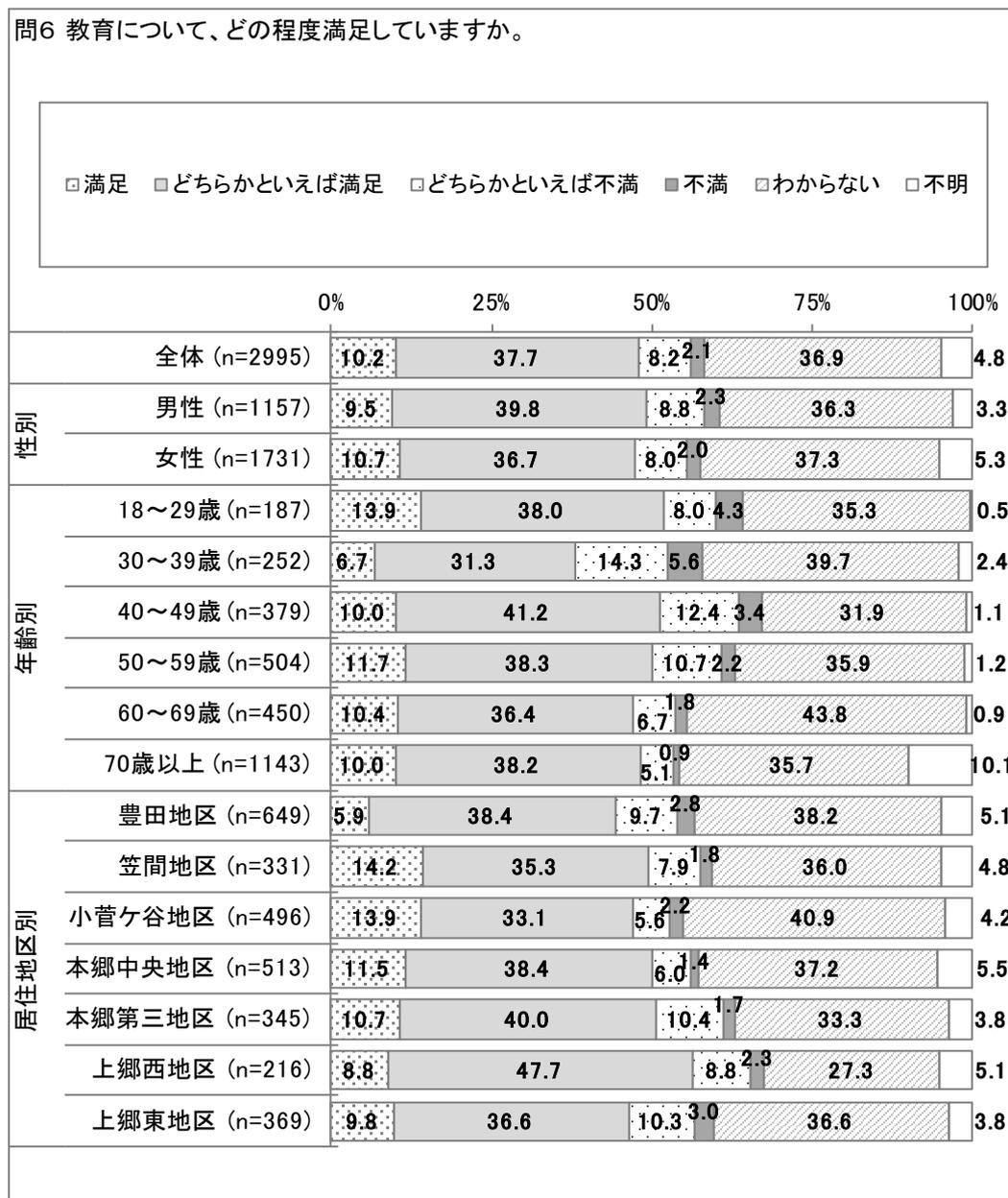
シ 子育て環境についての満足度：全体・性別・年齢別・居住地区別

- ・全体の『満足』は52.2%である。
- ・全体に対して『満足』が5ポイント以上多いのは、「40～49歳」、
「上郷西地区」である。
- ・全体に対して『満足』が10ポイント以上少ないのは、「18～29歳」、
5ポイント以上少ないのは「30～39歳」である。



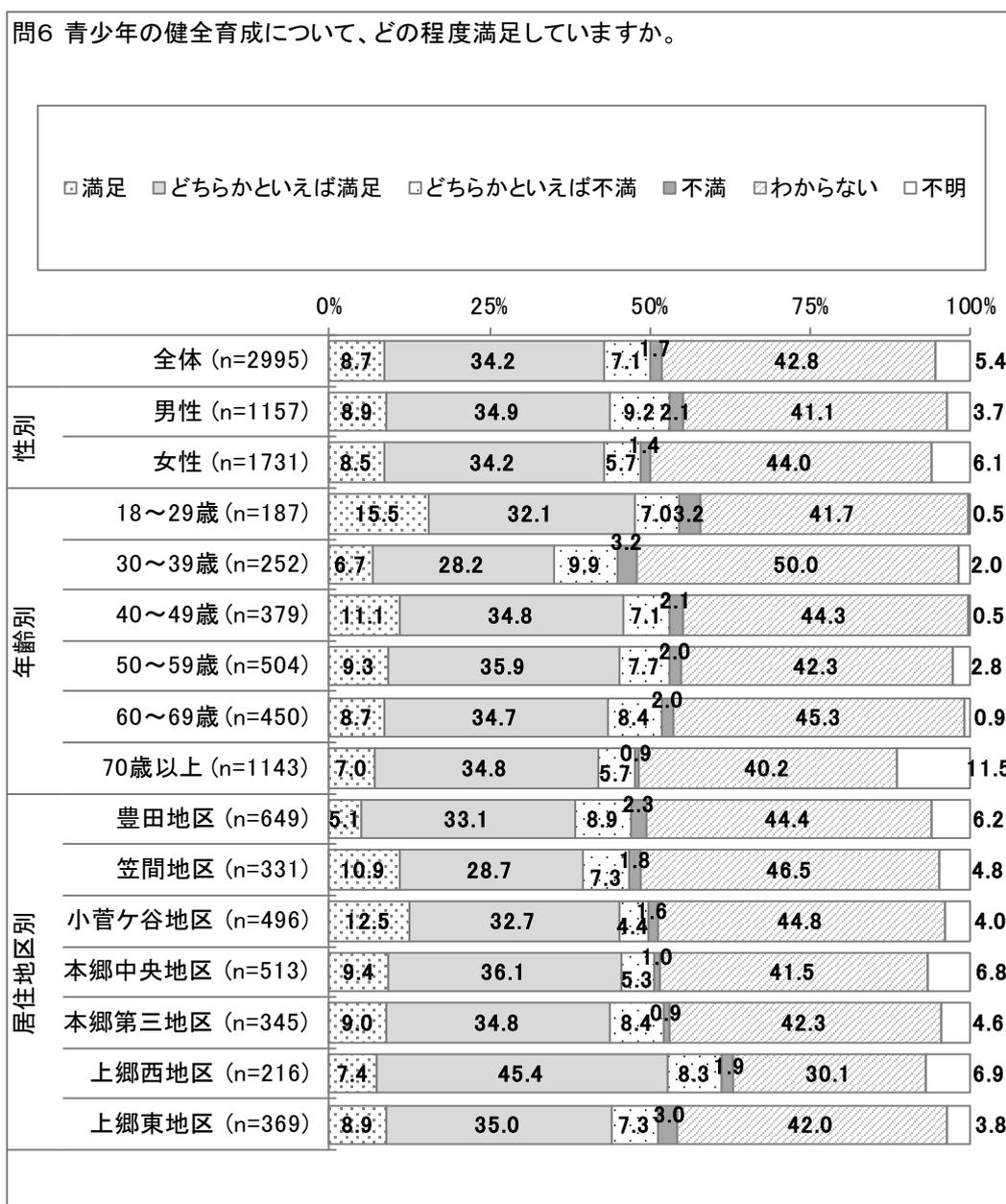
ス 教育についての満足度：全体・性別・年齢別・居住地区別

- ・全体の『満足』は47.9%である。
- ・全体に対して『満足』が5ポイント以上多いのは、「上郷西地区」である。
- ・全体に対して『満足』が5ポイント以上少ないのは、「30～39歳」である。



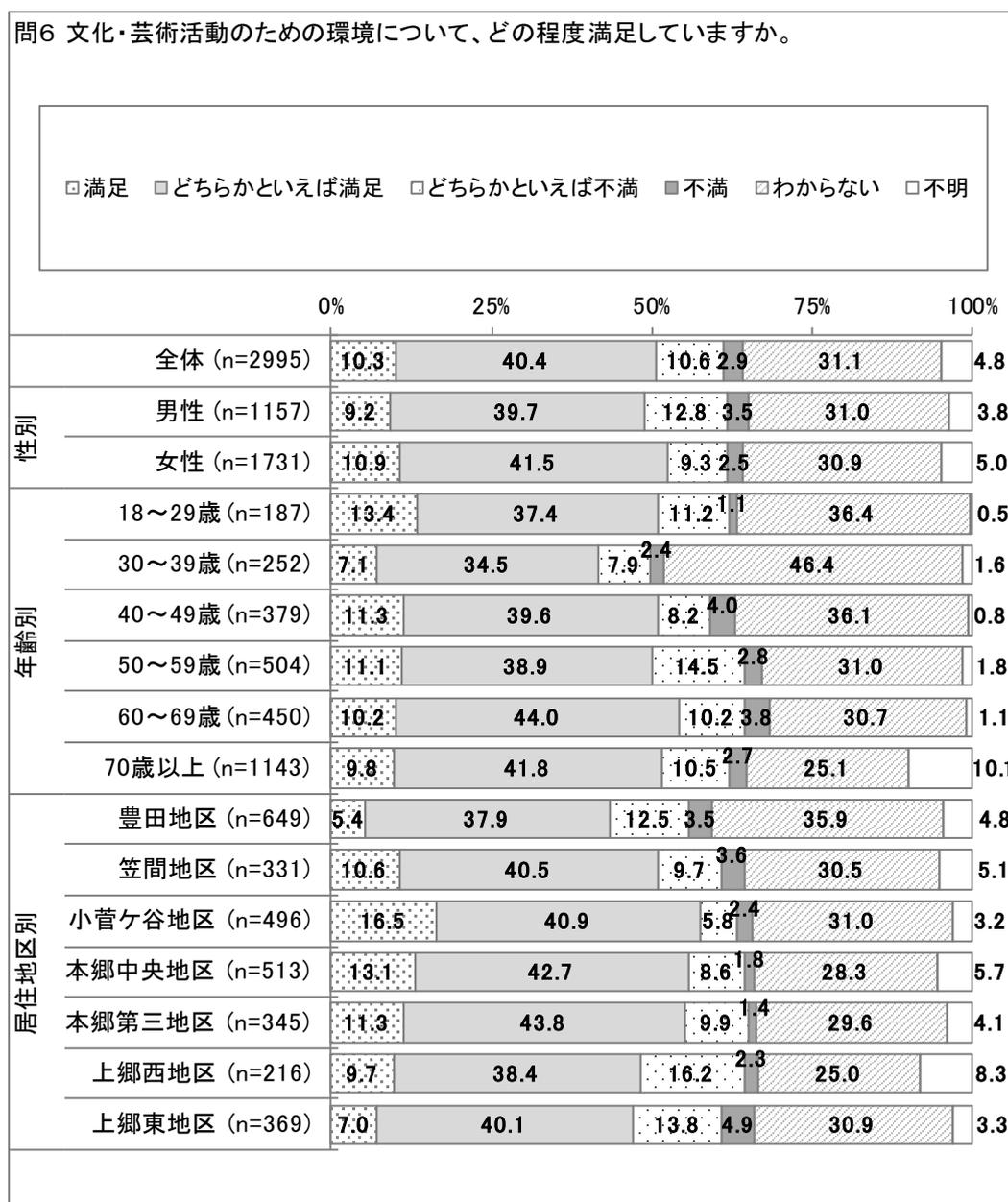
セ 青少年の健全育成についての満足度：全体・性別・年齢別・居住地区別

- ・全体の『満足』は42.9%である。
- ・全体に対して『満足』が5ポイント以上多いのは、「上郷西地区」である。
- ・全体に対して『満足』が5ポイント以上少ないのは、「30～39歳」である。



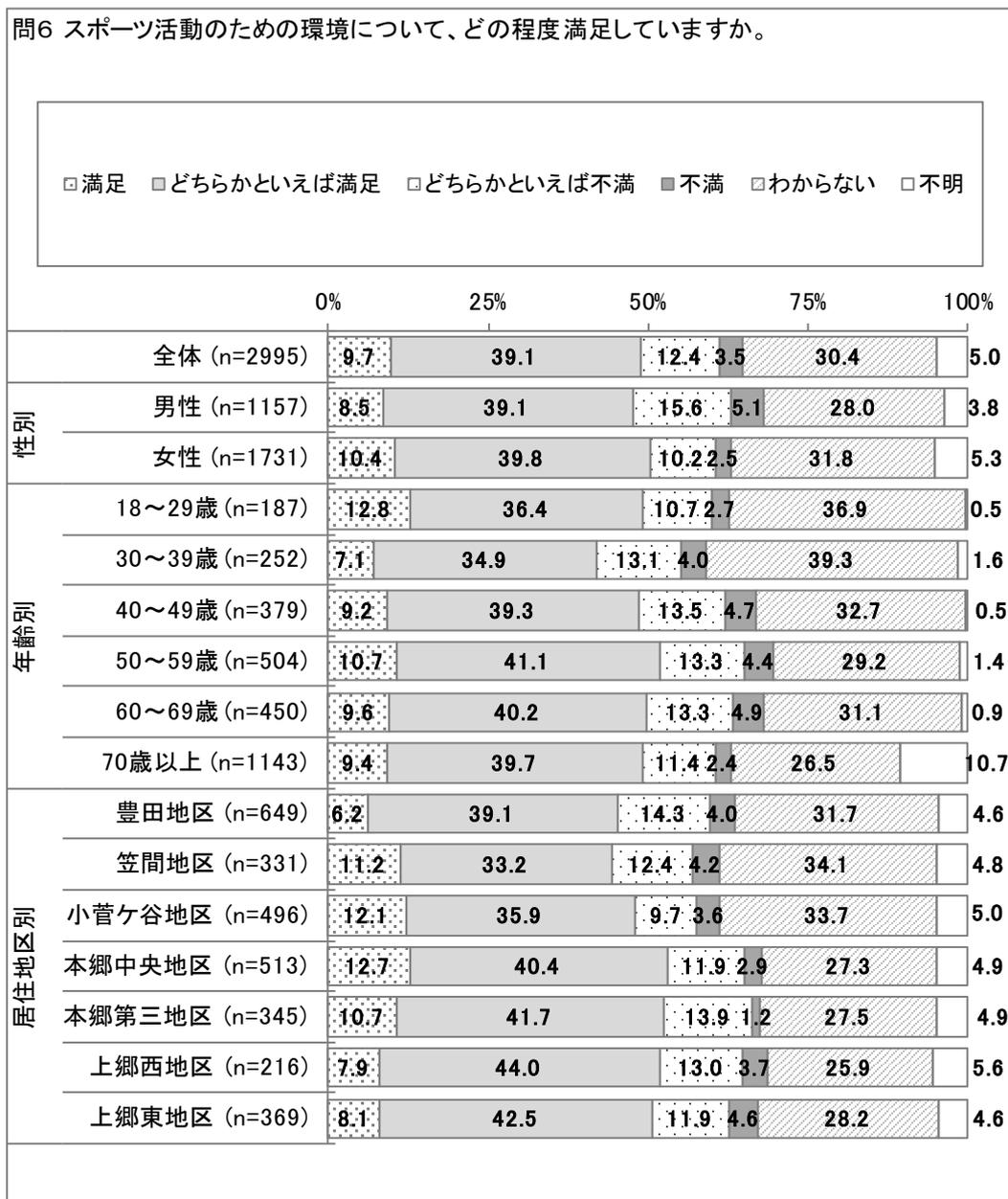
ソ 文化・芸術活動のための環境についての満足度：全体・性別・年齢別・居住地区別

- ・全体の『満足』は50.7%である。
- ・全体に対して『満足』が5ポイント以上多いのは、「小菅ヶ谷地区」、「本郷中央地区」である。
- ・全体に対して『満足』が5ポイント以上少ないのは、「30～39歳」、「豊田地区」である。



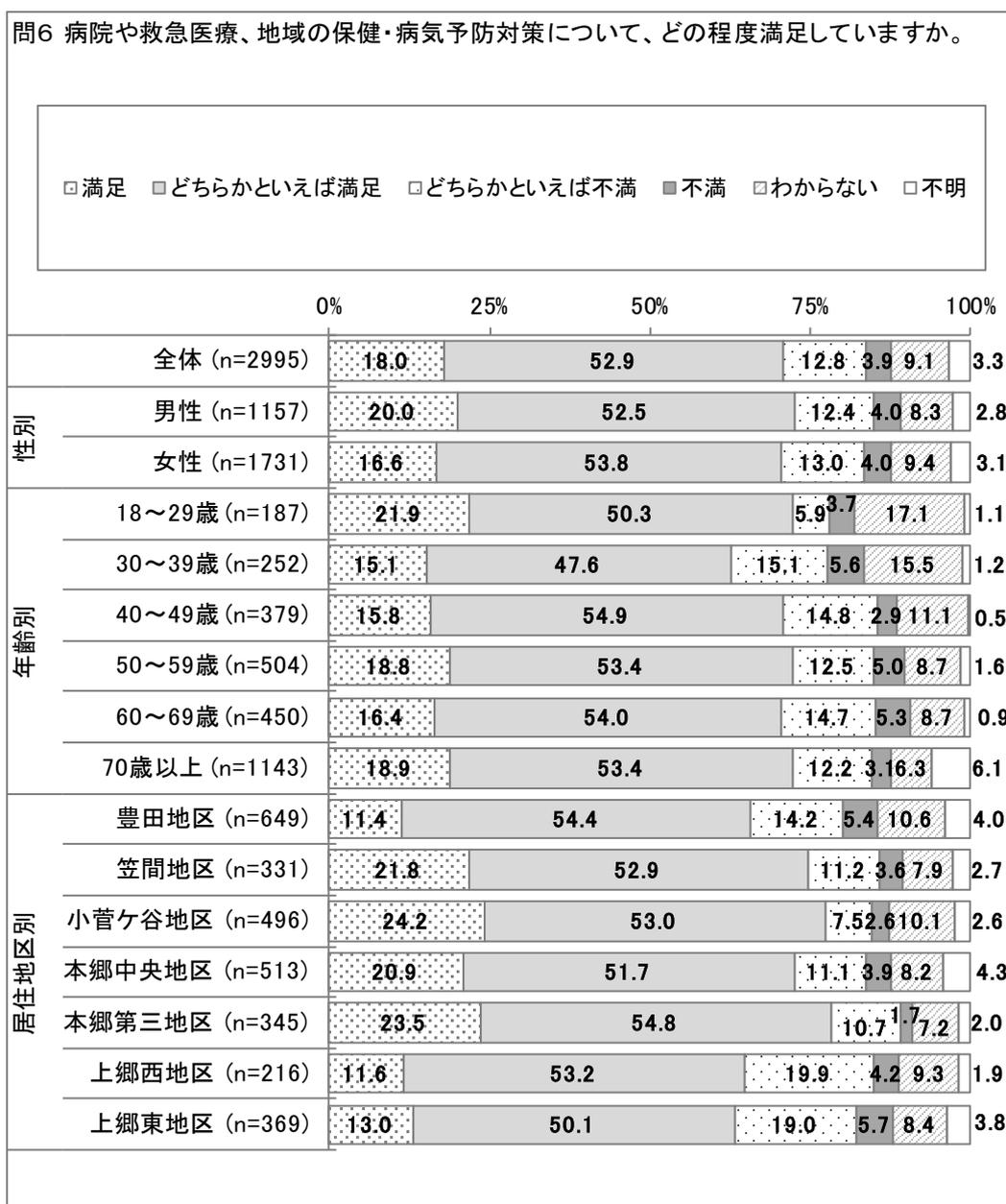
タ スポーツ活動のための環境についての満足度：全体・性別・年齢別・居住地区別

- ・全体の『満足』は48.8%である。
- ・全体に対して『満足』が5ポイント以上少ないのは、「30～39歳」である。



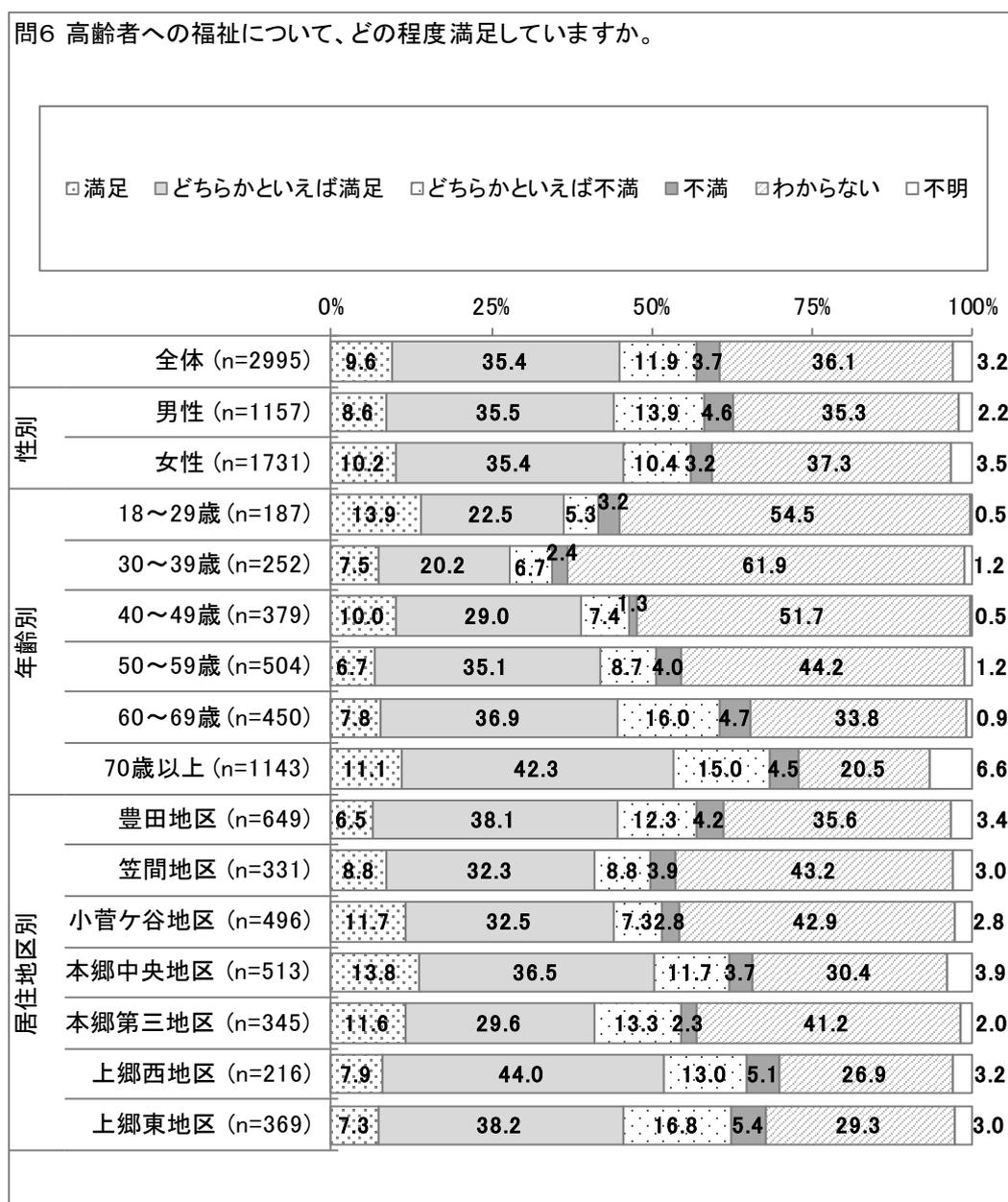
チ 病院や救急医療、地域の保健・病気予防対策についての満足度：全体・性別・年齢別・居住地区別

- ・全体の『満足』は70.9%である。
- ・全体に対して『満足』が5ポイント以上多いのは、「小菅ヶ谷地区」と「本郷第三地区」である。
- ・全体に対して『満足』が5ポイント以上少ないのは、「30～39歳」、「豊田地区」、「上郷西地区」、「上郷東地区」である。



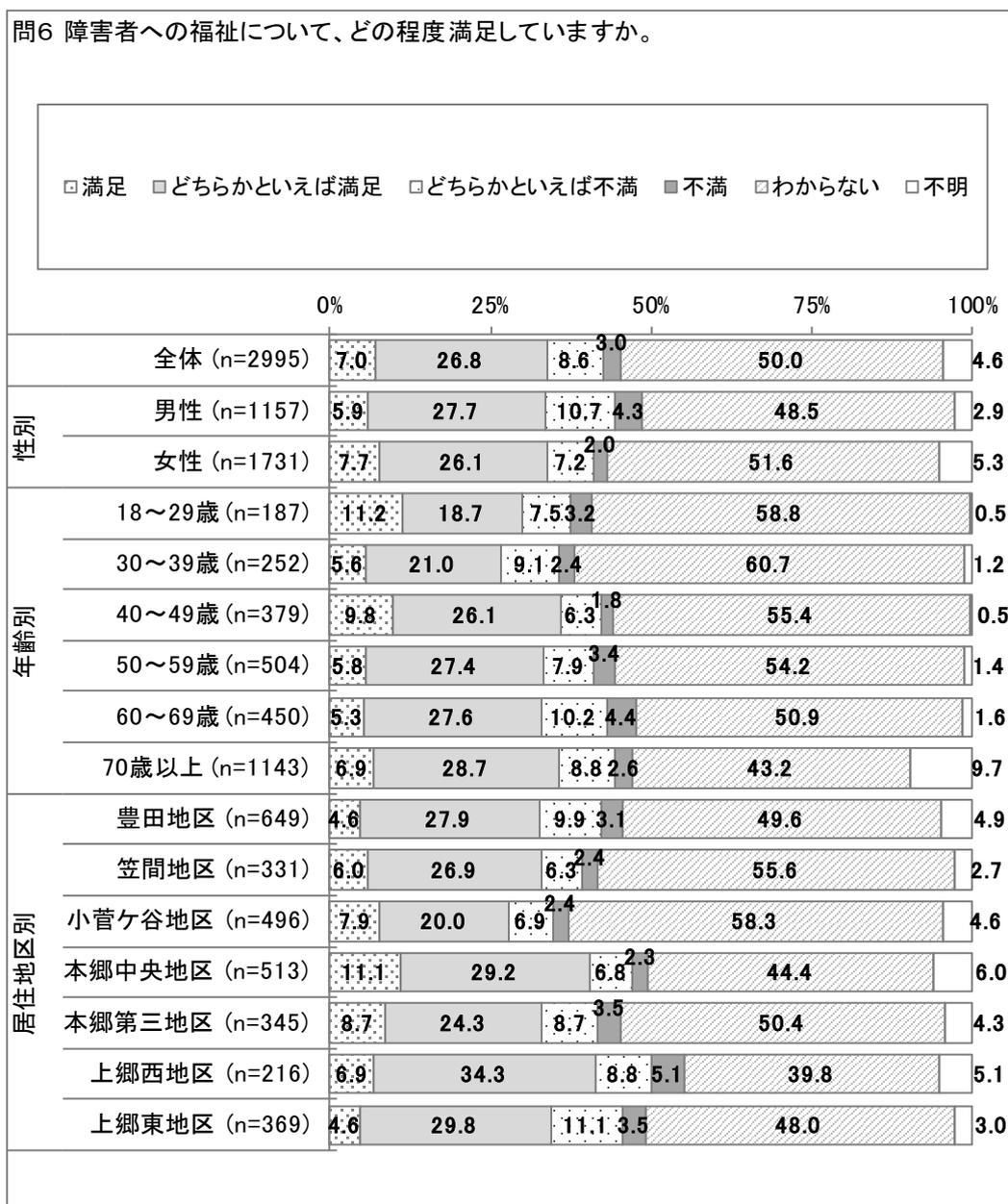
ツ 高齢者への福祉についての満足度：全体・性別・年齢別・居住地区別

- ・全体の『満足』は45.0%である。
- ・全体に対して『満足』が5ポイント以上多いのは、「70歳以上」、「本郷中央地区」、「上郷西地区」である。
- ・全体に対して『満足』が10ポイント以上少ないのは「30～39歳」、5ポイント以上少ないのは「18～29歳」、「40～49歳」である。
- ・「18～29歳」、「30～39歳」、「40～49歳」では「わからない」が50%以上となっている。



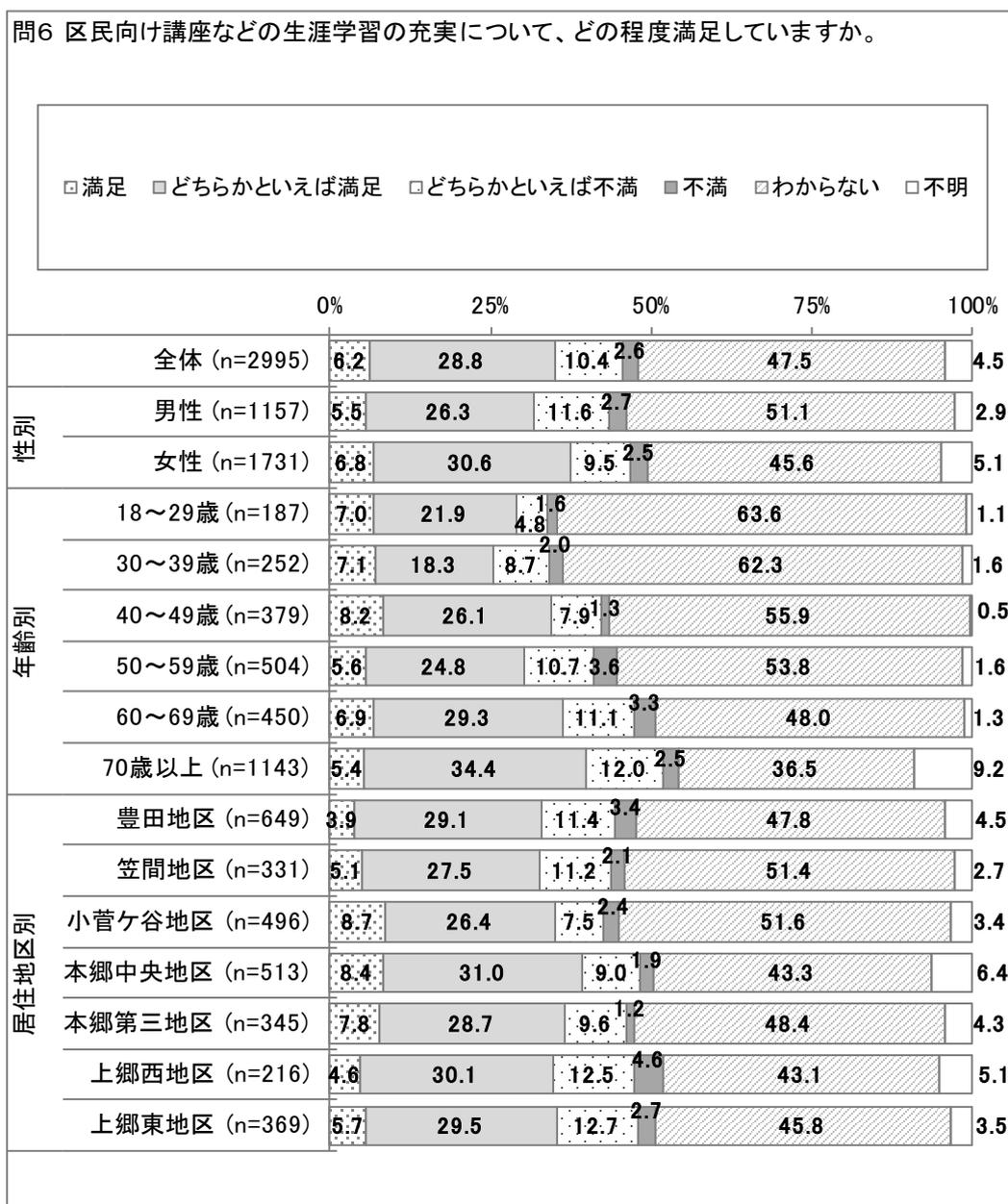
テ 障害者への福祉についての満足度：全体・性別・年齢別・居住地区別

- ・全体の『満足』は33.8%である。
- ・全体に対して『満足』が5ポイント以上多いのは、「本郷中央地区」と「上郷西地区」である。
- ・全体に対して『満足』が5ポイント以上少ないのは、「小菅ヶ谷地区」である。
- ・「わからない」が全体の50.0%であり、「70歳以上」を除く各年代と「笠間地区」、「小菅ヶ谷地区」「本郷第三地」で「わからない」が50%を超える。



ト 区民向け講座などの生涯学習の充実についての満足度：全体・性別・年齢別・居住地区別

- ・全体の『満足』は35.0%である。
- ・全体に対して『満足』が5ポイント以上少ないのは、「18～29歳」、「30～39歳」である。
- ・「18～29歳」、「30～39歳」「40～49歳」、「50～59歳」、「笠間地区」、「小菅ヶ谷地区」で「わからない」が50%を超えている。



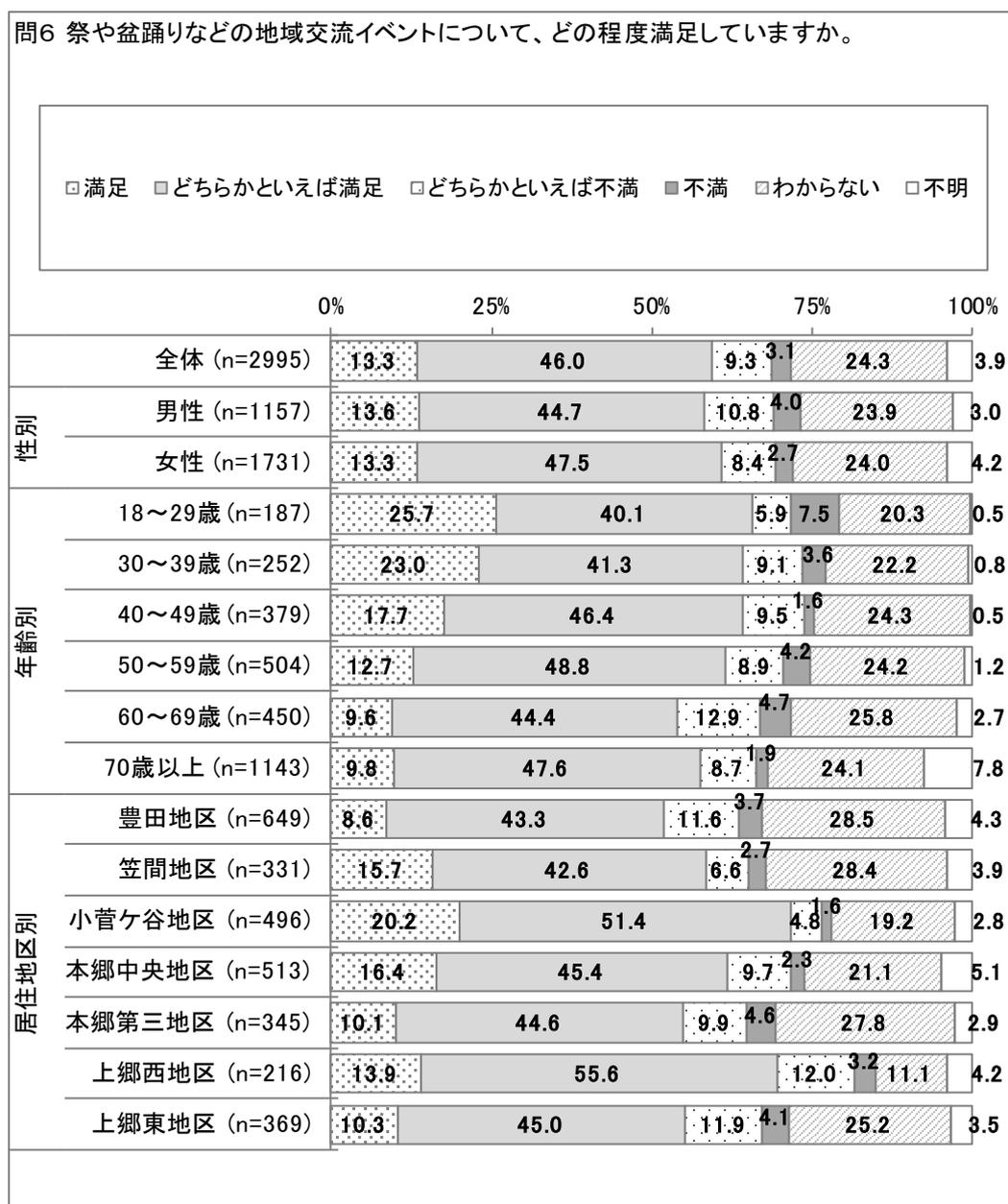
ナ 区民ボランティア活動に対する支援についての満足度：全体・性別・年齢別・居住地区別

- ・全体の『満足』は32.3%である。
- ・「わからない」が全体の52.3%となっており、「70歳以上」を除く各年代と「豊田地区」、「笠間地区」、「小菅ヶ谷地区」、「本郷第三地区」、「上郷東地区」では「わからない」が50%を超えている。



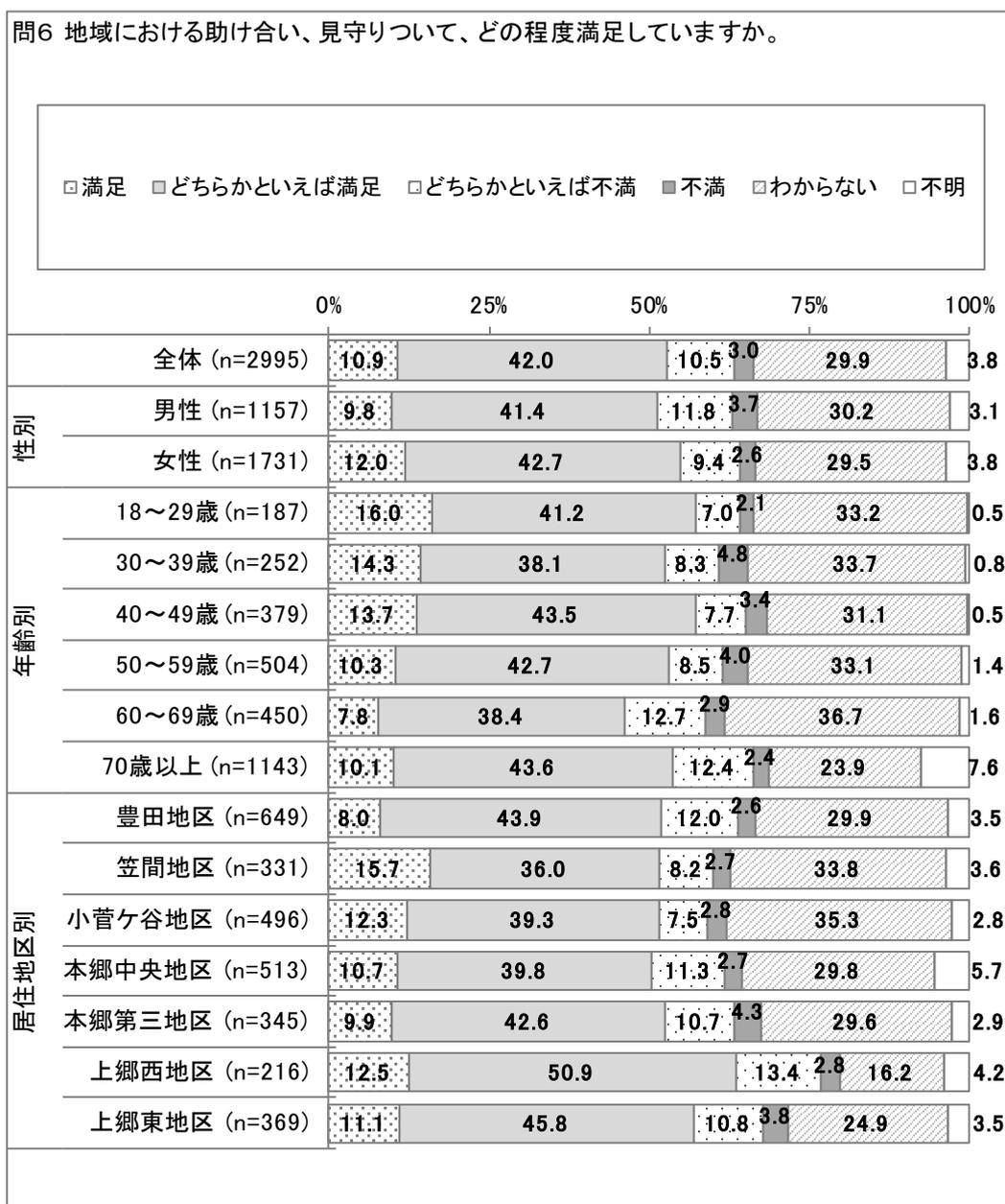
二 祭や盆踊りなどの地域交流イベントについての満足度：全体・性別・年齢別・居住地区別

- ・全体の『満足』は59.3%である。
- ・全体に対して『満足』が10ポイント以上多いのは、「小菅ヶ谷地区」と「上郷西地区」である。
- ・全体に対して『満足』が5ポイント以上少ないのは、「60～69歳」、「豊田地区」である。



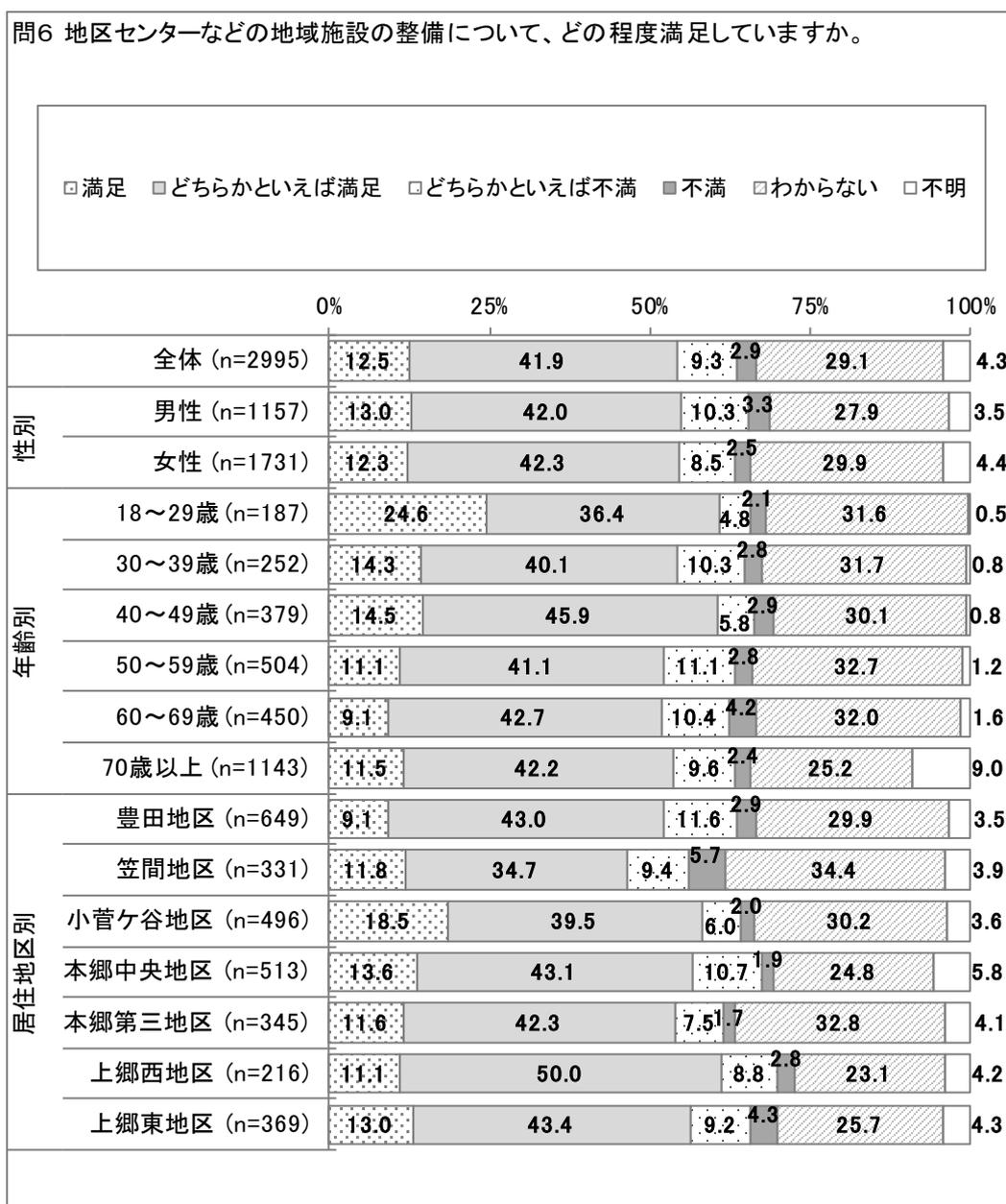
又 地域における助け合い、見守りについての満足度：全体・性別・年齢別・居住地区別

- ・全体の『満足』は52.9%である。
- ・全体に対して『満足』が10ポイント以上多いのは、「上郷西地区」である。



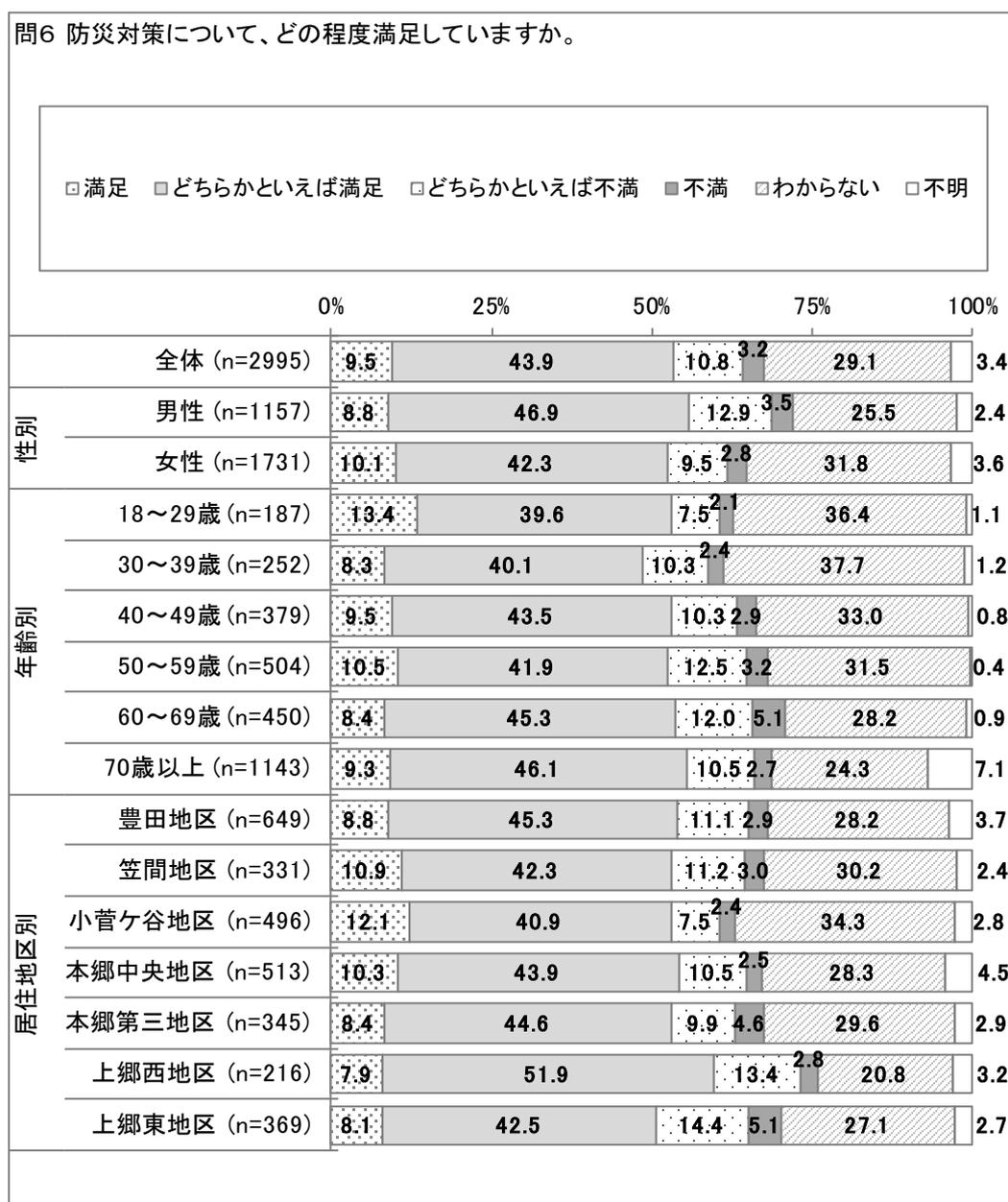
ネ 地区センターなどの地域施設の整備についての満足度：全体・性別・年齢別・居住地区別

- ・全体の『満足』は54.3%である。
- ・全体に対して『満足』が5ポイント以上多いのは、「18～29歳」、「40～49歳」、「上郷西地区」である。
- ・全体に対して『満足』が5ポイント以上少ないのは、「笠間地区」である。



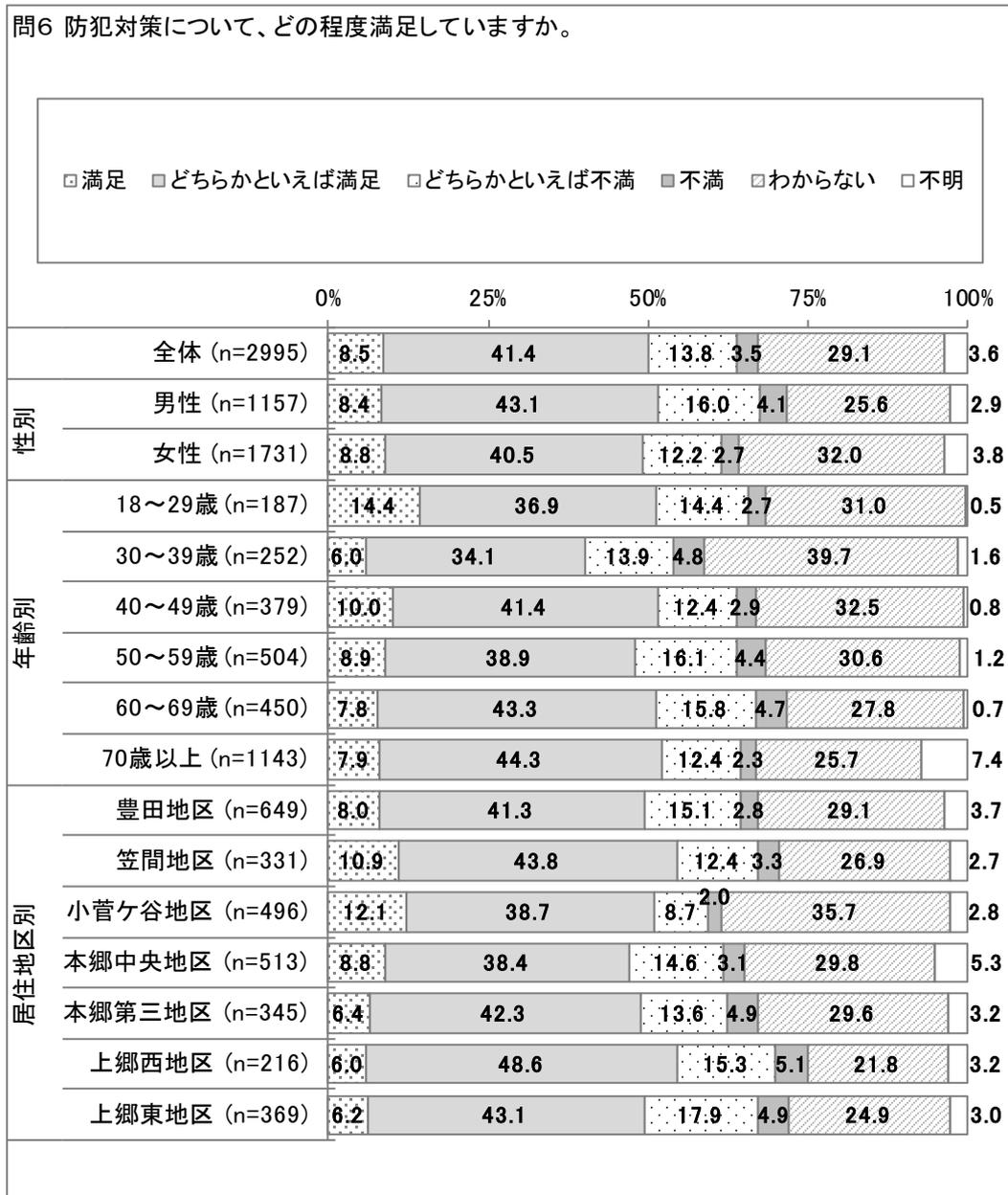
ノ 防災対策についての満足度：全体・性別・年齢別・居住地区別

- ・全体の『満足』は53.5%である。
- ・全体に対して『満足』が5ポイント以上多いのは、「上郷西地区」である。
- ・全体に対して『満足』が5ポイント以上少ないのは、「30～39歳」である。



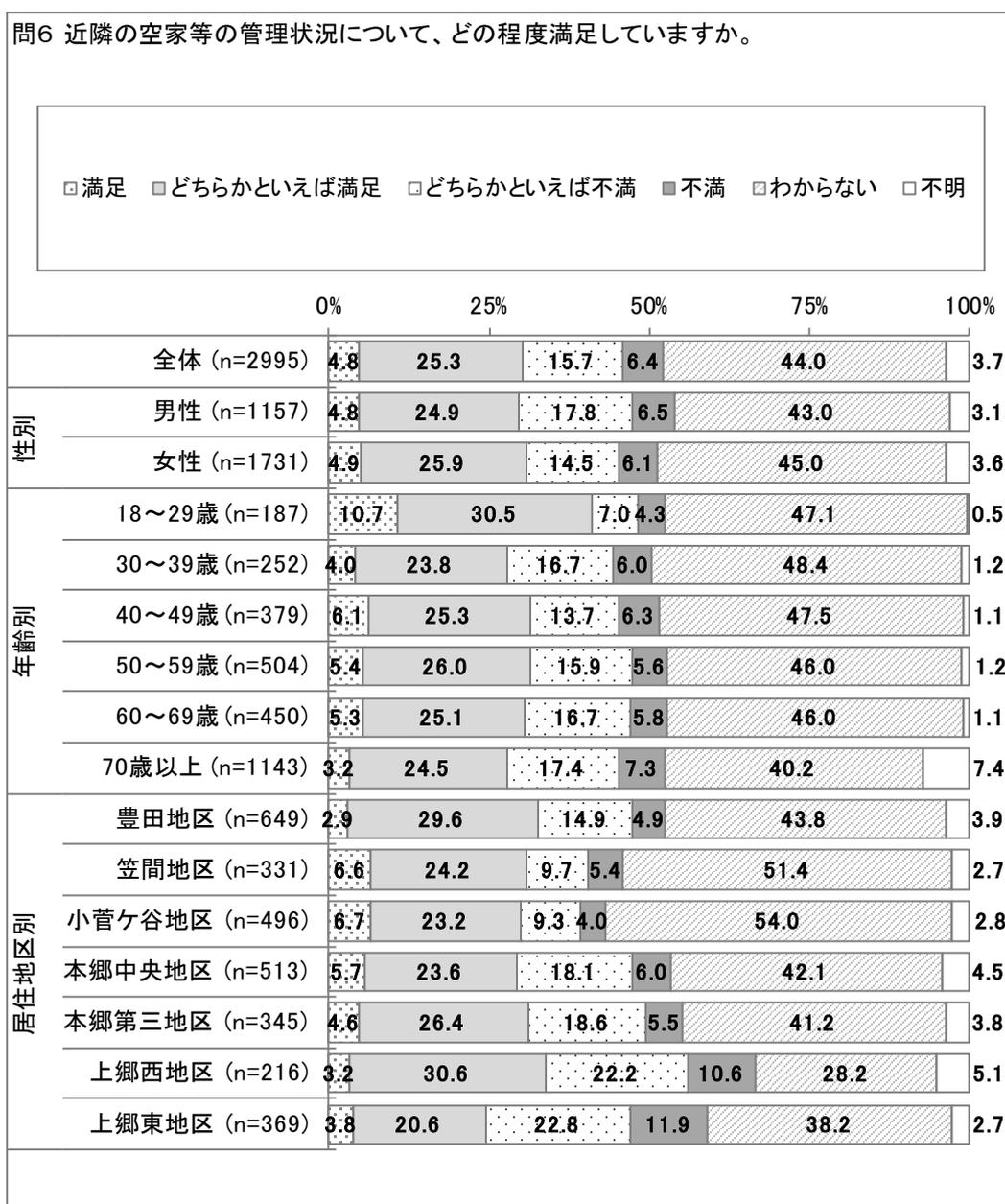
ハ 防犯対策についての満足度：全体・性別・年齢別・居住地区別

- ・全体の『満足』は49.9%である。
- ・全体に対して『満足』が5ポイント以上少ないのは、「30～39歳」である。



ヒ 近隣の空家等の管理状況についての満足度：全体・性別・年齢別・居住地区別

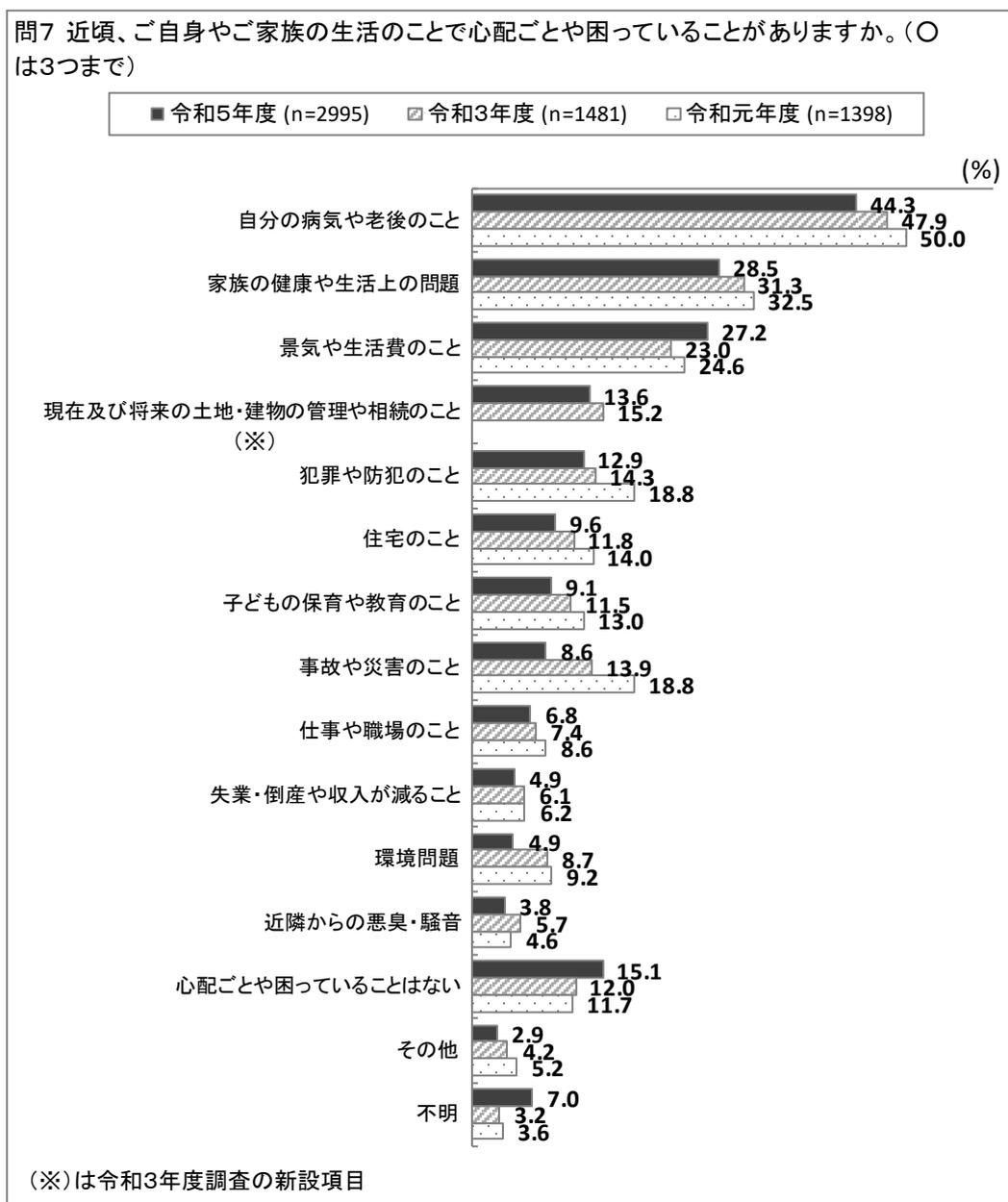
- ・全体の『満足』は30.1%である。
- ・全体に対して『満足』が10ポイント以上多いのは、「18～29歳」である。
- ・全体に対して『満足』が5ポイント以上少ないのは、「上郷東地区」である。



(3) 心配ごとや困っていること（問7）

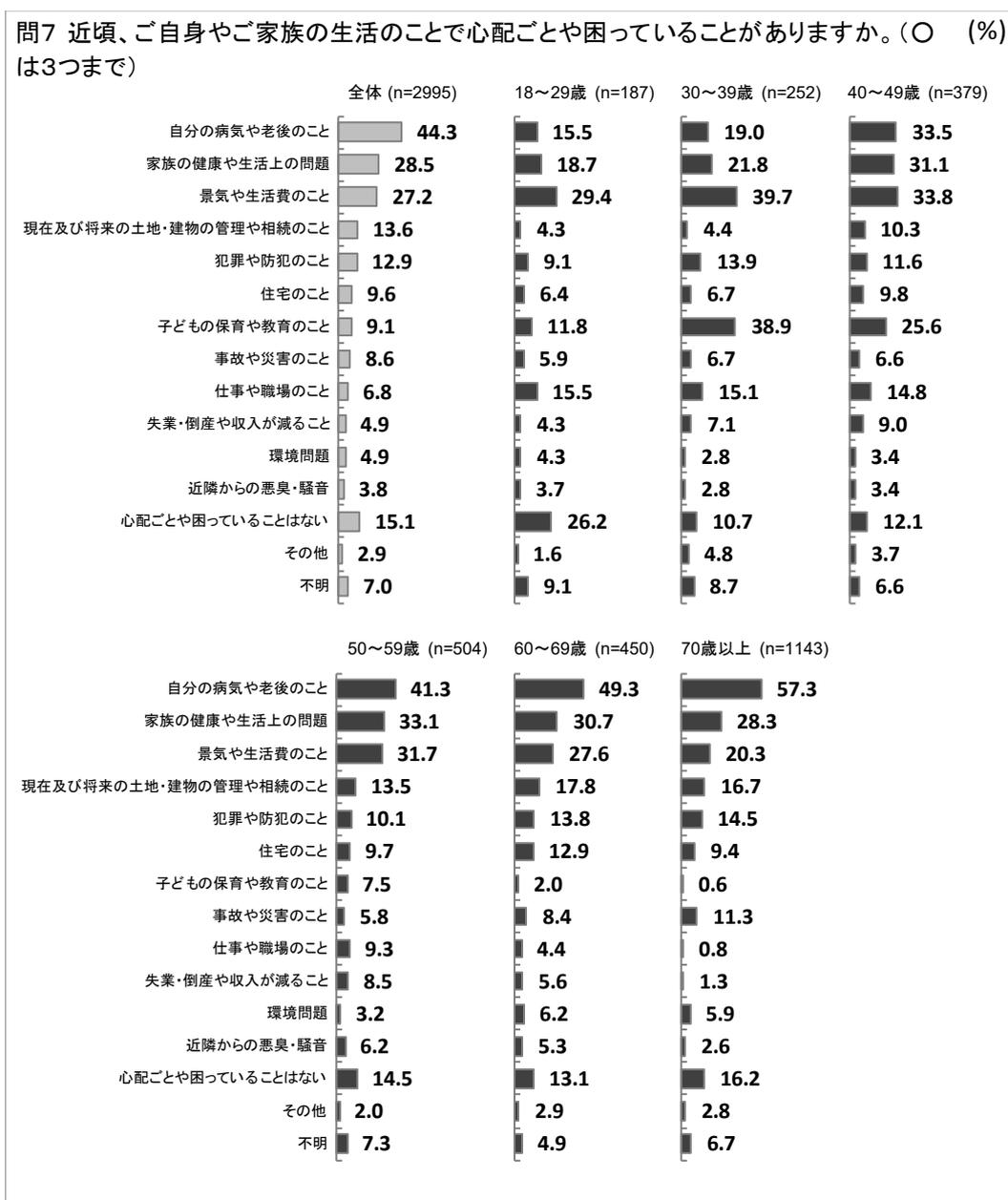
ア 心配ごとや困っていること：全体・時系列

- ・「自分の病気や老後のこと」（44.3%）が最も多く、「家族の健康や生活上の問題」（28.5%）、「景気や生活費のこと」（27.2%）の順に続く。
- ・時系列で見ると「景気や生活費のこと」は前回調査より増加しているが、他の項目は減少している。



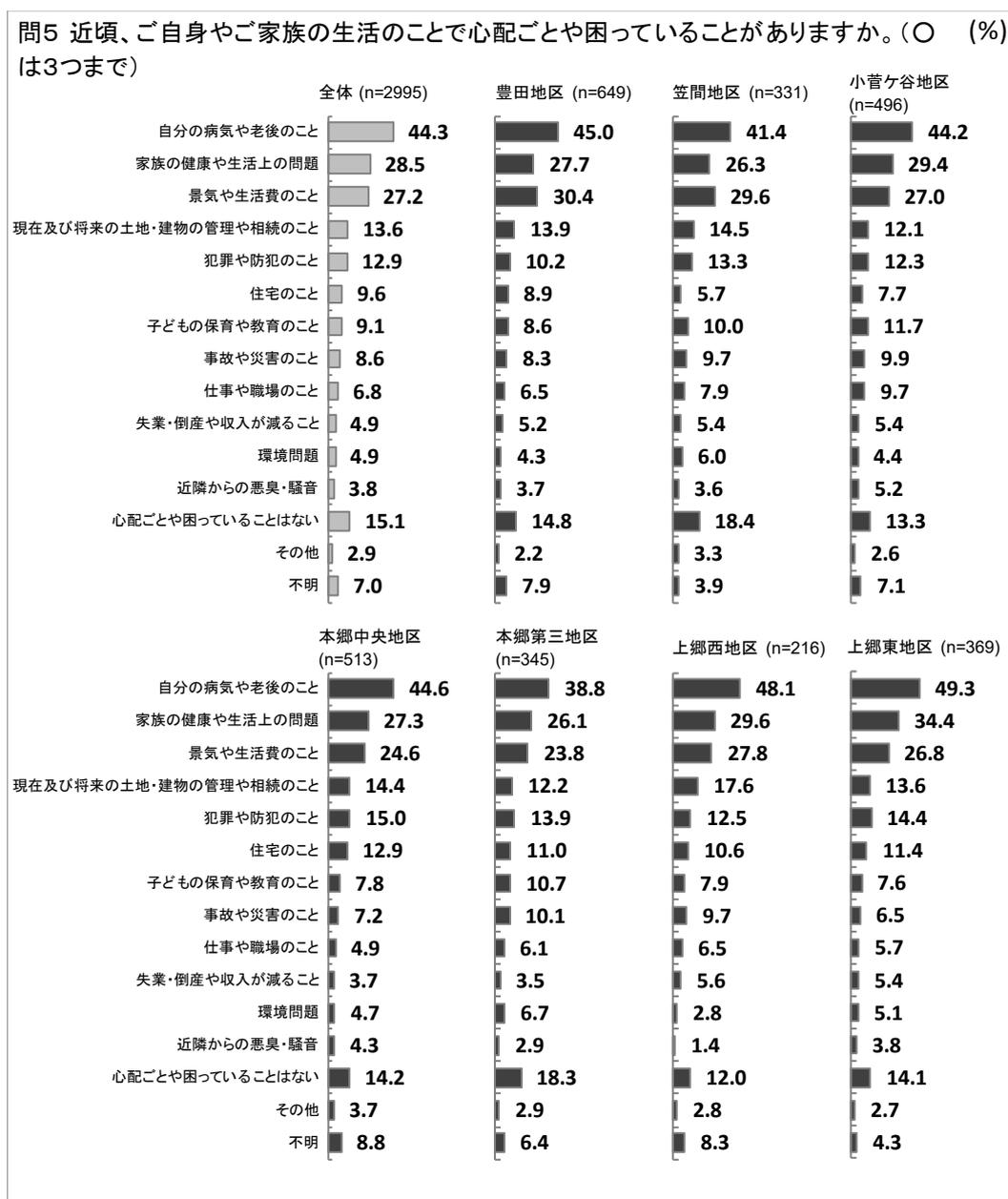
イ 心配ごとや困っていること：年齢別

- ・年齢別では、「18～29歳」から「40～49歳」では「景気や生活費のこと」が最も多い回答で、「50～59歳」から「70歳以上」と傾向が異なっている。
- ・「50～59歳」から「70歳以上」では「自分の病気や老後のこと」が最も多い回答であり、「70歳以上」では6割近くが回答している。



ウ 心配ごとや困っていること：居住地区別

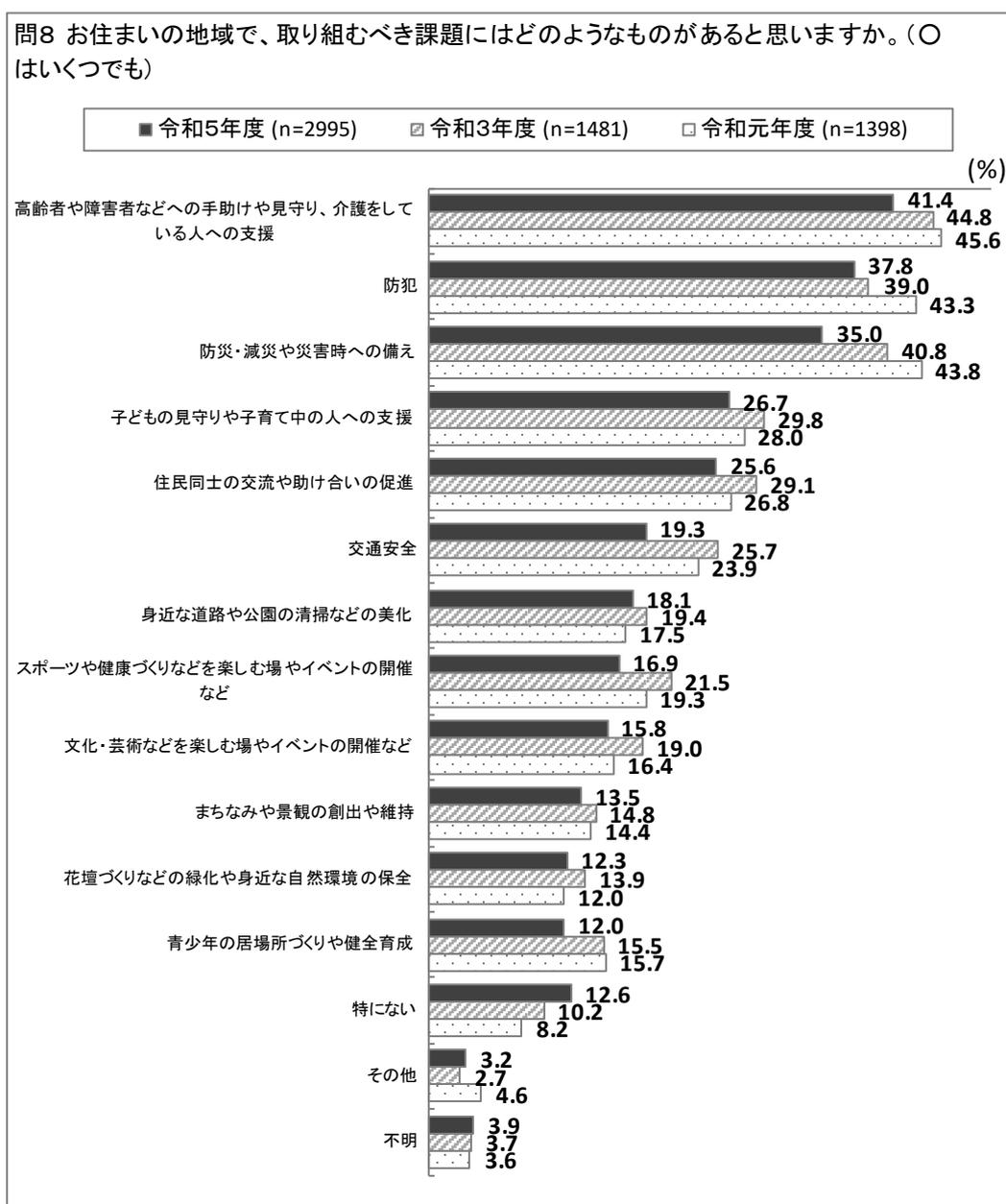
- ・居住地区別ではどの地区も「自分の病気や老後のこと」が最も多い回答であり、「家族の健康や生活上の問題」と「景気や生活費のこと」が上位3つの回答になっている。
- ・「豊田地区」と「笠間地区」では「景気や生活費のこと」が全体を上回り、「家族の健康や生活上の問題」に続く2番目の回答にあげられている。



(4) 取り組むべき課題（問8）

ア 取り組むべき課題：全体・時系列

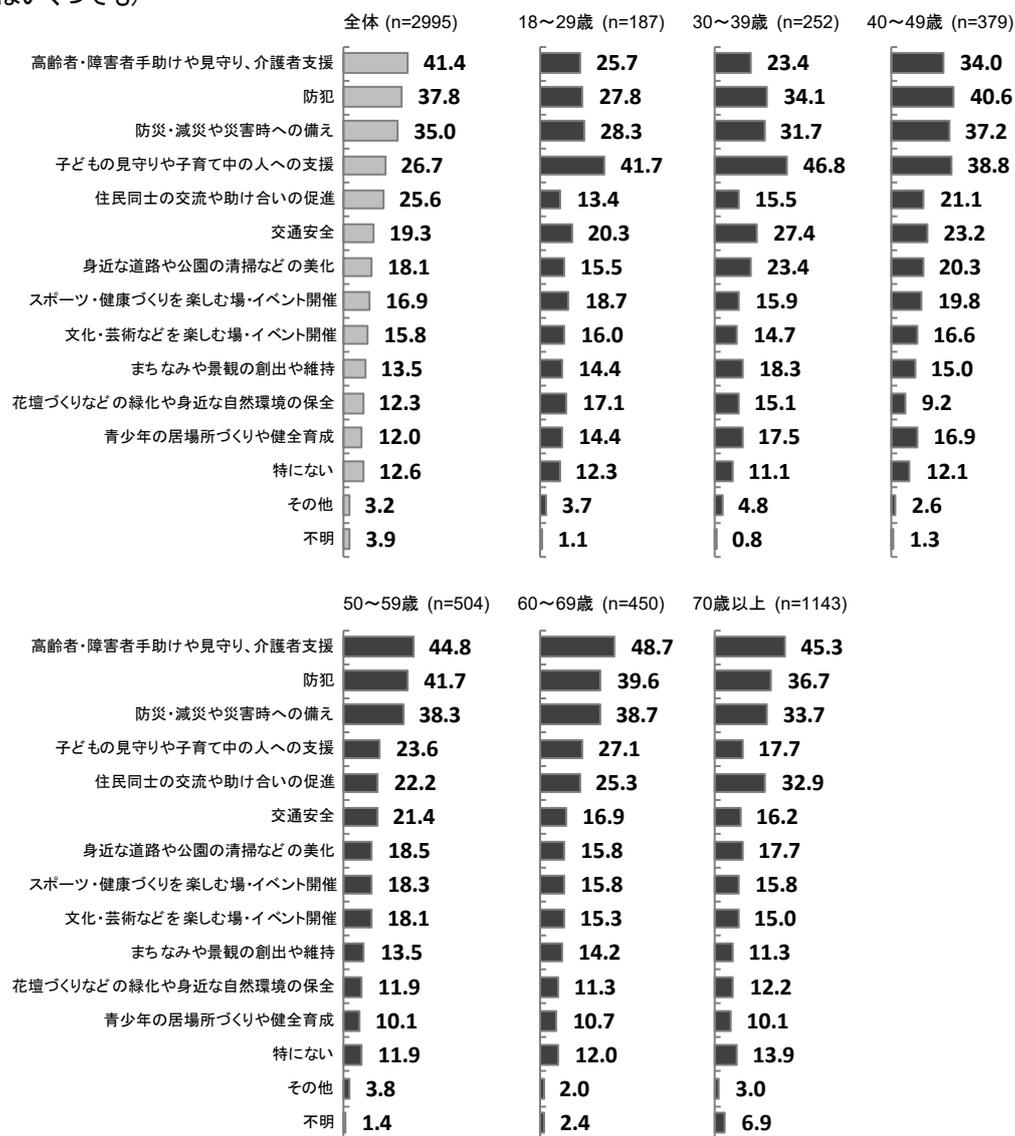
- ・「高齢者や障害者などへの手助けや見守り、介護をしている人への支援」（44.3%）が最も多く、「防犯」（37.8%）、「防災・減災や災害時への備え」（35.0%）の順に続く。
- ・時系列では上位にあげられている項目は共通しているが、いずれも割合は減少傾向にある。
- ・前回調査では「防災・減災や災害時への備え」が2番目に多い回答であるが、今回は「防犯」が2番目に多い回答となっている。



イ 取り組むべき課題：年齢別

- ・年齢別では、「18～29歳」から「30～39歳」では「子どもの見守りや子育て中の人への支援」が最も多い回答であり、「30～39歳」では全体より20.1ポイント多い46.8%となっている。
- ・「70歳以上」では「住民同士の交流や助け合いの促進」が3割を超え、他の年代に比べ多い回答となっている。

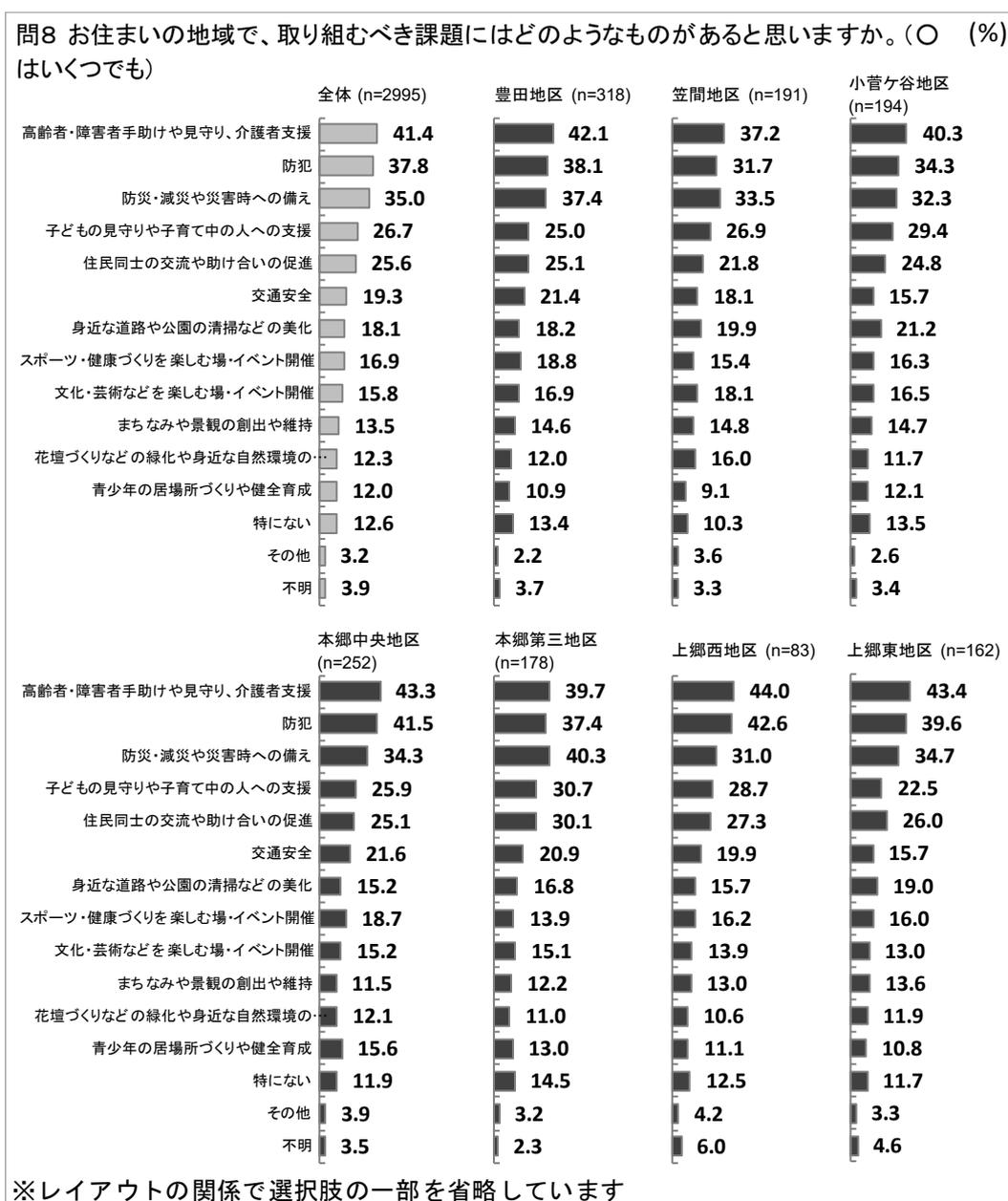
問6 お住まいの地域で、取り組むべき課題にはどのようなものがあると思いますか。(○ (%))
はいくつでも)



レイアウトの関係で選択肢の一部を省略しています

ウ 取り組むべき課題：居住地区別

- ・居住地区別ではどの地区も「高齢者や障害者などへの手助けや見守り、介護をしている人への支援」が最も多く、「防犯」、「防災・減災や災害時への備え」の順に続いており、地区による大きな違いは見られない。

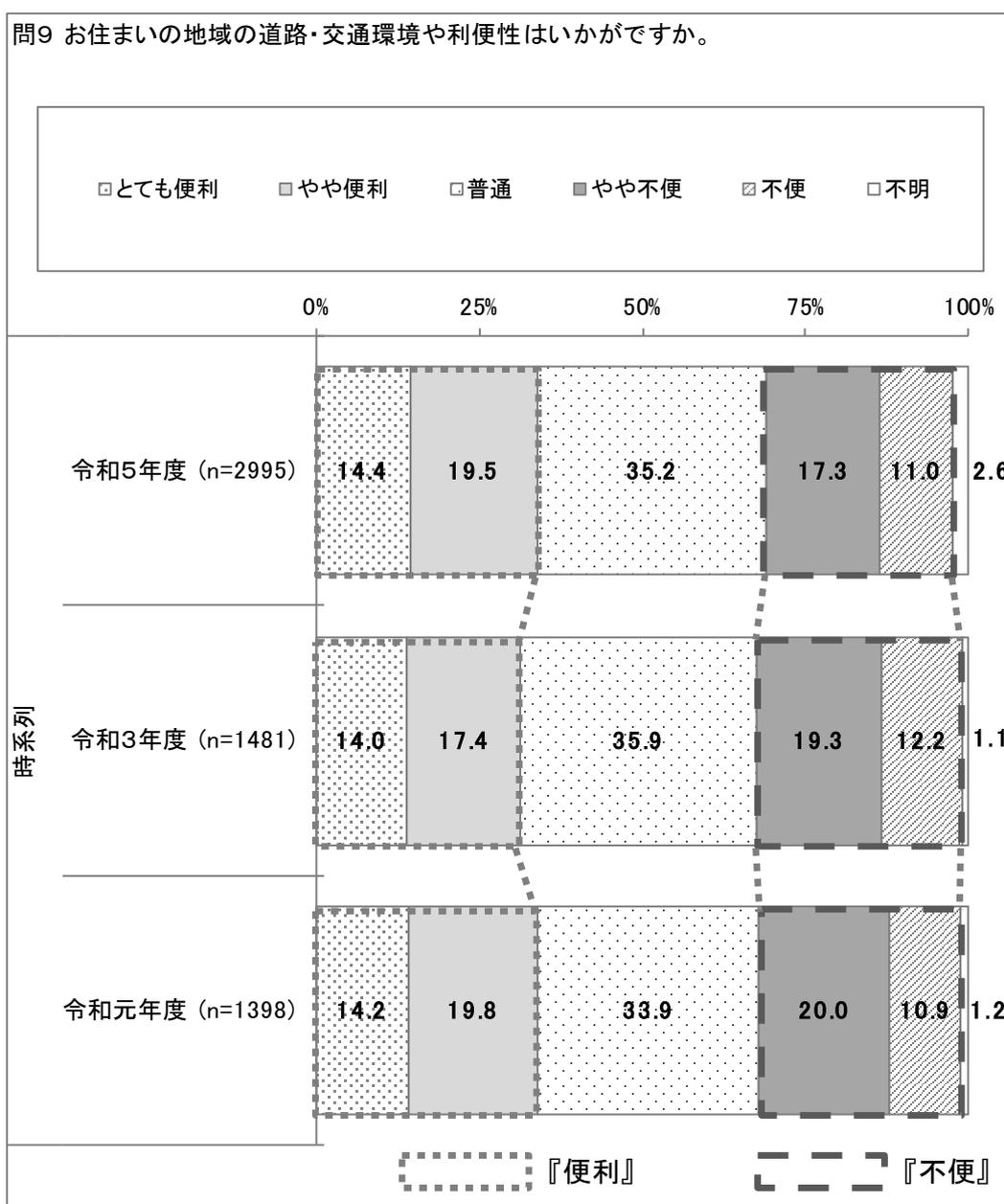


4 道路・交通について

(1) 道路・交通について（問9）

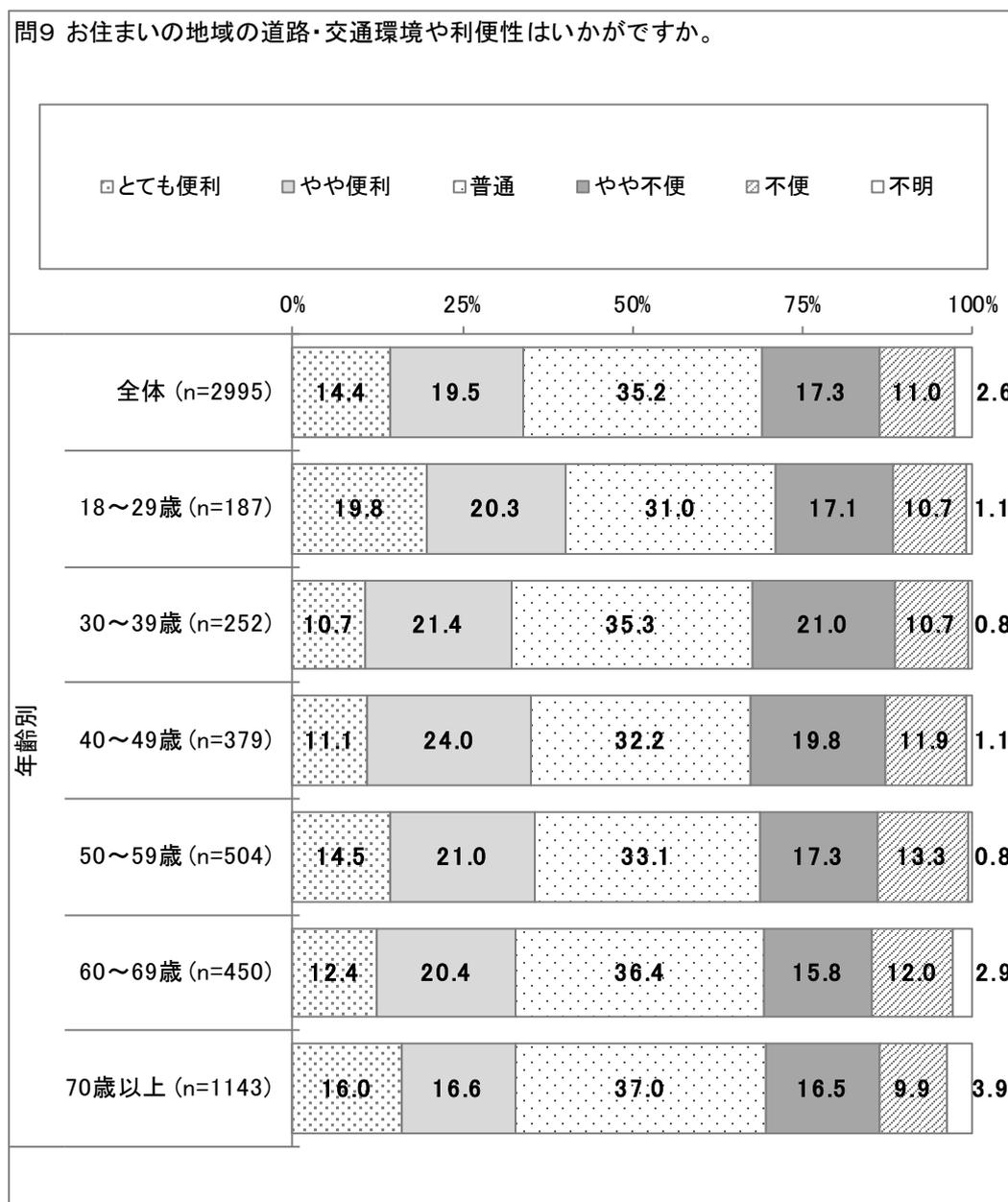
ア 道路・交通について：全体・時系列

- ・『便利』（「とても便利」と「やや便利」の合計）は33.9%、『不便』（「やや不便」と「不便」の合計）は28.3%となっている。
- ・前回調査と同様、『便利』が概ね3割強、『不便』は約3割と大きな変化は見られない。



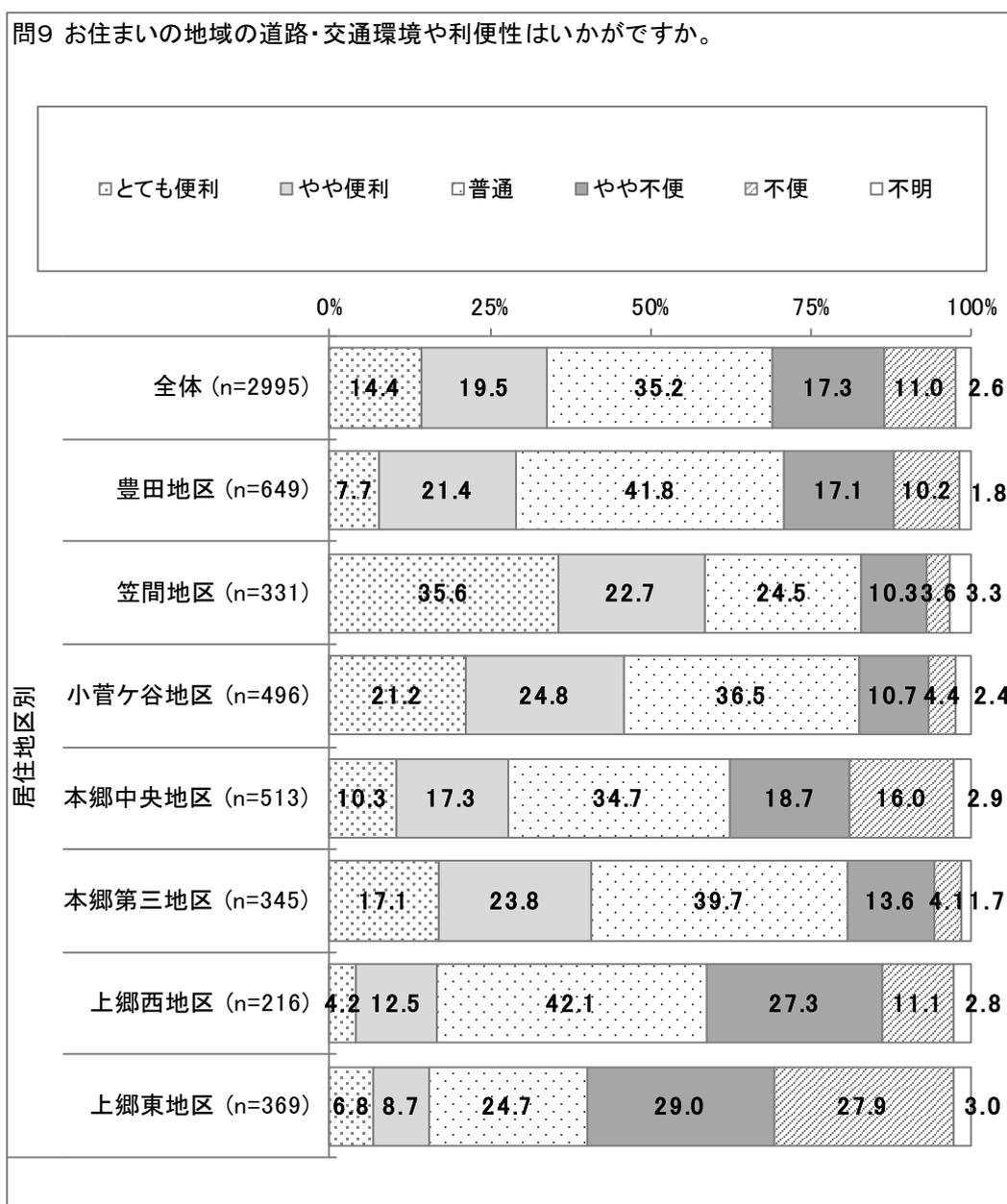
イ 道路・交通について：年齢別

- ・年齢別では、「18～29歳」は『満足』が40.1%と多く、全体より6.2ポイント多い。
- ・「30～39歳」と「40～49歳」、「70歳以上」は『不満』が全体を上回り、3割を超えている。



ウ 道路・交通について：居住地区別

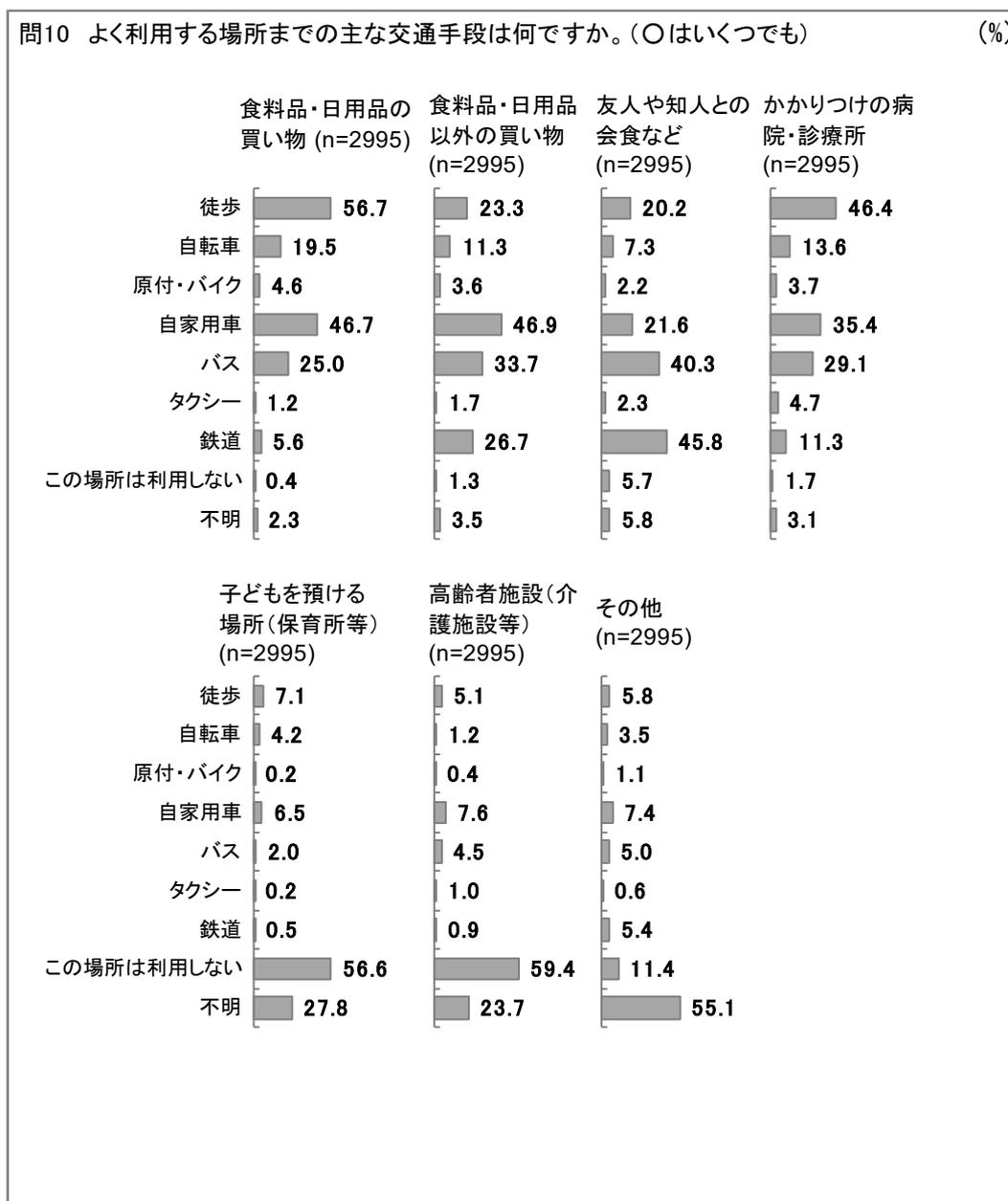
- ・「笠間地区」、「小菅ヶ谷地区」、「本郷第三地区」では『満足』が全体に比べ大きく上回っている。特に笠間地区では58.3%と、全体より24.4ポイント多い。
- ・一方、「上郷東地区」、「上郷西地区」、「本郷中央地区」では『不便』が全体を上回っている。特に上郷東地区では全体より28.6ポイント多い。



(2) よく利用する場所までの主な交通手段（問10）

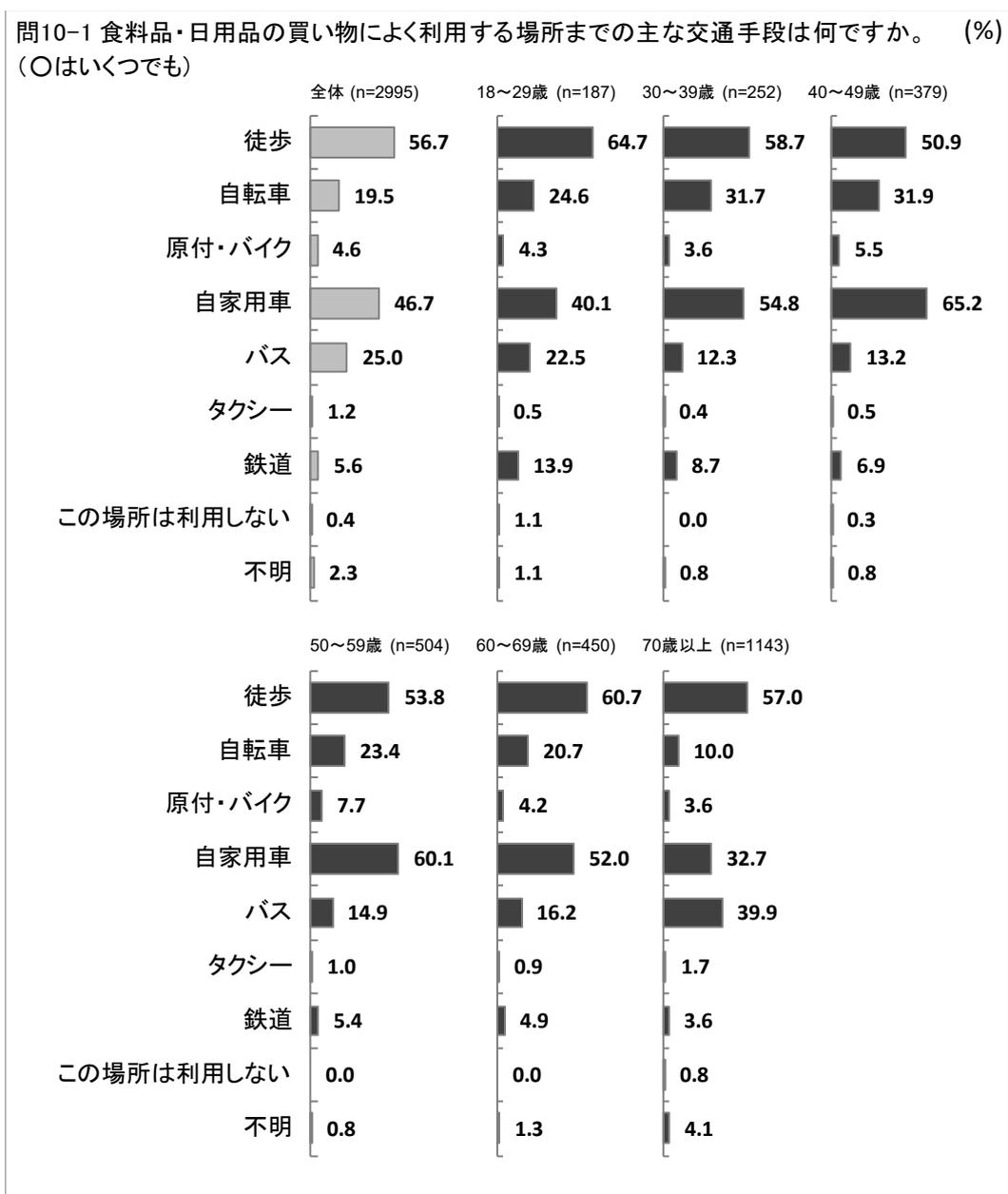
ア よく利用する場所までの主な交通手段：全体

- ・「食料品・日用品の買い物」と「かかりつけの病院・診療所」までの交通手段としては「徒歩」が最も多く、「食料品・日用品以外の買い物」では「自家用車」、「友人や知人との会食など」では鉄道が最も多く使われている。



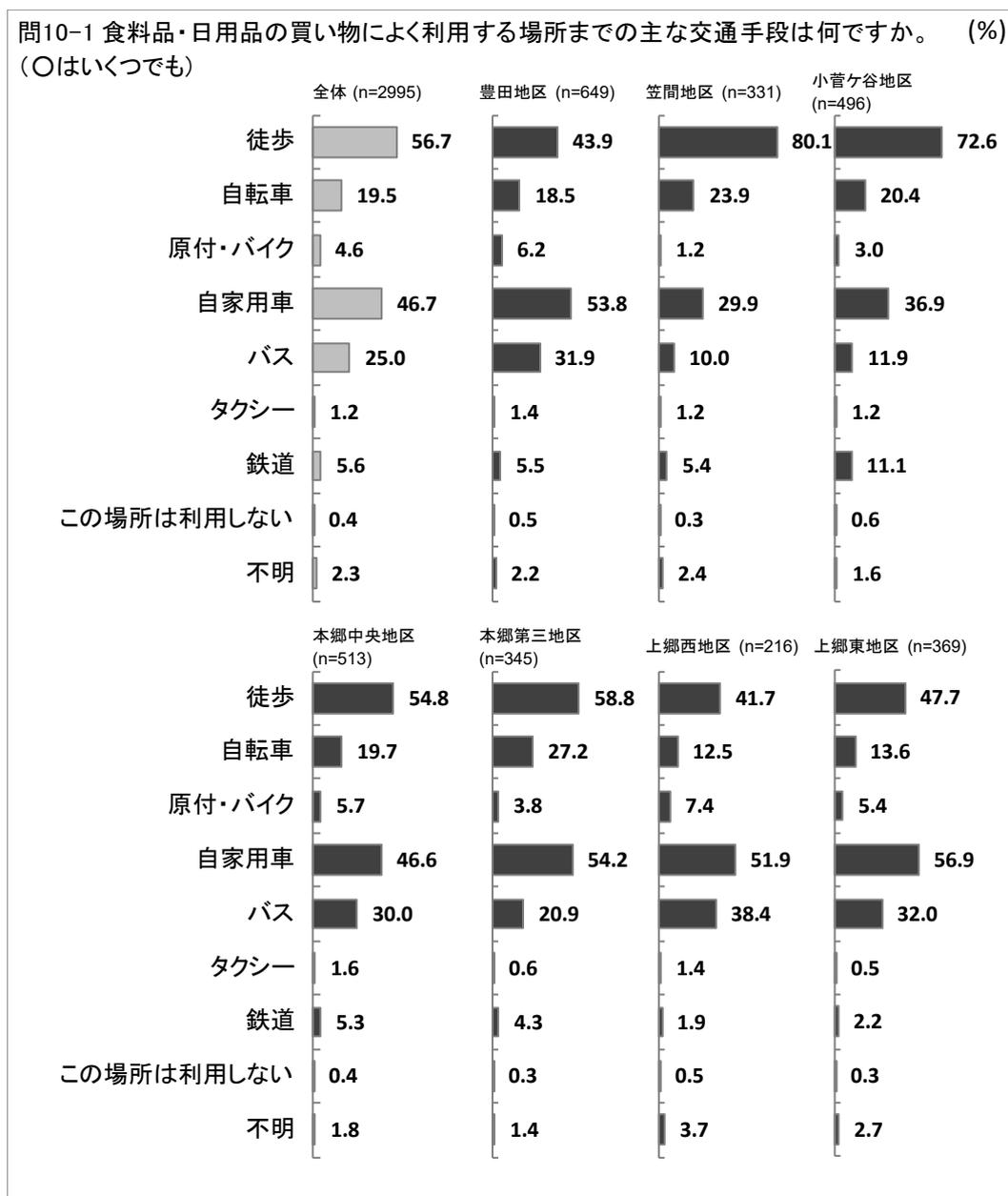
イ 食料品・日用品の買い物によく利用する場所までの主な交通手段：
年齢別

- ・「18～29歳」、「30～39歳」、「60～69歳」では「徒歩」が最も多く、「自家用車」が続く。
- ・「40～49歳」と「50～59歳」では「自家用車」が最も多く、「徒歩」が続く。
- ・「70歳以上」では「徒歩」が最も多く、「バス」が続く。「バス」は全体より14.9ポイント多い。



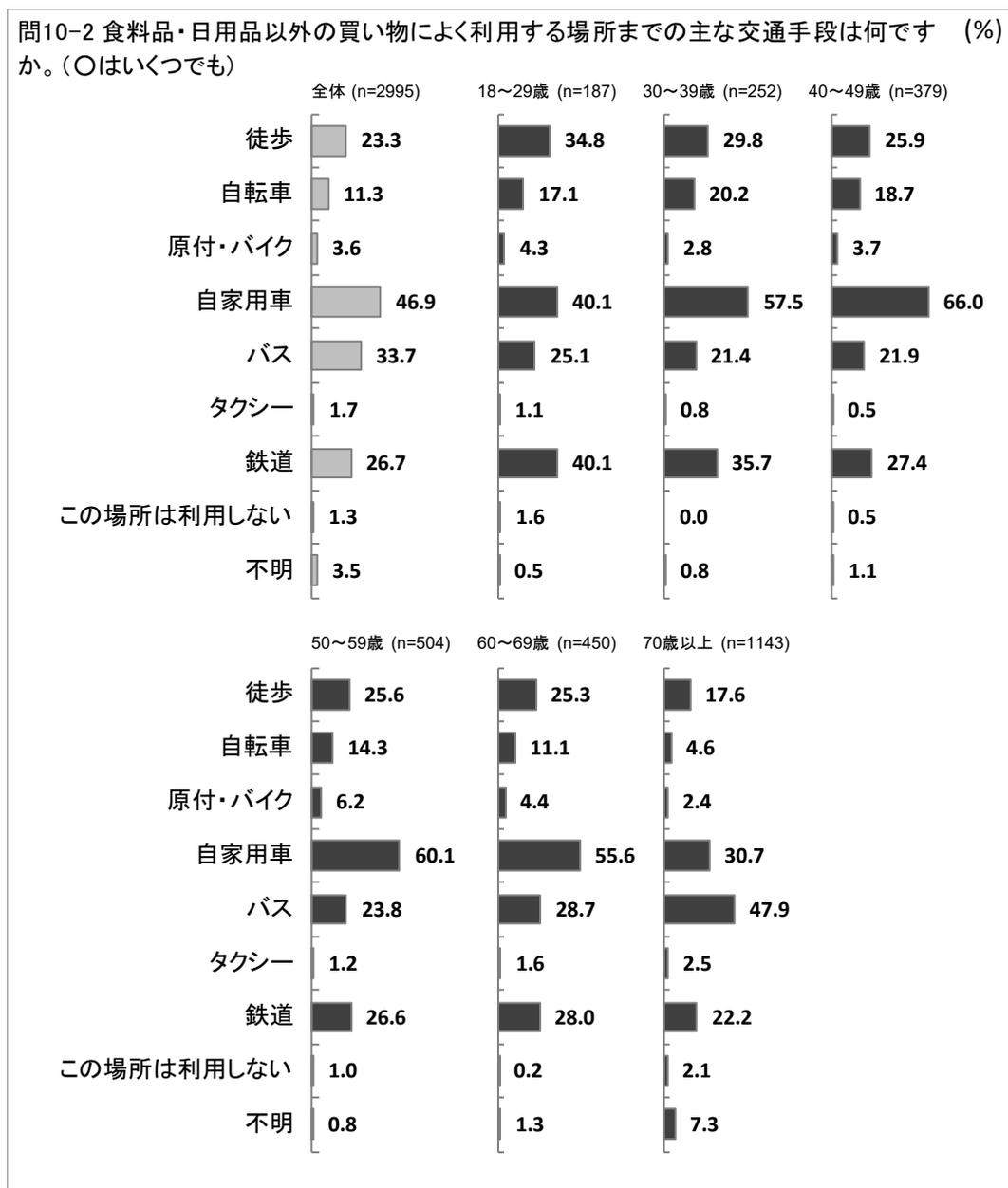
ウ 食料品・日用品の買い物によく利用する場所よく利用する場所までの主な交通手段：居住地区別

- ・「笠間地区」、「小菅ヶ谷地区」、「本郷中央地区」、「本郷第三地区」では、「徒歩」が最も多く、特に「笠間地区」では80.1%と全体より23.4ポイント多い。
- ・「豊田地区」、「上郷西地区」、「上郷東地区」では「自家用車」が最も多い回答で、いずれも5割を超えている。「本郷第三地区」では「自家用車」が2番目の回答であるが、54.2%と5割を超えている。



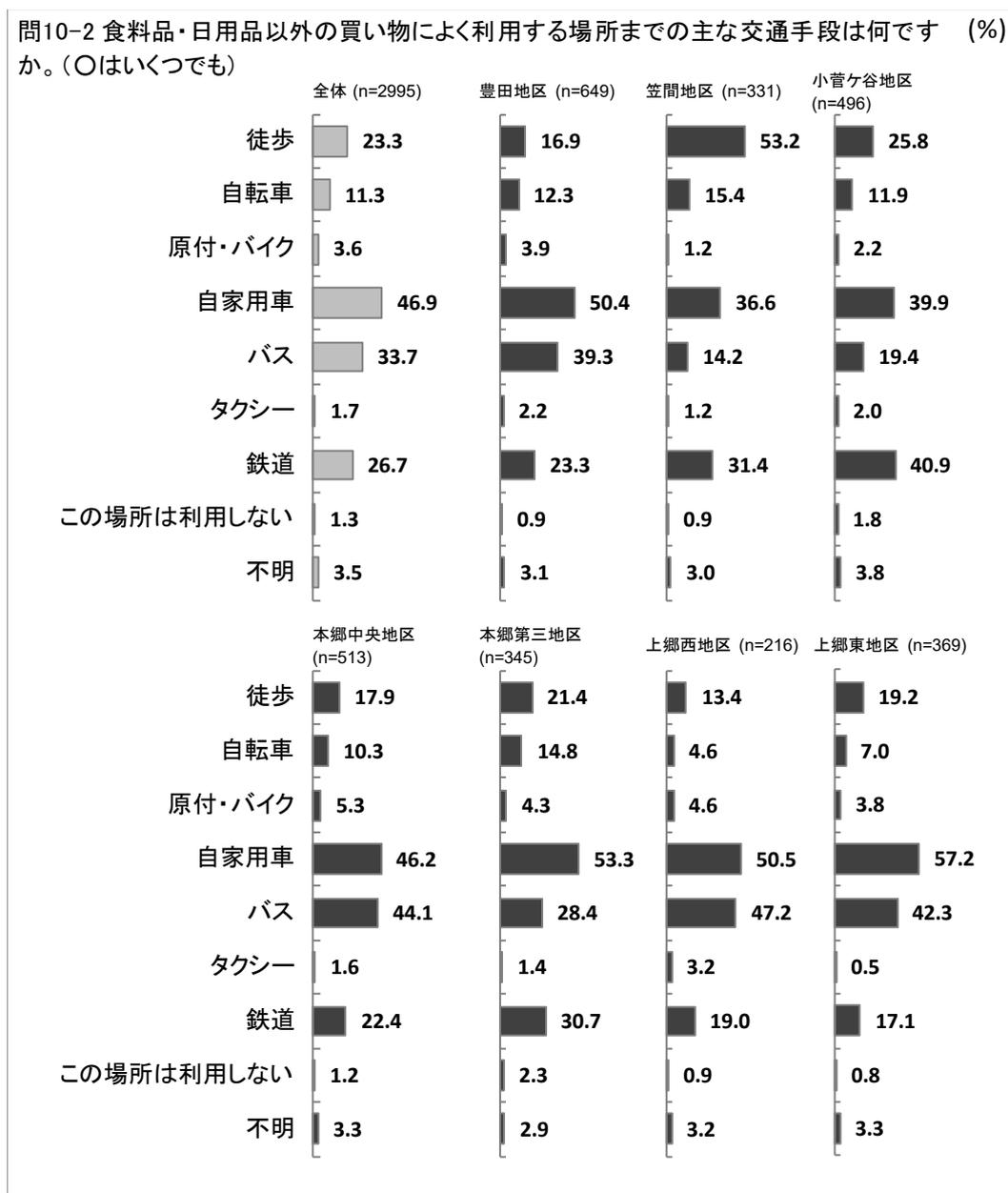
エ 食料品・日用品以外の買い物によく利用する場所よく利用する場所までの主な交通手段：年齢別

- ・「70歳以上」を除く各年代で「自家用車」が最も多い回答である。特に「40～49歳」と「50～59歳」は60%を超えている。
- ・「70歳以上」では「バス」が最も多く、「自家用車」、「鉄道」の順に続く。「バス」の割合は全体より14.2ポイント多い。



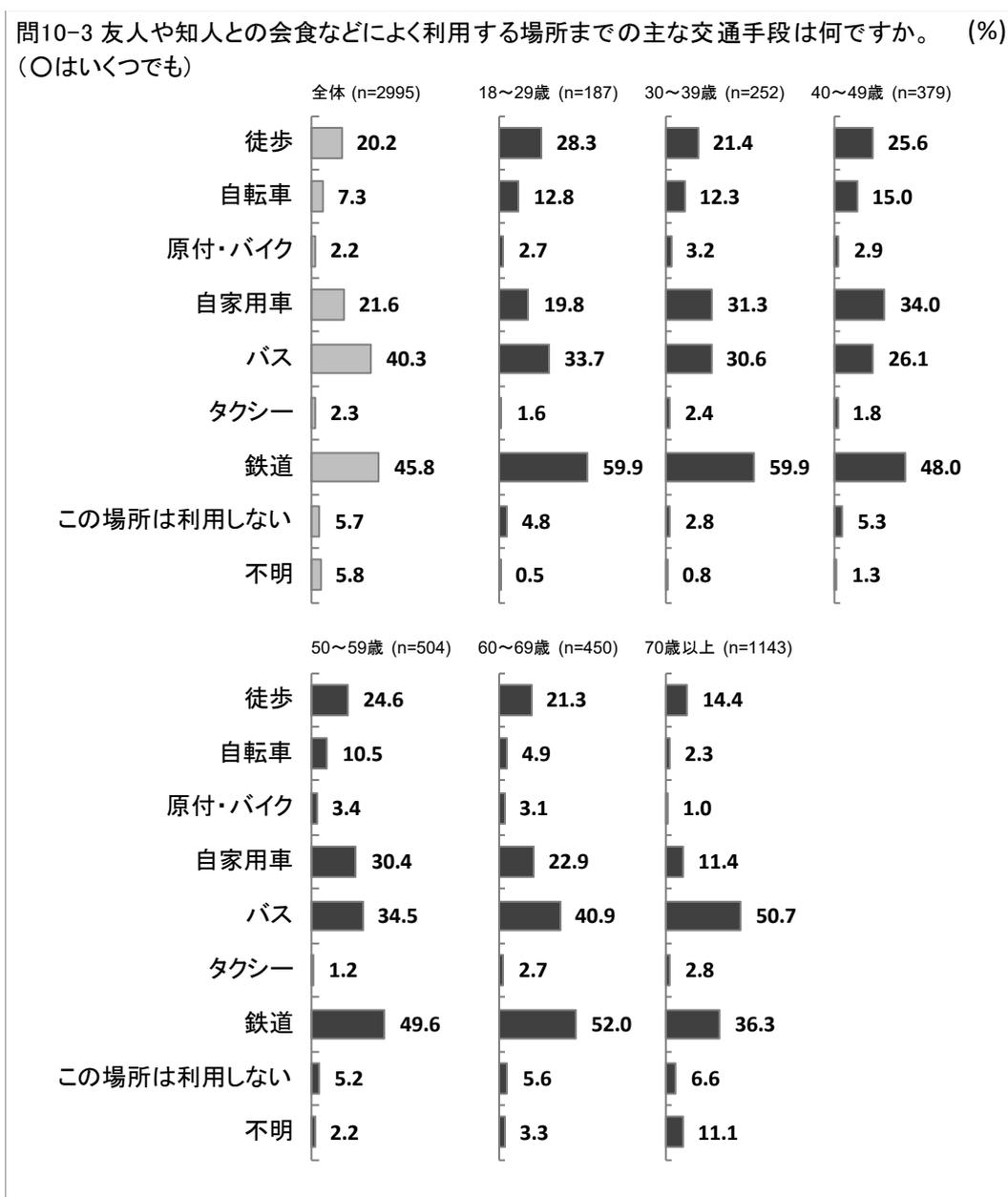
オ 食料品・日用品以外の買い物によく利用する場所よく利用する場所までの主な交通手段：居住地区別

- ・「豊田地区」、「本郷中央地区」、「上郷西地区」、「上郷東地区」では「自家用車」が最も多く、「バス」が続く。
- ・「本郷第三地区」では「自家用車」が最も多く、「鉄道」、「バス」の順に続く。
- ・「笠間地区」は「徒歩」が53.2%と最も多く、全体より29.9ポイント多い。
- ・「小菅ヶ谷地区」は「鉄道」が最も多く、「自家用車」、「徒歩」と続く。



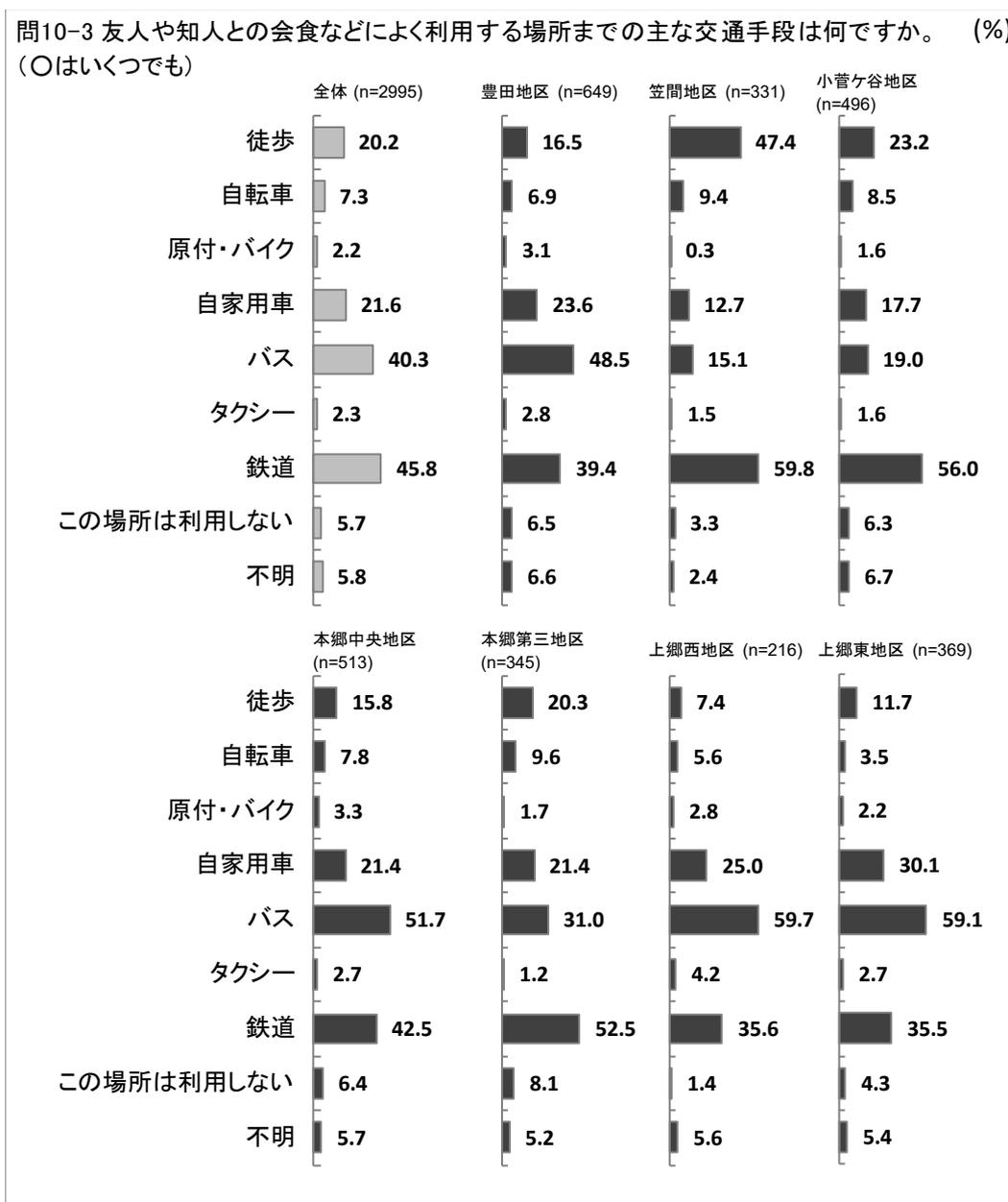
カ 友人や知人との会食などによく利用する場所よく利用する場所までの 主な交通手段：年齢別

- ・「70歳以上」を除く各年代で「鉄道」が最も多く、「18～29歳」、「30～39歳」、「60～69歳」で50%を超えている。
- ・「70歳以上」では「バス」が最も多く、「鉄道」、「徒歩」の順に続く。「バス」は全体より10.4ポイント多い。



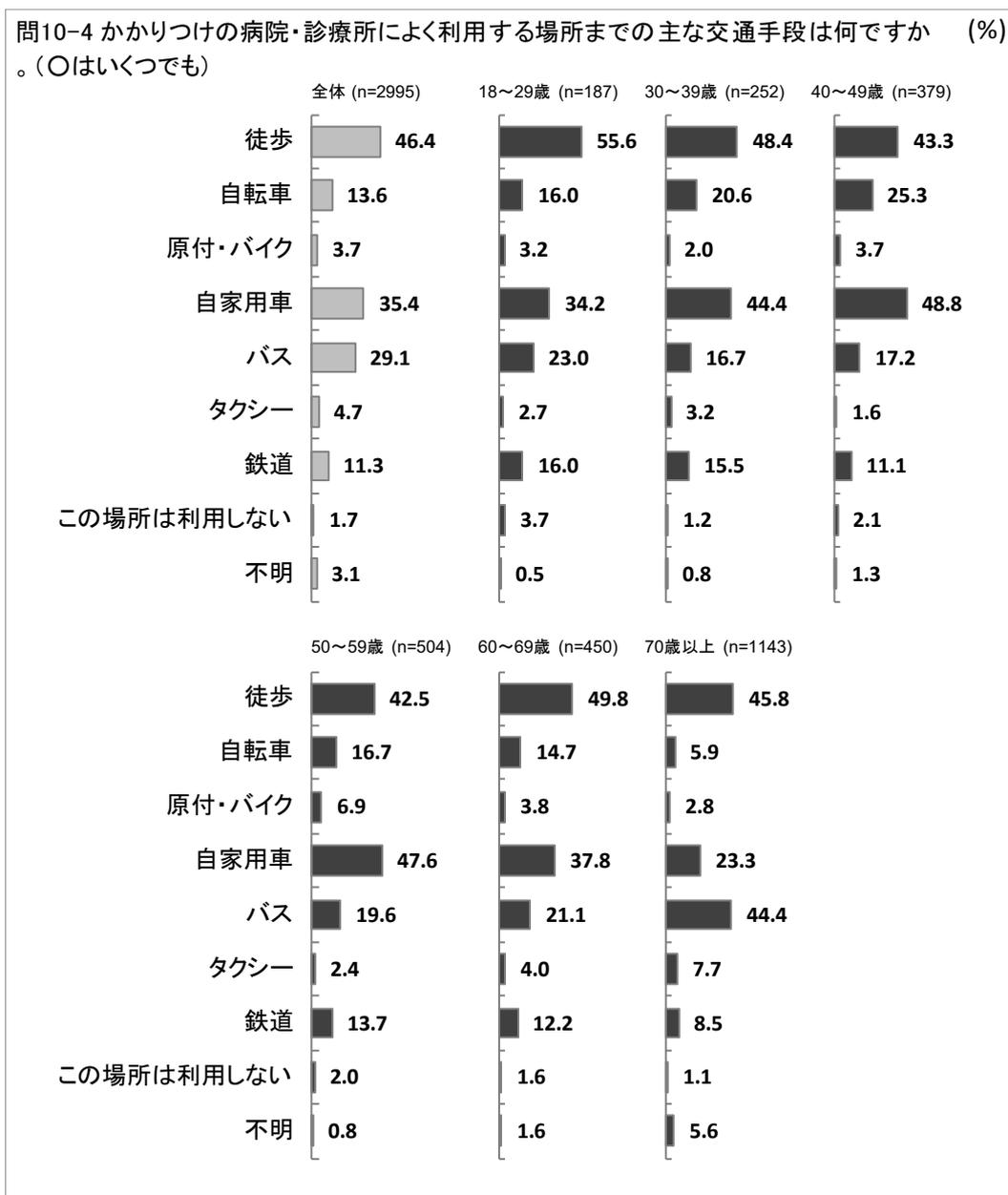
キ 友人や知人との会食などによく利用する場所よく利用する場所までの
 の主な交通手段：居住地区別

- ・「笠間地区」と「小菅ヶ谷地区」では「鉄道」が最も多く、「徒歩」、「バス」の順に続く。「笠間地区」ではとりわけ「徒歩」の割合が多く。47.4%と全体より27.2ポイント多い。
- ・「本郷第三地区」では「鉄道」が最も多く、全体より6.7ポイント多い。
- ・「豊田地区」、「本郷中央地区」、「上郷西地区」、「上郷東地区」では「バス」が最も多く、「鉄道」、「自家用車」の順に続く。



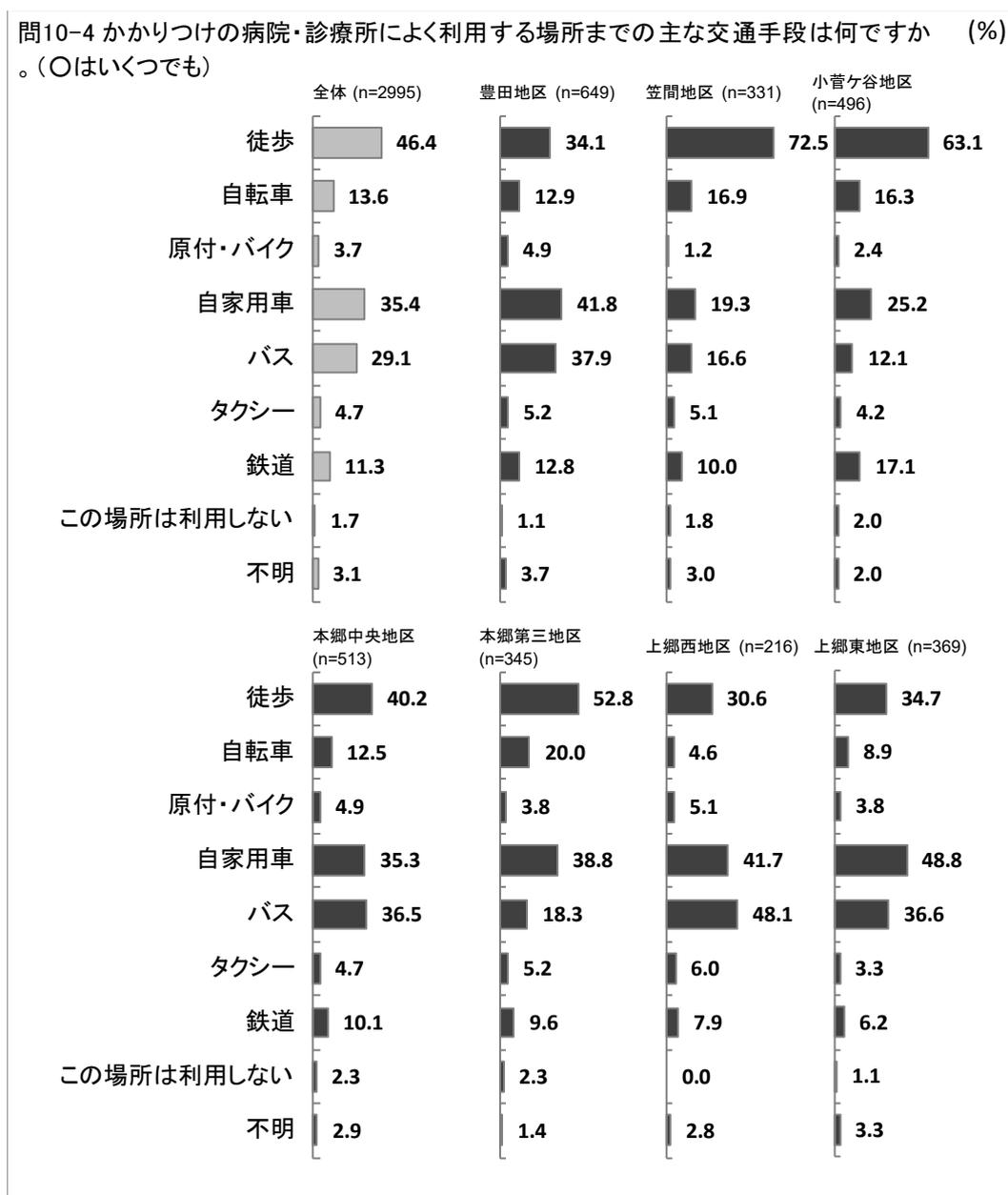
ク かかりつけの病院・診療所によく利用する場所よく利用する場所までの主な交通手段：年齢別

- ・「40～49歳」と「50～59歳」は「自家用車」が最も多く、それ以外の年代は「徒歩」が最も多い。
- ・「70歳以上」では「徒歩」の次に「バス」が多く、「バス」は全体より15.3ポイント多い。



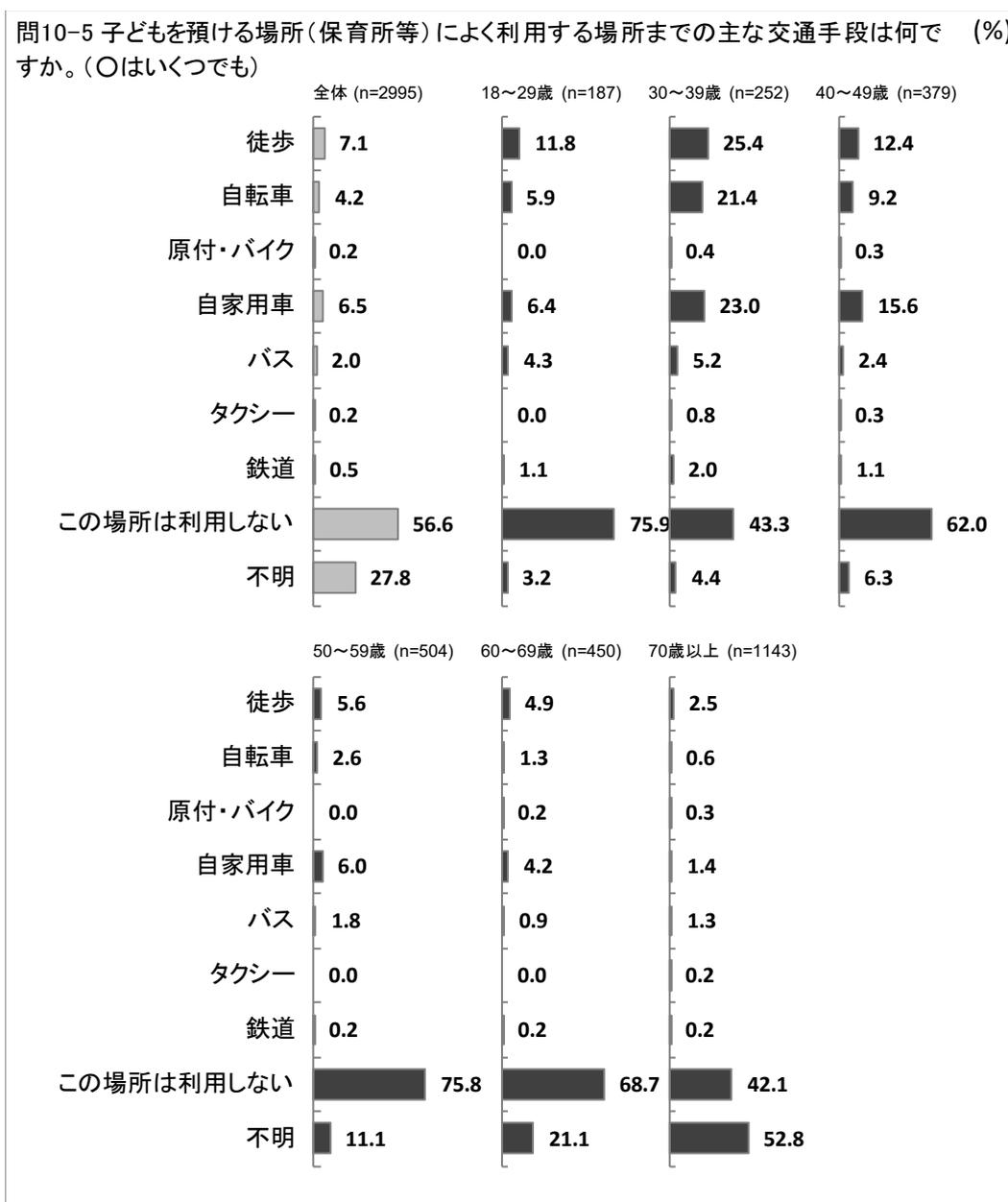
ケ かかりつけの病院・診療所によく利用する場所よく利用する場所までの主な交通手段：居住地区別

- ・「笠間地区」、「小菅ヶ谷地区」、「本郷中央地区」、「本郷第三地区」では「徒歩」が最も多く、とりわけ「笠間地区」では全体より26.1ポイント多い。
- ・「豊田地区」、「上郷東地区」では「自家用車」が最も多く、「上郷西地区」では「バス」が最も多い。



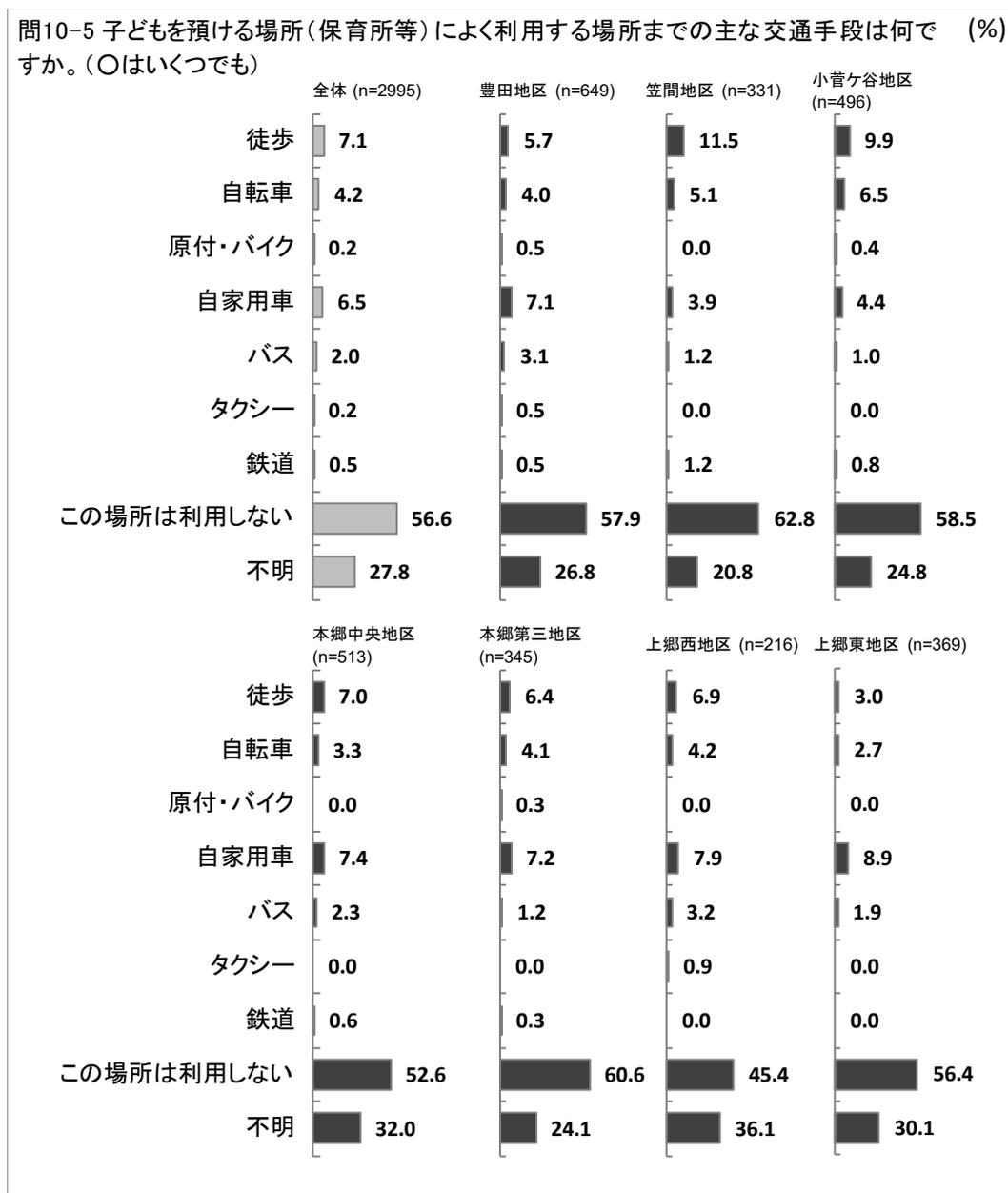
コ 子どもを預ける場所（保育園等）によく利用する場所よく利用する場所までの主な交通手段：年齢別

- ・「30～39歳」、「40～49歳」を除く各年代で「この場所を利用しない」と「不明」の合計が7割を超えている。
- ・「30～39歳」では「この場所を利用しない」を除くと「徒歩」（25.4%）が最も多く、「自家用車」（23.0%）、「自転車」（21.4%）の順に続く。
- ・「40～49歳」では「この場所を利用しない」を除くと「自家用車」（15.6%）が最も多く、「徒歩」（12.4%）、「自転車」（9.2%）の順に続く。



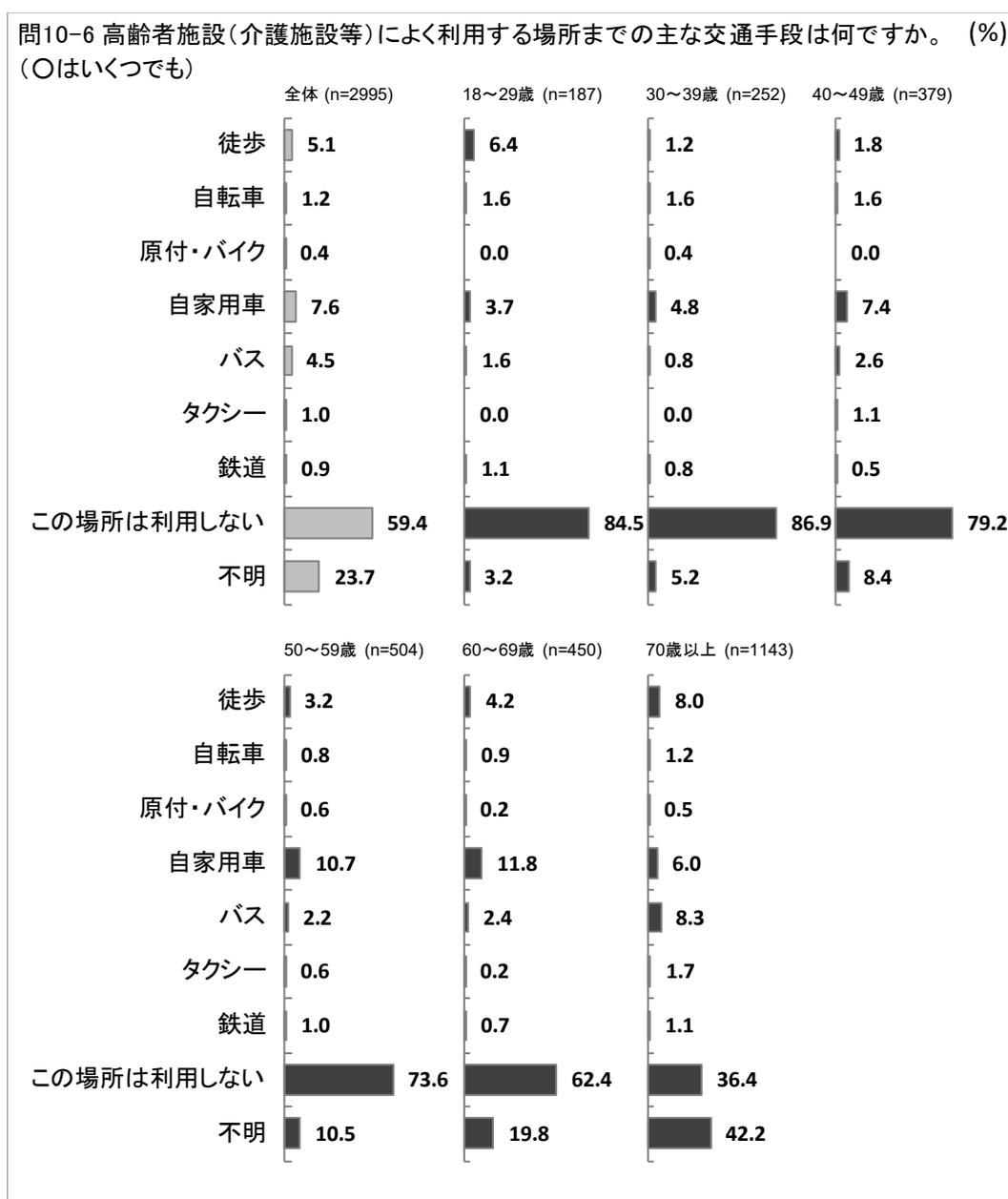
サ 子どもを預ける場所（保育園等）によく利用する場所よく利用する場所までの主な交通手段：居住地区別

- ・各地区で「この場所は利用しない」と「不明」の合計が8割を超えている。
- ・「笠間地区」と「小菅ヶ谷地区」では「徒歩」が最も多く、「豊田地区」、「本郷中央地区」、「本郷第三地区」、「上郷西地区」、「上郷東地区」では「自家用車」が最も多い回答である。



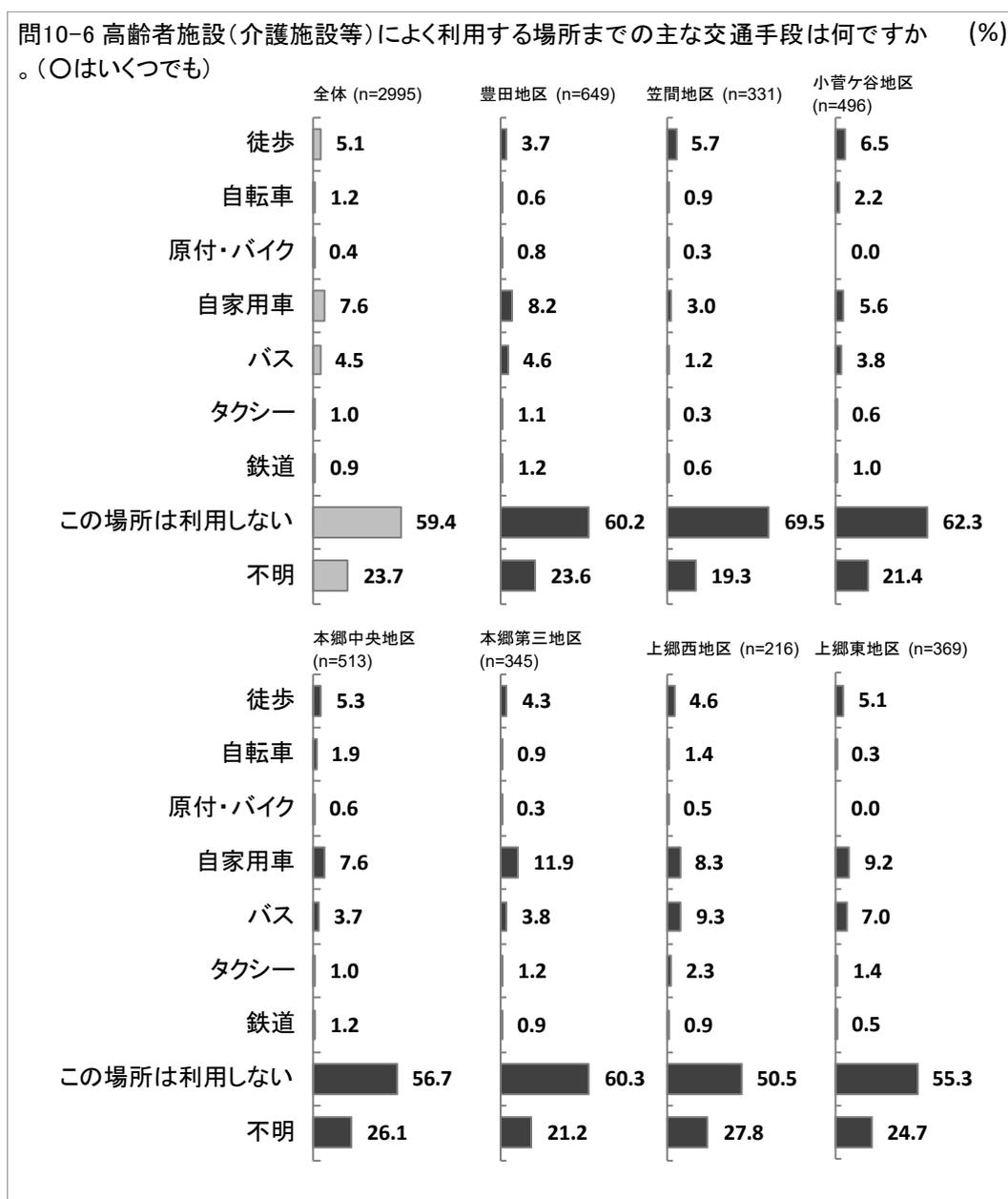
シ 高齢者施設（介護施設等）によく利用する場所よく利用する場所までの主な交通手段：年齢別

- ・「70歳以上」を除く各年代で「この場所は利用しない」と「不明」の合計が8割を超えている。
- ・「50～59歳」、「60～69歳」で「自家用車」が1割を超えている。
- ・「70歳以上」では、「バス」（8.3%）が最も多く、「徒歩」（8.0%）、「自家用車」（6.0%）の順に続く。



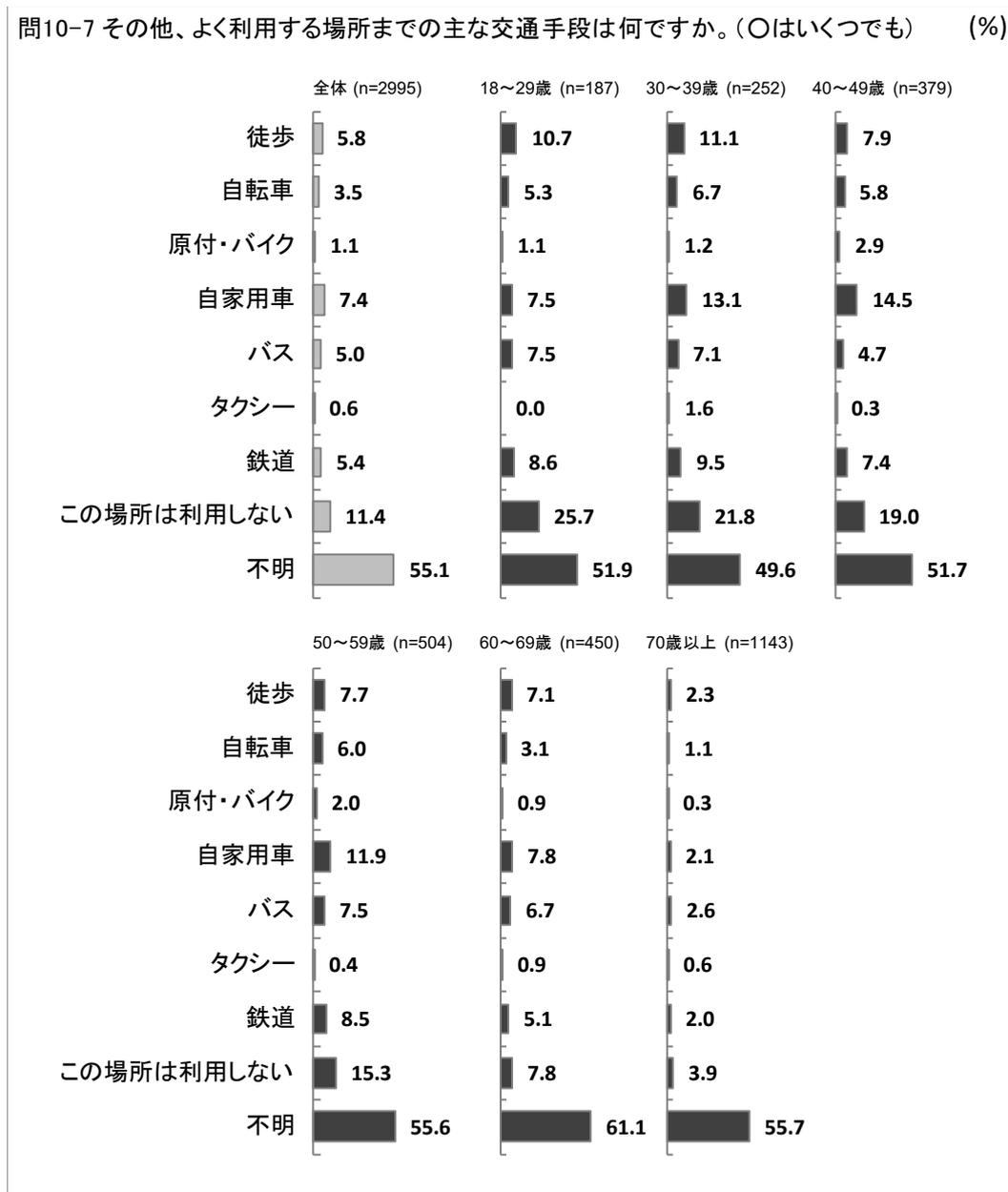
ス 高齢者施設（介護施設等）によく利用する場所よく利用する場所までの主な交通手段：居住地区別

- ・各地区で「この場所は利用しない」と「不明」の合計が約8割となっている。
- ・「笠間地区」、「小菅ヶ谷地区」、「上郷西地区」を除く各地区で、「自家用車」が最も多く、「本郷第三地区」では11.9%と1割を超えている。
- ・「笠間地区」、「小菅ヶ谷地区」では「徒歩」が最も多く、「上郷西地区」では「バス」が最も多い。



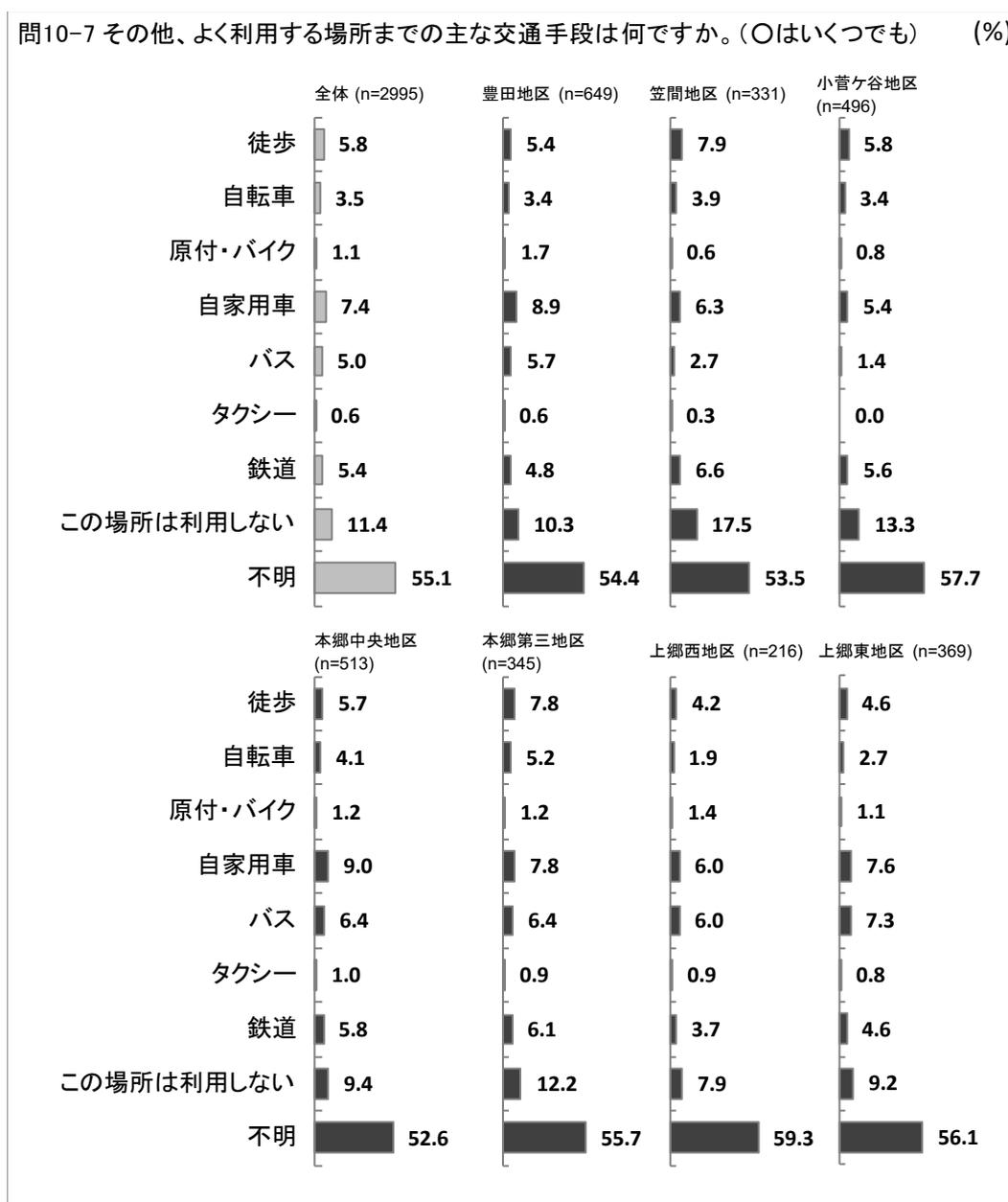
セ その他、よく利用する場所よく利用する場所までの主な交通手段：
年齢別

- ・「30～39歳」、「40～49歳」、「50～59歳」では「自家用車」の回答が1割を超えている。



ソその他、よく利用する場所よく利用する場所までの主な交通手段：居住地区別

- ・「笠間地区」と「小菅ヶ谷地区」では「徒歩」の回答が最も多く、「本郷第三地区」では「徒歩」と「自家用車」の回答が同数で多くあげられた。
- ・「豊田地区」、「本郷中央地区」、「上郷東地区」では「自家用車」の回答が最も多く、「上郷西地区」では「自家用車」と「バス」が同数で多くあげられた。

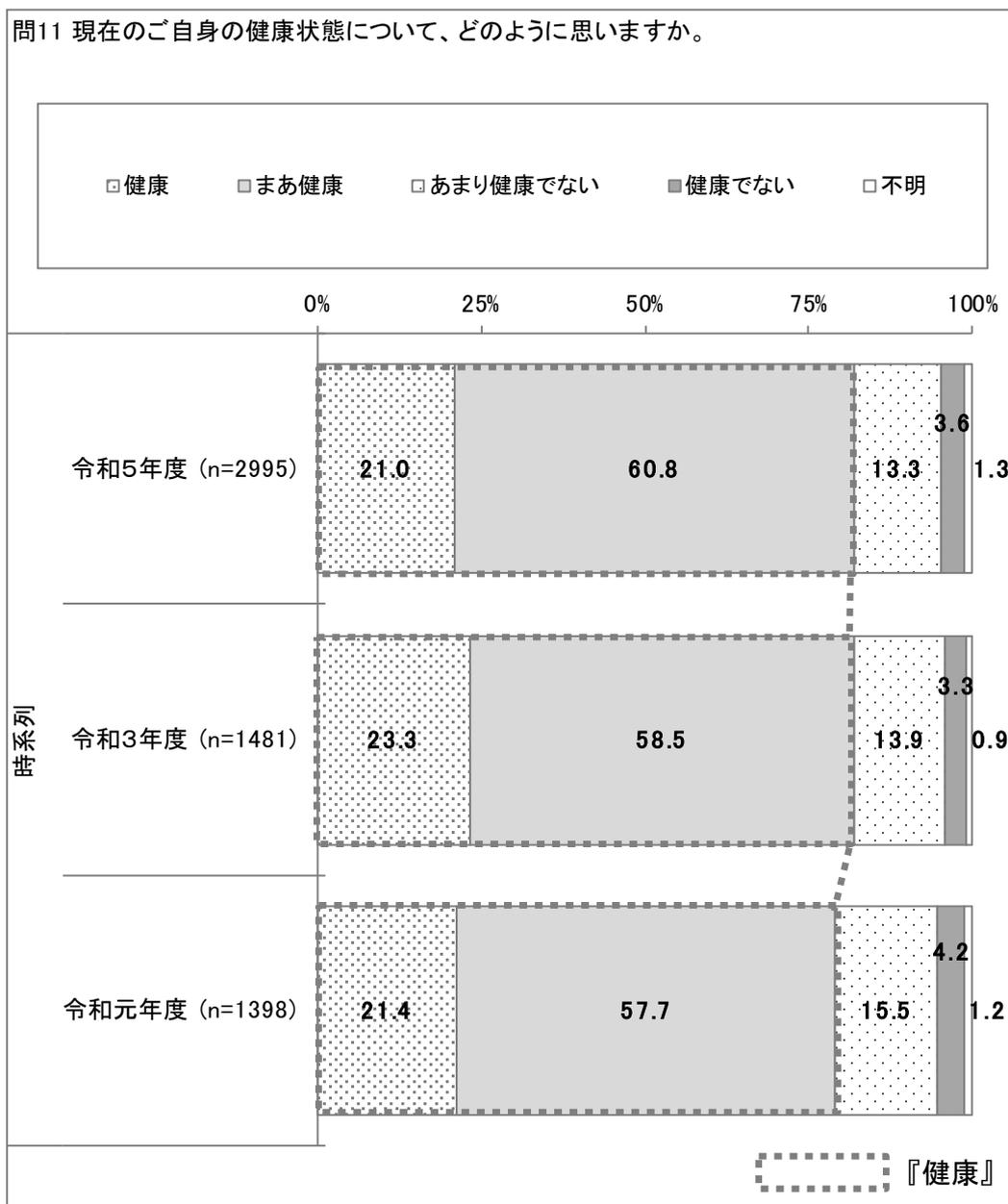


5 健康・福祉について

(1) 健康状態（問11）

ア 健康状態：全体・時系列

- ・『健康』（「健康」と「まあ健康」の合計）は81.8%で、前回調査と比べ大きな変化は見られない。



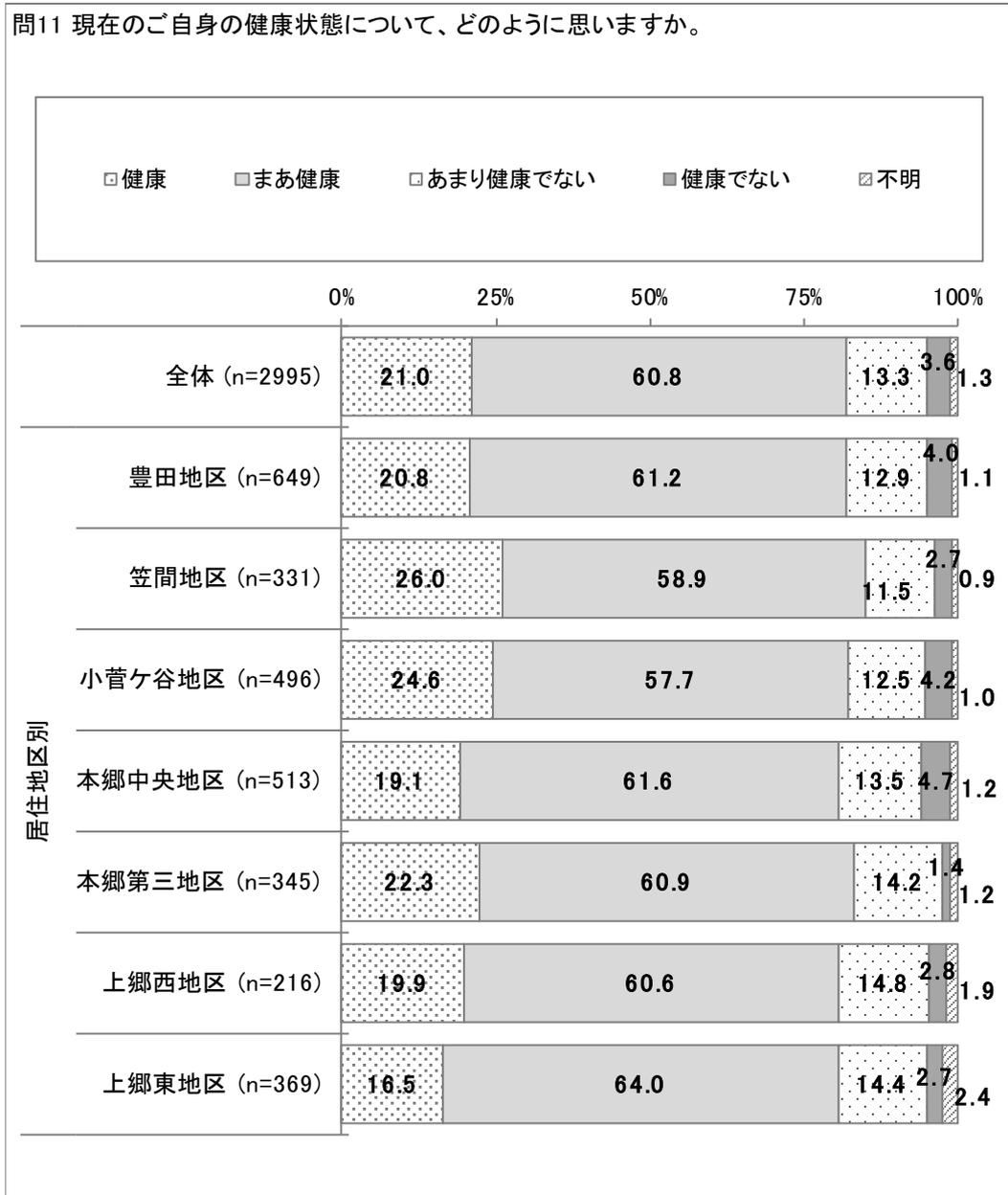
イ 健康状態：性年齢別

- ・性別に関わらず、年代が上がるにつれ『健康』との回答が少なくなっている。
- ・男性は、「18～29歳」で10ポイント以上、「30～39歳」と「40～49歳」で5ポイント以上『健康』の割合が全体より多い。
- ・女性は、「18～29歳」で10ポイント以上、「30～39歳」で5ポイント以上『健康』の割合が全体より多い。



ウ 健康状態：居住地区別

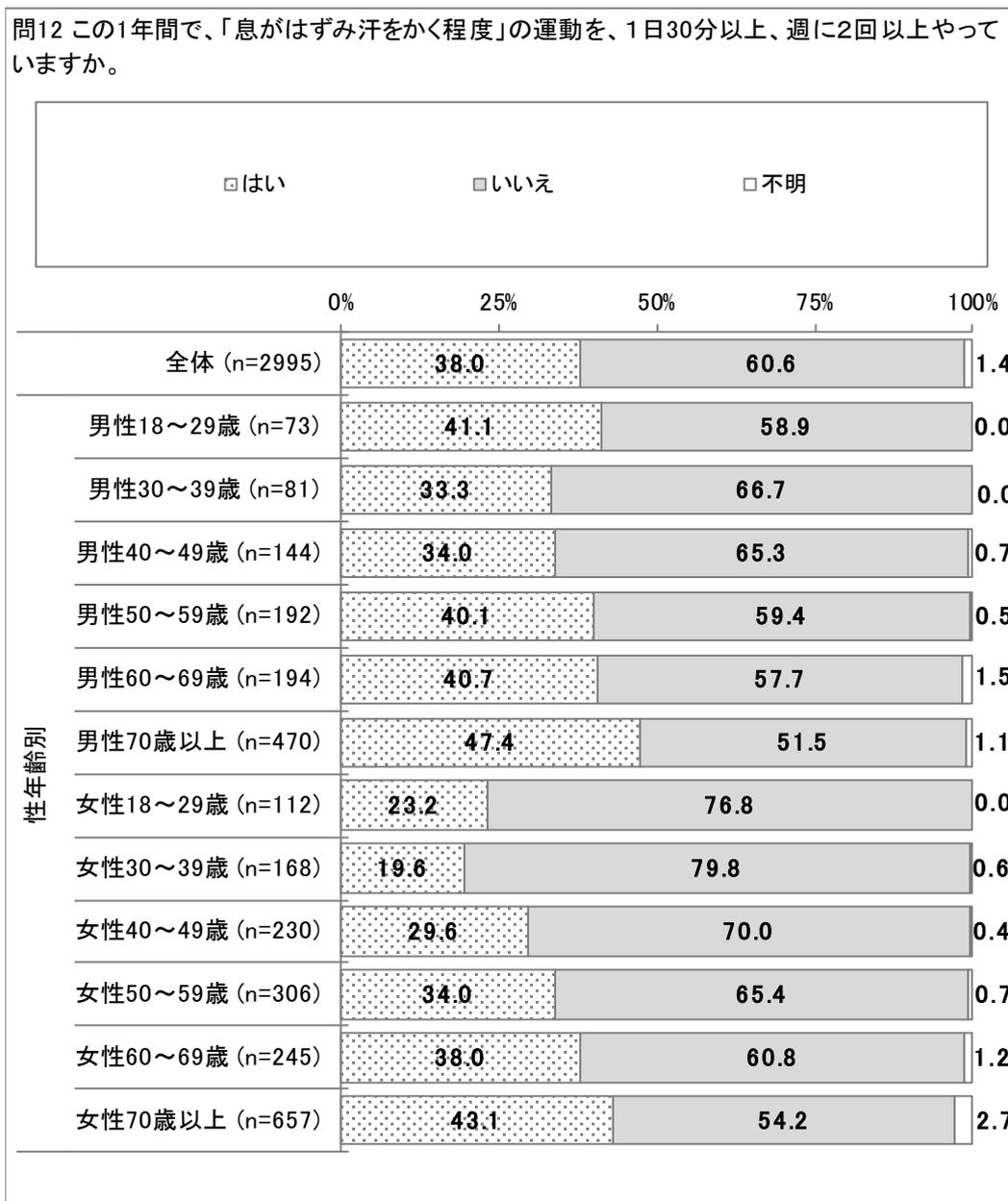
- ・各地区とも8割以上が『健康』との回答であり、居住地区による大きな差は見られない。



(2) 「息がはずみ汗をかく程度」の運動の実施状況（問12）

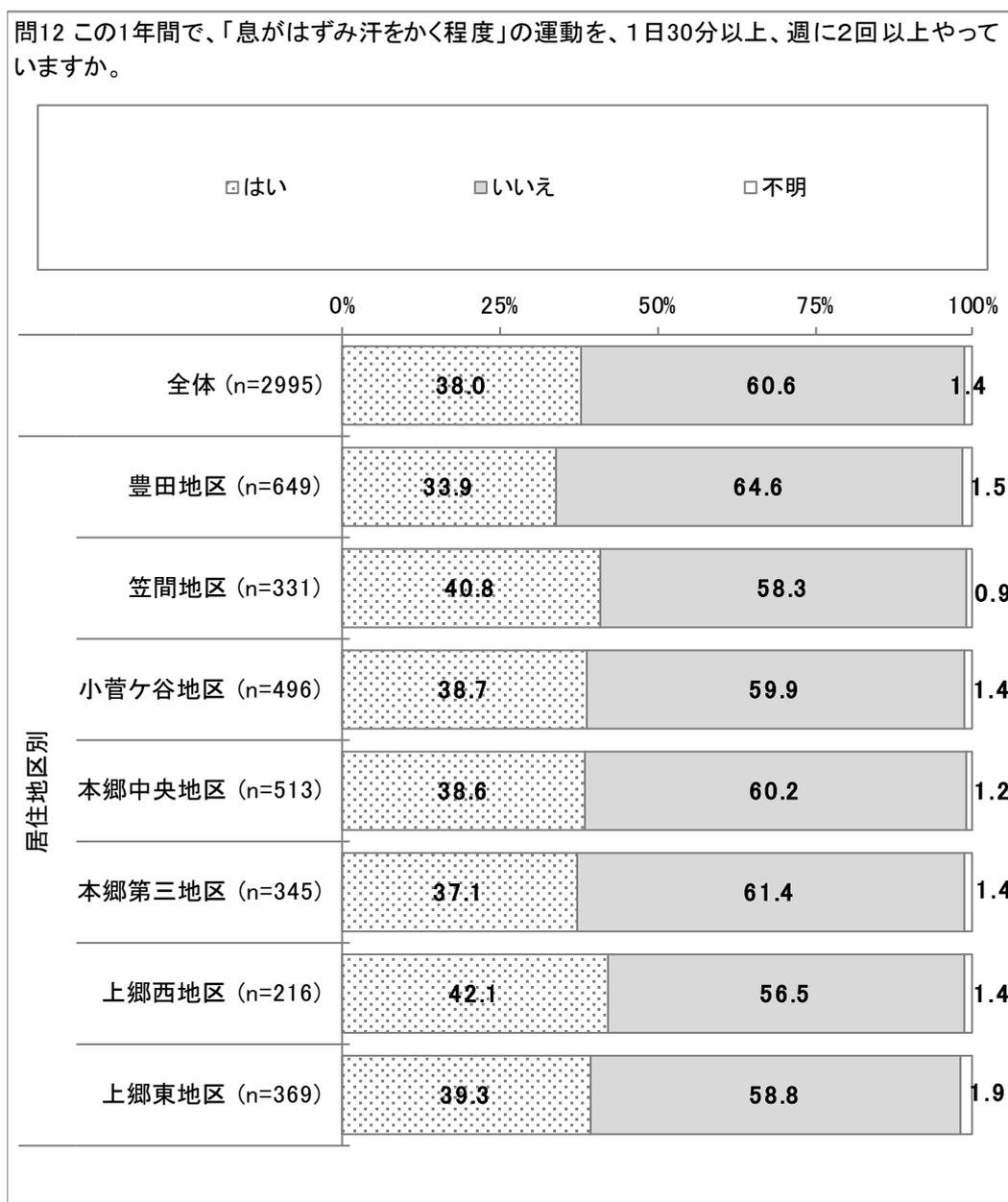
ア 「息がはずみ汗をかく程度」の運動の実施状況：全体・性年齢別

- ・運動の実施については「いいえ」（60.6%）が「はい」（38.0%）を大きく上回る。
- ・男性は、「はい」の割合が「70歳以上」（47.4%）が最も多く、全体より9.5ポイント多い。次いで「18～29歳」（41.1%）、「60～69歳」（40.7%）、「50～59歳」（40.1%）の順に続く。
- ・女性は、「はい」の割合が「70歳以上」で最も多く、5.1ポイント全体より多い。女性は年代が上がるにつれ「はい」の割合が高い傾向が顕著で、特に「18～29歳」と「30～39歳」で「はい」の割合が10ポイント以上全体より少ない。



イ 「息がはずみ汗をかく程度」の運動の実施状況：居住地区別

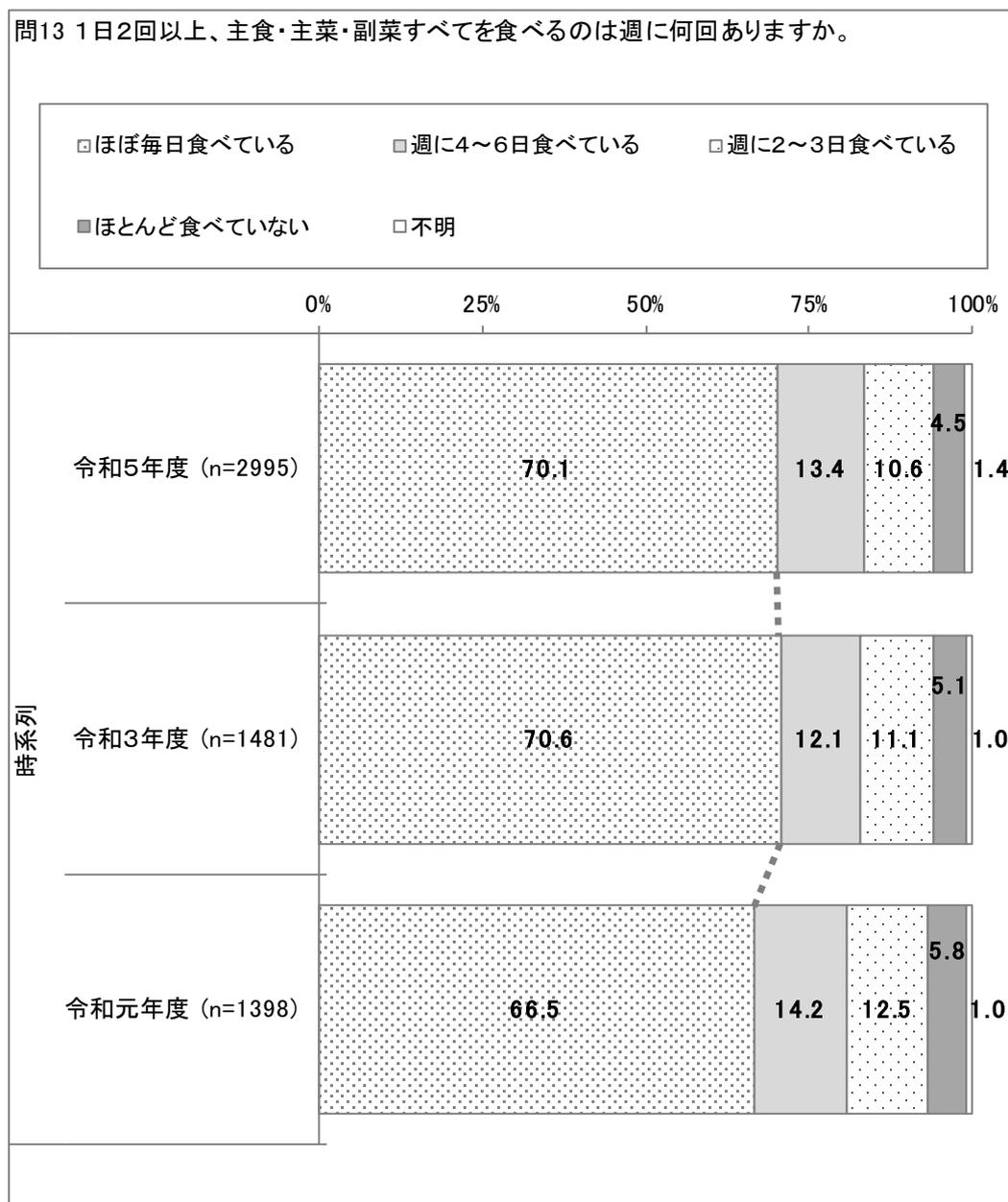
- ・「はい」の割合が最も多いのは「上郷西地区」（42.1%）、最も少ないのは「豊田地区」（33.9%）であるが、全体との差はいずれも5ポイント以内である。



(3) 1日2回以上の食事（問13）

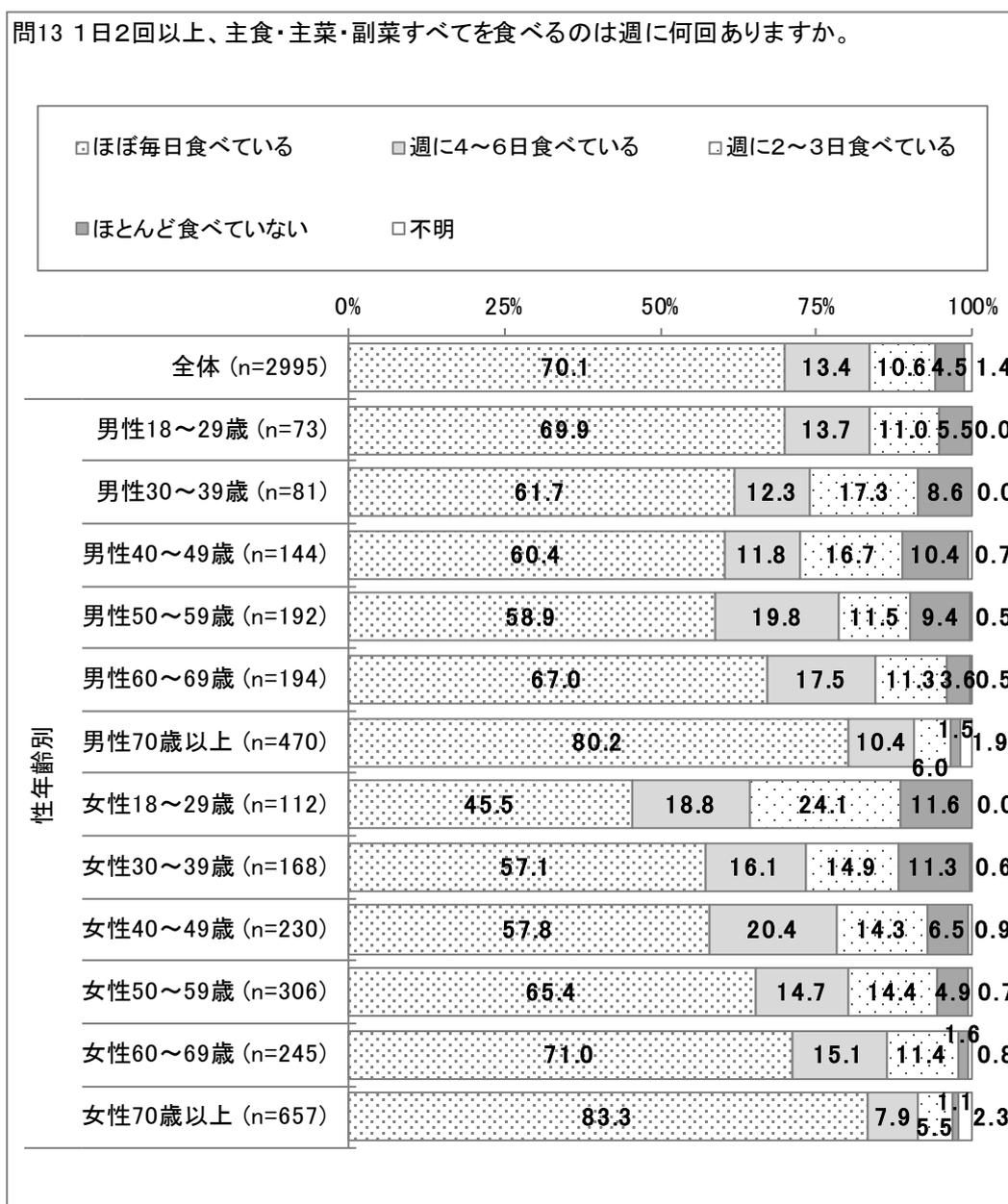
ア 1日2回以上の食事：全体・時系列

- ・「ほぼ毎日食べている」（70.1%）が最も多く、「週に4～6日食べている」（13.4%）が続く。「ほとんど食べていない」は4.5%である。
- ・1日2回以上の食事の回数は、前回調査とほぼ同様の回答となっている。



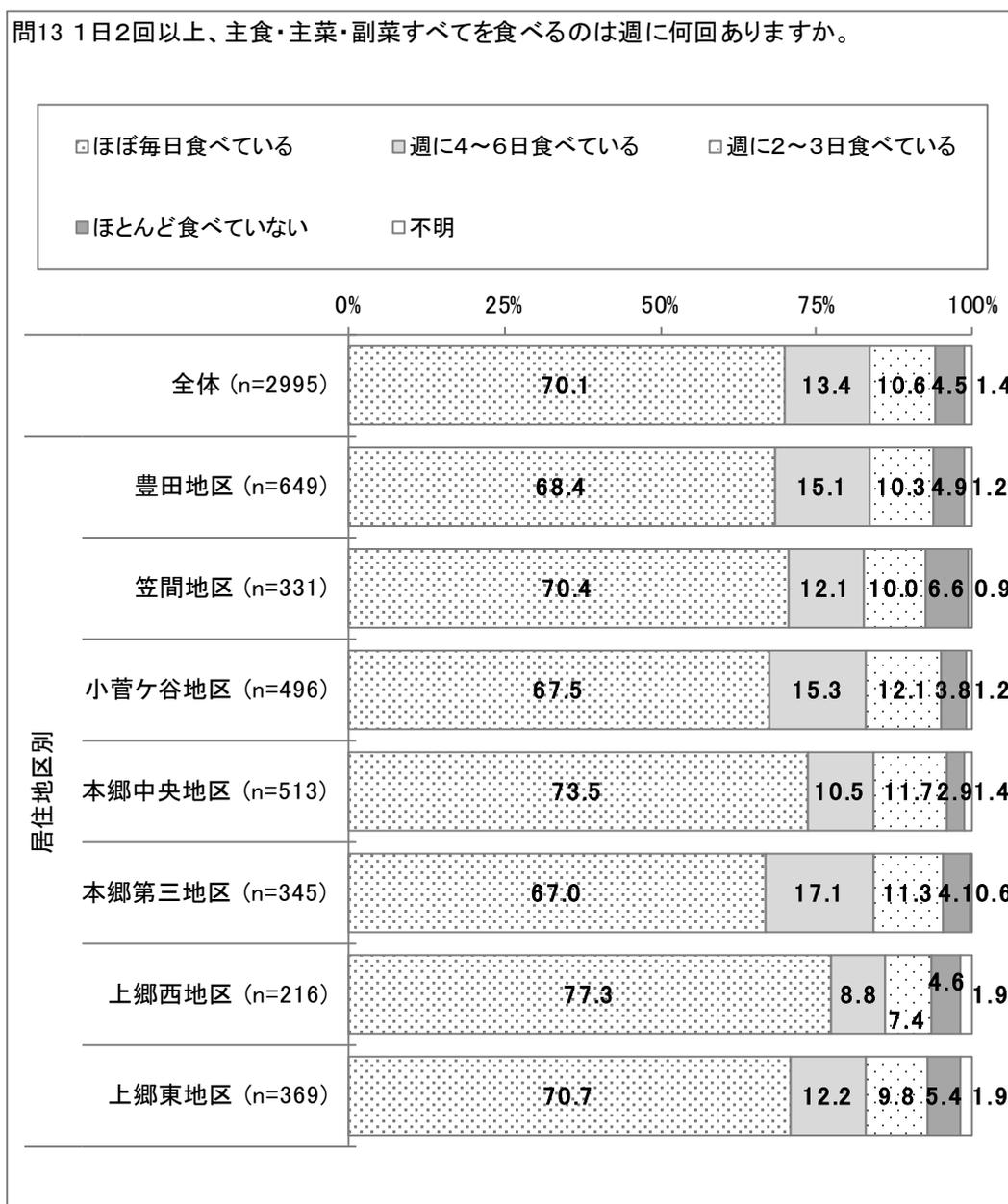
イ 1日2回以上の食事：年齢別

- ・「ほぼ毎日食べている」の割合が多いのは、「女性70歳以上」(83.3%)、「男性70歳以上」(80.2%)で、全体より10ポイント以上多い。
- ・「ほぼ毎日食べている」の割合が最も少ないのは、「女性18～29歳」(45.5%)で、全体より24.5ポイント少ない。また、「男性50～59歳」、「女性30～39歳」、「女性40～49歳」が全体より10ポイント以上少ない。



ウ 1日2回以上の食事：居住地区別

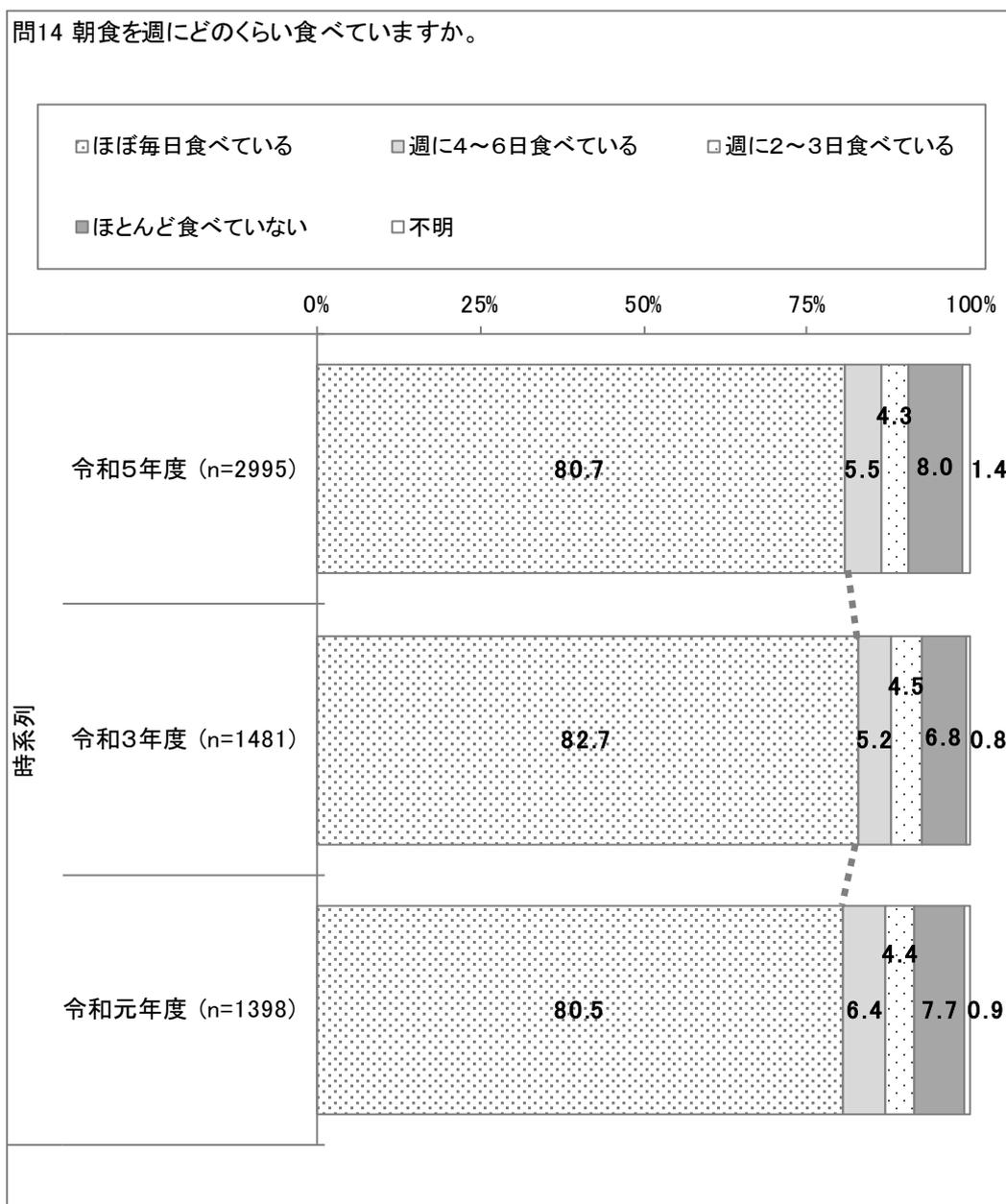
- ・「ほぼ毎日食べている」の割合が最も多いのは「上郷西地区」(77.3%)で全体より7.2ポイント多い。
- ・「ほぼ毎日食べている」の割合が最も少ないのは「本郷第三地区」(67.0%)であるが、全体との差は5ポイント以内である。



(4) 朝食（問 14）

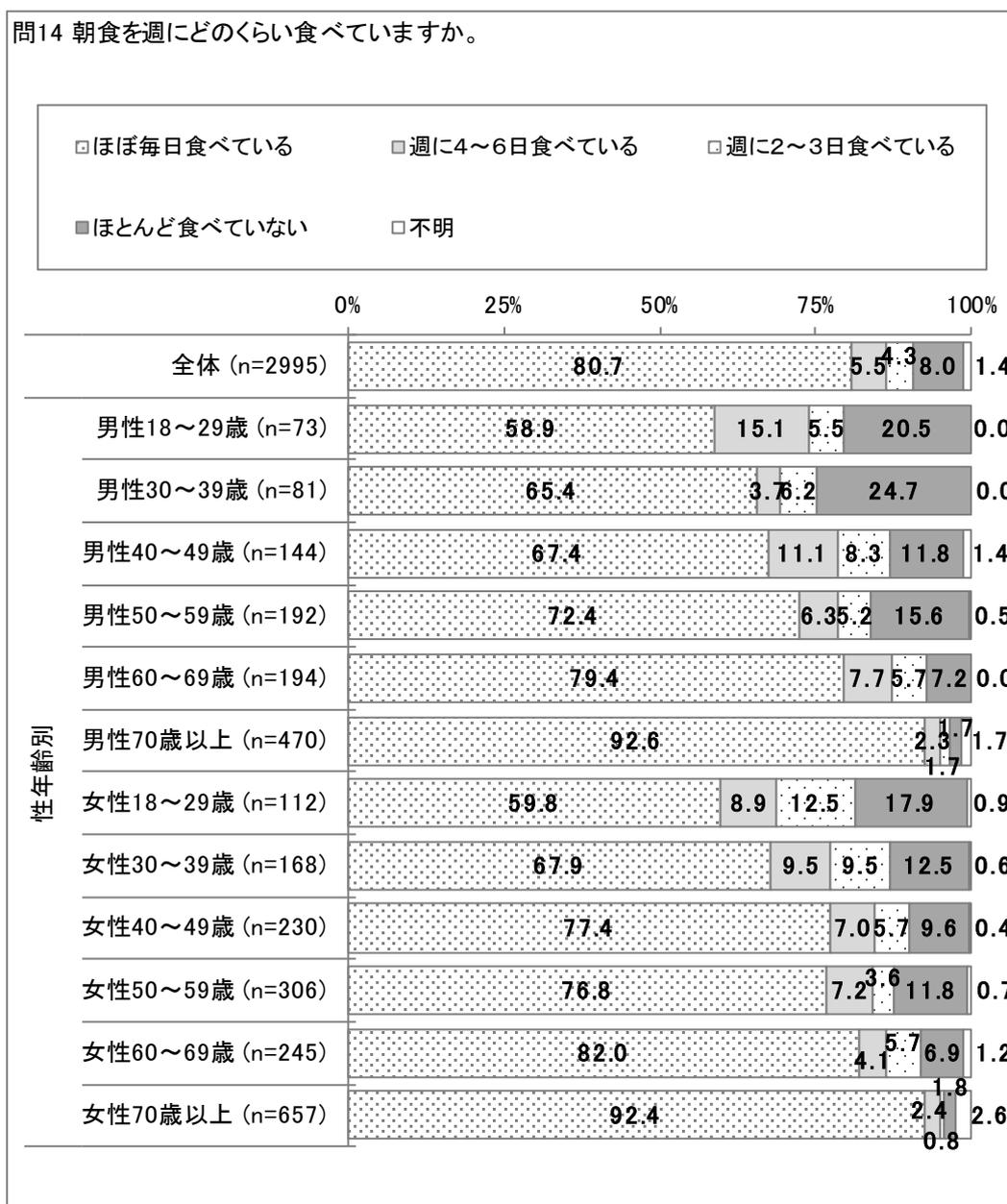
ア 朝食：全体・時系列

- ・「ほぼ毎日食べている」が80.7%で、「ほとんど食べていない」は8.0%である。
- ・前回調査と比べ、「ほぼ毎日食べている」は2.0ポイント少ない。



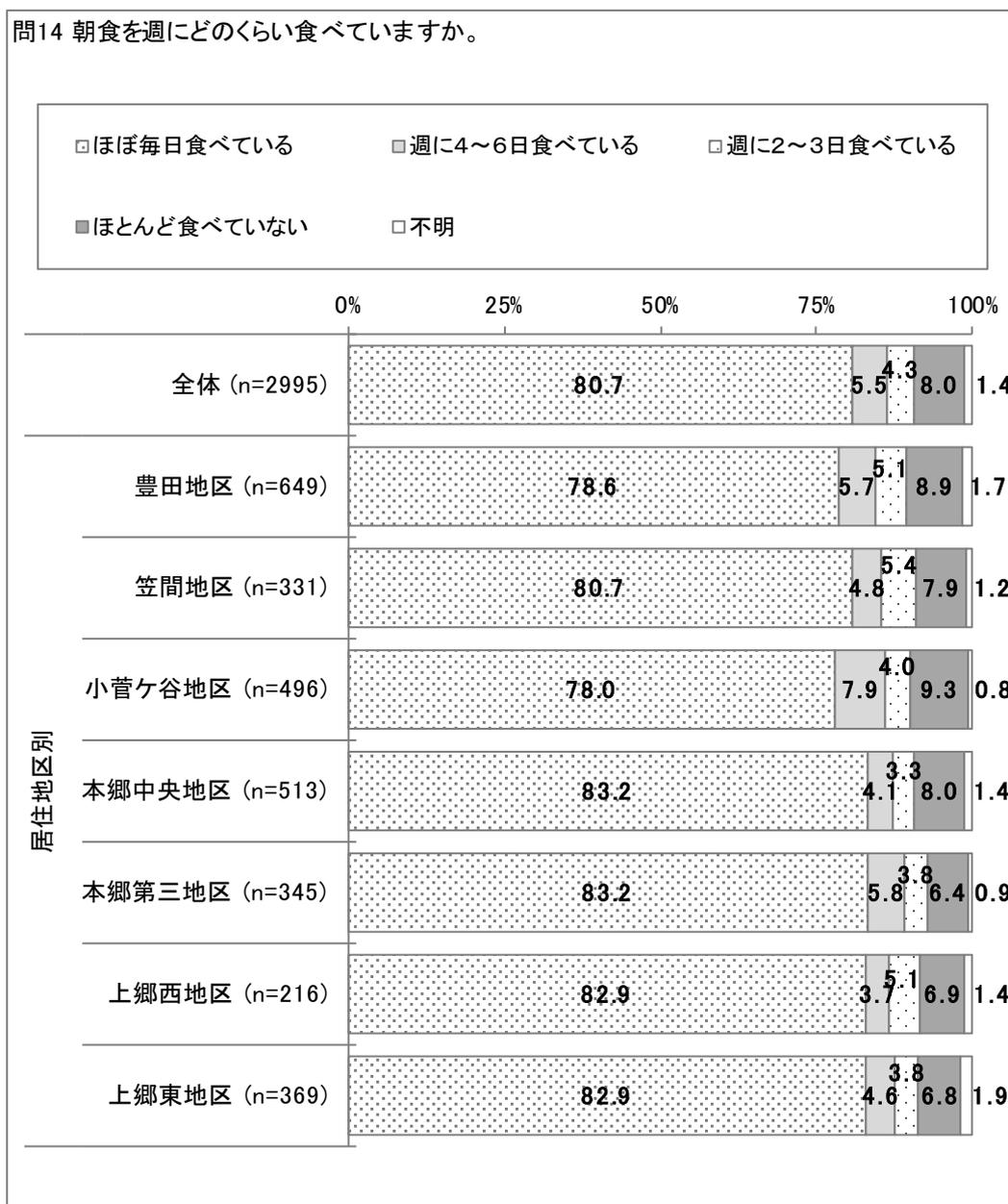
イ 朝食：年齢別

- ・性別に関わらず、「ほぼ毎日食べている」の割合は年代が上がるにつれ割合が多くなっている。「男性70歳以上」と「女性70歳以上」はともに9割を超えている。
- ・「ほぼ毎日食べている」の割合が少ないのは、「男性18～29歳」（58.9%）と「女性18～29歳」で、全体より20ポイント以上少ない。
- ・「ほとんど食べない」の割合が最も多いのは「男性30～39歳」（24.7%）で全体より16.7ポイント多い。



ウ 朝食：居住地区別

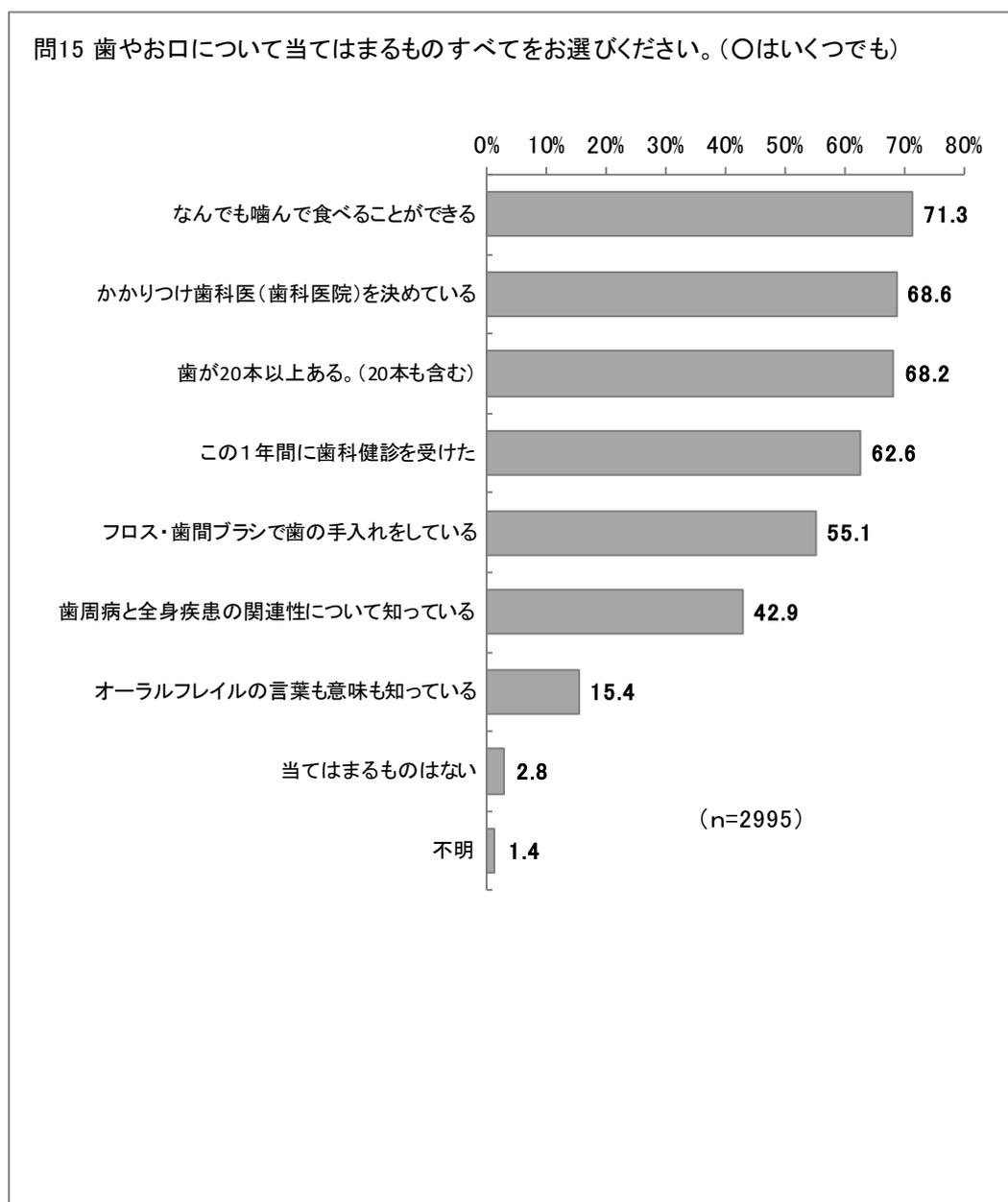
- ・各地区とも約8割が「ほぼ毎日食べている」との回答であり、居住地区による大きな差は見られない。



(5) 歯やお口について（問15）

ア 歯やお口について：全体

- ・「なんでも噛んで食べることができる」（71.3%）が最も多く、「かかりつけ歯科医（歯科医院）を決めている」（68.6%）、「歯が20本以上ある。（20本も含む）」（68.2%）、「この1年間に歯科検診を受けた」（62.6%）、「フロス・歯間ブラシで歯の手入れをしている」（55.1%）の順に続く。



イ 歯やお口について：性年齢別

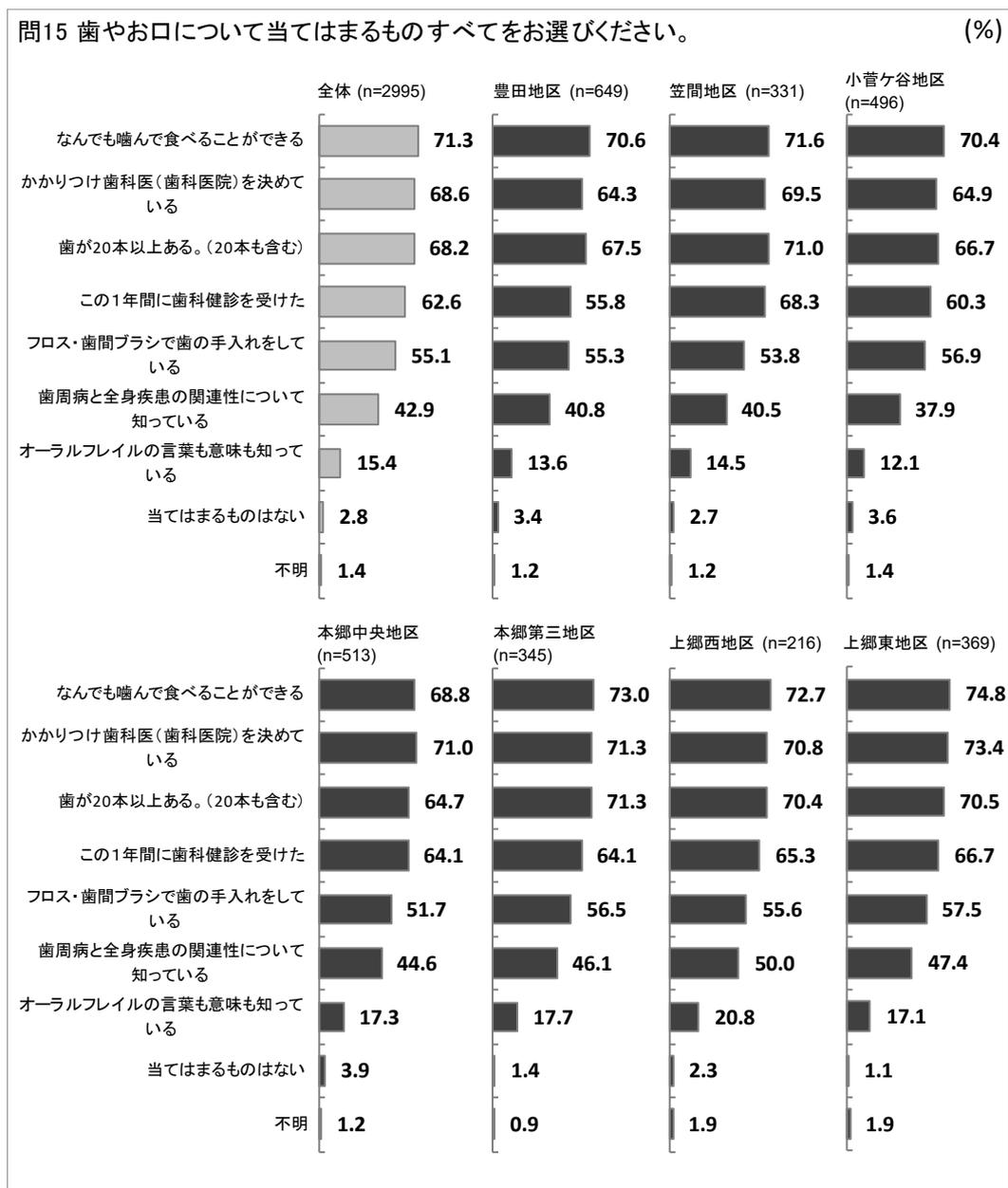
- ・「なんでも噛んで食べることができる」、「歯が20本以上ある。(20本も含む)」は性別に関わらず年代が上がるにつれ割合が少なくなる。
- ・一方、「かかりつけ歯科医(歯科医院)を決めている」「この1年間に歯科検診を受けた」は性別に関わらず年代が上がるにつれ割合が多くなる。

問15 歯やお口について当てはまるものすべてをお選びください。 (％)

	なんでも噛んで食べることができる	かかりつけ歯科医(歯科医院)を決めている	歯が20本以上ある。(20本も含む)	この1年間に歯科検診を受けた	フロス・歯間ブラシで歯の手入れをしている	歯周病と全身疾患の関連性について知っている	オーラルフレイルの言葉も意味も知っている	当てはまるものはない	不明
全体 (n=2995)	71.3	68.6	68.2	62.6	55.1	42.9	15.4	2.8	1.4
男性18～29歳 (n=73)	80.8	37.0	76.7	52.1	37.0	21.9	2.7	4.1	0.0
男性30～39歳 (n=81)	75.3	46.9	85.2	53.1	44.4	17.3	4.9	2.5	0.0
男性40～49歳 (n=144)	75.7	55.6	75.7	53.5	41.0	29.2	6.9	2.8	1.4
男性50～59歳 (n=192)	65.6	55.7	71.9	51.6	44.3	30.7	6.8	3.6	1.0
男性60～69歳 (n=194)	65.5	70.1	71.6	60.3	42.3	36.1	9.8	3.1	0.5
男性70歳以上 (n=470)	63.0	73.2	52.8	66.8	53.2	38.7	15.1	5.1	1.9
女性18～29歳 (n=112)	87.5	48.2	84.8	56.3	45.5	21.4	5.4	2.7	0.0
女性30～39歳 (n=168)	78.0	56.5	79.8	59.5	56.0	33.3	7.7	0.6	0.6
女性40～49歳 (n=230)	80.9	67.0	84.8	66.5	63.9	50.4	12.2	1.3	0.9
女性50～59歳 (n=306)	80.1	71.6	81.0	60.1	63.1	53.3	16.0	0.3	0.3
女性60～69歳 (n=245)	69.8	74.7	70.2	65.7	71.0	56.7	23.3	1.6	0.8
女性70歳以上 (n=657)	68.8	82.6	55.9	69.9	60.6	53.6	26.6	3.3	2.0

ウ 歯やお口について：居住地区別

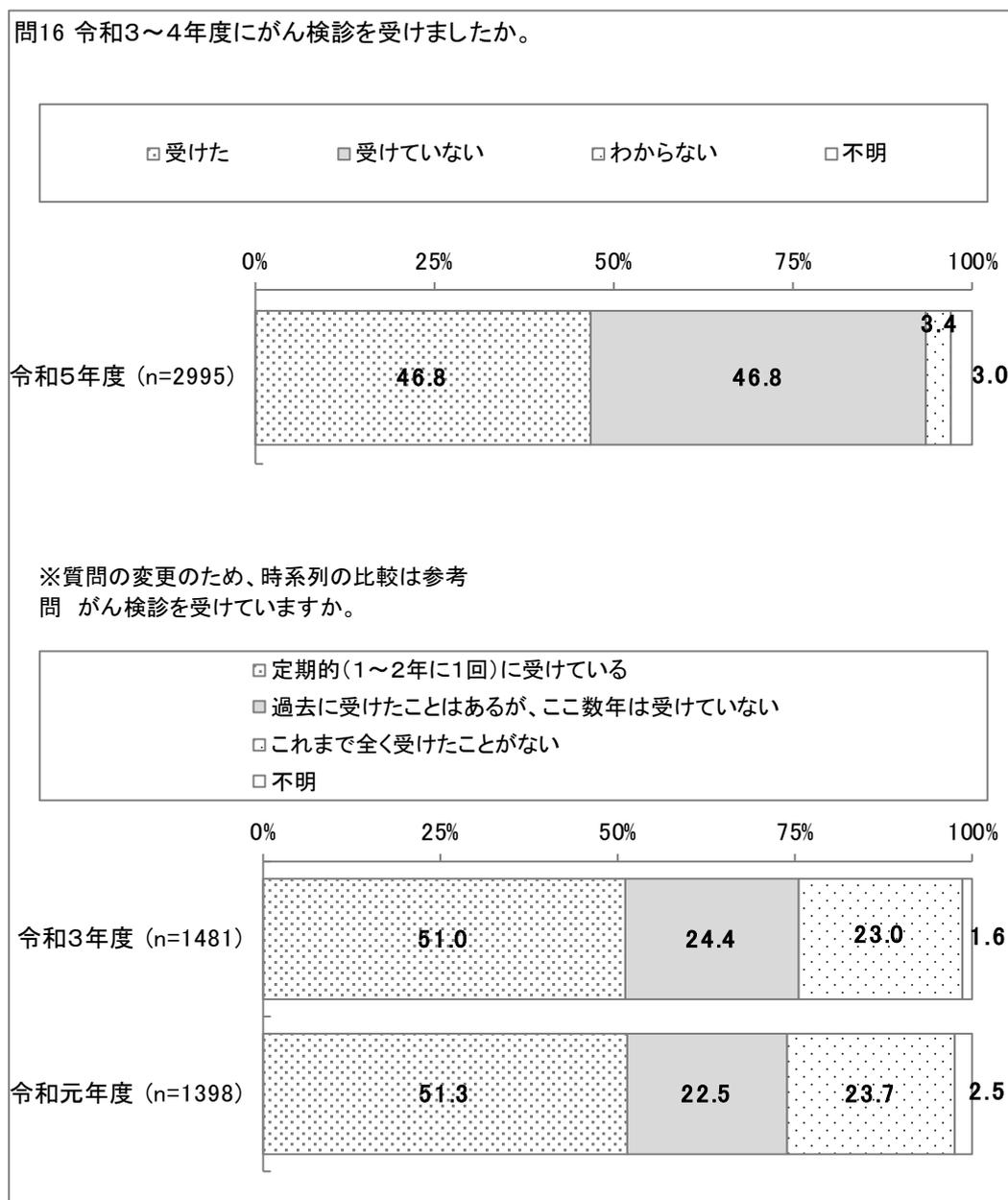
- ・各地区とも「なんでも噛んで食べることができる」、「かかりつけ歯科医（歯科医院）を決めている」、「歯が20本以上ある。（20本も含む）」が上位にあげられている。
- ・「この1年間に歯科検診を受けた」、「フロス・歯間ブラシで歯の手入れをしている」も5割を超え、大きな差は見られない。



(6) がん検診（問16）

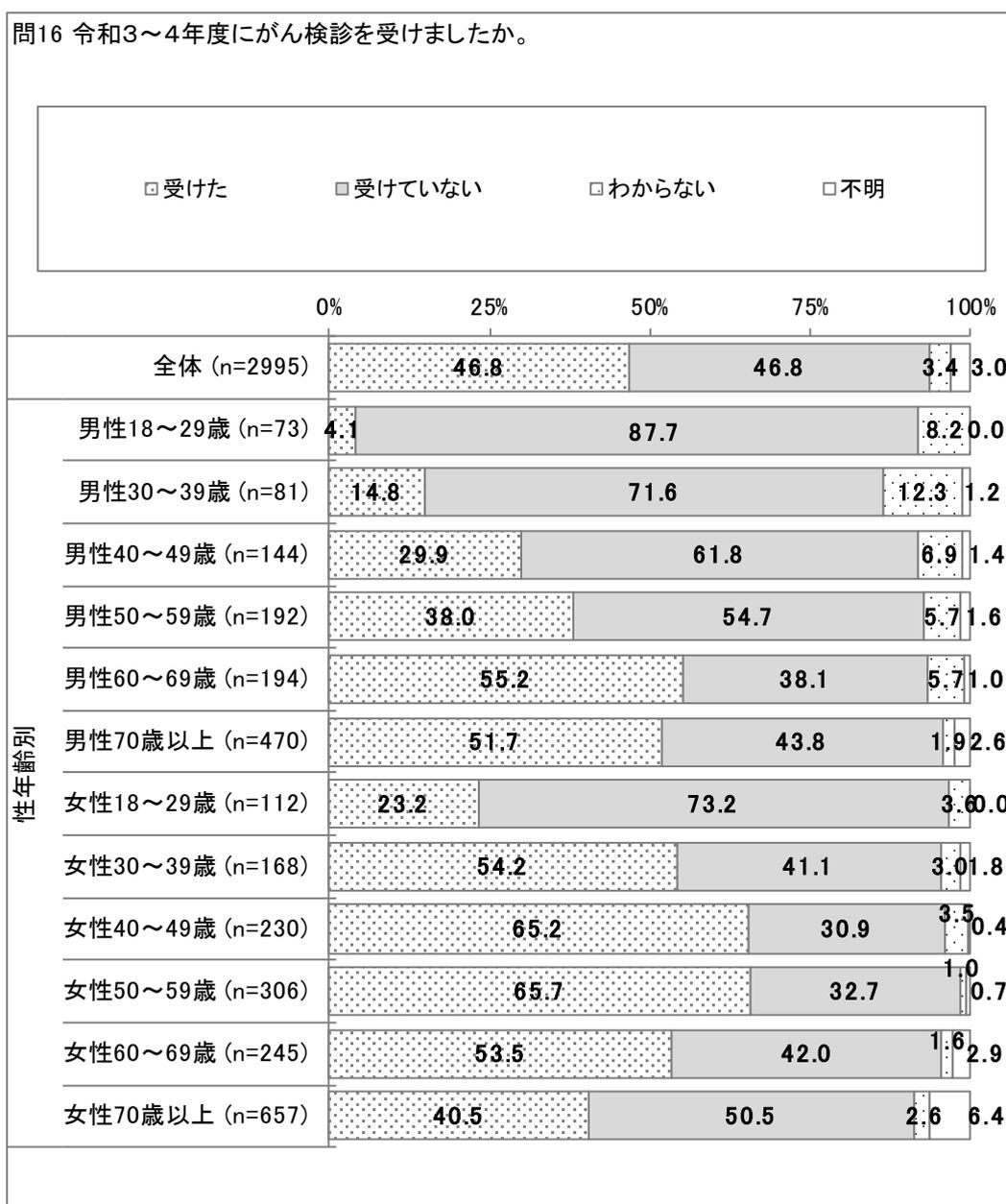
ア がん検診：全体・時系列

- ・がん検診を「受けた」と「受けていない」はともに46.8%と拮抗している。



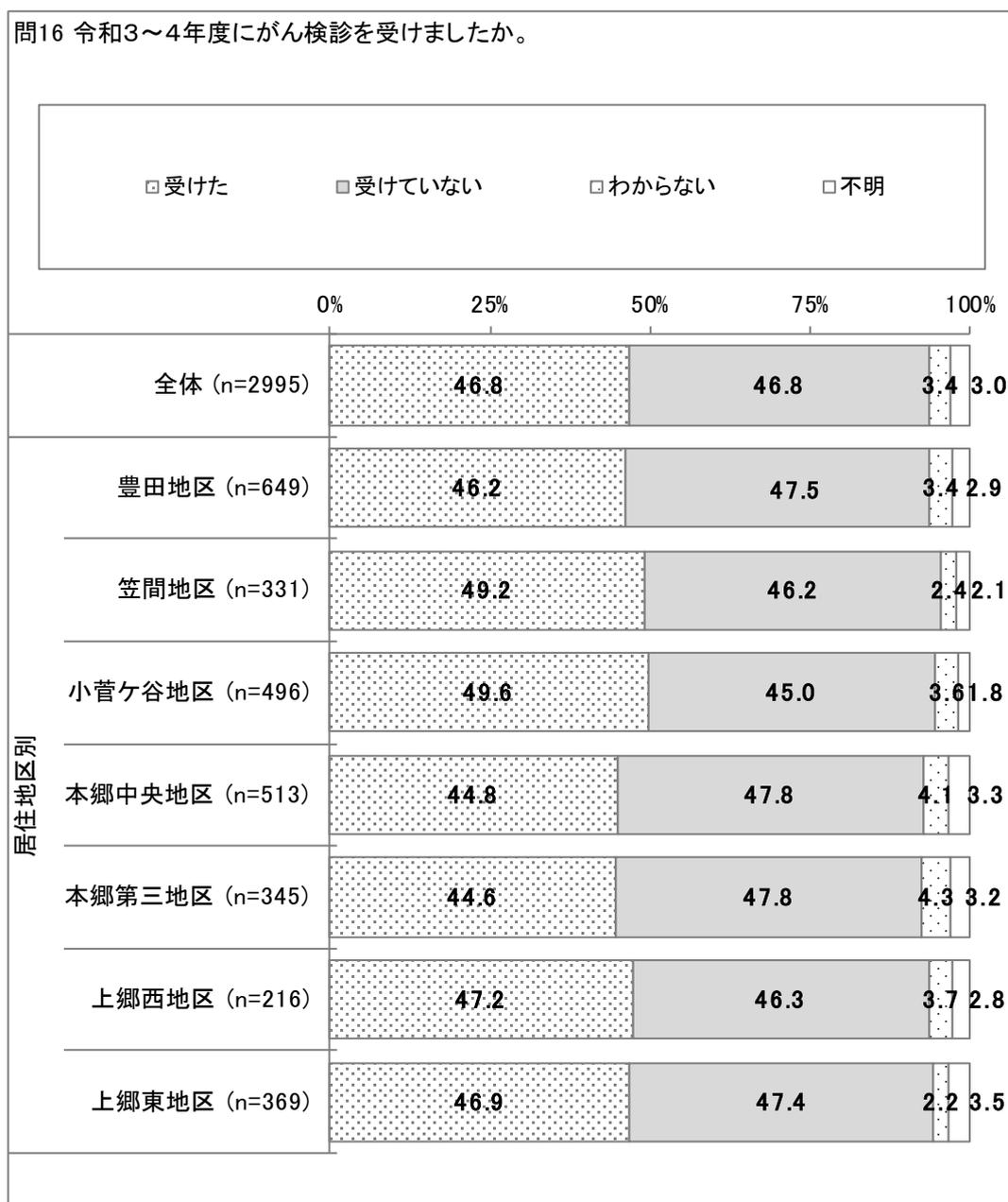
イ がん検診：性年齢別

- ・男性は、「受けた」の割合が年代が上がるにつれ多くなる傾向が見られる。最も多いのは「60～69歳」（55.2%）で、「70歳以上」（51.7%）が続く。
- ・女性は、「受けた」の割合が多いのは「50～59歳」（65.7%）と「40～49歳」（65.2%）でいずれも全体より15ポイント以上多い。



ウ がん検診：居住地区別

- ・各地区とも「受けた」と「受けていない」ともに全体との差が5ポイント以内で、居住地区による大きな差は見られない。



(7) 乳がん予防・早期発見（問17）

ア 乳がん予防・早期発見：全体・性年齢別

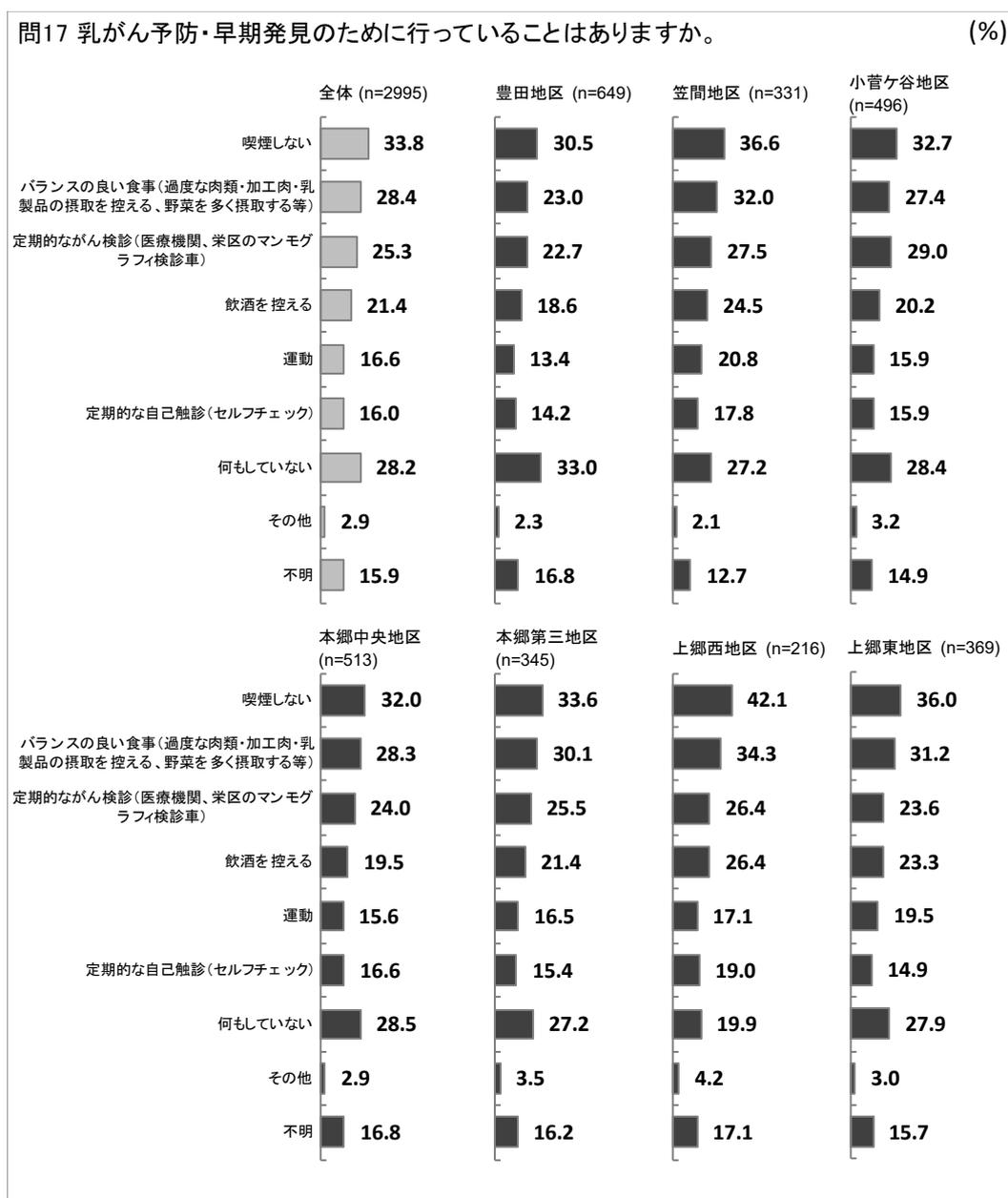
- ・全体では「喫煙しない」（33.8%）が最も多く、「バランスの良い食事（過度な肉類・加工肉・乳製品の摂取を控える、野菜を多く摂取する等）」（28.4%）、「定期的ながん検診（医療機関、栄区役所のマンモグラフィ検診車）」（25.3%）の順に続く。
- ・女性は、「40～49歳」と「50～59歳」で「定期的ながん検診（医療機関、栄区役所のマンモグラフィ検診車）」が最も多く6割弱となっている。次いで「喫煙しない」が約5割と他の年代に比べ多い。

問17 乳がん予防・早期発見のために行っていることはありますか。 (%)

	喫煙しない	バランスの良い食事 (過度な肉類・加工肉・乳製品の摂取を控える、野菜を多く摂取する等)	定期的ながん検診 (医療機関、栄区役所のマンモグラフィ検診車)	飲酒を控える	運動	定期的な自己触診 (セルフチェック)	何もしていない	その他	不明
全体 (n=2995)	33.8	28.4	25.3	21.4	16.6	16.0	28.2	2.9	15.9
男性18～29歳 (n=73)	13.7	8.2	1.4	11.0	8.2	0.0	71.2	1.4	12.3
男性30～39歳 (n=81)	18.5	8.6	4.9	12.3	6.2	1.2	61.7	6.2	11.1
男性40～49歳 (n=144)	17.4	9.7	9.7	12.5	9.7	4.9	51.4	6.3	14.6
男性50～59歳 (n=192)	20.3	18.2	17.2	11.5	15.1	3.6	35.4	3.6	26.6
男性60～69歳 (n=194)	16.0	12.9	12.4	8.8	10.3	4.1	31.4	4.6	35.6
男性70歳以上 (n=470)	18.7	14.5	7.7	9.4	11.9	4.7	18.7	4.0	52.3
女性18～29歳 (n=112)	40.2	22.3	13.4	27.7	10.7	14.3	44.6	0.0	0.0
女性30～39歳 (n=168)	42.3	24.4	30.4	29.2	13.1	19.0	35.1	0.6	1.2
女性40～49歳 (n=230)	50.4	30.4	57.4	31.7	18.3	30.4	16.5	1.3	0.4
女性50～59歳 (n=306)	50.7	34.6	56.9	28.4	20.3	23.2	16.0	2.0	0.3
女性60～69歳 (n=245)	44.9	41.6	43.3	28.2	22.4	28.6	22.4	1.2	1.2
女性70歳以上 (n=657)	40.8	49.0	21.2	28.2	22.8	23.1	26.9	3.0	5.0

イ 乳がん予防・早期発見：居住地区別

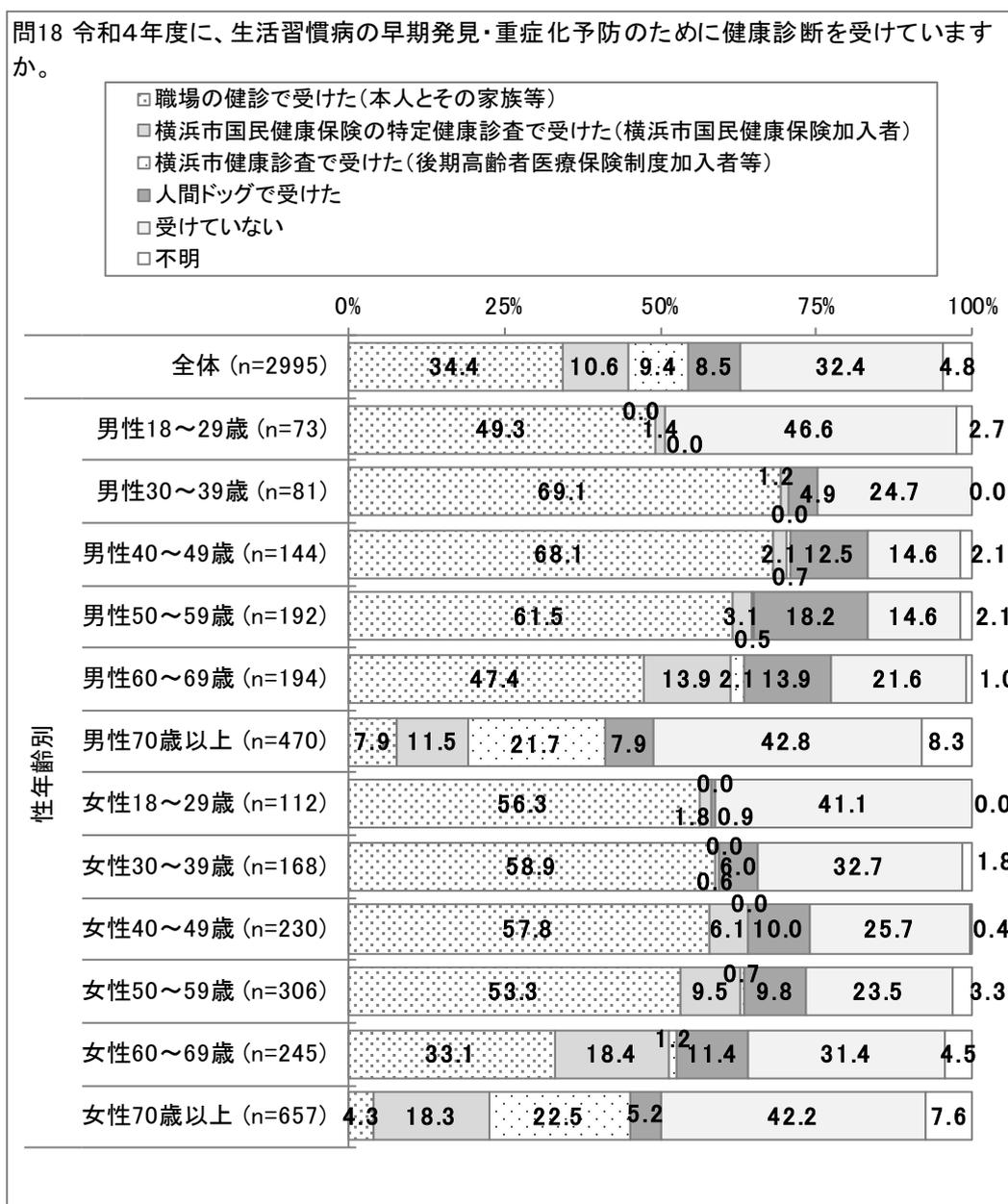
- ・各地区とも「喫煙しない」が最も多く、「小菅ヶ谷地区」を除く各地区で「バランスの良い食事（過度な肉類・加工肉・乳製品の摂取を控える、野菜を多く摂取する等）」、「定期的ながん検診（医療機関、栄区役所のマンモグラフィ検診車）」の順に続く。
- ・「小菅ヶ谷地区」では「定期的ながん検診（医療機関、栄区役所のマンモグラフィ検診車）」が「バランスの良い食事（過度な肉類・加工肉・乳製品の摂取を控える、野菜を多く摂取する等）」を上回り、2番目の回答にあげられている。
- ・「上郷西地区」では「喫煙しない」（42.1%）が全体より8.3ポイント多い。



(8) 生活習慣病の早期発見・重症化予防のための健康診断（問18）

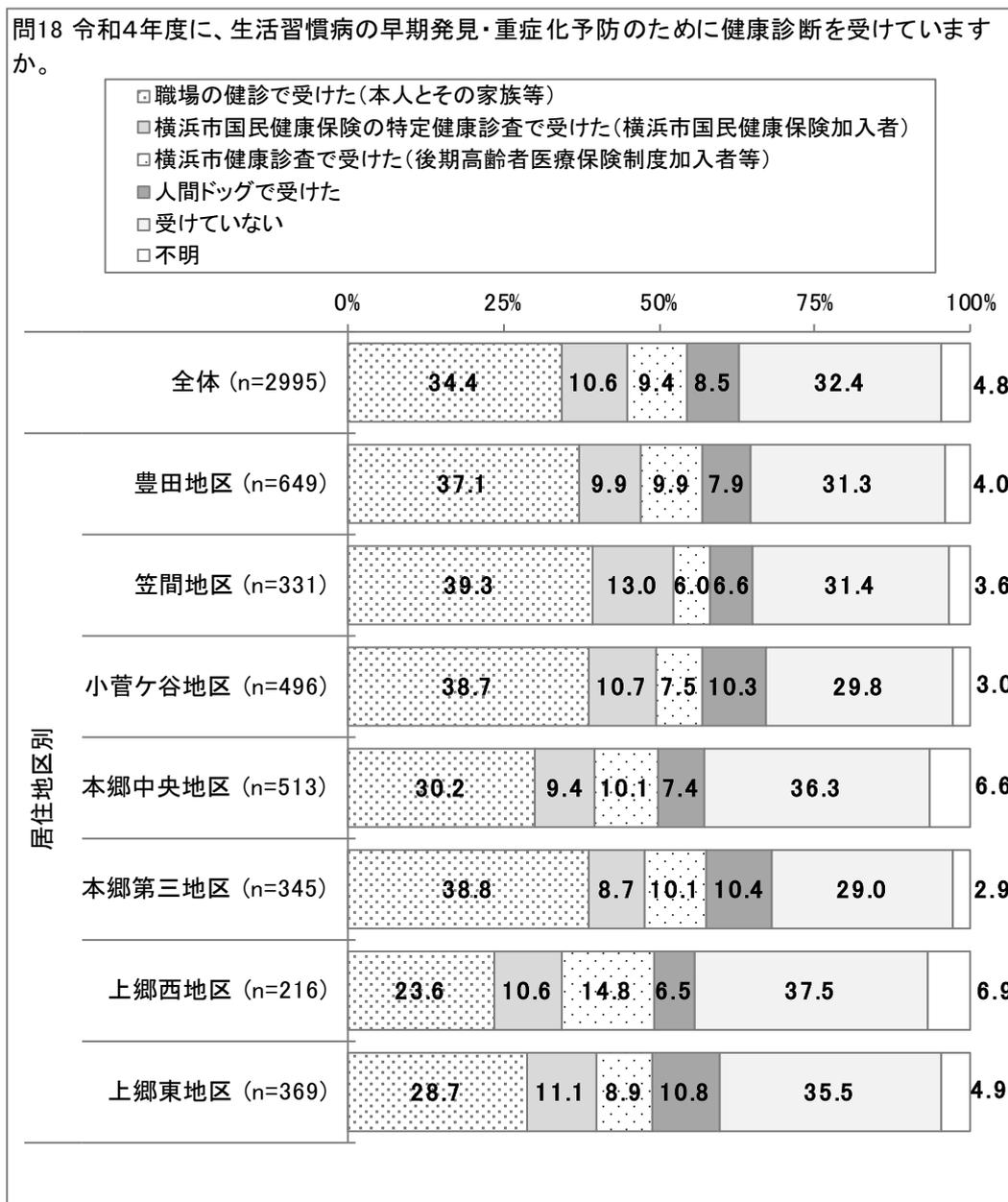
ア 生活習慣病の早期発見・重症化予防のための健康診断：全体、性年齢別

- ・『受けた』（「職場の健診で受けた」、「横浜市国民健康保険の特定健康診査で受けた」、「横浜市健康診査で受けた」、「人間ドッグで受けた」の合計）の割合は、全体で62.8%である。
- ・『受けた』の割合は性別に関わらず「40～49歳」、「50～59歳」で多く、男性で8割、女性で7割を超えている。
- ・「受けていない」の割合は、「男性18～29歳」（46.6%）が最も多く、「男性70歳以上」（42.8%）、「女性70歳以上」（42.2%）、「女性18～29歳」（41.1%）の順に続く。



ウ 生活習慣病の早期発見・重症化予防のための健康診断：居住地区別

- ・『受けた』の割合が最も多いのは「本郷第三地区」（68.1%）で、全体より 5.3 ポイント多い。
- ・「受けていない」の割合は、「上郷西地区」（37.5%）が最も多く、全体より 5.1 ポイント多い。



エ 生活習慣病の早期発見・重症化予防のための健康診断：「受けていない」の理由

- ・受けていない理由としては、「治療中・かかりつけ医で検査している」（194件）が最も多く、「忙しい・時間がない」（36件）、「面倒」（26件）が続く。

問18 令和4年度に、生活習慣病の早期発見・重症化予防のために健康診断を受けていますか。

「5. 受けていない」の理由

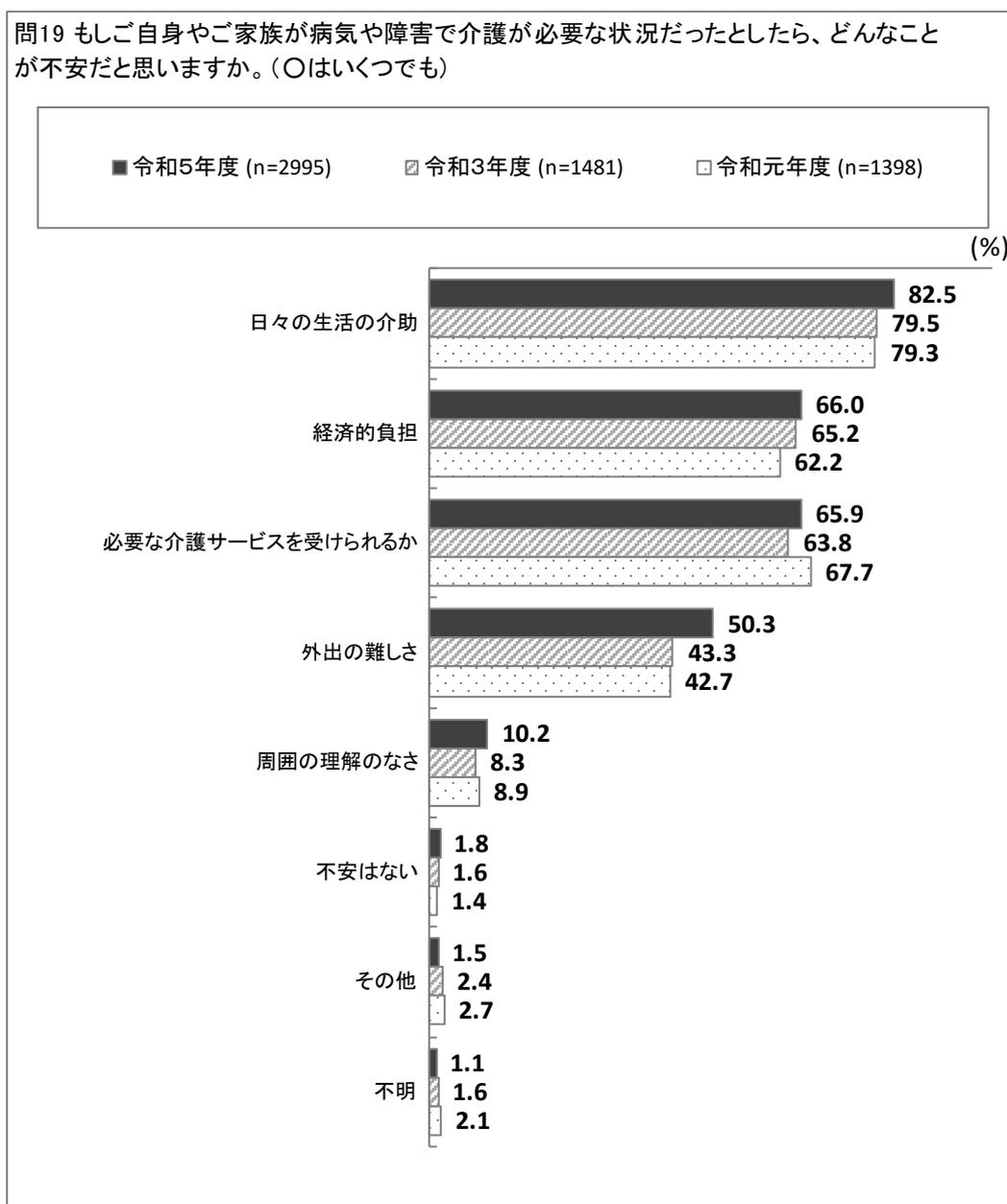
(件)

治療中・かかりつけ医で検査している	194	歩行困難、体力不足で病院に行けない	5
忙しい・時間がない	36	知らなかった	4
面倒	26	案内がない	4
機会がない	21	高齢で必要ない	4
コロナ禍だったので	16	なし	4
学生だから・若いから	16	休職中	3
健康だから	10	その他(2件以下の回答)	67
これから受ける・近々受ける	10	一昨年受けた／自己管理している／受け方がわからない／怖い／必要を感じない／自営業なので／場所がわからない／日本語が分からない など	
忘れていた	6		
産休・育休期間中	6		
子どもがいて難しい	5		
タイミングが合わない	5		

(9) 介護に対する不安（問 19）

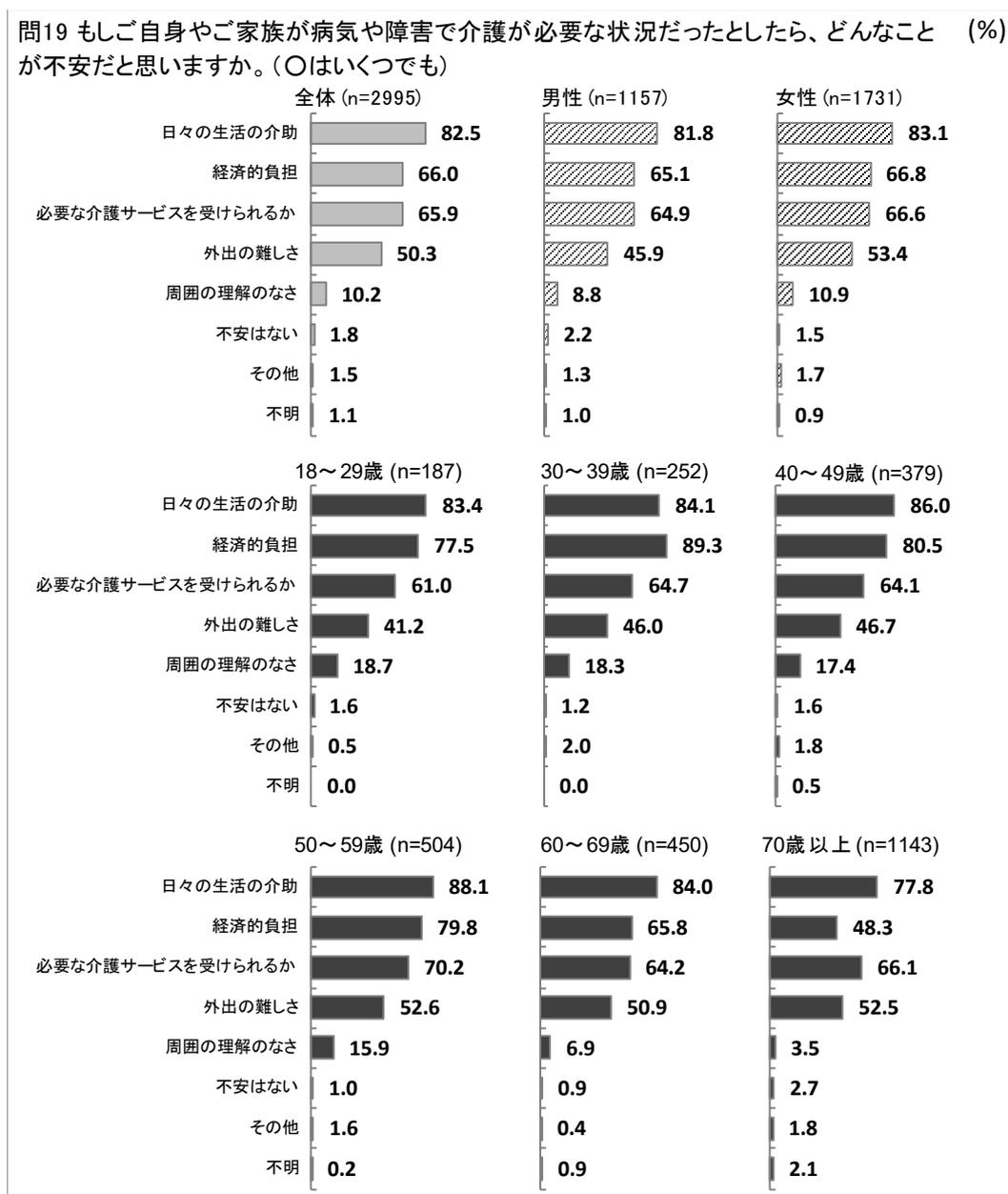
ア 介護に対する不安：全体・時系列

- ・全体では「日々の生活の介助」（82.5%）が最も多く、「経済的負担」（66.0%）、「必要なサービスが受けられるか」（65.9%）、「外出の難しさ」（50.3%）の4項目が半数を超える回答となっている。
- ・上位4つの順位は前回調査と同様であるが、いずれも割合は増加傾向が見られる。特に「外出の難しさ」は前回調査より7.0ポイント多くなっている。



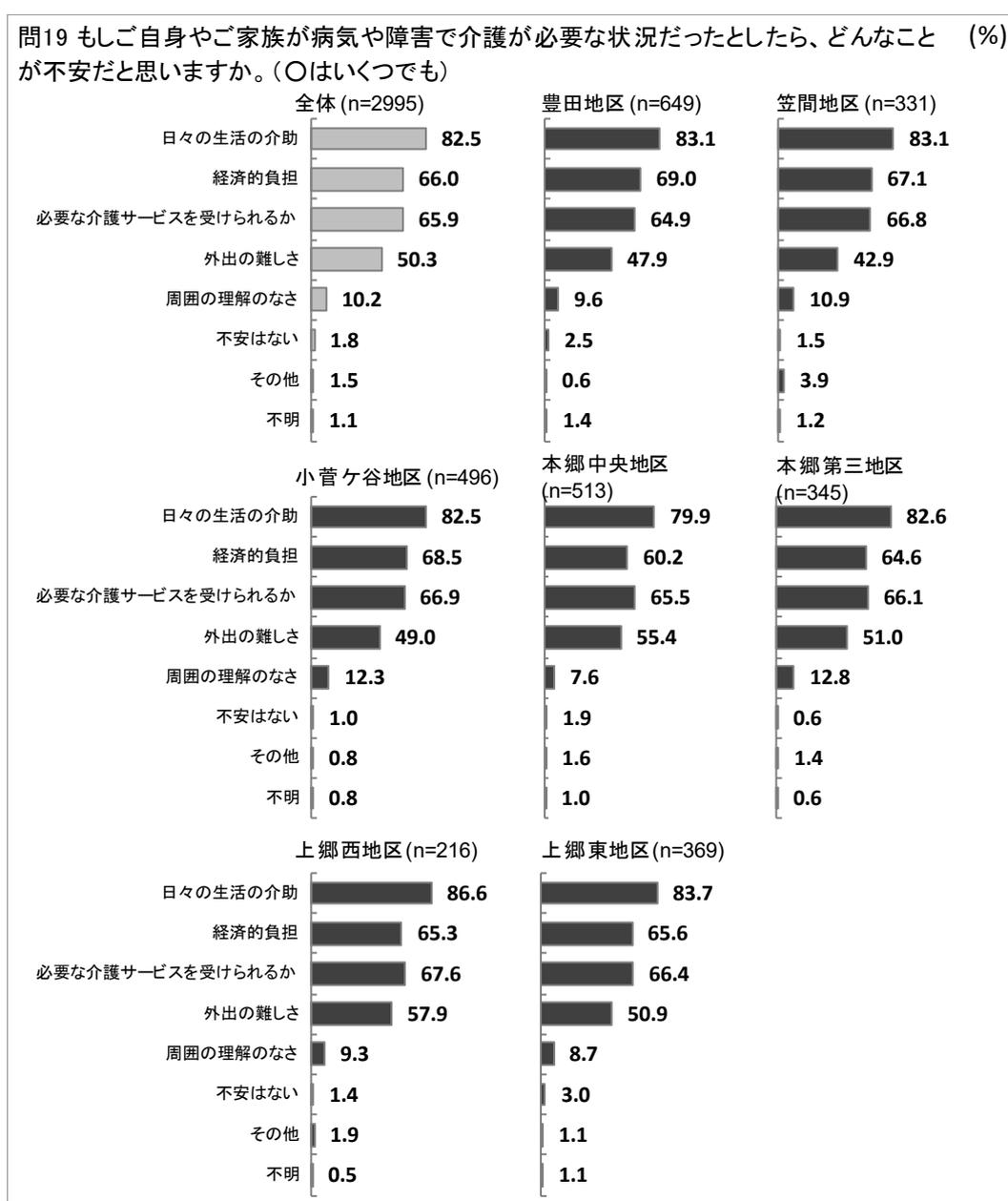
イ 介護に対する不安：性別・年齢別

- ・介護に対する不安は、性別で大きな差は見られない。
- ・年代別では、「30～39歳」で「経済的負担」（89.3%）の回答が最も多く、全体より10ポイント以上多い。「70歳以上」では他の年代より「経済的負担」（48.3%）の割合が少なく、全体より17.7ポイント少ない。



ウ 介護に対する不安：居住地区別

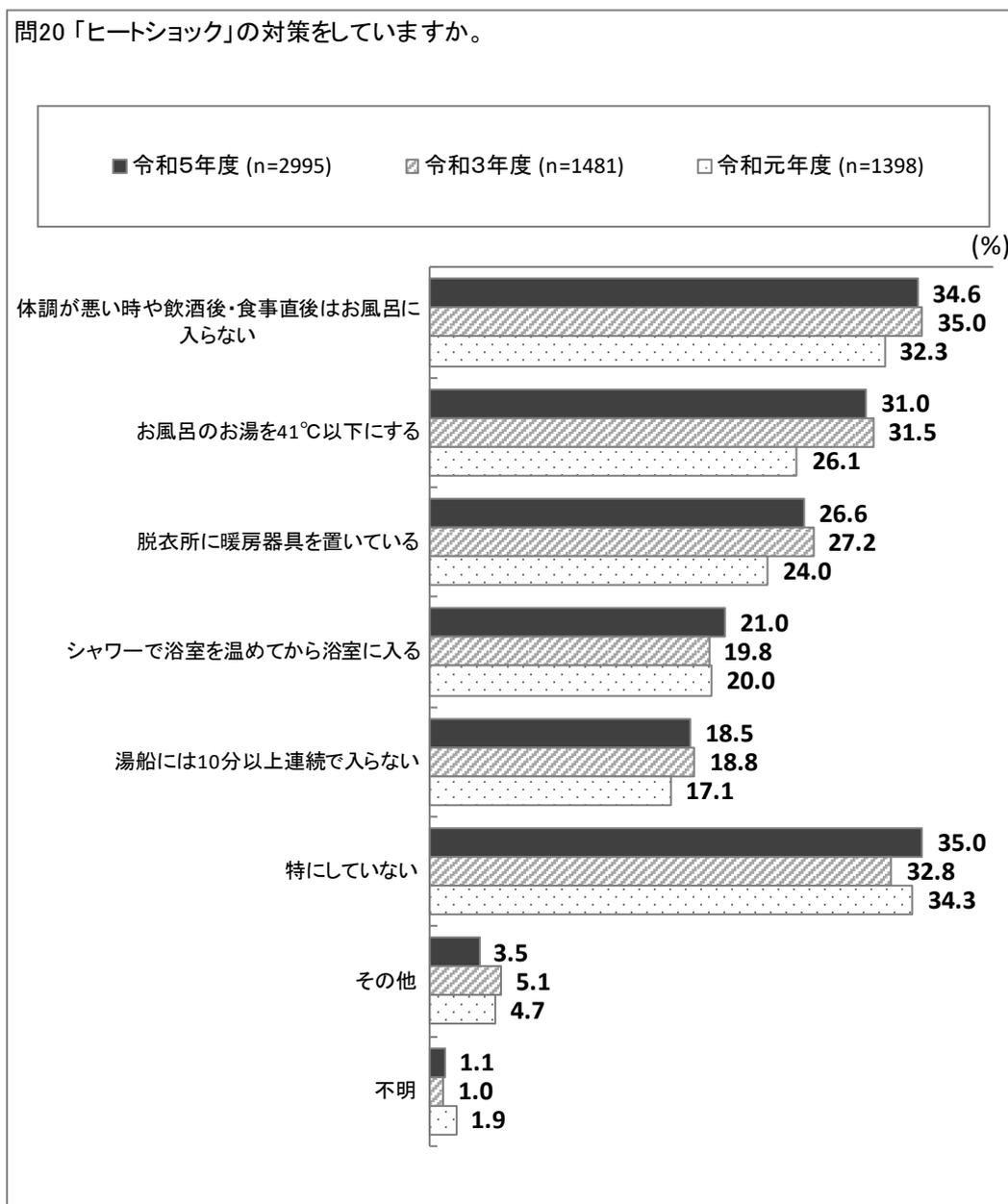
- ・いずれの居住地区でも「日々の生活の介助」が最も多い。
- ・「本郷中央地区」、「本郷第三地区」、「上郷西地区」、「上郷東地区」では「必要なサービスを受けられるか」が2番目に多く、「豊田地区」、「笠間地区」、「小菅ヶ谷地区」では「経済的負担」が2番目に多い。
- ・「上郷西地区」と「本郷中央地区」では「外出の難しさ」が全体より5ポイント以上多い回答となっている。



(10) 「ヒートショック」対策について（問 20）

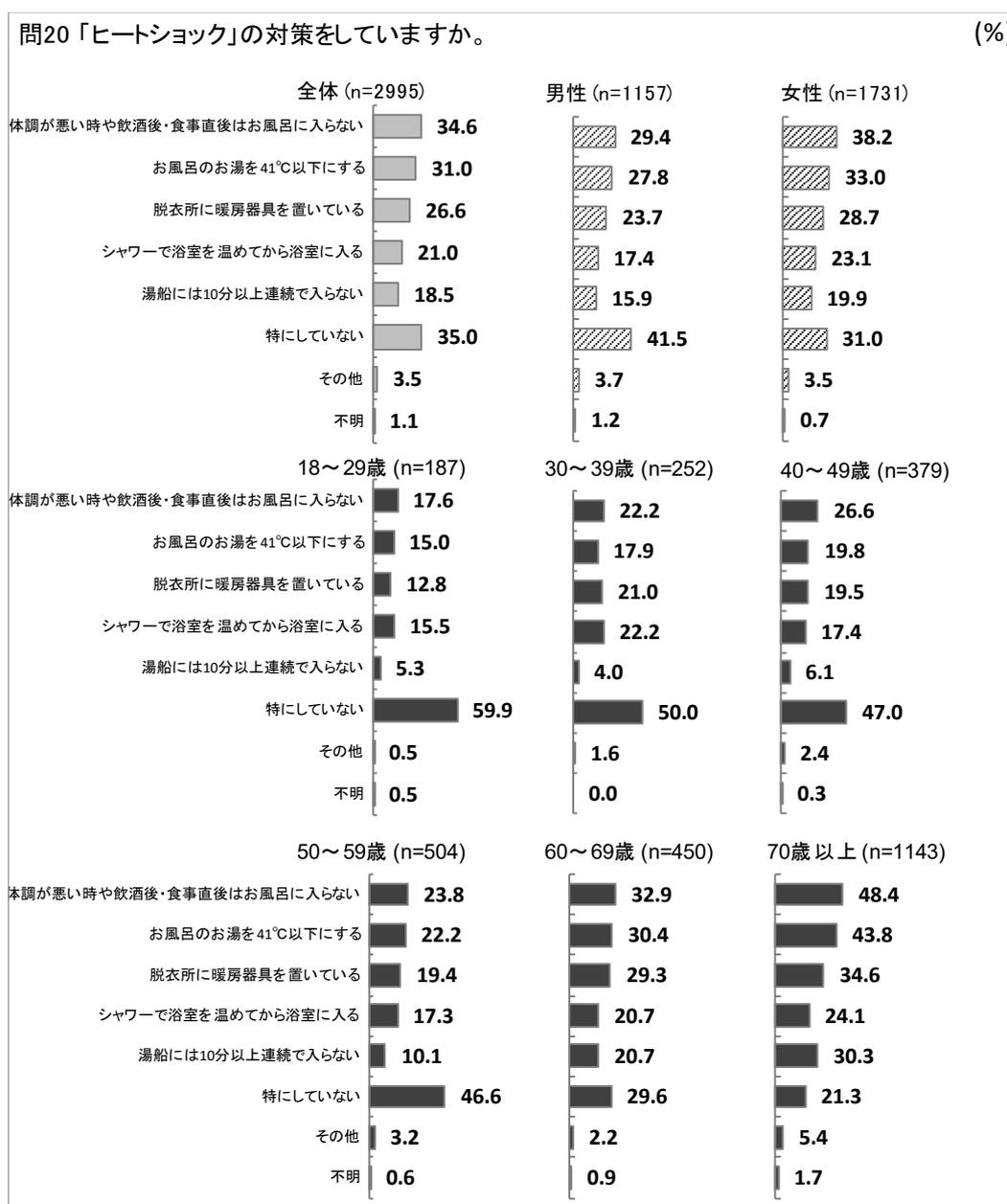
ア 「ヒートショック」対策について：全体・時系列

- ・全体では「体調が悪い時や飲酒后・食事直後はお風呂に入らない」（34.6%）が最も多く、「お風呂の温度を41℃以下にする」（31.0%）、「脱衣所に暖房機器を置いている」（26.6%）の順に続く。「特にしていない」は35.0%である。
- ・前回調査と大きな変化は見られない。



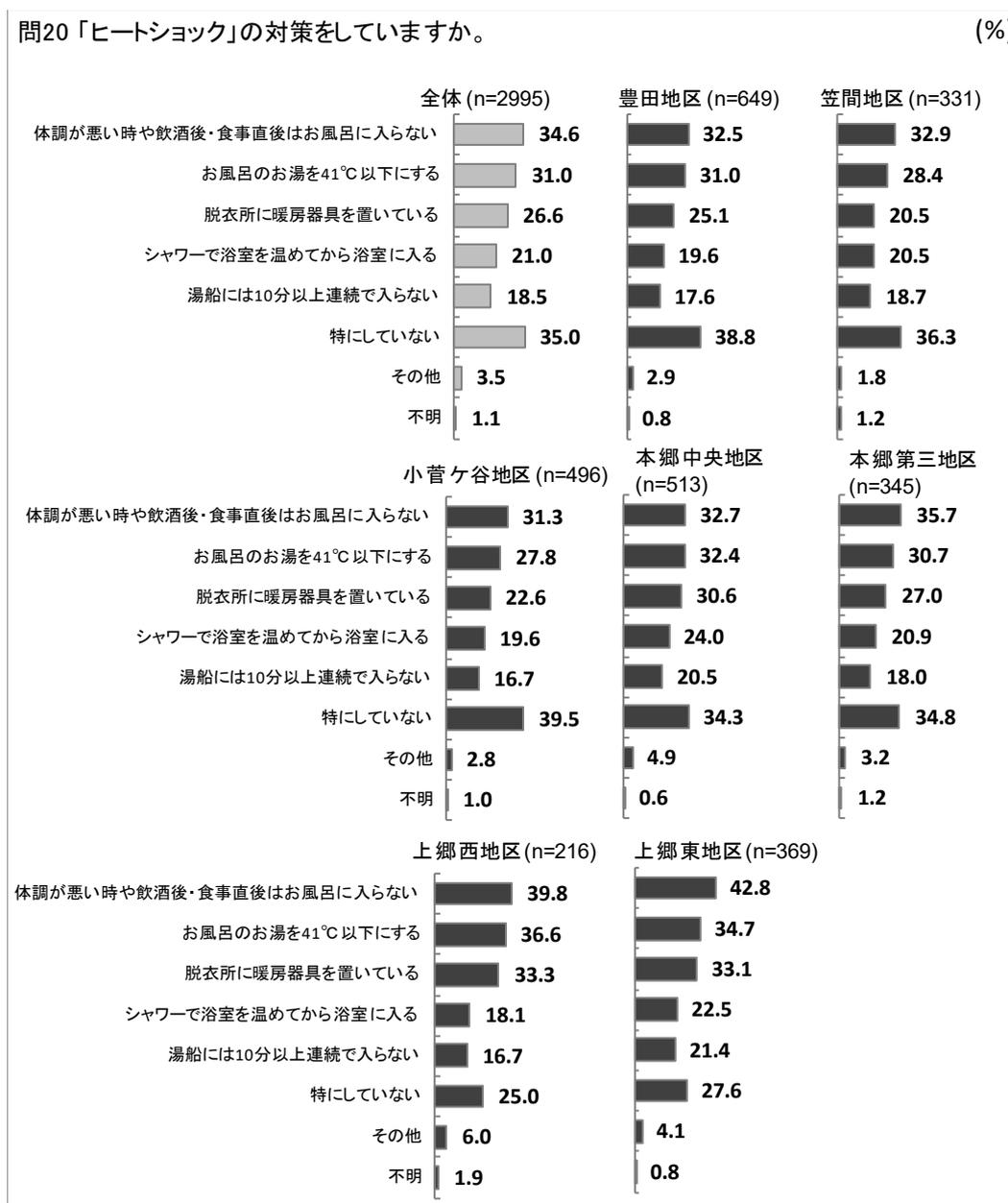
イ 「ヒートショック」対策について：性別・年齢別

- ・上位項目の順位は男女で同じであるが、いずれの回答も女性が男性を上回る。「特にしていない」は男性 41.5%、女性 31.0%となっている。
- ・年代が上がるにつれ対策をする割合はどの項目も多くなる傾向が見られる。「特にしていない」は年代が上がるほど割合が少なくなり、「18～29歳」では 59.9%、「70歳以上」では 21.3%となっている。



ウ 「ヒートショック」対策について：居住地区別

- ・いずれの居住地区でも上位項目の順位は同じであるが、「上郷東地区」では「体調が悪い時や飲酒後・食事直後はお風呂に入らない」の割合が42.8%と最も多く、全体より8.2ポイント多い。
- ・「上郷西地区」では、「特にしていない」の割合全体より10.0ポイント少ない。

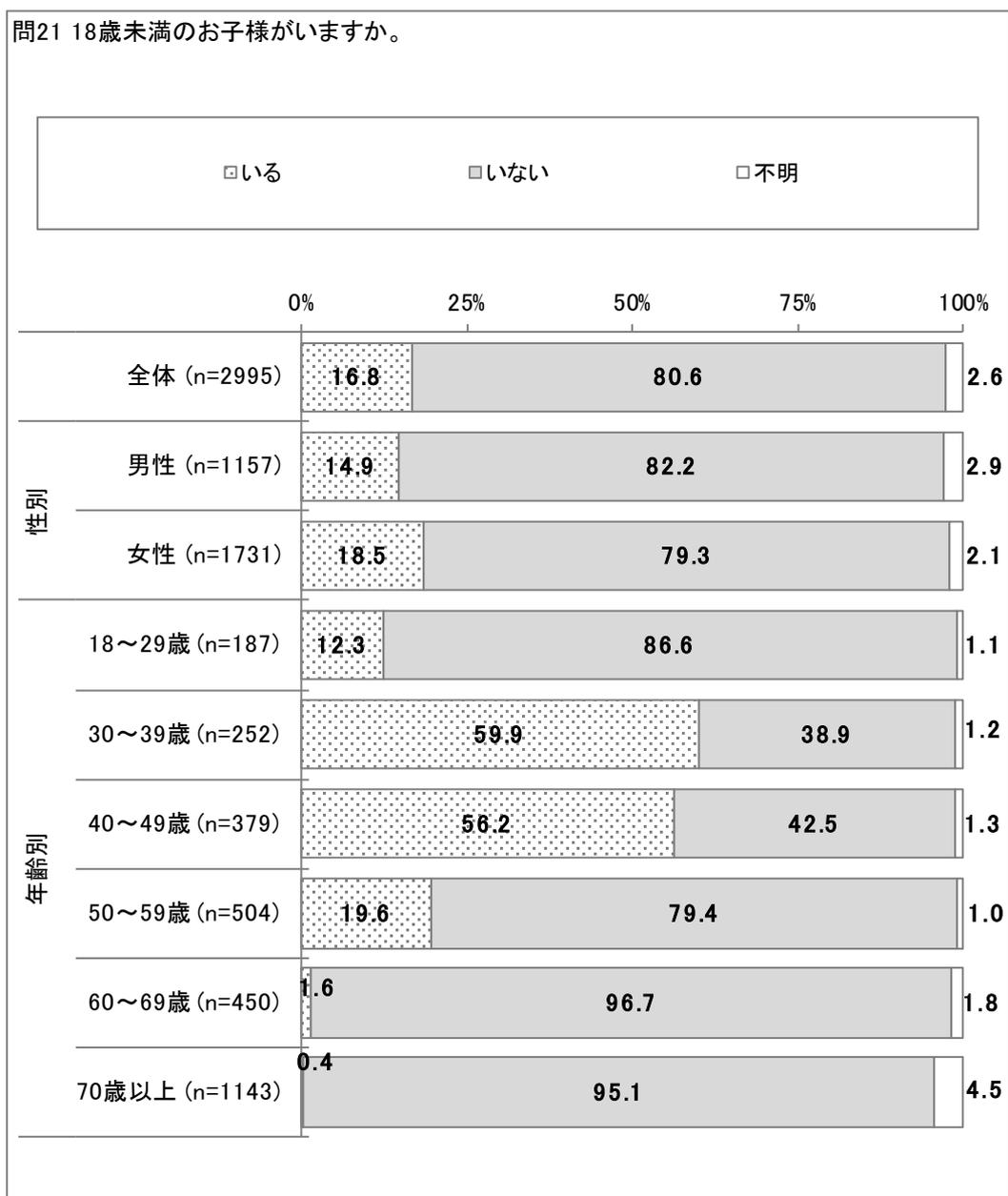


6 子育てについて

(1) 18歳未満の子どもの有無（問21）

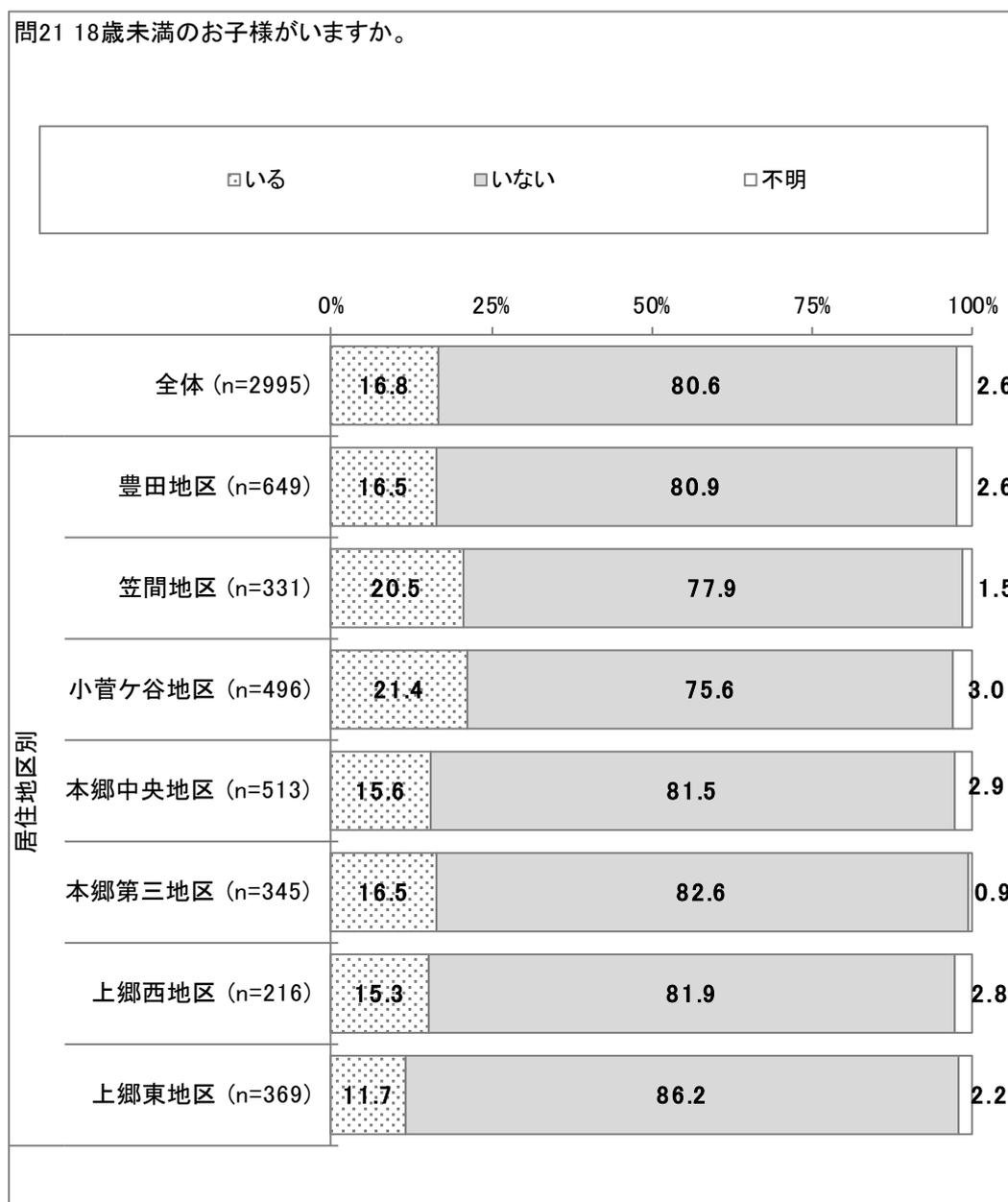
ア 18歳未満の子どもの有無：全体・性別・年齢別

- ・全体で「いる」は16.8%で、「いない」は80.6%である。
- ・性別では「いる」の割合は男性が14.9%、女性は18.5%である。
- ・年代別では「いる」は「30～39歳」が最も多く59.9%、続く「40～49歳」が56.2%である。



イ 18歳未満の子どもの有無：居住地区別

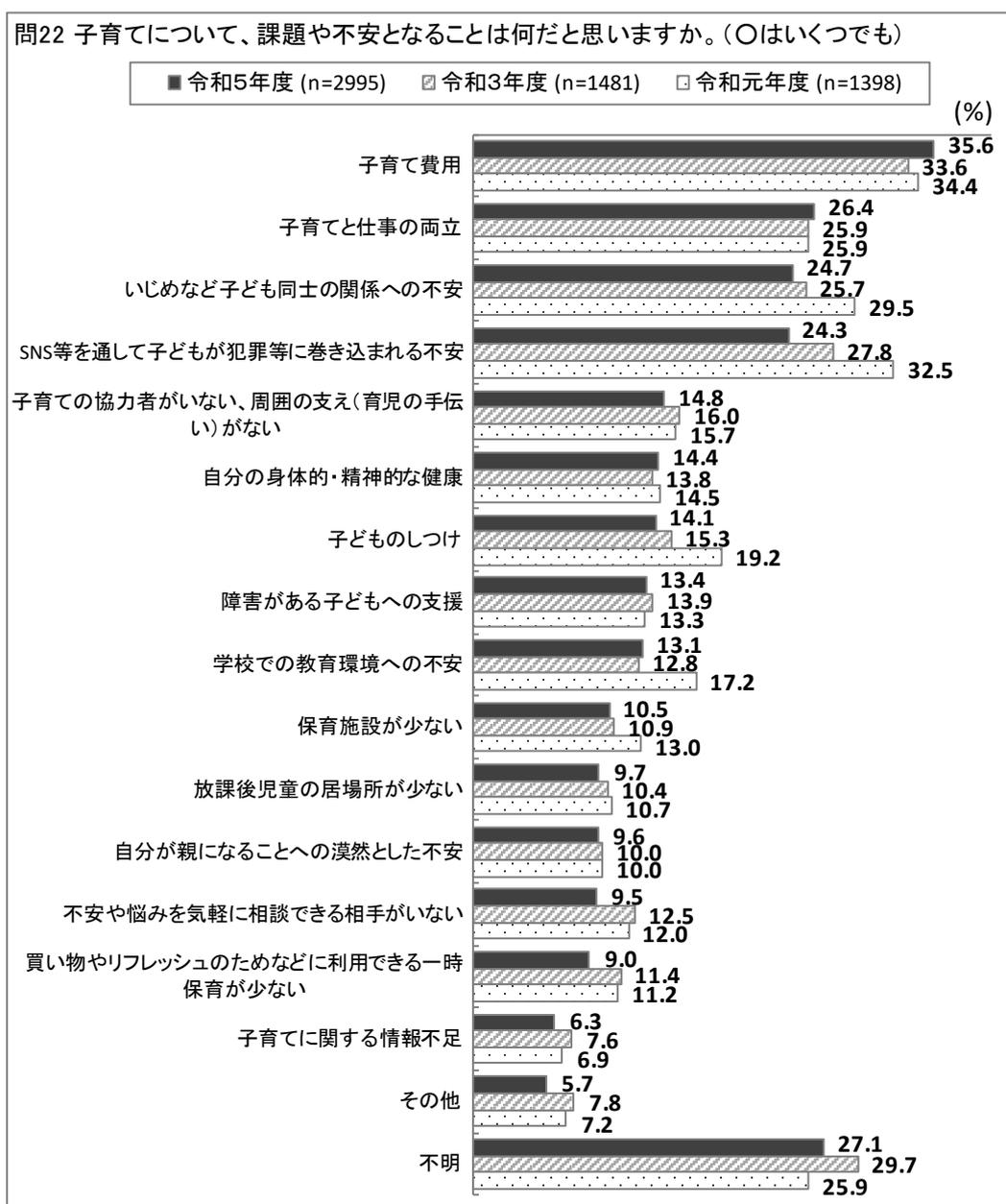
- ・「いる」の割合は「小菅ヶ谷地区」（21.4%）が最も多く、「笠間地区」（20.5%）が続く。
- ・最も少ない地区は「上郷東地区」（11.7%）である。



(2) 子育てについての課題や不安（問 22）

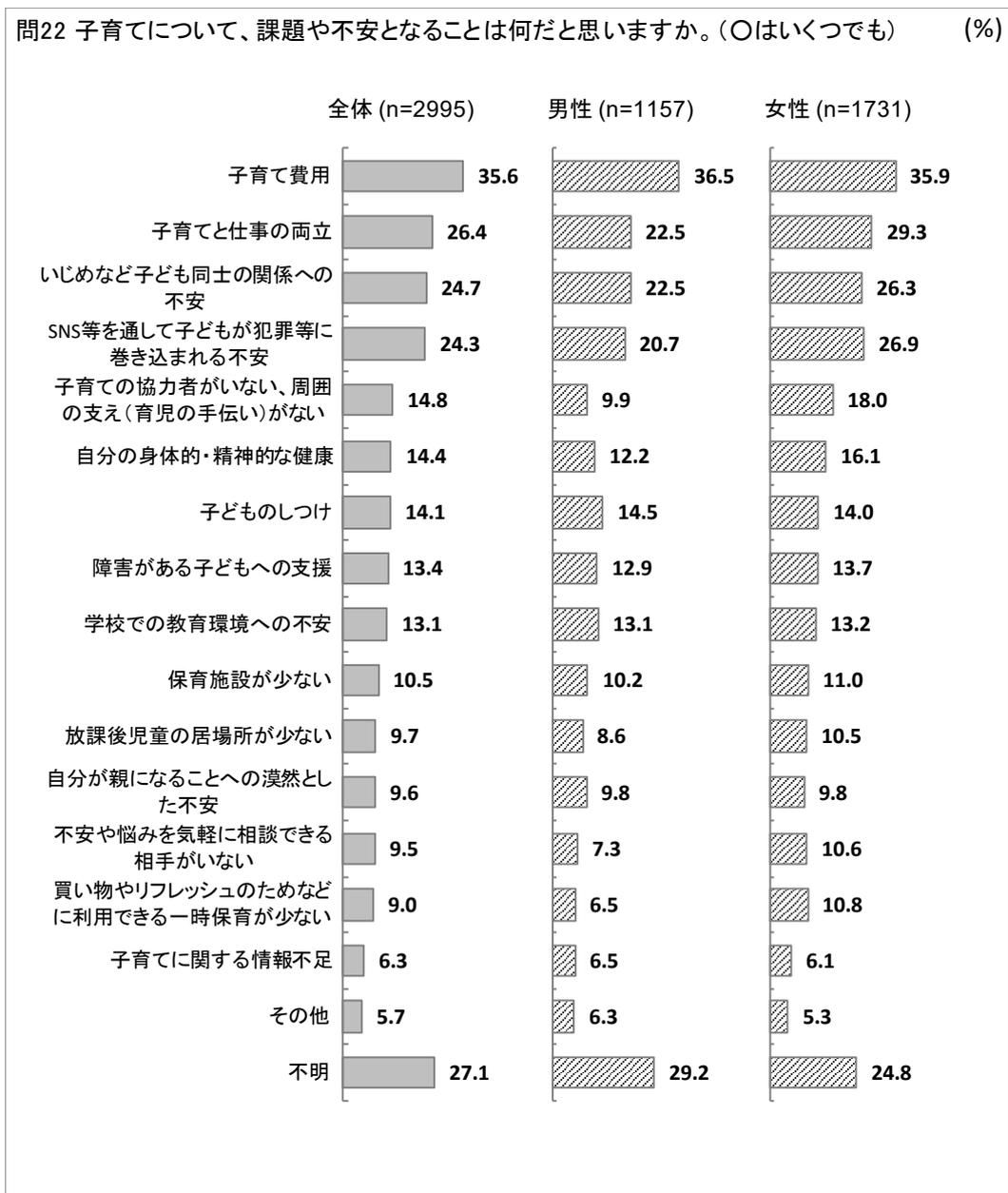
ア 子育てについての課題や不安：全体・時系列

- ・全体では「子育て費用」（35.6%）が最も多く、「子育てと仕事の両立」（26.4%）、「いじめなど子ども同士の関係への不安」（24.7%）、「SNS等を通して子どもが犯罪等に巻き込まれる不安」（24.3%）が上位にあげられる。
- ・上位の項目は前回調査と同様であるが、「子育て費用」と「子育てと仕事の両立」は微増、「いじめなど子ども同士の関係への不安」と「SNS等を通して子どもが犯罪等に巻き込まれる不安」は微減となっている。



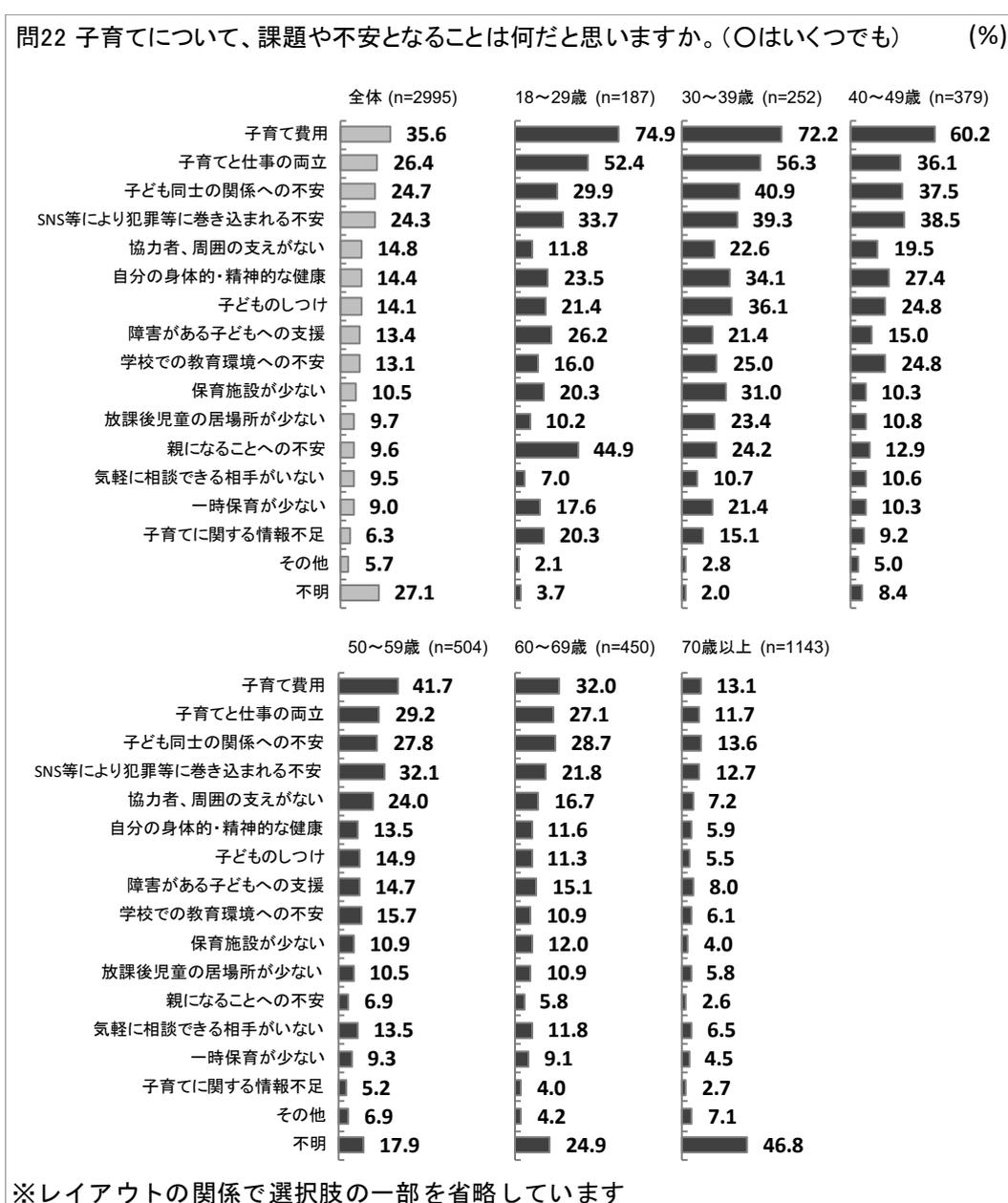
イ 子育てについての課題や不安：性別

- ・性別に関わらず、「子育て費用」と「子育てと仕事の両立」の上位2項目は共通しているが、男性は「いじめなど子ども同士の関係への不安」が、女性は「SNS等を通して子どもが犯罪等に巻き込まれる不安」が上位にあげられている。
- ・性別で最も大きな差が見られるのは「子育ての協力者がいない、周囲の支え（育児の手伝いが無い）」で、男性は9.9%に対し、女性は18.0%である。



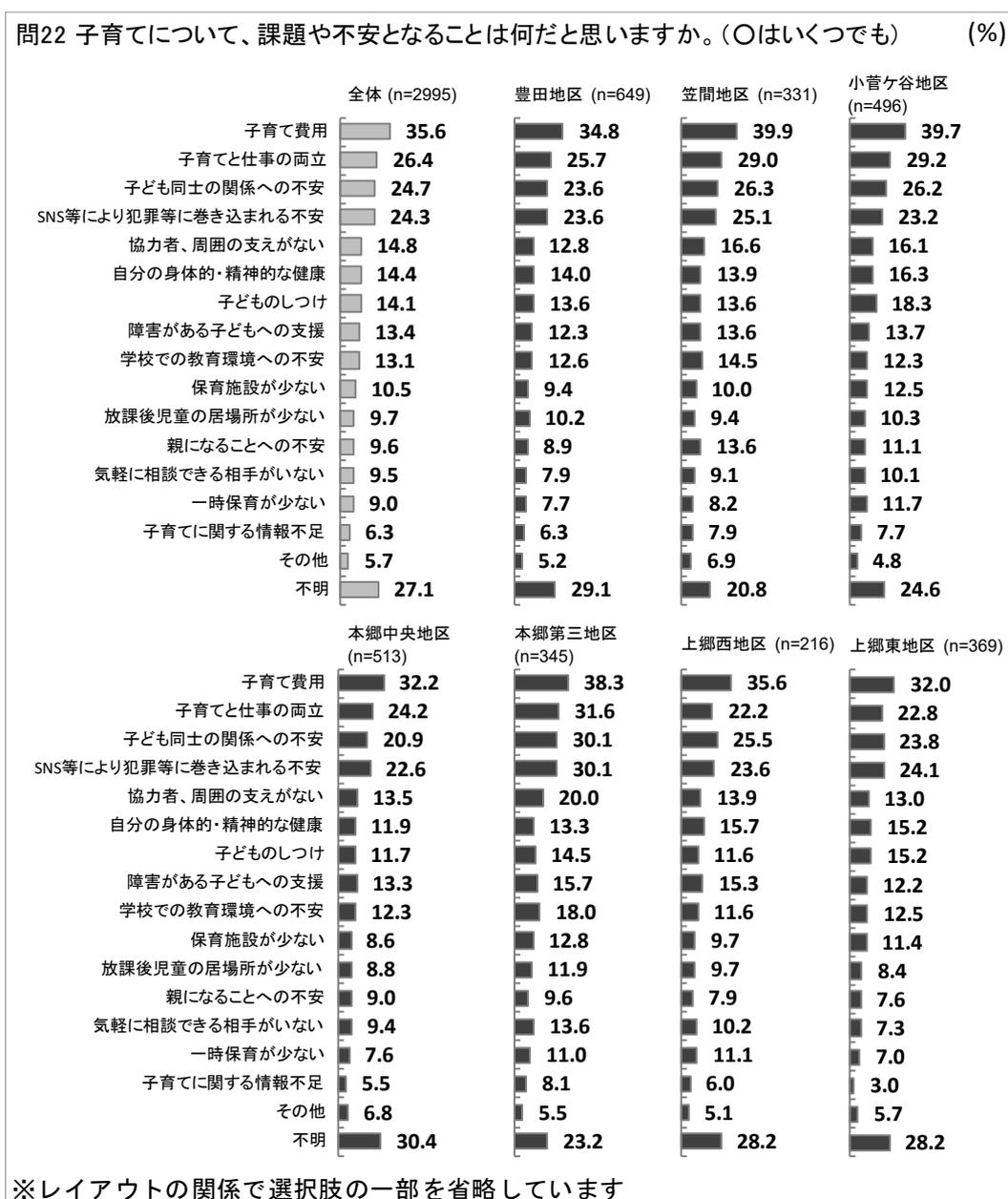
ウ 子育てについての課題や不安：年齢別

- ・若年層ほど「子育て費用」の割合が多くなる傾向が見られ、「18～29歳」と「30～39歳」では全体を30ポイント以上上回り、約7割の回答となっている。
- ・「子育てと仕事の両立」は、「18～29歳」と「30～39歳」では50%を超え、全体より20ポイント以上多い。
- ・「親になることへの不安」は「18～29歳」の割合が44.9%と他の年代に比べて多く、続く「30～39歳」に比べ20.7ポイント多い。



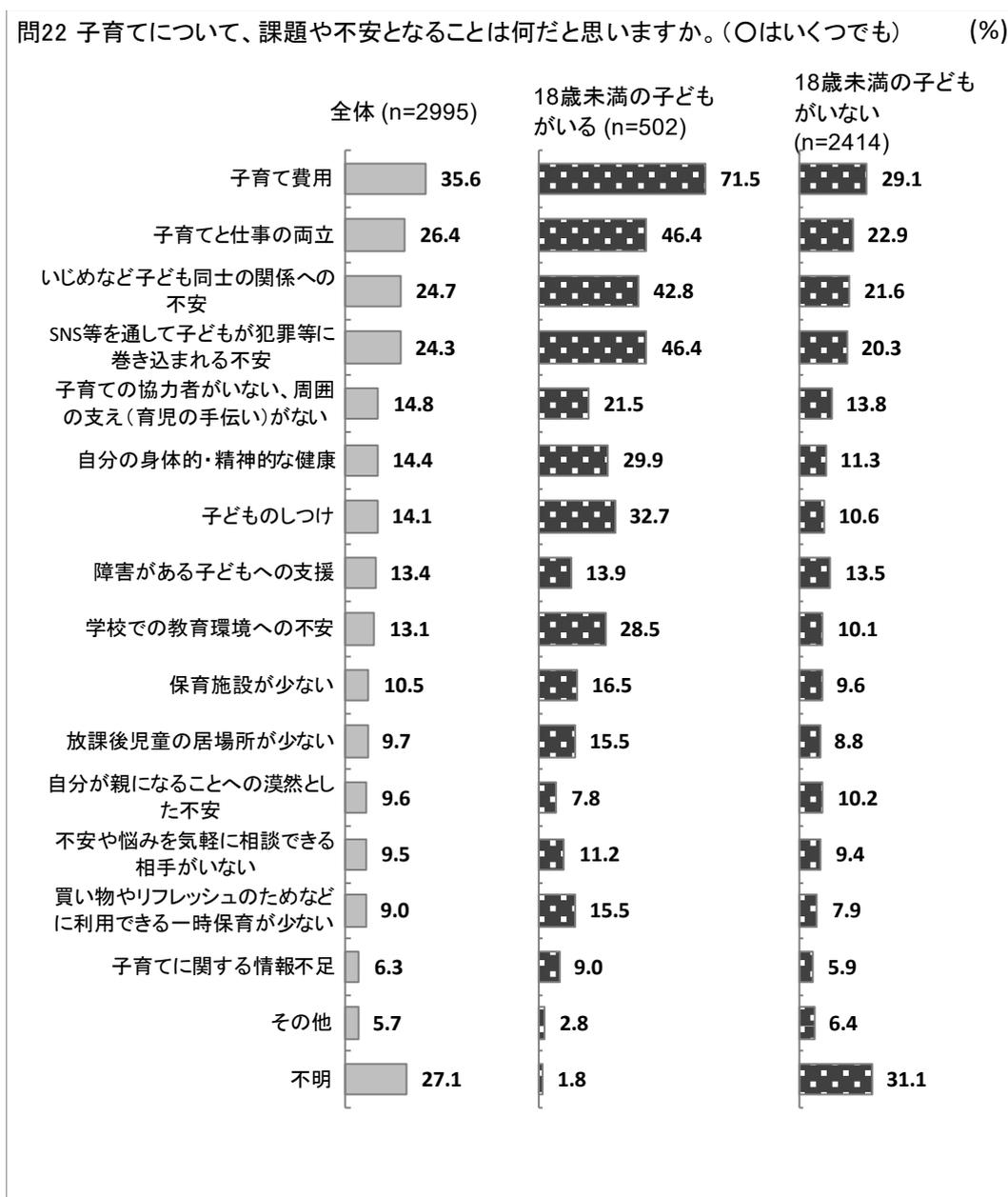
エ 子育てについての課題や不安：居住地区別

- ・居住地区別では概ね全体と同じ傾向であるが、「本郷第三地区」は「SNS等を通して子どもが犯罪等に巻き込まれる不安」、「いじめなど子ども同士の関係への不安」、「子育てと仕事の両立」、「子育ての協力者がいない、周囲の支え（育児の手伝い）がない」の4項目で全体より5ポイント多い回答となっている。



オ 子育てについての課題や不安：子どもの有無別

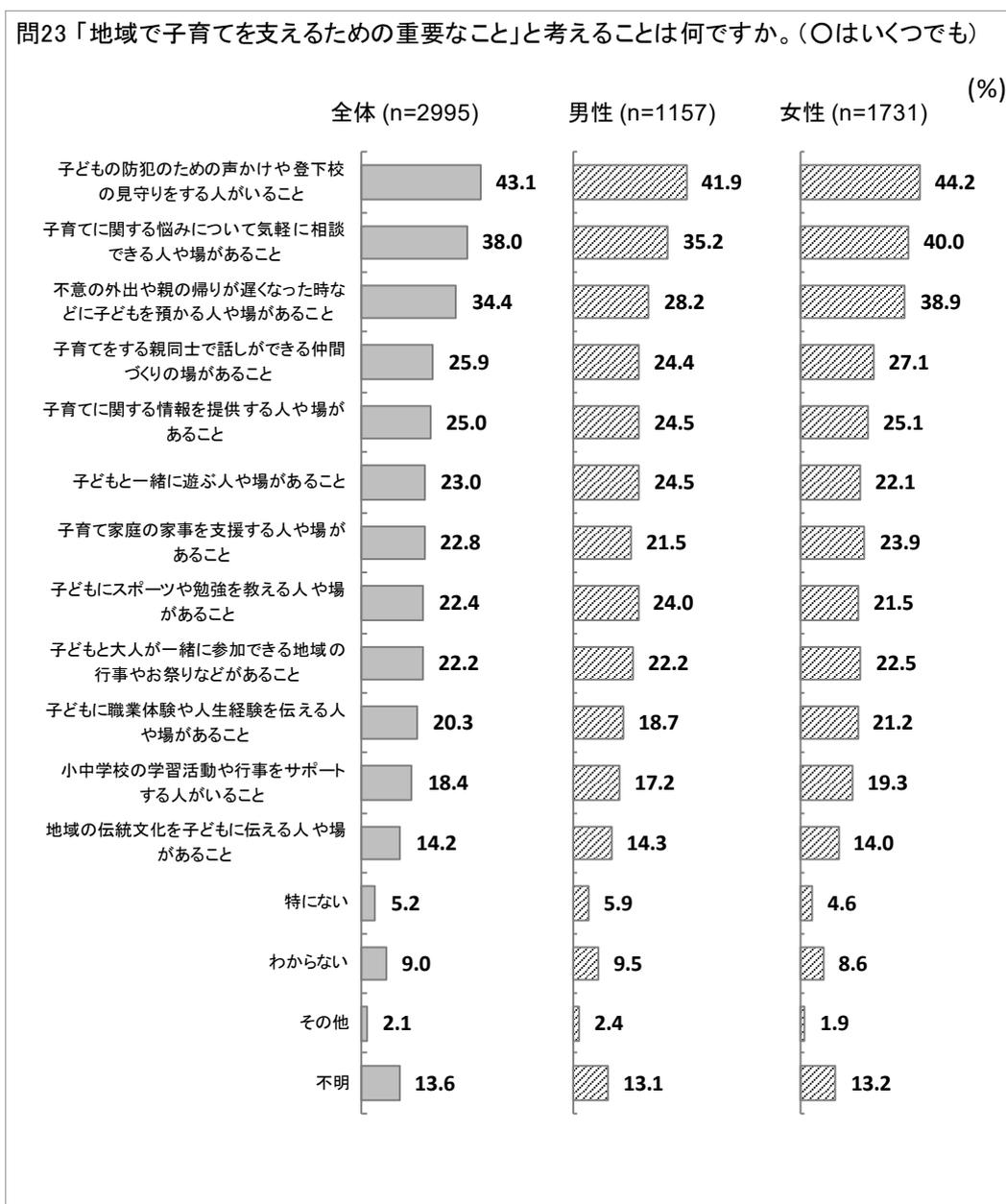
- ・「子どもがいる」人の回答は「子育て費用」（71.5%）が最も多く、「子育てと仕事の両立」と「SNS等を通して子どもが犯罪等に巻き込まれる不安」（同率46.4%）の順に続く。「子どもがいない」人の回答は「子育て費用」（29.1%）が最も多く、「子育てと仕事の両立」（22.9%）、「いじめなど子ども同士の関係への不安」（21.6%）の順に続く。
- ・子どもの有無で最も差が見られたのは「子育て費用」で、「子どもがいる」人では71.5%、「子どもがいない」人では29.1%とその差が42.4ポイントあった。



(3) 地域で子育てを支えるために重要なこと（問23）

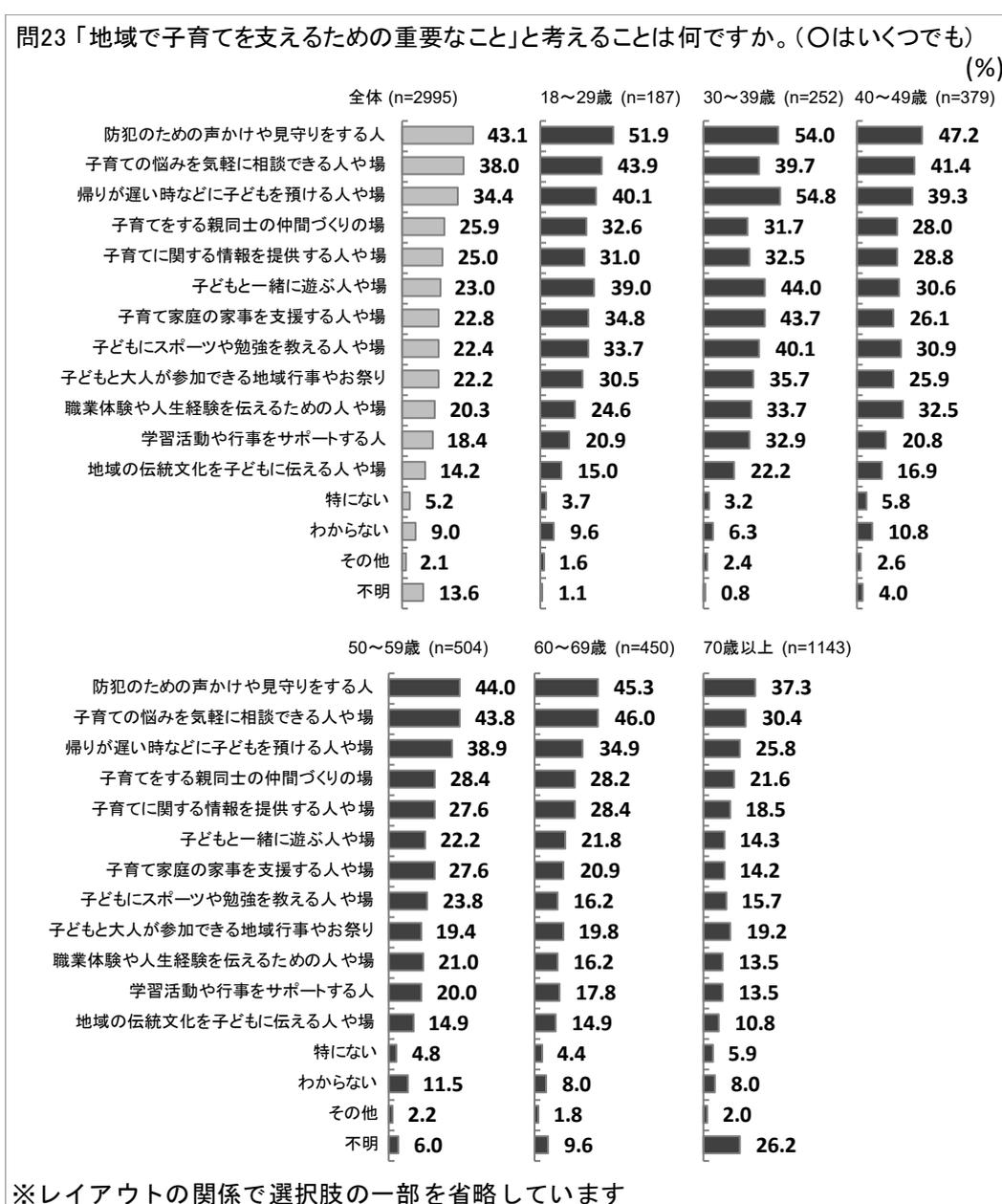
ア 地域で子育てを支えるために重要なこと：全体・性別

- ・全体では「子どもの防犯のための声かけや登下校の見守りをする人がいること」（43.1%）が最も多く、「子育てに関する悩みについて気軽に相談できる人や場があること」（38.0%）、「不意の外出や親の帰りが遅くなった時などに子どもを預かる人や場があること」（34.4%）が上位にあげられる。
- ・性別に関わらず、上位3つの順位は全体と同様であるが、いずれも女性の方が割合が多い。性別で最も大きな差が見られるのは「不意の外出や親の帰りが遅くなった時などに子どもを預かる人や場があること」で、男性は28.2%に対し、女性は38.9%である。



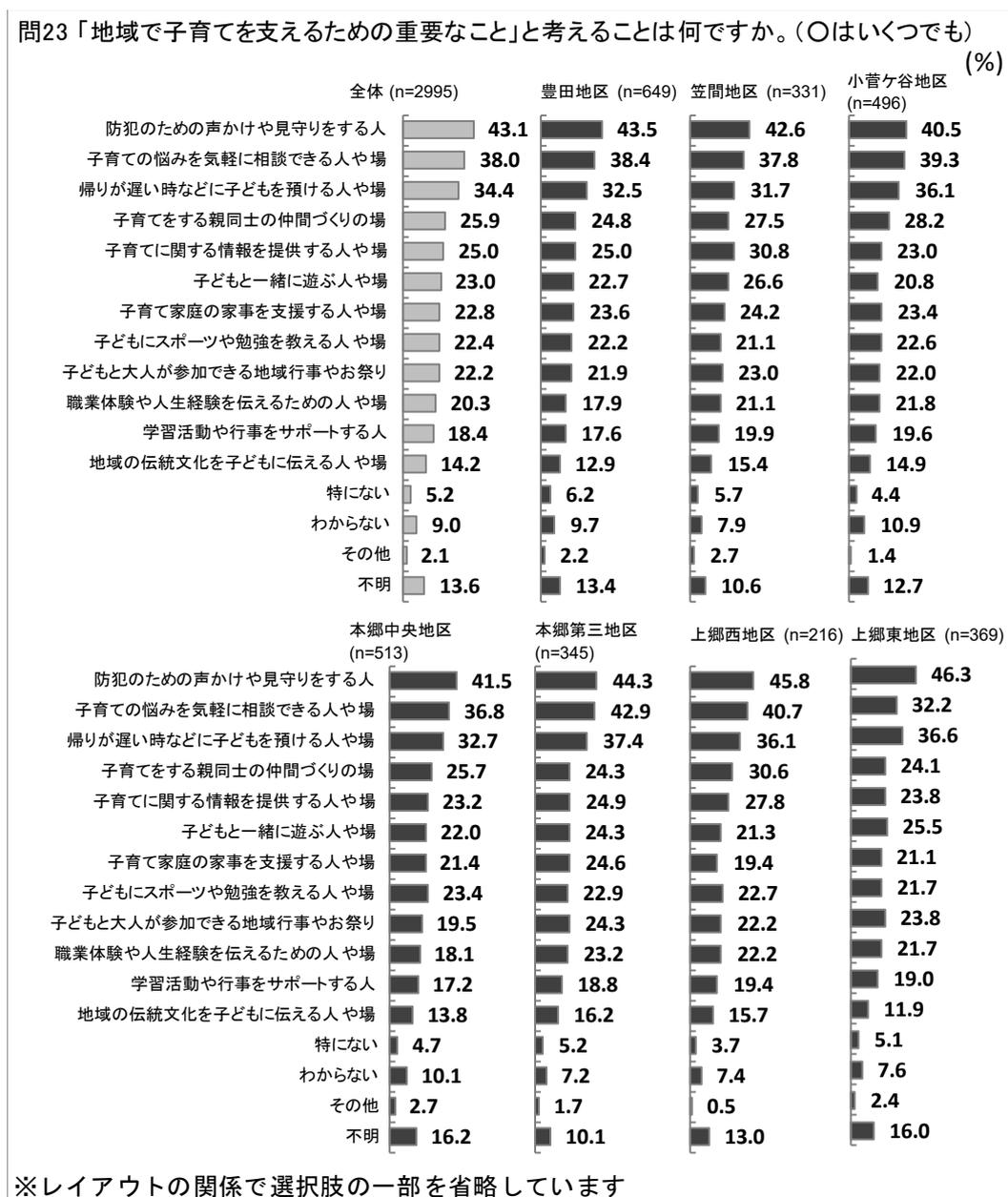
イ 地域で子育てを支えるために重要なこと：年齢別

- ・「子どもがいる」割合がもっとも多い「30～39歳」では、「不意の外出や親の帰りが遅くなった時などに子どもを預かる人や場があること」（54.8%）が最も多く、「子どもの防犯のための声かけや登下校の見守りをする人がいること」（54.0%）が続く。
- ・「60～69歳」では「子育てに関する悩みについて気軽に相談できる人や場があること」（46.0%）が最も多く、全体より8.0ポイント多い。



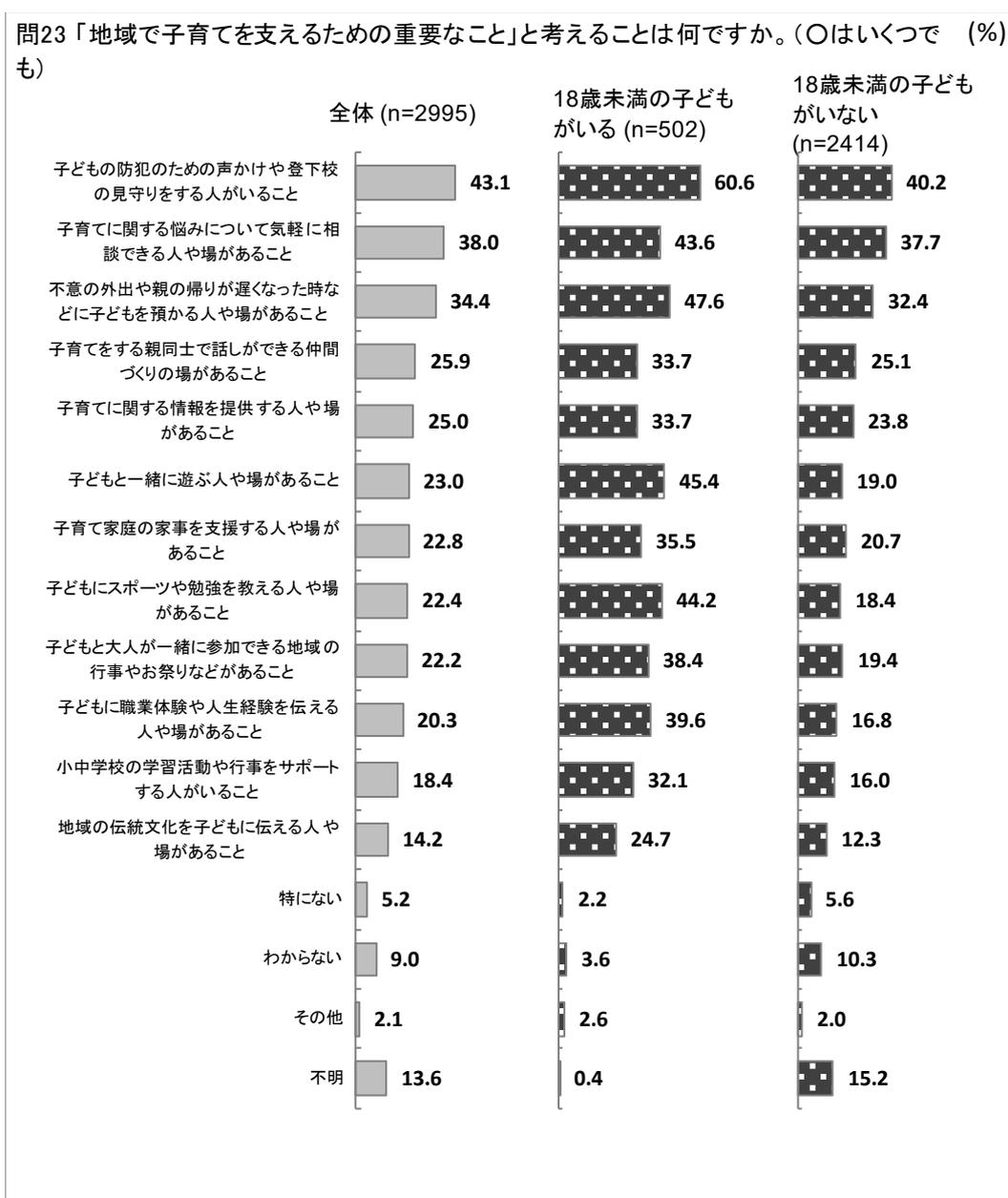
ウ 地域で子育てを支えるために重要なこと：居住地区別

- ・いずれの居住地区も「子どもの防犯のための声かけや登下校の見守りをする人がいること」が最も多く、40%を超える回答となっている。
- ・「上郷東地区」以外は「子育てに関する悩みについて気軽に相談できる人や場があること」が2番目に多い回答となっている。



オ 地域で子育てを支えるために重要なこと：子どもの有無別

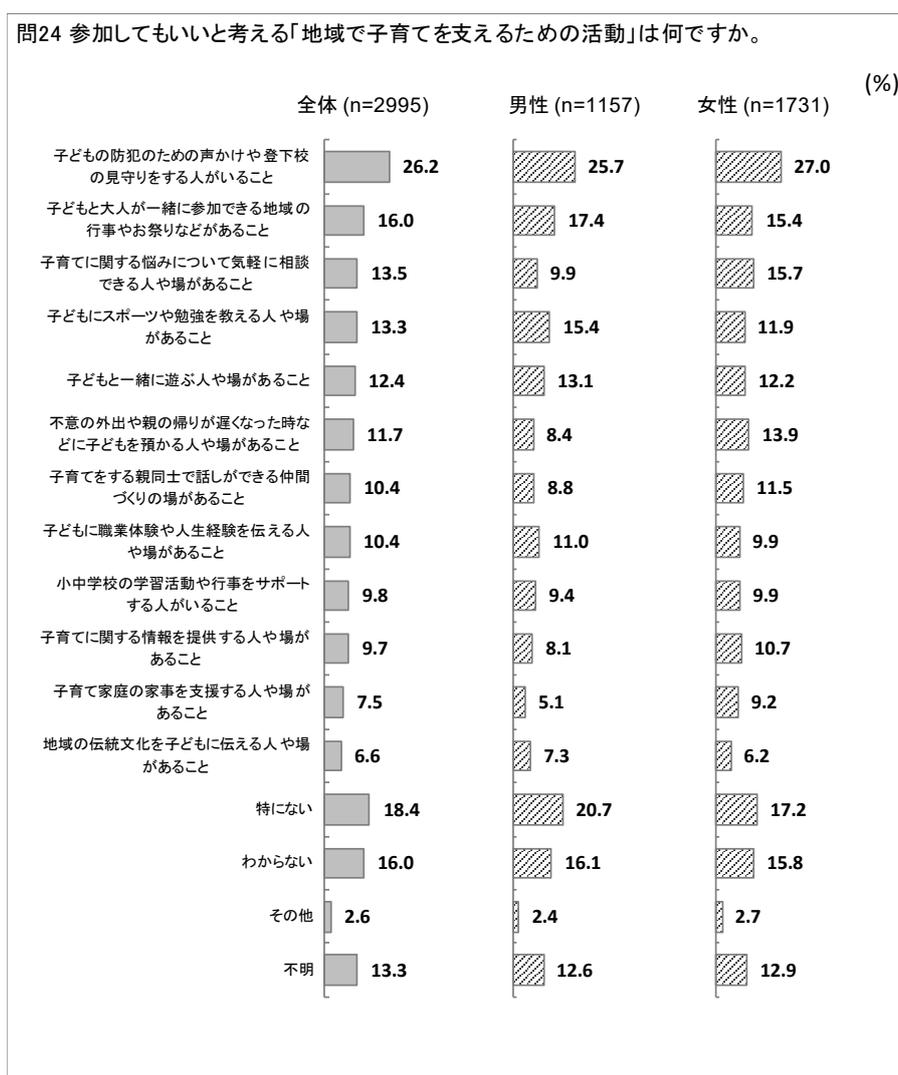
- ・子どもの有無に関わらず「子どもの防犯のための声かけや登下校の見守りをする人がいること」が最も多い回答であるが、「子どもがいる」人の回答（60.6%）は「子どもがいない」人の回答（40.2%）より20.4ポイント多い。
- ・「子どもがいる」人の回答では、「不意の外出や親の帰りが遅くなった時などに子どもを預かる人や場があること」（47.6%）、「子どもと一緒に遊ぶ人や場があること」（45.4%）が上位にあげられる。



(4) 参加してもいいと考える「地域で子育てを支えるための活動」 (問24)

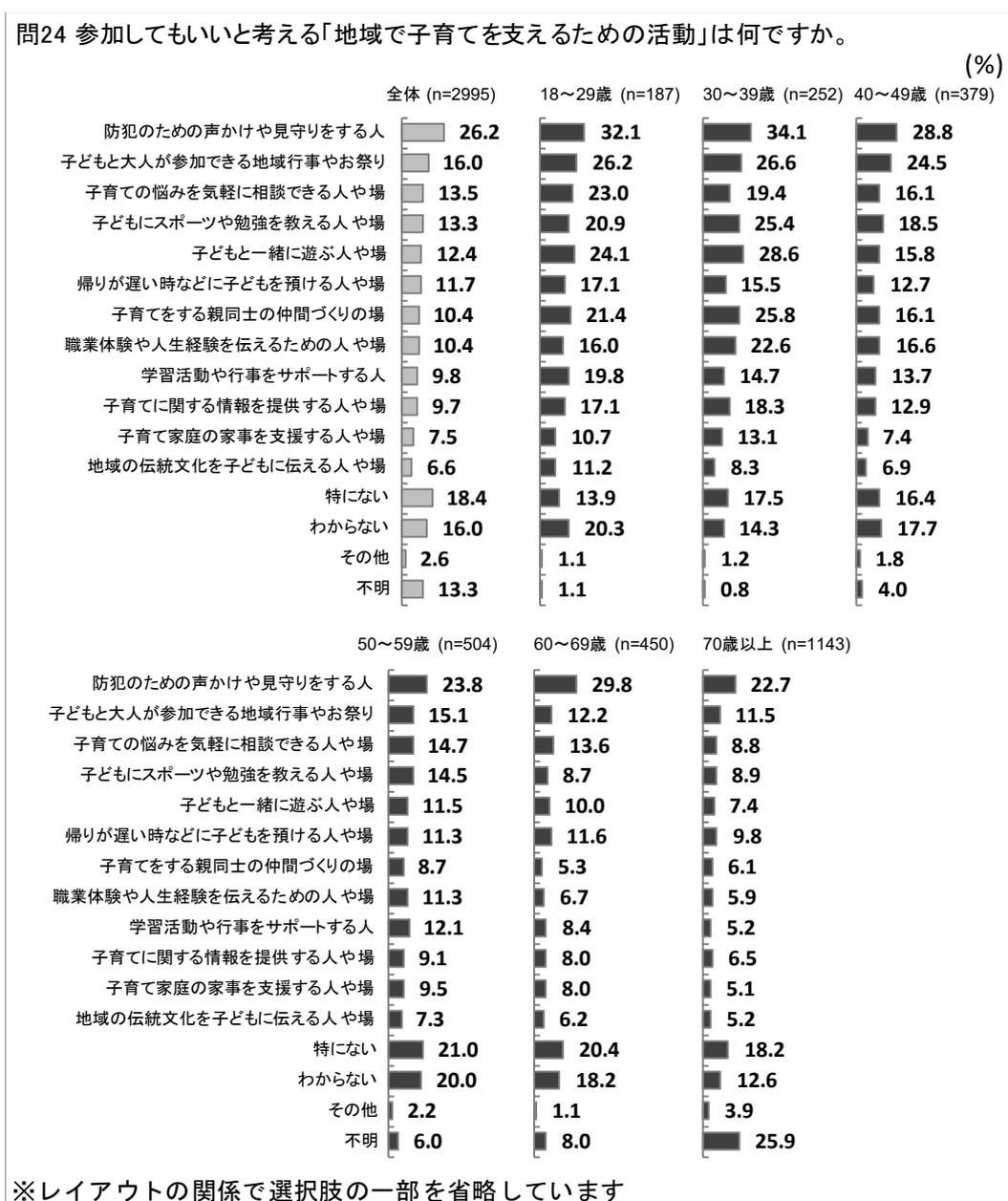
ア 参加してもいいと考える「地域で子育てを支えるための活動」：全体・性別

- ・全体では「子どもの防犯のための声かけや登下校の見守りをする人がいること」(26.2%)が最も多く、「子どもと大人と一緒に参加できる地域の行事やお祭りなどがあること」(16.0%)、「子育てに関する悩みについて気軽に相談できる人や場があること」(13.5%)が続く。
- ・性別に関わらず、「子どもの防犯のための声かけや登下校の見守りをする人がいること」が最も多く、男性は「子どもと大人と一緒に参加できる地域の行事やお祭りなどがあること」(17.4%)、「子どもにスポーツや勉強を教える人や場があること」(15.4%)が続く。女性は「子育てに関する悩みについて気軽に相談できる人や場があること」(15.7%)、「子どもと大人と一緒に参加できる地域の行事やお祭りなどがあること」(15.4%)が続く。



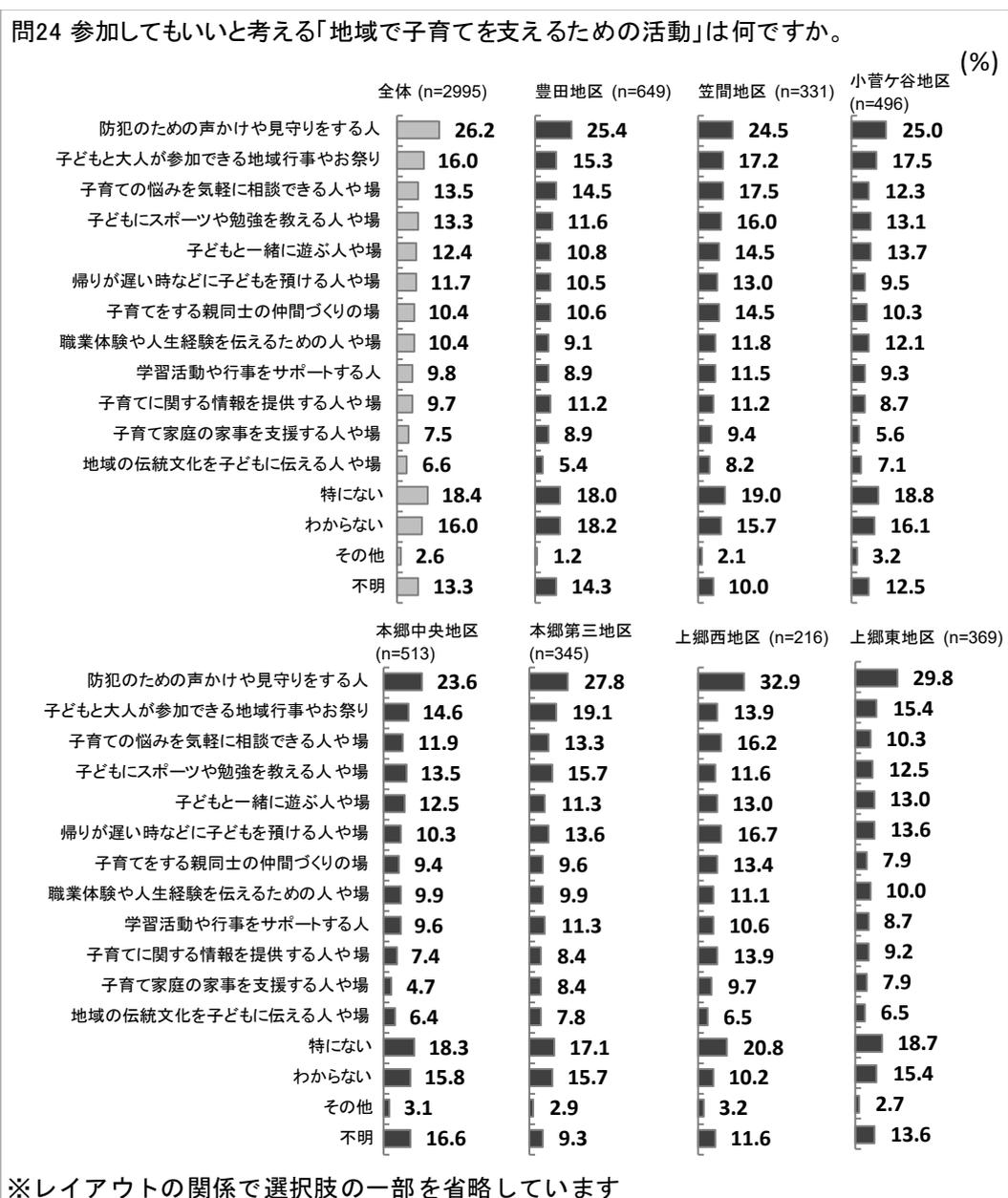
イ 参加してもいいと考える「地域で子育てを支えるための活動」：年齢別

- ・いずれの年代も「子どもの防犯のための声かけや登下校の見守りをする人がいること」が最も多く、「30～39歳」では34.1%と全体より7.9ポイント多い。
- ・「18～29歳」、「30～39歳」では「特にない」「わからない」を除く全ての項目で全体を上回っており、とりわけ「30～39歳」で「子どもと一緒に遊ぶ人や場があること」と「子育てをする親同士で話しができる仲間づくりの場があること」は全体より15ポイント以上多い。



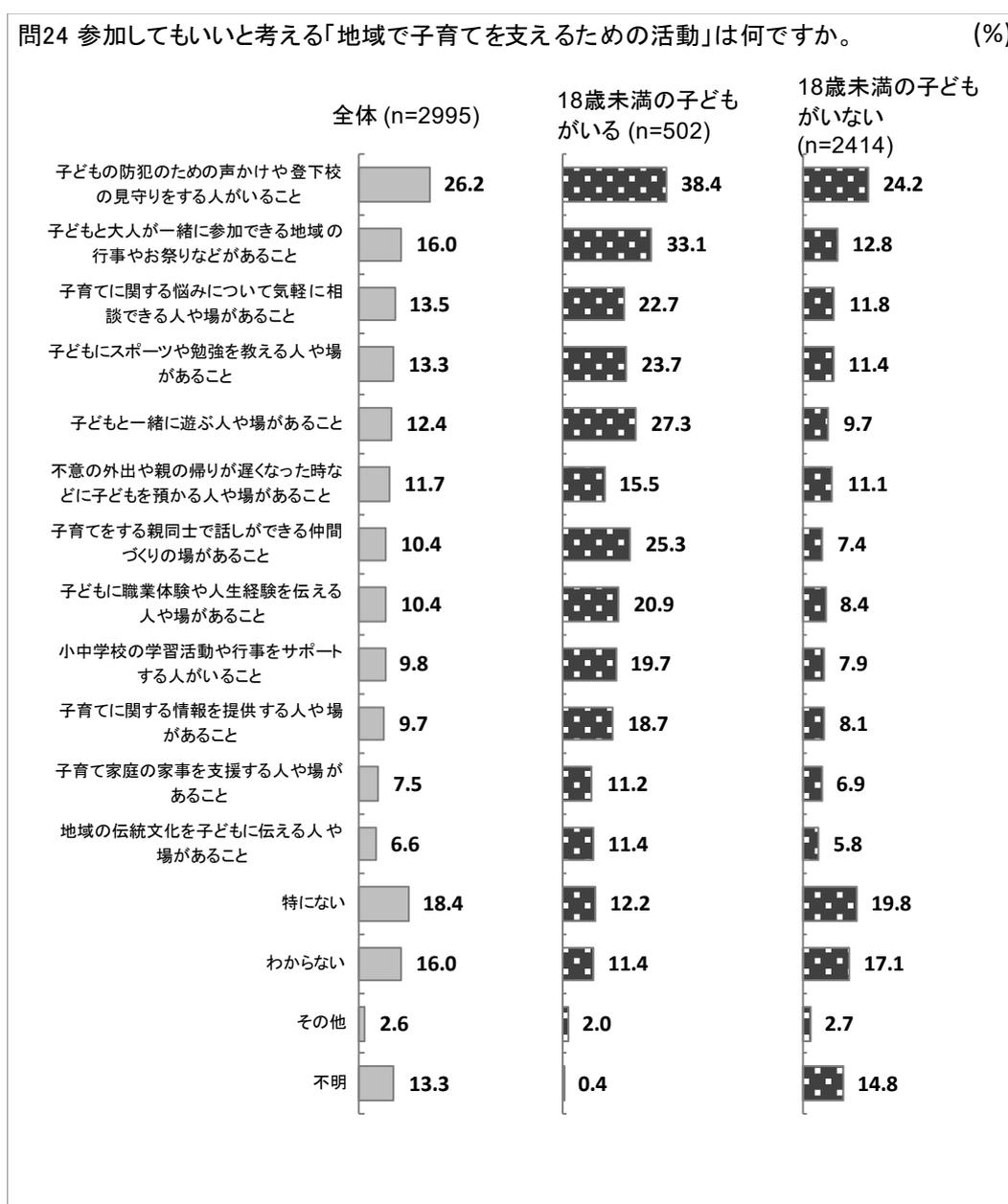
ウ 参加してもいいと考える「地域で子育てを支えるための活動」：居住地区別

- ・いずれの居住地区も「子どもの防犯のための声かけや登下校の見守りをする人がいること」が最も多い。
- ・「上郷西地区」では「子どもの防犯のための声かけや登下校の見守りをする人がいること」(32.9%)が、全体より6.7ポイント多い。また、「不意の外出や親の帰りが遅くなった時などに子どもを預かる人や場があること」(16.7%)が全体より5.0ポイント多い。



エ 参加してもいいと考える「地域で子育てを支えるための活動」：子どもの有無別

- ・子どもの有無に関わらず「子どもの防犯のための声かけや登下校の見守りをする人がいること」が最も多い回答であるが、「子どもがいる」人の回答（38.4%）は「子どもがいない」人の回答（24.2%）より12.2ポイント多い。
- ・「子どもがいる」人の回答では、「子どもと大人と一緒に参加できる地域の行事やお祭りなどがあること」（33.1%）、「子どもと一緒に遊ぶ人や場があること」（27.3%）が上位にあがっている。



オ 参加してもいいと考える「地域で子育てを支えるための活動」：「その他」の内容

- ・その他の内容は、「食事関係」（5件）、「地域の交流」（5件）「得意分野を活かした活動」（3件）などが記されている。
- ・「具体的ではないが、参加意向あり」は7件である。

問24 参加してもいいと考える「地域で子育てを支えるための活動」は何ですか。

「15. その他」の内容 (件)

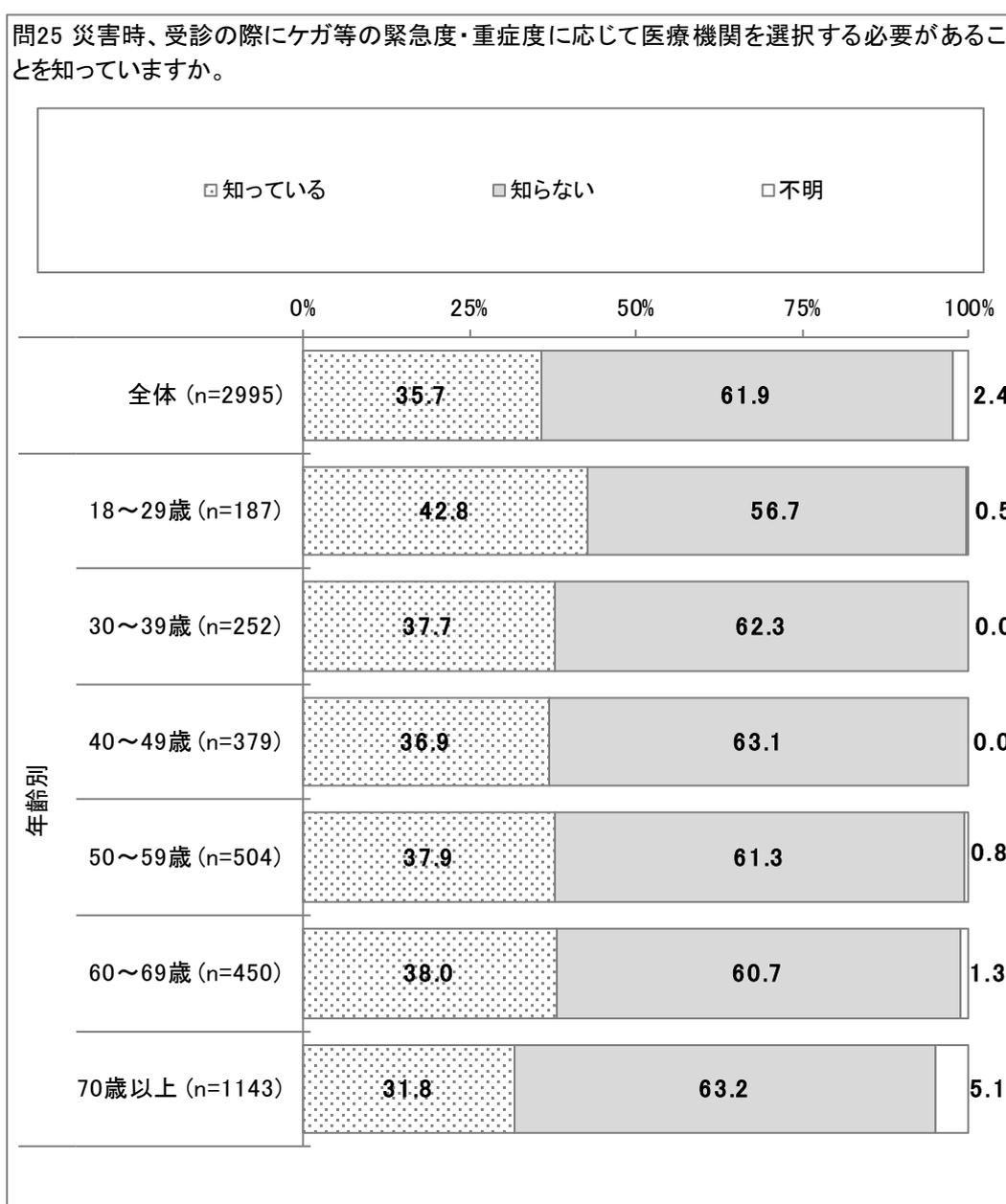
食事関係	5	具体的ではないが、参加意向あり	7
子ども食堂など	2	子どもがいない・よくわからない	7
給食の充実	1	その他	17
困窮家庭等への定期的援助	1	活動ができない理由	39
地域の交流	5		
あいさつなど人間関係づくり	3		
交流手伝い、情報提供	2		
得意分野を活かした活動	3		
中学校の部活動指導	1		
英語コミュニケーション	1		
音楽活動	1		

7 防災について

(1) 災害時の緊急度・重症度に応じた医療機関の選択の認知度（問 25）

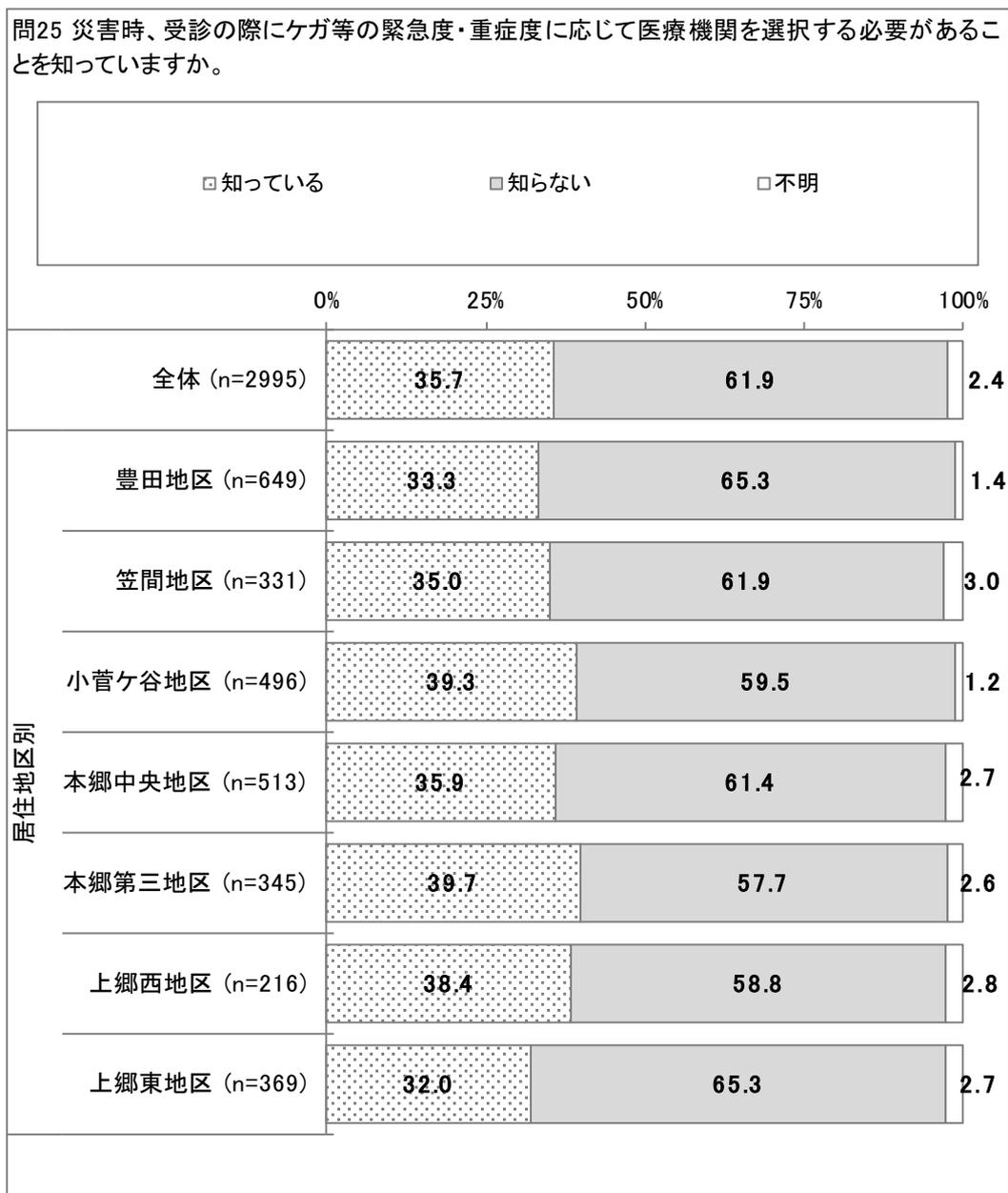
ア 災害時の緊急度・重症度に応じた医療機関の選択の認知度：全体・年齢別

- ・全体では「知っている」（35.7%）、「知らない」（61.9%）となっている。
- ・「知っている」が最も多いのは「18～29歳」で42.8%、最も少ないのは「70歳以上」で31.8%である。



イ 災害時の緊急度・重症度に応じた医療機関の選択の認知度：居住地 区別

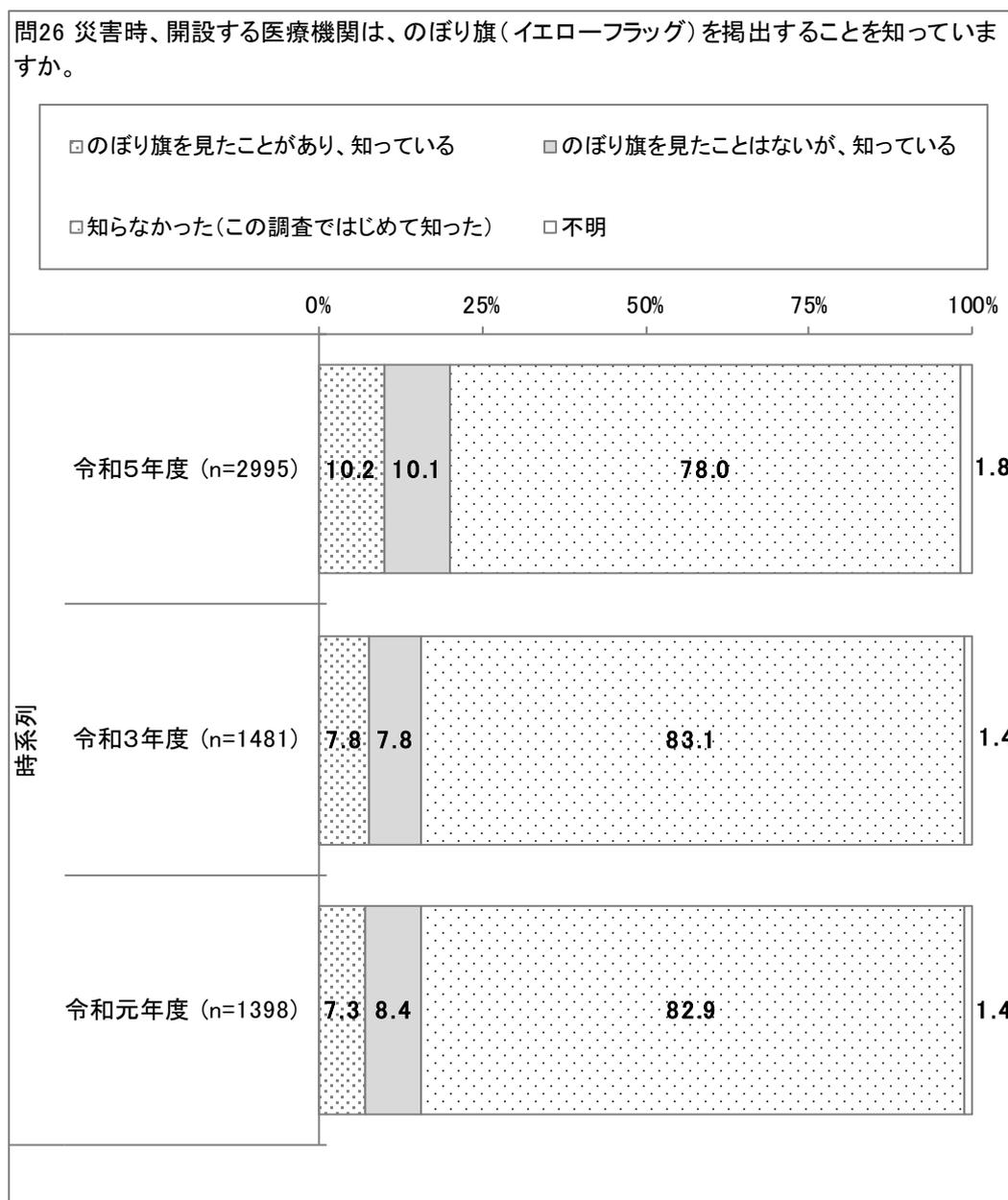
- ・いずれの地区も「知っている」が30%を超え、全体との差が5ポイント以上の地区は見られない。



(2) のぼり旗を掲出することの認知度（問 26）

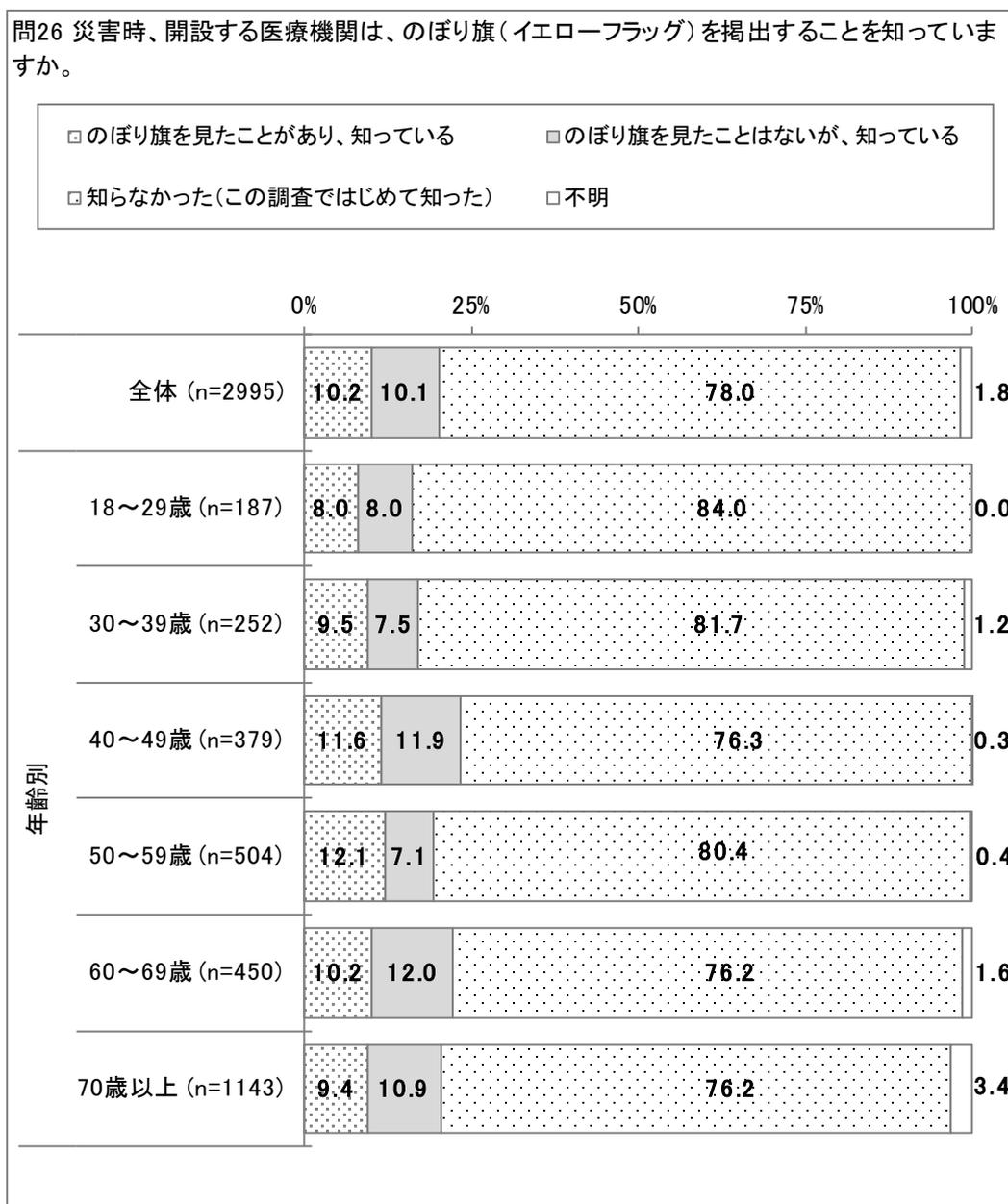
ア のぼり旗を掲出することの認知度：全体・時系列

- ・『知っている』（「のぼり旗を見たことがあり、知っている」と「のぼり旗を見たことはないが、知っている」の合計）は20.3%である。
- ・『知っている』の割合は前回調査より4.7ポイント多い。



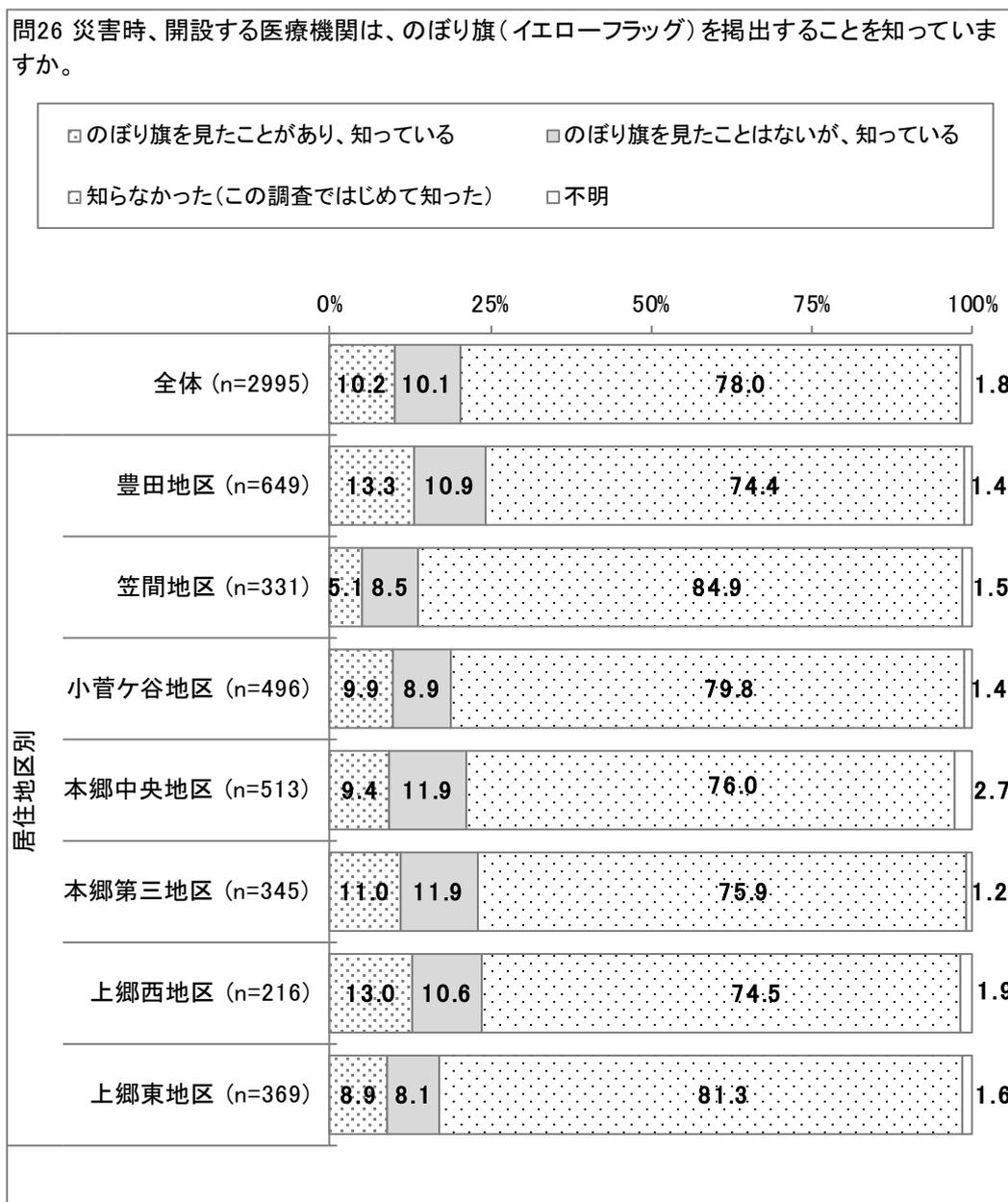
イ のぼり旗を掲出することの認知度：年齢別

- ・『知っている』の割合は「40～49歳」（23.5%）が最も多く、「60～69歳」（22.2%）、「70歳以上」（20.4%）が続く。



ウ のぼり旗を掲出することの認知度：居住地区別

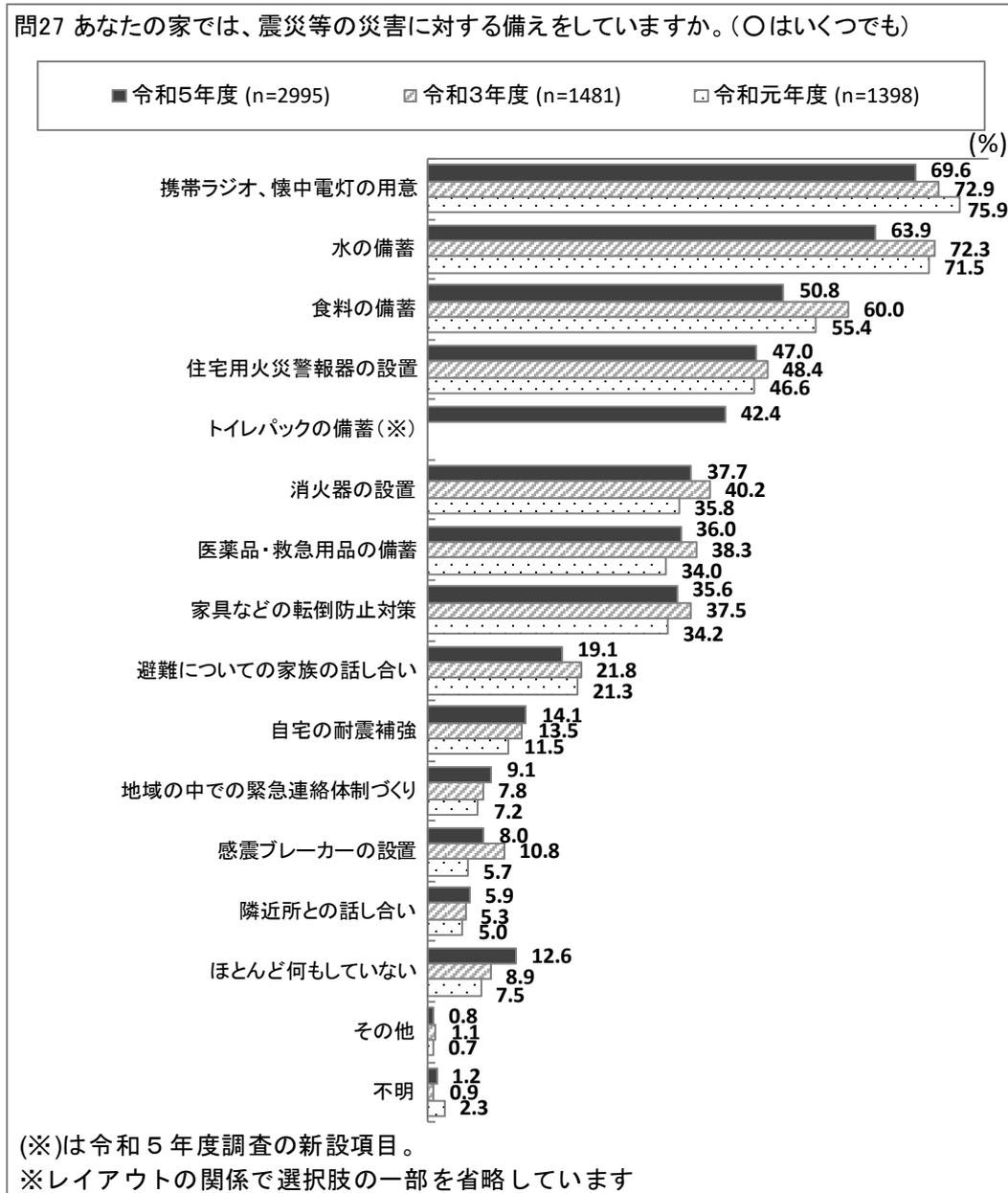
- ・『知っている』の割合は「豊田地区」（24.2%）が最も多く、「上郷西地区」（23.6%）、「本郷第三地区」（22.9%）、「本郷中央地区」（21.2%）の順に続く。



(3) 災害に対する備え（問 27）

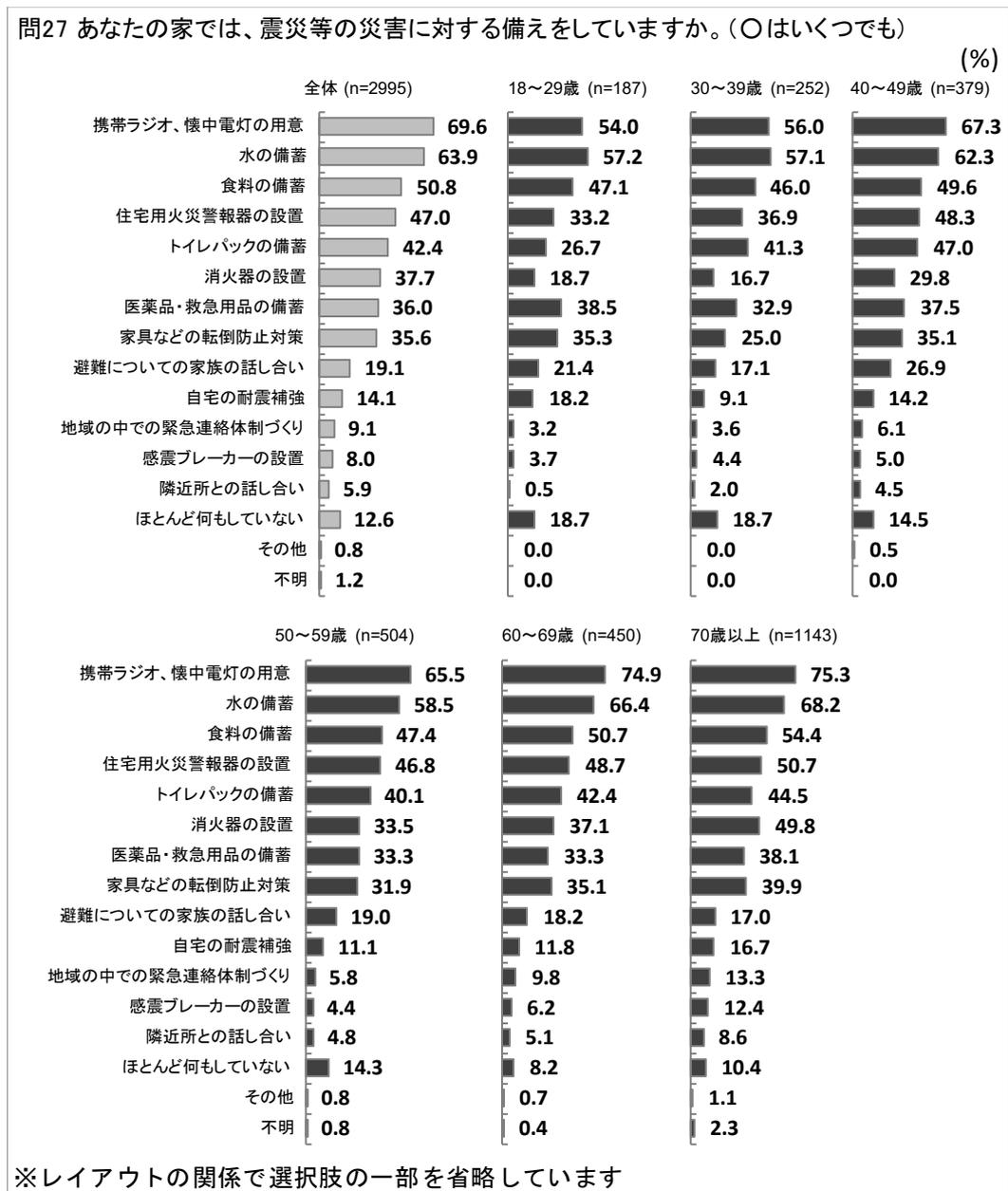
ア 災害に対する備え：全体・時系列

- ・全体では「携帯ラジオ、懐中電灯の用意」（69.6%）が最も多く、「水の備蓄」（63.9%）、「食料の備蓄」（50.8%）が続く。
- ・今回調査の新設項目「トイレパックの備蓄」は42.4%で5番目にあげられている。



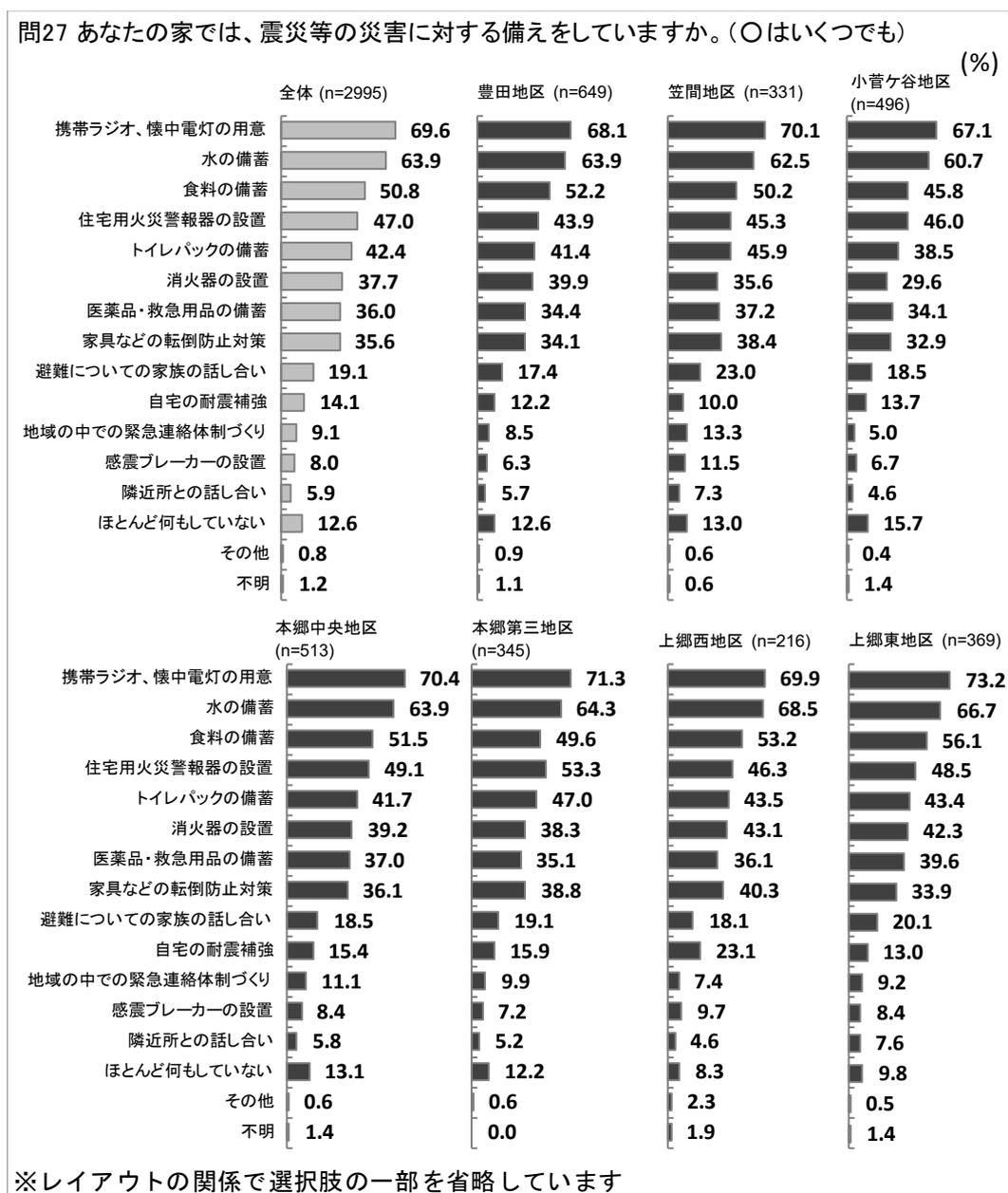
イ 災害に対する備え：年齢別

- ・「18～29歳」、「30～39歳」では「水の備蓄」が最も多く、「携帯ラジオ、懐中電灯の用意」、「食料の備蓄」が続く。40代以上では「携帯ラジオ、懐中電灯の用意」が最も多く、「水の備蓄」、「食料の備蓄」が続く。
- ・「60～69歳」と「70歳以上」では「携帯ラジオ、懐中電灯の用意」が全体より5ポイント以上多く、75%を超えている。



ウ 災害に対する備え：居住地区別

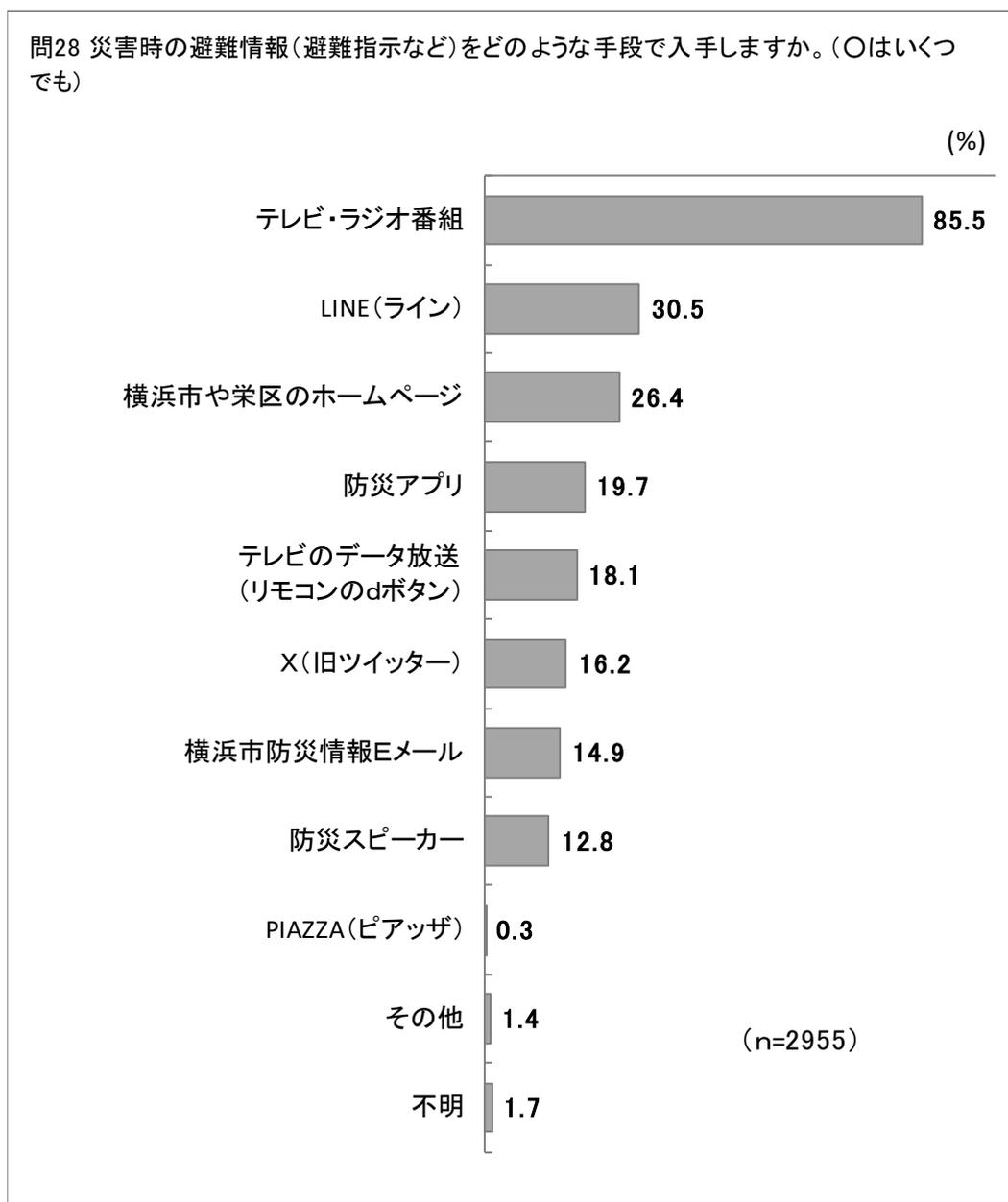
- ・いずれの居住地区も全体と同じく、「携帯ラジオ、懐中電灯の用意」が最も多く、「水の備蓄」が続く。
- ・「豊田地区」、「笠間地区」、「本郷中央地区」、「上郷西地区」、「上郷東地区」では「食料の備蓄」が、「小菅ヶ谷地区」と「本郷第三地区」では「住宅用火災警報器の設置」が3番目に多い回答である。



(4) 災害時の避難情報の入手手段（問28）

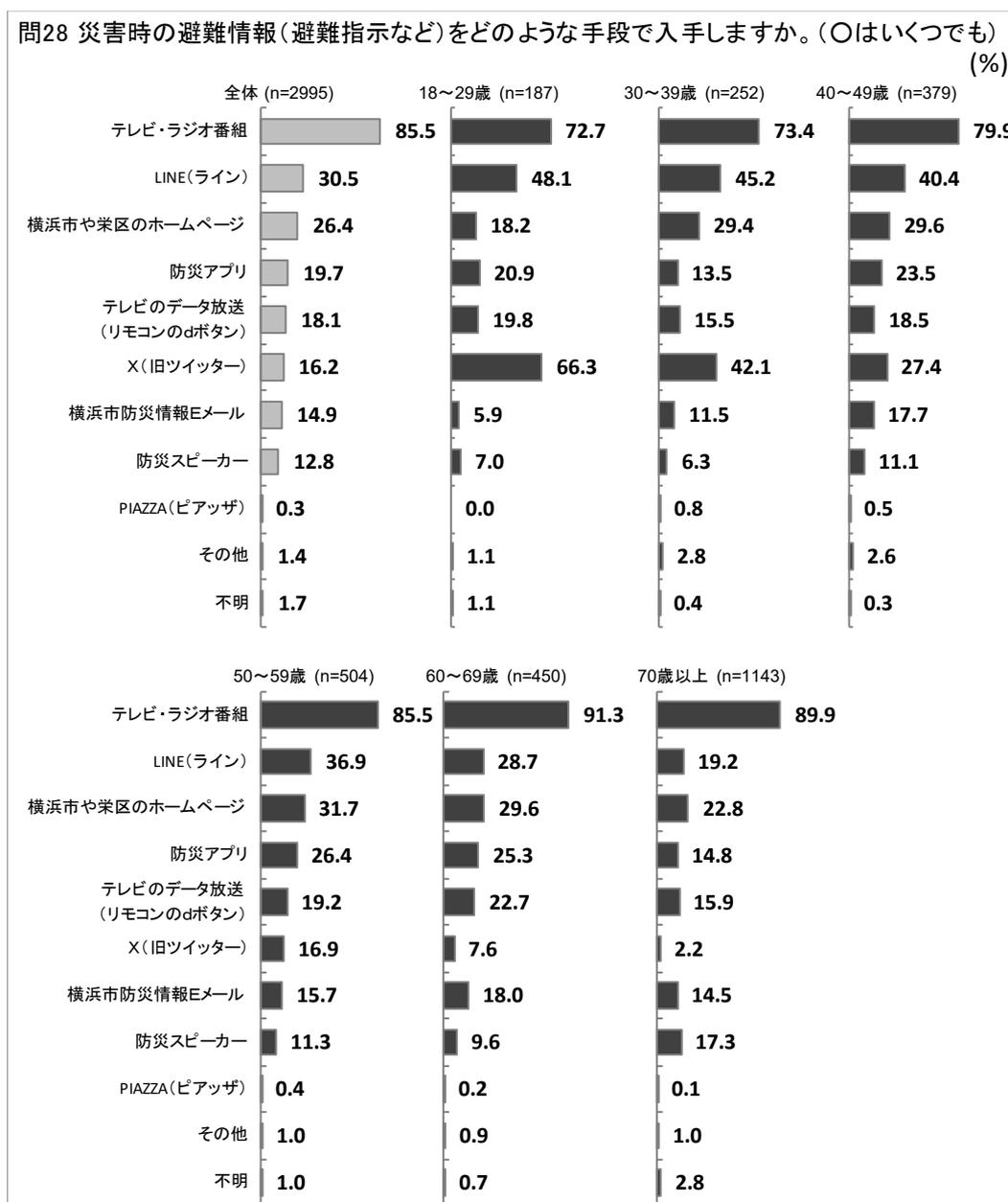
ア 災害時の避難情報の入手手段：全体

- ・全体では「テレビ・ラジオ番組」（85.5%）が最も多く、続く「LINE（ライン）」（30.5%）、「横浜市や栄区のホームページ」（26.4%）を大きく上回っている。



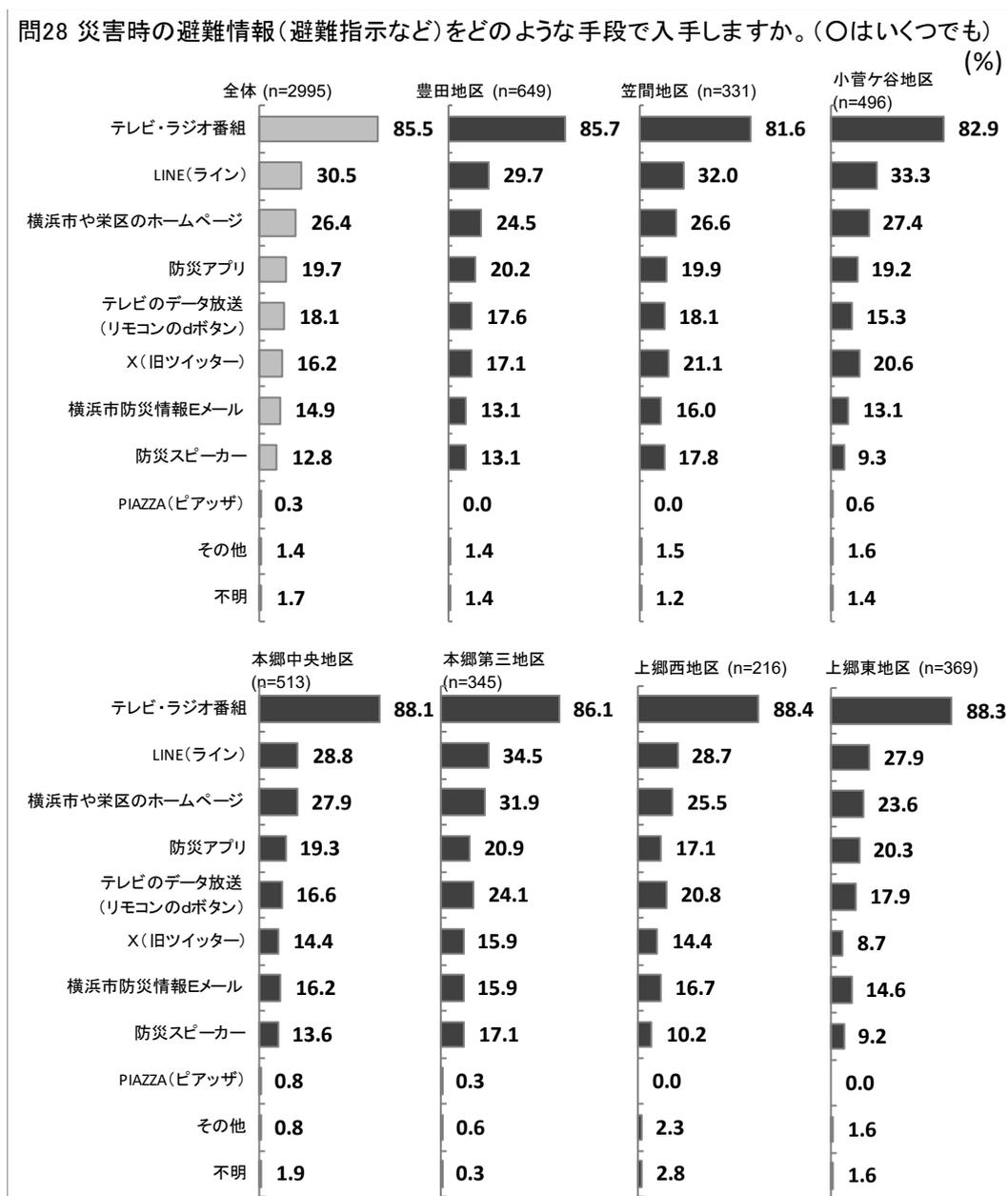
イ 災害時の避難情報の入手手段：年齢別

- ・いずれの年代も「テレビ・ラジオ番組」が最も多いが、「18～29歳」と「30～39歳」は全体より10ポイント以上少ない。
- ・「18～29歳」、「30～39歳」、「40～49歳」では「X（旧ツイッター）」と「LINE（ライン）」が全体より10ポイント以上多い。とりわけ「18～29歳」では「X（旧ツイッター）」（66.3%）が多く、2番目に多い回答である。



ウ 災害時の避難情報の入手手段：居住地区別

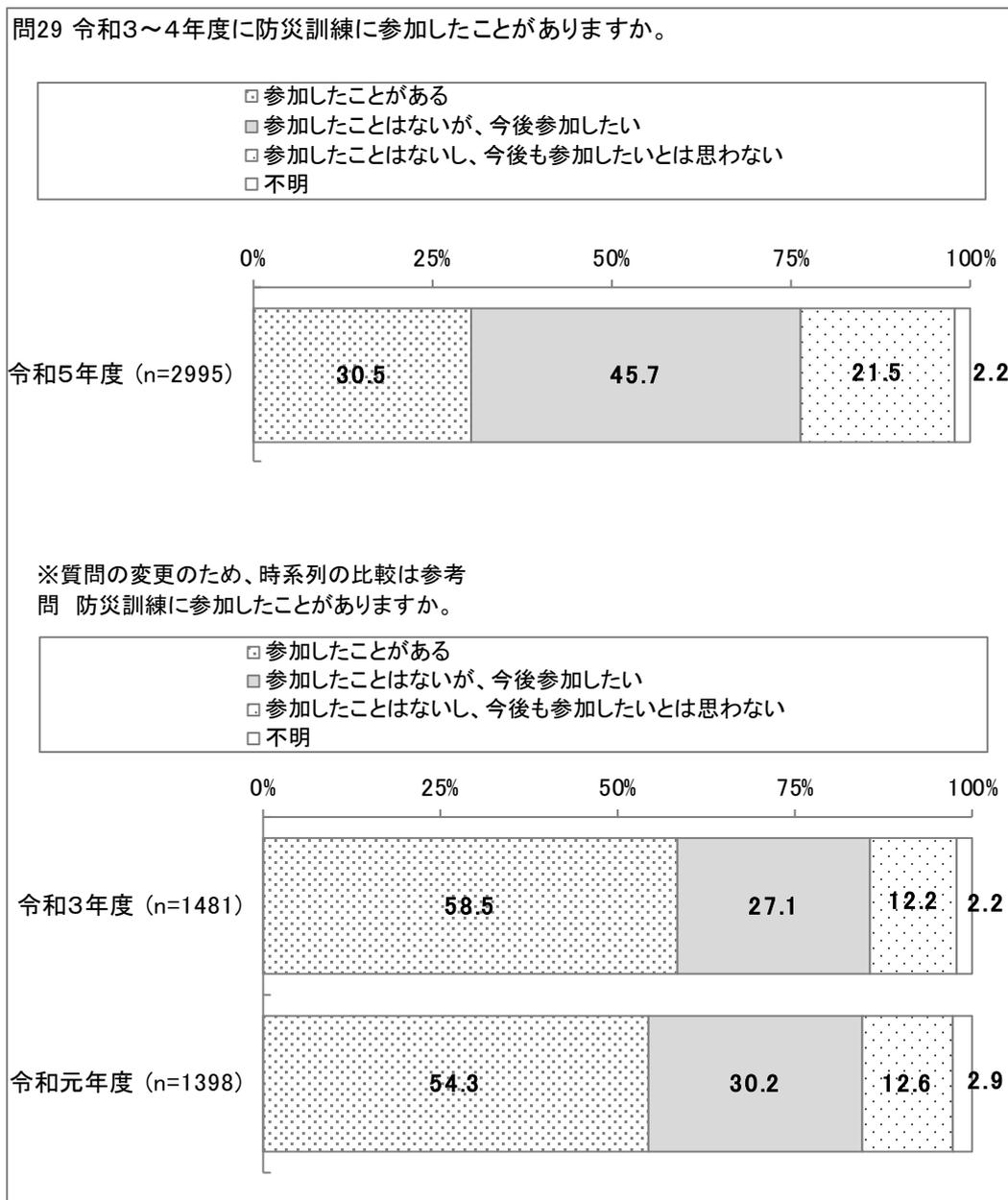
- ・いずれの居住地区も全体と同じく、「テレビ・ラジオ番組」が最も多く、続く「LINE（ライン）」を大きく上回っている。



(5) 防災訓練への参加（問 29）

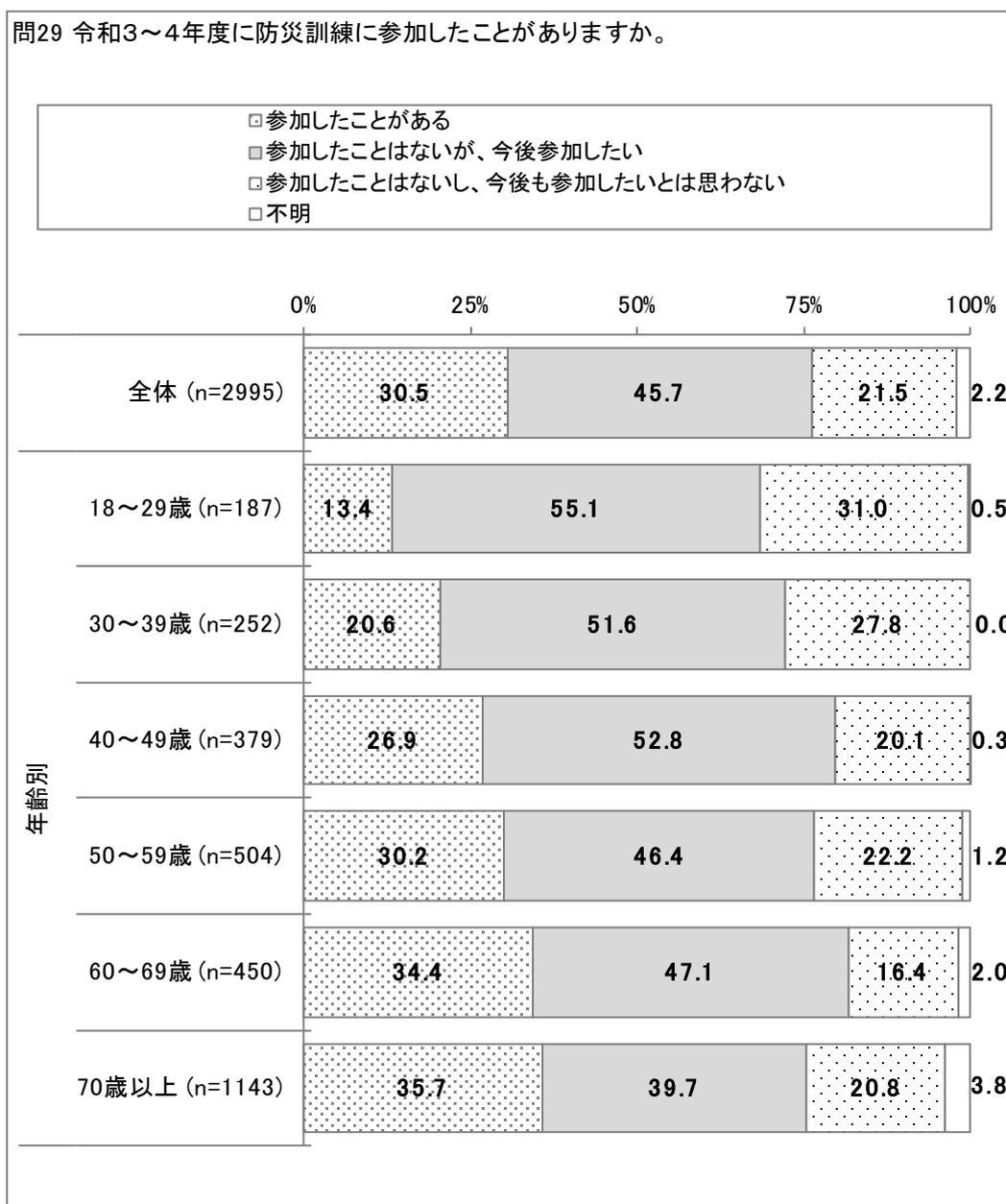
ア 防災訓練への参加：全体

- ・全体では「参加したことはないが、今後参加したい」（45.7%）が最も多く、「参加したことがある」（30.5%）、「参加したことはないし、今後参加したいとは思わない」（21.5%）の順となっている。



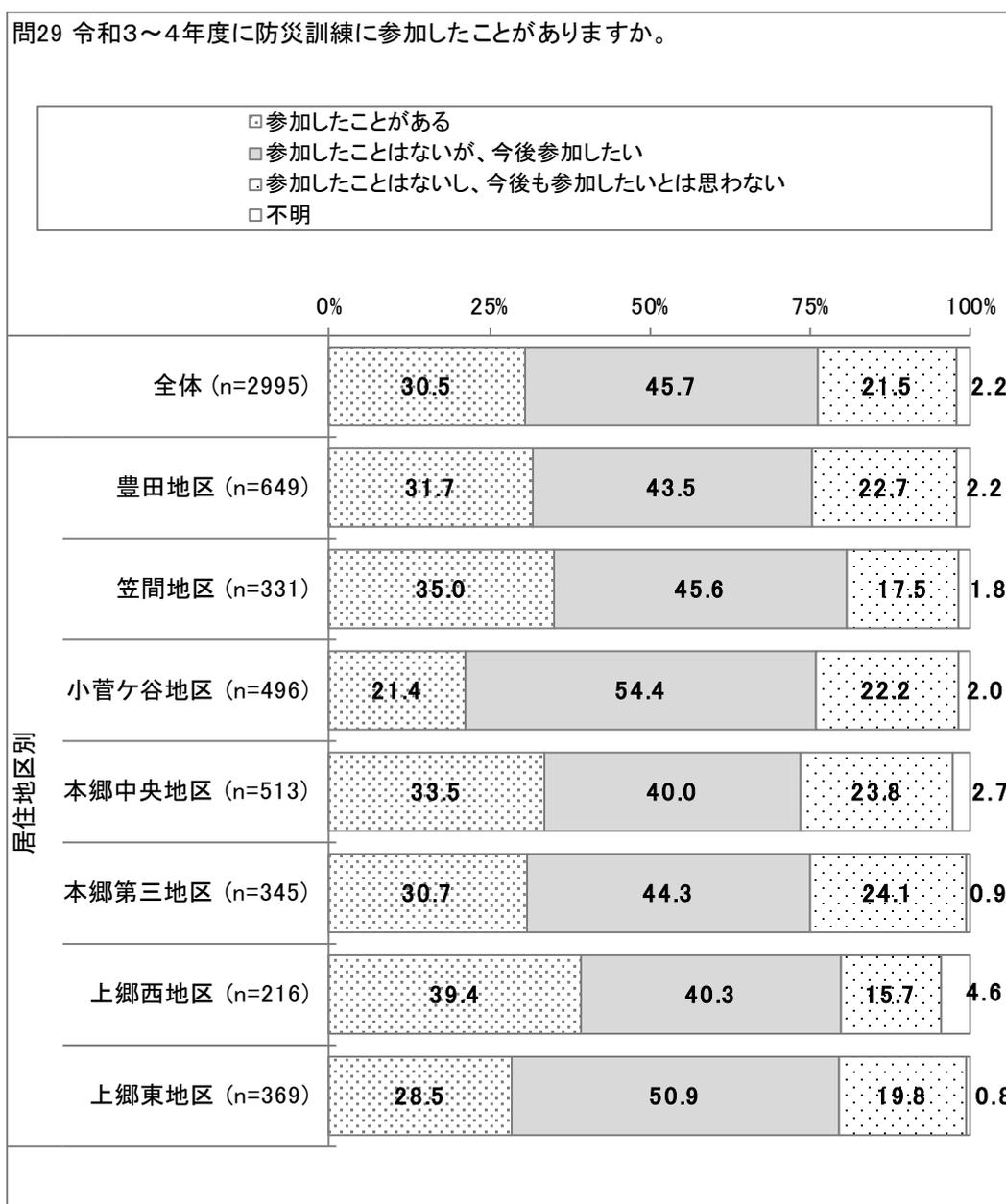
イ 防災訓練への参加：年齢別

- ・「参加したことがある」は年代が上がるにつれ割合が多くなっている。「18～29歳」で「参加したことがある」（13.4%）は全体より17.1ポイント少なく、「70歳以上」では「参加したことがある」（35.7%）は全体より5.2ポイント多い。
- ・「18～29歳」、「30～39歳」、「40～49歳」では「参加したことはないが、今後参加したい」が50%を超え、全体より5ポイント以上多い。



ウ 防災訓練への参加：居住地区別

- ・「参加したことがある」は「上郷西地区」（39.4%）が最も多く、全体より 8.9 ポイント以上多い。
- ・「小菅ヶ谷地区」と「上郷東地区」では「参加したことはないが、今後参加したい」が 50%を超えている。

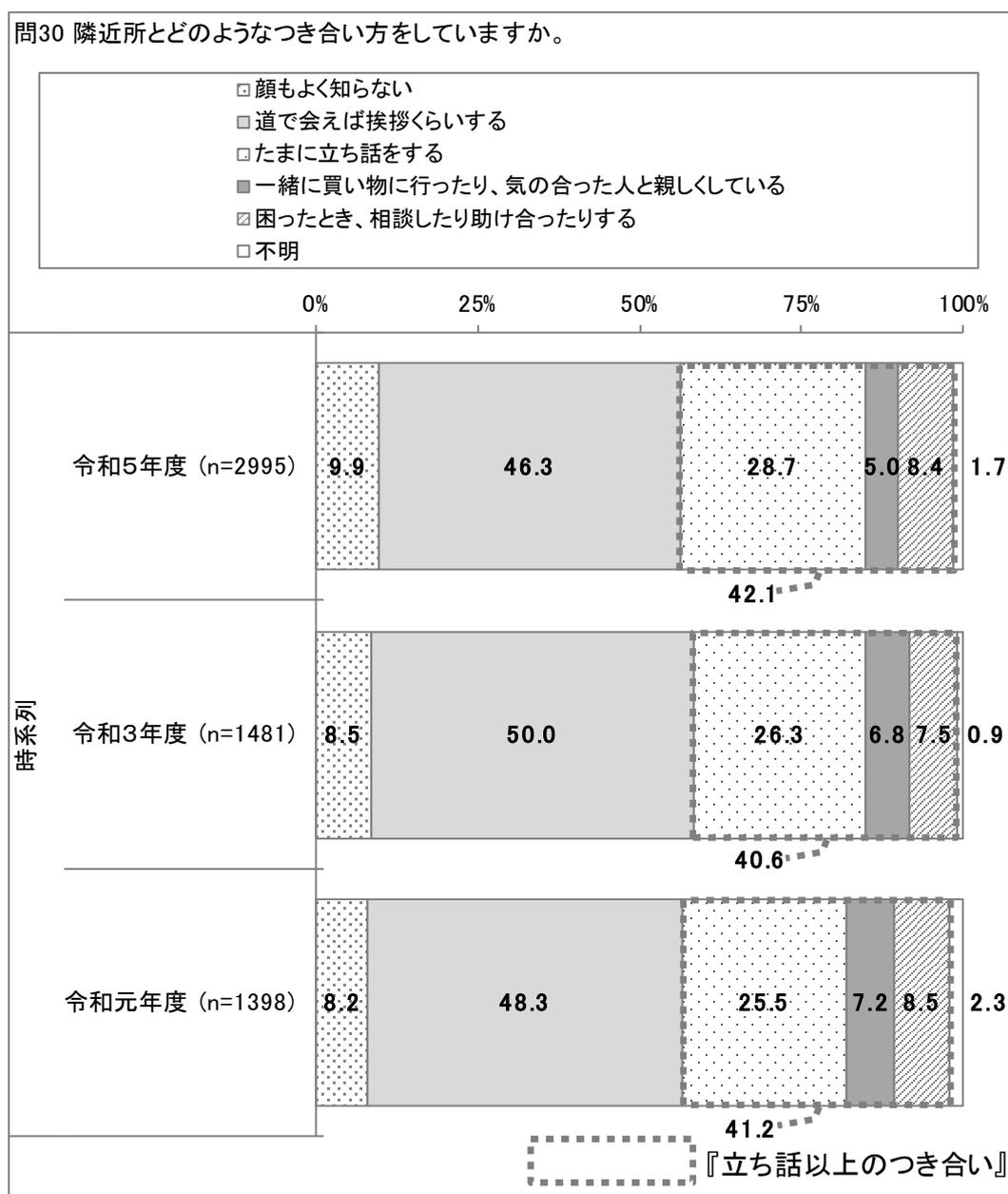


8 地域のつながりについて

(1) 隣近所とのつき合い方（問30）

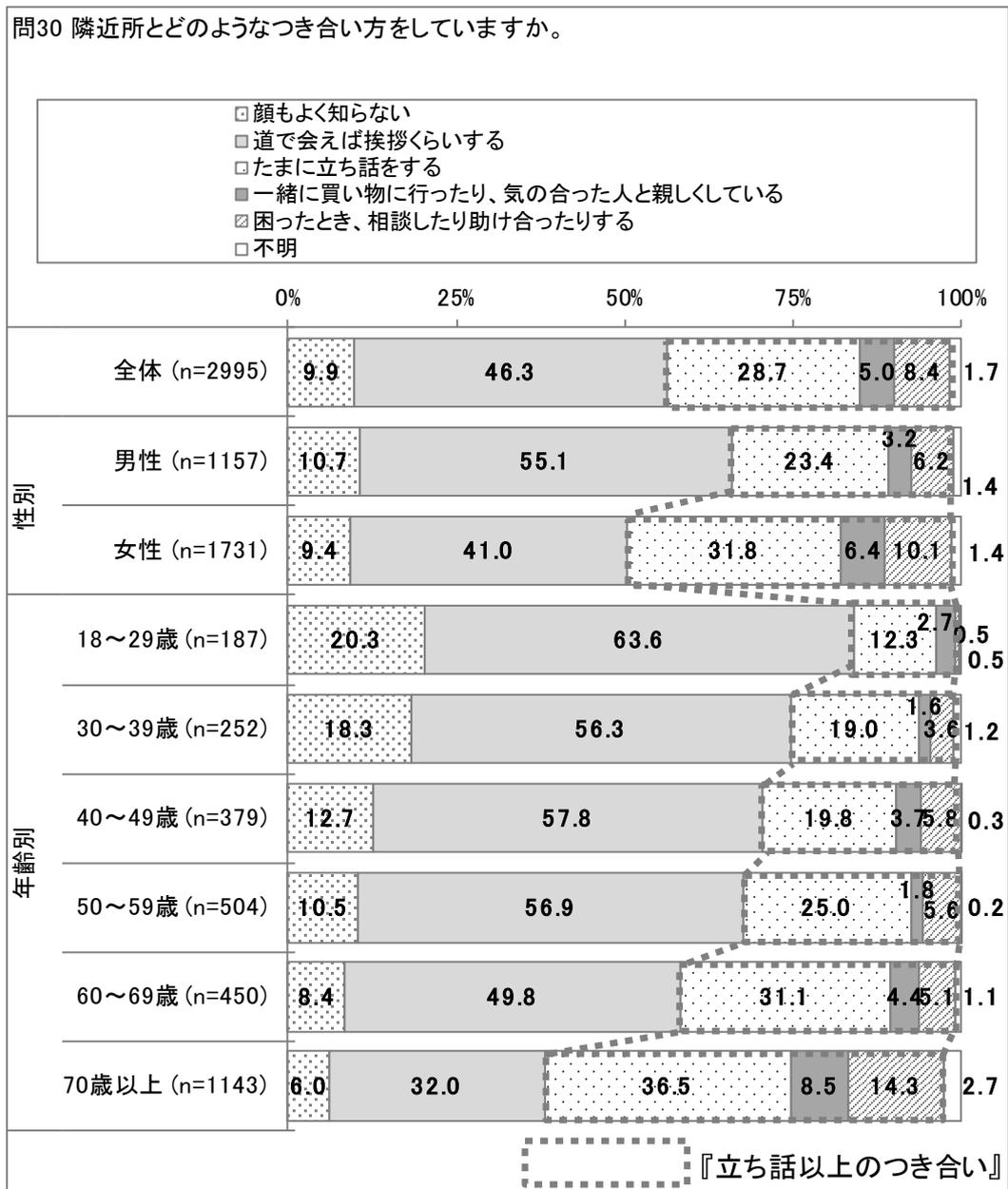
ア 隣近所とのつき合い方：全体・時系列

- ・全体では『立ち話以上のつき合い』（「たまに立ち話をする」、「一緒に買い物に行ったり、気の合った人と親しくしている」、「困ったとき、相談したり助け合ったりする」の合計）が42.1%となっている。
- ・前回調査に比べ『立ち話以上のつき合い』は1.5ポイント微増している。



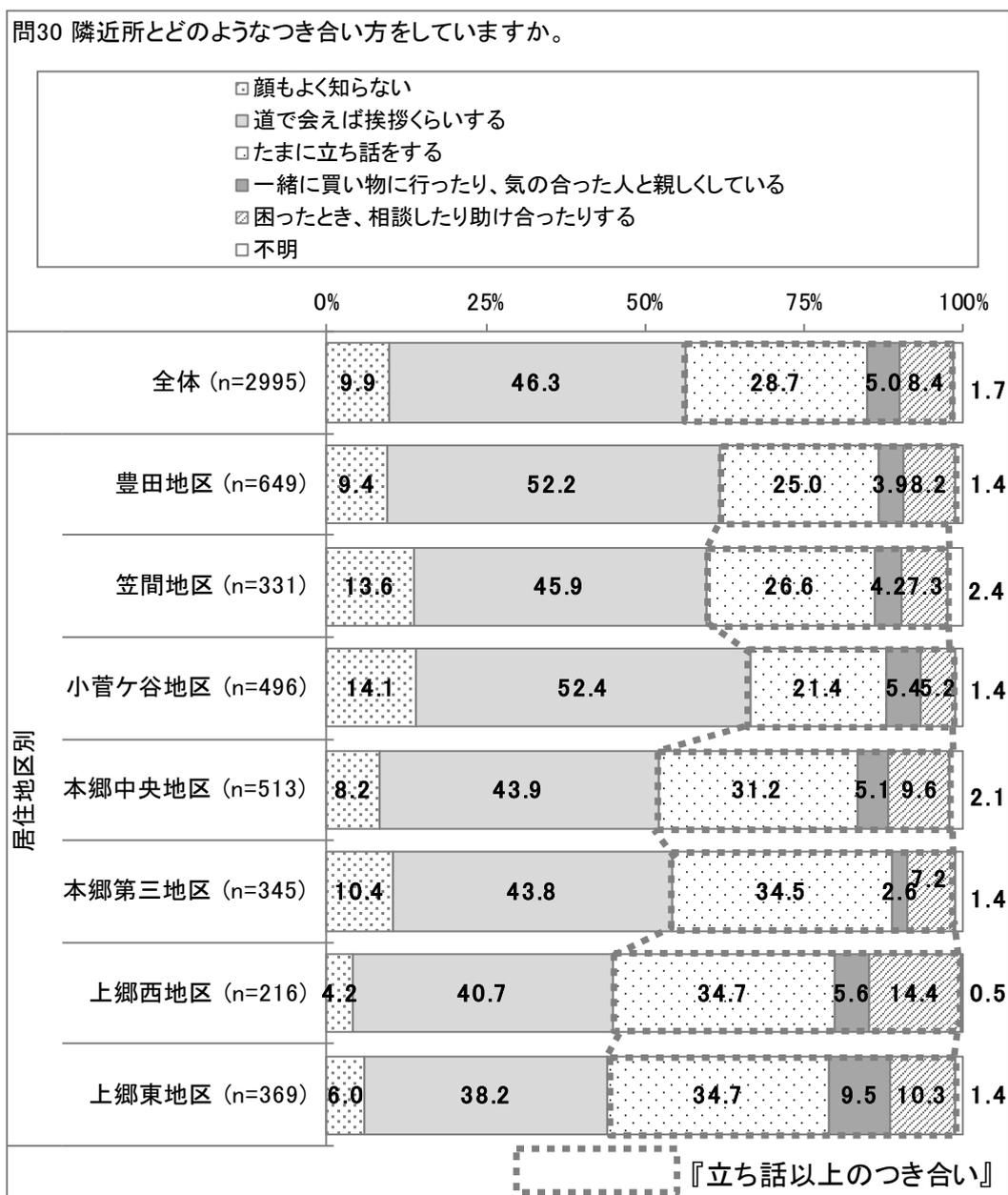
イ 隣近所とのつき合い方：性別・年齢別

- ・『立ち話以上のつき合い』をしているのは、男性は32.8%、女性は48.2%と、女性は男性より15.4ポイント多い。
- ・年代が上がるにつれ『立ち話以上のつき合い』をしている割合は多くなっており、「70歳以上」では59.2%となっている。



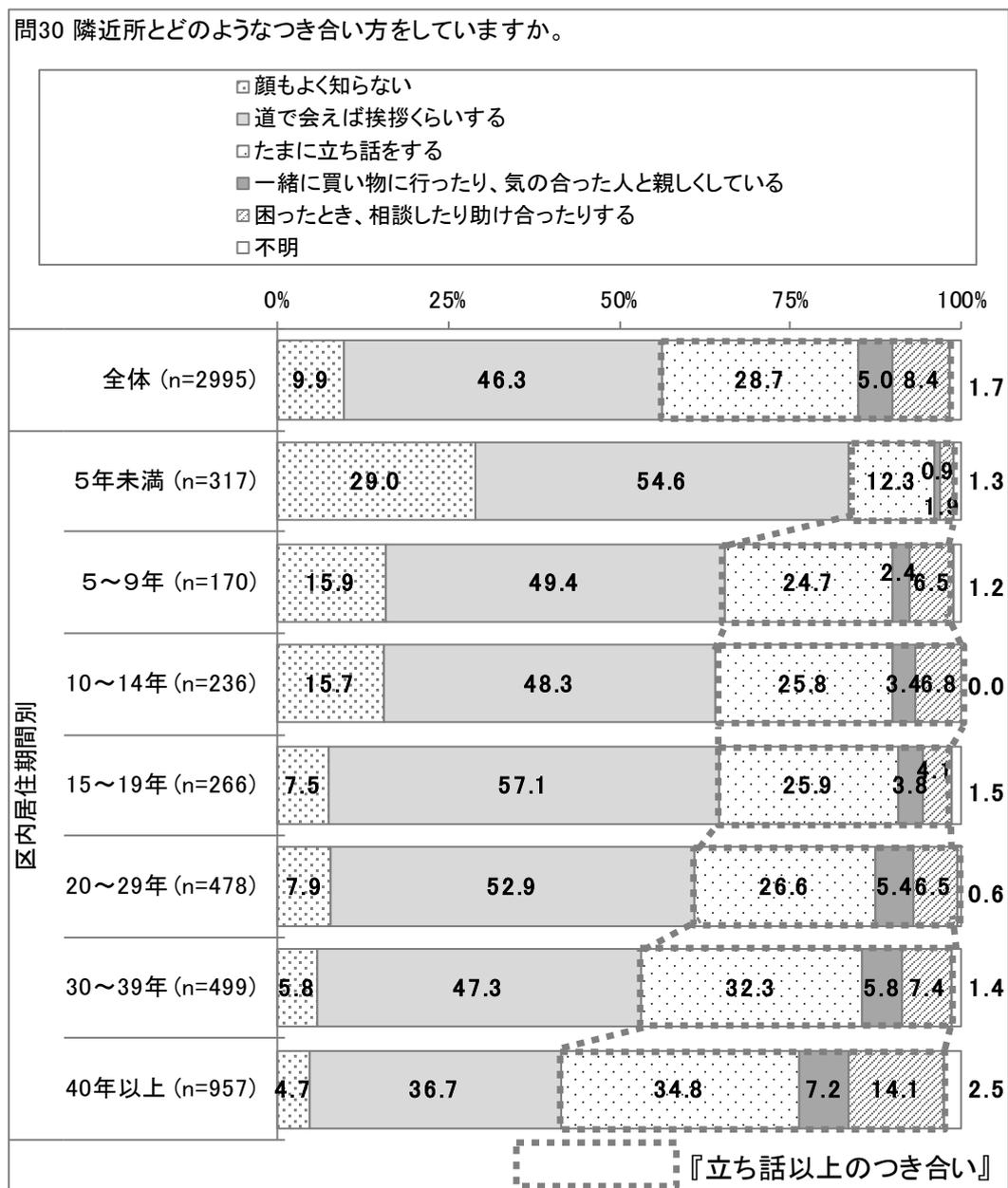
ウ 隣近所とのつき合い方：居住地区別

- ・『立ち話以上のつき合い』の割合は、「上郷西地区」（54.6%）、「上郷東地区」（54.5%）が全体より10ポイント以上多い。
- ・一方、「豊田地区」と「小菅ヶ谷地区」では「道で会えば挨拶くらいする」が全体より5ポイント以上多い。



エ 隣近所とのつき合い方：区内居住期間別

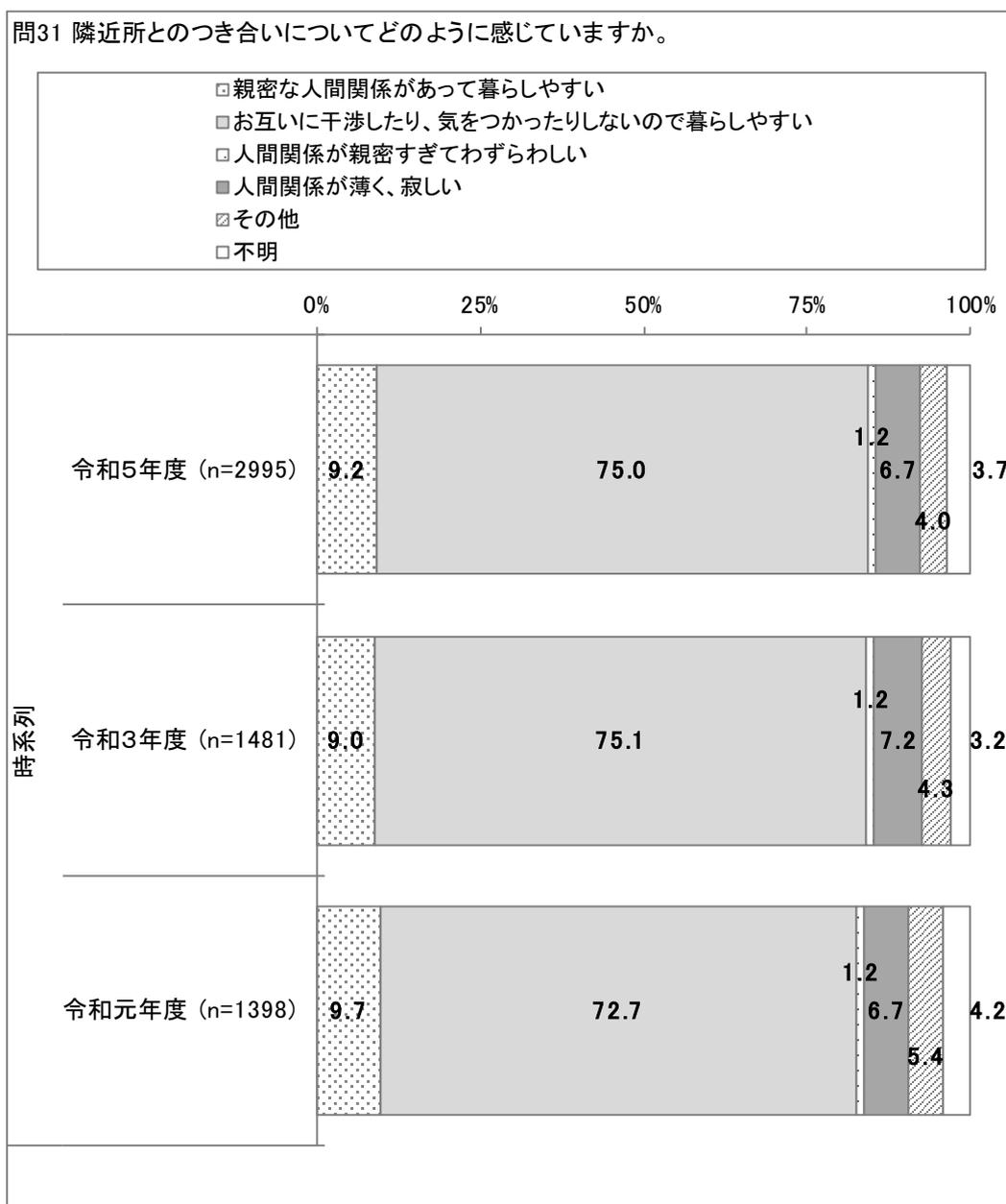
- ・区内居住期間が長くなるにつれ『立ち話以上のつき合い』をしている割合は多くなる傾向が見られ、「40年以上」では56.1%となっている。



(2) 隣近所のつき合いについて感じる事 (問 31)

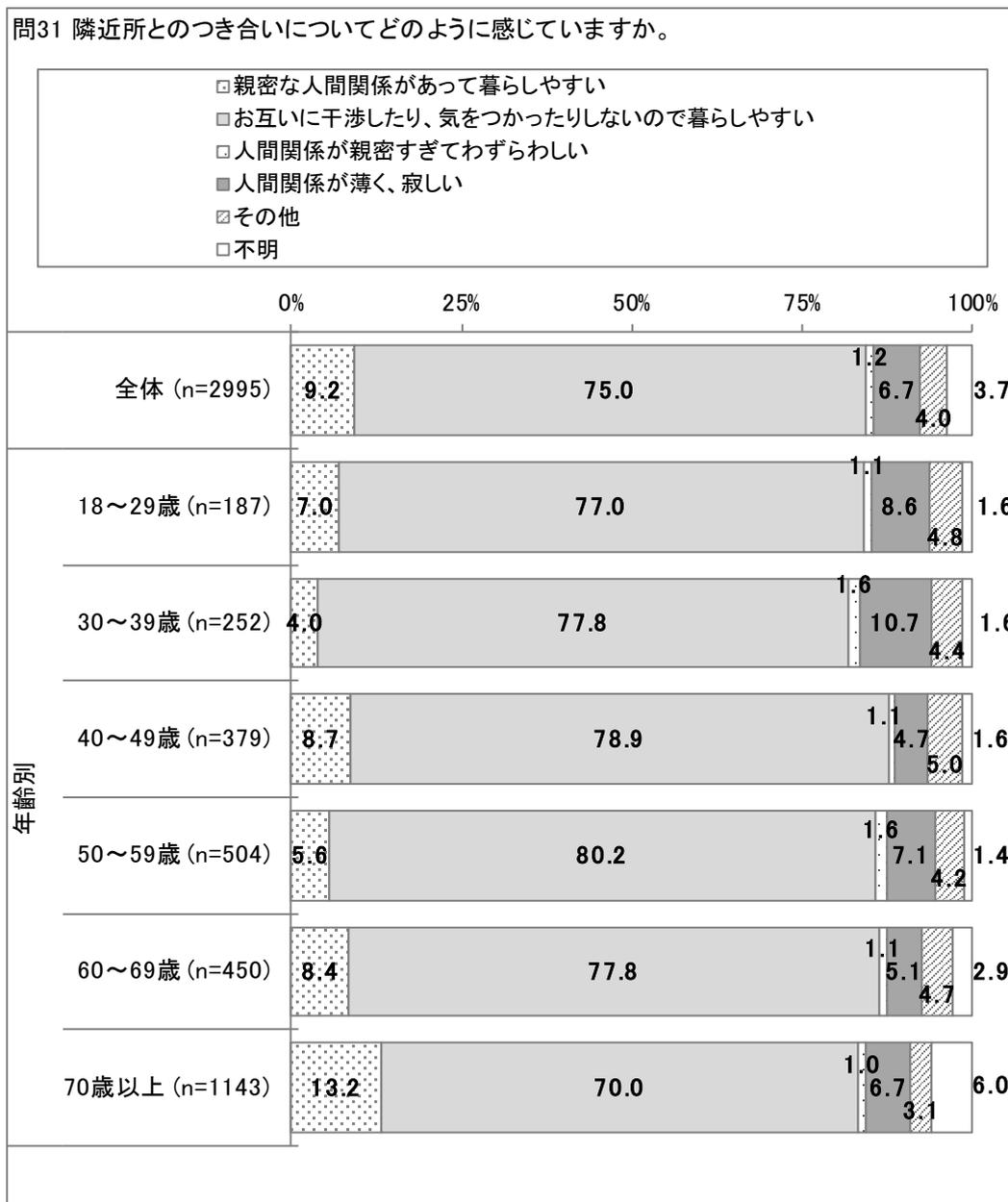
ア 隣近所のつき合いについて感じる事 : 全体・時系列

- ・全体では「お互いに干渉したり、気をつかったりしないので暮らしやすい」(75.0%)が最も多く、「親密な人間関係があって暮らしやすい」(9.2%)、「人間関係が薄く、寂しい」(6.7%)が続く。
- ・「お互いに干渉したり、気をつかったりしないので暮らしやすい」は前回調査では75.1%で、今回調査と概ね同様の傾向である。



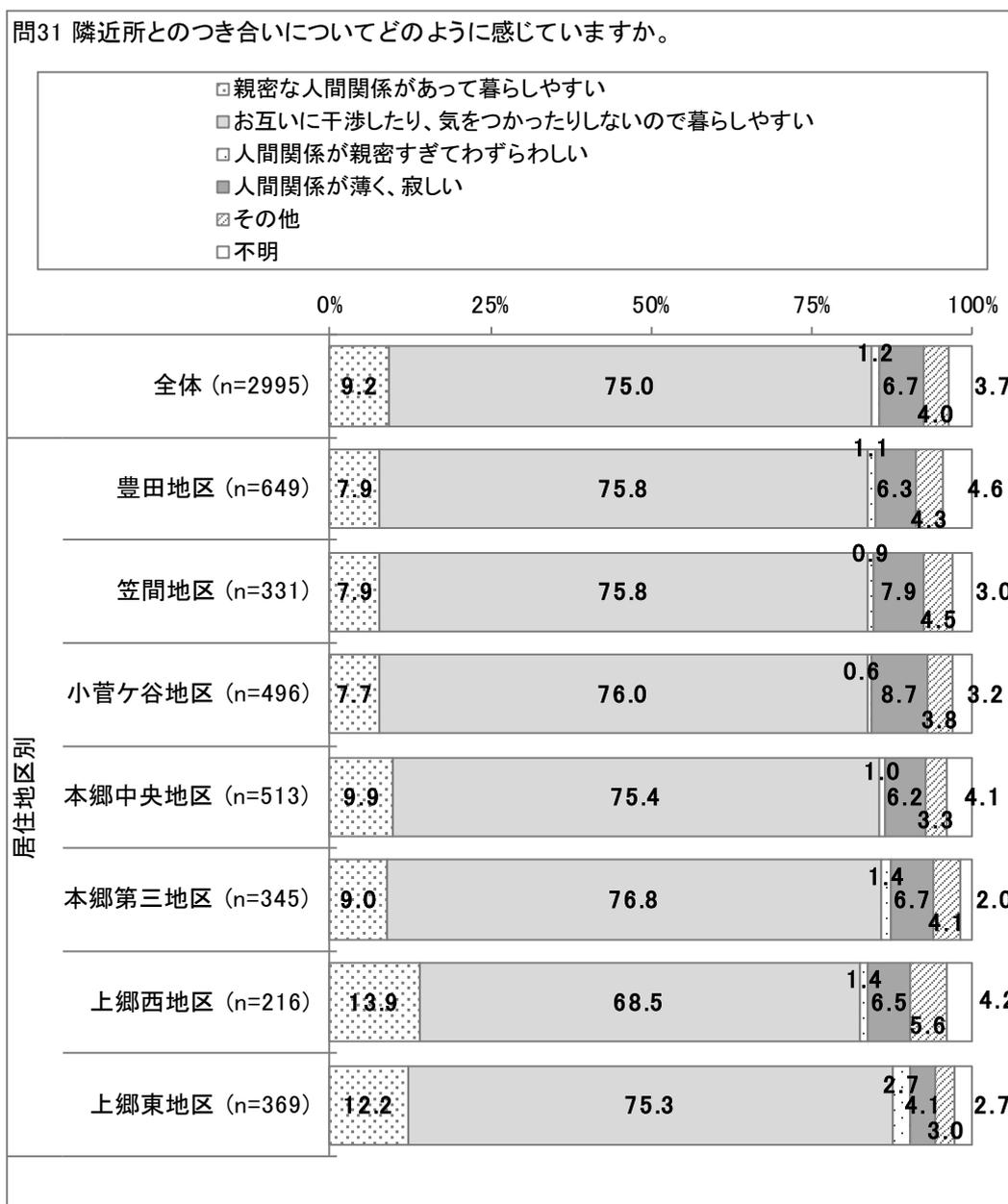
イ 隣近所のつき合いについて感じること：年齢別

- ・いずれの年代も「お互いに干渉したり、気をつかったりしないので暮らしやすい」が最も多く、「50～59歳」では全体より5.2ポイント多い。
- ・「人間関係が薄く、寂しい」は「30～39歳」で10.7%と1割を超えている。



ウ 隣近所のつき合いについて感じること：居住地区別

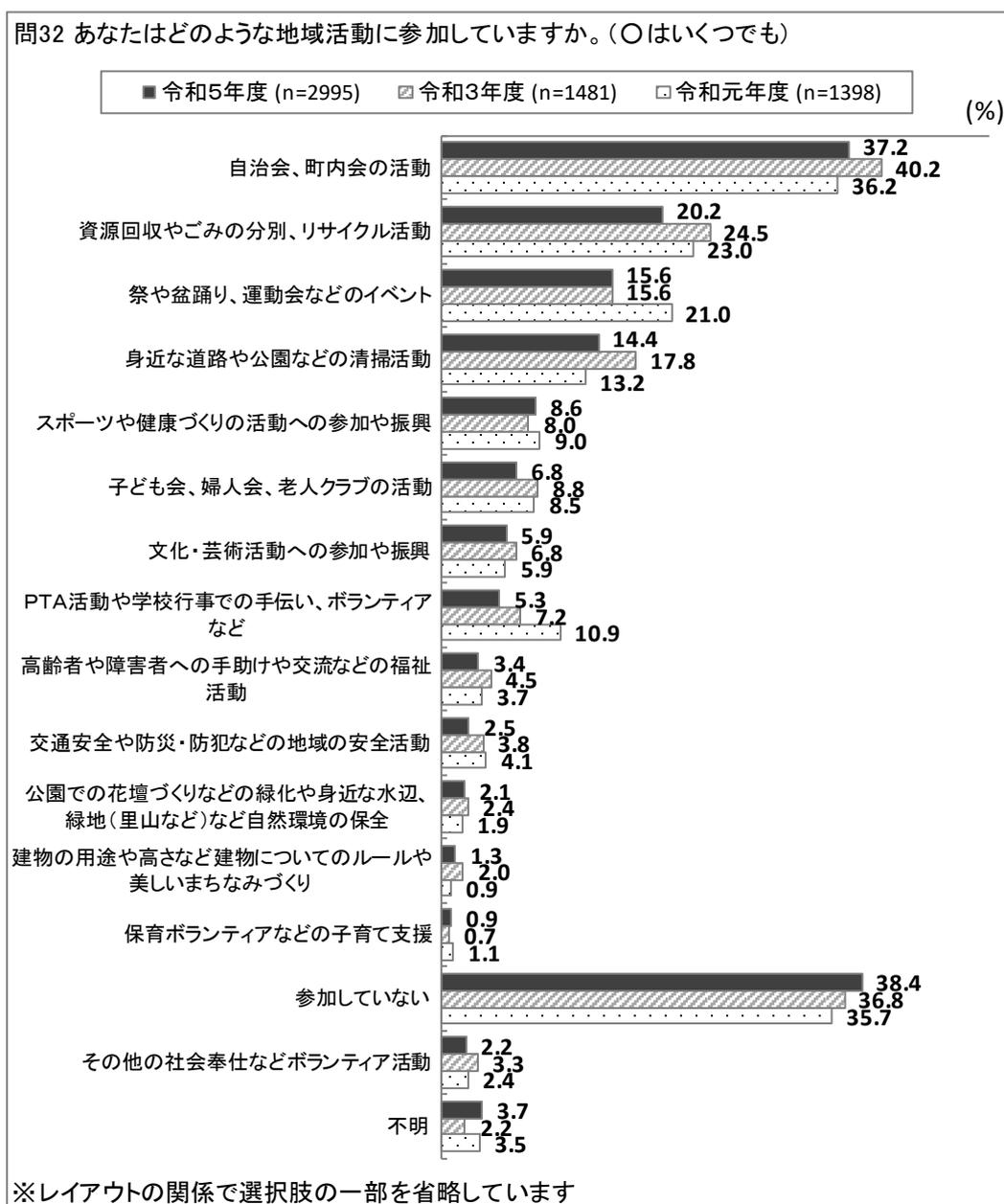
- ・いずれの居住地区も「お互いに干渉したり、気をつかったりしないので暮らしやすい」が最も多い。
- ・「親密な人間関係があって暮らしやすい」は「上郷西地区」（13.9%）と「上郷東地区」（12.2%）で1割を超えている。



(3) 地域活動への参加（問 32）

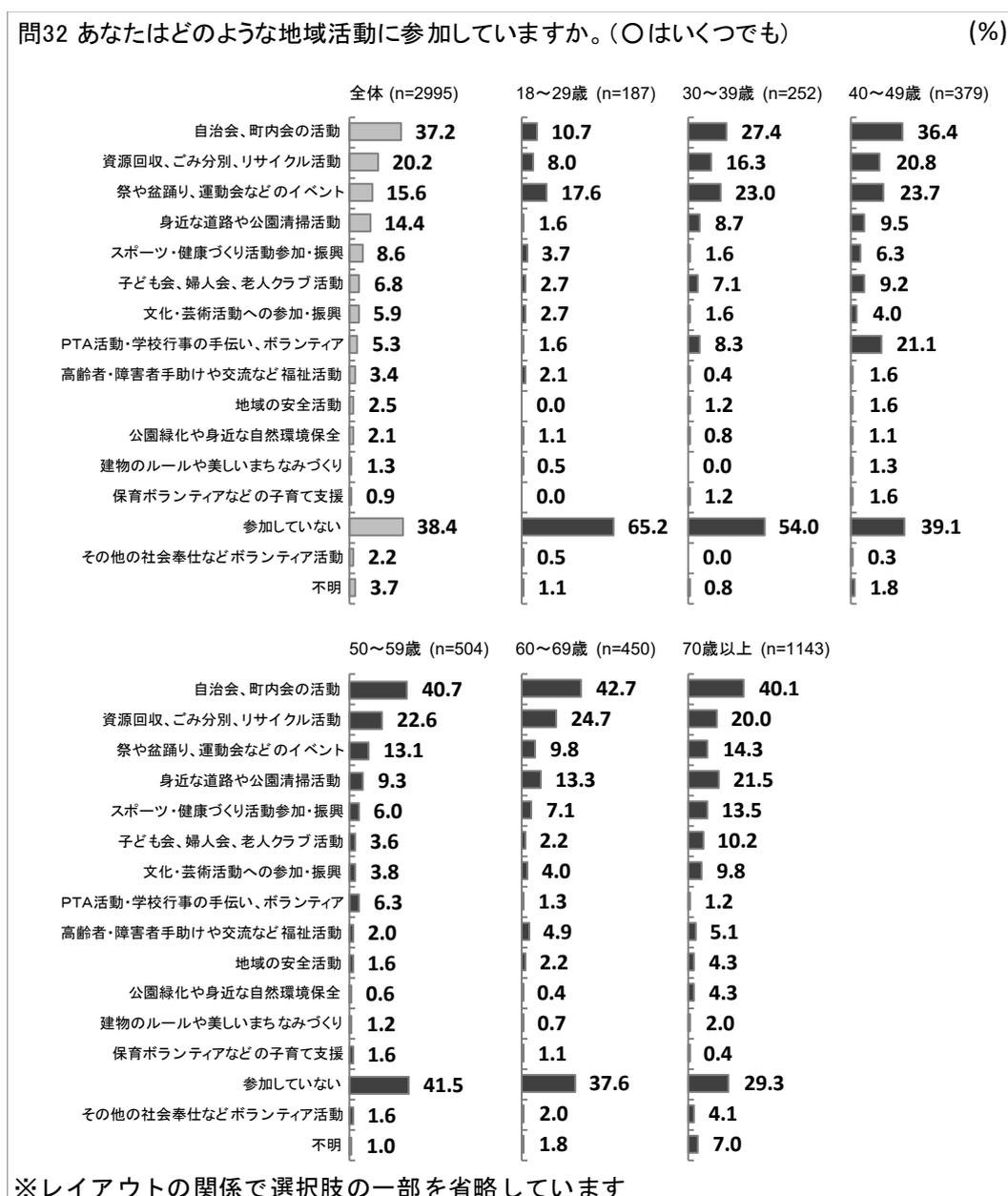
ア 地域活動への参加：全体・時系列

- ・全体では「自治会、町内会の活動」（37.2%）が最も多く、「資源回収やごみの分別、リサイクル活動」（20.2%）、「祭や盆踊り、運動会などのイベント」（15.6%）が続く。
- ・前回調査に比べ、ほとんどの項目で減少傾向が見られる。
- ・「参加していない」は前回調査より 1.8 ポイント増加している。



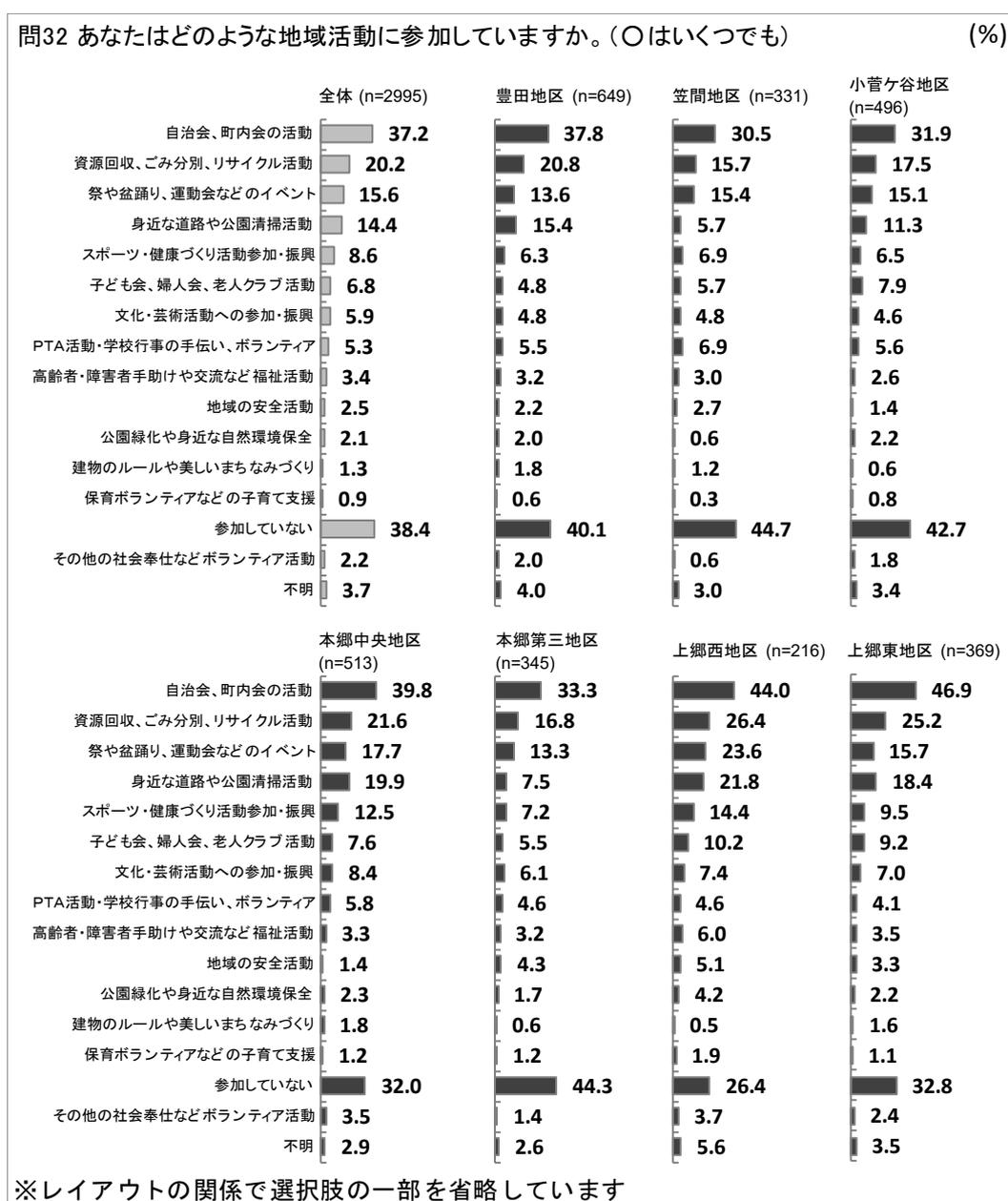
イ 地域活動への参加：年齢別

- ・「40～49歳」では「PTA活動・学校行事の手伝い、ボランティア」(21.1%)が3番目に多く、全体より15ポイント以上多い。
- ・「18～29歳」と「30～39歳」では、「参加していない」の割合がそれぞれ65.2%、54.0%と50%を超えている。
- ・「18～29歳」は「祭や盆踊り、運動会などのイベント」(17.6%)が最も多く、「自治会、町内会の活動」(10.7%)、「資源回収、ごみ分別、リサイクル活動」(8.0%)が続く。



ウ 地域活動への参加：居住地区別

- ・いずれの居住地区でも「自治会、町内会の活動」が最も多く、「資源回収やごみ分別、リサイクル活動」が続く。
- ・「上郷西地区」は「自治会、町内会の活動」、「資源回収やごみ分別、リサイクル活動」、「祭や盆踊り、運動会などのイベント」、「身近な道路や公園などの清掃活動」の4項目で全体より5ポイント以上多い。
- ・「上郷東地区」は「自治会、町内会の活動」が最も多く、全体より9.7ポイント多い。

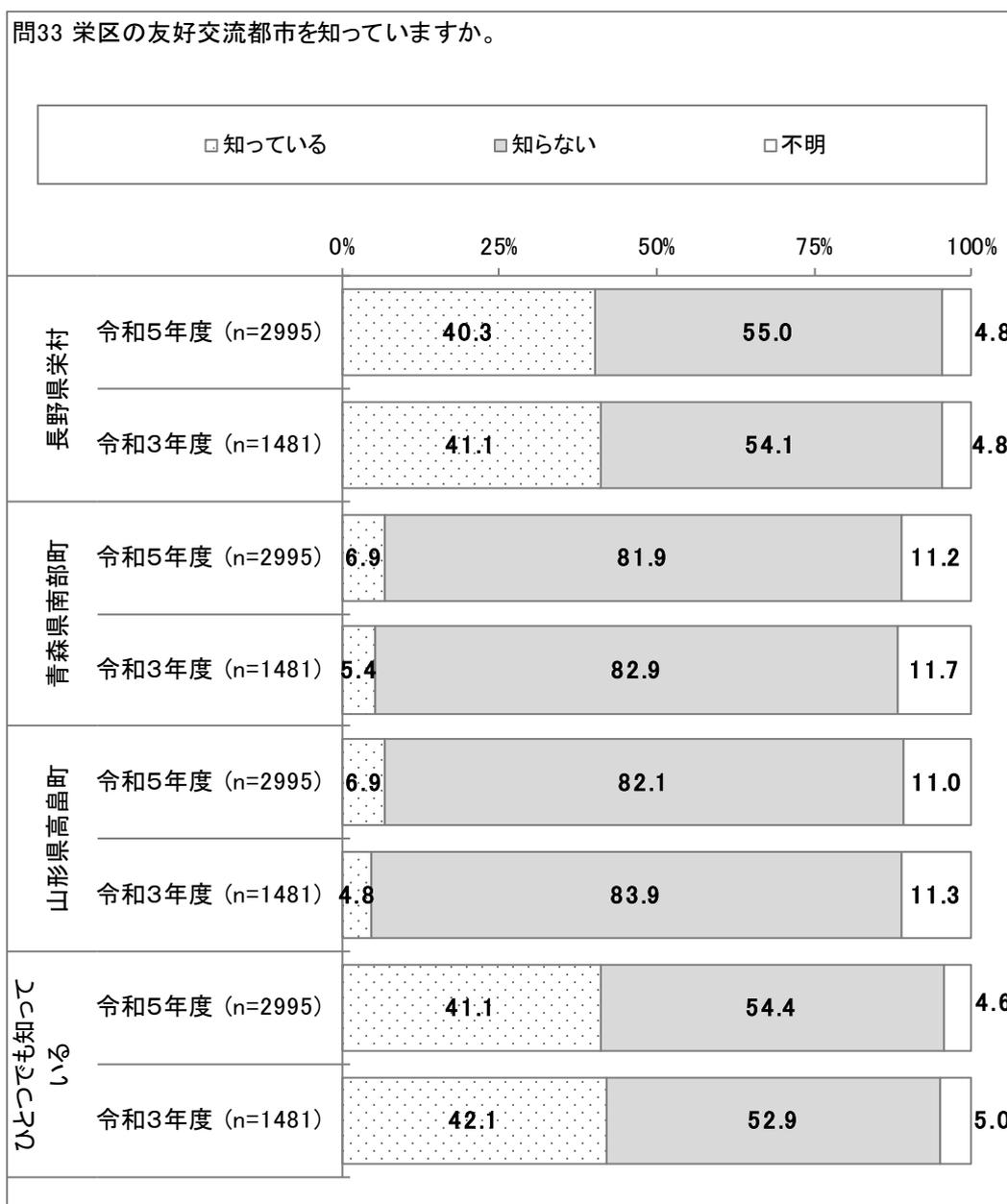


9 友好交流都市について

(1) 友好交流都市の認知（問 33）

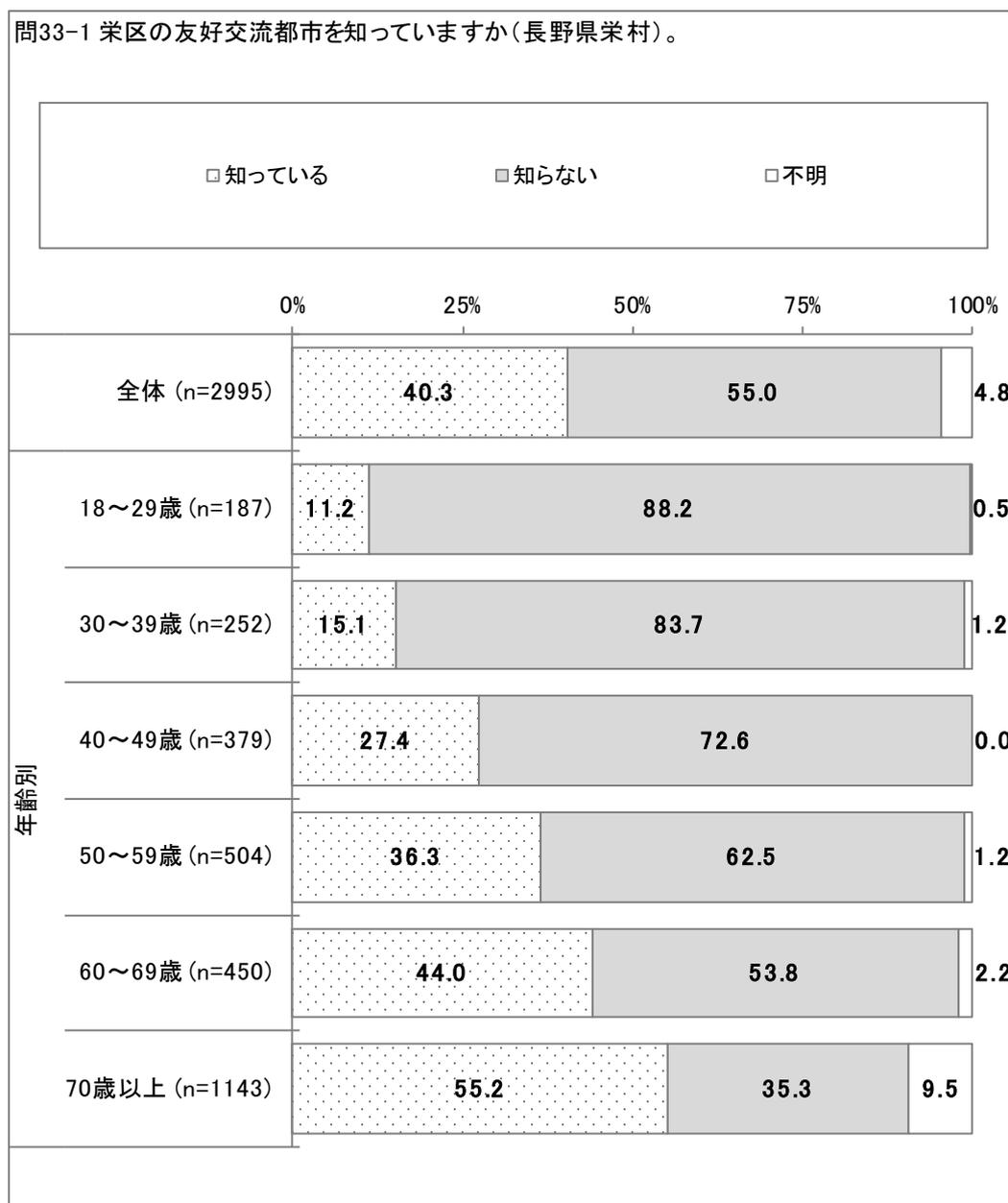
ア 友好交流都市の認知：時系列

- ・友好交流都市の認知度は、「長野県栄村」は40.3%、「青森県南部町」と「山形県高島町」がともに6.9%である。
- ・前回調査と比べ、「長野県栄村」の認知度は0.8ポイント減少しており、「青森県南部町」の認知度は1.5ポイント、「山形県高島町」の認知度は2.1ポイント増加している。



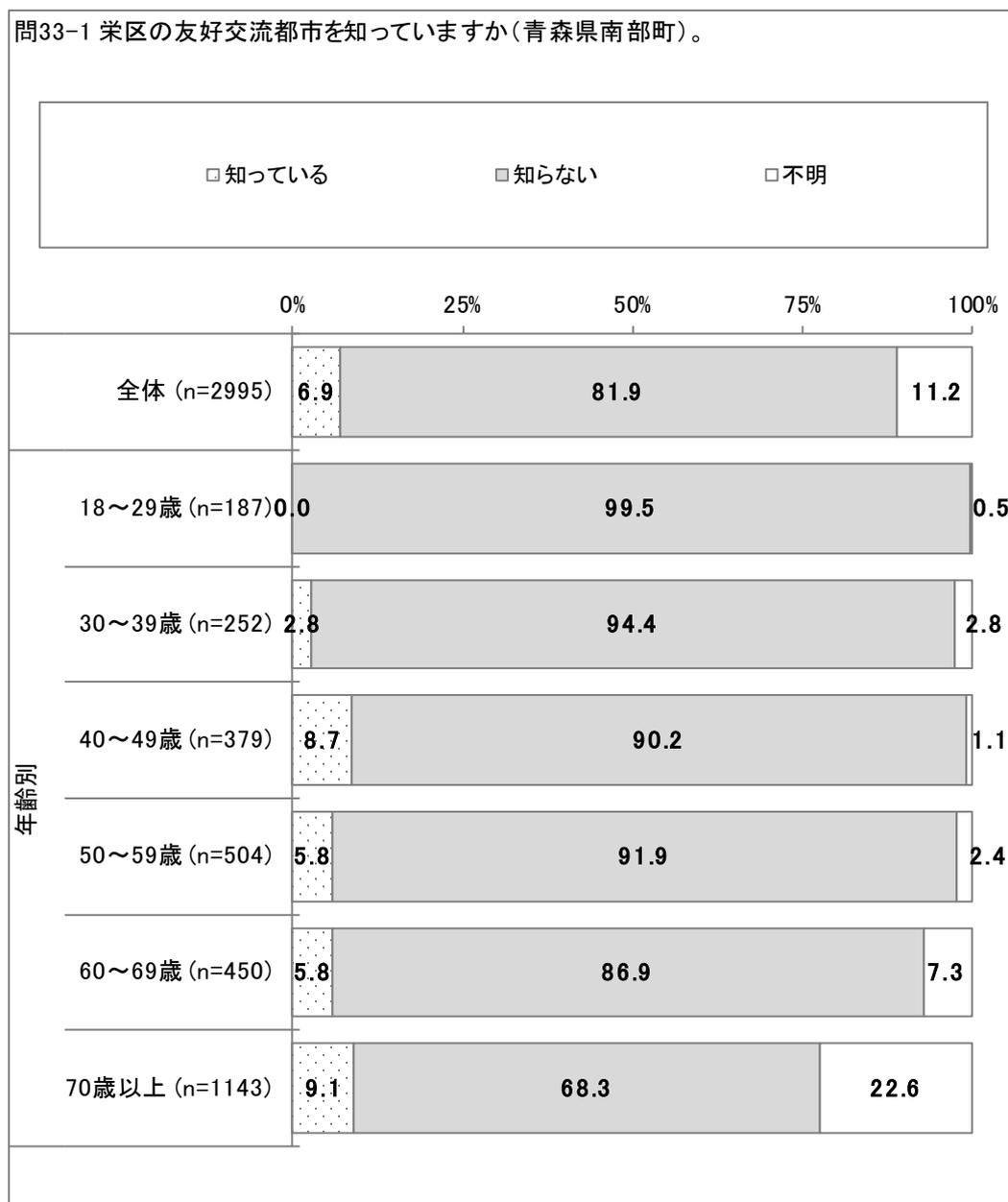
イ 長野県栄村：年齢別

- ・「長野県栄村」の認知度は年代が上がるにつれ高くなっており、「18～29歳」、「30～39歳」は「知っている」が全体より20ポイント以上少ない。
- ・一方、「70歳以上」は「知っている」が全体より14.9ポイント多い。



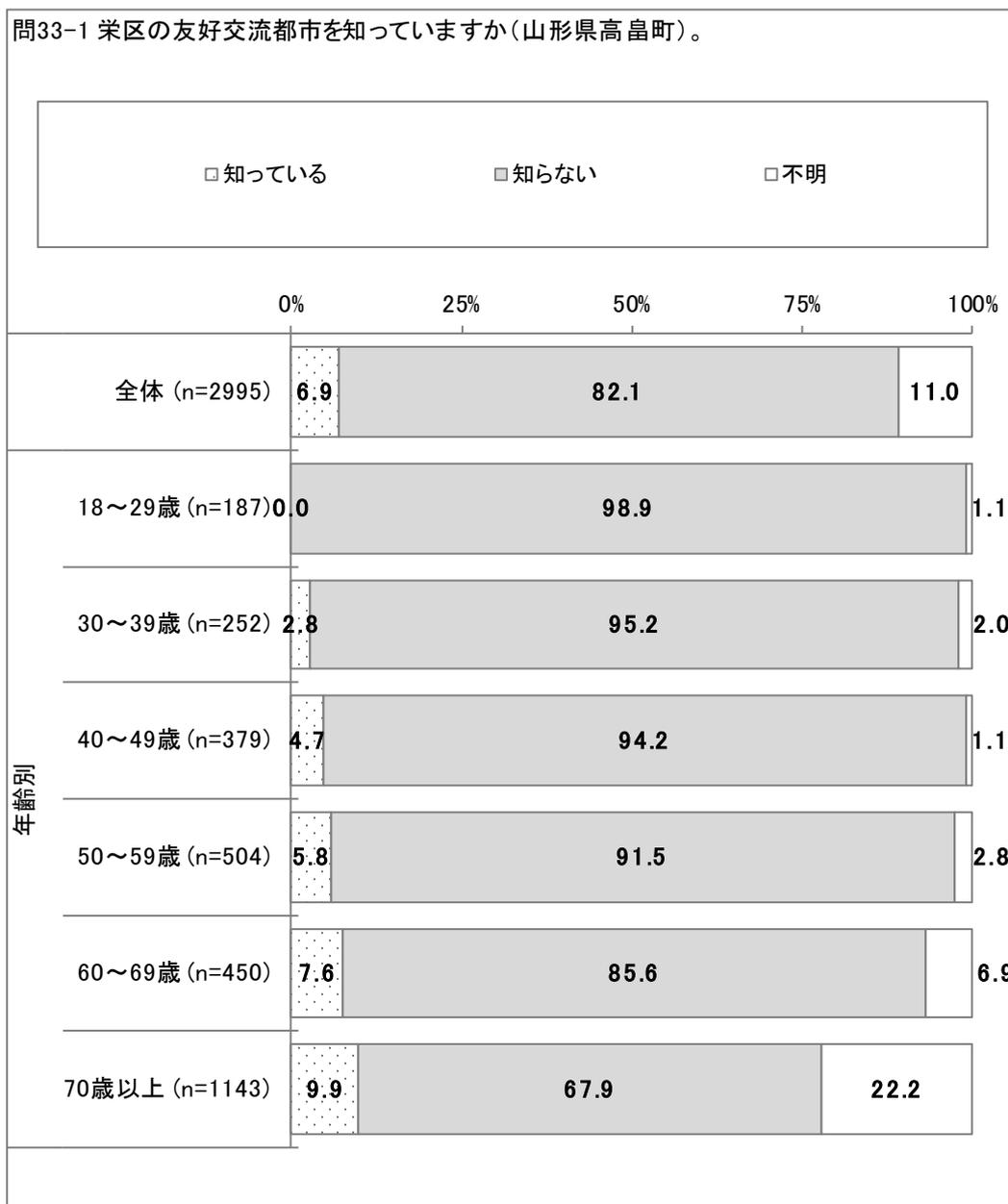
ウ 青森県南部町：年齢別

- ・「青森県南部町」の認知度は、「70歳以上」（9.1%）が最も多く、「40～49歳」（8.7%）が続く。



エ 山形県高畠町：年齢別

- ・「山形県高畠町」の認知度は、年代が上がるにつれ高くなっており、「70歳以上」（9.9%）が最も多く、「60～69歳」（7.6%）が続く。

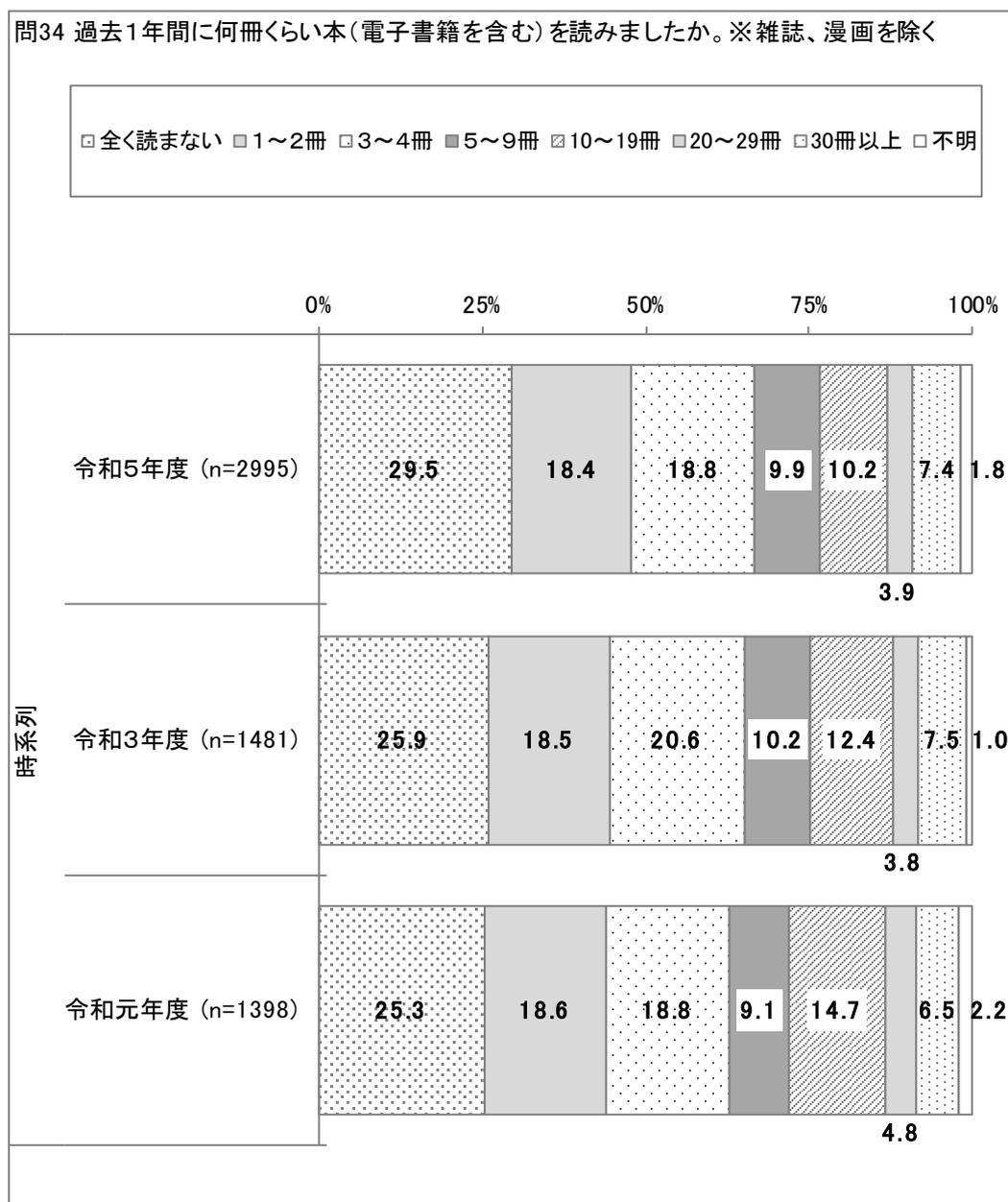


10 読書について

(1) 1年間に読む本（問34）

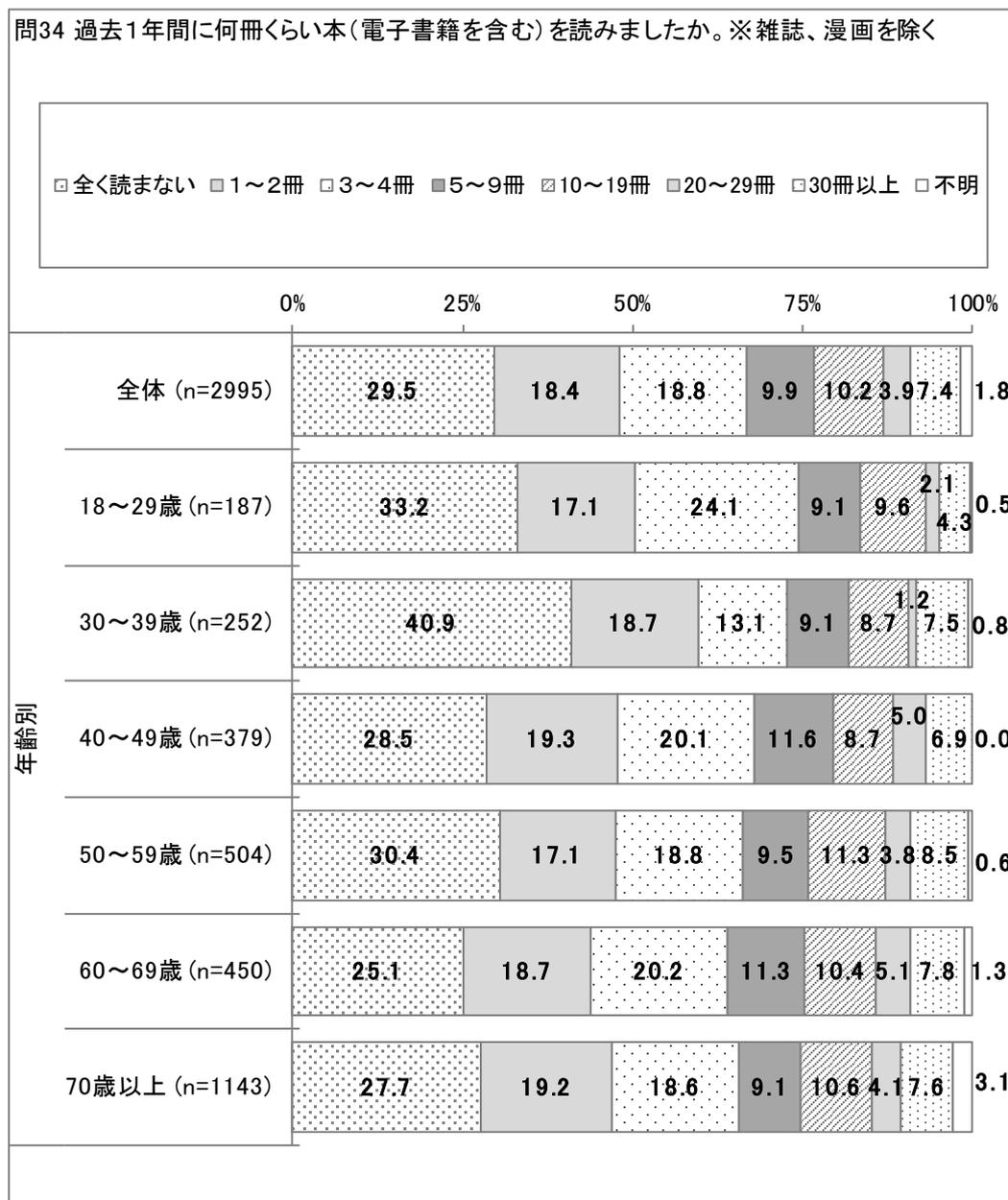
ア 1年間に読む本：全体・時系列

- ・全体では「全く読まない」（29.5%）が最も多く、「3～4冊」（18.8%）、「1～2冊」（18.4%）が続く。
- ・前回調査と比べると「全く読まない」は3.6ポイント増で、増加傾向が見られる。



イ 1年間に読む本：年齢別

- ・「30～39歳」では「全く読まない」（40.9%）が最も多く、全体より11.4ポイント以上多い。
- ・「18～29歳」では「3～4冊」（24.1%）が全体より5.3ポイント多い。

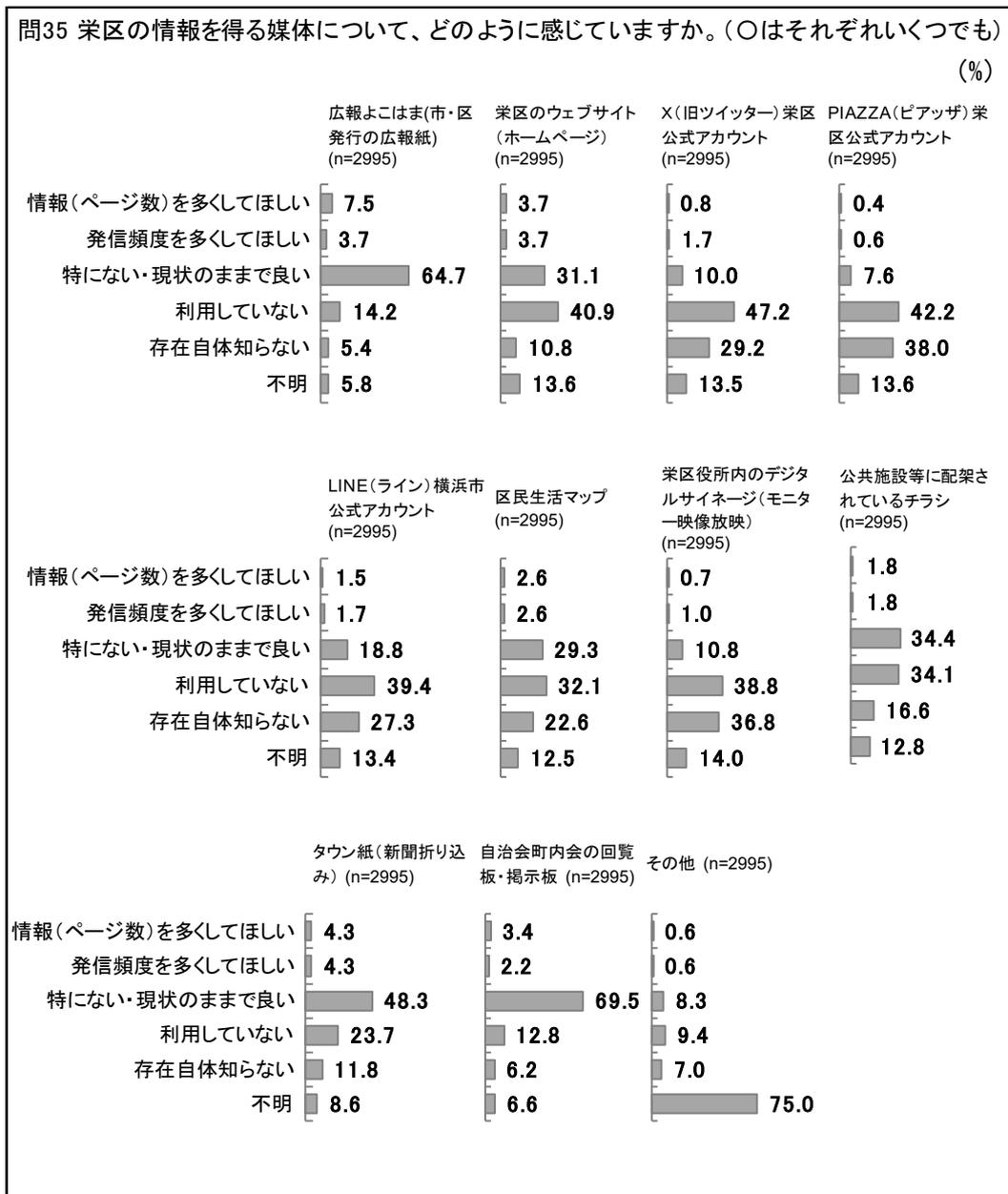


11 広報について

(1) 栄区の情報を得る媒体について感じていること（問 35）

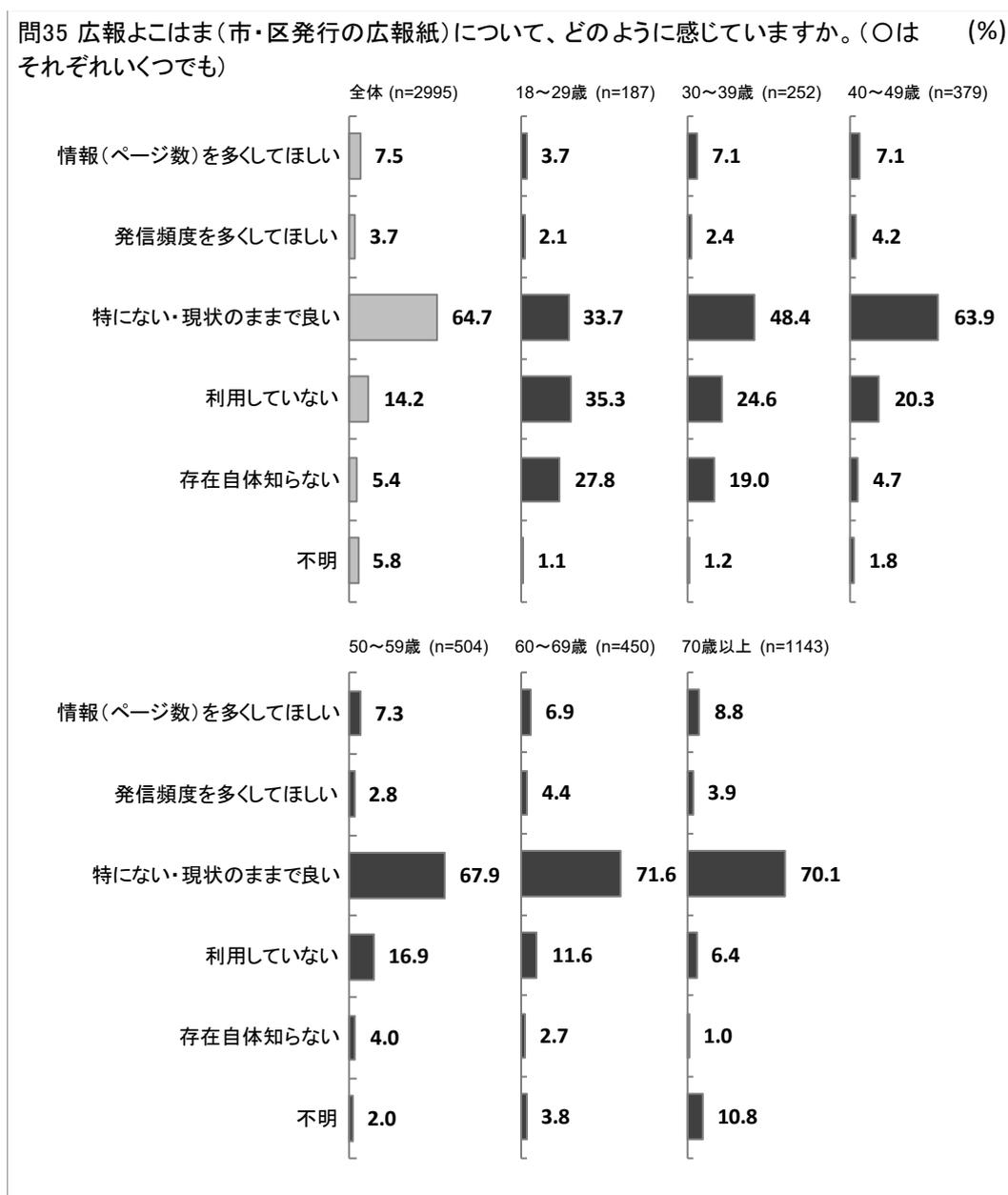
ア 栄区の情報を得る媒体について感じていること：全体

- ・「自治会町内会の回覧板・掲示板」、「広報よこはま（市・区発行の広報紙）」は「特にない・現状のままで良い」がそれぞれ 69.5%、64.7%と 6 割を超えている。
- ・「栄区のウェブサイト（ホームページ）」、「X（旧ツイッター）栄区公式アカウント」、「PIAZZA（ピアッザ）栄区公式アカウント」は「利用していない」が 4 割を超えている。



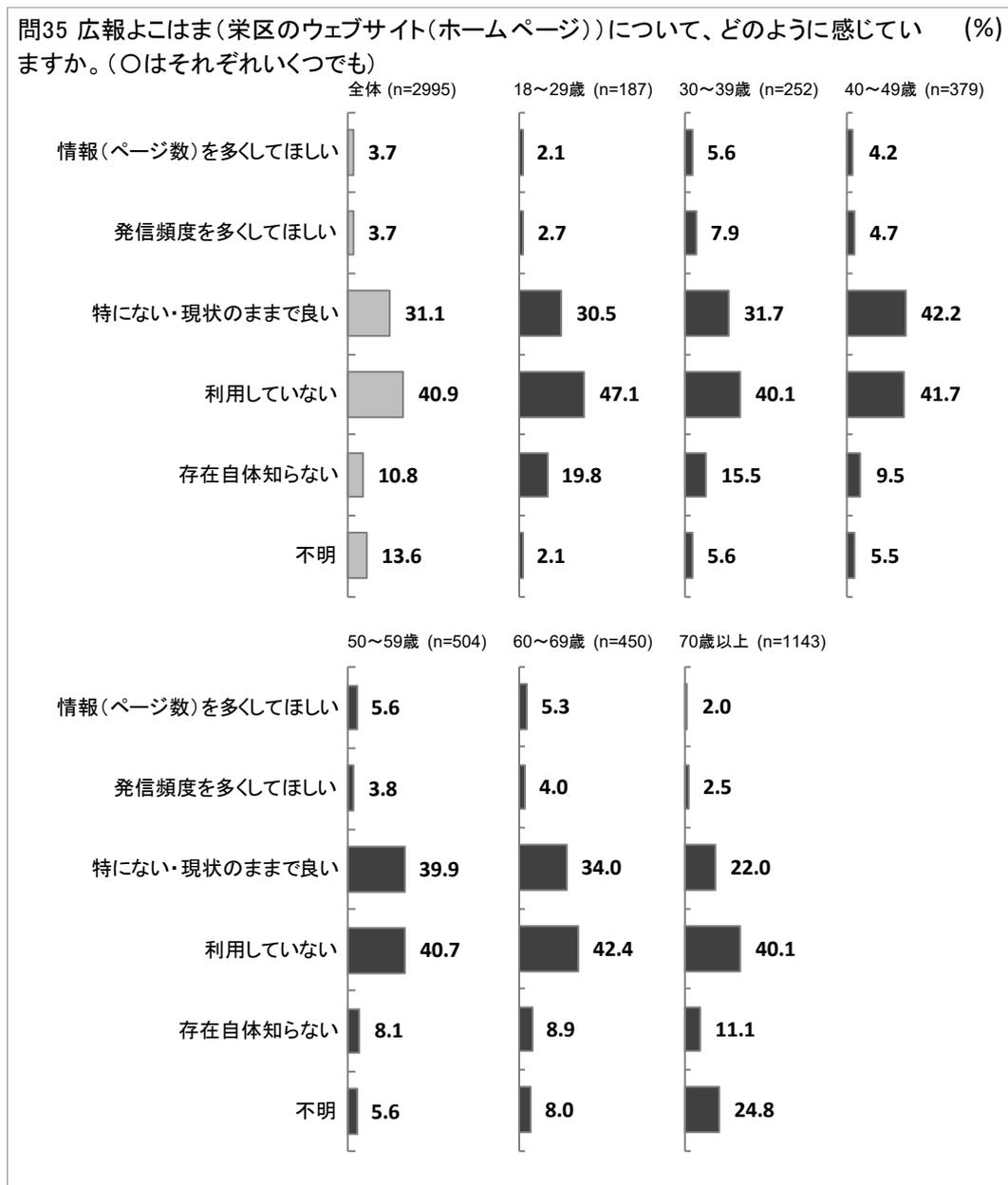
イ 広報よこはま（市・区発行の広報紙）について感じていること：年齢別

- ・「18～29歳」では「利用していない」（35.3%）が最も多く、「特にない・現状のままで良い」（33.7%）が続く。
- ・「30～39歳」より上の年代では「特にない・現状のままで良い」が最も多く、「40～49歳」と「50～59歳」では6割以上、「60～69歳」と「70歳以上」では7割以上となっている。



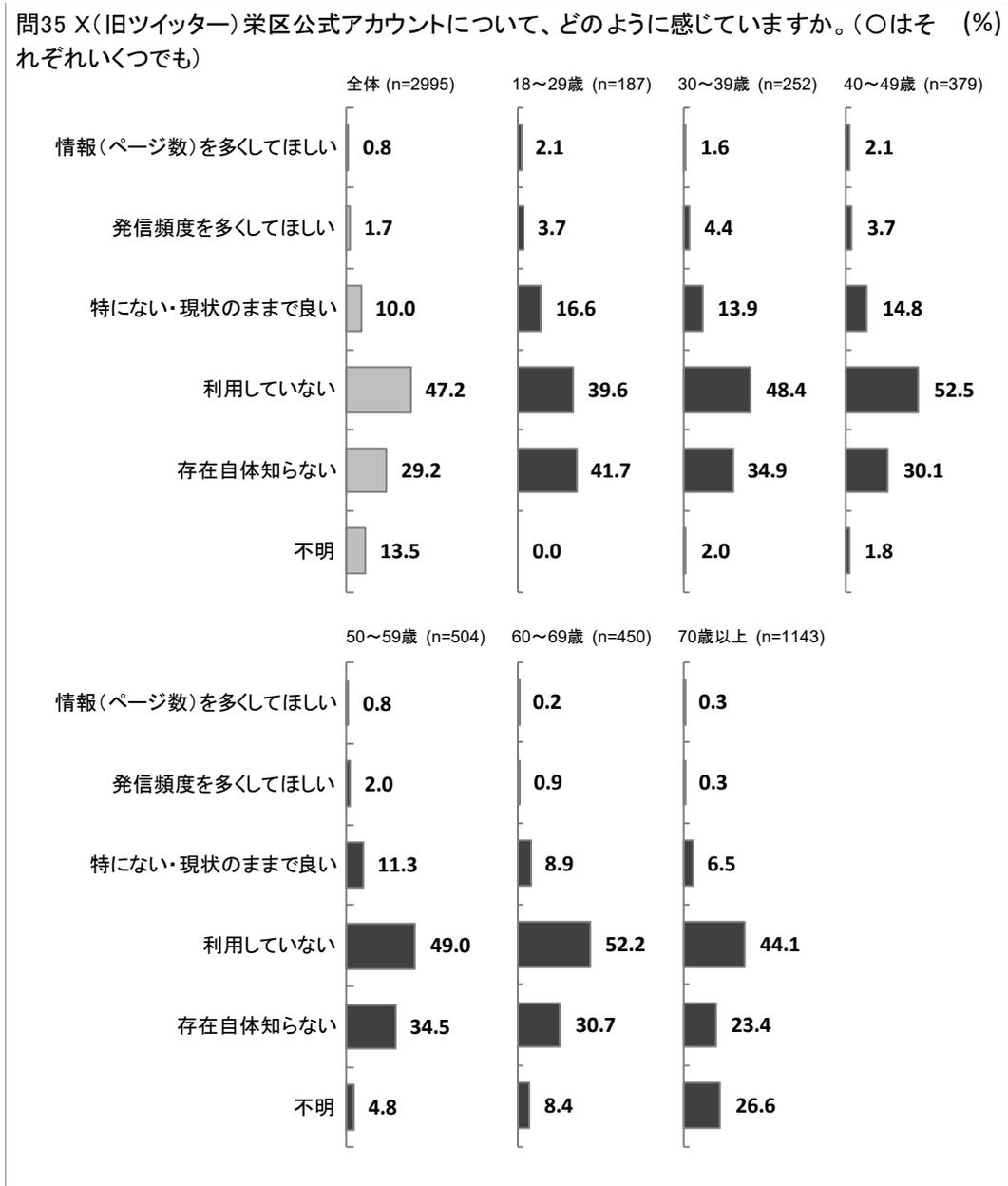
ウ 栄区のウェブサイト（ホームページ）について感じていること：年齢別

- ・「40～49歳」を除く各年代で「利用していない」が最も多く、「特にない・現状のままで良い」が続く。
- ・「40～49歳」では「特にない・現状のままで良い」が最も多く、全体より10ポイント多い。



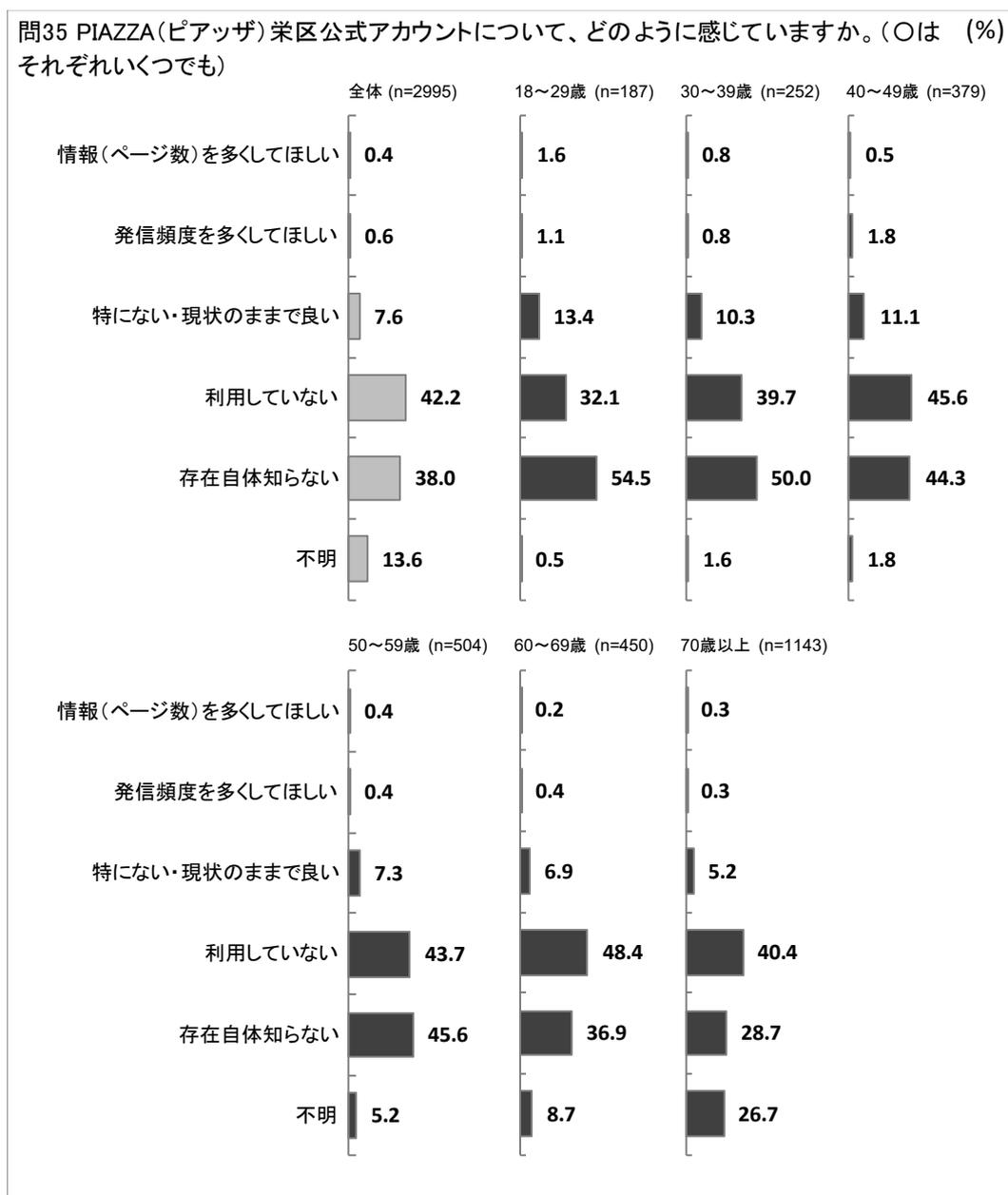
エ X（旧ツイッター）について感じていること：年齢別

- ・いずれの年代も「利用していない」が最も多く、「40～49歳」、「60～69歳」で50%を超える。



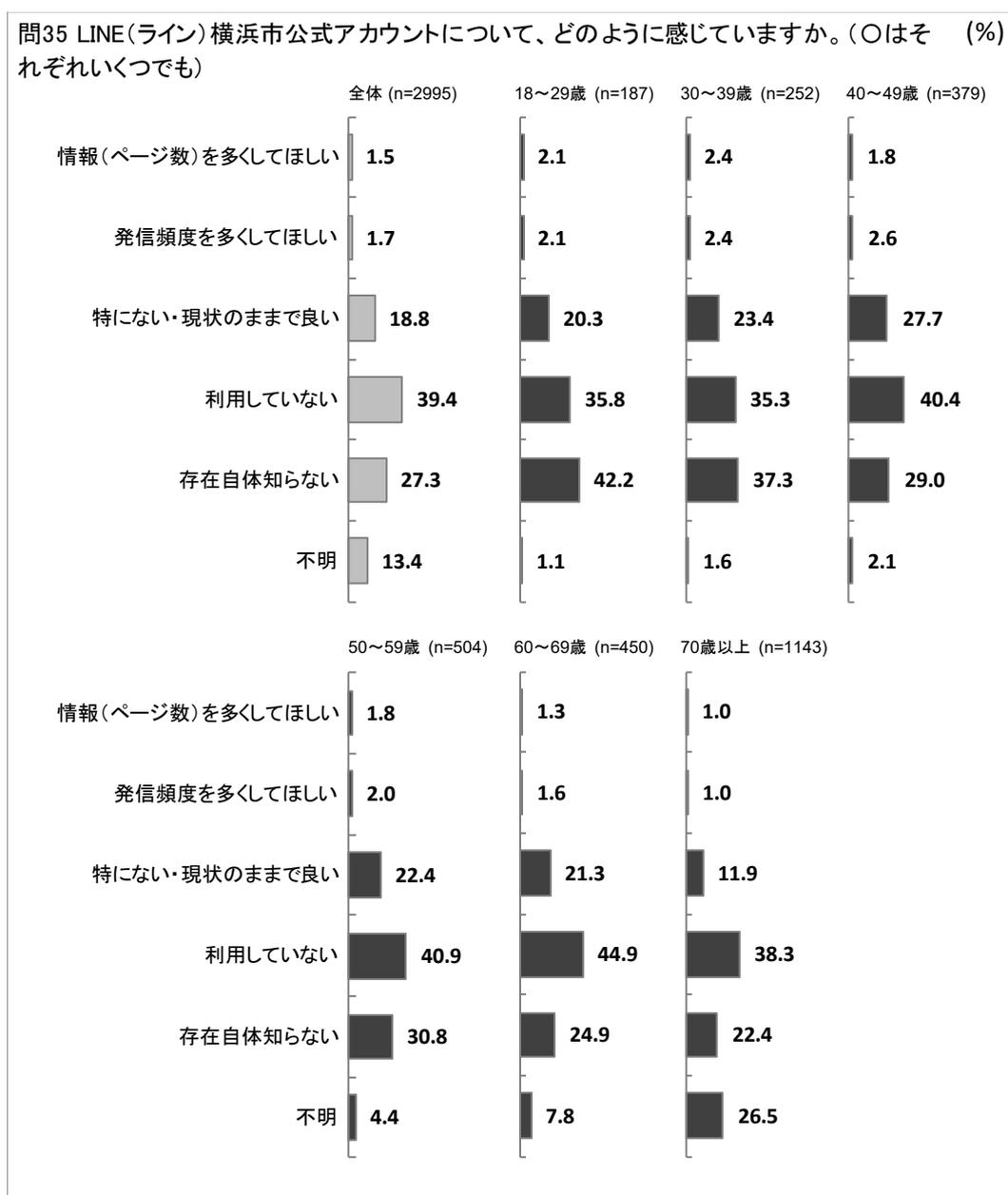
オ PIAZZA（ピアッツァ）栄区公式アカウントについて感じていること：
年齢別

- ・「18～29歳」、「30～39歳」、「50～59歳」は「存在自体知らない」が最も多く、「40～49歳」、「60～69歳」、「70歳以上」は「利用していない」が最も多い。



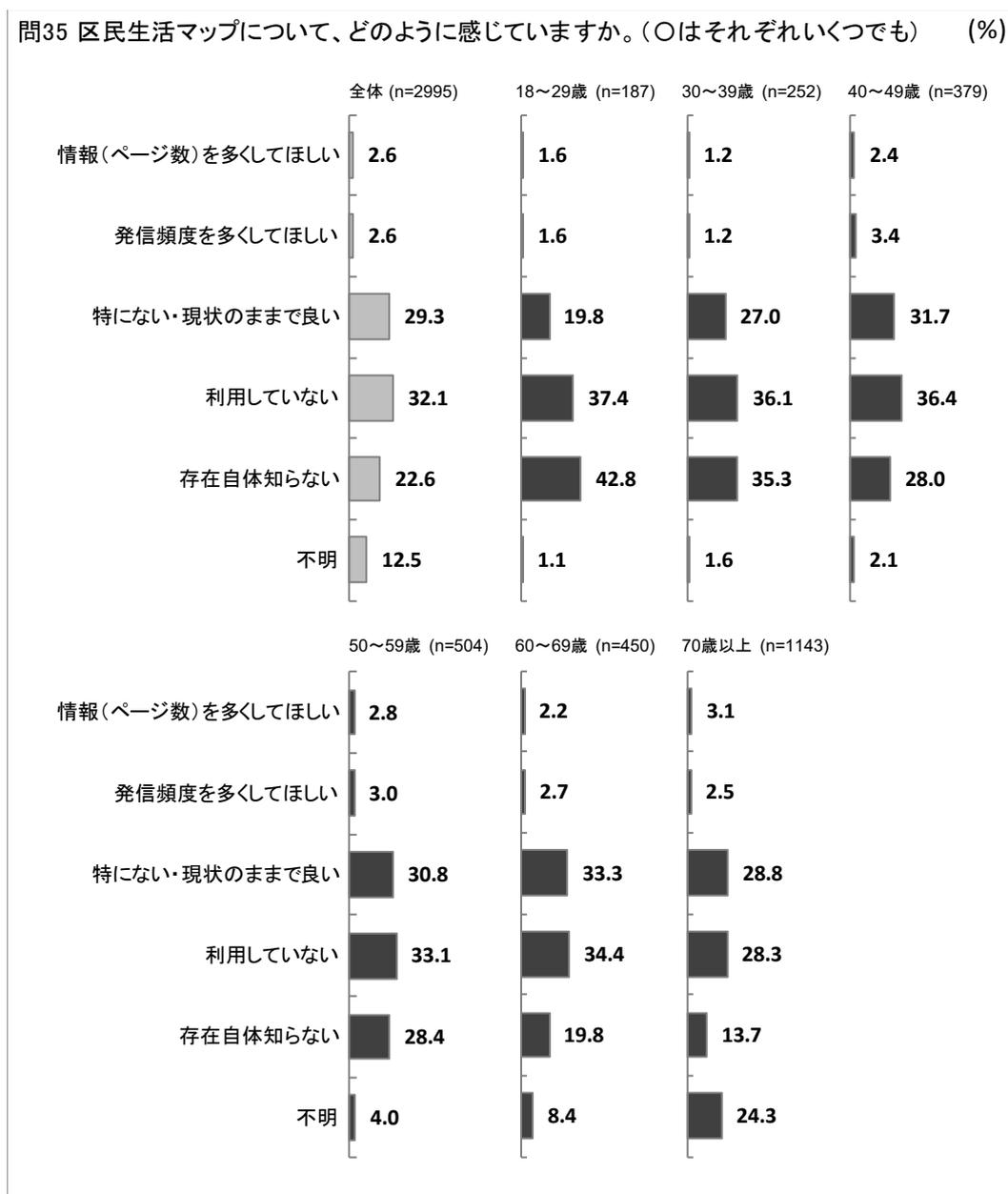
カ LINE（ライン）横浜市公式アカウントについて感じていること：年齢別

- ・「18～29歳」、「30～39歳」は「存在自体知らない」が最も多く、「40～49歳」、「50～59歳」、「60～69歳」、「70歳以上」は「利用していない」が最も多い。



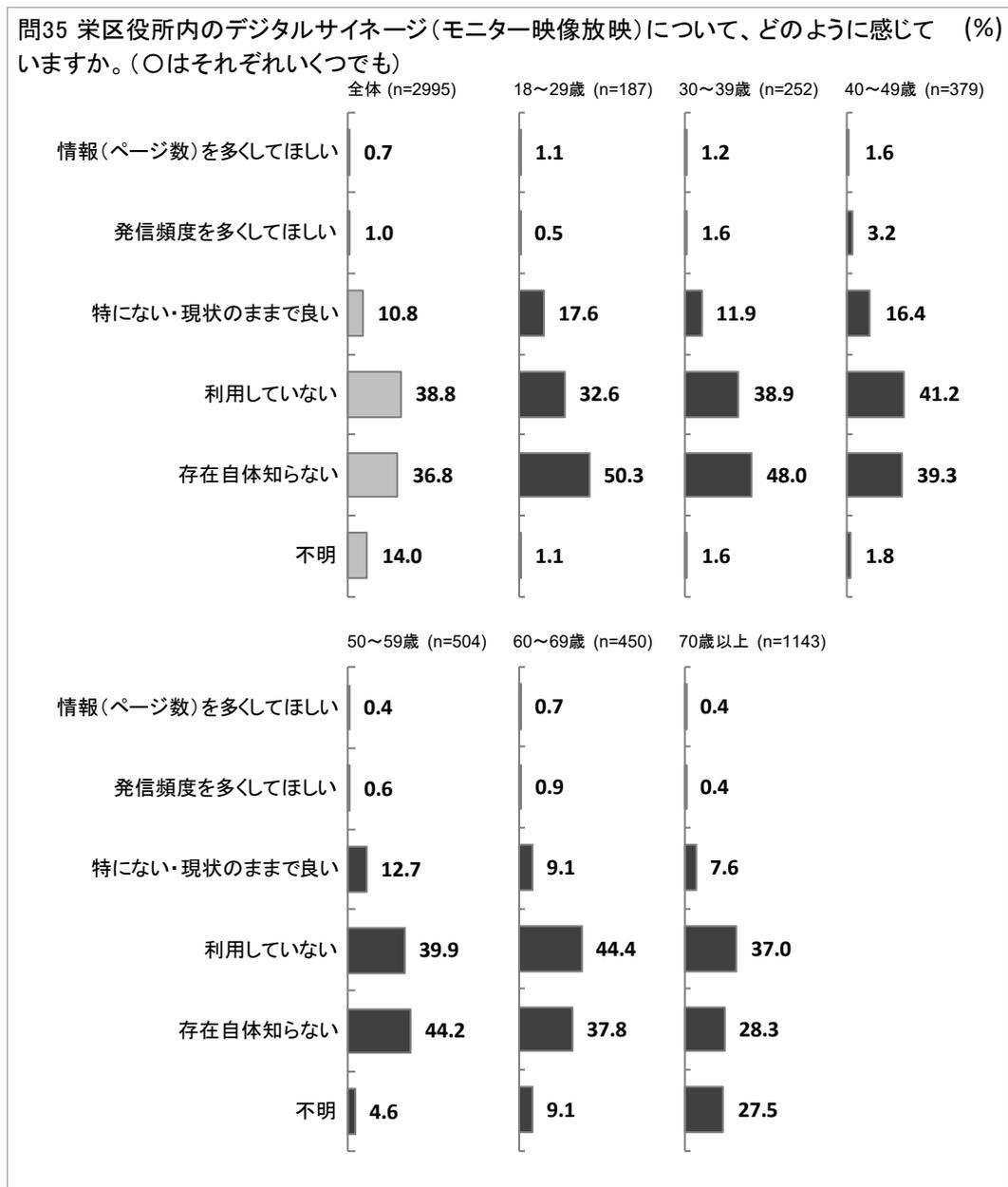
キ 区民生活マップについて感じていること：年齢別

- ・「18～29歳」は「存在自体知らない」が最も多く、「30～39歳」「40～49歳」、「50～59歳」、「60～69歳」は「利用していない」が最も多い。
- ・「40～49歳」、「50～59歳」、「60～69歳」は「特にない・現状のままで良い」が30%以上である。



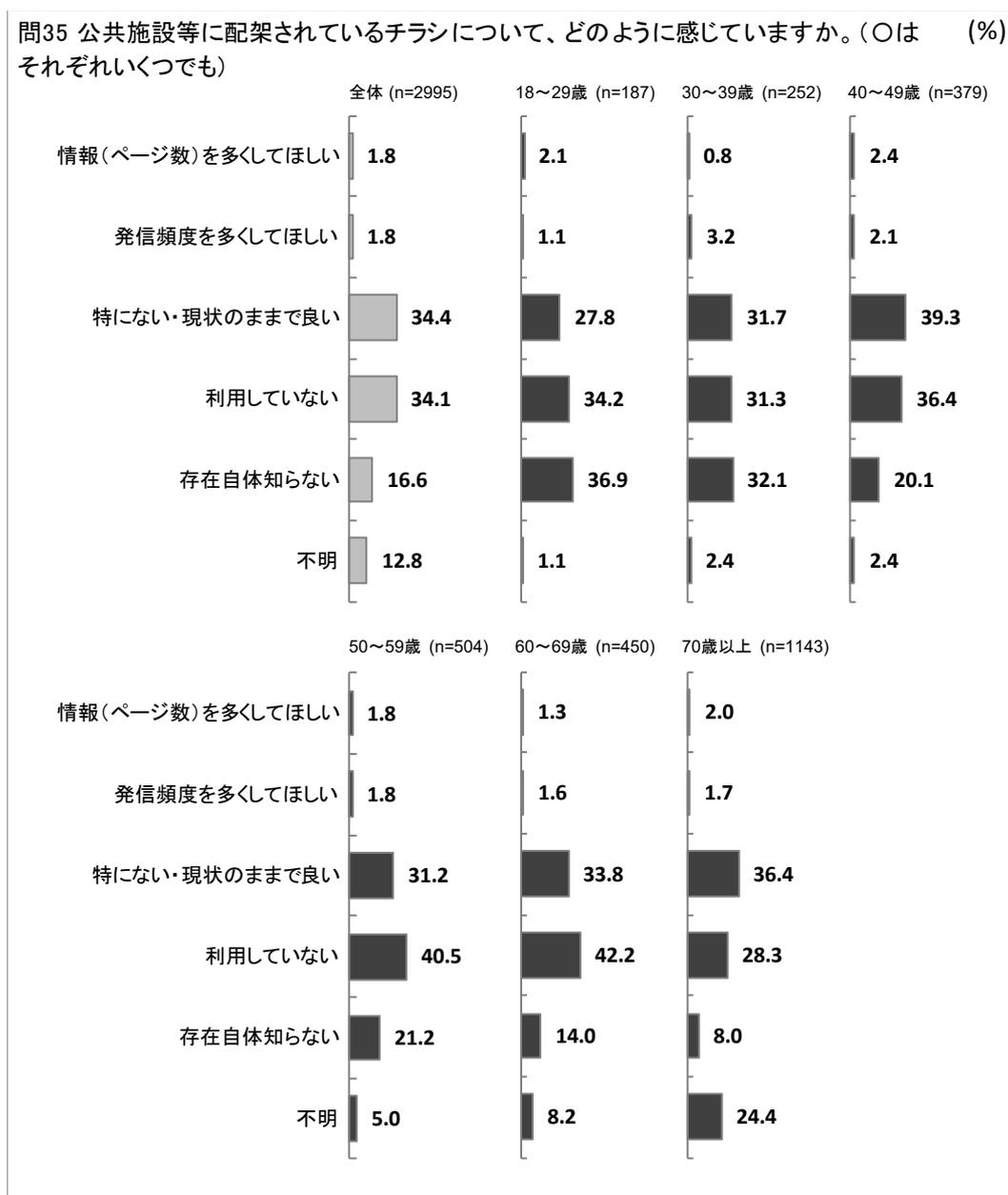
ク 栄区役所内のデジタルサイネージ（モニター映像放映）について感じて ていること：年齢別

- ・「18～29歳」、「30～39歳」、「50～59歳」では「存在自体知らない」が最も多く、「利用していない」が続く。
- ・「40～49歳」、「60～69歳」、「70歳以上」では「利用していない」が最も多く、「存在自体知らない」が続く。



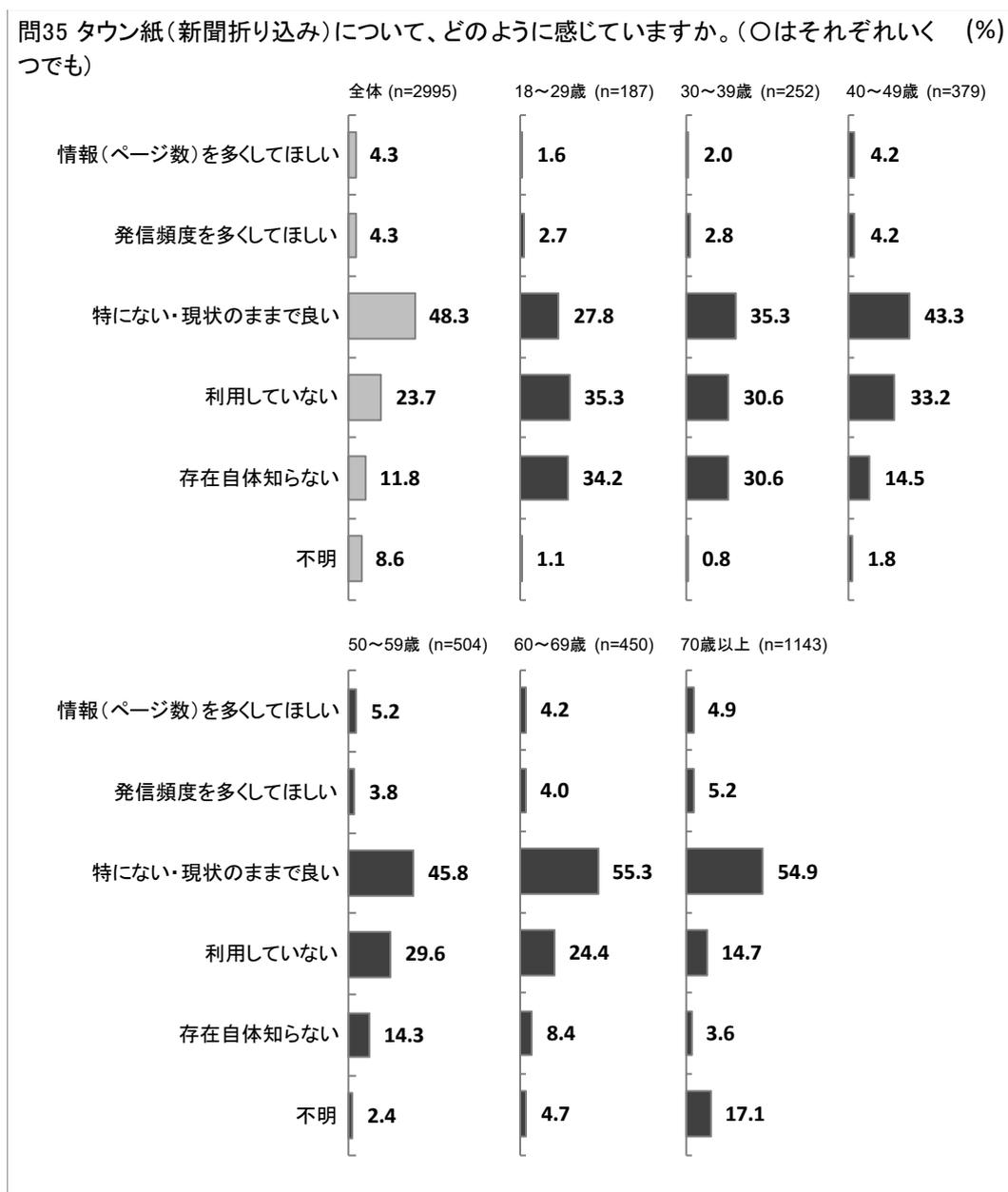
ケ 公共施設等に配架されているチラシについて感じていること：年齢別

- ・「40～49歳」と「70歳以上」では「特にない・現状のままで良い」が最も多く、「利用していない」が続く。
- ・「18～29歳」と「30～39歳」では「存在自体知らない」が最も多く、「50～59歳」と「60～69歳」では「利用していない」が最も多い。



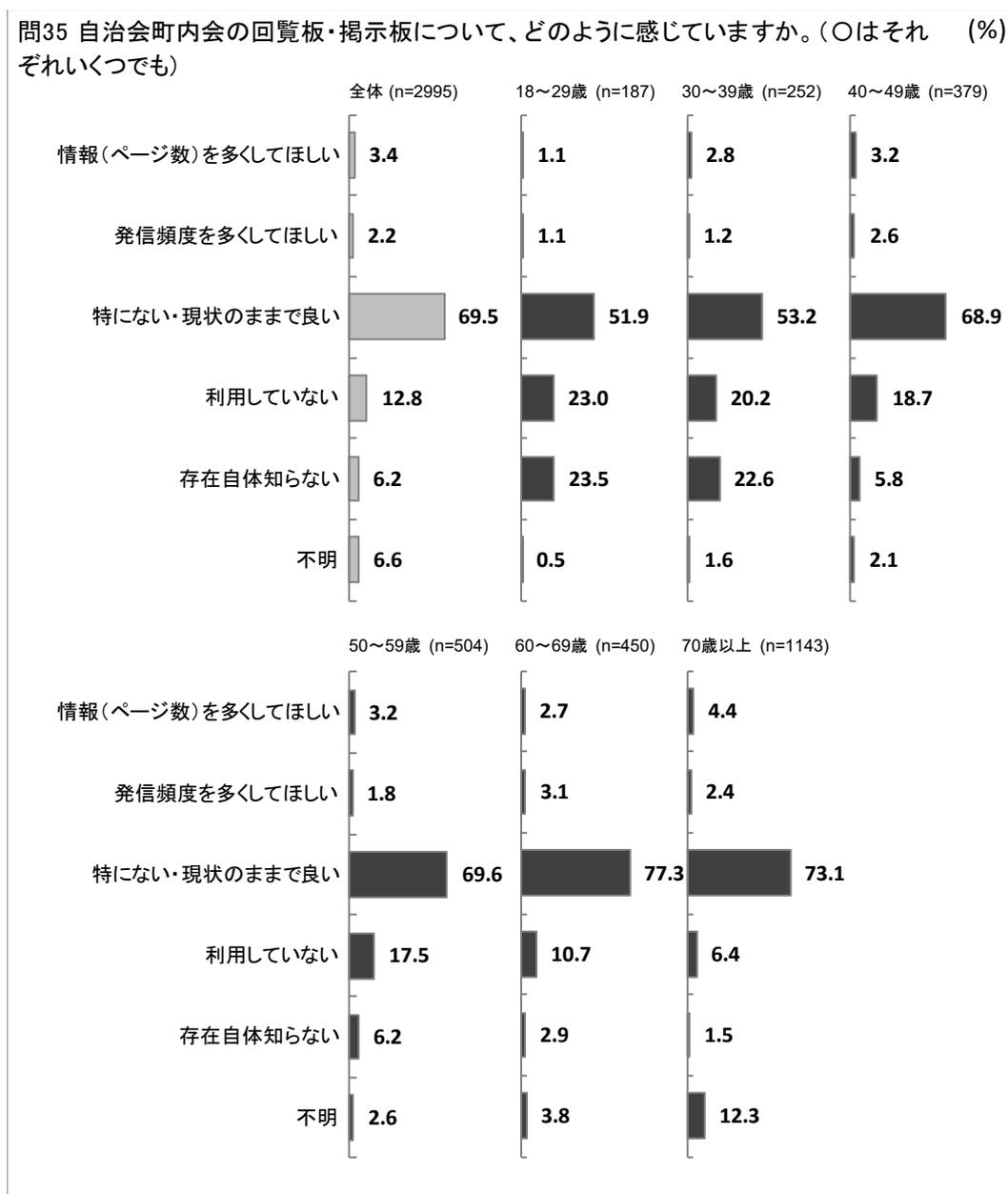
コ タウン紙（新聞折り込み）について感じていること：年齢別

- ・「18～29歳」では「利用していない」が最も多く、「30～39歳」より上の年代では「特にない・現状のままで良い」が最も多い。
- ・「60～69歳」と「70歳以上」では「特にない・現状のままで良い」が50%を超える。



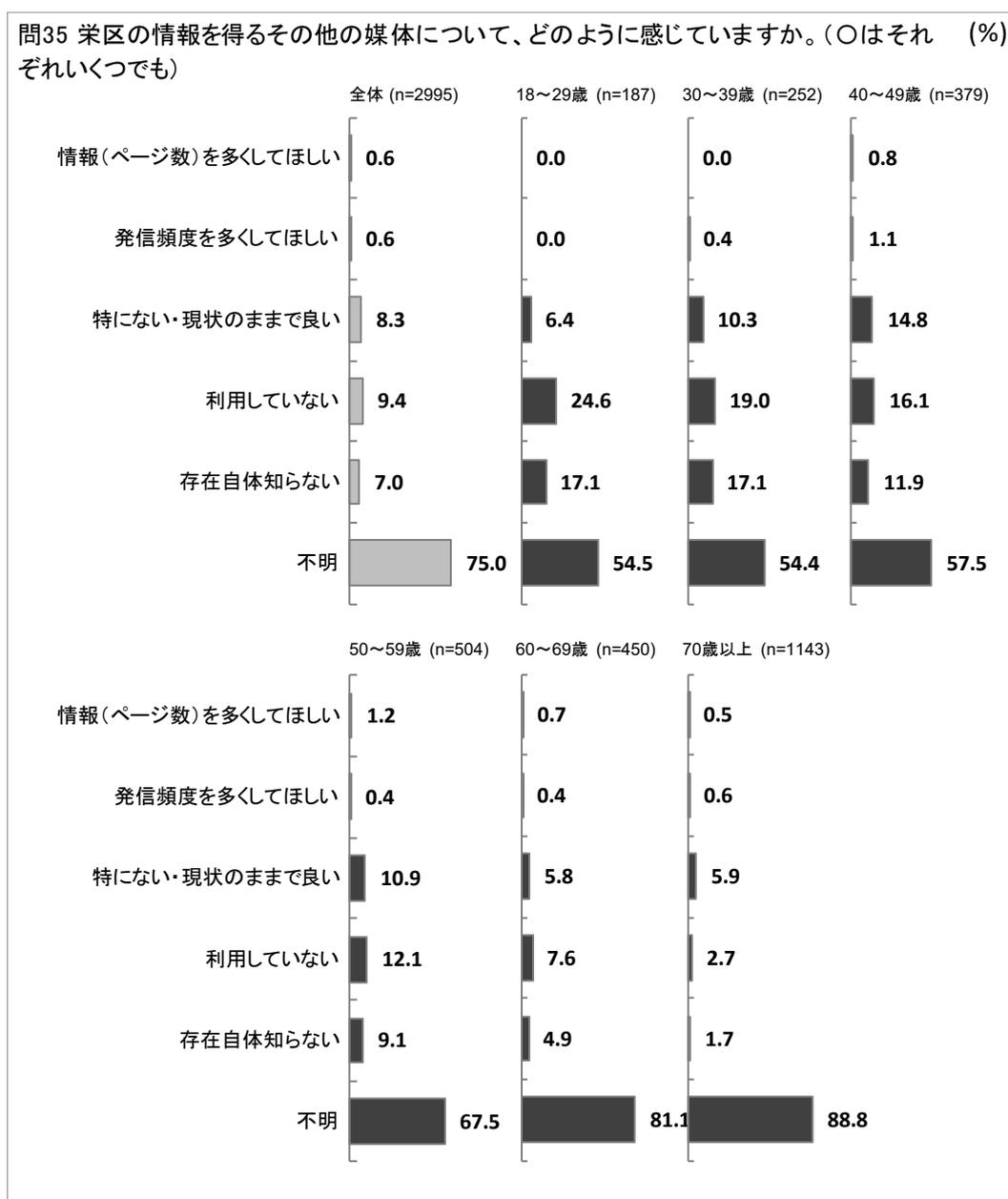
サ 自治会町内会の回覧板・掲示板について感じていること：年齢別

- ・いずれの年代も「特にない・現状のままで良い」が最も多く、50%を超える。
- ・「存在自体知らない」は「18～29歳」、「30～39歳」で全体より15ポイント以上多い。



シ 栄区の情報を得るその他の媒体について感じていること：年齢別

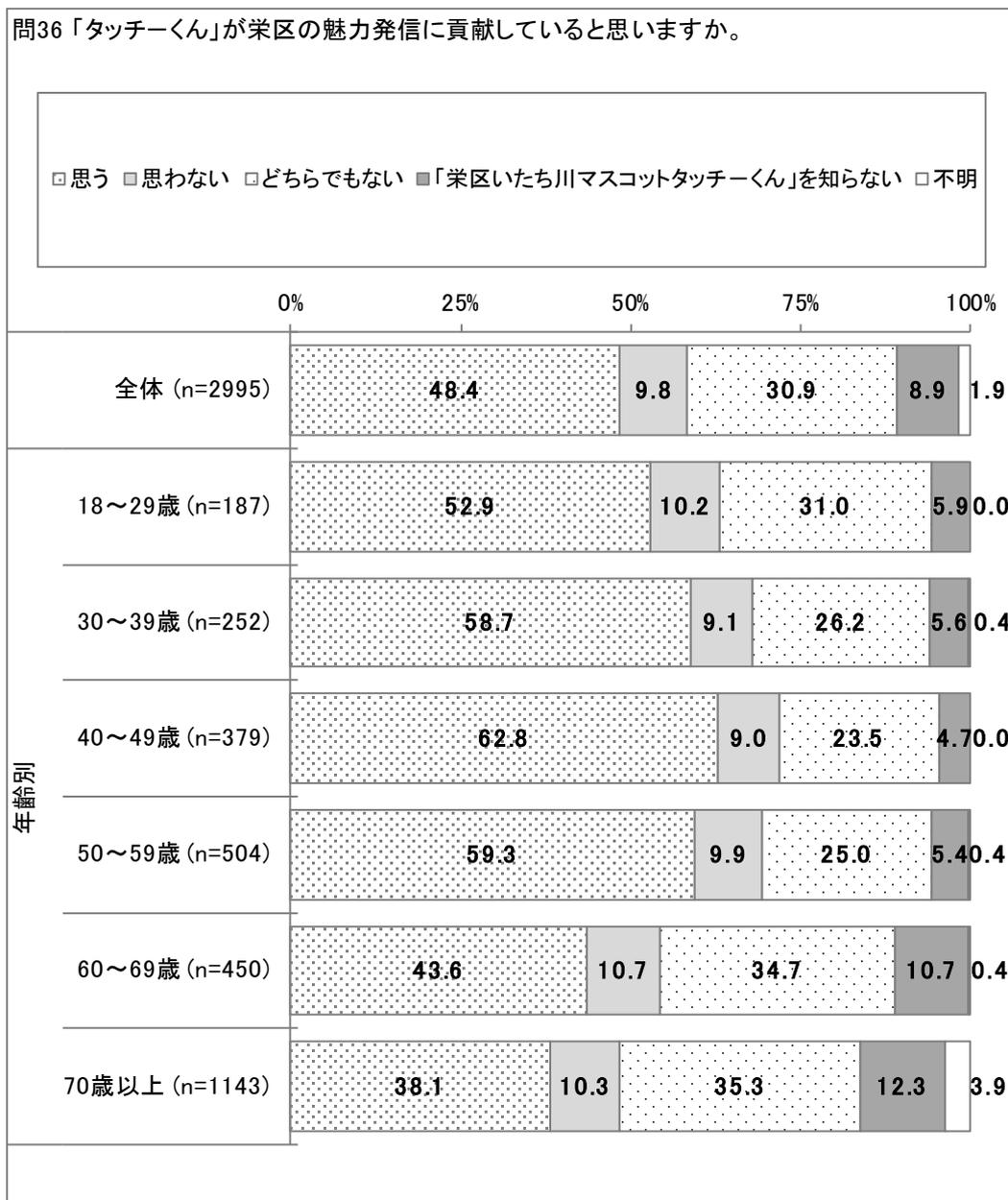
- ・「情報（ページ数）を多くしてほしい」の記述内容としては、「具体的な防犯情報を多くしてほしい。事例を多くして。」、「港南区・大船など近隣エリアの情報」（いずれも「70歳以上」）などの記載があった。



(2) 「タッチーくん」の貢献度について（問36）

ア 「タッチーくん」の貢献度について：全体・年齢別

- ・全体では「思う」（48.4%）が最も多く、「どちらでもない」（30.9%）が続く。
- ・「40～49歳」と「50～59歳」では「思う」がそれぞれ62.8%、59.3%で、全体より10ポイント以上多い。
- ・「60～69歳」と「70歳以上」では「「栄区いたち川マスコットタッチー君」を知らない」がそれぞれ10.7%、12.3%で1割以上である。

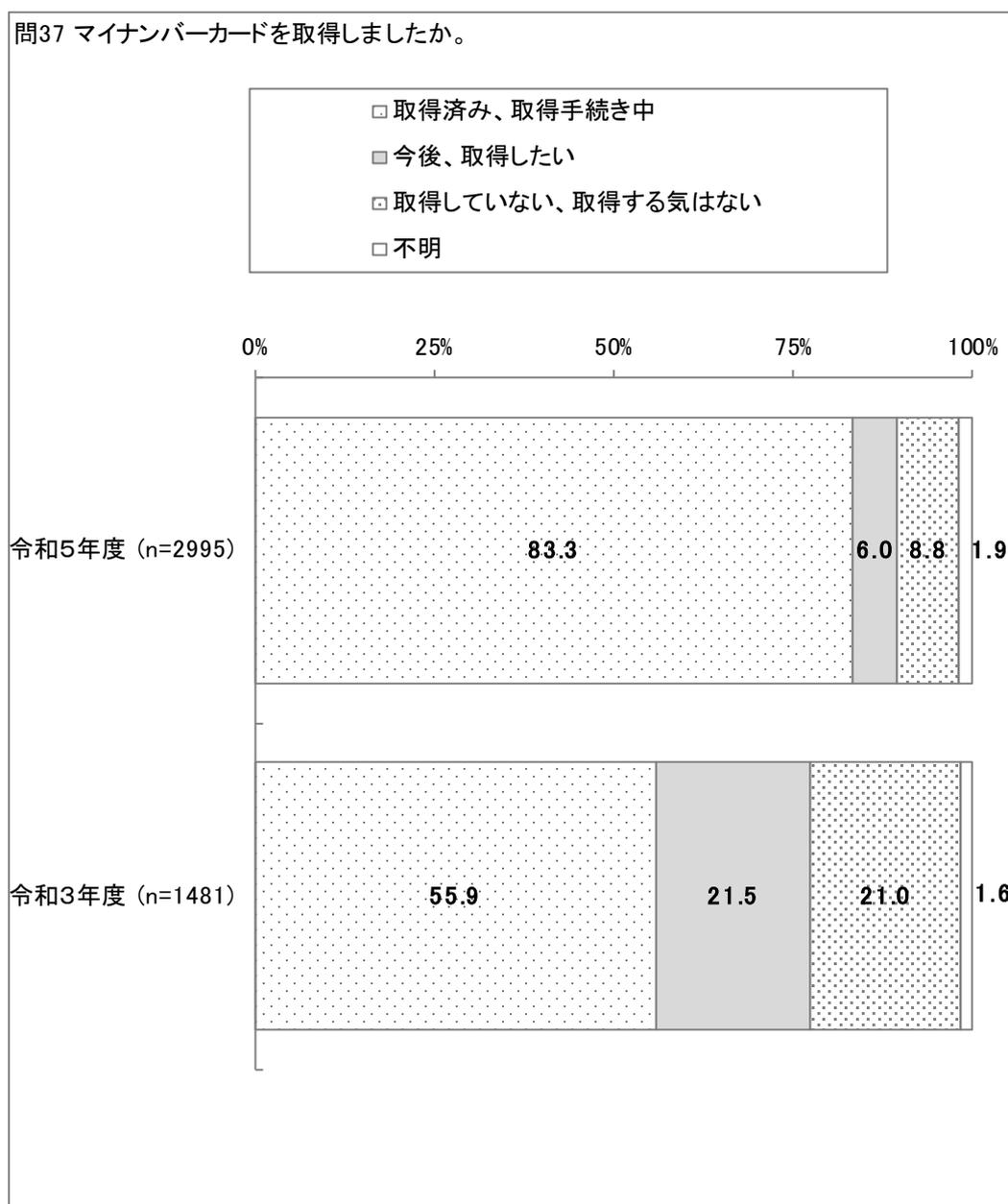


12 マイナンバーカードについて

(1) マイナンバーカードの取得状況（問 37）

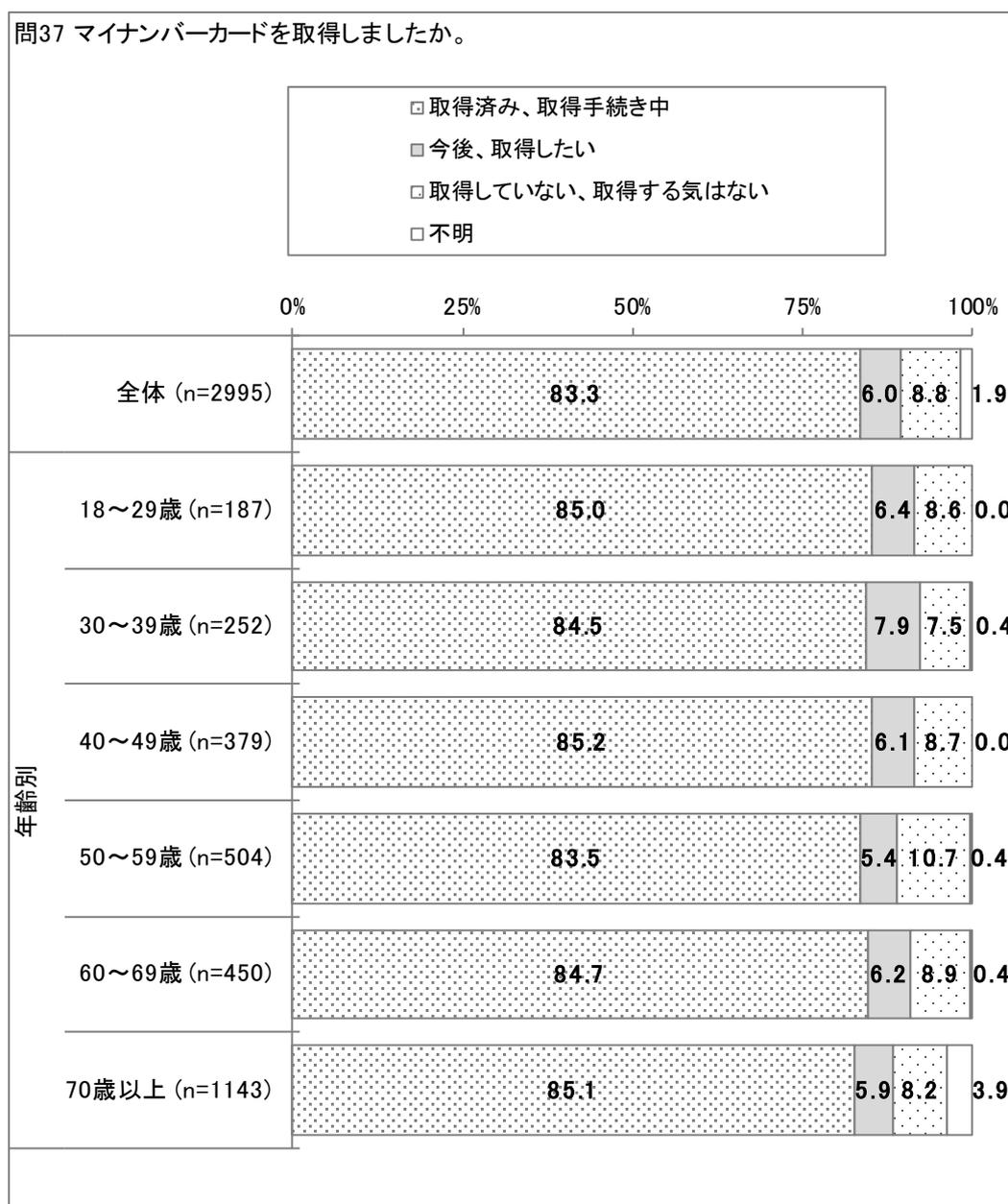
ア マイナンバーカードの取得状況：全体・時系列

- ・全体では「取得済み、取得手続き中」（83.3%）が最も多く、「取得していない、取得する気はない」は8.8%である。
- ・「取得済み、取得手続き中」は前回調査（55.9%）より27.4ポイント増加しており、「取得していない、取得する気はない」は12.2ポイント減少している。



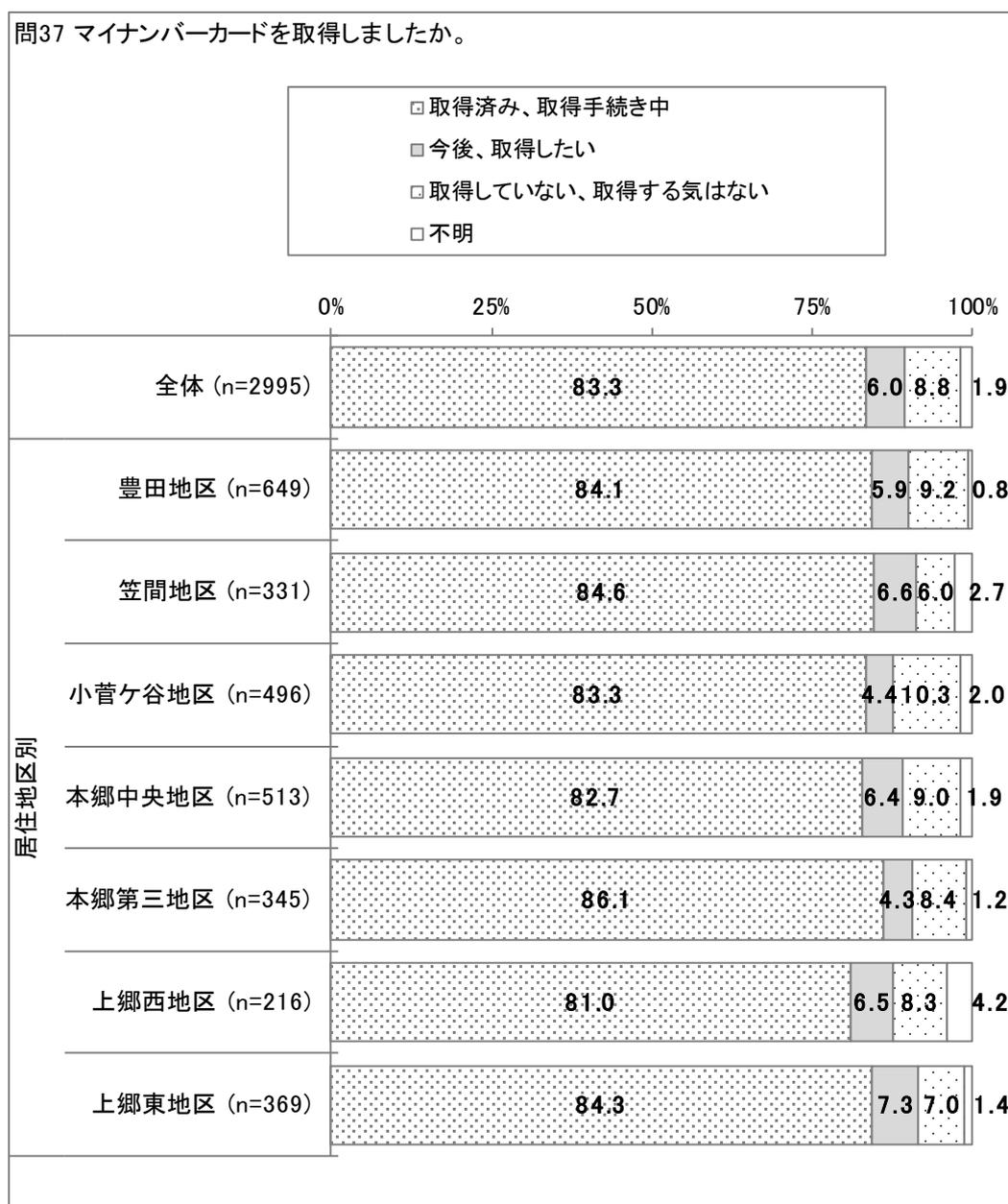
イ マイナンバーカードの取得状況：年齢別

- ・いずれの年代も「取得済み、取得手続き中」は8割を超え、年齢による大きな差は見られない。



ウ マイナンバーカードの取得状況：居住地区別

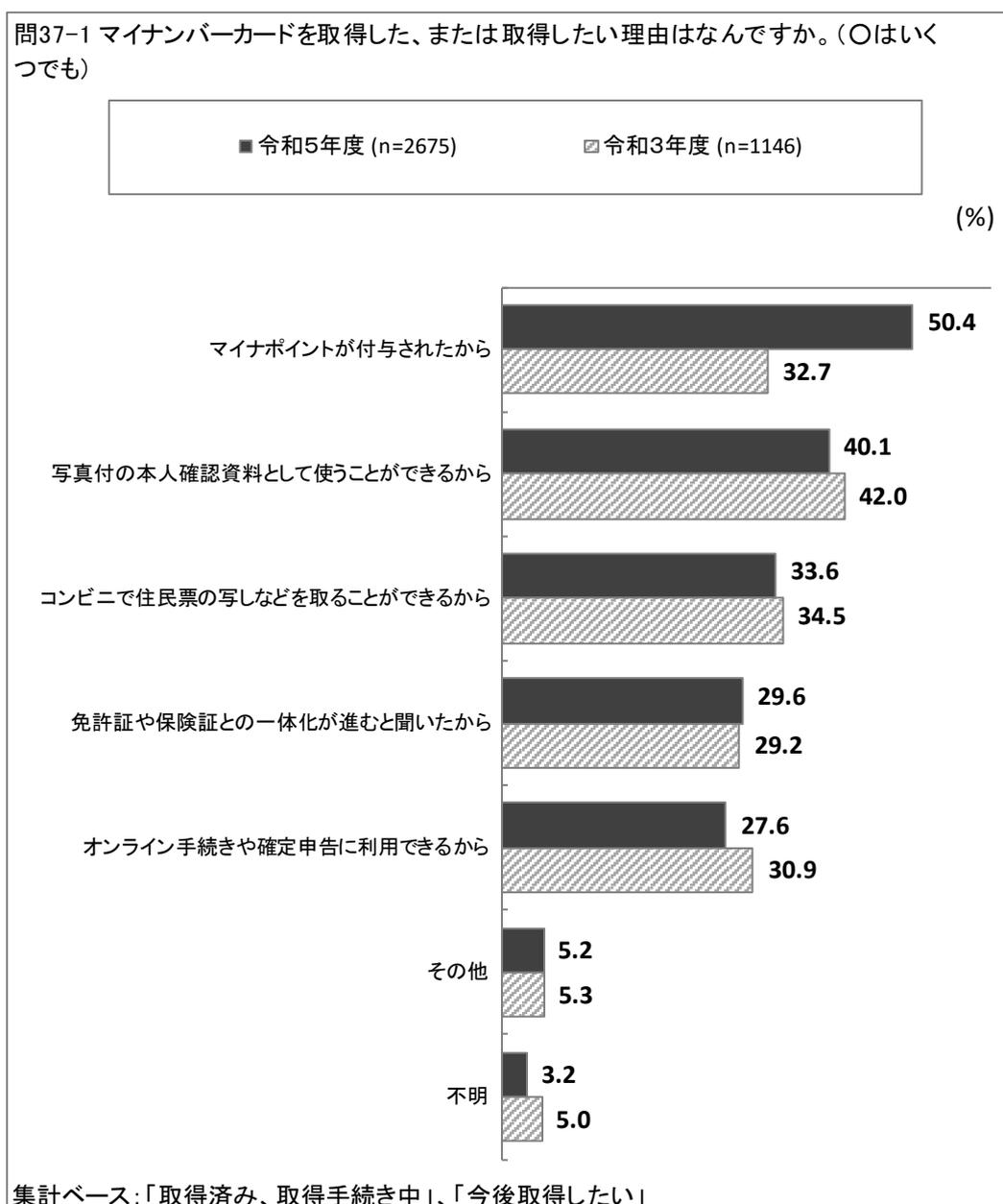
- ・いずれの居住地区も「取得済み、取得手続き中」は8割を超え、居住地区による大きな差は見られない。



(2) マイナンバーカードを取得した、または取得したい理由（問 37-1）

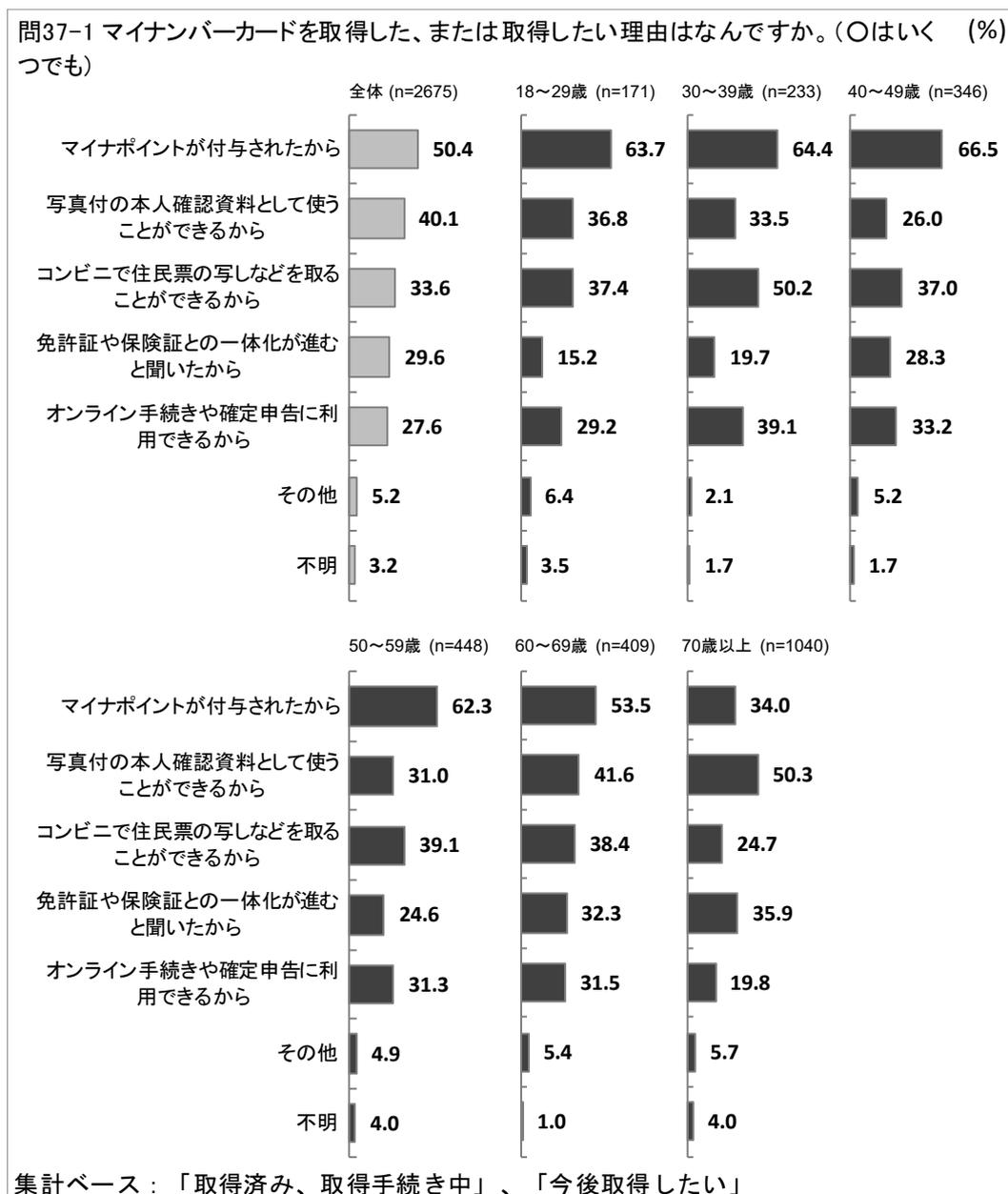
ア マイナンバーカードを取得した、または取得したい理由：全体・時系列

- ・全体では「マイナポイントが付与されたから」（50.4%）が最も多く、「写真付の本人確認資料として使うことができるから」（40.1%）、「コンビニで住民票の写しなどを取ることができるから」（33.6%）が続く。
- ・前回調査と比べ「マイナポイントが付与されたから」は17.7ポイント増加している。そのほかの回答は前回調査に比べ大きな差は見られない。



イ マイナンバーカードを取得した、または取得したい理由：年齢別

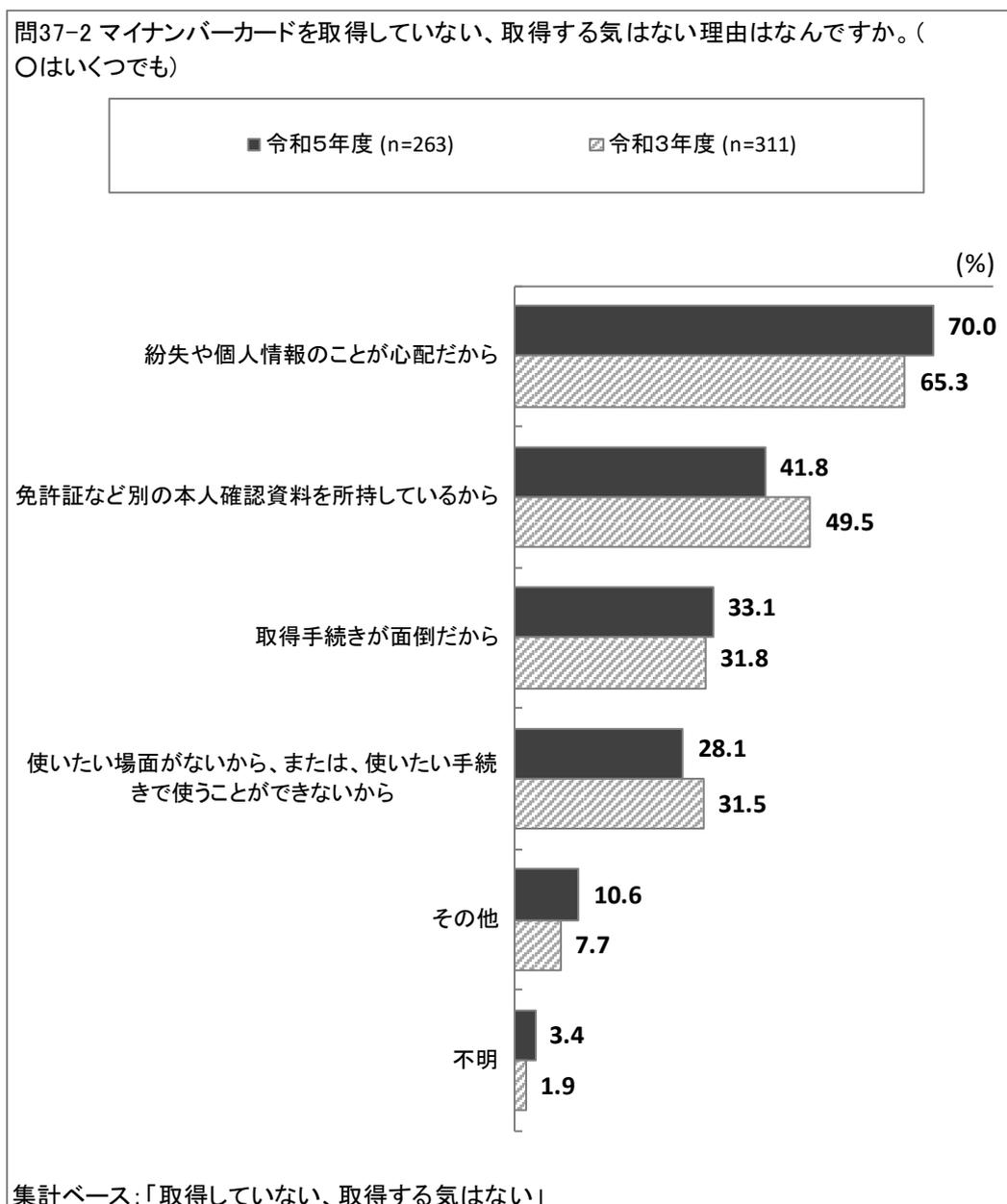
- ・「70歳以上」を除く各年代で「マイナポイントが付与されたから」が最も多く、「50～59歳」より下の年代では全体より10ポイント以上多い。
- ・「70歳以上」では「写真付の本人確認資料として使うことができるから」（50.3%）が最も多く、全体より10ポイント以上多い。



(3) マイナンバーカードを取得していない、取得する気はない理由（問37-2）

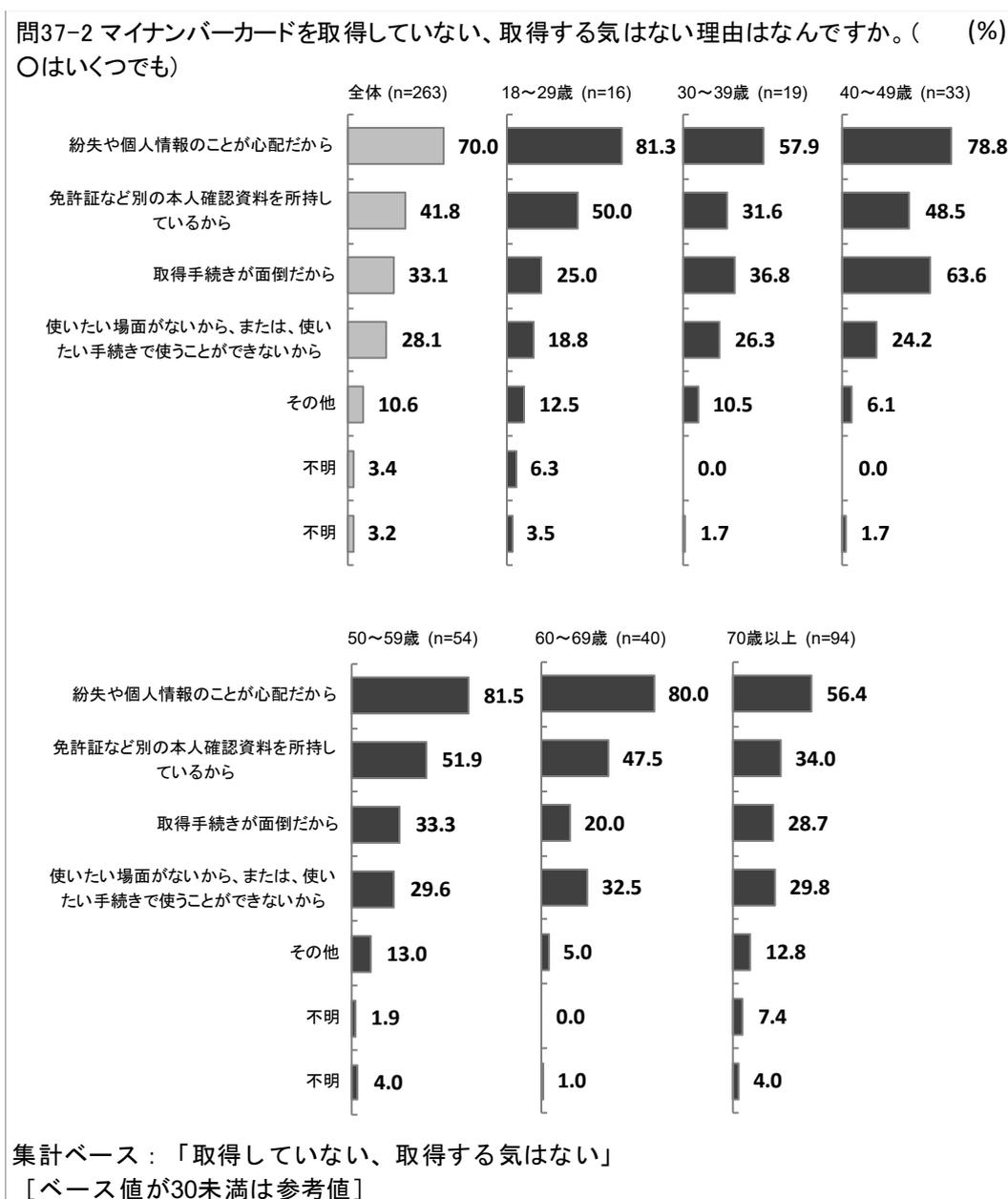
ア マイナンバーカードを取得していない、取得する気はない理由：全体・時系列

- ・全体では「紛失や個人情報のことが心配だから」（70.0%）が最も多く、「免許証など別の本人確認資料を所持しているから」（41.8%）、「取得手続きが面倒だから」（33.1%）が続く。
- ・前回調査と比べ「紛失や個人情報のことが心配だから」は4.7ポイント増加、「免許証など別の本人確認資料を所持しているから」は7.7ポイント減少している。



イ マイナンバーカードを取得していない、取得する気はない理由：年齢別

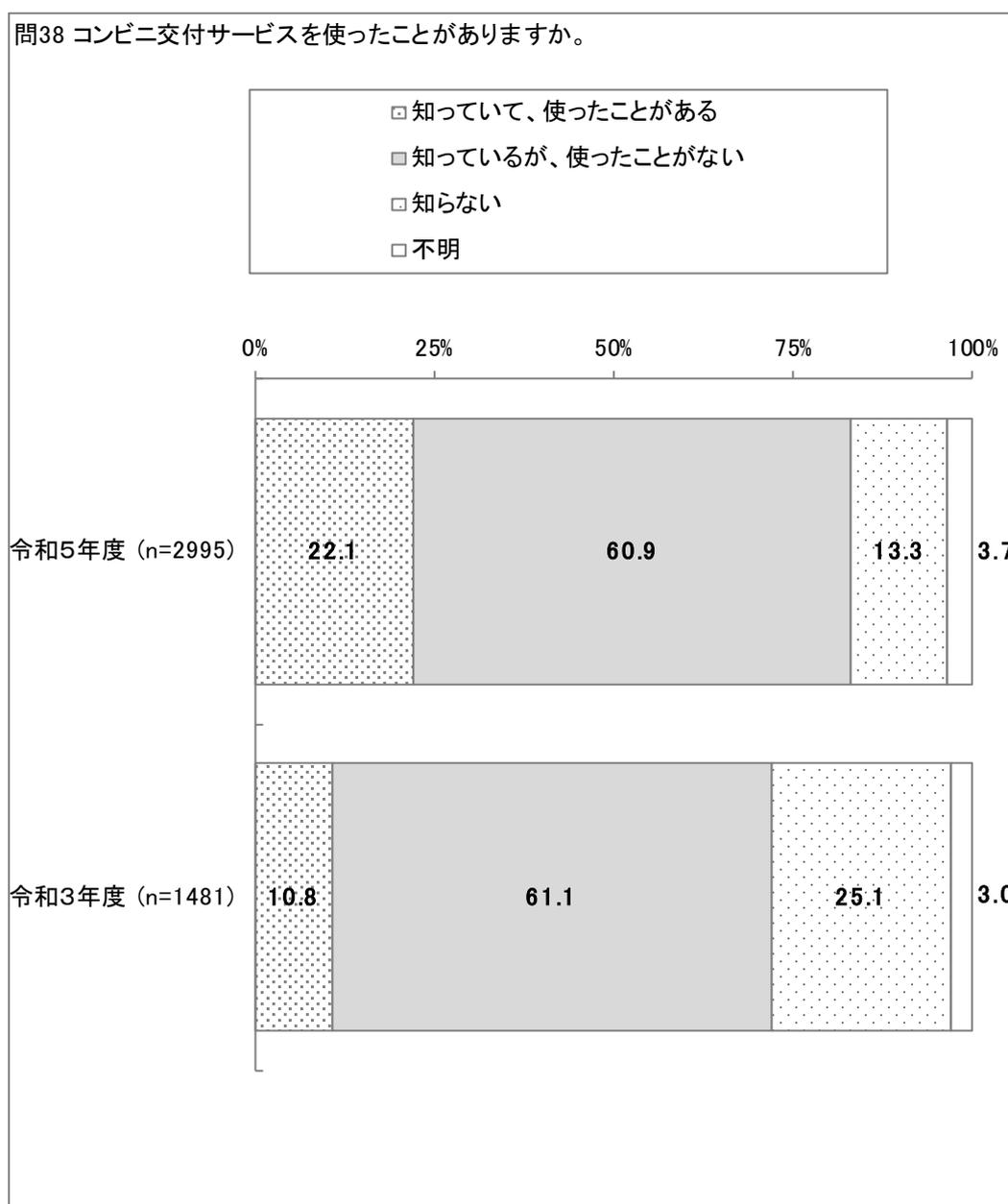
- ・いずれの年代も「紛失や個人情報のことが心配だから」が最も多く、「18～29歳」、「50～59歳」、「60～69歳」で全体より10ポイント以上多い。
- ・「40～49歳」は「取得手続きが面倒だから」（63.6%）が2番目に多い回答で、全体より30.5ポイント多い。



(4) マイナンバーカードを活用したコンビニ交付サービスの利用（問 38）

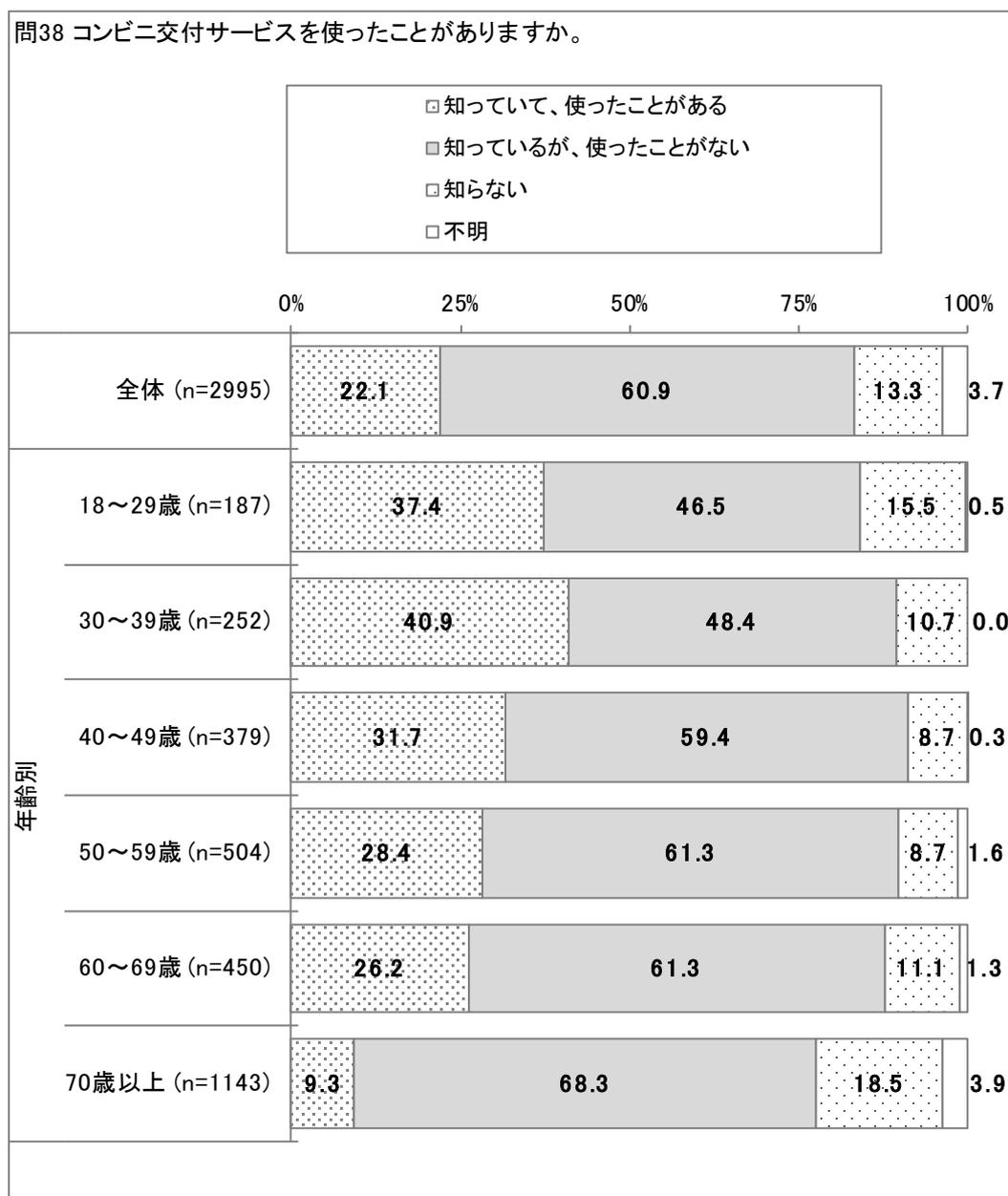
ア マイナンバーカードを活用したコンビニ交付サービスの利用：全体・時系列

- ・全体では「知っているが、使ったことがない」（60.9%）が最も多く、「知っているが、使ったことがある」（22.1%）、「知らない」（13.3%）が続く。
- ・前回調査と比べ「知っているが、使ったことがない」はほぼ同様の回答であるが、「知っているが、使ったことがある」は11.3ポイント増加、「知らない」は11.8ポイント減少している。



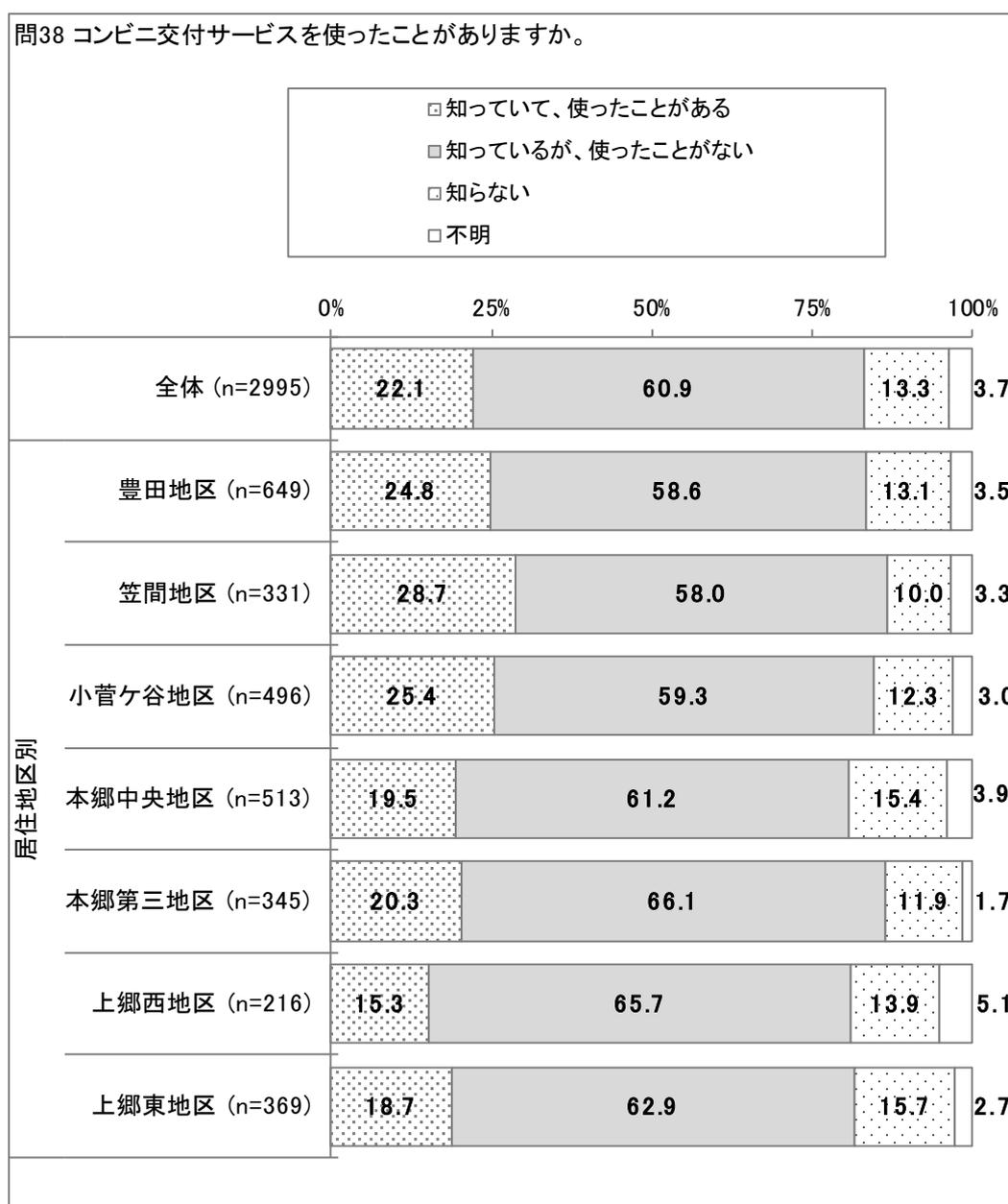
イ マイナンバーカードを活用したコンビニ交付サービスの利用：年齢別

- ・「18～29歳」と「30～39歳」では「知っていて、使ったことがある」がそれぞれ37.4%、40.9%で、全体より15ポイント以上多い。
- ・「40～49歳」より上の年代は「知っているが、使ったことがない」が50%を超え、年代が上がるにつれ多くなっている。
- ・「70歳以上」では「知らない」（18.5%）が全体より5.2ポイント多い。



ウ マイナンバーカードを活用したコンビニ交付サービスの利用：居住地区別

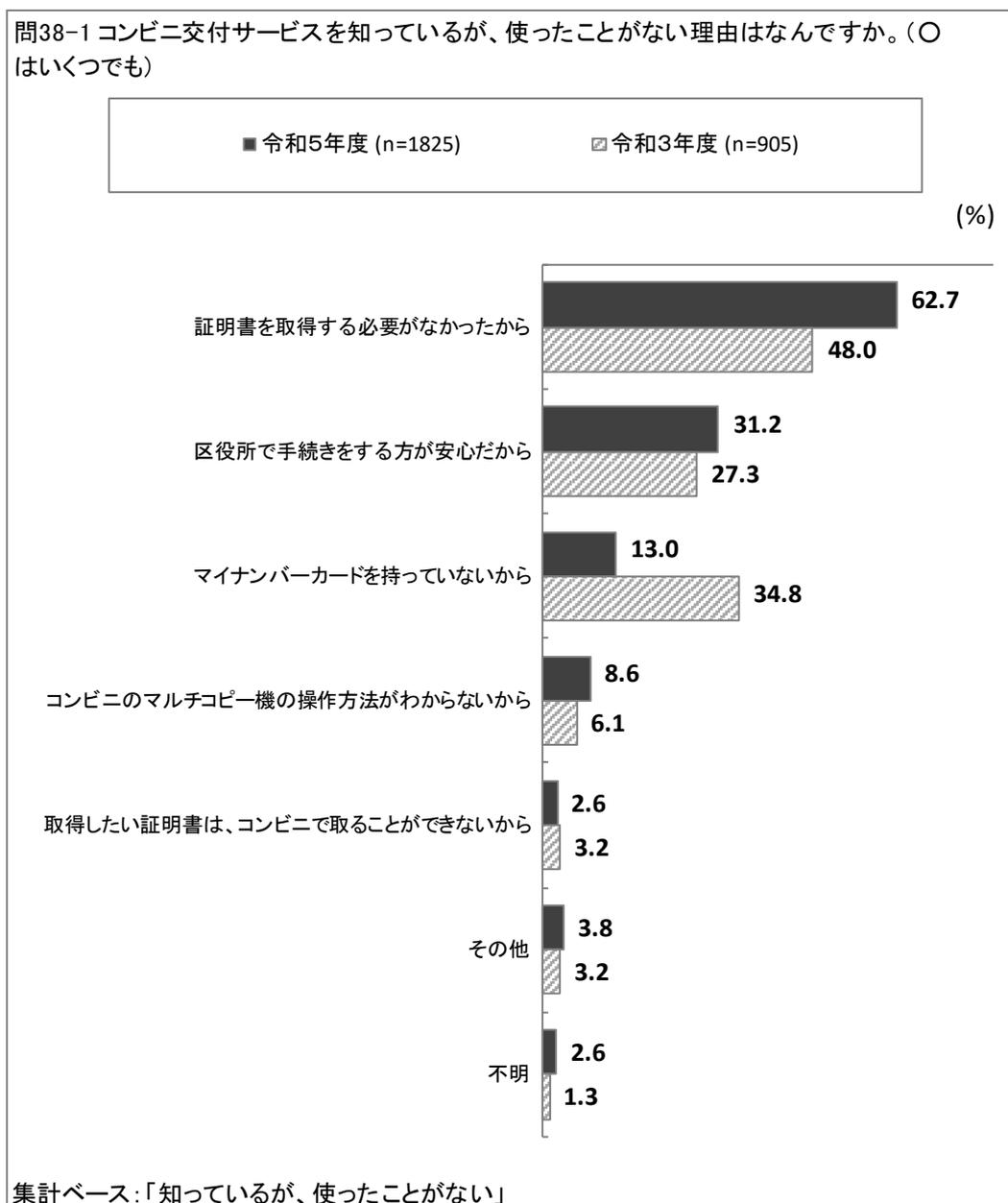
- ・「笠間地区」、「小菅ヶ谷地区」、「豊田地区」では「知っていて、使ったことがある」が全体より多く、とりわけ「笠間地区」では全体より6.6ポイント多い。
- ・「本郷第三地区」では「知っているが、使ったことがない」(66.1%)の割合が最も多く、全体より5.2ポイント多い。



(5) コンビニ交付サービスを知っているが、使ったことがない理由（問38-1）

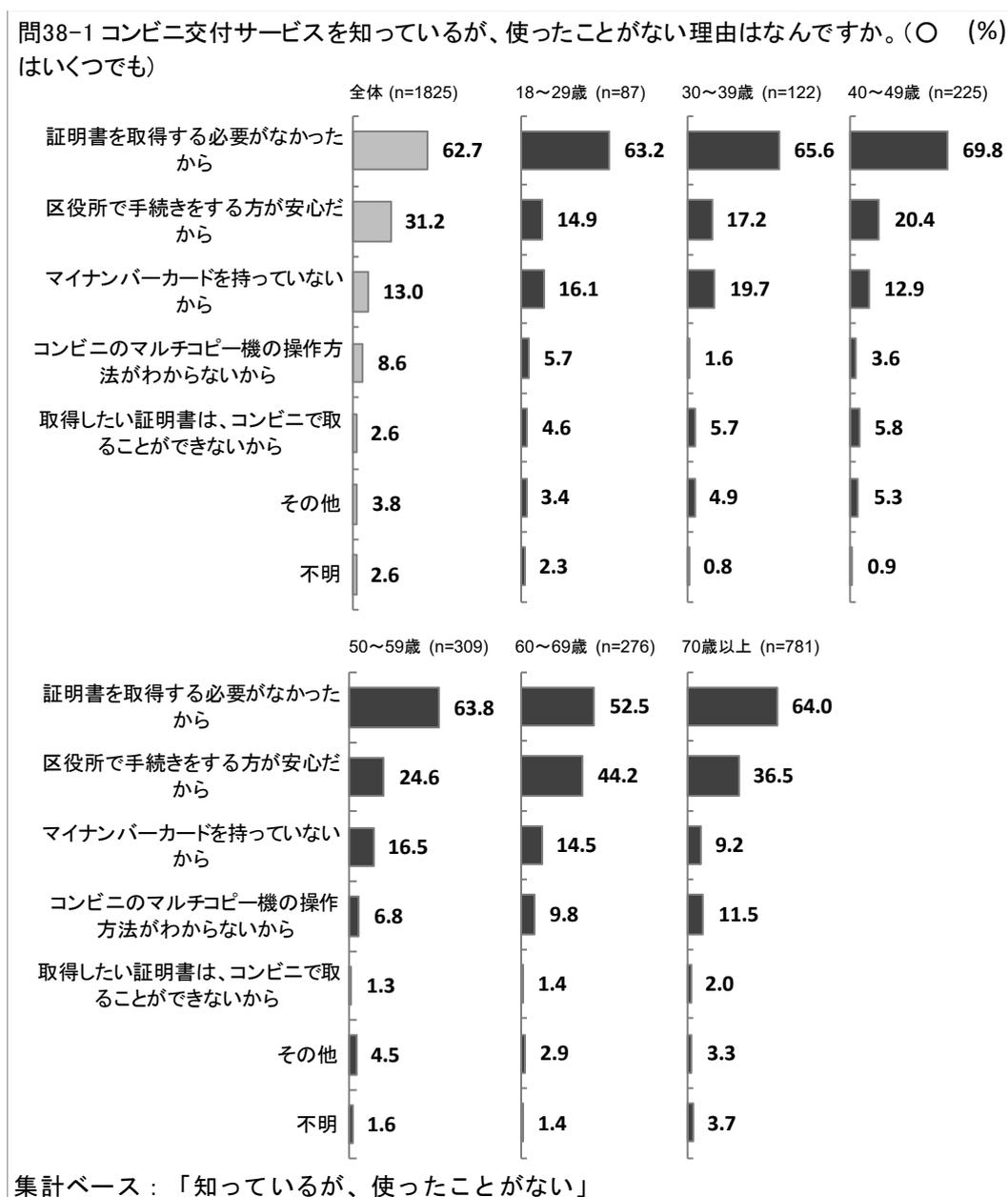
ア コンビニ交付サービスを知っているが、使ったことがない理由：全体・時系列

- ・全体では「証明書を取得する必要がなかったから」（62.7%）が最も多く、「区役所で手続きをする方が安心だから」（31.2%）、「マイナンバーカードを持っていないから」（13.0%）が続く。
- ・最も多い回答は前回調査と同様に「証明書を取得する必要がなかったから」で、14.7ポイント増加している。また、前回調査で2番目に多かった「マイナンバーカードを持っていないから」（34.8%）は、今回調査では21.8ポイント減少している。



イ コンビニ交付サービスを知っているが、使ったことがない理由：年齢別

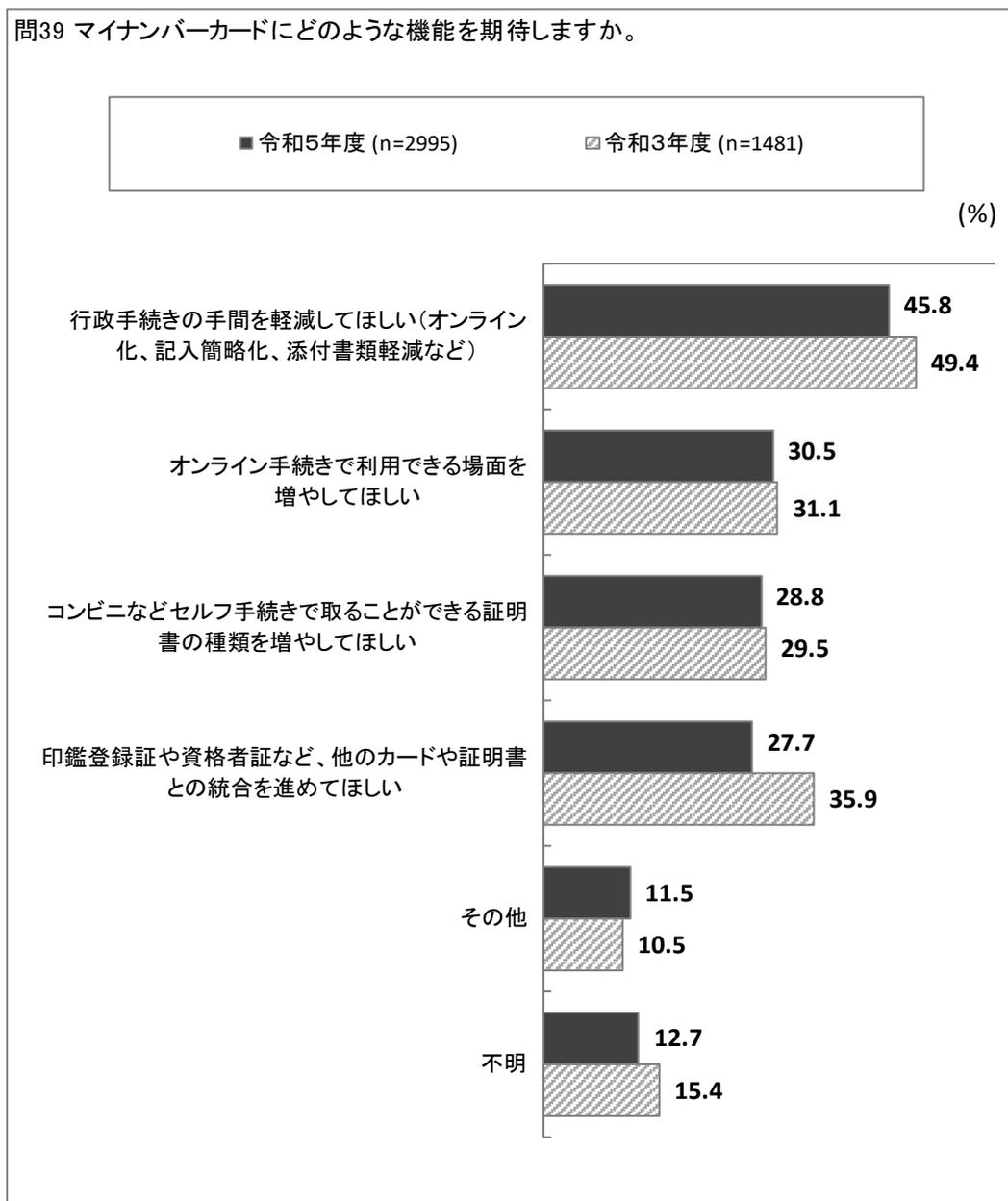
- ・どの年代も「証明書を取得する必要がなかったから」が最も多いが、「60～69歳」では全体より10.2ポイント少ない52.5%である。「区役所で手続きをする方が安心だから」は「60～69歳」で13.0ポイント多く、「18～29歳」と「30～39歳」では10ポイント以上少ない。



(6) マイナンバーカードに期待される機能（問 39）

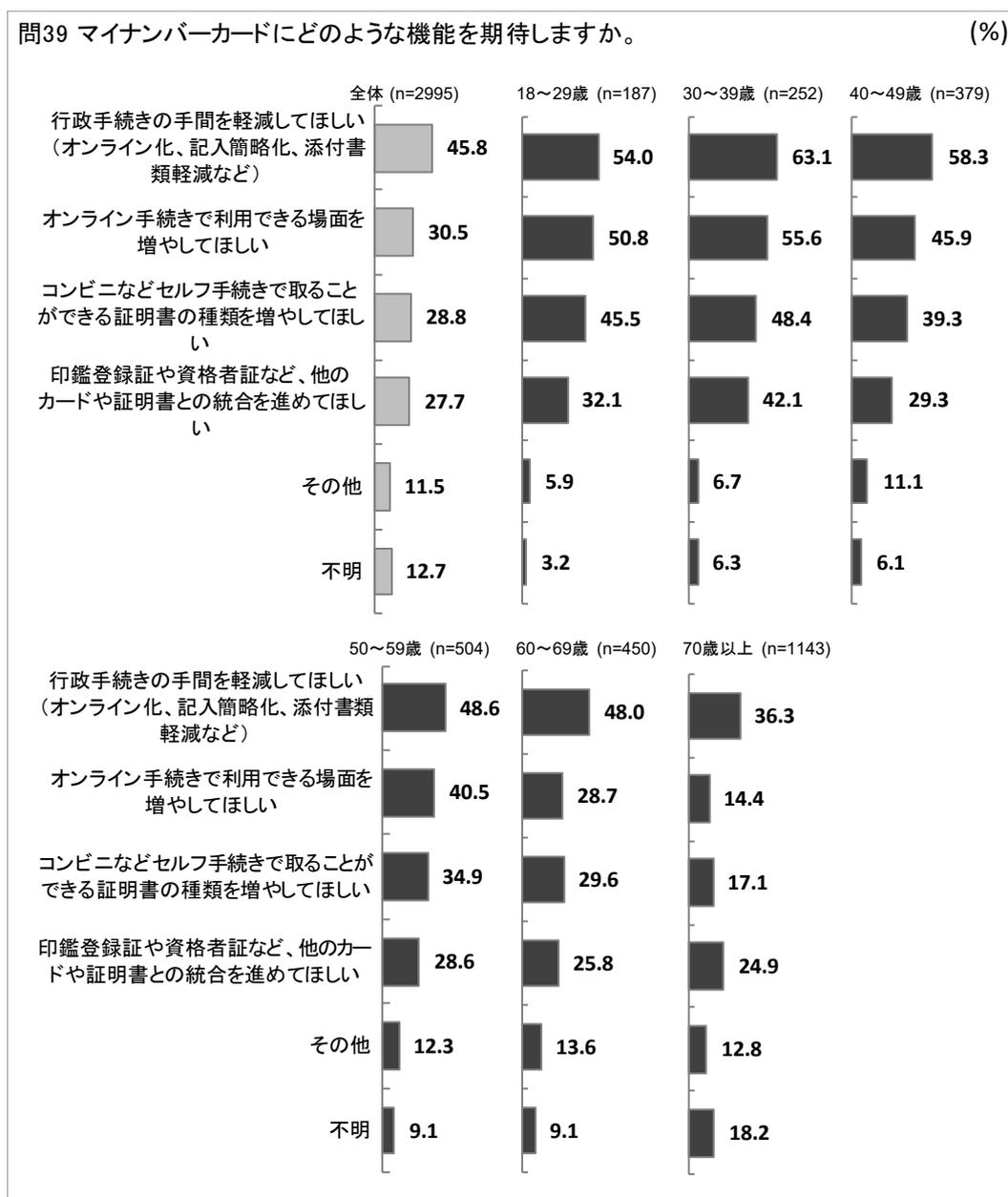
ア マイナンバーカードに期待される機能：全体・時系列

- ・全体では「行政手続きの手間を軽減してほしい（オンライン化、記入簡略化、添付書類軽減など）」（45.8%）が最も多く、「オンライン手続きで利用できる場面を増やしてほしい」（30.5%）、「コンビニなどセルフ手続きで取ることができる証明書の種類を増やしてほしい」（28.8%）が続く。
- ・前回調査で2番目にあげられた「印鑑登録証や資格者証など、他のカードや証明書との統合を進めてほしい」は8.2ポイント減少している。



イ マイナンバーカードに期待される機能：年齢別

- ・「18～29歳」、「30～39歳」では「オンライン手続きで利用できる場面を増やしてほしい」が全体より20ポイント以上多い。
- ・「70歳以上」では「コンビニなどセルフ手続きで取ることができる証明書の種類を増やしてほしい」、「印鑑登録証や資格者証など、他のカードや証明書との統合を進めてほしい」が全体より10ポイント以上少ない。

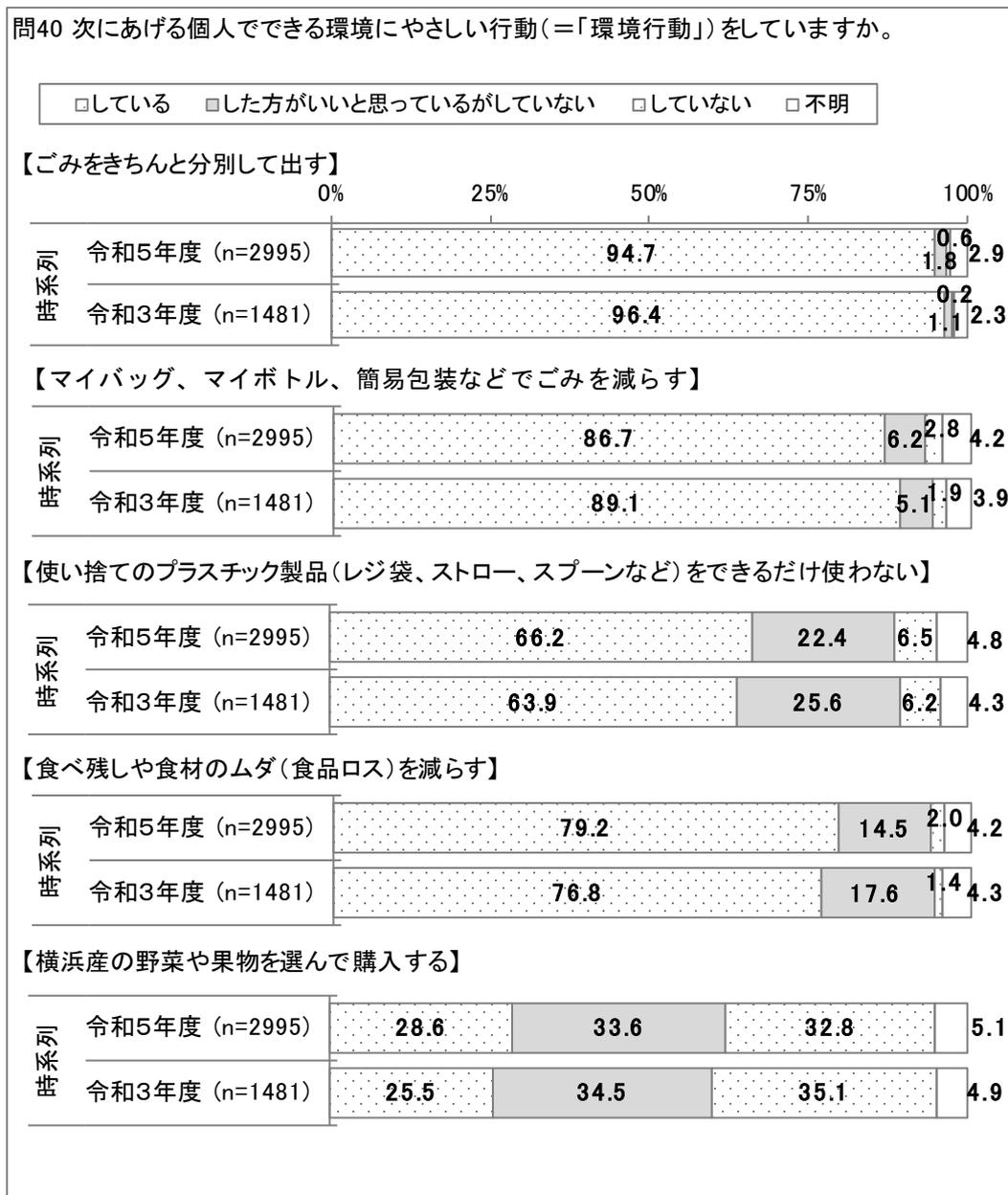


13 環境行動について

(1) 環境行動の実践（問 40）

ア 環境行動の実践：全体・時系列

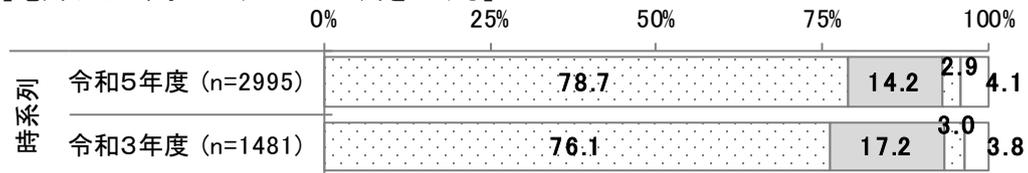
- ・ 9項目の環境行動のうち「ごみをきちんと分別して出す」（94.7%）が最も「している」の割合が多く、「マイバッグ、マイボトル、簡易包装などでごみを減らす」（86.7%）、「食べ残しや食品のムダ（食品ロス）を減らす」（79.2%）が続く。
- ・ 前回調査より「している」が最も増えた項目は、「横浜産の野菜や果物を選んで購入する」で3.1ポイント増加している。



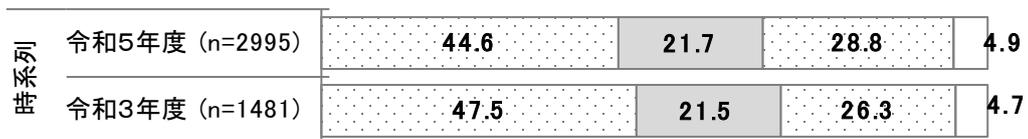
問40 次にあげる個人でできる環境にやさしい行動(=「環境行動」)をしていますか。

している した方がいいと思っているがしていない していない 不明

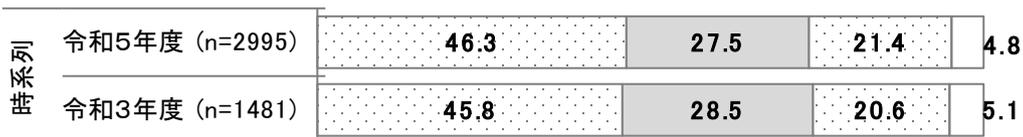
【電気やガス、水のムダづかいに気をつける】



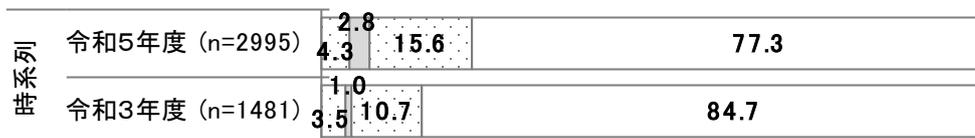
【花や木、野菜、緑のカーテンなどの植物を育てる】



【公園や森、水辺など身近な自然環境とふれあう】



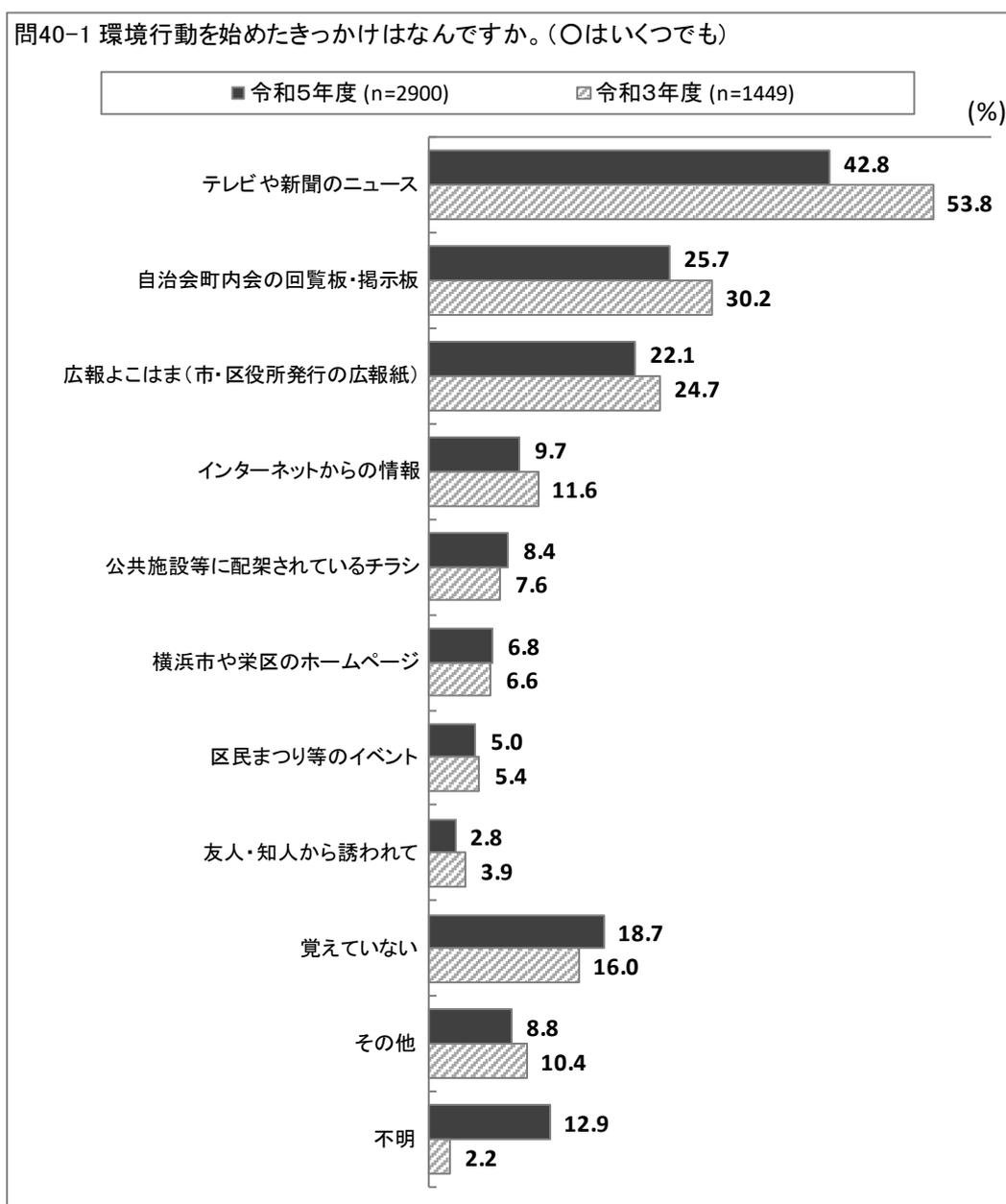
【その他】



(2) 環境行動を始めたきっかけ (問 40-1)

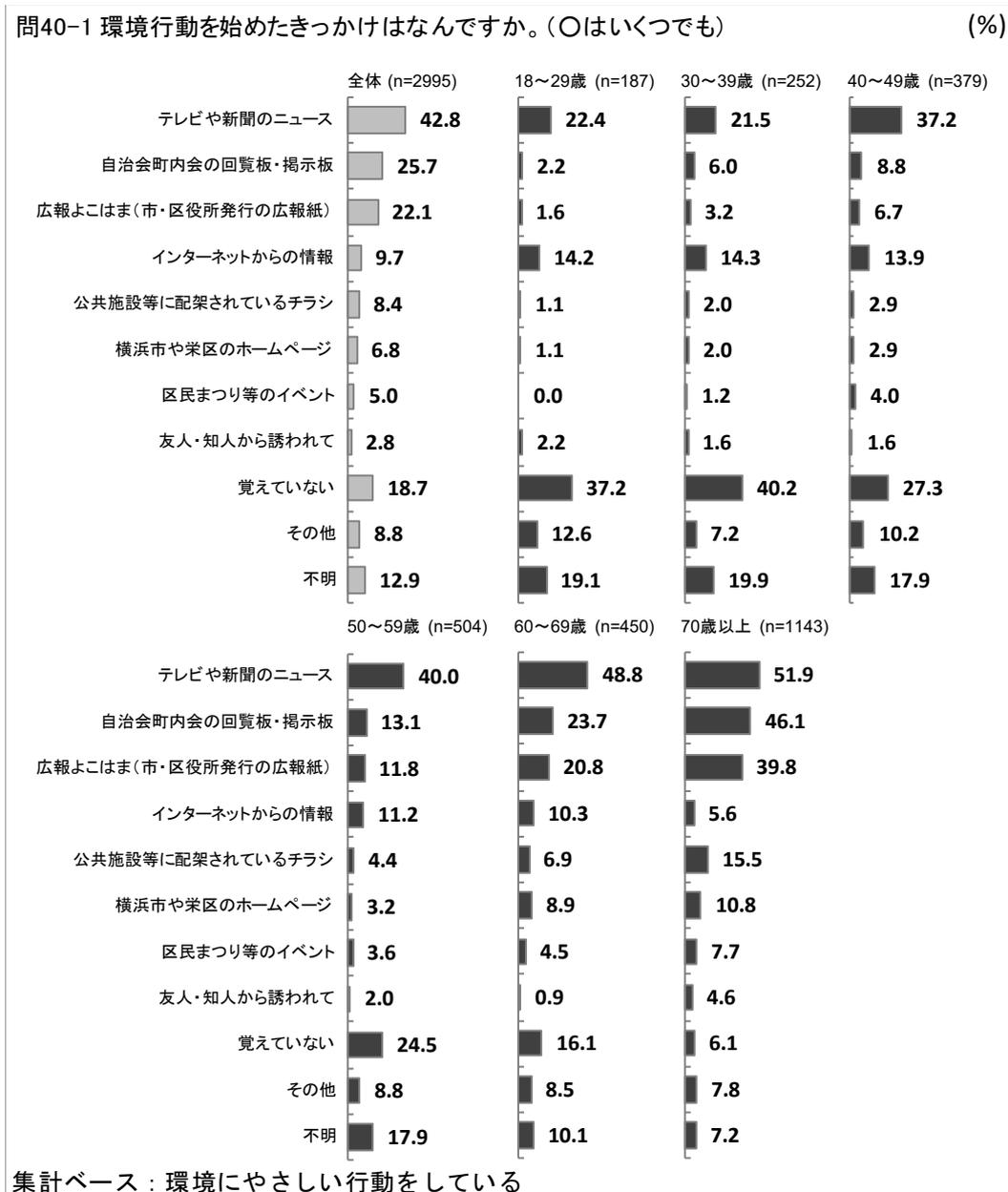
ア 環境行動を始めたきっかけ：全体・時系列

- ・全体では「テレビや新聞のニュース」(42.8%)が最も多く、「自治会町内会の回覧板・掲示板」(25.7%)、「広報よこはま(市・区役所発行の広報紙)」(22.1%)が続く。
- ・前回調査と上位の項目は同様だが、「テレビや新聞のニュース」は前回(53.8%)より11.0ポイント減少している。一方、「自治会町内会の回覧板・掲示板」(4.5ポイント増)、「広報よこはま(市・区役所発行の広報紙)」(2.6ポイント増)は増加している。



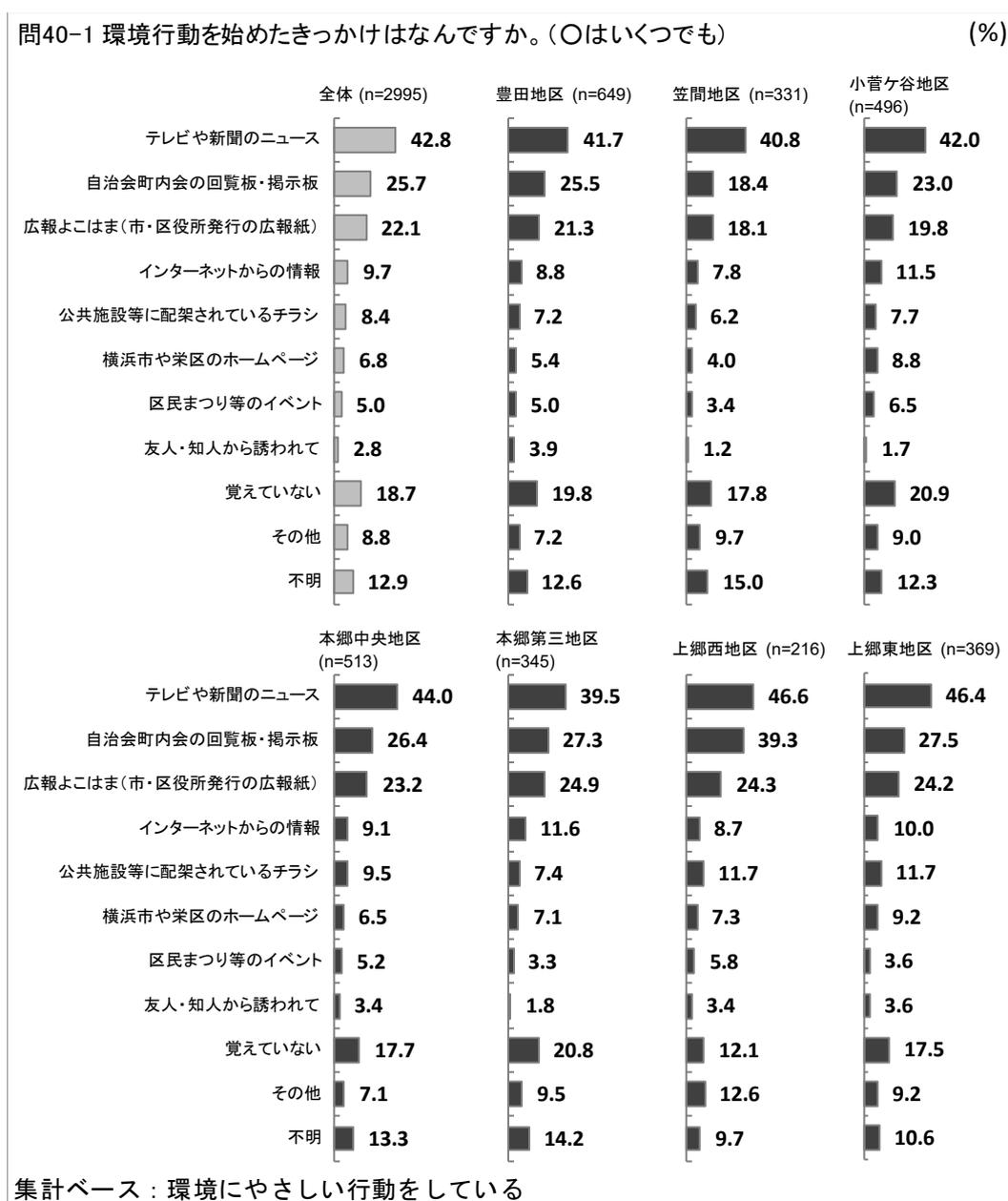
イ 環境行動を始めたきっかけ：年齢別

- ・どの年代も「テレビや新聞のニュース」が最も多く、年代が上がるにつれ割合が多くなる傾向が見られる。
- ・「18～29歳」から「40～49歳」では、「自治会町内会の回覧板・掲示板」や「広報よこはま（市・区役所発行の広報誌）」よりも「インターネットからの情報」の方が多く、「50～59歳」から「70歳以上」と傾向が異なっている。



ウ 環境行動を始めたきっかけ：居住地区別

- ・いずれの居住地区も「テレビや新聞のニュース」が最も多く、上位の項目は全体と同じである。
- ・「上郷西地区」では「自治会町内会の回覧板・掲示板」（39.3%）が全体より13.6ポイント多い。また「笠間地区」では「自治会町内会の回覧板・掲示板」（18.4%）が全体より7.3ポイント少ない。



資料編

1. 地区ごとの主な回答結果
2. 調査票

資料1 地区ごとの主な回答結果



豊田地区： 飯島町、金井町、田谷町、長尾台町、長沼町、本郷台一丁目～五丁目

笠間地区： 笠間一丁目～五丁目

小菅ヶ谷地区： 小菅ヶ谷町、小菅ヶ谷一丁目～四丁目、小山台一丁目～二丁目

本郷中央地区： 桂台北、桂台中、桂台西一丁目～二丁目、桂台東、桂台南一丁目～二丁目、桂町、公田町

本郷第三地区： 鍛冶ヶ谷町、鍛冶ヶ谷一丁目～二丁目、中野町、柏陽、元大橋一丁目～二丁目、若竹町

上郷西地区： 犬山町、尾月、上之町、亀井町

上郷東地区： 上郷町、庄戸一丁目～五丁目、長倉町、野七里一丁目～二丁目、東上郷町

※町界で区分しているため、連合町内会のエリアとは一部異なっている部分があります。

各地区の冒頭のコメントは、以下の基準を基本として、ピックアップしています。
(条件にあてはまる場合でも、スペースの関係で割愛した部分もあります)

- ・属性 (F 1～F 7) : 全体より 5 ポイント以上多く、7 地区の 1 位になっているもの。
- ・問 1 : 『満足』が全体より 5 ポイント以上多く、7 地区の 1 位になっているもの。
- ・問 2 : 『感じる』が全体より 5 ポイント以上多く、7 地区の 1 位になっているもの。
- ・問 3 : 各項目で全体より 5 ポイント以上多く、7 地区の 1 位になっているもの。
- ・問 4 : 『住み続けたい』が全体より 5 ポイント以上多いもの。
- ・問 6 : 各項目で『満足』が全体より 10 ポイント以上若しくは 5 ポイント以上多いもの。
- ・問 8 : 各項目で全体より 5 ポイント以上多く、7 地区の 1 位になっているもの。
- ・問 30 : 『立ち話以上』が全体より 10 ポイント以上多いもの (1 位、2 位が該当)。
- ・問 31 : 全体より 5 ポイント以上多いもの (項目がないため記載なし)。
- ・問 32 : 各項目で全体より 5 ポイント以上多く、7 地区の 1 位になっているもの。

【豊田地区】

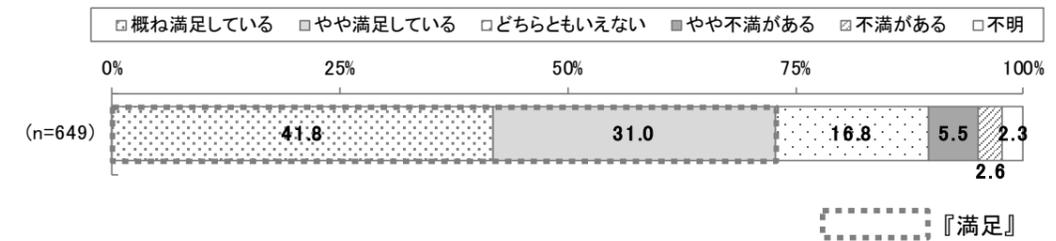
・隣近所とのつき合いは「道で会えばあいさつする程度」（52.2%）が最も多く、7地区で2番目に多い（問30）。

(1) 回答者の属性

居住地区別：回答者の属性		回答数 (n)	%
全体		649	100.0
F 1 性別	男性	259	39.9
	女性	380	58.6
F 2 年齢（統合）	18～29歳	41	6.3
	30～39歳	65	10.0
	40～49歳	79	12.2
	50～59歳	106	16.3
	60～69歳	108	16.6
	70歳以上	239	36.8
F 3 居住期間	5年未満	80	12.3
	5～9年	40	6.2
	10～14年	51	7.9
	15～19年	42	6.5
	20～29年	106	16.3
	30～39年	120	18.5
	40年以上	202	31.1
	F 4 世帯の家族形態	ひとり暮らし	71
夫婦2人		202	31.1
親と子（2世代）		299	46.1
親と子と孫（3世代）		47	7.2
その他		22	3.4
F 6 住居形態		持家（一戸建て）	383
	持家（マンション・共同住宅）	133	20.5
	借家（一戸建て）	19	2.9
	借家（県営・市営の共同住宅）	9	1.4
	借家（都市再生機構[旧公団]・公社の共同住宅）	33	5.1
	社宅、公務員住宅	2	0.3
	民間アパート、民間賃貸マンション	65	10.0
	その他	4	0.6
	F 7 通勤・通学先	栄区内	71
横浜市内他区		140	21.6
鎌倉市内		26	4.0
神奈川県内（横浜市、鎌倉市を除く）		45	6.9
東京都内		72	11.1
その他		7	1.1
通勤・通学していない		233	35.9

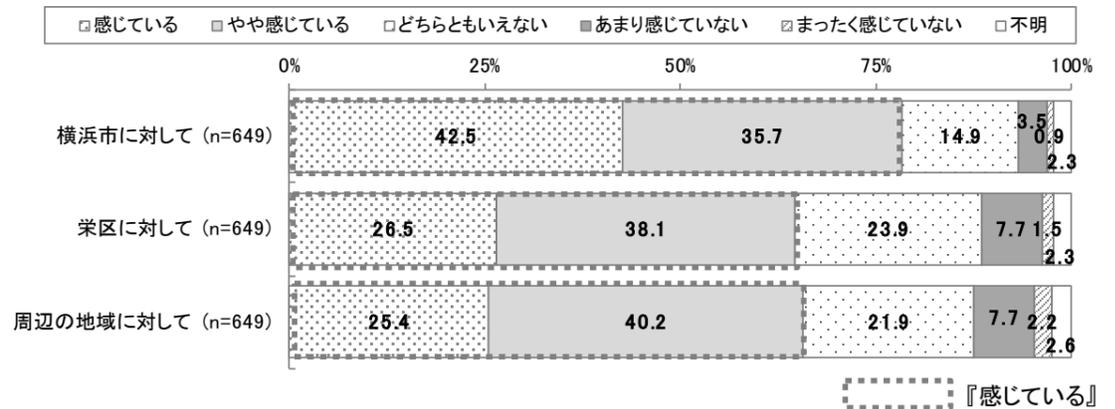
(2) 栄区での生活満足度

問1 栄区での生活に満足していますか。



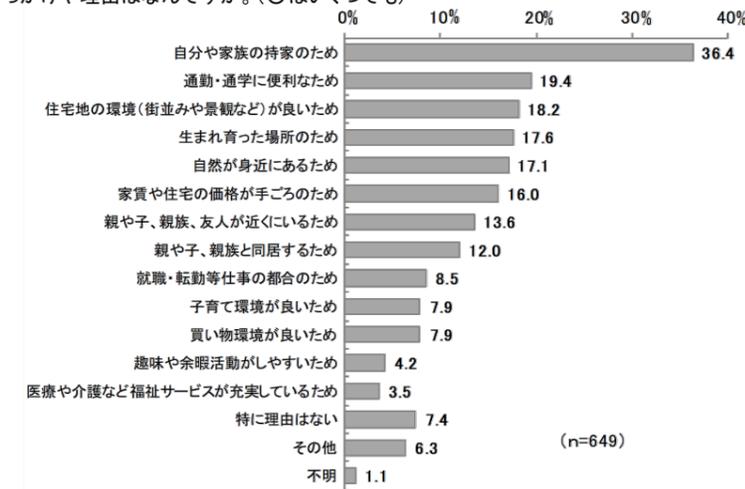
(3) 横浜市、栄区、周辺地域への愛着や誇り

問2 横浜市、栄区、周辺の地域に対して、愛着や誇りを感じていますか。



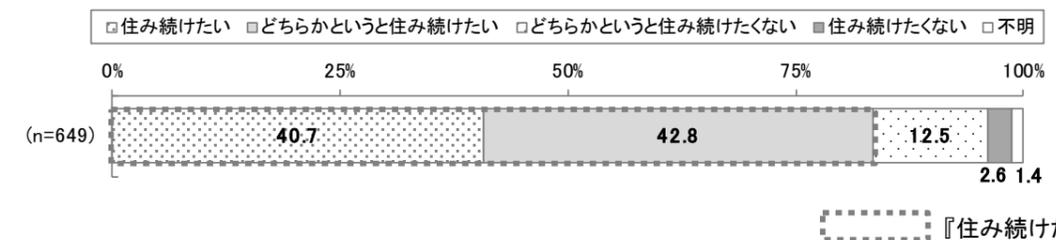
(4) 栄区に住んだきっかけ・理由

問3 栄区に住んだきっかけや理由はなんですか。(〇はいくつでも)



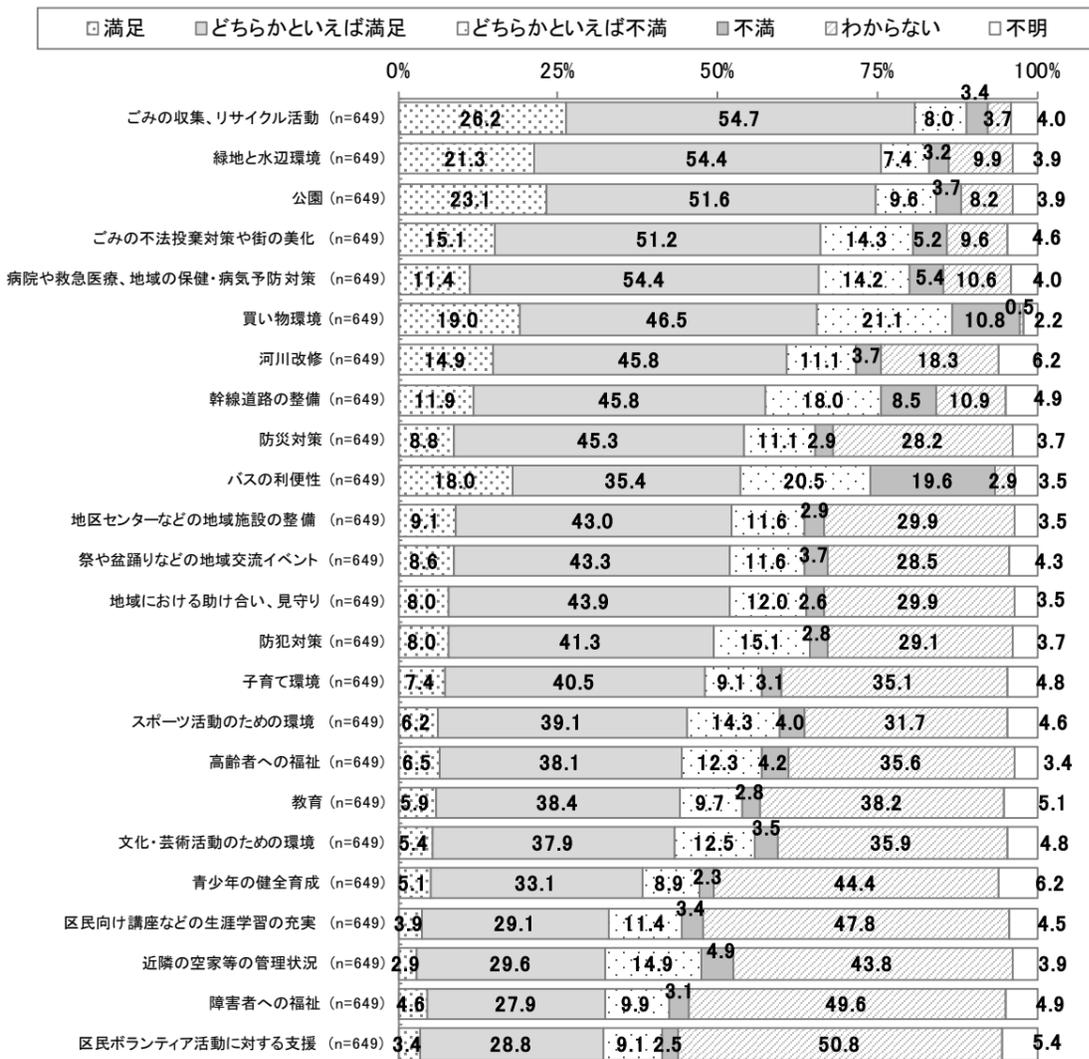
(5) 定住意向

問4 あなたは、現在お住まいの地域に住み続けたいですか。



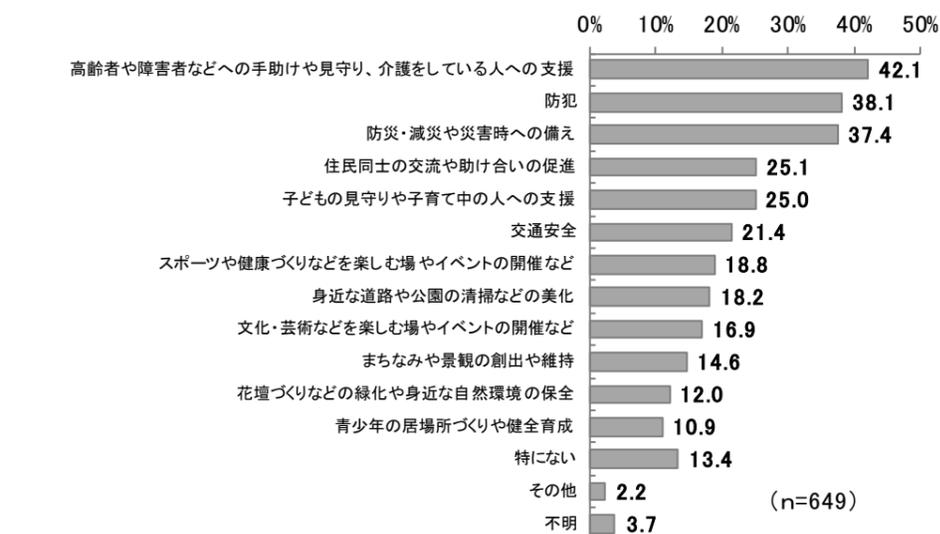
(6) 生活環境への満足度

問6 現在の生活環境について、どの程度満足していますか。



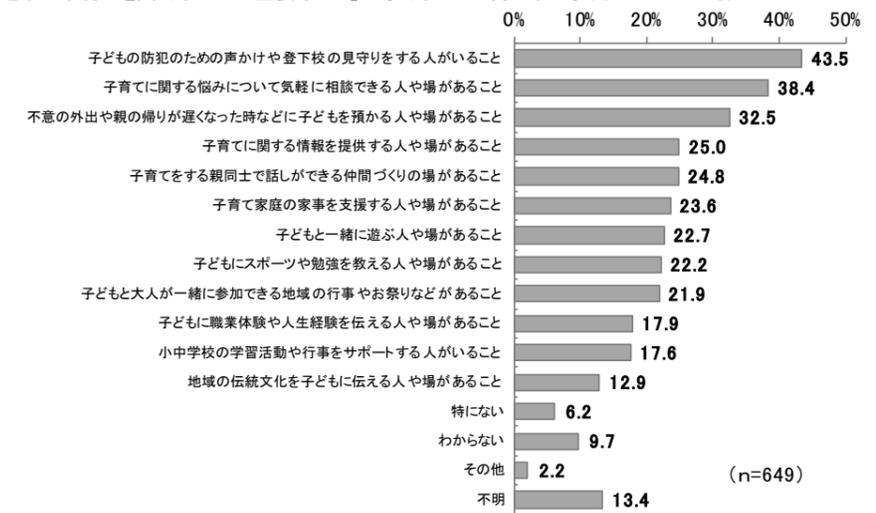
(7) 取り組むべき課題

問8 お住まいの地域で取り組むべき課題にはどのようなものがあると思いますか。(〇はいくつでも)



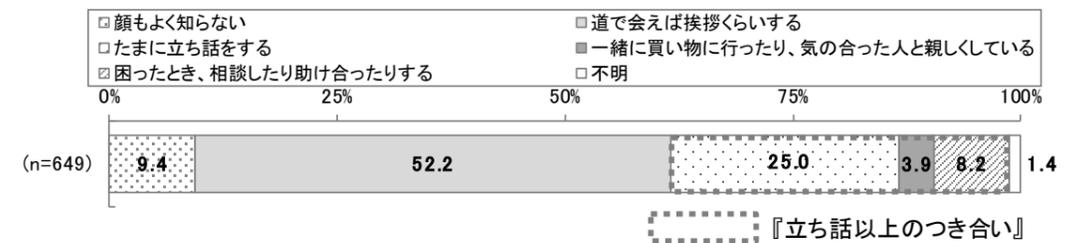
(8) 地域で子育てを支えるために重要と思うこと

問23 あなたが「地域で子育てを支えるための重要なこと」と考えることは何ですか。(〇はいくつでも)



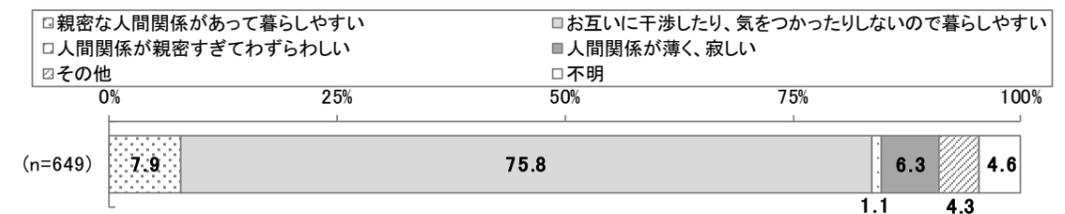
(9) 隣近所とのつき合い方

問30 あなたは、隣近所とどのようなつき合い方をしていますか。



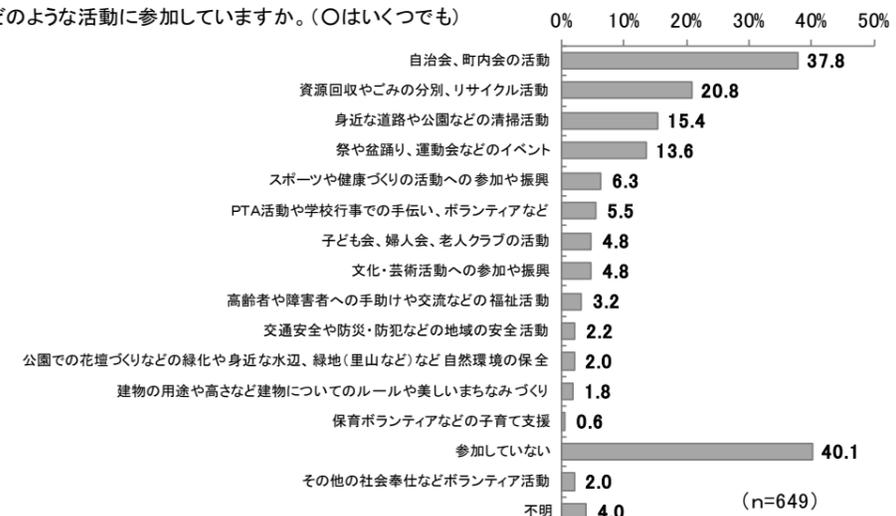
(10) 隣近所とのつき合いについて感じていること

問31 隣近所とのつき合いについてどのように感じていますか。



(11) 地域の活動への参加

問32 どのような活動に参加していますか。(〇はいくつでも)



【笠間地区】

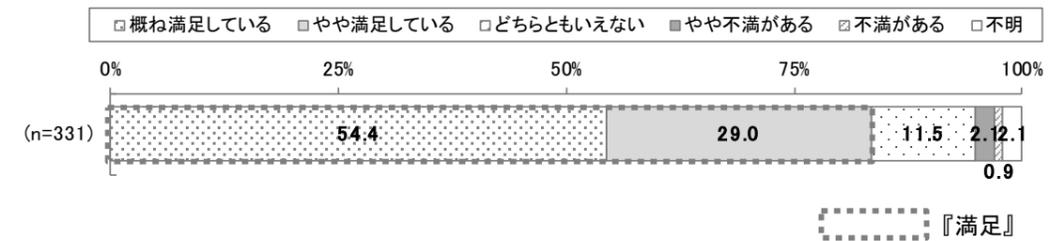
- ・居住形態の「持家（マンション・共同住宅）」（63.1%）が7地区で最も多い（F6）。
- ・栄区に住んだきっかけ・理由は「通勤・通学に便利のため」（43.5%）、「買い物環境が良いため」（29.6%）が7地区で最も多い（問3）。
- ・定住意向は『住み続けたい』（93.7%）が7地区で最も多い（問4）。
- ・生活環境のうち「買い物環境」、「バスの利便性」、「防犯対策」について『満足』が7地区で最も多い（問6）。

(1) 回答者の属性

居住地区別：回答者の属性		回答数 (n)	%
全体		331	100.0
F 1 性別	男性	122	36.9
	女性	196	59.2
F 2 年齢（統合）	18～29歳	25	7.6
	30～39歳	32	9.7
	40～49歳	51	15.4
	50～59歳	54	16.3
	60～69歳	61	18.4
	70歳以上	99	29.9
F 3 居住期間	5年未満	40	12.1
	5～9年	22	6.6
	10～14年	32	9.7
	15～19年	47	14.2
	20～29年	62	18.7
	30～39年	45	13.6
F 4 世帯の家族形態	40年以上	73	22.1
	ひとり暮らし	53	16.0
	夫婦2人	101	30.5
	親と子（2世代）	150	45.3
	親と子と孫（3世代）	5	1.5
F 6 住居形態	その他	13	3.9
	持家（一戸建て）	62	18.7
	持家（マンション・共同住宅）	209	63.1
	借家（一戸建て）	3	0.9
	借家（県営・市営の共同住宅）	0	0.0
	借家（都市再生機構[旧公団]・公社の共同住宅）	1	0.3
	社宅、公務員住宅	11	3.3
	民間アパート、民間賃貸マンション	38	11.5
	その他	7	2.1
	F 7 通勤・通学先	栄区内	24
横浜市内他区	32	9.7	
鎌倉市内	34	10.3	
神奈川県内（横浜市、鎌倉市を除く）	33	10.0	
東京都内	58	17.5	
その他	3	0.9	
通勤・通学していない	126	38.1	

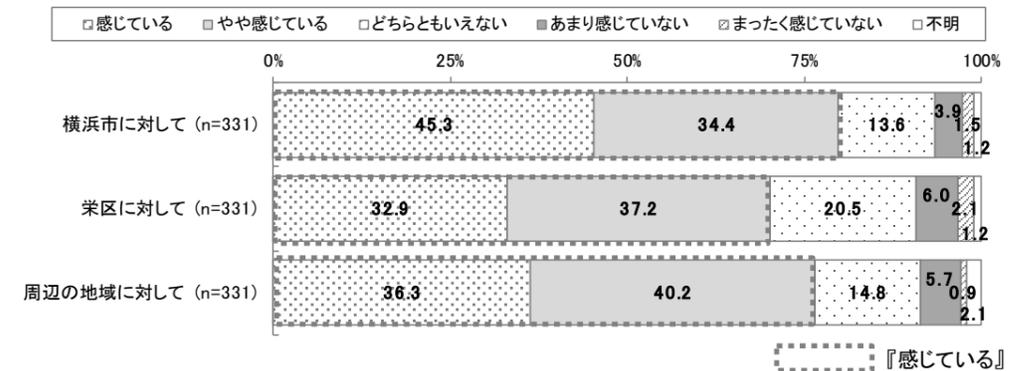
(2) 栄区での生活満足度

問1 栄区での生活に満足していますか。



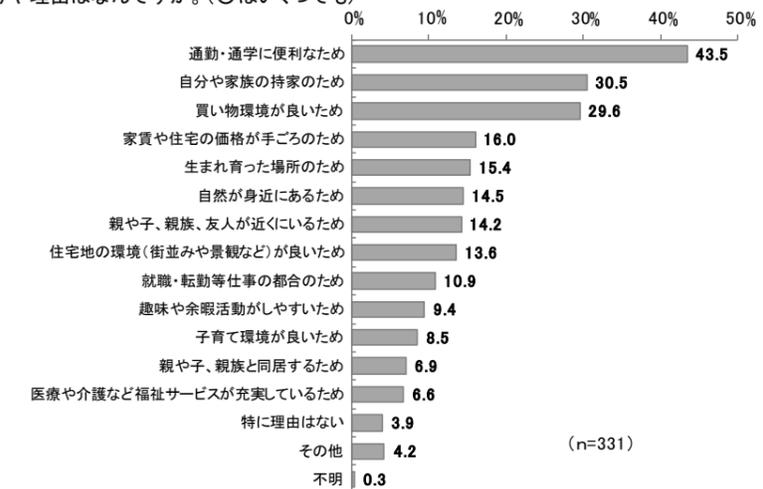
(3) 横浜市、栄区、周辺地域への愛着や誇り

問2 横浜市、栄区、周辺の地域に対して、愛着や誇りを感じていますか。



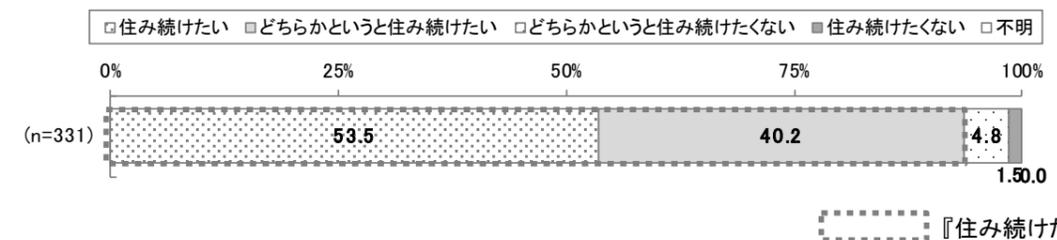
(4) 栄区に住んだきっかけ・理由

問3 栄区に住んだきっかけや理由はなんですか。（〇はいくつでも）



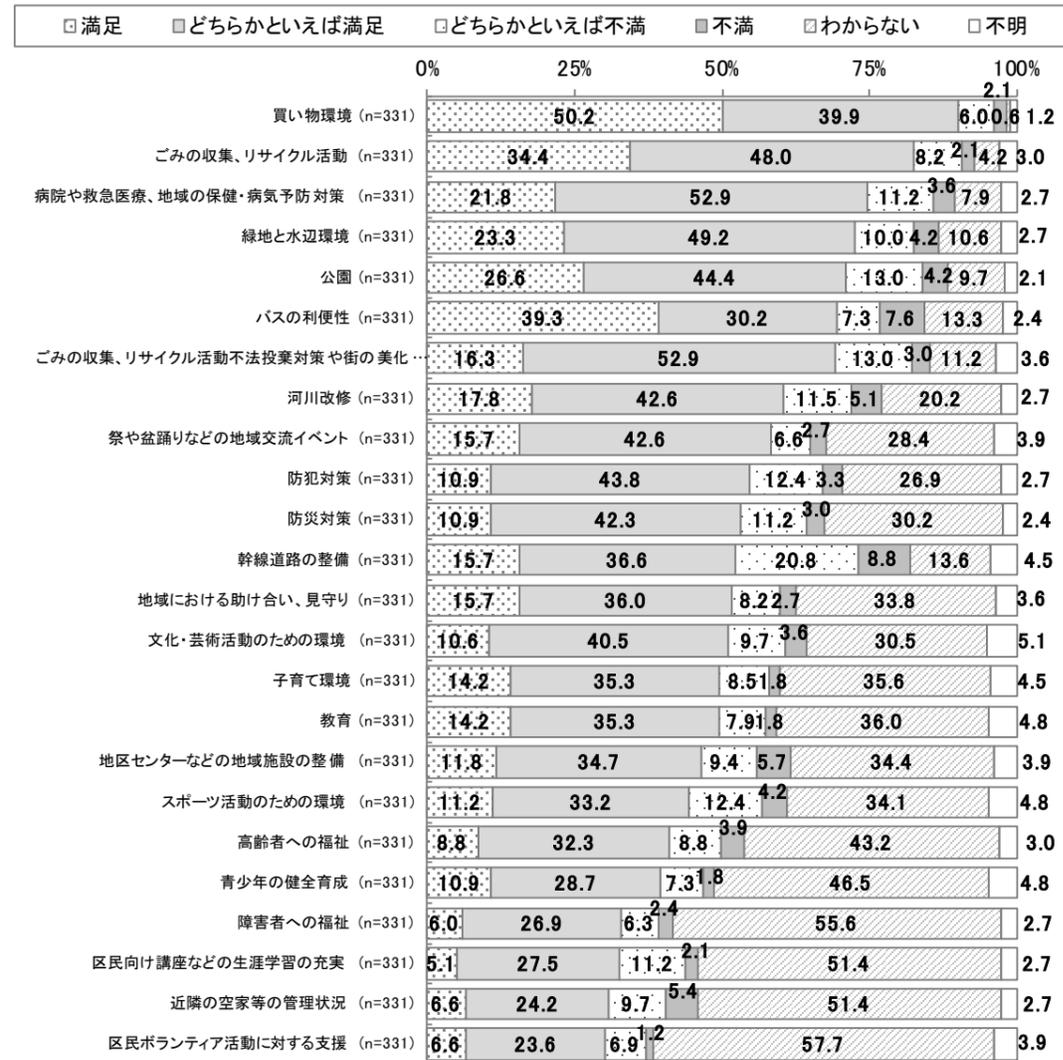
(5) 定住意向

問4 あなたは、現在お住まいの地域に住み続けたいですか。



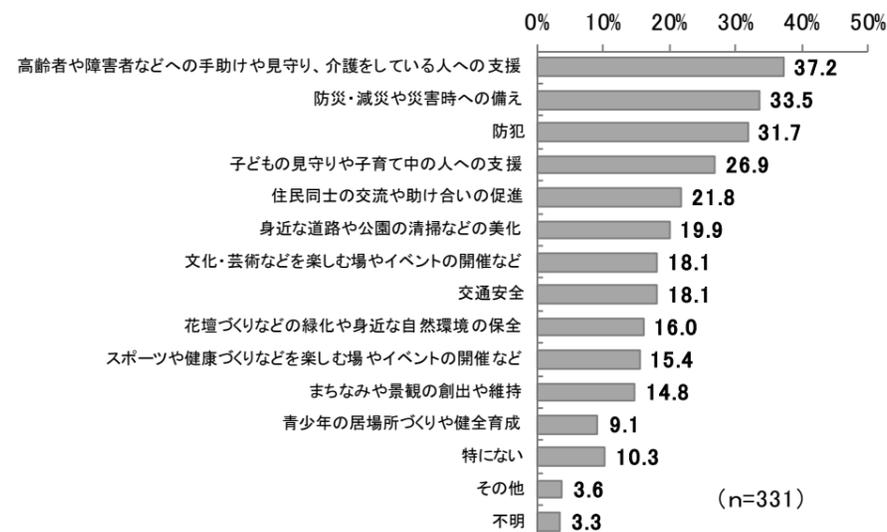
(6) 生活環境への満足度

問6 現在の生活環境について、どの程度満足していますか。



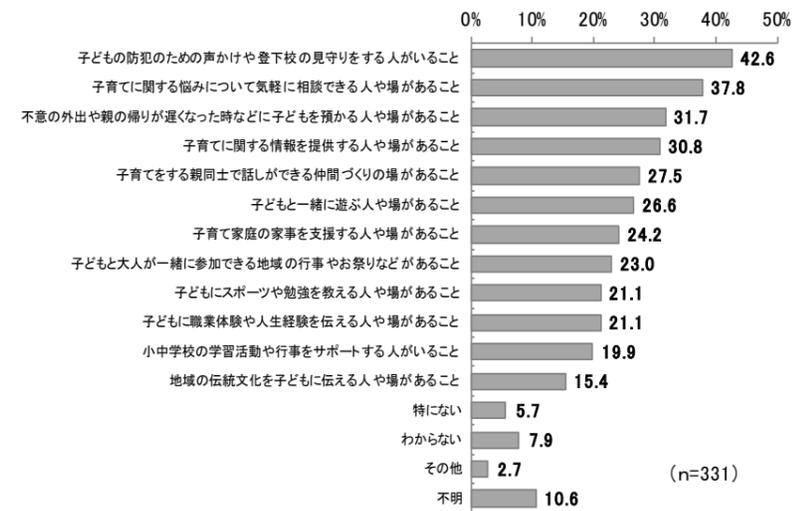
(7) 取り組むべき課題

問8 お住まいの地域で取り組むべき課題にはどのようなものがあると思いますか。(〇はいくつでも)



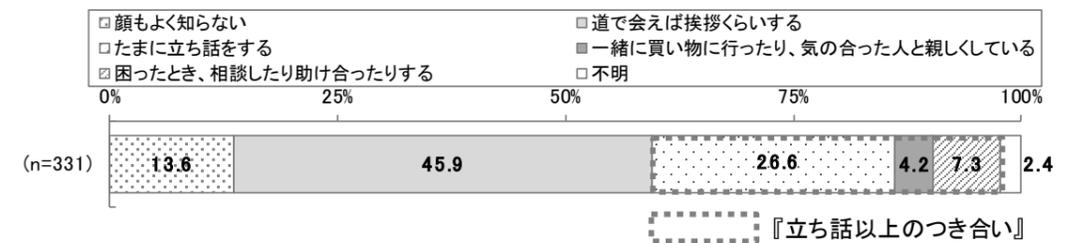
(8) 地域で子育てを支えるために重要と思うこと

問23 あなたが「地域で子育てを支えるための重要なこと」と考えることは何ですか。(〇はいくつでも)



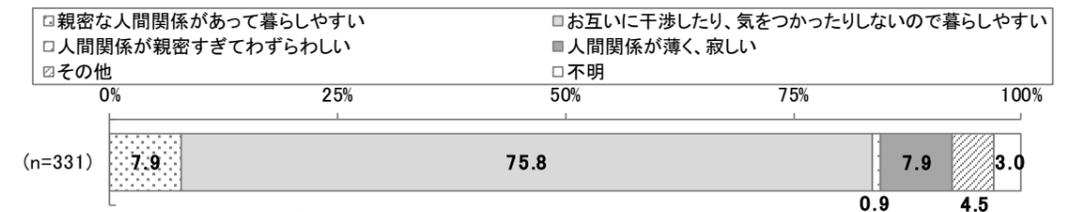
(9) 隣近所とのつき合い方

問30 あなたは、隣近所とどのようなつき合い方をしていますか。



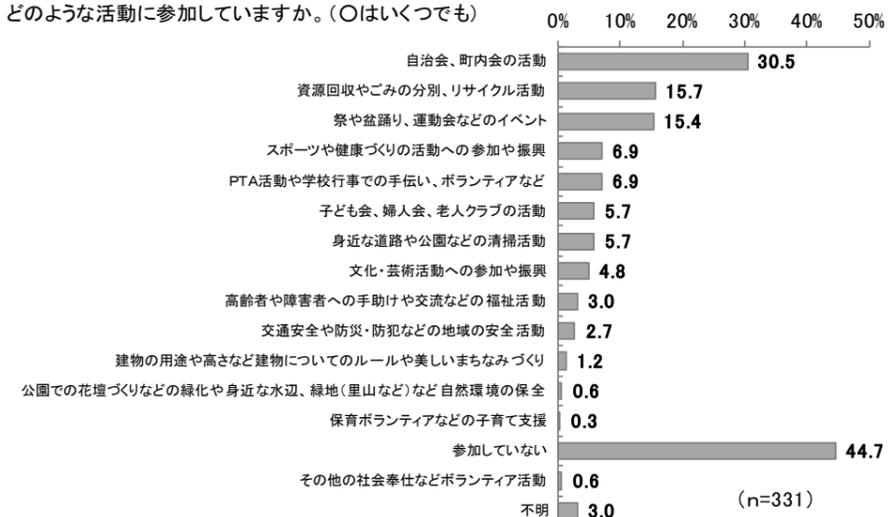
(10) 隣近所とのつき合いについて感じていること

問31 隣近所とのつき合いについてどのように感じていますか。



(11) 地域の活動への参加

問32 どのような活動に参加していますか。(〇はいくつでも)



【小菅ヶ谷地区】

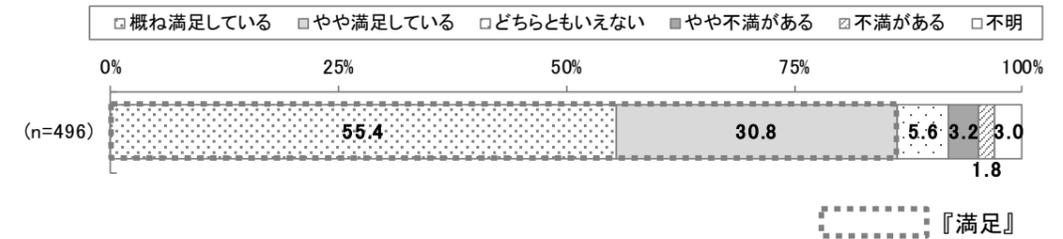
- ・栄区での生活満足度の『満足』が7地区で最も多い（86.2%）（問1）。
- ・栄区に対して愛着や誇りを『感じている』（75.8%）と、周辺の地域に対して愛着や誇りを『感じている』（78.0%）が7地区で最も多い（問2）。
- ・生活環境については、「河川改修」、「文化・芸術活動のための環境」、「祭や盆踊りなどの地域交流イベント」について、『満足』が7地区で最も多い（問6）。

（1）回答者の属性

居住地区別：回答者の属性		回答数 (n)	%
全体		496	100.0
F 1 性別	男性	187	37.7
	女性	288	58.1
F 2 年齢（統合）	18～29歳	42	8.5
	30～39歳	52	10.5
	40～49歳	75	15.1
	50～59歳	95	19.2
	60～69歳	69	13.9
	70歳以上	152	30.6
F 3 居住期間	5年未満	89	17.9
	5～9年	32	6.5
	10～14年	39	7.9
	15～19年	67	13.5
	20～29年	79	15.9
	30～39年	63	12.7
	40年以上	116	23.4
F 4 世帯の家族形態	ひとり暮らし	58	11.7
	夫婦2人	159	32.1
	親と子（2世代）	224	45.2
	親と子と孫（3世代）	24	4.8
	その他	17	3.4
F 6 住居形態	持家（一戸建て）	188	37.9
	持家（マンション・共同住宅）	171	34.5
	借家（一戸建て）	6	1.2
	借家（県営・市営の共同住宅）	27	5.4
	借家（都市再生機構[旧公団]・公社の共同住宅）	27	5.4
	社宅、公務員住宅	1	0.2
	民間アパート、民間賃貸マンション	71	14.3
	その他	3	0.6
F 7 通勤・通学先	栄区内	53	10.7
	横浜市内他区	104	21.0
	鎌倉市内	25	5.0
	神奈川県内（横浜市、鎌倉市を除く）	36	7.3
	東京都内	63	12.7
	その他	5	1.0
	通勤・通学していない	161	32.5

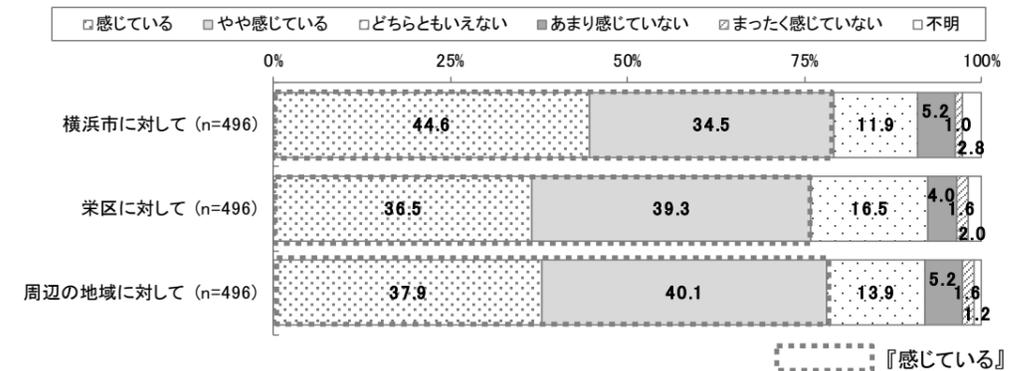
（2）栄区での生活満足度

問1 栄区での生活に満足していますか。



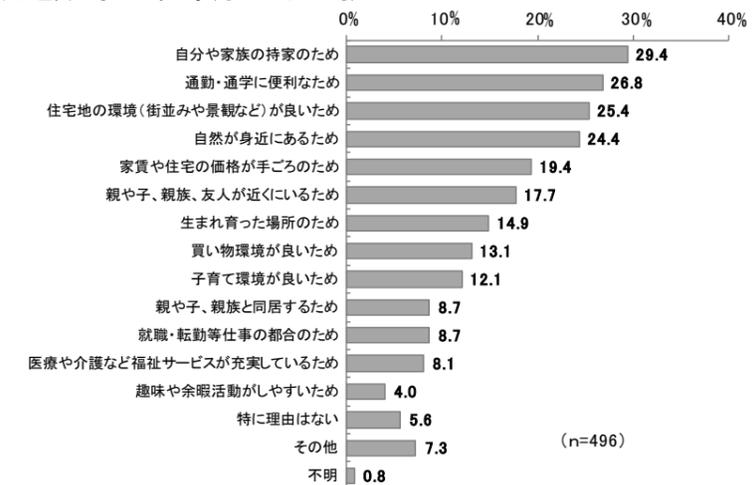
（3）横浜市、栄区、周辺地域への愛着や誇り

問2 横浜市、栄区、周辺の地域に対して、愛着や誇りを感じていますか。



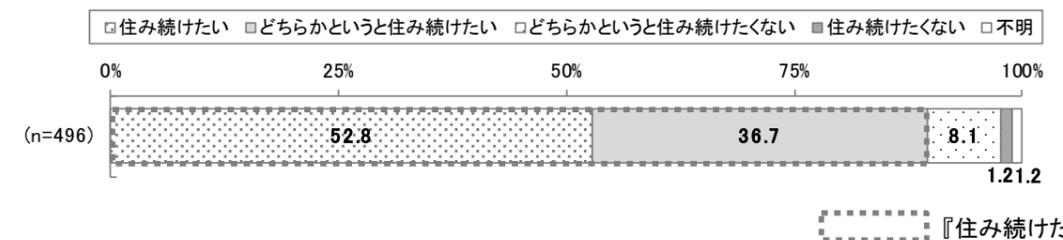
（4）栄区に住んだきっかけ・理由

問3 栄区に住んだきっかけや理由はなんですか。（〇はいくつでも）



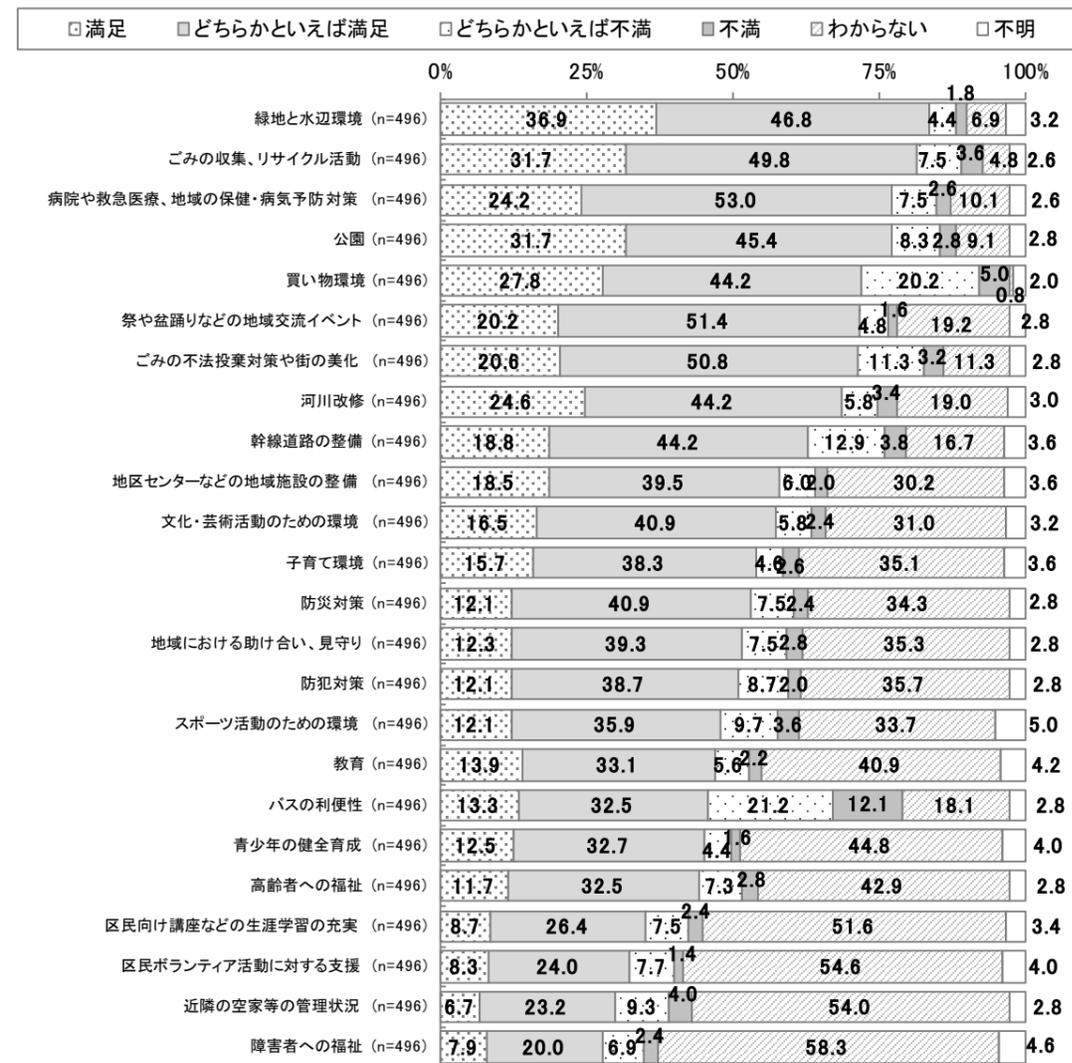
（5）定住意向

問4 あなたは、現在お住まいの地域に住み続けたいですか。



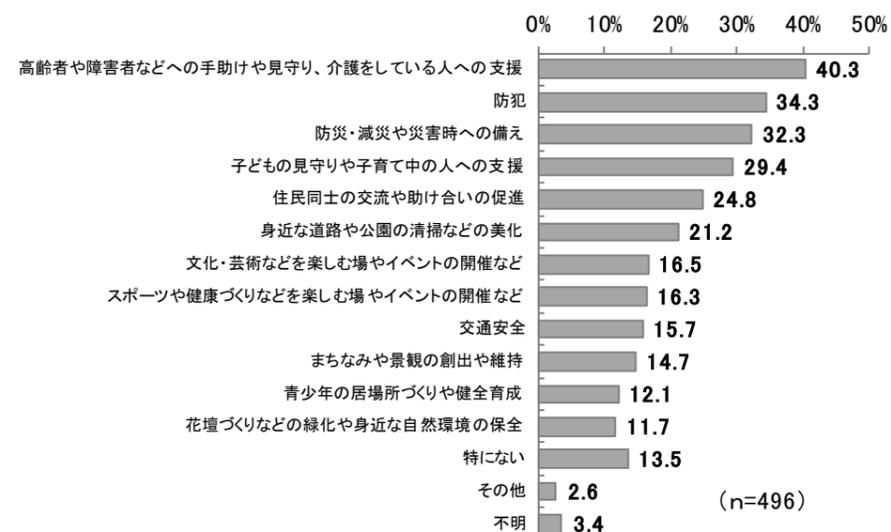
(6) 生活環境への満足度

問6 現在の生活環境について、どの程度満足していますか。



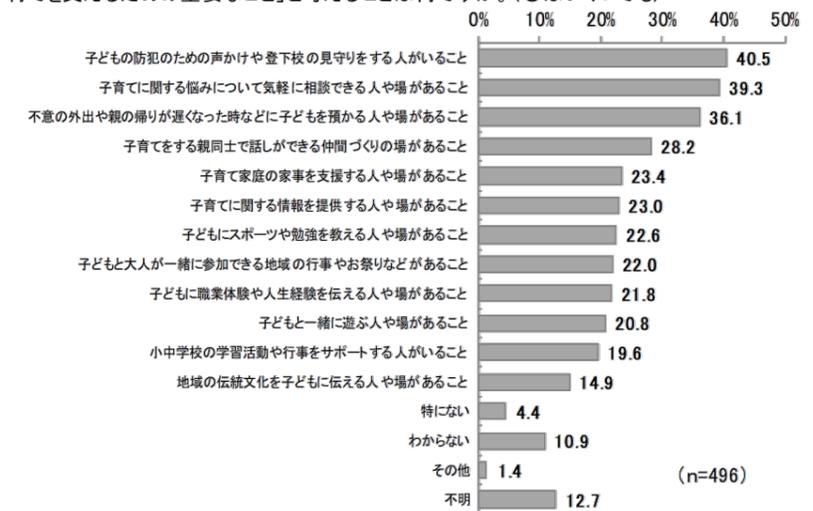
(7) 取り組むべき課題

問8 お住まいの地域で取り組むべき課題にはどのようなものがあると思いますか。(〇はいくつでも)



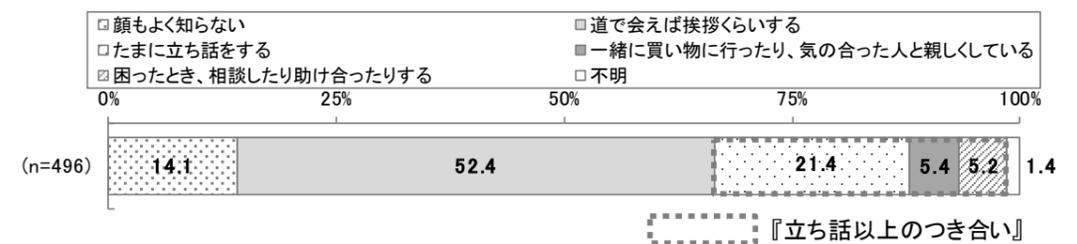
(8) 地域で子育てを支えるために重要と思うこと

問23 あなたが「地域で子育てを支えるための重要なこと」と考えることは何ですか。(〇はいくつでも)



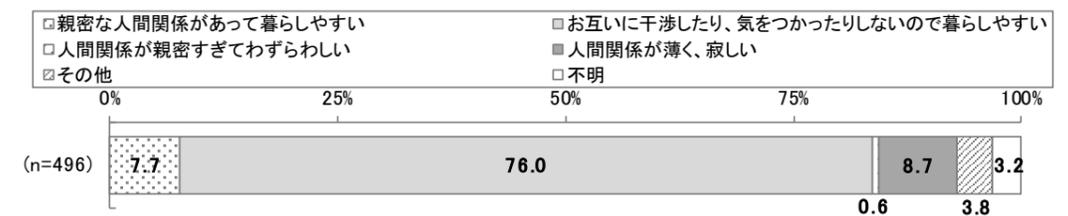
(9) 隣近所とのつき合い方

問30 あなたは、隣近所とどのようなつき合い方をしていますか。



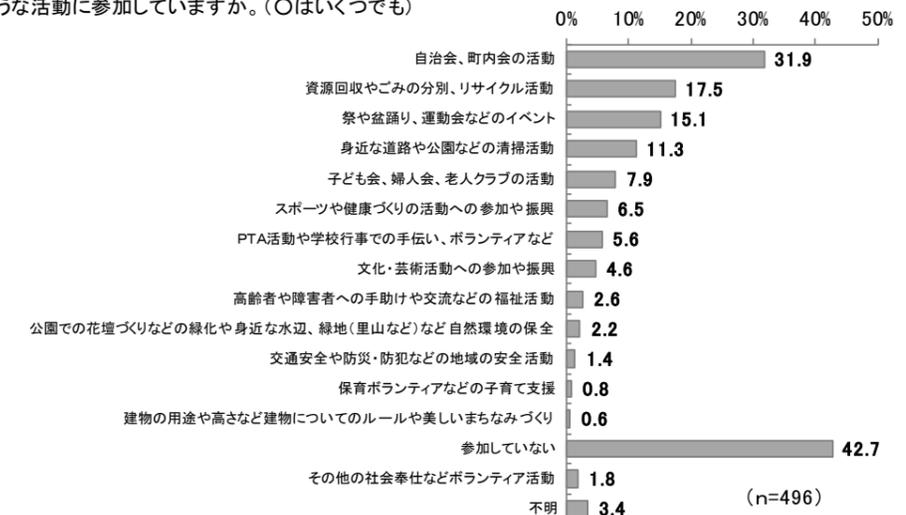
(10) 隣近所とのつき合いについて感じていること

問31 隣近所とのつき合いについてどのように感じていますか。



(11) 地域の活動への参加

問32 どのような活動に参加していますか。(〇はいくつでも)



【本郷中央地区】

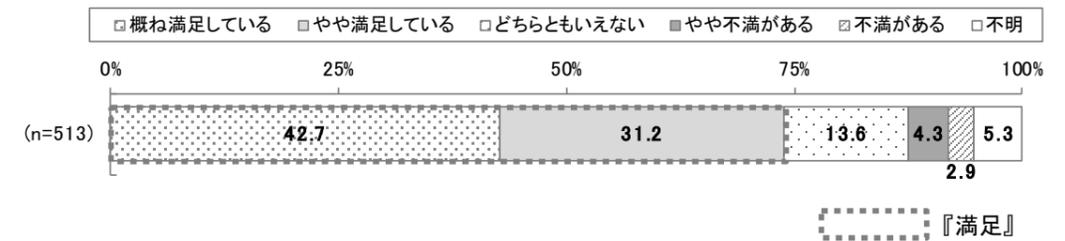
- ・栄区に住んだきっかけ・理由として、「住宅地の環境（街並みや景観など）が良いため」（27.9%）が7地区で最も多い（問3）。
- ・生活環境について、「ごみの不法投棄対策や街の美化」、「文化・芸術活動のための環境」、「高齢者への福祉」、「障害者への福祉」の『満足』が全体より5ポイント以上多い（問6）。

(1) 回答者の属性

居住地区別：回答者の属性		回答数 (n)	%	
全体		513	100.0	
F 1 性別	男性	219	42.7	
	女性	276	53.8	
F 2 年齢（統合）	18～29歳	25	4.9	
	30～39歳	37	7.2	
	40～49歳	62	12.1	
	50～59歳	82	16.0	
	60～69歳	65	12.7	
	70歳以上	230	44.8	
	F 3 居住期間	5年未満	40	7.8
5～9年		28	5.5	
10～14年		51	9.9	
15～19年		37	7.2	
20～29年		69	13.5	
30～39年		85	16.6	
40年以上		193	37.6	
F 4 世帯の家族形態	ひとり暮らし	73	14.2	
	夫婦2人	173	33.7	
	親と子（2世代）	219	42.7	
	親と子と孫（3世代）	24	4.7	
	その他	13	2.5	
F 6 住居形態	持家（一戸建て）	324	63.2	
	持家（マンション・共同住宅）	94	18.3	
	借家（一戸建て）	8	1.6	
	借家（県営・市営の共同住宅）	7	1.4	
	借家（都市再生機構[旧公団]・公社の共同住宅）	38	7.4	
	社宅、公務員住宅	4	0.8	
	民間アパート、民間賃貸マンション	34	6.6	
	その他	3	0.6	
	F 7 通勤・通学先	栄区内	60	11.7
		横浜市内他区	103	20.1
鎌倉市内		18	3.5	
神奈川県内（横浜市、鎌倉市を除く）		20	3.9	
東京都内		47	9.2	
その他		5	1.0	
通勤・通学していない		217	42.3	

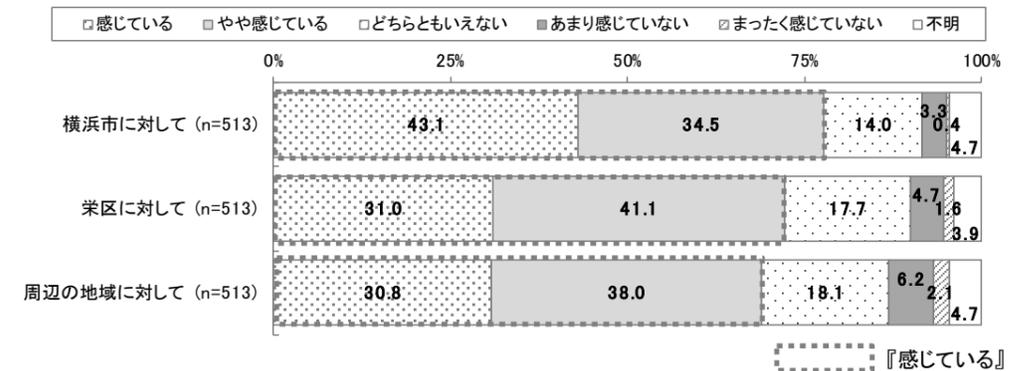
(2) 栄区での生活満足度

問1 栄区での生活に満足していますか。



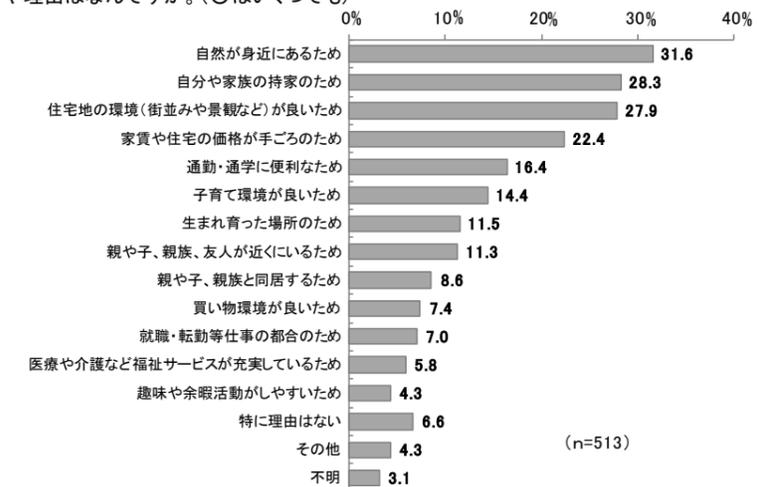
(3) 横浜市、栄区、周辺地域への愛着や誇り

問2 横浜市、栄区、周辺の地域に対して、愛着や誇りを感じていますか。



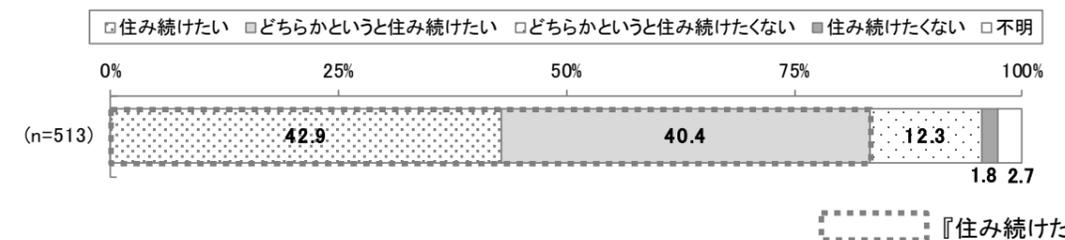
(4) 栄区に住んだきっかけ・理由

問3 栄区に住んだきっかけや理由はなんですか。(〇はいくつでも)



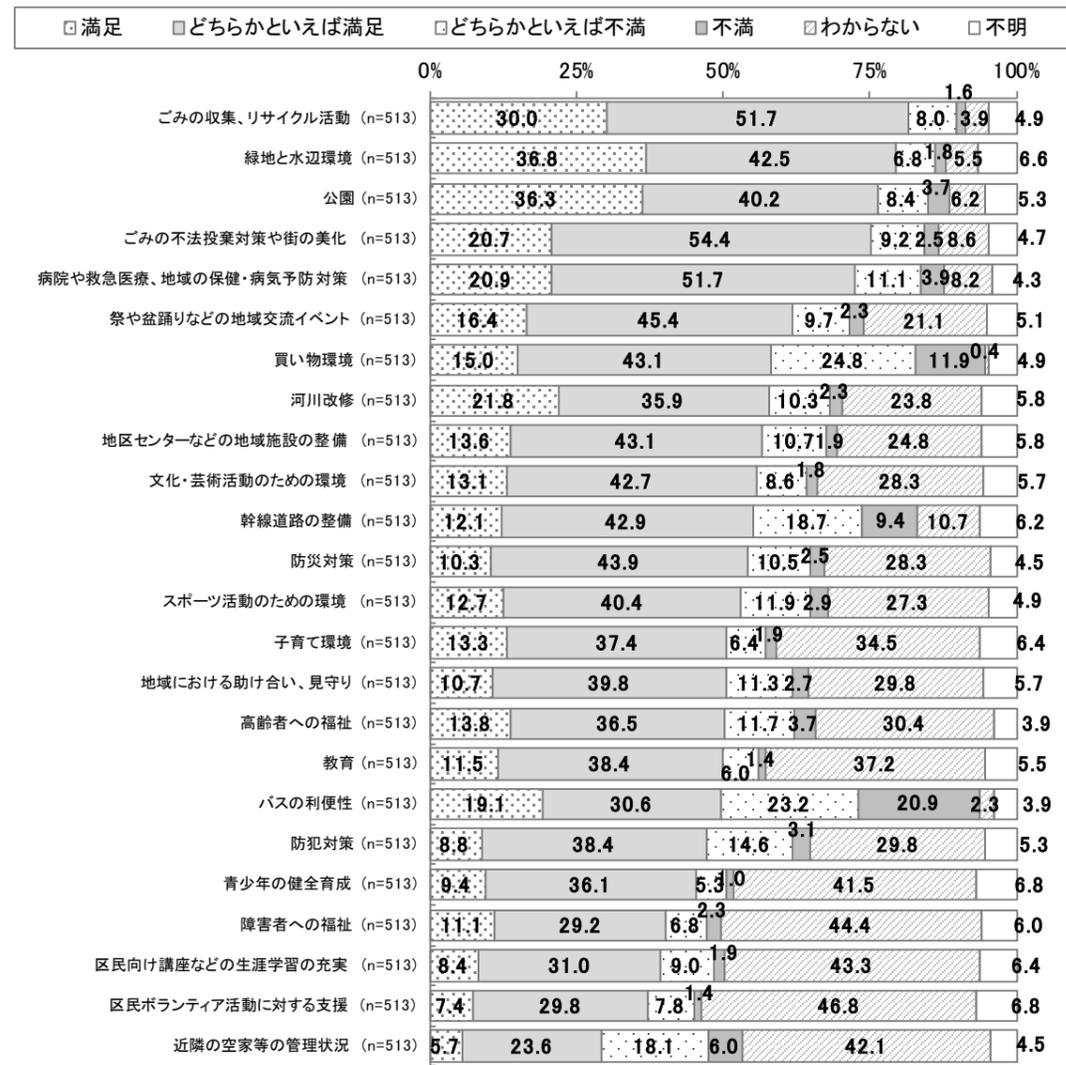
(5) 定住意向

問4 あなたは、現在お住まいの地域に住み続けたいですか。



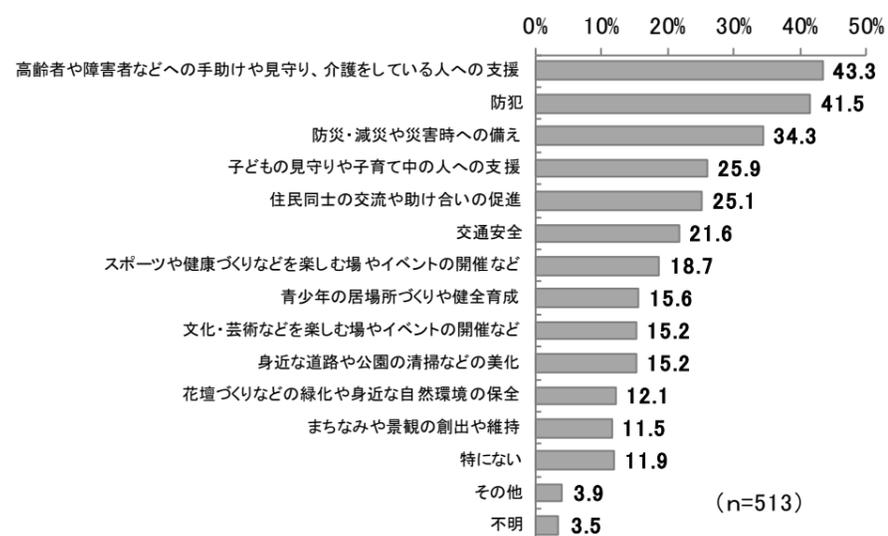
(6) 生活環境への満足度

問6 現在の生活環境について、どの程度満足していますか。



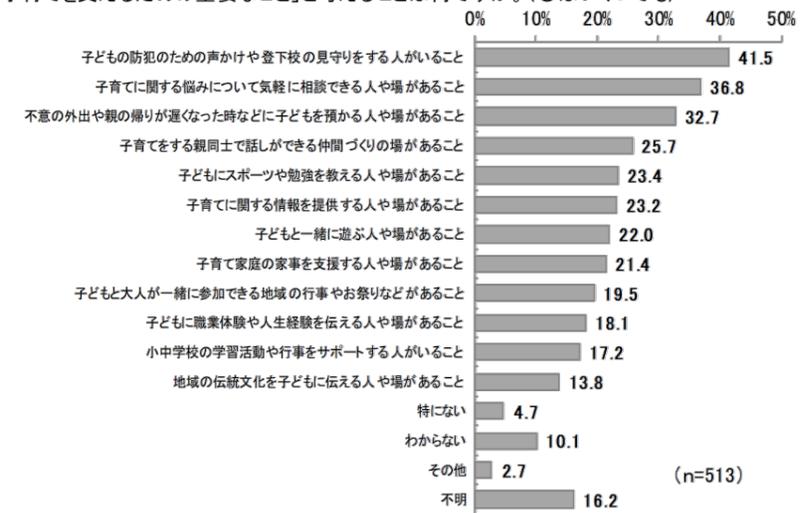
(7) 取り組むべき課題

問8 お住まいの地域で取り組むべき課題にはどのようなものがあると思いますか。(〇はいくつでも)



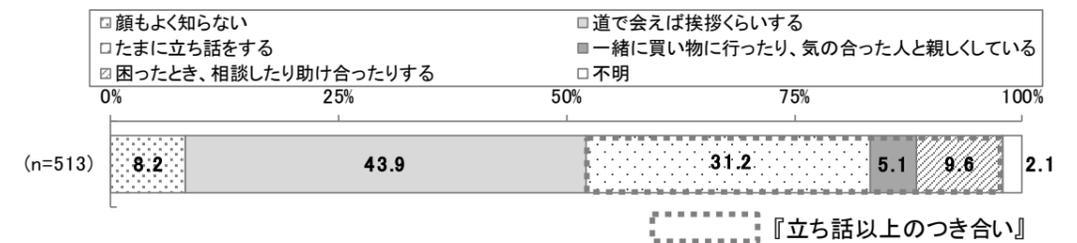
(8) 地域で子育てを支えるために重要と思うこと

問23 あなたが「地域で子育てを支えるための重要なこと」と考えることは何ですか。(〇はいくつでも)



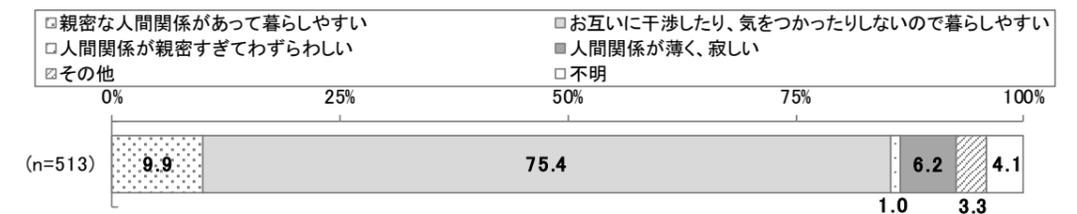
(9) 隣近所とのつき合い方

問30 あなたは、隣近所とどのようなつき合い方をしていますか。



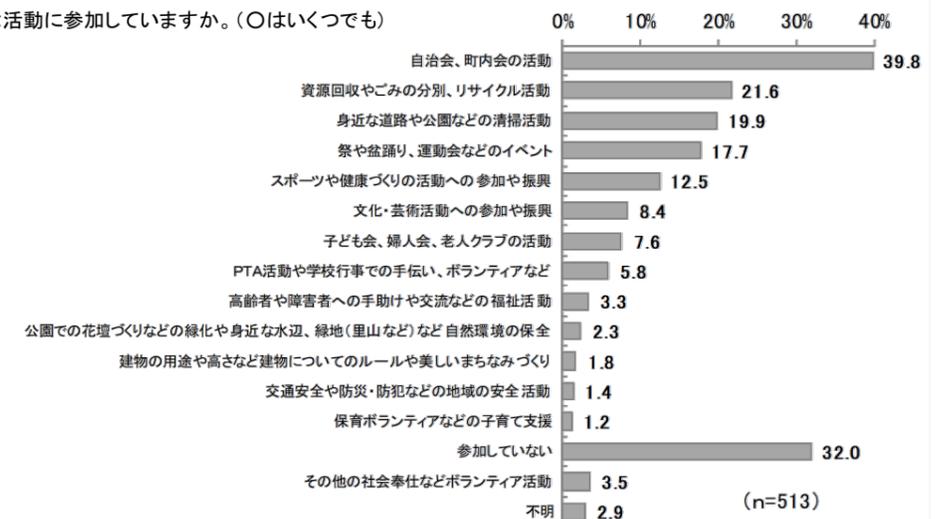
(10) 隣近所とのつき合いについて感じていること

問31 隣近所とのつき合いについてどのように感じていますか。



(11) 地域の活動への参加

問32 どのような活動に参加していますか。(〇はいくつでも)



【本郷第三地区】

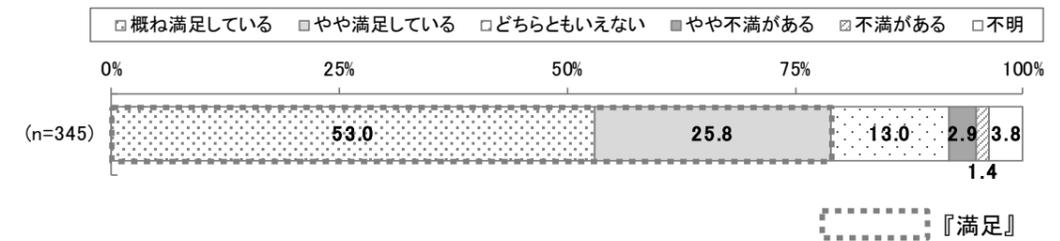
- ・生活環境について「幹線道路の整備」(68.1%)が全体より10ポイント以上『満足』が多く、7地区で最も多い(問6)。
- ・生活環境について「バスの利便性」(64.6%)は全体より10ポイント以上『満足』が多く、7地区で2番目に多い(問6)。
- ・取り組むべき課題として、「防災・減災や災害時への備え」(40.3%)が7地区で最も多い(問8)。

(1) 回答者の属性

居住地区別：回答者の属性		回答数 (n)	%
全体		345	100.0
F 1 性別	男性	124	35.9
	女性	209	60.6
F 2 年齢(統合)	18~29歳	28	8.1
	30~39歳	26	7.5
	40~49歳	41	11.9
	50~59歳	67	19.4
	60~69歳	65	18.8
	70歳以上	112	32.5
F 3 居住期間	5年未満	31	9.0
	5~9年	13	3.8
	10~14年	24	7.0
	15~19年	38	11.0
	20~29年	71	20.6
	30~39年	55	15.9
	40年以上	106	30.7
F 4 世帯の家族形態	ひとり暮らし	40	11.6
	夫婦2人	102	29.6
	親と子(2世代)	166	48.1
	親と子と孫(3世代)	22	6.4
	その他	11	3.2
F 6 住居形態	持家(一戸建て)	230	66.7
	持家(マンション・共同住宅)	55	15.9
	借家(一戸建て)	5	1.4
	借家(県営・市営の共同住宅)	0	0.0
	借家(都市再生機構[旧公団]・公社の共同住宅)	0	0.0
	社宅、公務員住宅	1	0.3
	民間アパート、民間賃貸マンション	49	14.2
	その他	2	0.6
	F 7 通勤・通学先	栄区内	33
横浜市内地区	81	23.5	
鎌倉市内	6	1.7	
神奈川県内(横浜市、鎌倉市を除く)	19	5.5	
東京都内	38	11.0	
その他	4	1.2	
通勤・通学していない	135	39.1	

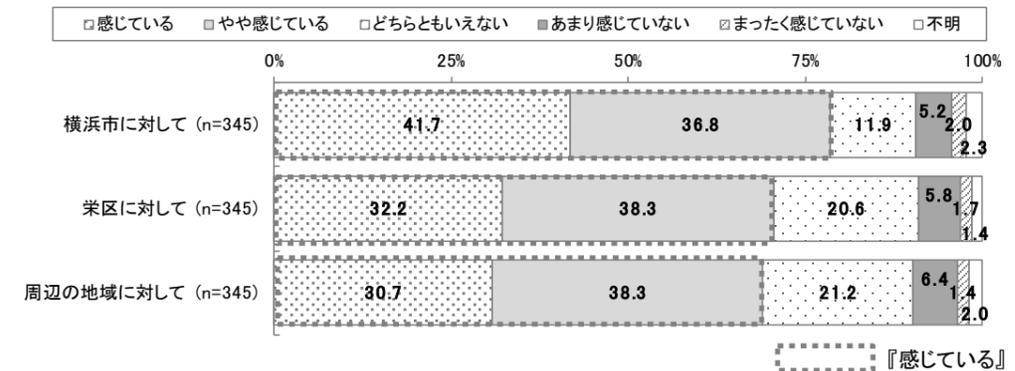
(2) 栄区での生活満足度

問1 栄区での生活に満足していますか。



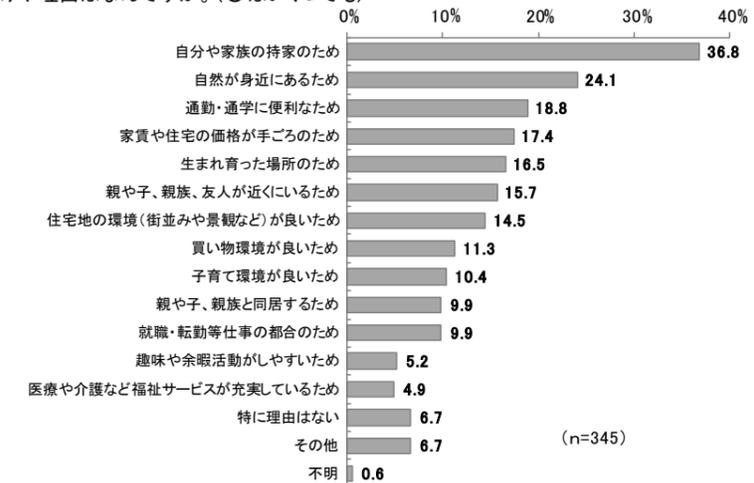
(3) 横浜市、栄区、周辺地域への愛着や誇り

問2 横浜市、栄区、周辺の地域に対して、愛着や誇りを感じていますか。



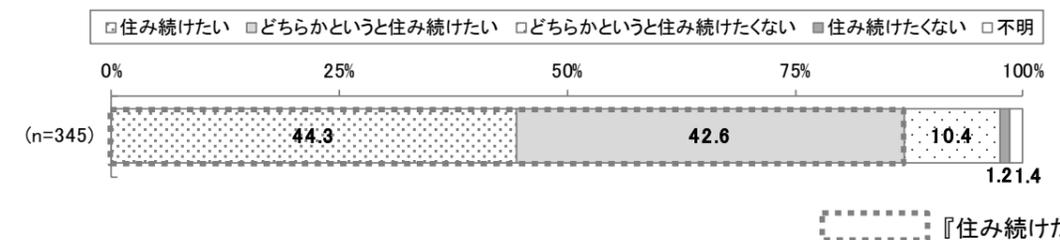
(4) 栄区に住んだきっかけ・理由

問3 栄区に住んだきっかけや理由はなんですか。(〇はいくつでも)



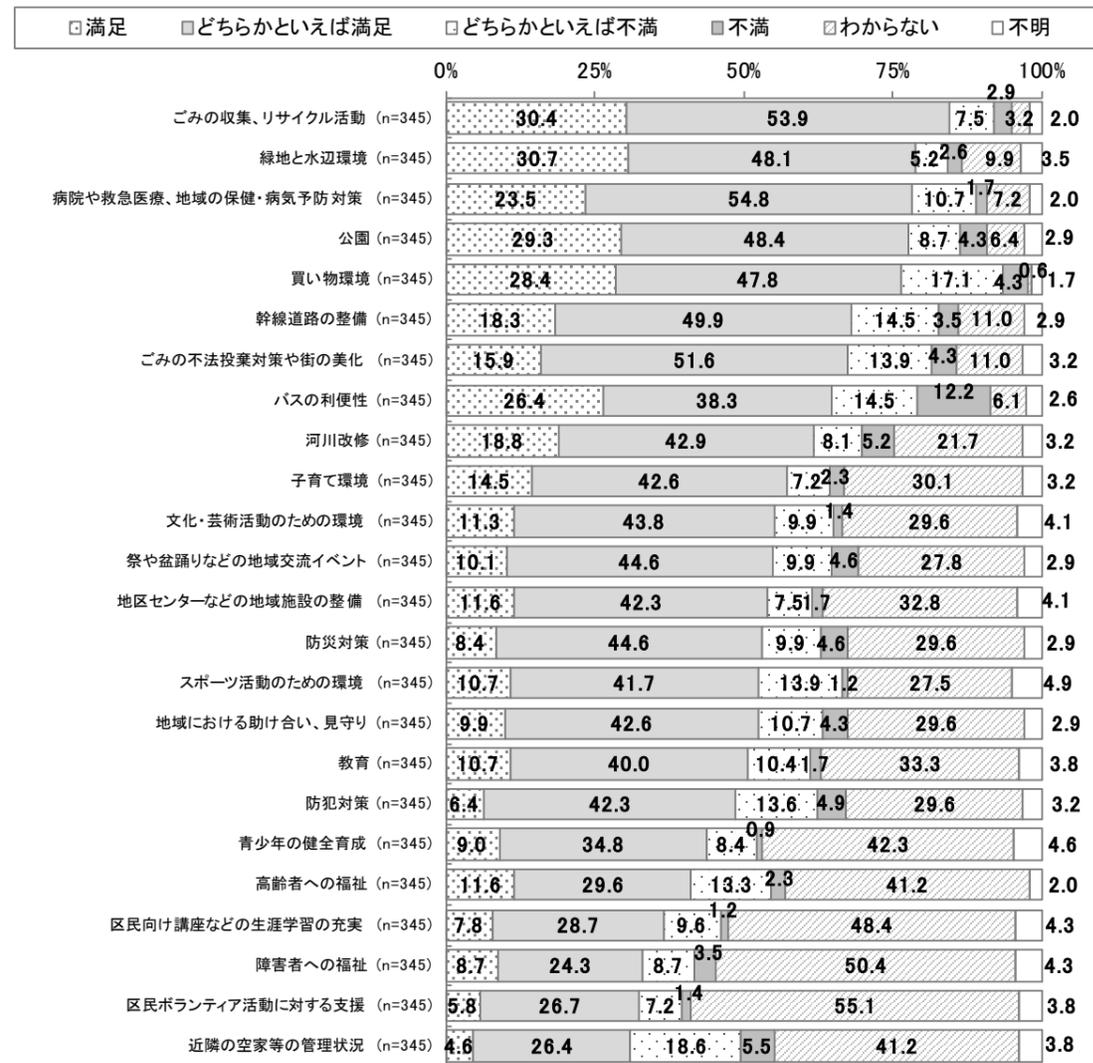
(5) 定住意向

問4 あなたは、現在お住まいの地域に住み続けたいですか。



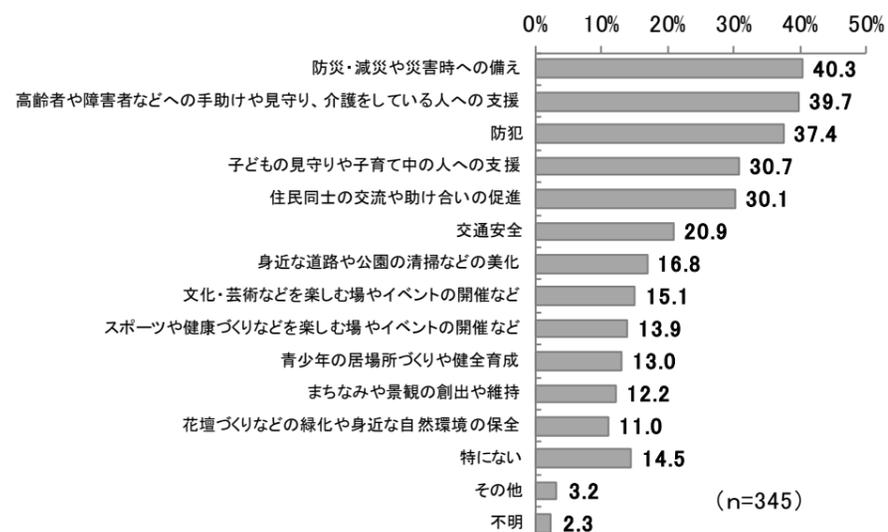
(6) 生活環境への満足度

問6 現在の生活環境について、どの程度満足していますか。



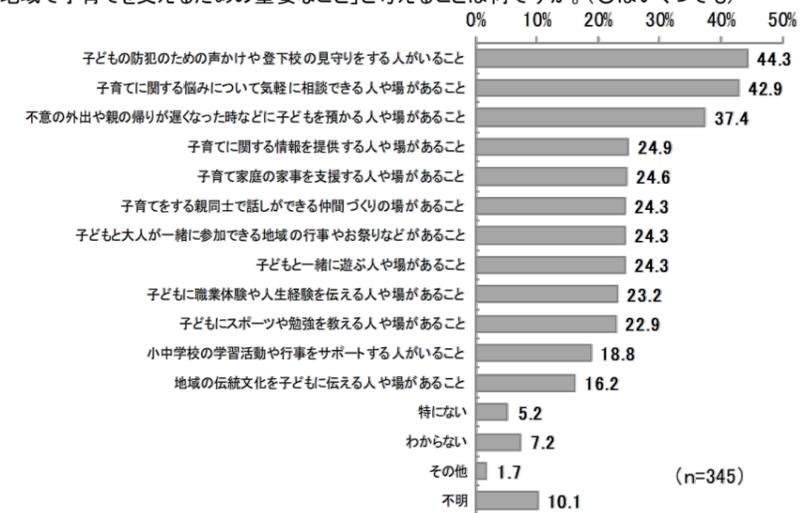
(7) 取り組むべき課題

問8 お住まいの地域で取り組むべき課題にはどのようなものがあると思いますか。(〇はいくつでも)



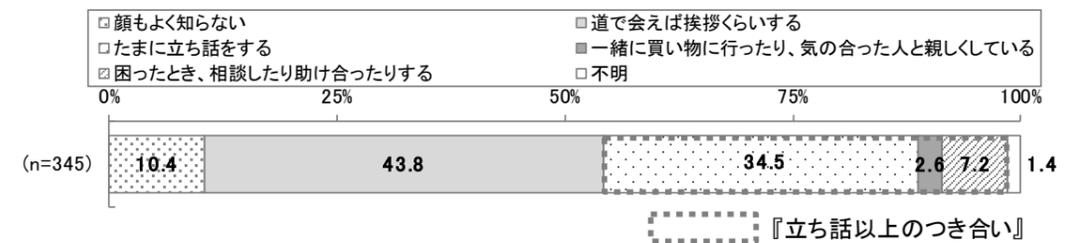
(8) 地域で子育てを支えるために重要と思うこと

問23 あなたが「地域で子育てを支えるための重要なこと」と考えることは何ですか。(〇はいくつでも)



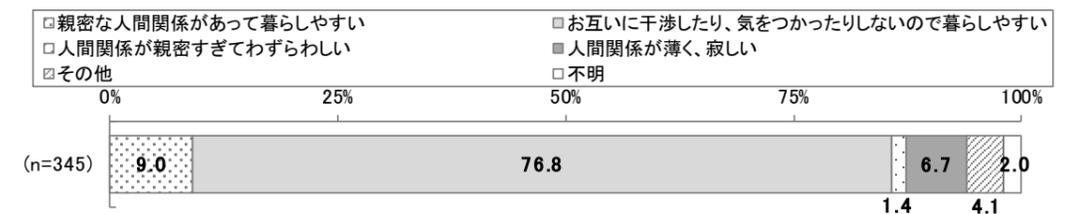
(9) 隣近所とのつき合い方

問30 あなたは、隣近所とどのようなつき合い方をしていますか。



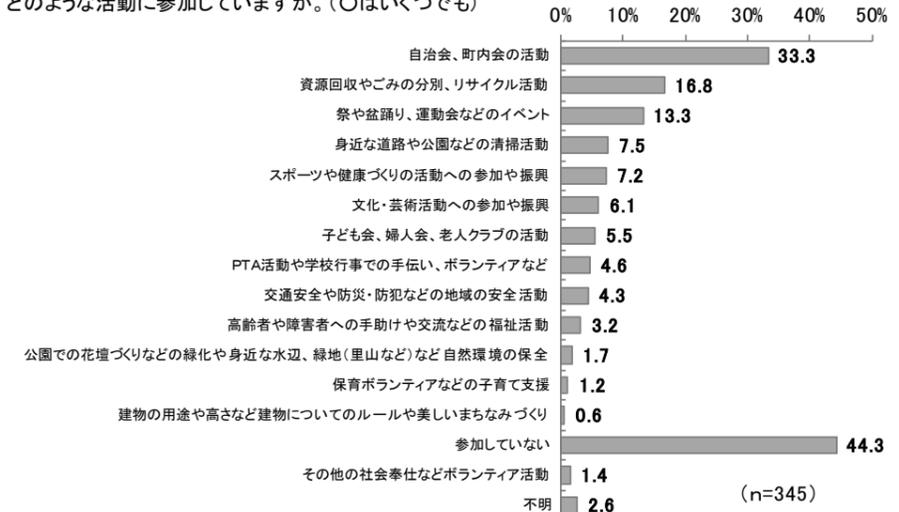
(10) 隣近所とのつき合いについて感じていること

問31 隣近所とのつき合いについてどのように感じていますか。



(11) 地域の活動への参加

問32 どのような活動に参加していますか。(〇はいくつでも)



【上郷西地区】

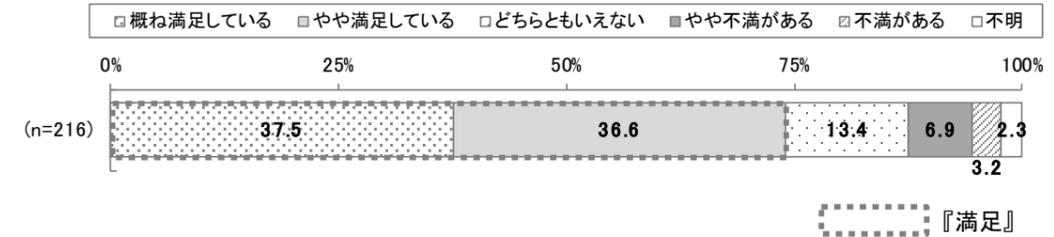
- ・回答者の年代は「70歳以上」（51.4%）が7地区で最も多い（F3）。
- ・居住期間は「40年以上」（45.4%）が7地区で最も多い（F3）。
- ・居住形態の「持家（一戸建て）」（95.4%）が7地区で最も多い（F6）。
- ・生活環境のうち「祭や盆踊りなどの地域交流イベント」、「地域における助け合い、見守り」の『満足』が全体より10ポイント以上多い（問6）。
- ・隣近所とのつき合いは、『立ち話以上のつき合い』（54.6%）が全体より10ポイント以上多く、7地区で最も多い（問30）。
- ・地域活動への参加は、「祭や盆踊り、運動会などのイベント」（23.6%）が全体より5ポイント以上多く7地区で最も多い（問32）。

(1) 回答者の属性

居住地区別：回答者の属性		回答数 (n)	%
全体		216	100.0
F 1 性別	男性	74	34.3
	女性	133	61.6
F 2 年齢（統合）	18～29歳	9	4.2
	30～39歳	14	6.5
	40～49歳	21	9.7
	50～59歳	30	13.9
	60～69歳	22	10.2
	70歳以上	111	51.4
F 3 居住期間	5年未満	13	6.0
	5～9年	11	5.1
	10～14年	12	5.6
	15～19年	11	5.1
	20～29年	33	15.3
	30～39年	29	13.4
	40年以上	98	45.4
	F 4 世帯の家族形態	ひとり暮らし	30
夫婦2人		64	29.6
親と子（2世代）		95	44.0
親と子と孫（3世代）		12	5.6
その他		4	1.9
F 6 住居形態		持家（一戸建て）	206
	持家（マンション・共同住宅）	2	0.9
	借家（一戸建て）	1	0.5
	借家（県営・市営の共同住宅）	0	0.0
	借家（都市再生機構[旧公団]・公社の共同住宅）	0	0.0
	社宅、公務員住宅	0	0.0
	民間アパート、民間賃貸マンション	5	2.3
	その他	0	0.0
	F 7 通勤・通学先	栄区内	24
横浜市内他区		29	13.4
鎌倉市内		4	1.9
神奈川県内（横浜市、鎌倉市を除く）		10	4.6
東京都内		17	7.9
その他		3	1.4
通勤・通学していない		106	49.1

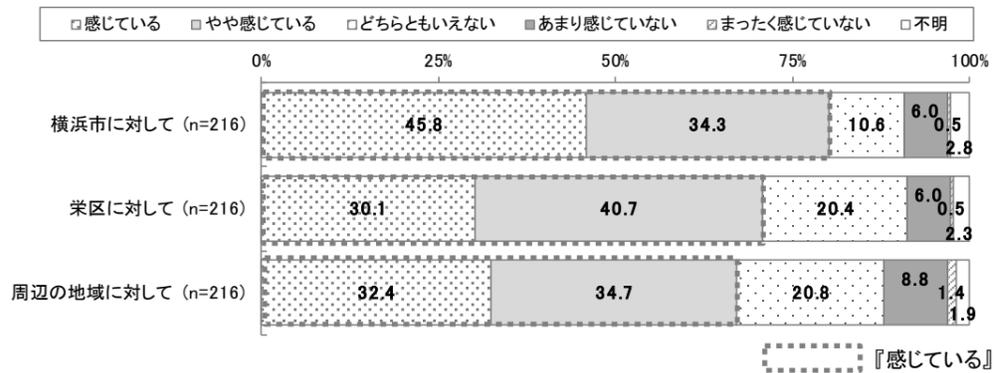
(2) 栄区での生活満足度

問1 栄区での生活に満足していますか。



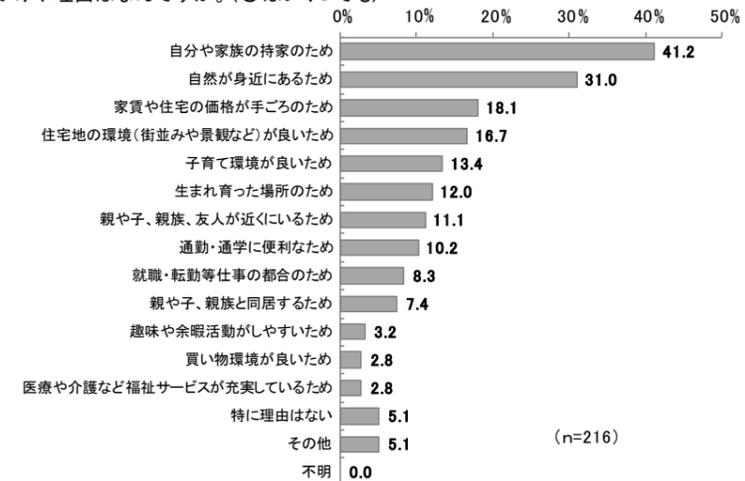
(3) 横浜市、栄区、周辺地域への愛着や誇り

問2 横浜市、栄区、周辺の地域に対して、愛着や誇りを感じていますか。



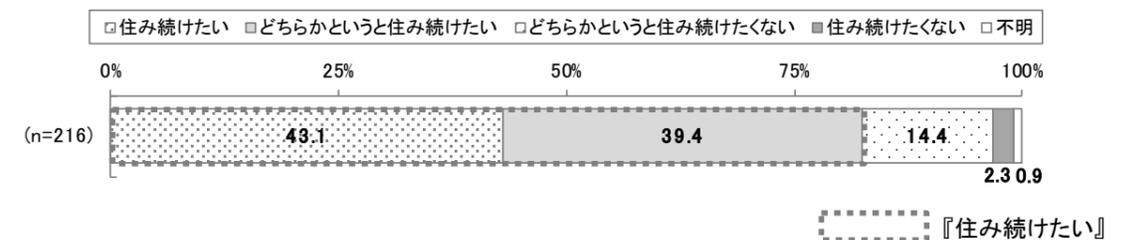
(4) 栄区に住んだきっかけ・理由

問3 栄区に住んだきっかけや理由はなんですか。(〇はいくつでも)



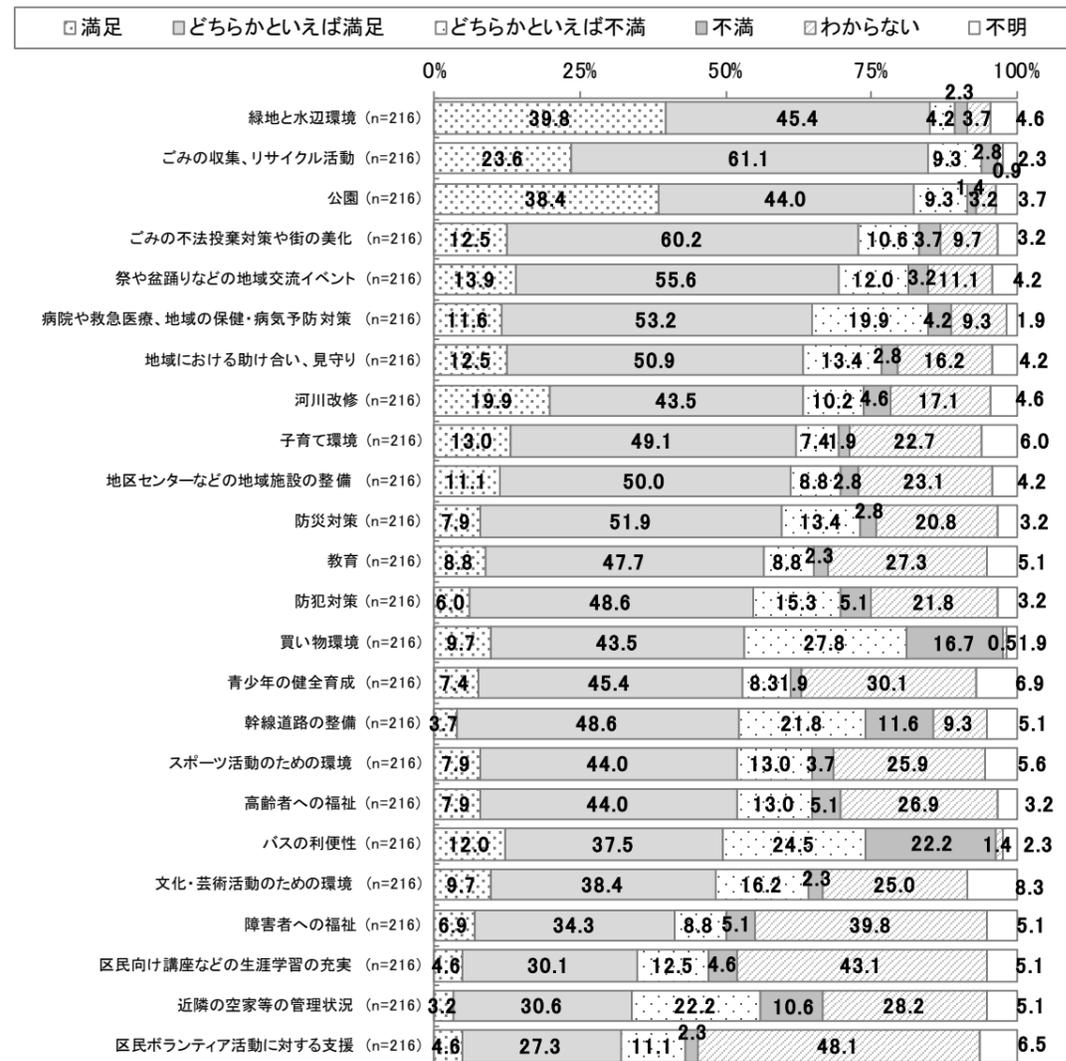
(5) 定住意向

問4 あなたは、現在お住まいの地域に住み続けたいですか。



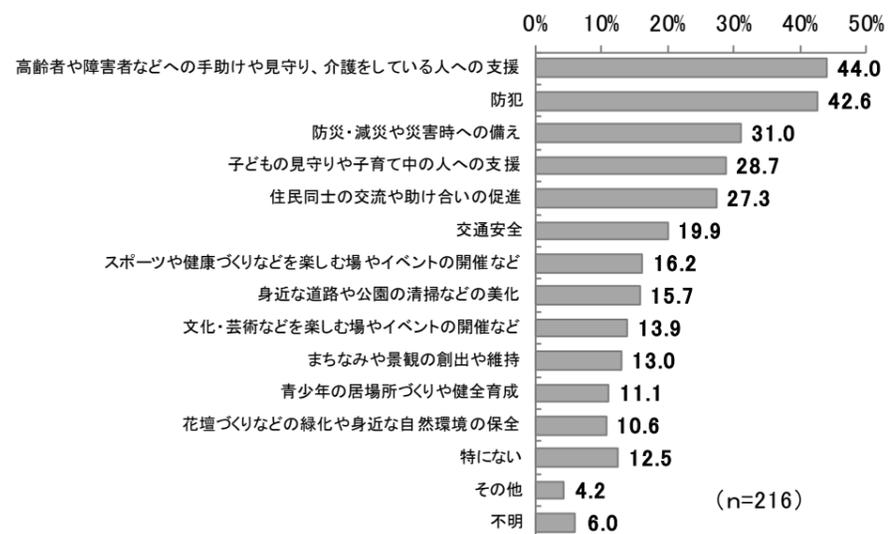
(6) 生活環境への満足度

問6 現在の生活環境について、どの程度満足していますか。



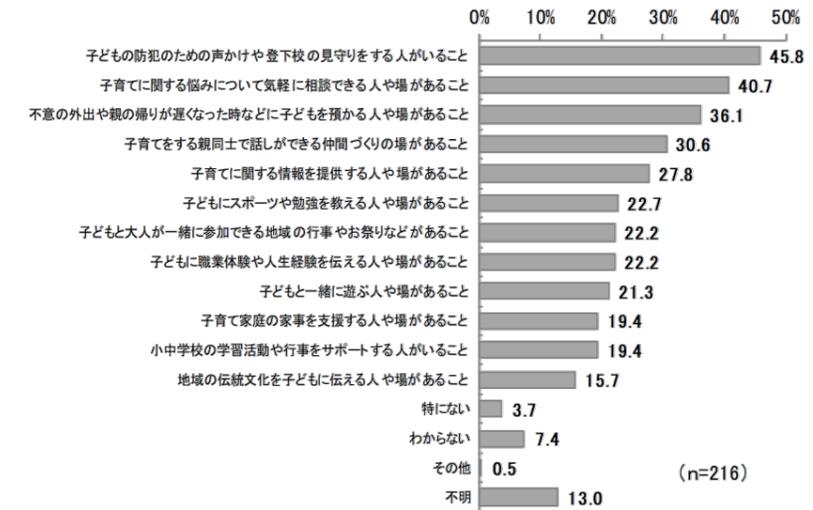
(7) 取り組むべき課題

問8 お住まいの地域で取り組むべき課題にはどのようなものがあると思いますか。(〇はいくつでも)



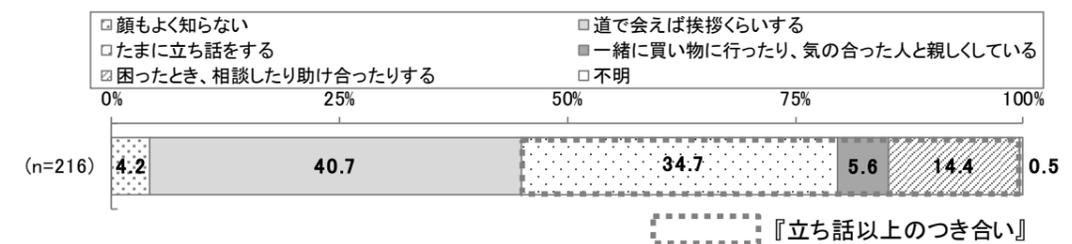
(8) 地域で子育てを支えるために重要と思うこと

問23 あなたが「地域で子育てを支えるための重要なこと」と考えることは何ですか。(〇はいくつでも)



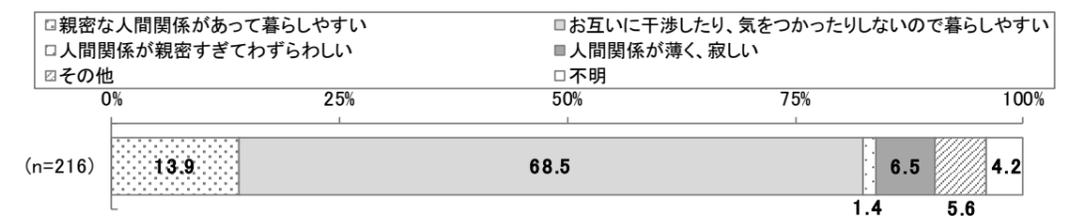
(9) 隣近所とのつき合い方

問30 あなたは、隣近所とどのようなつき合い方をしていますか。



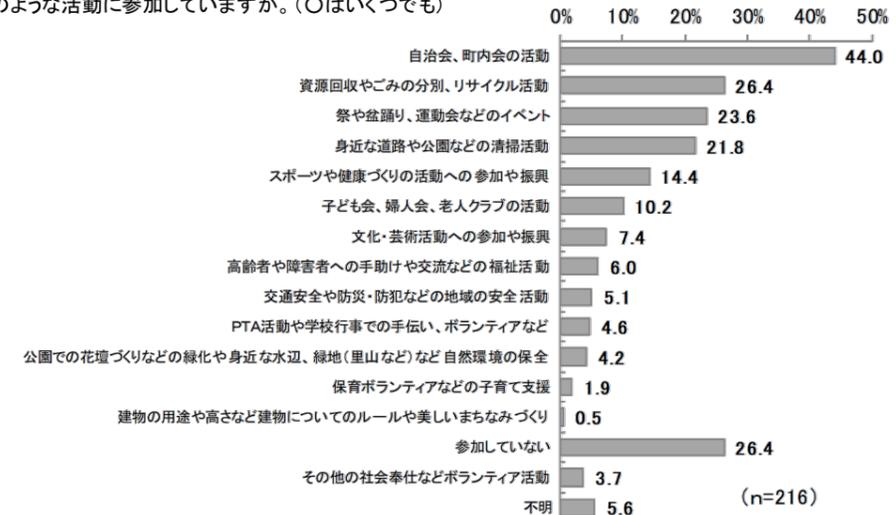
(10) 隣近所とのつき合いについて感じていること

問31 隣近所とのつき合いについてどのように感じていますか。



(11) 地域の活動への参加

問32 どのような活動に参加していますか。(〇はいくつでも)



【上郷東地区】

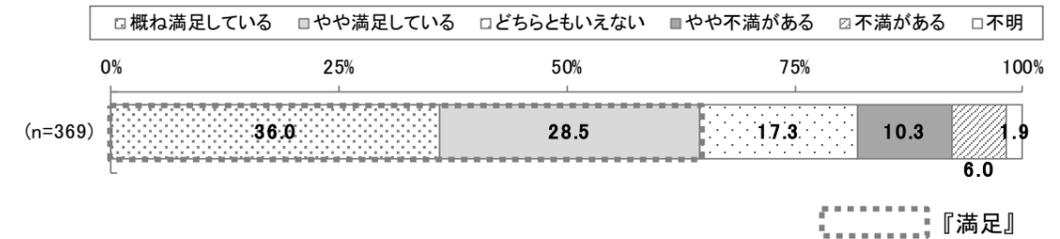
- ・上郷東地区の世帯の家族形態は「夫婦2人」が7地区で最も多く、全体より6.9ポイント多い（F6）。
- ・栄区に住んだきっかけ・理由は「自然が身近にあるため」（46.1%）が7地区で最も多く、全体より20ポイント以上多い（問3）。
- ・隣近所とのつき合いは、『立ち話以上のつき合い』（54.5%）が全体より10ポイント以上多く、7地区で2番目に多い（問30）。

(1) 回答者の属性

居住地区別：回答者の属性		回答数 (n)	%
全体		369	100.0
F 1 性別	男性	155	42.0
	女性	206	55.8
F 2 年齢（統合）	18～29歳	13	3.5
	30～39歳	23	6.2
	40～49歳	44	11.9
	50～59歳	58	15.7
	60～69歳	53	14.4
	70歳以上	173	46.9
	F 3 居住期間	5年未満	20
5～9年		22	6.0
10～14年		26	7.0
15～19年		15	4.1
20～29年		46	12.5
30～39年		87	23.6
40年以上		147	39.8
F 4 世帯の家族形態	ひとり暮らし	46	12.5
	夫婦2人	144	39.0
	親と子（2世代）	140	37.9
	親と子と孫（3世代）	19	5.1
	その他	13	3.5
F 6 住居形態	持家（一戸建て）	238	64.5
	持家（マンション・共同住宅）	76	20.6
	借家（一戸建て）	3	0.8
	借家（県営・市営の共同住宅）	4	1.1
	借家（都市再生機構[旧公団]・公社の共同住宅）	15	4.1
	社宅、公務員住宅	1	0.3
	民間アパート、民間賃貸マンション	28	7.6
	その他	3	0.8
	F 7 通勤・通学先	栄区内	36
横浜市内他区	85	23.0	
鎌倉市内	4	1.1	
神奈川県内（横浜市、鎌倉市を除く）	19	5.1	
東京都内	28	7.6	
その他	1	0.3	
通勤・通学していない	167	45.3	

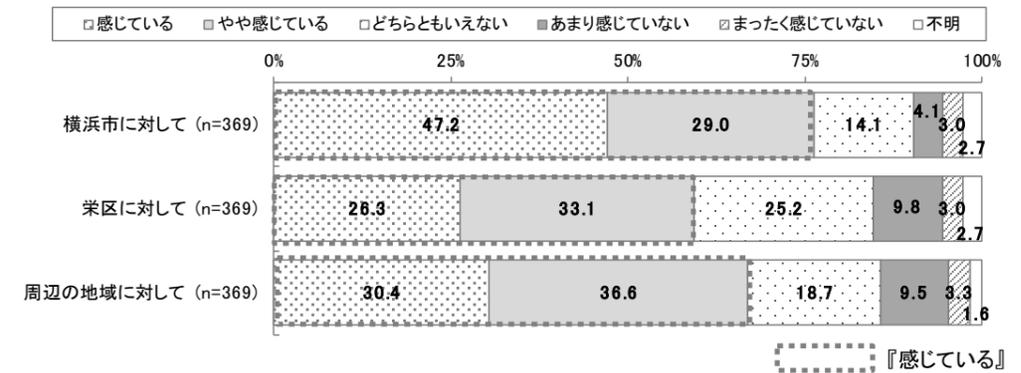
(2) 栄区での生活満足度

問1 栄区での生活に満足していますか。



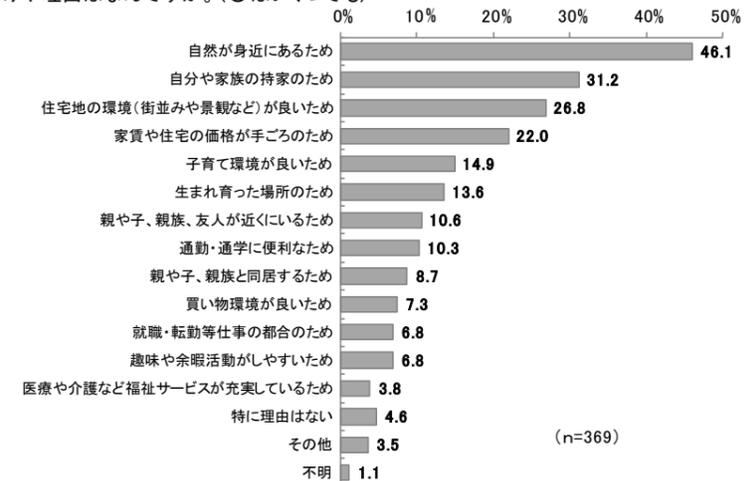
(3) 横浜市、栄区、周辺地域への愛着や誇り

問2 横浜市、栄区、周辺の地域に対して、愛着や誇りを感じていますか。



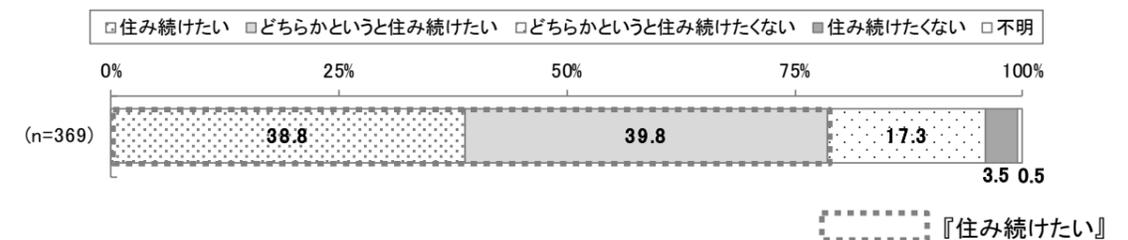
(4) 栄区に住んだきっかけ・理由

問3 栄区に住んだきっかけや理由はなんですか。(〇はいくつでも)



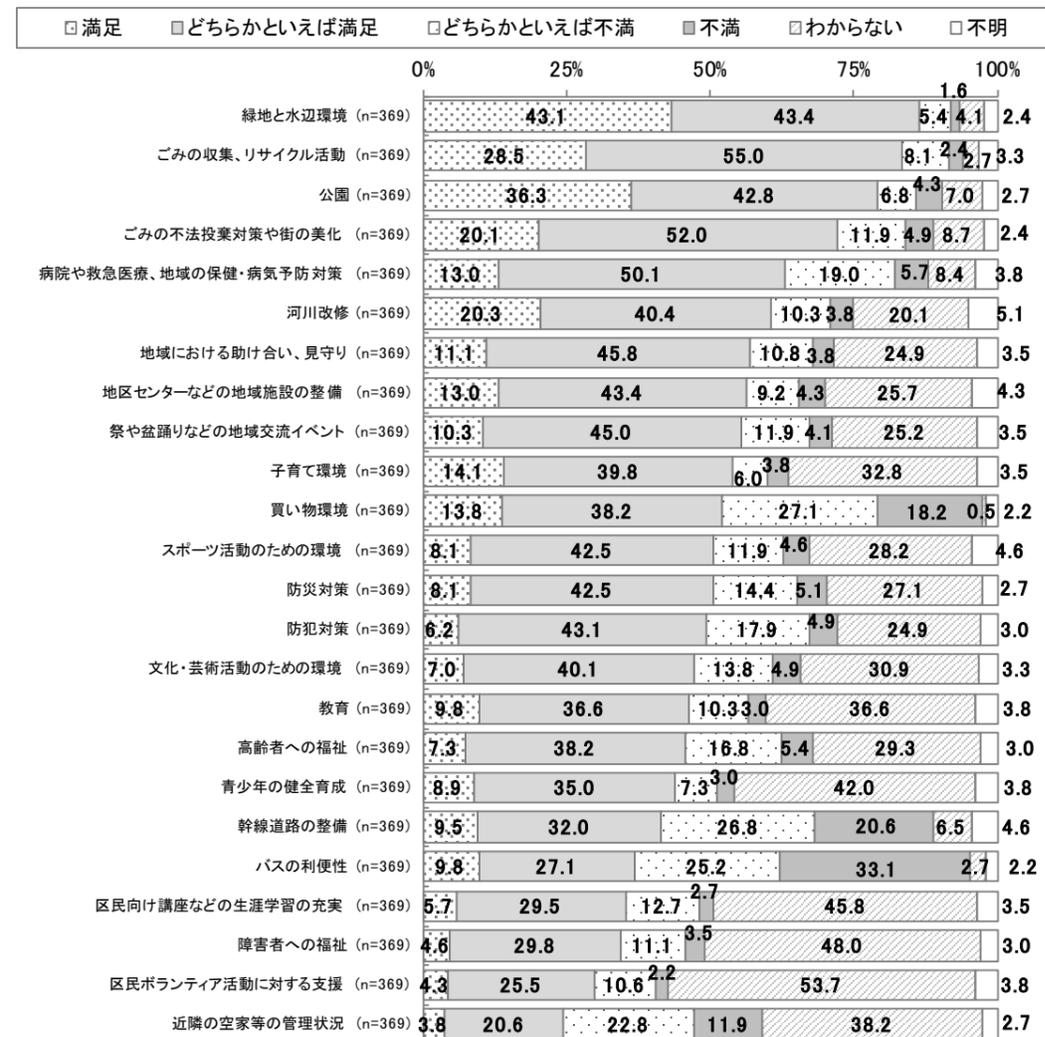
(5) 定住意向

問4 あなたは、現在お住まいの地域に住み続けたいですか。



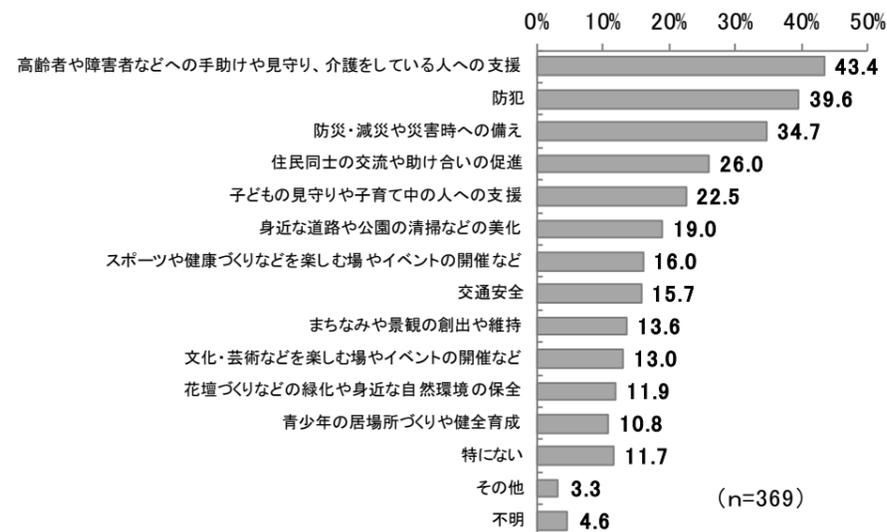
(6) 生活環境への満足度

問6 現在の生活環境について、どの程度満足していますか。



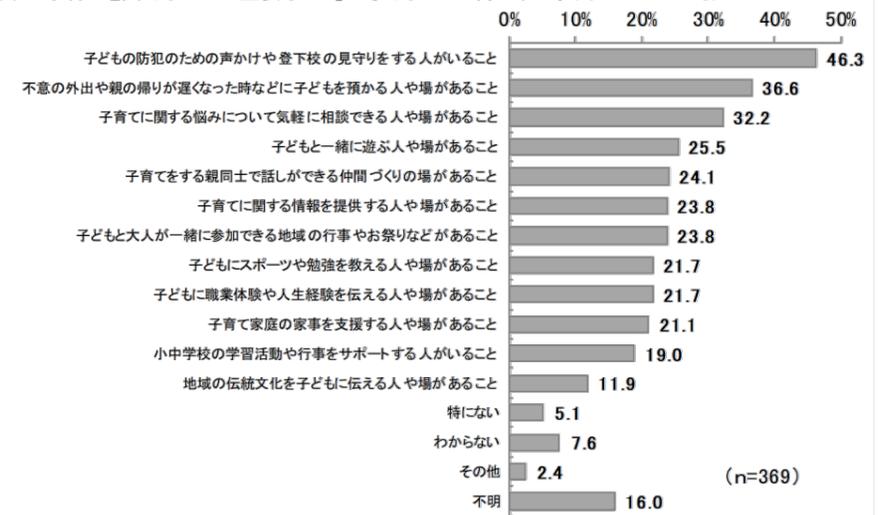
(7) 取り組むべき課題

問8 お住まいの地域で取り組むべき課題にはどのようなものがあると思いますか。(〇はいくつでも)



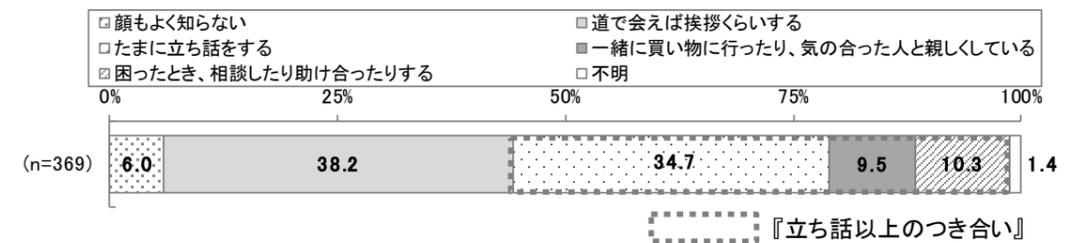
(8) 地域で子育てを支えるために重要と思うこと

問23 あなたが「地域で子育てを支えるための重要なこと」と考えることは何ですか。(〇はいくつでも)



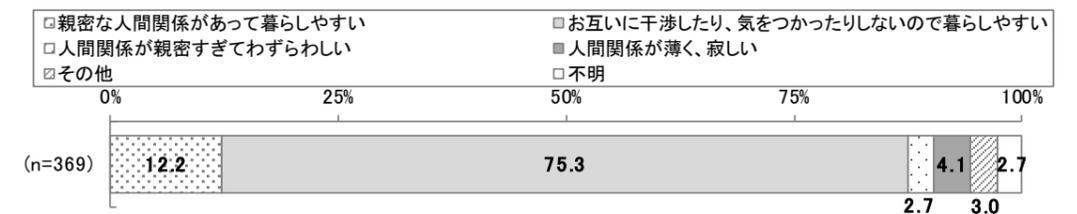
(9) 隣近所とのつき合い方

問30 あなたは、隣近所とどのようなつき合い方をしていますか。



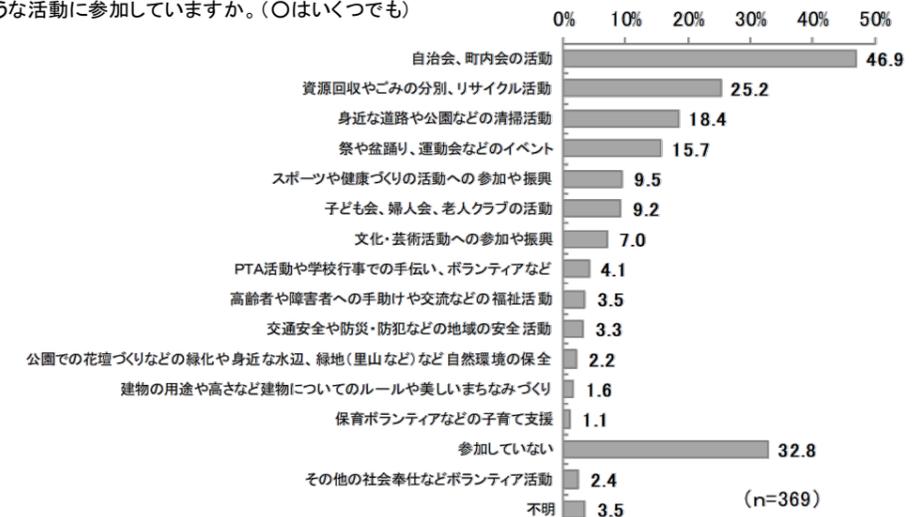
(10) 隣近所とのつき合いについて感じていること

問31 隣近所とのつき合いについてどのように感じていますか。



(11) 地域の活動への参加

問32 どのような活動に参加していますか。(〇はいくつでも)



令和5年度栄区民意識調査にご協力ください

栄区にお住まいの皆様、栄区で生活するうえでの満足や不安、生活スタイルなどに対するご意見をお伺いします。この調査の集計結果は、今後の区政を進める基礎資料とし、「栄区に住んでいて本当によかった、これからも栄区に住み続けたい」と思えるまちづくりを、皆様と実現していきたいと考えております。

この調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

ご協力への感謝といたしまして、心ばかりのお礼の品を同封いたします。



栄区長 堀口 和美

1 郵送回答

①調査票を記入



②同封の返信用封筒（切手不要）に入れる



③ポストに投函



2 インターネット回答

①横浜市のウェブサイトへアクセス

※「栄区民意識調査」で検索

<https://www.city.yokohama.lg.jp/sakae/kusei/tokei/chosa/kumin-isikityouasa.html>



②横浜市電子申請・届出サービスへアクセスし、右記の整理番号を入力

整理番号は、1人が複数回答することを避けるためのものであり、整理番号から個人が特定されることはありません。

整理番号

令和5年11月20日(月)までにポストに投函又はインターネットでの回答をお願いいたします。

◆ ◆ ◆ 調査票のご回答にあたって ◆ ◆ ◆

本調査は、区内にお住いの18歳以上の方6,000人を住民基本台帳から無作為に選ばせていただいております。

調査結果につきましては、個人情報保護の趣旨に基づき統計的に処理いたしますので、個人が特定されることはありません。

※ご返送の際も住所、氏名の記入は必要ありません。

【担当】栄区役所区政推進課企画調整係 山口、鋤柄

電話：894-8161 Fax：894-9127

E-Mail：sa-kikaku@city.yokohama.jp

【1 満足度】

問1 あなたは、栄区での生活に満足していますか。(○は1つ)

1 概ね満足している	3 どちらともいえない	5 不満がある
2 やや満足している	4 やや不満がある	

問2 あなたは、横浜市や栄区、周辺地域に対して、愛着や誇りを感じていますか。(○はそれぞれ1つ)

	ア	イ	ウ	エ	オ
	感じている	やや感じている	どちらともいえない	あまり感じていない	まったく感じていない
1 横浜市に対して	ア	イ	ウ	エ	オ
2 栄区に対して	ア	イ	ウ	エ	オ
3 お住まいの周辺の地域に対して	ア	イ	ウ	エ	オ

【2 定住意向】

問3 あなたが、栄区に住んだきっかけや理由はなんですか。(○はいくつでも)

1 生まれ育った場所のため	9 趣味や余暇活動がしやすいため
2 自分や家族の持家のため	10 買い物環境が良いため
3 家賃や住宅の価格が手ごろのため	11 医療や介護など福祉サービスが充実しているため
4 親や子、親族と同居するため	12 住宅地の環境(街並みや景観など)が良いため
5 親や子、親族、友人が近くにいるため	13 自然が身近にあるため
6 通勤・通学に便利のため	14 特に理由はない
7 就職・転勤等仕事の都合のため	15 その他(具体的に)
8 子育て環境が良いため	

問4 あなたは、現在お住まいの地域に住み続けたいですか。(○は1つ)

1 住み続けたい	3 どちらかというに住み続けたくない
2 どちらかというに住み続けたい	4 住み続けたくない

(問4で「3」または「4」と答えた方にお聞きします)

問4-1 現在お住まいの地域に住み続けたいと思うようになるには、どのようなことが必要とお考えになりますか。(○は3つまで)

1 教育・文化環境が良くなる
2 交通の便が良くなる
3 都市基盤(道路、公園等)が整備される
4 スーパーや商店が増え、買い物が便利になる
5 医療や介護など福祉サービスが充実される
6 通勤に便利なところに転勤(就職・転職)になる
7 近所づき合いが親密になる
8 その他(具体的に)

【3 生活意識】

問5 栄区は安全・安心なまちだと感じますか。

1 感じる	3 どちらかといえば感じない
2 どちらかといえば感じる	4 感じない

問6 あなたは、現在の生活環境について、どの程度満足していますか。(項目ごとに○は1つずつ)

	ア	イ	ウ	エ	オ
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	わからない
1 買い物環境	ア	イ	ウ	エ	オ
2 公園	ア	イ	ウ	エ	オ
3 緑地と水辺環境	ア	イ	ウ	エ	オ
4 河川改修	ア	イ	ウ	エ	オ
5 バスの利便性	ア	イ	ウ	エ	オ
6 幹線道路の整備	ア	イ	ウ	エ	オ
7 ごみの収集、リサイクル活動	ア	イ	ウ	エ	オ
8 ごみの不法投棄対策や街の美化	ア	イ	ウ	エ	オ
9 子育て環境	ア	イ	ウ	エ	オ
10 教育	ア	イ	ウ	エ	オ
11 青少年の健全育成	ア	イ	ウ	エ	オ
12 文化・芸術活動のための環境	ア	イ	ウ	エ	オ
13 スポーツ活動のための環境	ア	イ	ウ	エ	オ
14 病院や救急医療、地域の保健・病気予防対策	ア	イ	ウ	エ	オ
15 高齢者への福祉	ア	イ	ウ	エ	オ
16 障害者への福祉	ア	イ	ウ	エ	オ
17 区民向け講座などの生涯学習の充実	ア	イ	ウ	エ	オ
18 区民ボランティア活動に対する支援	ア	イ	ウ	エ	オ
19 祭や盆踊りなどの地域交流イベント	ア	イ	ウ	エ	オ
20 地域における助け合い、見守り	ア	イ	ウ	エ	オ
21 地区センターなどの地域施設の整備	ア	イ	ウ	エ	オ
22 防災対策	ア	イ	ウ	エ	オ
23 防犯対策	ア	イ	ウ	エ	オ
24 近隣の空家等の管理状況	ア	イ	ウ	エ	オ

問7 あなたは、近頃、ご自身やご家族の生活のことで心配ごとや困っていることがありますか。(○は3つまで)

1 自分の病気や老後のこと	8 環境問題
2 家族の健康や生活上の問題	9 事故や災害のこと
3 失業・倒産や収入が減ること	10 犯罪や防犯のこと
4 仕事や職場のこと	11 住宅のこと
5 景気や生活費のこと	12 現在及び将来の土地・建物の管理や相続のこと
6 子どもの保育や教育のこと	13 心配ごとや困っていることはない
7 近隣からの悪臭・騒音	14 その他(具体的に)

問8 栄区では、住民による様々な地域活動が進められています。あなたのお住まいの地域で、取り組むべき課題にはどのようなものがあると思いますか。(〇はいくつでも)

- | |
|-----------------------------------|
| 1 住民同士の交流や助け合いの促進 |
| 2 高齢者や障害者などへの手助けや見守り、介護をしている人への支援 |
| 3 子どもの見守りや子育て中の人への支援 |
| 4 青少年の居場所づくりや健全育成 |
| 5 文化・芸術などを楽しむ場やイベントの開催など |
| 6 スポーツや健康づくりなどを楽しむ場やイベントの開催など |
| 7 交通安全 |
| 8 防犯 |
| 9 防災・減災や災害時への備え |
| 10 身近な道路や公園の清掃などの美化 |
| 11 花壇づくりなどの緑化や身近な自然環境の保全 |
| 12 まちなみや景観の創出や維持 |
| 13 特にない |
| 14 その他(具体的に) |

【4 道路・交通】

問9 あなたがお住まいの地域の道路・交通環境や利便性はいかがですか。(〇は1つ)

- | | | |
|---------|--------|------|
| 1 とても便利 | 3 普通 | 5 不便 |
| 2 やや便利 | 4 やや不便 | |

問10 よく利用する場所までの主な交通手段は何ですか。(〇はいくつでも)

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク
	徒歩	自転車	ク 原付・ バイク	エ 自家用車	オ バス	カ タクシー	キ 鉄道	ク この場所は 利用しない
1 食料品・日用品の買い物	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク
2 食料品・日用品以外の買い物	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク
3 友人や知人との会食など	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク
4 かかりつけの病院・診療所	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク
5 子どもを預ける場所(保育所等)	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク
6 高齢者施設(介護施設等)	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク
7 その他(具体的に)	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク

【5 健康・福祉】

問11 あなたは、現在のご自身の健康状態について、どのように思いますか。(〇は1つ)

- | | | | |
|------|--------|------------|---------|
| 1 健康 | 2 まあ健康 | 3 あまり健康でない | 4 健康でない |
|------|--------|------------|---------|

問12 この1年間で、「息がはずみ汗をかく程度」の運動を、1回30分以上、週に2回以上やっていますか。

- | | |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

問13 あなたは、1日2回以上、主食・主菜・副菜すべてを食べるのは週に何回ありますか。(○は1つ)

- 1 ほぼ毎日食べている
- 2 週に4～6日食べている
- 3 週に2～3日食べている
- 4 ほとんど食べていない

問13
イラスト

【主菜】
肉、魚、卵、大豆・大豆製品を焼いたメインのおかず



【主食】
ごはん、パン、めん

【副菜】
野菜、きのこ、いも、海藻中心のつけあわせ、小鉢、サラダ、汁物など

問14 あなたは、朝食を週にどのくらい食べていますか。(○は1つ)

※飲み物やサプリメント等だけをとった場合は、「食べる」に含まれません。

- 1 ほぼ毎日食べている
- 2 週に4～6日食べている
- 3 週に2～3日食べている
- 4 ほとんど食べていない

問15 歯やお口について当てはまるものをすべてお選びください。(○はいくつでも)

- 1 この1年間に歯科健診を受けた
- 2 フロス・歯間ブラシで歯の手入れをしている
- 3 歯が20本以上ある(20本も含む)
- 4 歯周病と全身疾患の関連性について知っている
- 5 かかりつけ歯科医(歯科医院)を決めている
- 6 オーラルフレイルの言葉も意味も知っている
- 7 なんでも噛んで食べることができる
- 8 当てはまるものはない

問16 あなたは2021年4月1日から2023年3月31日まで(令和3～4年度)に、がん検診を受けましたか。(○は1つ)

- 1 受けた 2 受けていない(理由) 3 わからない

問17 あなたは、乳がん予防・早期発見のために行っていることはありますか。(○はいくつでも)

- 1 定期的な自己触診(セルフチェック)
- 2 定期的ながん検診(医療機関、栄区役所のマンモグラフィ検診車)
- 3 運動
- 4 バランスのよい食事(過度な肉類・加工肉・乳製品の摂取を控える、野菜を多く摂取する等)
- 5 喫煙しない
- 6 飲酒を控える
- 7 何もしていない
- 8 その他(具体的に)

問18 あなたは、2022年4月1日から2023年3月31日まで(令和4年度)に、生活習慣病の早期発見・重症化予防のために健康診断を受けていますか。(○は1つ)

- 1 職場の健診で受けた(本人とその家族等)
- 2 横浜市国民健康保険の特定健康診査で受けた(横浜市国民健康保険加入者)
- 3 横浜市健康診査で受けた(後期高齢者医療保険制度加入者等)
- 4 人間ドックで受けた
- 5 受けていない(理由)

問19 あなたは、もしご自身やご家族が病気や障害で介護が必要な状況だったとしたら、どんなことが不安だと思いますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|------------|--------------------|
| 1 日々の生活の介助 | 5 必要な介護サービスを受けられるか |
| 2 経済的負担 | 6 不安はない |
| 3 外出の難しさ | 7 その他(具体的に) |
| 4 周囲の理解のなさ | |

問20 栄区では、寒い時期に脱衣所から熱い湯船に入ることによって脳出血や脳梗塞、心筋梗塞等を起こしてしまう「ヒートショック」の対策に取り組んでいます。あなたは、「ヒートショック」の対策をしていますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|----------------------|----------------------------|
| 1 お風呂のお湯を41℃以下にする | 5 体調が悪い時や飲酒後・食事直後はお風呂に入らない |
| 2 脱衣所に暖房器具を置いている | 6 特にしていない |
| 3 シャワーで浴室を温めてから浴室に入る | 7 その他(具体的に) |
| 4 湯船には10分以上連続で入らない | |

【6 子育て】

問21 あなたは、18歳未満のお子様がありますか。(〇は1つ)

- | | |
|------|-------|
| 1 いる | 2 いない |
|------|-------|

問22 あなたは、子育てについて、課題や不安となることは何だと思いますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|--------------------------------|----------------------------------|
| 1 自分が親になることへの漠然とした不安 | 9 障害がある子どもへの支援 |
| 2 自分の身体的・精神的な健康 | 10 保育施設が少ない |
| 3 子育て費用 | 11 買い物やリフレッシュのためなどに利用できる一時保育が少ない |
| 4 不安や悩みを気軽に相談できる相手がない | 12 いじめなど子ども同士の関係への不安 |
| 5 子育ての協力者がいない、周囲の支え(育児の手伝い)がない | 13 学校での教育環境への不安 |
| 6 子育てに関する情報不足 | 14 放課後児童の居場所が少ない |
| 7 子育てと仕事の両立 | 15 SNS等を通して子どもが犯罪等に巻き込まれる不安 |
| 8 子どものしつけ | 16 その他(具体的に) |

問23 あなたが「地域で子育てを支えるために重要なこと」と考えることは何ですか。(〇はいくつでも)

- | |
|---------------------------------------|
| 1 子どもの防犯のための声かけや登下校の見守りをする人がいること |
| 2 子育てに関する悩みについて気軽に相談できる人や場があること |
| 3 子育てをする親同士で話しができる仲間づくりの場があること |
| 4 子育てに関する情報を提供する人や場があること |
| 5 子育て家庭の家事を支援する人や場があること |
| 6 不意の外出や親の帰りが遅くなった時などに子どもを預かる人や場があること |
| 7 子どもと大人と一緒に参加できる地域の行事やお祭りなどがあること |
| 8 子どもと一緒に遊ぶ人や場があること |
| 9 子どもにスポーツや勉強を教える人や場があること |
| 10 地域の伝統文化を子どもに伝える人や場があること |
| 11 小中学校の学習活動や行事をサポートする人がいること |
| 12 子どもに職業体験や人生経験を伝える人や場があること |
| 13 特にない |
| 14 わからない |
| 15 その他(具体的に) |

問 24 あなたが、参加してもいいと考える「地域で子育てを支えるための活動」は何ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|----|-------------------------------------|
| 1 | 子どもの防犯のための声かけや登下校の見守りをする人がいること |
| 2 | 子育てに関する悩みについて気軽に相談できる人や場があること |
| 3 | 子育てをする親同士で話しができる仲間づくりの場があること |
| 4 | 子育てに関する情報を提供する人や場があること |
| 5 | 子育て家庭の家事を支援する人や場があること |
| 6 | 不意の外出や親の帰りが遅くなった時などに子どもを預かる人や場があること |
| 7 | 子どもと大人と一緒に参加できる地域の行事やお祭りなどがあること |
| 8 | 子どもと一緒に遊ぶ人や場があること |
| 9 | 子どもにスポーツや勉強を教える人や場があること |
| 10 | 地域の伝統文化を子どもに伝える人や場があること |
| 11 | 小中学校の学習活動や行事をサポートする人がいること |
| 12 | 子どもに職業体験や人生経験を伝える人や場があること |
| 13 | 特になし |
| 14 | わからない |
| 15 | その他(具体的に) |

【7 防災】

問 25 災害時、受診の際にケガ等の緊急度・重症度に応じて医療機関を選択する必要があることを知っていますか。(〇は1つ)

- | | | | |
|---|-------|---|------|
| 1 | 知っている | 2 | 知らない |
|---|-------|---|------|

問 26 災害時、診療可能な医療機関は、のぼり旗(イエローフラッグ)を掲出することを知っていますか。

- | | |
|---|----------------------|
| 1 | のぼり旗を見たことがあり、知っている |
| 2 | のぼり旗を見たことはないが、知っている |
| 3 | 知らなかった(この調査ではじめて知った) |



問 27 あなたの家では、震災等の災害に対する備えをしていますか。(〇はいくつでも)

- | | | | |
|---|---------------|----|-----------------|
| 1 | 水の備蓄(3日以上) | 9 | 自宅の耐震補強 |
| 2 | 食料の備蓄(3日以上) | 10 | 感震ブレーカーの設置 |
| 3 | トイレパックの備蓄 | 11 | 避難についての家族の話し合い |
| 4 | 医薬品・救急用品の備蓄 | 12 | 隣近所との話し合い |
| 5 | 携帯ラジオ、懐中電灯の用意 | 13 | 地域の中での緊急連絡体制づくり |
| 6 | 消火器の設置 | 14 | ほとんど何もしていない |
| 7 | 住宅用火災警報器の設置 | 15 | その他(具体的に) |
| 8 | 家具などの転倒防止対策 | | |

問 28 災害時の避難情報(避難指示など)をどのような手段で入手しますか。(〇はいくつでも)

- | | | | |
|---|----------------------|----|---------------|
| 1 | テレビ・ラジオ番組 | 6 | 横浜市や栄区のホームページ |
| 2 | テレビのデータ放送(リモコンのdボタン) | 7 | 横浜市防災情報Eメール |
| 3 | X(旧ツイッター) | 8 | 防災アプリ |
| 4 | PIAZZA(ピアッツァ) | 9 | 防災スピーカー |
| 5 | LINE(ライン) | 10 | その他(具体的に) |

問 29 あなたは、2021年4月1日から2023年3月31日まで(令和3~4年度)に防災訓練に参加したことがありますか。(〇は1つ)

- | | |
|---|--------------------------------|
| 1 | 参加したことがある |
| 2 | 参加したことはないが、今後参加したい |
| 3 | 参加したことはないし、今後も参加したいとは思わない(理由) |

【8 地域のつながり】

問30 あなたは、隣近所とどのようなつき合い方をしていますか。(○は1つ)

- | | |
|----------------|------------------------------|
| 1 顔もよく知らない | 4 一緒に買い物に行ったり、気の合った人と親しくしている |
| 2 道で会えば挨拶くらいする | 5 困ったとき、相談したり助け合ったりする |
| 3 たまに立ち話をする | |

問31 あなたは、隣近所とのつき合いについてどのように感じていますか。(○は1つ)

- | |
|--------------------------------|
| 1 親密な人間関係があって暮らしやすい |
| 2 お互いに干渉したり、気をつかったりしないので暮らしやすい |
| 3 人間関係が親密すぎてわずらわしい |
| 4 人間関係が薄く、寂しい |
| 5 その他(具体的に) |

問32 地域では様々な活動を行っています。あなたはどのような活動に参加していますか。(○はいくつでも)

- | |
|--|
| 1 自治会、町内会の活動 |
| 2 子ども会、婦人会、老人クラブの活動 |
| 3 高齢者や障害者への手助けや交流などの福祉活動 |
| 4 身近な道路や公園などの清掃活動 |
| 5 文化・芸術活動への参加や振興 |
| 6 スポーツや健康づくりの活動への参加や振興 |
| 7 祭や盆踊り、運動会などのイベント |
| 8 資源回収やごみの分別、リサイクル活動 |
| 9 公園での花壇づくりなどの緑化や身近な水辺、緑地(里山など)など自然環境の保全 |
| 10 PTA活動や学校行事での手伝い、ボランティアなど |
| 11 保育ボランティアなどの子育て支援 |
| 12 交通安全や防災・防犯などの地域の安全活動 |
| 13 建物の用途や高さなど建物についてのルールや美しいまちなみづくり |
| 14 参加していない |
| 15 その他の社会奉仕などボランティア活動(具体的に) |

【9 友好交流都市】

問33 あなたは栄区の友好交流都市を知っていますか。(○はそれぞれ1つ)

1 長野県栄村	知っている	知らない
2 青森県南部町	知っている	知らない
3 山形県高島町	知っている	知らない

【10 読書】

問34 あなたは、過去1年間に何冊くらい本(電子書籍を含む)を読みましたか。※雑誌、漫画を除く(○は1つ)

- | | | | |
|----------|--------|----------|---------|
| 1 全く読まない | 3 3~4冊 | 5 10~19冊 | 7 30冊以上 |
| 2 1~2冊 | 4 5~9冊 | 6 20~29冊 | |

【11 広報】

問 35 栄区の情報を得る媒体について、どのように感じていますか。(○はそれぞれいくつでも)

	ア	イ	ウ	エ	オ
	情報(ページ数)を多くしてほしい	発信頻度を多くしてほしい	特にない・現状のままが良い	利用していない	存在自体知らない
1 広報よこはま(市・区発行の広報紙)	ア	イ	ウ	エ	オ
2 栄区のウェブサイト(ホームページ)	ア	イ	ウ	エ	オ
3 X(旧ツイッター)栄区公式アカウント	ア	イ	ウ	エ	オ
4 PIAZZA(ピアッツァ)栄区公式アカウント	ア	イ	ウ	エ	オ
5 LINE(ライン)横浜市公式アカウント	ア	イ	ウ	エ	オ
6 区民生活マップ	ア	イ	ウ	エ	オ
7 栄区役所内のデジタルサイネージ(モニター映像放映)	ア	イ	ウ	エ	オ
8 公共施設等に配架されているチラシ	ア	イ	ウ	エ	オ
9 タウン紙(新聞折り込み)	ア	イ	ウ	エ	オ
10 自治会町内会の回覧板・掲示板	ア	イ	ウ	エ	オ
11 その他(具体的に)	ア	イ	ウ	エ	オ

問 36 栄区では、「栄区いち川マスコットタッチーくん」を活用し、栄区の魅力発信や、親しみやすい広報に取り組んでいます。あなたは、「タッチーくん」が栄区の魅力発信に貢献していると思いますか。(○は1つ)

- | |
|--|
| 1 思う
2 思わない
3 どちらでもない
4 「栄区いち川マスコットタッチーくん」をしらない |
|--|



【13 環境行動】

問 40 あなたは普段、次にあげる個人でできる環境にやさしい行動（＝「環境行動」）をしていますか。
（○はそれぞれ1つ）

	ア	イ	ウ
	している	思っているが していない	していない
1 ごみをきちんと分別して出す	ア	イ	ウ
2 マイバッグ、マイボトル、簡易包装などでごみを減らす	ア	イ	ウ
3 使い捨てのプラスチック製品（レジ袋、ストロー、スプーンなど）をできるだけ使わない	ア	イ	ウ
4 食べ残しや食材のムダ（食品ロス）を減らす	ア	イ	ウ
5 横浜産の野菜や果物を選んで購入する	ア	イ	ウ
6 電気やガス、水のムダづかみに気をつける	ア	イ	ウ
7 花や木、野菜、緑のカーテンなどの植物を育てる	ア	イ	ウ
8 公園や森、水辺など身近な自然環境とふれあう	ア	イ	ウ
9 その他（具体的に)	ア	イ	ウ

（問 40 で「ア している」と答えた方にお聞きします）

問 40-1 その環境行動を始めたきっかけはなんですか。（○はいくつでも）

1 テレビや新聞のニュース	6 公共施設等に配架されているチラシ
2 インターネットからの情報	7 自治会町内会の回覧板・掲示板
3 区民まつり等のイベント	8 友人・知人から誘われて
4 広報よこはま（市・区役所発行の広報紙）	9 覚えていない
5 横浜市や栄区のホームページ	10 その他（具体的に)

【14 あなたのこと】

最後に、あなた自身のことについてお尋ねします。ご回答いただいた内容については、すべて統計的に処理され、個人が特定されることはありませんので、ご協力をお願いします。

F 1 性別（○は1つ） ※選択することに違和感がある場合は、回答不要です。

1 男性	2 女性
------	------

F 2 年齢（○は1つ）

1 18～19 歳	4 30～34 歳	7 45～49 歳	10 60～64 歳	13 75～79 歳
2 20～24 歳	5 35～39 歳	8 50～54 歳	11 65～69 歳	14 80 歳以上
3 25～29 歳	6 40～44 歳	9 55～59 歳	12 70～74 歳	

F 3 栄区にお住まいの期間（○は1つ） ※栄区内で転居した場合は通算してください。

1 5 年未満	3 10～14 年	5 20～29 年	7 40 年以上
2 5～9 年	4 15～19 年	6 30～39 年	

F 4 現在のお住まいの世帯の家族形態（○は1つ）

1 ひとり暮らし	3 親と子（2 世代）	5 その他（具体的に)
2 夫婦 2 人	4 親と子と孫（3 世代）	

F 5 現在お住まいの地区 (○は1つ)

1 飯島町	15 桂台西二丁目	29 小菅ヶ谷四丁目	43 野七里二丁目
2 犬山町	16 桂台東	30 小山台一丁目	44 柏陽
3 尾月	17 桂台南一丁目	31 小山台二丁目	45 東上郷町
4 笠間一丁目	18 桂台南二丁目	32 庄戸一丁目	46 本郷台一丁目
5 笠間二丁目	19 桂町	33 庄戸二丁目	47 本郷台二丁目
6 笠間三丁目	20 金井町	34 庄戸三丁目	48 本郷台三丁目
7 笠間四丁目	21 上郷町	35 庄戸四丁目	49 本郷台四丁目
8 笠間五丁目	22 上之町	36 庄戸五丁目	50 本郷台五丁目
9 鍛冶ヶ谷町	23 亀井町	37 田谷町	51 元大橋一丁目
10 鍛冶ヶ谷一丁目	24 公田町	38 長尾台町	52 元大橋二丁目
11 鍛冶ヶ谷二丁目	25 小菅ヶ谷町	39 長倉町	53 若竹町
12 桂台北	26 小菅ヶ谷一丁目	40 長沼町	
13 桂台中	27 小菅ヶ谷二丁目	41 中野町	
14 桂台西一丁目	28 小菅ヶ谷三丁目	42 野七里一丁目	

F 6 現在のお住まい (○は1つ)

1 持家 (一戸建て)	5 借家 (都市再生機構[旧公団]・公社の共同住宅)
2 持家 (マンション・共同住宅)	6 社宅、公務員住宅
3 借家 (一戸建て)	7 民間アパート、民間賃貸マンション
4 借家 (県営・市営の共同住宅)	8 その他 (具体的に)

F 7 通勤・通学先はどちらですか。(○は1つ) ※複数ある場合は、主な通勤・通学先をお答えください。

1 栄区内	5 東京都内
2 横浜市内他区	6 その他 (具体的に)
3 鎌倉市内	7 通勤・通学していない
4 神奈川県内 (横浜市、鎌倉市を除く)	

(以下については、F 7で「1」～「6」と答えた方にお聞きます)

F 7-1 通勤・通学に利用する駅はどこですか。(○は1つ)

1 本郷台駅	5 金沢八景駅
2 大船駅	6 上大岡駅
3 港南台駅	7 その他 (具体的に)
4 戸塚駅	

F 7-2 通勤・通学に利用する駅までの主な交通手段をお答えください。(○は1つ)

1 バス	4 自転車
2 自家用車 (家族の送迎も含む)	5 徒歩
3 原付・バイク	6 その他 (具体的に)

F 7-3 通勤・通学時間 (片道) はどのくらいですか。複数ある場合は、主な通勤・通学先までの所要時間をお答えください。(○は1つ)

1 30分未満	4 1時間30分から2時間未満
2 30分から1時間未満	5 2時間以上
3 1時間から1時間30分未満	

※ ご協力ありがとうございました。

調査票は同封の返信用封筒に入れて、令和5年11月20日(月)までにポストへ投函してください。(切手は不要です)